

シテノ職責ニ於テ處理スルト云フコトハ困  
難デアルト思フ、サウ云フ意味ニ於テ今後  
御研究ノ場合ニ於テハサウ云フ學者ナドノ  
心理ニ付テモ特ニ内務大臣ニ於テモ、又警  
保當局ニ於テモキマシテモ御研究ヲ願フテ、學  
者ノ心持ト云フヤウナモノモ一ツ十分ニ尊  
重サレテ運用ノ完全ヲ期セラレタイト思ヒ  
マス

最後ニ私ハ現在ノ紙不足ノ時節ニ於テ、  
相當無用ナ恩書ガ世ノ中ニ横行シテ居ルコ  
トハ、私共ハ洵ニ遺憾ニ考ヘテ居ルノデア  
リマス、文化ノ向上ノ上カラ言ヒマシム  
モ、思想對策ノ上カラ言フテモ、尙ホ支那  
事變ヲ處理シ、東亞ノ新秩序建設ノ大キナ  
國家目的ノ立場カラ申シマシテモ、出版物  
ノ國民ニ及ボス影響役割ト云フモノハ非常  
ニ大キイモノデアリマス、左様ナ恩書ガ横  
行フシテ、而モ紙不足、資材不足ノ時節ニ  
於テ無用ノ恩書ガ横行シテ居ル、或ハ有害  
ノモノモ相當アルト思フノデアリマスガ、  
之ニ對シマシテ、當局ニ於テハ何等カ之ニ對  
スル對策ヲ御準備サレ、或ハ御心構ヘヲ申  
レテ居ルカドウカ、簡單ニ御尋申上ゲタイ  
ト思ヒマス

○山崎政府委員 只今羽田君シカラ御話ノ  
ヤウニ、現在各種ノ出版物ガアリマス、其  
ノ内容モ必ズシモ有益ナモノバカリデハナ  
イノデアリマス、見方ニ依リマシテハ有  
害無益ナモノモ相當アルヤニ思ハレルノデ  
アリマス、然ルニ御承知ノヤウニ現在ノ出  
版法ハ、出版行爲ハ總テ届出制度ヲ採ツ  
テ居リマシテ、許可ノ制度ニ相成ツテ居  
ナイノデアリマス、ソレガ却テ結果ニ於キ  
マシテハ、只今御話ノヤウナ事柄ヲ招來スル  
コトニ相成ツテ居ルト思ヒマスガ、出版法

ノ改正ニ付キマシテハ、從來カラ内務省內  
ニ於キマシテモ、實ハ種々研究ヲ遂ゲテ居  
ルノデアリマスガ、出版法ハ非常ニ重大ナ  
法制ゴザイマス關係上カラ、今日マダ直  
チニ議會ノ御協賛ヲ仰グマデニ至ツテ居  
ナイコトハ甚ダ遺憾ナコトデアリマスガ、  
今後モ只今御話ノヤウナ點モ十分參酌致シ  
マシテ、出版法ノ全面的ノ改正ニ付キマシ  
テ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○羽田武副郎君 現在ノ出版法ガ届出主義  
デ、所謂自由勝手ニ出シテ、唯内務省ニ二  
冊本ヲ持ツテ行キサヘスレバ宜イト云フヤ  
ウナ制度デアアル爲ニ、斯ウ云フ結果ニナツ  
タ、要スルニソレヲ訂正シ修正シテ行クニ  
ハ、ドウシテモ許可制度ガ必要デアルト云  
フ御心組ノヤウニ考ヘラレクノデアリマス  
ルガ、實ハ今日ノ官僚ニ對シテ許可制度ヲ  
カト云フコトヲ強ク言ヒタイノデアリマス  
シタノデハ困ルデハナイカト云フコトヲ考  
ヘル爲ニ、強ク私ハ許可制度ガ宜イト云フ  
コトヲ言ヒニタカツタ、要スルニ只今モ檢  
開問題ニ付テ申シタヤウナ場合ニ、古典ト  
カサウ云フヤウナモノノ取扱ニ付テモ役人  
ノ考ヘ方、長イ歴史トカ文化トカ云フヤウ  
ナコトニ付テ必ズシモ深イ造詣ト心遣リガ  
アルト云フヤウナ方デナイニモ拘ラズ、サ  
ウ云フ重大ナモノニ準テ入レテリ命令ヲス  
ル權利ヲ持ツテ居ルト云フヤウナ立場デア  
リマスルカラ、許可制度ガ布カレタヤウナ  
場合ニ於キマシテ一番問題デアアルハ總テ  
官製ノ考ヘ方デナケレバイカス、官製ノ出版  
ガ行ハレルト云フヤウナコトニナツテシマツ  
テハ洵ニ悠久ナル日本民族ノ文化ノ向上ト  
云フヤウナコトヲ考ヘマス、茲ニ私ハ大

キイ問題ガアルノデハナイカト思フノデア  
リマス、更ニ又役所ノ方デアルト手續ガ煩  
雜デアリマスカラ、半年モ一年モ出版計畫  
ヲシテ、サウシテ許可ヲ受ケル場合ニ於テ  
許可ヲ得ナイト云フヤウナコトニナリマシ  
テモ、其ノ出版ニ携ハル人ニ取ツテハ相當  
大キナ問題ガ殘ツテ來ル譯デアリマス、サ  
ウ云フ意味ニ於キマシテ此ノ許可制度ノ問  
題ハ餘程微妙ナ問題ガ何ト云ツテモ殘ル、  
此ノ運用ニ付テ相當微妙ナ點ガ殘ツテ居ル  
ト云フコトヲ深ク考ヘルノデアリマス、サ  
ウ云フ意味ニ於キマシテ今後此ノ出版ニ手  
ヲ著ケラレテ、全面的改正ヲセラレルヤウ  
ナ場合ニ於キマシテハ、餘程斯ウ云フ點ニ  
付キマシテ深イ考方ヲ致サレシコトヲ希望  
致シテ、尙ホサウ云フ場合ニ於キマシテモ  
ドウシテモ民間ノ學者——民間ト申シテモ  
學者專門家ト云フヤウニ非常ニ多岐ニ互ル  
ノデアリマスカラ、之ヲ一々ノ委員會ヲ作  
ルト云フコトモ困難デアリマスルガ、出來  
レバ民間ノ直接ノ行政官デナイ學者トカ或  
ハ民間ノ自發的ナル委員會ト云フカ、サウ  
云フ一ツツ審査機關ト云フヤウナモノヲ作  
リマシテ、サウシテソレニ内務省ノ役人ノ  
方ガ材料ヲ集メタリ、色々スルト云フ程度  
ノ、ドウツカト云ヘバ自發的ニ國策ニ協力  
スル、文化ノ向上ニ協力スルト云フヤウ  
ナ、民間ノ自發的ナル協力ヲ求メルト云フヤ  
ウニシテ、サウシテ民間ノ大體宜イト言  
タノヲ許可シテ行クト云フヤウナ方法ヲ執  
ルコトガ、私ハ此ノ制度運用ノ上ニ於テ、  
新シクサウ云フコトヲ御考ヘナラニ上ニ於テ  
最モ適切デハナイカ、斯ウ云フヤウニ私思  
ツタノデアリマス、是ハ將來ノ問題デアリ  
マスカラ唯私ハ希望ヲ述ベルニ止ママス、

大變貴重ナ時間ヲ戴キマシテ恐縮デス、是  
デ私ノ質問ヲ終リマス

○金井圭奎 名川君質問アリマスカ  
○名川委員 アリマス、私ハ司法大臣並ニ  
内務大臣ニ御尋致シタイト思フノデアリマ  
ス、是カラ尋ネマスコトハ先日此ノ分科會  
ニ於キマシテ同僚石坂豐一君ヨリ内務大臣  
ニ御尋致シマシタコトデゴザイマシテ、内  
務大臣ニ對シテハ其ノ結果ニ付テノ御報告  
ヲ御尋スルノデアリマス、司法大臣ハ其ノ  
當時オ居デニナラナカッタコトデゴザイマ  
スルカラ、其ノ事ニ付テ改メテ御尋スルノ  
デアリマス、其ノ點ハ去ル二月十四日ノ豫  
算總會ニ於キマシテ、私ガ司法大臣ニ御尋  
致シマシタ富山縣ノ補缺選舉ニ付テ、選舉  
違反ノ檢舉ノ方法ニ人権蹂躪ノ事實ガアル  
ト云フコトニ付テ司法大臣ノ御答辯ガアリ  
マシタ、速記録ニ依ツテ見マス、其ノ一  
節ニ「尙又富山縣ノ件ニ付テノ御話デアリ  
マシタ、直チニ檢察長ヲシテ檢察正ニ其  
ノ事實ノ調査ヲ命ジ、當時聞キマスレバ司  
法省ノ方カラモ檢舉ニ對シテ調査ヲ命ジタ  
サウデアリマスガ、其ノ時ノ檢察正ノ報告  
ニ依リマス、今御指摘ニナリマシタヤウ  
ニ、十歳以下ノ小學校ニ行ツテ居ル子供ヲ  
調べたり、或ハ又夜半名前ハ忘レマシタガ  
取調べタヤウナ妥當ヲ缺イタ點ガアツタリ  
シマシテ、當時ノ警察部長ニ將來ヲ能ク注  
意スルヤウニ嚴戒ヲシタ次第デアリマス」  
斯ウ云フコトガ御答辯ニアツタノデアリマ  
ス、然ル所二月十八日富山市ヲ發行致シ  
マス富山日報ト題スル新聞ニ「木村法相ノ  
答辯ハ七百警察官ヲ侮辱、人権蹂躪ノ事實  
ナク嚴戒云々ハ嘘ダ、當時ノ警察部長渡

邊縣特高課長憤慨シテ語ル」ト云フ題ノ下ニ  
「十四日衆議院豫算總會ニ於テ名川侃市代  
議士ハ檢察事務改善ニ關シ昨年五月十日執  
行サレタ本縣衆議院議員補缺選舉違反事件  
取調ノ際、人権蹂躪ノ事實アツタ」ト言ツタノ  
ニ對シテ、木村法相ハ「當時ノ警察部長ヲ嚴  
戒シタ」ト言ツテ居ルガ、此ノ木村法相ノ  
言辭ハ事實無根デアリ當時ノ警察部長大島  
弘夫氏ハ現在内務省外事課長ノ椅子ニ在ッ  
テ斯ルコトヲ言明シテ居ル、又同問題  
ニ就テ當時警察課長デアツタ、現特高課  
長渡邊數英氏ハ憤慨シテ次ノ如ク語ル「昨  
年五月ノ衆議院議員選舉違反事件ハ石坂豐  
一代議士派ノ違反デアアルガ人権蹂躪ノ事實  
絕對ニナカッタコトヲ斷言スル、又當時ノ  
大島警察部長ハ絕對ニ嚴戒モサレナケレバ  
調戒モ受ケテ居ナイ、又内務省カラ同問  
題ニ對シテ先日照會アツタ時モ人権蹂躪ノ  
事實ノナイコトヲ回答シテアリ、當時富  
山地方檢察正デアツタ高橋久衛氏モ人権蹂  
躪ノ事實ハ絕對ニナカッタコトヲ言明  
シテ居ル、警察部長ヲ嚴戒ニシタコトヲ木  
村法相ノ言辭ハ實ニ不可解デアリ縣下七  
百警察官ヲ侮辱セルモノデアアル、又斯ル問  
題ヲ起シタ石坂代議士ニ對シテ執ルベキ手  
段モアルガ相手ニシテモ仕方ガナイカラ對  
手ニセズ積リデアアル云々ト斯ウ云フ記事  
ガアルノデアリマス、是ハ單ナル新聞ノ記  
事ダト言フテシマヘバソレマデノモノデア  
リマスルケレドモ、兎ニ角當時ノ警察部長  
ガ斯ウ云フコトヲ言ウタ、其ノ時ノ警察課  
長現ニ縣ノ特高課長ノ談話トシテ載セテ居  
リマシテ、木村司法大臣ノ答辯ガ嘘ダト斯  
ウ云フコトヲ言フテ居ル、吾々ハ木村司法  
大臣ガ議會ヲ欺イタモノトハ絕對ニ信ジマ

ス、是ハ木村法相ノ議會ノ答辯ハ眞實デ  
アルト固ク信ジテ居ル、併シ世間ニ於テハ  
或ハ此ノ新聞ノ記事ヲ信ジテ、法相ガ議會  
ヲ欺イテ居ルガ如クニ信ズル者ガアルカモ  
分ラス、或ハサウデナイト致シマシテモ、  
司法大臣ガ議會ニ於テ答辯致シタ事實ヲ地  
方ノ警官ガ、七百警察官ヲ侮辱シタモノデア  
ル、ソイツハ嘘デアルト云フヤウナコトヲ  
新聞ニ麗々シク書クト云フヤウナコトハ實  
ニ穩カナラヌ處置デアアル、是ハ官吏監督ノ  
上カラシテモ十分ニ御取締ニナツテ然ルベ  
キモノデアアルシ、又司法大臣ノ議會ノ答辯  
ト云フモノノ眞實性ヲ何處マデモ明ニスル  
爲ニハ、此ノ新聞ノ記事其ノモノガ嘘ヲ書  
イタノカ、本人ガサウ云フコトヲ言ツタノ  
カ、ソレ等ノ事實ヲ明ニシテ、若シ本人ガ  
斯ルコトヲ言ツテ居ルトスルナラバ、十分  
ニ之ヲ懲スル必要ガアルト思フノデアリ  
マス、今日我國ノ最モ憂トスル所ハ下剋上  
ダト思フ、多クハ申シマセスケレドモ、今  
日日本ノ國情ガ斯ウ云フヤウニナツテ居ル  
ノハ、下剋上ト云フノガ唯一ノ原因ダト思  
フテ居ル、此ノ弊害ハドウシテモ改メナケ  
レバナラヌ、斯ノ如ク麗々シク新聞ニマデ  
地方ノ警察官ガ時ノ司法大臣ヲ痛罵スルヤ  
ウナ、議會ノ言動ガ嘘デアアル、議會ニ於テ  
大臣ガ嘘ヲ言フモノデアルト云フガ如キコ  
トヲ公言シテ居ルノヲ、其ノ儘拾テテ置ク  
ト云フコトハ容易ナラヌコトデアルト思フ  
ノデアリマス、之ニ對シマスル所ノ司法大  
臣ノ御答辯、竝ニ内務大臣ニ於カレテハ過  
般質問ガアツタコトデアリマスカラ、御調  
査セラレタコトト思ヒマスカラ、其ノ經過  
ニ付テノ御答辯ヲ承リタイ

名川君ノ質問ニ答ヘマシテ、富山ニ於ケル  
選舉違反檢舉ニ際シマシテ、十四歳ノ者ヲ  
學校ニ於テ調べタコト云フコトハ、調べル必  
要ガアツタニシテモ妥當ヲ缺クト云フ見地  
ノ下ニ、當時ノ警察部長ニ將來ヲ注意シタ  
ト申シタコトハ、檢察正ノ報告ニ基イテ申  
上ゲタノデアリマス、尙ホ將來共ニ檢舉ガ  
適法デアリマシテモ、其ノ檢舉ノヤリ方ガ  
常識カラ考ヘテ妥當デナイヤウナ場合ニ於  
テハ、常ニ檢察正カラ其ノ捜査ノ當局ニ對  
シテ注意ヲ促シテ行ク積リデアリマス、隨  
テ富山ノ事例モ其一例ニ過ギナイモノト  
私ハ感ジテ居ツタノデアリマス、ソレデ地  
方新聞ニドウ云フコトガアツタカ知リマセ  
ヌガ、只今私ノ申シマシタコト、又先日豫  
算總會デ申シマシタコトハ、檢察正ノ報告  
ニ基イテ申シマシタコトハ、檢察正ノ報告  
シテ、其ノ報告モ亦眞實ナリトシテ御報告  
シタヤウナ次第デアリマス

○兒玉國務大臣 過日日本件ニ付テ質問ガ  
アリマシタノデ、事實ノ眞相ヲ明ニスル  
必要ガアリト思ヒマシテ、内務省ニ於  
テモ相當調査ヲ致シタノデアリマス、隨ヒ  
マシテ其ノ調査ヲ致シマシタル結果ヲ  
御話申上ゲテ、御答辯ヲ得ラレルモノナ  
ラバ御諒解ヲ得タイト思ツテ居リマス

○山崎政府委員 過日分科會ニ於キマシテ、  
石坂委員ヨリ富山縣ノ地方新聞ニ掲載サレ  
タ特高課長ノ談話ニ付テノ御質問ガアリマ  
シタノデ、即日富山縣廳ニ照會ヲ發シテ事  
實ノ眞相ノ報告ヲ求メタノデアリマス、其  
ノ報告ニ依リマス、二月十七日富山日  
報記者ノ某氏ガ縣廳ニ來テ、讀賣新聞ノ富  
山版其ノ他一二新聞ニ名川君ノ御質問  
ノ内容ガ掲載サレテ、ソレニ對スル司法大

臣ノ御答辯モ掲載サレタサウデアリマスガ、  
ソレニ付テ渡邊特高課長ニ其ノ記事ニ付テ  
ドウ思フカト云フ質問ヲ發シタサウデアリ  
マス、ソレニ對シマシテ特高課長ハ、司法  
大臣ノ御答辯ノ内容ハドウ云フモノカ速記  
ヲ能ク讀ンデ見ナケレバ分ラス、又警察部  
トシテ此ノ問題ヲドウスルカト云フコトハ  
自分ハ何モ考ヘテ居ラヌ、斯ウ云フコトデ  
アリマシテ、輕ク應酬致シマシタコトガ新  
聞記事ニ非常ニ誇大ニ取扱ハレタト云フ報  
告ハ其ノ通りデゴザイマスガ、私共ト致シ  
マシテハ、將來斯ウ云フ人権蹂躪ト云フヤ  
ウナ事實ガ絶エマスルヤウニ、出來ルダケ  
ノ努力ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトヲ  
付加ヘテ、此ノ際改メテ申上ゲテ置キタイ  
ト存ジマス

○名川委員 只今内務大臣及ビ警察局長ノ  
御説明ヲ承リマシテ、渡邊特高課長ガサウ  
云フコトヲ言フタコトハナイト云フコトデ、  
成程サウダラウト思フノデス、ソナコト  
ヲ一體官吏トシテ氣遣ヒデナイ以上言フ譯  
ハナイト思ヒマス、併シナガラ新聞ニハ斯  
ウ出テ居ル、若シ是ガ不實デアラナラバ、  
何故ニ新聞紙法ニ依ツテ此ノ取消ヲ命ジナ  
イノカ、取消ヲ命ジテ居ラヌデアリマセ  
ヌカ、是ハ私ハ渡邊特高課長ノ重大ナル責  
任ダト思フ、尙且ツ斯ウ云フヤウナコトヲ  
新聞ニ麗々シク書イテ司法大臣ヲ罵リ、議  
會ノ權威ヲ落シテ新聞ニウツト出シタ後ニ  
於テ、唯内務省カラ聴イテヤツタ、私ハ  
ソナコトハ言ヒマセヌト云フコトダケデ  
濟ムモノデアリマセヌト云フコトダケデ  
新ツタリ、殺シタリシテ警察ハ引ツ張ラレ  
テ「イエ私ハヤリハシマセヌ」ト言ツタラ



シテノ職責ニ於テ處理スルト云フコトハ困ノ改正ニ付キマシテハ、從來ガ内務省内ノキイ問題ガアルノデハナイカト思フノデアリ...

第一類第三號 豫算委員第二分科會議錄 第四回 昭和十五年二月二十一日

レデ済ミマスカ、済ミハシマスマイ、警察ナドデハサウ云フコトニナツタラ、拷問マデシテ事ノ真相ヲ御調ベニナル、是ダケノ事實ガアツタカナイカ、ソレダケノ報告デア...

御答辯ガアツタヤウニ承知致シテ居リマス、而シテ只今衆議院ノ方カラ若シモ選舉法ニ對スル改正案ガ出タラ、政府ハ之ヲ如何ニ取扱フデアラウカト云フ問題デア...

Table with 3 columns: 頁 (Page), 段 (Section), 行 (Line). Contains page numbers and session details.



昭和十五年二月二十一日印刷

昭和十五年二月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局



第七十五回帝國議會 豫算委員第三分科(大藏省)會議錄(速記)第一回

會議

昭和十五年二月十六日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

主席 矢野庄太郎君

中島彌次郎君

牧野 良三君

由谷 義治君

兼務 篠原 陸朗君

川崎 克君

田村 秀吉君

肥田 琢司君

田原 春次君

原 夫次郎君

二月十五日日本分科所屬員木暮武太夫君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月十六日助川啓四郎君當選シ本分科所屬員ト爲リタリ

同月十六日第五分科所屬員吉植庄亮君ハ本分科兼務ト爲リタリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

企畫院總裁 竹内 可吉君

興亞院總務長官 柳川 平助君

興亞院部長 日高信六郎君

關東局司政部長 今吉 敏雄君

大藏政務次官 木村 正義君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

前田房之助君  
水谷長三郎君

小川郷太郎君  
北 吟吉君

小笠原三九郎君  
石坂 豊一君

守屋 榮夫君  
吉植 庄亮君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏省爲替局長 中村孝次郎君

大藏書記官 永井 均君

大藏書記官 植木庚子郎君

大藏書記官 山田 義見君

預金部資金局長 廣瀬 豊作君

營繕管財局理事 松隈 秀雄君

專賣局長官 花田 政春君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中大藏省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中大藏省所管

(第一號)昭和十五年度歳入歳出總豫算追加案中大藏省所管

(特第二號)昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案中大藏省所管

○矢野主査 會議ヲ開キマス、政府委員カラ發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許シマス

○木村政府委員 御審議ニ先ダテ昭和十五年度歳入豫算並大藏省所管歳入歳出豫算ニ付キマシテ、其ノ概要ヲ説明致シマス、先ツ歳入豫算ニ付テ申上ゲマス

昭和十五年度歳入歳入額ハ、經常部三十三億四千五百十餘万円、臨時部二十四億七千七百八十餘万円、合計五十八億二千二百九十餘万円アリマシテ、之ヲ前年度豫算ノ金額ニ比較致シマス、經常部ニ於キマシテ七億六千四百七十餘万円、臨時部ニ

於キマシテ二億五千三百七十餘万円、合計十億千八百四十餘万円増加致シテ居ルノデアリマス、今昭和十五年度歳入豫算額ノ前年度豫算額ニ比シ増減ヲ來シマシタ主要ナル事項ニ付一應ノ説明ヲ申上ゲマス、先ツ經常部ニ於キマシテハ、租稅ニ於テ六億四千五百十餘万円、印紙收入ニ於テ六億三千二百餘万円、官業及官有財產收入ニ於テ八千二百餘万円、日本銀行納付金ニ於テ千七百七十餘万円、雜收入ニ於テ千二百四十餘万円、教育改善及農林振興基金特別會計ヨリ繰入ニ付テ五十餘万円、合計七億六千四百七十餘万円増加トナリマス

右ノ内租稅收入ニ於テ六億四千五百十餘万円増加致シマス、今同ノ稅制改革基キ四億四千餘万円増加致シマス、其ノ主ナル原因ヲ爲スモノデアリマス、今之ヲ各稅別ニ増減ノ著シキモノニ付説明致シマス、所得稅ニ於キマシテハ、分類所得稅及比綜合所得稅ハ、稅制改正ニ依リ本年度ヨリ新ニ收入スルモノデアリマシテ、前者ハ昭和十四年分第三種所得稅決定實後者ハ昭和十四年分第三種所得稅決定實ニ基キ調査致シマシタ所得額中五千圓ヲ超スル金額ニ相當ノ増加ヲ見込ミ計算シ、

第一種所得稅及第二種所得稅ニ付テハ昭和十三年度決定所得額等ニ相當ノ増加ヲ見込ミ計算シ、又第三種所得稅ニ付テハ昭和十四年度分決定稅額ニ相當ノ増加ヲ見込ミ計算シ、是等ノ合計額ヨリ稅法改正ニ依ル減少見込額ヲ控除致シマシタ結果三億九千七百餘万円ヲ増加致シマス

法人稅ハ、今回新ニ創設スルモノデアリマス、其ノ收入見込額ハ昭和十五年度法人課稅見込所得及資本額ニ依リ計算致シタノデアリマシテ、其ノ金額ハ二億六千四百八十餘万円デアリマス、特別法人稅モ亦今回新ニ創設スルモノデアリマス、其ノ收入見込額ハ產業組合等課稅該當法人ノ昭和十五年度ニ於ケル課稅見込額ニ依リ計算致シタノデアリマシテ、其ノ金額ハ三十餘万円デアリマス

次ニ地租ニ於キマシテハ昭和十四年四月一日現在有租地賃賃價格等ニ依リ計算シ、之ニ土地異動等ニ依ル増減見込額ヲ加除シ、更ニ稅制改正ニ依ル減少見込額ヲ控除致シマシタ結果、四千四百十餘万円減少致シマス

次ニ營業收益稅ニ於キマシテハ、法人營業收益稅ニ付テハ昭和十三年度決定純益額ニ相當ノ増加ヲ見込ミ計算シ、又個人營業收益稅ニ付テハ昭和十四年分決定稅額ニ相當ノ増加ヲ見込ミマシタモノヨリ稅法廢止ニ依ル減少見込額ヲ控除致シマシタ結果、六千二百九十餘万円減少致シマス

次ニ資本利子稅ニ於キマシテハ甲種資本利子稅ニ付テハ昭和十三年度課稅利子額等ニ相當ノ増加ヲ見込ミ計算シ、又乙種資本利子稅ニ付テハ昭和十四年分決定稅額等ニ依リマシタモノヨリ稅法廢止ニ依ル減少見込額ヲ控除致シマシタ結果、三千六百七十餘万円減少致シマス

第一類第四號 豫算委員第三分科會議錄 第一回 昭和十五年二月十六日



次ニ配當子特別税ハ今回新ニ創設スルモノデアリマスガ、其ノ收入見込額ハ昭和十三年度法人利益配當支拂額中一年一割超過額及昭和十三年度公債及社債利子税課税實額ニ依ル高利債利子支拂額ニ相當ノ減少ヲ見込ミ計算シタモノデアリマシテ、其ノ金額ハ二千餘萬圓デアリマス

次ニ酒税ニ於キマシテハ、酒類造石税及ビ酒類庫出税ハ税法制定ニ依リ本年度ヨリ新ニ收入スルモノデアリマスガ、其ノ收入見込額ハ昭和十五年度造石見込額、又ハ昭和十四年九月以前一箇年間ノ酒類庫出石高等ニ依リ計算シ、酒造税、麥酒税、酒精及酒精含有飲料税及ビ沖繩縣酒類出港税ニ付テハ昭和十四年九月以前一箇年間ノ査定石高等ニ依リ計算シマシタ額ヨリ税法改廢ニ依リ増減見込額ヲ加減致シマシタ結果、八百十餘萬圓ヲ増加致シマス

又遊樂飲食税ニ於キマシテハ、昭和十四年四月ヨリ九月マデノ間ニ於ケル課税料金額ニ基キ推算致シマシタ遊興又ハ飲食料金額ニ依リ計算シ、更ニ税法改正ニ依リ増減見込額ヲ加算致シマシタ結果、七千九百二十餘萬圓ヲ増加致シマス

次ニ取引所税ニ於キマシテハ取引所特別税ハ税法改正ニ依リ本年度ヨリ新ニ收入スルモノデアリマシテ、昭和十五年度賣買手數料收入見込額ニ依リ計算シ、取引所及ビ取引所營業税ニ付テハ昭和十四年九月以前一箇年間ノ課税標準額ニ米穀配給統制法實施等ニ依リ増減見込額ヲ計算シ、更ニ税法改正ニ依リ増減見込額ヲ加減致シマシタ結果、九十餘萬圓ヲ増加致シマス

其ノ他外貨特別税、相續税、砂糖消費税、織物消費税、通行税、入場税等ニ於キマシテ各、相當額ヲ増加シテ居リマスガ、法人資本税、公債及社債利子税等ニ於キマシテハ、各若干ノ減少ト相成ツテ居リマス

印紙收入ハ昭和十四年九月以前一箇年間ノ實收額ニ相當ノ増加ヲ見込ミ、之ニ本年度ニ於テ新ニ増加スベキ分ヲ加算シ、更ニ税法改正ニ依リ増加見込額ヲ加算致シマシタ結果、千六百三十餘萬圓ヲ増加スルコトナルノデアリマス、又官業及ビ官有財產收入ハ製造業賣渡價格及ビ「アルコー」賣渡價格ノ改定等ノ爲專賣局益金ニ於テ八千三百十餘萬圓ヲ増加シ、又森林收入ニ於テ研究製備下代、木竹拂下代ノ收入多キ等ノ爲、二千五百四十餘萬圓ヲ増加致シマス、配當金收入ニ於テ本年度新ニ政府出資特別會計ヲ設置スルニ伴フ三千六十餘萬圓ノ減少ガアリ、刑務所收入其ノ他ニ於テ若干ノ増減ガアリマス、ニ拘ラズ、結局八千二百餘萬圓ヲ増加ナルノデアリマス、日本銀行納付金ニ於テ千七百七十餘萬圓ヲ増加致シマス、ハ、昭和十五年ニ於ケル日本銀行ノ純益見込額多キ爲デアリマス

雜收入ニ於テマシテ千二百四十餘萬圓ヲ増加致シマス、ハ、職業紹介所費地方負擔金及ビ雜入等ニ於テモ若干ノ減少ヲ來シテ居リマス、ガ、競馬會納付金ニ於テ五百九十餘萬圓、免許及ビ手数料ノ收入ニ於テ五百二十餘萬圓等ノ増加ガアルノニ依ルモノデアリマス

次ニ臨時部ノ普通歳入ニ於キマシテハ、臨時利得税ニ於テ二億六千十餘萬圓、官有物拂下代ニ於テ百七十餘萬圓、公共團體工事業分擔金ニ於テ二百九十餘萬圓、雜收入ニ於テ五千五百九十餘萬圓、其ノ他ニ於テ三十餘萬圓ヲ増加致シマス、補償收入ニ於テ百六十餘萬圓ヲ減少致シマス、ニ拘ラズ、差引三億千九百四十餘萬圓ヲ増加トナルノデアリマス、尙ホ公債金收入ニ於テ五千六百五十餘萬圓、前年度剩餘金繰入ニ於テ九百十餘萬圓ヲ減少致シマス、結局臨時部總額ニ於キマシテハ、二億五千三百七十餘萬圓ヲ増加トナルノデアリマス

今右増減ノ主要ナルモノニ付大體ノ説明ヲ致シマス、先ツ臨時利得税ニ於テ二億六千十餘萬圓ヲ増加致シマス、ハ、法人臨時利得税ニ付テハ從來ノ税法ニ依リ決定スル分ハ、昭和十三年度ニ於テ第一種所得稅ノ決定アリタル法人ニ付調査シマシタ利得額等ニ相當ノ増加ヲ見込ミ計算シ、改正税法ニ依リ決定スル分ハ、昭和十五年度法人推定所得額ニ基キ調査致シマシタ利得額ニ依リ計算シ、又個人臨時利得税ニ付キマシテハ、昭和十四年分決定利得額ヲ基礎トシ、税法改正ノ趣旨ニ依リ調査致シマシタ利得額ニ相當ノ増加ヲ見込ミ計算致シマシタ結果ニ依ルモノデアリマス

增加致シマス、ハ、新ニ政府出資特別會計ヨリ繰入ニ係ル二億圓ノ收入ガアリマス、ガ、兌換銀行整理法納付金四千七十餘萬圓ノ増減及ビ資金特別會計ヨリ繰入其ノ他若干ノ増減ニ拘ラズ、結局右金額ノ増加トナルヲデアリマス、此ノ内政府出資特別會計ヨリ繰入ハ政府出資特別會計法ノ規定ニ依リ、當該特別會計ニ歸屬セシムベキ政府出資ノ拂込金相當額中昭和十五年度ニ於テ繰入ルベキ見込額ヲ計上致シタモノデアリマス、公債金ハ滿洲事件公債及ビ繰借入金ニ於テ三億六千四百餘萬圓ヲ削減致シマス、繰入補償公債及ビ繰借入金ニ於ケル三億六千七百七十餘萬圓ヲ増加トシ、震災善後公債及ビ繰借入金金並ニ道路公債及ビ繰借入金金ニ於ケル多少ノ増減トヲ加除致シマシテモ、尙ホ五千六百五十餘萬圓ヲ減少致シタデアリマス、以上申述ベマシタ外款項ニ依リ多少ノ増減ガアリマス、ガ、特ニ取立テテ申上ゲル程ノコトハゴザイマセ

最後ニ別途提出致シマシタ昭和十五年度總豫算追加第一號ニ計上致シマシタ歳入追加額ノ内譯ニ付キマシテハ、其ノ豫算總會計ニ於テ説明致シマシタ通りデアリマス、以上ヲ以テ昭和十五年度歳入豫算ノ説明ト致シマス、尙ホ詳細ニ付キマシテハ御質問ニ應ジテ御答申上ゲタイト存ジマス

次ニ昭和十五年度大藏省所管歳出豫算ニ付キマシテ、其ノ概要ヲ説明致シマス、昭和十五年度歳出豫算追加第一號ハ、經常部四千六百二十餘萬圓デアリマシテ、右ハ臨時軍事費豫算追加ノ財源タル支那事件公債ヲ發行スルノト、昭和十五年度歳入補償公債ヲ發行シテ、昭和十五年度歳入補償公債ノ發行額及ビ發行諸費ヲ要シマス、ハ、一般會計ヨリ國債整理基金特別會計ニ繰入ヲ爲サントスルモノデアリマス

億七千四百餘萬圓、臨時部ニ於テ四千八百二十七萬餘圓、合計二億二千二百三十二萬餘圓ヲ増加シテ居ルノデアリマス、右増加額ハ前年度豫算ノ金額ニ比較致シ増減差引ノ結果デアリマス、是ガ増減ヲ來シマシタ重要ナル事項ニ付キマシテ一應ノ説明ヲ致シマス、増加ノ主ナル事項ハ爲替相場ノ變動ニ基キ經費ノ増加七千二百三十三萬餘圓、税制改正ニ關スル經費四千四百四十餘萬圓、臨時軍事費其ノ他會計檢査ニ要スル經費ノ増加九萬餘圓、東京、大阪及ビ名古屋市内稅務署分廳ニ要スル經費七萬餘圓、國債整理基金繰入金ノ増加一億四千八百三十五萬餘圓、國庫準備金ノ増加六千七百七十九萬餘圓、新規續費ノ増加千五百三十四萬餘圓、家屋賃賃價格調査ニ要スル經費總額五百九十九萬餘圓ノ内二百三十八萬餘圓小額紙幣製造ニ要スル經費三百五十六萬餘圓、關東局經費補充金ノ増加四百三十四萬餘圓、紀元二千六百年式典ニ關スル經費三十五萬圓、支那事件行費ニ關スル經費八百八十九萬餘圓、興亞院及ビ同連絡部ニ關スル經費二千六百七十一萬餘圓、興亞文化事業ニ關スル經費千七百餘圓、補助費ノ増加五百五十四萬餘圓、臨時軍事費特別會計ニ繰入六億圓等デアリマス

次ニ減少額ノ主ナル事項ハ削減又ハ繰延ニ依リ節約額九百八十八萬餘圓、税制改正ニ伴フ經費ノ減少九百六十六萬餘圓等デアリマス、右ノ内稅制改正ニ關スル經費ノ増加ハ中央地方ヲ通ズル稅制ノ改正ニ伴ヒマシテ、是ガ徵收費ノ増加ヲ要シマス、ト、稅務監督機構等ノ充實、其ノ他納稅知識ノ普及及徹底等ノ爲稅務相談所設置、其ノ他ニ依リ是ガ經費ノ増加ヲ要スルノ爲デアリマシテ、

臨時軍事費其ノ他會計檢査ニ要スル經費ノ増加ハ、支那事件ニ關スル臨時軍事費其ノ他豫算ノ増加ニ伴ヒマシテ、會計檢査能力ヲ充實スルノ必要ニ依リモノデアリマス、東京、大阪及ビ名古屋市内稅務署分廳ニ於ケル租稅ノ賦課及ビ徵收事務ノ増加ニ關シマシテ、之ヲ分離致シ、官民相互ノ利便ヲ圖ルト共ニ、課稅ノ適正ヲ期スル爲是ガ所要經費ヲ計上致シタ次第デアリマシテ、國債整理基金繰入金ノ増加ハ主トシテ支那事件公債ノ利子ノ増加ト歳入補償公債等新規發行ニ依ル國債利子ノ増加等トニ依ルモノデアリマス

次ニ新規續費ノ増加デアリマス、ガ、營繕費ニ於テ造幣局東京出張所廳舎、其ノ他擴張ニ要スル經費、印刷局工場新營ニ要スル經費、大阪簡易保險支局新營ニ要スル經費、何レモ事業増進ニ伴フ施設ノ新營擴張ニ依リモノデアリマシテ、專賣局「アルコー」製造工場新營ニ要スル經費「アルコー」製造專賣ニ伴ヒ、昭和十二年度ヨリ毎年度新營ヲ致シテ居リマス、本年度ニ於キマシテモ二箇所ノ新營ヲ計畫致シタ次第デアリマス

尙ホ陸軍航空本部建物、其ノ他新營費ハ、陸軍ノ内地航空防空兵力充備ニ伴ヒマシテ、是ガ新營ニ要スル經費ヲ計上致シタモノデアリマス、昭和十五年國勢調査ハ、法律ノ規定ニ依リ本年が第三回目ノ大調査ヲ施行スル年ニ當リマス、ト、之ニ要スル經費ヲ新規續費トシテ計上致シタノデアリマス、今同ハ從來ノ國勢調査ニ於ケル基本調査事項ノ外、所屬ノ産業、職業、技能等ニ關スル調査事項ヲ加ヘ、時局ノ急變ニ應ズル基本資料ヲ併セ

調査スルコトニ計畫致シタ次第デアリマス、更ニ家屋賃賃價格調査ハ、今回ノ稅制改正ニ依リマシテ、地方稅タル家屋稅ハ、昭和十七年分ヨリ國稅トシテ賦課徵收スルコトト相成リマス、是ガ調査ニ要スルモノデアリマシテ、小額紙幣製造費ハ補助貨幣ノ需要増加等ニ伴ヒマシテ、是ガ製造ニ要スル經費ヲ計上致シタモノデアリマス、次ニ關東局經費補充金ノ増加デアリマス、ガ、從來一般會計ヨリ支出致シマシタ在滿日本人教育費國庫負擔金等ハ、在滿大使館勤務部ノ關東局移管ニ伴ヒマシテ、同勤務部費ト共ニ關東局特別會計ヨリ支出ヲ要シマス、是ガ財源トシテ一般會計ヨリ關東局特別會計ニ補充金ヲ増加スルモノデアリマス、又支那事件行費ニ關スル經費ハ、事業ノ進展ニ伴ヒマシテ行費見込額ノ増加ノ爲勸業等ノ追加製造ヲ要シマス、等ノ爲デアリマス、尙ホ興亞院及ビ同連絡部ニ關スル經費及ビ興亞院文化事業ニ關スル經費ハ、引續キ是ガ經費ヲ要スル等ノ爲、紀元二千六百年奉祝會補助、東亞研究所補助、戰時物資活用協會補助及ビ東亞經濟懇談會補助、其ノ他何レモ事業助成ノ爲増額若クハ新規交付ヲ要スルモノデアリマス、終リニ臨時軍事費特別會計ニ繰入ハ、臨時軍事費財源トシテ本年度一般會計ヨリ繰入額ヲ豫定致シタモノデアリマス、以上一般會計歳出豫算ノ概要ヲ説明致シタノデアリマス

尙ホ大藏省所管各特別會計歳入歳出豫算ニ付キマシテハ、一括説明致シタモノデアリマス、便宜上御質問ニ應ジテ御答申上ゲタイト存ジマス

次ニ昭和十五年度大藏省所管歳出豫算追加第一號及ビ同各特別會計歳入歳出豫算追加第一號ニ付説明致シマス、昭和十五年度歳出豫算追加第一號ハ、經常部四千六百二十餘萬圓デアリマシテ、右ハ臨時軍事費豫算追加ノ財源タル支那事件公債ヲ發行スルノト、昭和十五年度歳入補償公債ヲ發行シテ、昭和十五年度歳入補償公債ノ發行額及ビ發行諸費ヲ要シマス、ハ、一般會計ヨリ國債整理基金特別會計ニ繰入ヲ爲サントスルモノデアリマス

次ニ昭和十五年度大藏省所管各特別會計歳入歳出豫算追加第一號ハ、國債整理基金及ビ公債金ノ兩特別會計ニ關スルモノデアリマシテ、右ハ支那事件公債ノ發行等ニ關スルモノデアリマス、以上ハ追加豫算ニ付大體ノ説明ヲ致シタノデアリマス

○矢野主査 是ヨリ通告願ニ依ツテ質疑ヲ許シマス——水谷長三郎君

○水谷委員 先ツ企業院總裁ニ御尋致シマス、去ル十二月ノ衆議院ノ豫算總會計ニ於キマシテ、大藏大臣ハ小笠原同僚議員ノ質問ニ對シテ、日滿支經濟「プロダクト」ニ付テハ大體昭和十八年ヲ目標ニシテ興亞院、企業院等ニ於テ計畫シテ居ル旨ヲ明ニサレタノデアリマス、即チ日滿支三國ニ於ケル生産力擴張計畫ガ此ノ年度ニ一應完成ヲ見テ、之ニ依ツテ必要物資ノ有無相通ズル自給自足經濟ガ出來ル上ト云フ旨ヲ明ニサレタノデアリマス、是ハ其ノ通り諒承シテ宜イノデスカ

○竹内政府委員 日滿支ヲ通ズル經濟圈ノ自主的ヲ相互的ヲ計畫ノ年度ノ問題デゴザイマス、御承知ノ通り昨年議會ニ於テモ御説明申上ゲマシタ通り、現在國內デヤツテ居リマス生産擴張計畫ハ三十三年カヲ始マ



リマシテ、十六年度ニ終ルト云フコトニナ  
ツテ居リマス、大體ソレト描ヘテ第一期計  
畫ガ日滿支ヲ通ジテ出来テ居ル譯デアリマ  
ス、唯其ノ中物資ニ依リマシテ、其ノ計畫  
ヲ多少變更シナケレバナラナイ物等ガゴ  
イマシテ、サウ云フ物ヲ綜合シマス、先  
般大藏大臣ガ御答ニナリマシタヤウナ年度  
ニナル、斯ウ云フコトト御諒解ヲ願ヒタイ  
ノデゴザイマス、其ノ時分ニナツタナラバ  
ソレレハ自給ガ出来ルカト云フ御話デゴザ  
イマスガ、是ハ物ニ依リマシテハ、所謂自  
給自足ヲ目標トシテ居ルモノ、デゴザイマ  
ス、併シ物ニ依リマシテ、ソコマデ行キ  
ネル物ハ無論アル譯デゴザイマス

○水谷委員 多分去年ノ三月八日デアツタ  
ト思ヒマス、日ニチハ一日位違フカモ知  
ラセヌガ、衆議院ノ豫算總裁ノ要望ニ應  
ラレマシテ、當時ノ企業院總裁ノ青木サン  
ガ、公開ノ席上デ説明サレマシタ所ニ依  
リマス、昭和十三年度ヲ基準ニシテ、十  
六年度ニ大體完成スル物資ノコトヲ述ベラ  
レ、サウシテ第二ノ點ニ於テ、十六年末日滿  
支ヲ通ジテ大體自給自足出来ル物ハ、鐵  
鋼、石炭、輕金屬、亞鉛、曹達、硫酸、パ  
ルプ、鐵道車輛、自動車、船舶ナドデ、是  
ガ十六年度ニ於テ日滿支ヲ通ジテ大體自給  
自足出来ルコト云フコトヲハツキリサレタ  
アリマス、所ガ只今ノ企業院總裁ノ御言  
葉、或ハ先ノ大藏大臣ノ御言葉ニ依リマス  
ト、斯ウ云フヤウニ去年十六年度末デ大體  
日滿支ヲ通ジテ自給自足出来ルト云ハレ  
タ、主トシテ生産力擴充ノ十五品目デスガ、  
サウ云フ物ニ含マレテ居ル物ハ二年遅レテ  
十八年度ニ於テ完成出来ル、而モ其ノ中ノ  
或物ハ十八年度ニナツテモマダ完成出来ナ

イト云フ工合ニ諒解シテ宜イノデスカ  
○竹内政府委員 私前段申上ゲマシタ通  
リ、十六年度第一期ノ生産擴充計畫ノ目  
標ニ致シテ居ルノデアリマス、唯物ニ依  
リマシテ、特ニ滿洲デゴザイマスガ、十八年  
度ト云フ風ニ變更スル積リノモノガアルノ  
デアリマシテ、サウ云フヤウナ意味デ先般  
大藏大臣カラ十八年度ト、斯ウ云フ御話デ  
アツタノデアリマス、内地ノ計畫等ハヤハ  
リ當初ノ計畫通りニ進ミタイ積リデ行ツテ  
居リマス、ソレカラ今品物ヲ御舉ゲニナリ  
マシタガ、是ハ少シ取調ベル必要ガアルノ  
デスガ、昨年モ秘密會デ申上ゲタコトデハ  
ナイカト思フノデアリマス、調ベマシタ結  
果、或ハ速記簿カラ削ツテ裁カナケレバナ  
ラヌカト思ヒマス、私一寸サウ云フ記憶デ  
アリマスノデ、現狀カラ申シマシテモ、御  
答致シマスノヲ留保シテ置キタイト思ヒマ  
ス

○水谷委員 衆議院議員ノ末席ヲ汚シテ居  
ル私トシテ、無責任ナコトハ斷ジテ申サス  
ノデアリマス、ソレハ最初ノ物動計畫ノ點  
ハ秘密會デ言ハレマシテ、民政黨ノ堤同僚  
議員ノ切ナル希望ニ依リマシテ、昭和十四  
年三月八日、ハツキリト此ノ點ハ名前ヲ舉  
ゲテ言ハレタ、サウシテ天下ノ各新聞ニモ  
此ノ點ハ皆出テ居ツテ、其ノ當時ノ豫算總  
裁ノ一大收穫トシテハツキリ載セテ居リマ  
スカラ、此ノ點ハ一ツ私ヲ信用サレテ、御  
答辯下サランコトヲ望ミマス

○竹内政府委員 今ノ點ハ私ノ記憶違ヒデ  
アツタカト思ヒマス、併シ現狀ニ於テ是ガ  
ドウ云フ状態ニナルカト云フコトハ此處デ  
御答スルコトヲ留保シタイト思ヒマス

○水谷委員 サウシマス、具體的ナ御答  
辯ハ要スル致シマセヌガ、日本内地ニ於ケ  
ル分擔ハ十六年度ニ於テ完成出来ルガ、滿  
洲ニ關スル物ダケガ十八年度マデ延ビルト  
云フ風ニ思ツテ宜イノデスカ

○竹内政府委員 是ハ日本ダケニ限ラズ滿  
洲モサウデゴザイマスケレドモ、今後ノ資  
材勞務ノ供給如何ニ主トシテ依ルコトデゴ  
ザイマシテ、今ハハツキリト申上ゲテ兼  
ノデゴザイマス、唯方針トシマシテハ、只  
今私ノ申上ゲマシタヤウナ目標ニ進ムベク  
極力努メテ居ル、斯ウ云フ狀況デゴザイマ  
ス

○水谷委員 今度ノ豫算ニ於キマシテ皆ガ  
心配シテ居ルノハ、物ト金トノ「バランス」ノ  
點デゴザイマス、而モ十三年度ヲ基準ニシ  
テ十六年度僅カ四箇年、ソレガ只今ノ所デ  
ハ更ニ二年延ビルト云フコトニナリマス、  
極メテ大マカナ議論ヲ致シマスレバ、十三  
年度ヲ基準トシテ四箇年ノ生産力擴充計畫  
ハ、殆ド半分シカ從來ノ成績カラ言ヘバ行  
ツテ居ラナカツタト云フヤウニ取レマシ  
テ、吾々ハ此ノ點ヲ非常ニ憂フル次第デア  
リマス、ソコデ私ハ企業院總裁ニ御尋スル  
ノデゴザイマスガ、前ノ此ノ公開ノ席上ニ於  
テ青木企業院總裁ハ、石炭ハ何割増ストカ、  
或ハ「アルミニウム」マダ増シムハ何割  
増ストカ、或ハ銅、鉛、亞鉛、錫、揮發油、  
人造石油、重油、人造ノモノ、自然ノモノ、  
無水「アルコール」曹達灰、苛性曹達、工業  
鹽、硫酸「アムモニヤ」パルプ、是ハ勿論製  
紙用ト人相用ニ分ケテ、ソレカラ金、工作  
機械、機關車、客車、貨車、自動車、羊毛ト  
云フ工合ニシテ、一々此處デソレガ何倍、  
何割ニナルト云フコトハ言ヒマセヌ、是ハ  
新聞ニ出テ居リマスカラ言ツテモ差支アリ

バナラヌト云フ場合ニ於キマシテハ、国力  
ニ應ジテ積極的ノ豫算ヲ編成出来レバシタ  
イノガ當然デアアル、私等ハ今日此ノ大キナ  
戰爭ヲヤリ、又長期建設ヲヤツテ居ル時ニ  
消極的ノ豫算ヲ編成スルコト云フコトハ、是  
ハ出来ナイコトデアリマシテ、国力ノ許ス  
範圍ナラバ積極的ノ豫算ヲ編成スルコトハ日  
本國民トシテ當然ノ義務デアアル、デアアルカラ  
其ノ點ヲ特ニ御聽スルノデアリマス、勿論  
生産力擴充、物動計畫ノ具體的ノ詳シイコ  
トハ、或ハ公開ノ席上云々ト云フ御言葉ガ  
アルカモ知レヌガ、少タトモ去年青木サン  
ガ發表サレタ其ノ部分ニ對應スルダケデモ、  
公開ノ席上或ル程度發表サレルト云フコト  
ハ、私ハ此ノ物動計畫ノ結果ト致シマシテ、  
國民ニ與ヘル生活ノ重壓ヲ撥飛バシテ、國  
民ヲ眞ニ協力サスト云フ點カラ申シマシテ  
モ、私ハ必要デハナイカト思フノデアリマ  
ス、大藏大臣ハ途中カラ出デニナツタノ  
デアリマスガ、私ノ是マデノ企業院總裁ト  
ノ問答ノ要點ハ、大臣ガ去ル十二日小笠原  
同僚議員ノ御質問ニ對シマシテ、日滿支、  
ロク「レ」付テハ、大體十八年度ヲ目標ニシ  
テ、興亞院企業院ニ於テ計畫シテ居ル、十八  
年度ニナレバ日滿支自給自足ノ大體ノ目鼻  
ガ付クト云フ答辯ヲサレタニ對シマシテ、  
去年青木企業院總裁ハ、昭和十三年度ヲ基準  
ニシテ、四箇年計畫ヲ立テ、十六年度ニ於  
キマシテ日滿支「プロダク」經濟ガ大體立ツト  
言ハレタニ對シマシテ、二年延長ニナツテ居  
ル、斯ウ云フヤウナ生産力ノ不完全ト申シ  
マセウカ、擴充ノ不完全ト申シマスカ、サ  
ウ云フ點ニ關シマシテ、今企業院總裁ト問  
答シテ居ツタノデアリマス、ソコデ此ノ所  
謂去年ノ場合ト今年ノ場合ト二年ノ喰違ヒ

ガアル、其ノ生産力擴充計畫ニ支障ヲ來シ  
タト申シマスガ、サウ云フ點ノ原因ハ一體  
何處ニアルカ、其ノ點ヲ一ツ御聽シタイト  
思ヒマス

○櫻内國務大臣 私が豫算委員會ニ於テ十  
八年度ト申シマシタノハ、實ハ大體ノ計  
畫ハ十六年度デアリマスガ、其ノ中日滿ノ關  
係ニ於キマシテ、數種ノ品物ガドウシテモ  
二箇年程延長シナケレバナラヌモノガアリ  
マシテ、結局十八年度ト云フコトヲ私ハ答  
辯シタノデアリマス、大體ハ十六年度ニ於  
テ終ルト思ヒマス

○水谷委員 ソレデハ數種ノ品物トハ何ヲ  
指スノデアリマスカ

○竹内政府委員 其ノ例ヲ舉ゲマスト鐵、  
鐵鋼ナドガ其ノ一ツノ例ト思ヒマス、其ノ  
遅レタ原因ニ付テ先程御尋ガゴザイマシタ  
ガ、是ハ色々原因ガアル譯デゴザイマス、  
何分ニモ十四年ハ天災ガ相當色々アツタ譯  
デアリマス、斯ウ云フ不可抗力ニ依ル豫期  
シナイコトガ色々方面ニ影響シマシテ、  
隨テ資材等ノ上ニ於テ豫定ノ通り行カナク  
タト云フコトガ一番主ナ原因デアリマス、  
是ガ各方面ニ響イテ居リマス

○水谷委員 ソレデハ十八年度ニ數種ノモ  
ノガ完成サレルト云フコトデアリマスガ、是  
ハ歐羅巴ノ戰爭ガ何時マデ續クト云フコト  
ヲ考慮ニ入レテヤラレテ居ルカ、或ハ日米  
通商協約廢棄ノ結果ガドウナルカト云フコト  
ヲ考慮ニ入レテヤツテ居ラレカ、此ノ間  
モ豫算總會ニ於キマシテ生産力擴充ノ多ク  
ノ部分ハ、英米依存ト云フカ、輸入物資ニ  
依ラナケレバナラヌト云フコトヲ言ツテ居  
ラレタノデアリマシテ、此ノ點ハ大ニ考慮  
シナクテハナラヌカト思ヒマス、或ハ其ノ

歐羅巴戰爭ガ長引ケバ是ガ長引クトカ、或  
ハ早ク終レバドウト云フコトガアリマスガ、  
此ノ十八年度ト云ハレタノハ、此ノ兩方ノ  
見透シニ對シテハドウ云フ計畫ヲ立テラレ  
テ居ルカ、御同致シマス

○竹内政府委員 全ク御話ノ通り、歐洲戰  
爭ノ今後ノ推移ト云フヤウナコトハ、非常  
ニ影響ガアルト思ヒマス、併シ大體ノ計畫  
ヲ立テル上ニ於キマシテハ、出来ルダケ各  
方面ノ意見ヲ持寄りマシテ、一ツノ想定ヲ  
作リマシテ、其ノ想定ノ上ニ立ツテ豫想ヲ  
立テテ居ルノデアリマシテ、大體現狀ニ於  
テ考ヘ得ルダケノコトヲ考ヘテ立テテ居ル  
ト云フコトヲ申上ゲル外ナイノデアリマス、  
亞米利加ノ問題ニ付キマシテハ、是モ大體  
同ジヤウナコトデアリマスガ、出来ルダケ  
重要物資ノ輸入先ト申シマスガ、ソレヲ分  
散スルコト云フヤウナコトノ努力ヲ一方ニ於  
テヤツテ計畫ヲ立テテ居リマス

○水谷委員 サウ致シマス、本決リノ物  
動計畫ハ三月一杯デスカ、四五月マデ延ビ  
マスガ、又ソレト豫算編成ノ基準ニサレマ  
シタ去年ノ概算ト申シマスガ、サウ云フモ  
トノ關係ヲモウ少シハツキリシテ載キタ  
イト思ヒマス

○竹内政府委員 來年度ノ物資動員計畫ハ、  
今非常ニ急イデヤツテ居リマスガ、三月中  
ニ出来ルカ、或ハ四月ニナルカト云フコト  
ニ付キマシテハ、出来ルダケ三月中ニハ拵  
ヘタイ積リテ努力ハ致シテ居リマス、併シ事  
情ガ非常ニ速ツテ參リマスノデ、今此處デ  
ハツキリト申上ゲラレナイノデアリマスケレ  
ドモ、非常ニ急イデ居ル、努力シテ居ルト  
云フコトダケヲ申上ゲマス

ソレカラ豫算編成ノ際、物ノ關係ヲ見テ

マセヌガ、其ノ中ニ於キマシテ大體見込通  
リニ行ツテ居ルモノハ何デアルカ、見込違  
ヒノモノハ何デアルカト云フ點ヲ一應御示  
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○竹内政府委員 第一段ニ、全般ノ日滿支  
ヲ通ズル計畫ガ二年延ビルト云フ譯デア  
イノデアリマス、是ハ前ニ申上ゲマシタ通  
リ、只今ノ所デハ豫定ノ目標通りニ、豫定  
ノ年度内ニヤルヤウニ努力致シテ居ルノデ  
デアリマス、唯例ハ滿洲ニ於ケル一二ノ品  
目等ニ付キマシテ、其ノ年度ヲ二年延バ  
必要ガアルノデハナイカト云フ、斯ウ云フヤ  
ウナ意味デゴザイマシテ、今後ノ物資努力  
ノ關係ニ主トシテ係ル譯デアリマス、只今  
ノ所ハ豫定ノ計畫通り進ムヤウニ努力致シ  
テ居リマス、コトヲ重ねテ申上ゲマス

ソレカラ生産擴充ノ品目ニ付テ、ソレガ  
豫定通り行ツテ居ルモノハ何カト云フコト  
ハ、十四年ノ實績ノ關係デゴザイマシテ、  
別ノ機會デ一應申上ゲタノデゴザイマスガ、  
今此ノ席上デ申上ゲマスコトハ留保願ヒタ  
イト思ヒマス

○水谷委員 只今企業院總裁ノ御答辯ガア  
リマシタガ、私等ノ希望トスル所ハ、少ク  
トモ昭和十四年三月八日青木企業院總裁ガ  
豫算總會ノ公開ノ席上デ説明ニサレタ部分ニ  
對應スルダケノ部分デモ、公開ノ席上デ述  
ベラレルノガ當然デアラウト思ヒマス、私  
等ハヤハリ今度ノ豫算ノ一番ノ眼目ハ、百  
三億ト云フ豫算ヲ折角編成致シマシテモ、  
ソレニ對シテ物ガ果シテ件ノカドウカト云  
フコトガ、是ガ同僚議員、又天下ノ人々ノ心  
配シテ居ルコトデアリマシテ、私等ノ立場  
トシテハ、現在ノヤウニ一方ニ於テ戰爭ヲ  
ヤツテ居リ、又更ニ長期建設ヲヤラナケレ



對策ヲ示サレルコトガ、民心ノ安定ノ上カ  
ラ申シマシテモ、非常ニ大事ナコトデハナ  
イカト思フノデアリマスガ、モウ豫算總會  
モ終リマシテ、分科會ニ移ツタノデアリマ  
スガ、其ノ對策ガアレバ、斯ウ云フヤウナ  
對策ガアルト云フコトヲハツキリト御示ニ  
ナルノガ宜イノデハナイノデスカ

○櫻内國務大臣 私ノ申シマシタノハ、現  
在ノヤリ方デハ駄目ト申シタノデアリマ  
ス、唯ドウシテモ市中ニ撒布セラレタ  
ル資金ヲ回收致シマスニハ、ヨリ一層新工  
夫ヲ盡シタモノヲ必要ト致シマス、ソレニ  
付キマシテハ考究中デアリマス、斯ウ申  
上ゲテ講デアリマス、而シテ此ノ市中ニ撒  
布セラレタル所ノ資金ヲ回收致シマス方法  
ト致シマシテハ、幾多ノ方法ガ考ヘラレル  
ノデアリマシテ、有ニルサウ云フ方法ヲ用  
ヒルコトモ必要デアリマセウガ、又其ノ中  
ノ特異性ノアルモノヲ採用スルコトモ必要  
デアルト思フノデアリマス、併シナガラ此  
ノ資金ノ回收ノ方法ヲ決定致シマスニハ、  
從來ノ金融機關トノ關係モアリマスシ、又  
從來ノ吸收ヲ居ツタモノトノ關係モア  
リマスシ、隨ヒマシテ今日研究致シマシタ  
コトガ果シテ適切デアルカ否カト云フコト  
モ考慮致サナケレバナラヌノデアリマシテ、  
サウ云フコトカラ、未ダ其ノ問題ニ對シテ  
モ確實ヲ得テ居ナイノデアリマス、併シナ  
ガラ何トシテモ是ハ適切ナル方法ヲ講ジ  
テ、撒布セラレタル所ノ資金ヲ少シクモ多  
ク回收致シテ、之ヲ資本化スルコトガ必要  
デアルト存ズルノデアリマシテ、今取急イ  
デ研究ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○水谷委員 只今ノ大藏大臣ノ御答辯ハ、  
ソレハ經濟雜誌ノ上ナラバ其處マデ宜イ  
ノデス、唯アナタガ責任アル當局者ト致シ  
マシテ、從來ノヤウナ通り一片ノ公債消化  
ノ方法、或ハ貯蓄獎勵デハ駄目ト云フコ  
トヲ言ハレテ、未ダニ研究中デアルト云フ  
ヤウナコトハ、結局大藏大臣自ラガ惡性、イ  
ンフレニ至リ豫算スルヤウナモノデアリ  
マシテ、是ハ私ハ大キキ問題デアラウト思  
フノデアリマス、研究中デアルト申サレマ  
シタガ、モウ近ク豫算ハ實行ニ入ツテ來ル  
ノデアリマシテ、少クトモ此ノ議會中ニ於  
テデモ、一日モ早く其ノ點ハツキリ示シ  
テ戴キタイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

中云々ト云フ御話デアリマシタガ、勿論議  
會中ニハ、其ノ考ヘテ居リマス所ノ一ツデ  
モ二ツデモ出シテ行キタイト考ヘテ居ルノ  
デアリマス

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會

○櫻内國務大臣 第一ノ所謂資金吸收ノ方  
法ニ付テ其體案ヲ特ニ出サヌノハ不都合デ  
ハナイカト云フ御話、ソレハ尙尤モデアリ  
マス、私非常ニ取急イデ居リマス、今議會



ヲ起セルト云フ風ナ方面ノ組織デアリマ  
スナラバ、是ハ副作用トシテ相當ノ效果ガ  
アルト思ヒマス、富蔵自身トシテハ、所謂  
射倖心ヲ挑發シテ、唯殆ド賭博の意味ニナ  
ルヤウナ債務デアリマシタナラバ、私ハ其  
ノ效果ニ付テマダ十分ナ見透シガ付イテ居  
リマセス

○水谷委員 サウスルト富蔵ノ反對ノ論據  
ハ射倖心ヲ唆ルト云フ一點ダケデ、其ノ他  
ニハ何等ノ反對根據ハナイノデスカ  
○櫻内國務大臣 其ハ其ノ反對ノ論據ト云  
フモノニ付キマシテハ幾ツモアルト思ヒマ  
ス、例ヘバソレガ金融界ニ及ボス所ノ影響  
デアルトカ、或ハソレガ生業ニ從事シテ居  
ル者ノ人心ニ及ボス影響デアルトカ、種々  
雜多ナ弊害ノ方ヲ見レバアルト思ヒマス、  
併シナガラ今日私ハマダ富蔵法案ヲ出スト  
云フ考ヲ持ツテ居リマセスカラ、隨ヒマシ  
テソレニ對シテ假定ノ事ニ付テ、一々其ノ  
理由ヲ申上ゲルコトハドウカト思ヒマス

○水谷委員 義ニ大藏大臣ハ本會議ニ於ケ  
ル同僚議員河上丈太郎君、或ハ豫算總會ニ  
於ケル同僚議員三宅正一君ノ質問ノ際ニ、  
公債消化ニ格別ノ金融機關論トカ、色々  
ナ點ガアリマシタガ、少クとも私ハ現在  
ノ公債消化ノ状態ニ應ジテ、金融機關ニ對  
シ、株式取得ニ限度ヲ設ケルコト、或ハ流  
動資金ノ貸出ヲ制限スルコトハ、或ハ銀行  
ノ公債保有額ノ増加ヲ圖ルト云フ三點程度  
ハ、或ル程度力強クヤラナクテハナラヌノ  
デハナイカト思フノデスカ、其ノ點ニ關ス  
ル大藏大臣ノ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマ  
ス

○櫻内國務大臣 株式ヲ所有スル限度ヲ設  
ケルコト云フ御話デアリマスガ、此ノ問題  
ニ對シマシテハ、只今ハ考ヘテ居リマセス、  
流動資金ノ調整ニ關シマシテハ、是ハ吾々  
深ク注意ヲ拂ツテ居ルノデアリマシテ、現  
在ニ於キマシテモ、資金調整法、其ノ他幾  
多ノ方法ヲ講ジテ居リマスガ、更ニ流動資  
金ヲドウ云フ風ニ導イテ行カト云フコト  
ニ付キマシテハ、是ハ深キ考慮ヲ拂ハナケ  
レバナラヌト思ヒマス、ソレカラ銀行ニ或  
ル一定ノ公債ヲ持タセルト云フコトニ付キ  
マシテハ、是ハ法律的ニ持タセルト云フコ  
トニ付キマシテハ、今日マダ之ヲ實行スル  
ト云フヤウナ考ヘ持ツテ居リマセス、併シ  
ナガラ現在此ノ金融業者、又銀行業者、即  
チ銀行業者等ガ國策ニ順應シテ、相當公  
債ノ消化ニ對シテ協力シテ呉レト云フノ  
デアリマシテ、今後モ一層其ノ協力ヲ強ク  
シテ呉レト云フコトダケハ、私ハ之ヲ確  
信シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ公債  
ノ消化ニ對シテ、多少デモ不安ナ状態ガ起  
ルト云フヤウナコトガアリマセバ、更ニ  
適切ナル方法ヲ考ヘナケレバナリマセスカ  
レドモ、今ノ所ニ於テハ、銀行ニ強制的ニ  
公債ヲ持タセルト云フ風ニハ考ヘテ居ラヌ  
シテ、是ハ雙方話合ヒ、即チ協力ヲ求メテ  
圓滿ニ公債ノ消化ヲ圖ツテ行キタイト、斯  
様ニ考ヘテ居リマス

○水谷委員 水谷委員ノ御意見ハ或ル程  
度私共モ御同意申スノデアリマスガ、唯其  
ノヤリ方ガ惡イト云フト、並作用ヲ起シマ  
スノデ、ソレ等ヲ實行シマス上ニ於テハ、  
最モ慎重ニ考慮シテヤラナケレバナラヌト  
考ヘテ居リマス、其ノ點ニ付テハ遺憾ノナ  
イヤウニヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス  
○水谷委員 ソレカラ大藏大臣ハ、是マデ  
ノ同僚議員ノ質問ニ對スル御答辯ニ依リマ  
シテ、公債ノ大衆化ト云フコトニハ、或ル  
程度考ヘテ居ルト云フコトヲ言ハレマシタ  
、更ニ又或ル同僚議員ノ御質問ニ對シテ、公債  
ノ大衆化ニ伴フ所ノ保全制度ト云フヤウナモ  
ノヲ考ヘテ居ルト云フヤウナコトヲ言ハレ  
タノデゴザイマスガ、其ノ點ニ關シマシ  
テ、具體的ノ如何カ結論ガ今アルノデセウ  
カ、或ハ公債ノ大衆化ト云フモノハ、從來  
通りニ郵便局ノ窓口デ賣出スト云フ程度  
デ、其ノ以外ニハ進メナイト云フノデスカ  
カ、其ノ點ヲモウ少シハツキリ伺ヒタイ

○櫻内國務大臣 公債ノ大衆化ニ付キマシ  
テハ、唯銀行ノ窓口デアルトカ、何トカト  
云フコトダケデハ十分ナ效果ヲ擧ゲナイダ  
ラウト思ヒマス、現在吾々ガ考ヘテ實行ノ  
緒ニ就イテ居リマスコトハ、要スルニ所謂  
勤勞階級ノ方カラ申シマス、半期ノ賞與  
金デアルトカ、手當デアルトカ云フヤウナ  
モノノ中デ、公債ヲ交付シテ、公債ヲ持ツ  
テ戴イタラト云フ方面ガアレバ、ソレハ是  
非持ツテ戴キタイト思フテ居ル次第デアリ  
マス是ハ任意的ニ其ノ話合ヲ付ケテ公債ノ  
消化ニ努力シテ居リマス、深ク此ノ公債ガ社  
會ニ保有サレルヤウニ希望シテ、ソレム  
各會社、各工場等ニ對シテモ、話合ヲシテ  
居ル點モアリマス

又保全制度ト云フ問題ニ付キマシテハ、  
是モ考ヘナケレバナラヌコトデアリマシ  
テ、今郵便局アタリニ於キマシテハ之ヲモ  
ウ既ニ保管ヲシテ、サウシテ保有ガ容易ニ  
出來ルヤウナ方法モ講ジテ居ルノデアリマ  
ス、其ノ點ヲモウ一歩進メ、何等カ良イ  
方法ガアルノデハナカラウカト云フコトモ  
研究ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○水谷委員 公債ノ大衆化ト云フ點ニ關シ  
マシテハ、今大藏大臣ノ御答辯ニナツタ通  
リデアリマスガ、唯ソレニ對シテ保全制度  
ガ伴ハナケレバ結局何ニモナラヌ、現ニ  
軍需工場地帯ナドデモ百圓ノ公債ナンカ  
ガマルデ紙幣同様ニナツテ居ルヤウナ狀

テ、具體的ノ如何カ結論ガ今アルノデセウ  
カ、或ハ公債ノ大衆化ト云フモノハ、從來  
通りニ郵便局ノ窓口デ賣出スト云フ程度  
デ、其ノ以外ニハ進メナイト云フノデスカ  
カ、其ノ點ヲモウ少シハツキリ伺ヒタイ

○櫻内國務大臣 消費ノ規正ヲ圖リマスコ  
トハ最モ必要ナコトダト思ヒマス、隨ヒマ  
シテ消費ノ規正ト消費ノ節約ト云フコトニ  
付キマシテハ、相當關心ヲ以テマシテ、ソレ  
ニ對シテ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、  
單ニ國民精神總動員ノ運動ニ止メズ、實際  
問題トシマシテモ是ハ行ハナケレバナラヌ  
問題デアリマス、ソレニ對シテ切符制度ノ  
問題ガ起ツテ來ルノデアリマスガ、切符制  
度ヲ行ヒマスコトハ私必ズシモ反對ハ致  
シマセスカレドモ、此ノ切符制度ヲ行

○櫻内國務大臣 消費ノ規正ヲ圖リマスコ  
トハ最モ必要ナコトダト思ヒマス、隨ヒマ  
シテ消費ノ規正ト消費ノ節約ト云フコトニ  
付キマシテハ、相當關心ヲ以テマシテ、ソレ  
ニ對シテ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、  
單ニ國民精神總動員ノ運動ニ止メズ、實際  
問題トシマシテモ是ハ行ハナケレバナラヌ  
問題デアリマス、ソレニ對シテ切符制度ノ  
問題ガ起ツテ來ルノデアリマスガ、切符制  
度ヲ行ヒマスコトハ私必ズシモ反對ハ致  
シマセスカレドモ、此ノ切符制度ヲ行

○櫻内國務大臣 消費ノ規正ヲ圖リマスコ  
トハ最モ必要ナコトダト思ヒマス、隨ヒマ  
シテ消費ノ規正ト消費ノ節約ト云フコトニ  
付キマシテハ、相當關心ヲ以テマシテ、ソレ  
ニ對シテ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、  
單ニ國民精神總動員ノ運動ニ止メズ、實際  
問題トシマシテモ是ハ行ハナケレバナラヌ  
問題デアリマス、ソレニ對シテ切符制度ノ  
問題ガ起ツテ來ルノデアリマスガ、切符制  
度ヲ行ヒマスコトハ私必ズシモ反對ハ致  
シマセスカレドモ、此ノ切符制度ヲ行

○櫻内國務大臣 消費ノ規正ヲ圖リマスコ  
トハ最モ必要ナコトダト思ヒマス、隨ヒマ  
シテ消費ノ規正ト消費ノ節約ト云フコトニ  
付キマシテハ、相當關心ヲ以テマシテ、ソレ  
ニ對シテ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、  
單ニ國民精神總動員ノ運動ニ止メズ、實際  
問題トシマシテモ是ハ行ハナケレバナラヌ  
問題デアリマス、ソレニ對シテ切符制度ノ  
問題ガ起ツテ來ルノデアリマスガ、切符制  
度ヲ行ヒマスコトハ私必ズシモ反對ハ致  
シマセスカレドモ、此ノ切符制度ヲ行

○櫻内國務大臣 消費ノ規正ヲ圖リマスコ  
トハ最モ必要ナコトダト思ヒマス、隨ヒマ  
シテ消費ノ規正ト消費ノ節約ト云フコトニ  
付キマシテハ、相當關心ヲ以テマシテ、ソレ  
ニ對シテ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、  
單ニ國民精神總動員ノ運動ニ止メズ、實際  
問題トシマシテモ是ハ行ハナケレバナラヌ  
問題デアリマス、ソレニ對シテ切符制度ノ  
問題ガ起ツテ來ルノデアリマスガ、切符制  
度ヲ行ヒマスコトハ私必ズシモ反對ハ致  
シマセスカレドモ、此ノ切符制度ヲ行



フト云フコトニ付テハ餘程準備方要リ、又之ヲ實行スル時ニハ、準備シテ後ニ急ニヤラナケレバ私ハ效果ガナク思ヒマス、假ニ或ル物品ニ對シテ切符制度ヲ行フサウダト云フ風ナコトガ見エマスレバ、直グニ物品ガ消費エテシマフノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ切符制度ヲ行ハントスル場...

○水谷委員 大藏大臣ニ對スル質疑ハモウ是デ結構デス 私マダ興亞院ニ聴キタイコトガアルノデスガ、柳川サンハ御見エニナリマセスカ  
○矢野主査 日高サンが見エテ居リマス、柳川長官が見エマシタカラ、水谷君ドウゾ繼續シテ下サイ  
○水谷委員 日高サンニ御尋スルノデゴザイマスガ、曩ニ同僚議員ヨリ支那ニ於ケル通貨問題ニ關シテ色々質問ガアツタノデゴザイマスガ、私ハ其ノ具體的ナ一點ト致シマシテ、長江開放ニ伴フテ中支ニ於ケル軍票ノ價值ノ維持ヲドウシテ行カ、其ノ具體策ガアレバドウ云フモノデアリカト云フ...

之ニ付キマシテハ出來ルケ種々ノ對策ヲ講ジマシテ、只今仰シヤイマシタ軍票ノ價值ノ維持ト云フコトハヤラナケレバナラヌト思フノデアリマス、一方カラ申シマス、此ノ放出量ノ問題ガアリマス、又他方カラ致シマス、ソレヲドウシテモ最後ノ所ハ物資ノ供給ニ依ル裏付ト云フ問題ニナルノデアリマス、一方ニ於キマシテ此ノ軍票ノ放出量ト云フモノヲ適當ニ考ヘル必要ガアリ、他面ニ於キマシテ此ノ物資ヲ日本カラ供給スル、而モ其ノ供給モ何ト申シマス、最モ有效ナル方面ニ有效ナル方法ト云フコトガ必要ト思ハレノデアリマス、自然其ノ物資ノ供給ノ問題ト云フコトガ必要ニナツテ參リマス、其ノ點ニ付キマシテハ今マデモ種々機構ガ出來テ居リマシテ、奥地ノ方マデ軍票ガ動イテ居リマス、軍票ニ依テ物資ヲ取得スルコトノ出來マスヤウナ仕組マセヨウシテ居ルコトノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテモ新シイ事態ニ應ジマシテ、配給ノ機構ト云フモノヲ餘程整備スル必要ガアル、又運用ヲ良クシマシテ、サウシテ日本カラ送り出シタモノガ上海邊ニ止ツタリ、ソレカラ一部ノ思惑トカ「スベキムレシ」ニナルト云フヤウナコトノ...

○水谷委員 サウシマス、此ノ軍票ト云フモノハ、新中央政府成立後モ其ノ價值ヲ下ノ期間位ハ維持シテ行ク積リデスカ  
○日高政府委員 將來ノ點ニ付キマシテハ種々機構ヲ關係モゴザイマス、只今色々見透シテ申サゲナイ方宜イト思フノデアリマス、何レニ致シマシテモ此ノ通貨ノ問題ハ、日本ノ軍事行動ガマダ進行シテ居リマス、ソレカラ又支那ノ民衆ノ生活ト云フモノニ非常ニ重大ナ影響ガアルノデアリマス、何レニ致シマシテモ急激ナ變化ハ是ハ避ケナケレバナラヌト云フコトハ、支那側ノ當局者モ眞面目ニ考ヘテ居ル點デアリヤウデアリマス、デアリマスカラ、蓋當リノ問題ト致シマシテハ軍票ノ流通、又ソレノ價值維持ト云フコトニ全力ヲ擧ゲテ私共トシテハ考ヘテ居ル次第デアリマス  
○水谷委員 大體はマデノヤウニ長江開放ノ價值維持ト云フモノニ關シテハ非常ナ努力ヲシタヤウデアリマス、ダカラ長江開放サレタ曉ニ於キマシテ、只今言ハレマシタヤウナ、通り一遍ノ御答辯デ、果シテ其ノ價值ガ維持出來ルカドウカト云フコトハ、大キナ疑問デアラウト思フノデアリマス、勿論理窟カラ申シマスレバ、日本カラ品物ヲ持ツテ行ツテ軍票ノ支柱ヲ擔ヘルト云フコトハハ當然ナコトデアリマスガ、ソレガ難カシイ、デはマデ豫算總會ニ於キマシテ、或ハ人ニ依レバ支那ニ對スル輸出ヲ擴大セイト言フシ、或ハ制限セイト云フコト...

ヲ言ツテ居ル、事實出來ナイノデ問題ガ出テ來テ居ル、所方直グ日本ガ軍票ノ支柱ダケノ物資ヲ誰デモ無條件ニ賛成シテ、持ツテ行ツテ宜イノダ、行ケルモノダト云フコトデアレバ問題ハナイノデスガ、其處ガ豫算總會ノ議論ヲ通ジテ真正面ニ對立スル意見ガアツタ點デ、ソレガ非常ニ難カシイト思フノデアリマスガ、ソコデ私ハ御尋シタノデゴザイマスガ、ヤハリ其ノ程度ノ御答辯ダケシカ得ラナイト致シマスレバ、是非ハ非常ナ努力ヲ要スルノデアリカ、或ハ又問題ガ極メテ微妙ナ問題ダカラ、何カ隱サレタ立派ナル對案ガアレバドウカ知リマセスガ、裏表ガ今ノヤウナ御答辯デアレバ、是非ハ非常ニ困難チヤナイカト思フノデアリマスガ、何カ長江開放後ニ於テ從來執ツテ居ラナカッタ適切ナ方法、御考ガアルカドウカト云フ點ヲ御尋シタイト思ヒマス  
○日高政府委員 軍票ノ價值維持ト云フコトハ中々骨ガ折レマスコトデアリマス、ト同時ニ殊ニ此ノ際最モ重要ナ問題デアルト云フ點ニ付キマシテハ、私共全部ソレヲ痛感シテ居リマス、私共素人デアリマスガ、色々ナ事情ヲ見マス、只今マデハ關係通貨トシテハ軍票ガ主ニナツテ居ルノデアリマスガ、軍票ノ價值維持ト云フコトニ付キマシテモ、有效ニ物ヲ使ヒマス、中々有效ニ動イテ居ルコト云フ實例ヲ近頃見マシテ、多少意ヲ強ウスル所モアルノデアリマス、御存ジノ通り最近ニ於キマシテハ上海ニ於テノ相場ガ實際ノ法幣トノ相場デアリマスガ、大體八十四位ノ所デズツト固ツテ居リマス、奥地ニ於キマシテハ軍票ノ方法ガ幣ヨリ強イト云フコトデアリマス、ソレデ其ノ點ガ先程一寸申シマシタ有效ナル所ニ有效...

ニ物ガ動イテ居ル、斯ウ云フコトガ實情ナノデアリマス、是ハ物ヲ動かシテ行クベカリデナク、又其ノ他ノ點モ考ヘル必要ガアル、又考ヘテ居ル所モアルノデアリマスカラ、軍票ノ價值維持ノ對策ニ付キマシテ一々具體的ニ申シマスコトモ、一寸軍票ノ性質上、又今ノ時期カラ致シマシテ難カシイノデアリマス、只今申シマシタヤウニ、大體ニ於テ軍票ノ價值ガ決マリマスノハ、現在ニ於テ上海ノ「マーケット」デアツテ、又奥地ハ其ノ地方ノ治安狀況デアリマス、カ、經濟狀況デアリマス、物資ノ出廻リ關係、コチカラ物資ヲ送りマス關係、上海ニ追隨シナガラモ、ソレヨリ軍票ノ價值ガ大體良イノデアリマス、デアリマスカラ何處ニ重點ヲ置イテ、ドウ云フ風ニ物ヲ送ツテヤレバ有效デアリカト云フコトハ、大體ヤリ方ニ依ツテ目方違フト云フコト、最近實驗シテ痛感シテ居リマス、現ニ昨年モ特ニ工夫シマシテ、軍票ノ價值維持ノ爲ニ有效ニ使フト云フコト、日本カラ物資ヲ送りマシテ居ルコトガアリマス、ソレガ私共ガ思ツテ居ルヨリモ非常ニ有效ニ效目ガアツタト云フコトハ、ヤハリ物ノ送り方配給ノヤリ方ト云フコトヲ一番有效ニヤルト云フ意味デ、物モ限ラレテ居リマスケレドモ、有效ニ使フト云フコト、其ノ他モ利用スルコト云フコトデ特ニ研究シテ居リマス  
○水谷委員 是ハ長官カラデモ經濟部長カラデモ、ドチカラデモ宜イノデスガ、新中央政府ノ經濟的基礎ハ一體何處ニ置カ、勿論日本ガ財政、金融、有ル方面ニ於テ新中央政府ヲ「サポート」シナケレバナラヌコトハ、是ハ明カナ點デゴザイマスガ、財...

政的基礎ト云フモノハ一體何處ニ置クベキカ、是ハ差支ナイト思ヒマスガ、大マカナ點デ宜イノデスガ、考ヘテ置キタイト思ヒマス、其ノ財政的基礎何處ニ置カト云フコト、長江開放ト云フコトガ絡ンデ來、法幣ノ問題ト云フコトガ出來ルト思フ、私ハ軍票ノ其ノ點ヲ明確ニシタイト思ツテ、只今御質問シタノデスガ、一體興亞院ト致シマシテ新中央政府ノ財政的基礎ハ何處ニ置クノデアリカ、ドウ云フ具體的ノ對策ガアルカト云フ點ヲ御尋シタイト思ヒマス  
○日高政府委員 新中央政府ノ財政的基礎ハドウ云フ所ニ置カ、斯ウ云フ御質問デゴザイマスガ、實ハ支那ノ政府ノ財政ト云フコトハ、是カラノ一番重要ナ問題デアリト思ツテ居ルノデアリマス、ヤハリ是ハ支那ノ中央政府ノ財政的基礎ト云フコトガ、支那ノ富ト支那人ノ資本ト云フヤウナモノニ據ツテ行クモノデアラウト思ツテ居リマス、デアリマスカラ今マデノ變則ナ、戰時ノ狀態デ、兩方デ行ハレテ居ツタノデアリマスカラ、是カラ新シイ中央政府ガ出來マシタナラバ、是ハ唯、今マデノヤウナ變則ノ狀態デアリノデアリカラ、漸次普通ノ定額ト云フコトガ、支那人ノ金物ガ動キ出テ來ルト云フコトガ、ヤハリ財政の一番重要ナ「ポイント」ニナルノデアラウト思ツテ居リマス、デアリマスカラ揚子江ノ奥地ノ物資ガ動キマス、デアリマス、是ハヤハハ新中央政府ノ財政的基礎トシテ考ヘルニ當リマシテハ、重要ナル「ポイント」デアラウト思ヒマス

○水谷委員 是ハ長官カラデモ經濟部長カラデモ、ドチカラデモ宜イノデスガ、新中央政府ノ經濟的基礎ハ一體何處ニ置カ、勿論日本ガ財政、金融、有ル方面ニ於テ新中央政府ヲ「サポート」シナケレバナラヌコトハ、是ハ明カナ點デゴザイマスガ、財政的基礎ト云フモノハ一體何處ニ置クベキカ、是ハ差支ナイト思ヒマスガ、大マカナ點デ宜イノデスガ、考ヘテ置キタイト思ヒマス、其ノ財政的基礎何處ニ置カト云フコト、長江開放ト云フコトガ絡ンデ來、法幣ノ問題ト云フコトガ出來ルト思フ、私ハ軍票ノ其ノ點ヲ明確ニシタイト思ツテ、只今御質問シタノデスガ、一體興亞院ト致シマシテ新中央政府ノ財政的基礎ハ何處ニ置クノデアリカ、ドウ云フ具體的ノ對策ガアルカト云フ點ヲ御尋シタイト思ヒマス  
○日高政府委員 只今御質問ノ點ニ付キマシテハ、私共全部ソレヲ痛感シテ居リマス、私共素人デアリマスガ、色々ナ事情ヲ見マス、只今マデハ關係通貨トシテハ軍票ガ主ニナツテ居ルノデアリマスガ、軍票ノ價值維持ト云フコトニ付キマシテモ、有效ニ物ヲ使ヒマス、中々有效ニ動イテ居ルコト云フ實例ヲ近頃見マシテ、多少意ヲ強ウスル所モアルノデアリマス、御存ジノ通り最近ニ於キマシテハ上海ニ於テノ相場ガ實際ノ法幣トノ相場デアリマスガ、大體八十四位ノ所デズツト固ツテ居リマス、奥地ニ於キマシテハ軍票ノ方法ガ幣ヨリ強イト云フコトデアリマス、ソレデ其ノ點ガ先程一寸申シマシタ有效ナル所ニ有效...



デアリマス、併シナガラ法幣ノ價值ガドウナルカト云フコトニ付キマシテハ、實ハ現地ニ於キマスル日本側バカリデナク、支那ノ眞面目ニ將來ノコトヲ心配シテ居ル人モ相當危惧ノ念ヲ持ツテ居ルヤウデアリマスソレト同時ニ法幣ノ發行權ガ向フニアリマス以上、向フガ又色々ナコトヲ考ヘルト云フコトモ考ヘ得ラレル、サウ云フ點ガアリマスノデ、法幣ガドウナツテモ驚カナイト云フ建前デ考ヲ廻ラシテ行ク必要ガアルデハナイカ、又先程カラ申シマシタヤウニ、財政經濟ノ點ニ付キマシテ急激ナ變化ヲナストカ、或ハ準備ナクシテ徒ニ形ノ上デ折シイ政權ガ出來タカラト云フツテ急激ナ變化ガ起ルト云フヤウナコトハ、是ハ特ニ注意スベキ點デアルト云フコトニ付テハ、總テノ人ガ認識シテ居ルと思ツテ居リマス、此ノ程度ノ御返事デハ如何デゴザイマセウカ

○水谷委員 法幣ニ對スル根本的對策ノ發表ハ、此ノ際ハ困ルト仰シヤルノデスカ

○日高政府委員 法幣ニ對シテ今直グドウスルカ、又ドウ云フ風デアルト云フコトハ、只今申上テマシタ程度デ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○水谷委員 ソレデハ最後ニ柳川長官ニ、新中央政府ノ內面的指導ノ問題ニ付テ一ツ御聽シテ置キタイト思ヒマス、曩ニ豫算總會デ同僚安藤議員ノ御質問ニ依ツテ、純正三民主義ト申シマスカ、修正三民主義ノ今後ノ行キ方ニ對シテ非常ニ考慮シナケレバナラス、絶エズ指導シナクテハナラヌト云フコトニナツテ居リマス、ソレニ關聯シテ新中央政府ノ內面的指導ヲ、ドウ云フ工合ニシテドウ云フ人ガヤルカト云フコトヲ聽キタイト思フ、例ヘバ之ヲ滿洲ノ例ニ取ツテ來

マスト、滿洲ノ貿易ナドハ、滿洲國成立前ニ比ベテ英吉利ナカハ大體八割程度増加シ、米國ナカハ二十數割増加シテ居ル、然ルニモ拘ラズ、滿洲國ニ對シテ色々ナコトヲ外國カラ言ハレルト云フノハ、是ハ色色ナ原因ガアリマスガ、滿洲國ノ內面的指導ノ性質如何ニ係ツテ居ルト云フノガ可ナリ大キナ原因デハナイカト思フノデアリマス、隨テ今度ノ江政權ガ成立致シマシテモ、勿論是ハ江政權ガ重慶トノ關係、日本トノ關係ト同ジヤウニヤハリ第三國トノ關係ト云フモノガ非常ニ大事デアラウト思フ、最近青島會議ノ後ニ於ケル汪兆銘氏ノ聲明ニ於キマシテモ、ヤハリ第三國トノ關係ヲ非常ニ氣ニサレタヤウナコトヲ言ツテ居ラレル、サウ云フ點ニナリマス、江政權ノ內面的指導ト云フモノガ非常ニ影響スルノデハナイカ、滿洲國ノヤウナ內面的指導ヲ日本ガヤリマスレバ、少クトモ第三國トノ關係ガ非常ニ密接ナル中支方面ニ於キマシテハ、必ズ失敗スルノデハナイカト云フヤウナコトヲ現地ノ人々、或ハ其ノ他ノ人々ガ言ハレルガ、ソレヲバ強チ頭カラ否定スル譯ニ行カヌト私ハ思フ、ダカラ新中央政府ノ政治的基礎ガ生レ更ツタ國民黨ヲ中心ニシテ、支那ノ色々ノ無黨無派有識者ト云フヤウナモノノ基礎ニ立ツテ居ルニ對應シマシテ、日本側カラノ內面的指導モ、單ニ一部ノ軍トカ官僚トカ云フ範圍ニ委スベキ問題デナシニ、是ハヤハリ國民黨ニ對應シタ所ノ國民的基礎ノ上ニ、此ノ新中央政府ノ內面的指導ヲ持ツテ行カナケレバ、一寸シタ經濟上ノ利益ヲ第三國ニ與ヘ、一寸シタ政治上ノ利權ヲ與ヘテモ、第三國トノ關係ノ調整ト云フモ

ノハ、滿洲國ノ例ニ徵シテモ私ハ百ク行カヌデハナイカト思フ、此ノ中央政府ノ內面的指導ニ關シテハ、興亞院トシテハ當然考ヘラレテ居ルコトデアラウト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ關シテ長官ノ忌憚ナキ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○柳川政府委員 新中央政府成立後ノ指導デゴザイマスガ、中央政府成立後ノ實際ノ狀況ニ應ジテ定メラレルコトデアラウト思ヒマシテ、各種ノ場合ヲ考ヘテ目下準備中デゴザイマス、御存ジノ通り只今ハ作戰ノ進行中デゴザイマスカラ、最初ノ間ハ軍力ノ強クナ支持ヲシテ、中央政府ニ實際ノ軍事上、政治上又經濟上ノ實力ヲ備ヘシムルヤウニシナケレバナリマセウガ、第一ハ當分ノ間ハ軍司令官ノ御指導ガ最初ノ一番強イヲ彼等自身ガ其ノ政治力、經濟力ヲ彼等自身ノ考テ動カシ得ルヤウニナルヤウニ援助シテ行ナケレバナラヌト思ヒマス、隨テ其ノ協力ノ仕方ニ於テモ滿洲國ノ通リトカ、是ト違フトカト云フ風ニ豫メ決定ハシニクイダラウト思ヒマス、各種ノ場合ヲ考ヘテ、其ノ中央政府ノ成育程度ニ應ジテ協力ノ方法ヲ考ヘルヤウニ、目下準備中デゴザイマス、其ノ內容ハドウモ斯ウ云フコト、サウ云フコトト云フヤウニ假定申上ゲルコトハ只今ハ遠慮シタイト思ヒマス

ソレカラ先程ノ長江開放ニ關スル軍票ノ價值維持ノコトニ付キマシテモ、今ト同様デゴザイマスガ、長江ノ上流マデノ開放ハ、只今軍事上ノ都合デ出來マイト存ジマス、當分ノ間今豫定サレテ居ル南京附近ヨリ下流ダラウト思ヒマス、是ダケデモ今御尋ノ通りニ相當關係ガ重大デアラウト思ヒ

マシテ、是ハ興亞院ニ存デハ力ガ及ビマセヌカラ、關係各廳ト協議ヲシテ、研究中デゴザイマス、サウ云フ道理デゴザイマスカラ、ソコノ所ヲハツキリスウダ、サウダト云フ場合ニ應ズル事柄ヲ申上ゲラレヌコトヲ御諒解願ツテ置キマス

○水谷委員 只今長官ノ言ハレマシタ指導ト云フ言葉ニ拘泥スルヤウデスガ、私ハ特ニ內面的指導ト云フ言葉ヲ使ツタノデアリマスガ、ソレハ現在ノ狀態ニ於キマシテハ長官ノ仰シヤル通りデス、併シナガラ私ハ中支ニ於テ滿洲國ノ例ヲ又再ビ繰返シタクナイト思フ、是ハ私ダケチヤナイト思フ、サウ云フ意味ニ於キマシテ私ハ一日モ早ク新中央政府ノ內面的指導ト云フモノハ、國民的基礎ノ上ニ立ツテ行ハナケレバナラス、興亞院モ其ノ一ツノ職能ヲ果サナケレバナラヌト思フ、私其ノ點ヲ申上ゲタノデアリマス、現在ノ時期ニ於テ其ノ事ニ關スル明確ナル御答辯ガ長官ノ口カラ出來ナケレバ、ソレハ已ムヲ得ナイノデスカ、私トシテハ一日モ早ク內面的指導ハ國民的基礎ノ上ニ立タナクテハナラナイ、サウシナケレバ駄目デアルト云フ點ダケヲ言ツタノデスカラ、左様御諒承願ヒタイト思ヒマス

○柳川政府委員 モウ少シ具體的ニ言ツテ戴キタイ、國民的基礎ト云ハレルコトハドウ云フコトデアリマスカ

○水谷委員 ソレハ一部ノ軍中官僚ノ手ニ於テ內面的指導ヲスルノハ誤リデアツテ、少クトモ新中央政府ノ基礎ガ國民黨ヲ中心ニシテ各黨各派、無黨無派ノ有識經驗者ヲ網羅シテ成ツテ居ル、ソレニ對應シタヤウナ組織ヲ以テヤハリ此方カラ內面的指導

ヲシナケレバナラナイト云フ意味デス

○柳川政府委員 今ノ御尋ハ國家ノ代表トカ何トカ云フ意味デハナクシテ、ソレヲ助ケル周圍ノ協力ト云フヤウナ意味デアラウト思ヒマス、ソレハ洵ニ御同感デゴザイマシテ、成ベクサウシナケレバナラヌト思ヒマスガ、マダ其處マデ具體的ニ考ヘテハ居リマセヌ

○水谷委員 私モウ少シ尋ネタイ點ガアリマスガ、ソレハ留保シテ、今日ハ是デ一先ゾ私ノ質問ヲ打切りマス

○矢野主査 水谷君ニ御相談シマスガ、アナタノハマダ時間ガ長ク掛リマスカ

○水谷委員 イヤ僅カデス、時間ノ餘リガアレバヤラシテ戴キタイノデスカ、時間ノ都合デヤラナクテモ宜シイノデス

○矢野主査 ソレデハ本日ハ是デ散會シマス、明日ハ午前十時ヨリ會議ヲ開キマス、午後零時三十三分散會



第一類第四號 豫算委員第三分科會議錄 第一回 昭和十五年二月十六日

一四

昭和十五年二月十六日印刷

昭和十五年二月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局



第七十五回帝國議會 豫算委員第三分科(大藏省)會議錄速記第二回

會議

昭和十五年二月十七日(土曜日)午前十時十分開議

出席委員左ノ如シ

主席 矢野庄太郎君

中島彌次君

牧野 良三君

兼務 篠原 陸朗君

川崎 克君

田村 秀吉君

三善 信房君

田原 春次君

原 夫次郎君

兼務 小川郷太郎君

北 吟吉君

肥田 琢司君

石坂 豊一君

守屋 榮夫君

吉植 庄亮君

二月十六日本分科所屬員太田正孝君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月十七日行吉角治君當選シ本分科所屬ト爲リタリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

企畫院總裁 竹内 可吉君

興亞院總務長官 柳川 平助君

興亞院部長 日高信六郎君

大藏參與官 松田 正一君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏省爲替局長 中村孝次郎君

預金部資金局長 廣瀬 豐作君

營繕管財局理事 松隈 秀雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中大藏省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中大藏省所管

(第一號)昭和十五年度歳入歳出總豫算追加案中大藏省所管

(特第二號)昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案中大藏省所管

○矢野主席 ソレレハ是ヨリ會議ヲ始メマス、昨日ニ引續イテ質疑ヲ繼續致シマス、中島彌次君

○中島委員 國債ノ消化ニ付テ御尋申上ゲマスガ、昨日水谷君カラモ惡性インフレーション防止ト云フヤウナ意味ヲ御問ニナラセタリテアリマスガ、大藏大臣ニ於カレマシテモ相當ニ御説明サレマシテ、吾々ノ間ハントアリマス、問ハレタ點ガマダ八點位ノ所デアリマシテ、此ノ問題ハ非常ニ重大ナル問題デアリマシテ、昨日税制ノ委員會ニ於テ大臣ガ中村三之丞君ノ質問ニ對シテ御答ニナツタ所ニ依リマス、大體百億前後ノ豫算ト云フモノハ當分緊縮サレナイ、減ラナイ、斯ウ云フヤウニ御答ニナツタヤウニ思フノデス、速記録ヲマダ拜見シテ居リマセヌガ、大體サウ見テ宜シイノデゴザイマセウカ

○櫻内國務大臣 現在ノ支那事變方繼續致シマス限リハ勿論サウデアリマス同時

ニ、假ニ事變ガ終局致シマシテモ、相當生産擴充ヲ要スルモノ、又此ノ事變ニ依ツテ消耗シタモノノ復活致スベキモノ、サウ云フモノニ付キマシテ相當經費ヲ要シマスルノト、又國防充實ニ對シテ更ニ適當ノ措置ヲ執ル必要ガアリマスノデ、ココ數年間ハ大體ニ於テ此ノ厯大ナル豫算方繼續セラレナケレバナラヌノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○中島委員 サウスルト大體豫算ハ百億程度、ソレカラ今度ノ新國防計畫ハ陸軍ハ二十三億圓位ニナツテ居リ、海軍ノ方モ大體昨年カラノ計畫ヲ合セマシテ、本年度ニ現ハレテ來テ居ルモノヲ合セマスルト、ココ三四年間若クハ四五年間ニ陸海軍トモテ大體六十億見當ノ金ヲ使ツテ行クコトニナルノデアリマスガ、昨日私ハ陸海軍ノ分科會ニ於キマシテ、陸軍大臣及ビ陸軍省ノ政府委員ニ質問致シマシタ、臨時軍費ト、ソレカラ新國防計畫ト云フモノガ、此ノ豫算ノ中心ノ大キナ金額トナツテ參ルノデアリマスガ、昨日陸軍ノ方ニソレガ大體ドウナツテ行クカ、中央政權ガ出來テ、大體時局ニ見透シガ付ケバ、臨時軍費ノ會計ハ閉ザシテ、支那事件費ト云フモノガ出來テ、滿洲事件費ノヤウナアア云フ沿革ヲ追ツテ行クノデアアルカ、斯ウ云フコトヲ私ガ質問シタノデアリマス、殊ニ滿洲事件費ノ沿革ハ御承知ノ通りニ、滿洲事件費ト云フモノガ一般會計ニ載ツテ居ツテ、其ノ初年度費ト云フモノト、維持費ト云フモノハ一般會計

ニ現ハレテ居ツタ、ソレガ本年ニナリマスト全部一般會計カラ滿洲事件費ト云フモノガナクナツテシマヒマシテ、一部ハ昨日ノ陸軍ノ方ノ説明ニ依リマス、臨時軍費ノ方ニ維持費、即チ行動費ガ入ツテ、陸軍ノ方ノ新國防計畫ノ中ノ内地ノ兵備改善費、ソレカラ航空防空ノ經費ノ中ニ滿洲ニ於ケル航空防空及ビ兵備改善ノ豫算ガ入ツテ居ル、斯ウ云フ御説明デアリマシテ、滿洲事變ト云フモノハ觀念的ニ於テモウナクナツタノダト、隨テ公債支辨ト云フモノモ、滿洲事變ノ財源ハ公債ニ依リマシタガ、其ノ滿洲事變公債ト云フモノガナクナツタ、ソレハ赤字公債即チ歳入補填公債ニ依ツテ支辨スルノダ、斯ウ云フヤウニ滿洲事件費ハ取扱ツテ來タノダト云フ陸軍ノ方ノ答辯ガアツタ、ソレニ對シマシテ、私ガ更ニサウスルト、支那事變モ大體初メハ一般會計ニ於テ支那事件費ト云フヤウナ形ヲ取ツテ、ソレカラ滿洲事件費ト云フヤウナ方法ヲ執ル方ヘ繰入レテ行クト云フヤウナ方法ヲ執ルカ、即チ臨時軍費ノ大體ノ構造ヲ見テミマス、戰爭ヲシツツ、片方ニ於テハヤハリ建設ヲシテ行ク、師團ヲ作ツテ行ク、内地ニ於キマシテハ、陸軍ノ説明ニ依ルト、部隊ヲ編制シテ、サウシテソレヲ養成シタモノヲ支那ノ方ヘ送ツテ、支那ヘ師團ヲ新設シテ行キヨル、一方ニ於テハ新國防計畫ニ依ル所ノ大キ部隊ノ計畫、其ノ他機械化ノ計畫ヲナツテ行ク、是カラ見マスルト、國防ト云フモノハ支那事變費ト、新國防計畫ト兩



方で成立ツテ居ルヤウニ思ハレル、其ノ他陸軍ノ方モサウデアアルト云フコトヲ答辯サレ...

費ノ内容ガドウデアアルカ吾々ハ分ラナイ、此ノ點ニ付テハ大蔵省ハ非常ニ責任ガアルト思フ...

デナクシテ、豫算關係當局ノ問題デアアルト云フコトデアリマスガ、成程サウ云フ部分...

於テ建設シテ行クト云フノデアリマスカラ、割合ニ經常化サレルベキ時ガ早クナイカト...

アリマシテ、支那事變ノ終了ノ認定ト云フ點ハ...

カト云フコトデス、ソレヲ與亞院ノ方デハ大體汪兆銘政権、中央政権ヲ作ツテ...

的狀態カラ靜の状態ヘ入ツテ來ル、サウナルト、是ハ或ル意味ニ於ケル恒久化シテ...

シテ、其ノ秩序ガ正道ニ還ル時デアリマスガ、之ヲ具體的ニ言ヘバ重慶政府ガ...

今柳川長官ガ御出デニナリマシタガ、問題ハ...

ソレヲ與亞院ノ方デハ大體汪兆銘政権、中央政権ヲ作ツテ...

的狀態カラ靜の状態ヘ入ツテ來ル、サウナルト、是ハ或ル意味ニ於ケル恒久化シテ...

シテ、其ノ秩序ガ正道ニ還ル時デアリマスガ、之ヲ具體的ニ言ヘバ重慶政府ガ...



スル工作ハヤツテ居ルノデスカ、ヤツテ居  
ナイノデスカ、是非非常ニ大事ナコトデア  
リマシテ、此ノ御答辯ヲ得マシタコトハ此  
ノ議會中ニ於テ一ツノ大キナ收穫デアルト  
私共ハ考ヘルノデアリマシガ、重慶政府ニ  
對シテハドウ云フ御見込デアリマシカ  
○柳川政府委員 如何ナル事ヲヤツテ居ル  
カト云フコトハ申上ラレマセヌガ、現在  
進行中デアル所ノ中央政府ノ成立、是マデ  
アリマシタ所ノ地方政權ノ之ニ應ズル所ノ  
發達、竝ニ我軍ノ先方ニ於ケル所ノ活動  
ハ、自然其ノ結果ヲ導クモノト信ジテ居リ  
マス

○中島委員 自然其ノ結果ヲ導クガケデハ  
非常ニ漠然トシテ居リマスガ、大體分解合  
作、若クハ講和シテ來ル見込ガアルト云フ  
御考デスカ  
○柳川政府委員 見込ガアルカト云フコト  
ヲ御尋ニナルノハ、近キ將來ニドウ云フ經  
過ヲ取ルカト云フ順序ヲ御尋ニナルノデア  
リマシカ

○中島委員 斯ウ云フ見込ガアル、斯ウ云  
フ合作ヲシテ來ル見込ガアル、斯ウ云フコ  
トヲヤツテ居ルカラ、ヤツテ居ルコトハ言  
ヘヌガ、結果ニ於テハ斯ウ云フ見込ガアル  
カト云フノデアリマス  
○柳川政府委員 見込ガアルト、サウ正面  
ヲ切ラレテハ困リマスガ、見込ガアルト言  
ハナケレバナラヌダラウト思ヒマス

○中島委員 之ニ依リマシテ臨時軍事費ノ  
終了スル時ハ大體見込ガ付クダラウト思ヒ  
マス、其ノ時期ハ勿論言ヘナイデアリマセ  
ウガ、又一方ニ於キマシテハ臨時軍事費ノ  
内容ヲ見マス、支那ニ段々師團ヲ殖ヤシ  
テ行クヤウニヤツテ居ル、ソレハ陸軍ノ方

○柳川政府委員 對手ニセズガ其ノ後内容  
ヲ改メ、人的要素云々ト云フヤウナコトモ  
アリマシタカラ、其ノ對手ニセズノ程度ハ  
ドウカ知リマセヌガ、現ニ戰ツテ居ルノデ  
ゴザイマスカラ、戰ノ結果ニ依ツテ重慶政  
府ノ方ノ者ガ、新ニ立ツ所ノ中央政府ト同  
ジ方向ヲ進レバ、是ハ自然合流セシメラレ  
ルコトニナルダラウト思フノデアリマス

○中島委員 此ノ點ニ引掛ツテ居リマス  
長クナリマスカラ、マダ疑問ノ點ガ澤山ア  
ルコトノ出來ナイ事情ガアリマスノデ、甚  
ダ遺憾ニ存ジマスガ、其ノ點ハ御諒承願ヒ  
タイト思フノデアリマス、各地域ニ於キマ  
スル物價ノ騰貴ヲ抑制スルコトニ付キマシ  
テモ有ニル手段ヲ講ジテ居リ、法幣ニ付テ  
ドウ云フ態度ヲ執ツテ居ルカト云フ御話  
デアリマスガ、昨日私申シマシタ點ハ、法  
幣ハ何レニ致シマシテモ重慶側ヲ發行權ヲ  
持ツテ居リマス、其ノ爲替基金ノ他モ向  
フニアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ所謂  
經濟上ノ敵性ト申シマスガ、氣ヲ許セナイ  
モノデアアル、斯ウ云フ趣旨申上ラゲタイ  
デアリマス、中支那ニ於ケル現狀ニ於キマ  
シテハ、軍票ガ通用シテ居ル區域モ相當アリ  
マス、又實際上法幣ニ依ツテ物價ガ動イテ居  
ルト云フ狀況ガ餘程廣イノデアリマス、昨  
日申上ラゲマシタヤウニ、經濟生活ノ急  
激ナル變化ト云フコトハ何レノ方面カラ見  
テモ好マシイコトデアリマス、ソレニ依ツ  
テモ好マシイコトデアリマス、ソレニ依ツ  
テモ好マシイコトデアリマス、ソレニ依ツ  
テモ好マシイコトデアリマス、ソレニ依ツ  
テモ好マシイコトデアリマス、ソレニ依ツ

○中島委員 支那ノ人ニ急激ナル經濟上ノ  
變化ヲ與ヘタクナイト云ハレルガ、一番急  
激ナル變化ヲ與ヘテ居ルノガ何カト云ヘバ  
中聯券デアアル、中聯券ガドウノ出テ行ク、  
サウシテ中聯券ト云フモノハ四ニリシタ  
サウシテ居ル、日本ハ非常ニ物資ガ足ラナイ、  
ソレデ通貨ハドウノ出テ行ク、通貨ハ暴  
落シテ居ル、是ハ急激ナル變化ヲ與ヘテ居  
ル、アナタノ一番急激ナル變化ヲ中聯券ニ

リマスシ、少シ要領ヲ得マセヌケレドモ、  
是ハ已ムヲ得マセヌ、其ノ次ニハ興亞院ノ  
御方ガオ居デニヤツテ居リマスカラ、大藏  
省ノ方ニ問フコトハ後述シニ致シマシテ、  
支那事變ノ見透シ、其ノ他豫算關係、ソレ  
カラ經濟方面ノコトニ付テ總理大臣ニ一言  
御問シタイノデスカ、總理大臣ノ御出席ヲ  
願ヘマセヌデセウカ  
○矢野主査 中島君ニ申上ラゲマス、總理大  
臣ハ差支ガアツテ出席ガ出來ナイト云フコ  
トヲ申シテ參ツテ居リマス  
○中島委員 差支ガアツテ出席出來ナイト  
云フノハ、分科會ニハモウ出ラレナイト云  
フノデスカ、ソレトモ今日ダケデスカ  
○矢野主査 今日ダケデスカ  
○中島委員 ソレデハ次ノ機會ニ於テ總理  
大臣ノ出席ヲ希望シマス、主査ニ於テ其  
ノ御取計ヲ願ヒマス  
支那ノ問題ガ出テ序ニ御尋致シマスガ、  
本會議、豫算總會ヲ通ジ、又分科會ニ於テ  
モ、現在ノ支那ノ通貨ノ狀態ヲドウスルカ  
ト云フ點ニ付テ質問應答ヲ聽キマシタガ、  
徹底的ニ満足セセラレバヤウナ回答ガ得ラ  
レナカツタノデアリマス、私共洵ニソレヲ  
遺憾トスルノデアリマシテ、是ガ日本ノ通  
貨ニモ非常ニ影響シテ來ルシ、日本ノ通貨  
制度ノ將來モ大イニ考ヘテ行カナケレバ  
カヌト思フノデアリマスガ、差支ツテ恒久  
對策ヲナク、或ル意味ニ於ケル應對策デ  
デアリマセウケレドモ、私共現地ニ行ツテ見  
テ參リマシタガ、支那今日一番問題ニナ  
ツテ居ルノハ、北支ト申シテ、其ノ範圍ニ  
ノ交流ガ殆ド止ツテ居ル狀態デアリマス、  
是ハ交通運輸機關ノ不便モアリマセウガ、  
ソレ以外ニ通貨制度ガ非常ニ妨ゲテ居ルヤ

ウナ所ガアリマシテ、御承知ノ通り法幣ガ  
アリ、華興銀行ガアリ、軍票ガアル、ソ  
レカラ北支ノ聯邦準備銀行ノ中聯券ガアル  
此ノ四ツノモノガ互ニ錯綜シテ、而モ貨幣  
ノ價值ガ違フ、隨テ北支ト申シテハ別國ノ  
如キ觀ガアル、ソレヲドウ云フヤウニ調和  
サシテ行クカ、是ガ大事ナ點デアリマシテ、  
中國聯邦準備銀行ノ聯銀券ノ通用シテ居ル  
範圍ニ於テハ、法幣ノ通用ハ禁止セラレテ  
居ルノデアリマスガ、奧地ニ行ケバヤハリ  
法幣ハ通用シテ居ル、南支ハ別デアリマス  
ガ、中支ノ方デハ相當ニ法幣ハ力ヲ持ツテ  
居ル、此ノ關係ヲドウ云フヤウニ取扱ツテ  
行クノデアリマセウカ、是ガ非常ニ貨幣ノ  
價值ガ違フノデアリマス、中聯券ハ御承知  
ノ通り日本ノ圓ニリシタコトニ付、ソレ  
ノシテ居ナイ、法幣ニリシタコトニ付、ソ  
レデモ止メテ、法幣ハ御承知ノ通り昨日  
ノ夕刊ニアリマスヤウニ四片幾ラニヤツテ  
居ル、併シマダ中々相當ナ力ヲ持ツテ  
居ル、此ノ間ノ錯綜シタ通貨ノ關係ニ於テ  
物資ノ交流ヲ非常ニ妨ゲル、是ガ爲ニ目下  
支那人ガ非常ニ悩ムデ居ル、又日本ノ物資  
モ斯ウ云フヤウナ關係デドウノ支那ニ行  
ク、日本ノ物價モ高クナル、此ノ點ニ付テ  
豫算總會ニ於テ色々議論モアリマシタガ、  
昨日モ軍票ノ價值維持如何ト云フ點ニ付テ  
日高經濟部長カラ御答辯ガアリマシタケレ  
ドモ、吾々ハマダ少シ満足シ得ナイ點モア  
リマスノデ、ドウ云フヤウニ之ヲ調整シテ  
行クカ、換言スレバ中支ニ於テ法幣ヲ使ツ  
テ行クノカ、使ツテ行カヌノカ、使ツテ行  
クノカ、使ツテ行カヌノカ、使ツテ行ク  
ノカ、使ツテ行カヌノカ、使ツテ行クノカ、  
根本的ニドウ云フ方針ヲ持ツテ居ルノカ、

空原君モ總會ニ於テ警告的質問ヲ發セラレ  
タヤウニ、中央銀行ガ出來ルニシテモ、中聯  
券見タイニヤツテ貴ヒタクナイゾト云フコ  
トヲ言ハレタノデアリマスガ、是等ノ點ニ  
付テ、マダ深ミヘ入ラヌ前ニ——相當深ミ  
ヘ入ツテ居マセウガ——此ノ圓元ノパー  
パー止メテラドウデスカ、今デハサウ云  
フ關係ニヤツテ居ナイ、圓元代ヘルヤウナ  
價值ヲ持ツテ居ナイト云フヤウナ考デナ  
ク、是ハ切實ニ日本ノ國民生活ニモ影響シ  
テ來ル、是ハ重大ナ問題デアルト考ヘル、  
斯ウ云フ方面ニ次ヲ開ケテ置イタナラバ、  
日本ノ國家其ノモノガ保テナイ、物價政策  
ニ行詰リガ來ル、向フモノ出來ヌヤウニナル、  
リガ來ル、向フモノ出來ヌヤウニナル、大體日  
本ノ物ト、日本ノ努力ト、日本ノ經濟力デ  
支那ヲ開發シテ行クヨリモ、先ヅ第一ニヤ  
ルベキコトハ支那ノ物ト、支那人ト、支那人力  
ヲ出サシテ行クコトヲ先ニ考ヘテ行ツテ、其ノ次  
ニ足ラス所ヲ日本デ補ツテ行クコトニシタ  
ニ足ラス所ヲ日本デ補ツテ行クコトニシタ  
ニ足ラス所ヲ日本デ補ツテ行クコトニシタ  
ニ足ラス所ヲ日本デ補ツテ行クコトニシタ  
ニ足ラス所ヲ日本デ補ツテ行クコトニシタ

○中島委員 圓元ノ價值ヲ變更スル考ヲ御  
持チニナラナイトシマシテモ、ソレニ依ツ  
テ圓元引換ラレテ行ツテ、詰リ言ヘバ物ヲ  
ヤツテ中聯券ヲ維持スルコト云フコトハ、日  
本ノ今日ノ物資不足ノ狀態ニ於テハ非常ニ  
困難ナコトヲ考ヘマス、何時カ此ノ中聯  
券ノ後始末ヲシナケレバナラス時期ガ來ル  
ノデアリカト私ハ考ヘル、先ニヤツテヤ  
ルカ、今ノ内ニヤルカ、ドテラガ日支ノ雙  
方ノ利益ニナルカ、深ミニ入ツテ行ツテシ  
マツテ收リガ付カヌヤウニナツテ、詰リ  
圓元ノパーパー止メテシマフコト云フコト  
ニナルヨリモ、未ダ傷ガ淺イ今ニ於テヤツ  
テ置イタ方ガ宜クハナイカ、私共ハ此ノ問  
題ノ解決ノ上ニ於テ、物ヲ以テ是カラ日本  
ガ中聯券ヲ維持シテ行クコトハ餘程  
困難ナコトヲ考ヘル、此處ガ非常ニ重大  
ナ點デアリマシテ、中支ニ於テ華興銀行券  
ヲ圓元ニリシタコトヲ得ナイノモ、在ル、小

○中島委員 圓元ノ價值ヲ變更スル考ヲ御  
持チニナラナイトシマシテモ、ソレニ依ツ  
テ圓元引換ラレテ行ツテ、詰リ言ヘバ物ヲ  
ヤツテ中聯券ヲ維持スルコト云フコトハ、日  
本ノ今日ノ物資不足ノ狀態ニ於テハ非常ニ  
困難ナコトヲ考ヘマス、何時カ此ノ中聯  
券ノ後始末ヲシナケレバナラス時期ガ來ル  
ノデアリカト私ハ考ヘル、先ニヤツテヤ  
ルカ、今ノ内ニヤルカ、ドテラガ日支ノ雙  
方ノ利益ニナルカ、深ミニ入ツテ行ツテシ  
マツテ收リガ付カヌヤウニナツテ、詰リ  
圓元ノパーパー止メテシマフコト云フコト  
ニナルヨリモ、未ダ傷ガ淺イ今ニ於テヤツ  
テ置イタ方ガ宜クハナイカ、私共ハ此ノ問  
題ノ解決ノ上ニ於テ、物ヲ以テ是カラ日本  
ガ中聯券ヲ維持シテ行クコトハ餘程  
困難ナコトヲ考ヘル、此處ガ非常ニ重大  
ナ點デアリマシテ、中支ニ於テ華興銀行券  
ヲ圓元ニリシタコトヲ得ナイノモ、在ル、小

○日高政府委員 中聯券モ流通致シマシテ  
カラ相當ノ日月ヲ經過シテ居ルノデアリマ  
ス、最近ノ調査ニ依リマス、段々流通ノ  
區域モ殖ニエテ行ツテ居ルヤウデアリマス、  
結論ヲ簡單ニ申上ラゲマス、只今ノ所聞ト  
ノ價值ヲ變更スルコト云フ考ハ持ツテ居リ  
マス

○日高政府委員 只今ノ點デゴザイマスガ、  
第一ノ各地域ニ於ケル物ノ交流ト云フ點、  
是ハ實ハ日本側カラ見マシテモ、亦事變ノ  
方カラ言ヒマシテモ、支那人ノ生活ノ方カ  
ラ言ツテ非常ニ重要ナ問題デアリマス、先  
ツ現在ノ所ニ於キマシテハ、勿論非常ノ狀態  
デアリマスカラ必ズシモ經濟法則通りニシ  
ツタリ物價ガ動イテ行ク譯デモナイ點ガアリ  
マス、現在マデノ所、各地域ニ於ケル通貨  
ノ騰貴メルト云ヒマスガ、堅實ナル發達  
ヲ期スルコトニ全力ヲ注イデ居ツタヤウナ  
譯デアリマス、唯實際上、北支ト申シテハ特  
ニ物ノ關係カラ言ヒマシテモ、有無相通ズ  
ル必要ガアルノデアリマス、ソレニ付キマシ  
テハ種々工夫ヲ凝ラシテ居ル譯デアリマス、  
大體ニ於テ北支カラハ石炭トカ花生ノ油  
トカ、色々ナ物ガ中支ニ實際ノ必要ニ參リ、  
中支那カラハ北支ノ方ニ食糧品其ノ他ガ行  
ツテ居ルノデアリマスケレドモ、實際ニ於  
テハ物ノ「バーター」ト云フヤウナ形デ決濟  
ガ付イテ居ル點ガ相當アルノデアリマス、  
ソレニ付キマシテハ出來ルダケ便宜ヲ圖ル  
ト云フヤウナ考デ行ツテ居ルノデアリマシ  
テ、此ノ調整ノ點ニ付マシテハ色々考究致  
シテ居ルノデアリマス

支那ニ於キマスル通貨ノ點ニ付キマシテ  
ハ、中島君ノ如キ專門ノ御方ニ御納得ノ  
行キマス程、細カイ所マデニ互ツテ申上ラ

第一類第四號 豫算委員第三分科會議錄 第二回 昭和十五年二月十七日

第一類第四號 豫算委員第三分科會議錄 第二回 昭和十五年二月十七日

第一類第四號 豫算委員第三分科會議錄 第二回 昭和十五年二月十七日

第一類第四號 豫算委員第三分科會議錄 第二回 昭和十五年二月十七日

第一類第四號 豫算委員第三分科會議錄 第二回 昭和十五年二月十七日



テ支那人が救済セラレルヤウニシテヤル、速ニソレヲヤツテヤツタ方ガ支那ヲ救ヒ、日本ヲ救フ所以デハナイカ、其ノ點ニ付テハドウデス

輸出入ノ差額ト云フモノハ、物資ハ大體ニ於テ所謂日本カラ行ツテ居ルノ生活必需品ニアラザレバ、支那ノ開發ニ要スル所ノ資金デアリマシテ、其ノ開發ニ投ジタ所ノ資金ニ依ツテ將來鐵トカ、石炭トカ、棉花トカ、有ニル物資ヲ日本ニ供給シ得ル前提トナルデアリマシテ、尙其ノ點ニ付キマシテハ日本トシテ最モ力ヲ入レナケレバナラス所デアアルデアリマス、御話ノ聯銀券並ニ元圓ノ切離スト云フコトニ付キマシテハ、相當考慮ヲ拂ハナケレバナラスデアリマス云レドモ、今日只今之ヲ爲スト云フ事柄ハ實際上ニ於テ不可能デアリナイカト私ハ思フ、之ヲ爲スニハ相當ナル準備ヲ致シテ、聯銀券ノ信用ヲ一層高カラシメル、聯銀券ガ或ル程度マデ發達ヲ致シテ其ノ信用ガ高マルト云フコトニ向ツテ助力ヲ致シテ、適當ナル時機ニ於テ考慮スベキ問題デアリナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ルデアリマス

○中島委員 大體大蔵大臣ノ御答辯ニ依リマシテ要領ヲ得マシタ、適當ナル方法ヲ講ジテ聯銀券ノ今般落シタ信用ヲ回復シタ後ニ於テ、元圓「バー」切離スト云フコトニ解釋シテ宜シト考ヘマス

○日高政府委員 只今仰セノ點ハ實ハ最重要ナル點デアリマス、先程御答申上ゲマシタノハ、交流ガ非常ニ理想的ニ參ツテ居ルトハ決シテ思フテ居リマセヌ、此ノ點ニ付キマシテハ、支那ノ當局、又支那側銀行ノ方ニ於キマシテモ、色々考究シテ、聯合委員會ト申シマスカ、ア云フ時ノ議題ニモナツタヤウニ思ヒマス、又銀行當局間ノ相談ノ議題ニモナツテ居ルト承知シテ居リマス、日本側カラ見マシテモ、サウ云フコトハ非常ニ必要ナル點ナラデアリマス、實際的ノ何等カノ他ノ方法ノ案出サレルト云フコトヲ期待シテ居ルデアリマス、蓋當リノ所ハ先程申シマシタヤウニ、物ニ依リ或ハ圓ニ依ツテ動イテ居ルト云フ部分モ相當アルデアリマス

○櫻内國務大臣 一定シタル程度マデ減ストカ、或ハ現在ノ二十億程度ヲ殖ヤサストカ云フコトハ申上ゲ兼ネマスケレドモ、其ノ時々ノ經濟界ノ情勢ニ依ツテ處理シテ行ク外ハナイデアリマスガ、此ノ日本銀行ノ手持ノ公債ガサウドンノ市場ニ殖ニテ行クト云フヤウナコトハナイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○櫻内國務大臣 一定シタル程度マデ減ストカ、或ハ現在ノ二十億程度ヲ殖ヤサストカ云フコトハ申上ゲ兼ネマスケレドモ、其ノ時々ノ經濟界ノ情勢ニ依ツテ處理シテ行ク外ハナイデアリマスガ、此ノ日本銀行ノ手持ノ公債ガサウドンノ市場ニ殖ニテ行クト云フヤウナコトハナイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○櫻内國務大臣 一寸中島君ハ將來元圓ヲ切離スト云フ考ヲ持ツテ居ルト云フ風ニ御斷定ニナリマシタガ、是ハサウ御斷定ニナリマスノハ中島君ノ御意見デアリマスカラ宜シウゴザイマスケレドモ、私ガサウ云フ考ヲ持ツテ居ルト云フ風ニ若シ北支ノ方ニ於テ誤解ヲサレルト、影響スル所ガ重大デアリマスノデ、其ノ點ニ付キマシテハ、私ハ兎ニ角聯銀券ガ相當ナル信用ヲ維持シ、

其ノ流通ガ圓滑ニナルマデハ吾々ハ飽クマデ助力シテ行ク、サウシテ今日ノ元圓、「バー」ノ「リンク」ト云フモノハ、其ノ僅存積シテ行ク、斯ウ云フ風ニ申上ゲテ居ルデアリマスカラ、其ノ點ハ御諒解願ツテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ

○櫻内國務大臣 大體御話ノ通り今日ノ水準ヲ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○中島委員 ソレカラ昨日モ水谷君ガ七八點當カ下カ、其ノ他ノ點ヲ舉ゲラレマシタ

○中島委員 時間ガナケレババムヲ得マセヌガ、昨日水谷君ハ二時間半モヤツテ居ル

○矢野至奎 水谷君ハ總會ニ於テ質問致シテ居リマセヌ



○中島委員 減つて居つてモ後カラ直ぐ大體四五億位ノ公債ヲ募集スルカラ、又殖エテ来ルノデス、大體二十億カラ二十三億位ノモノハ動かヌヤウニ思ハレル、ソコヲ私ハ言ツテ居ルノデアリマシテ、一億十二億ハ減ツテモ殖エテモ大シク違ヒハナイ、二十億ト云フモノハ到底ハ消エナイダラウト思フ、此ノ消ス方法ニ付テハ御努力ヲ願ヒタイ、最近公債ハ八割七分カ八分カ消化サレテ居ルト大蔵大臣ハ本會ノ施政ノ方針ノ演説言ハレマシタケレドモ、アトハ一割二分減ツテモ、一割五分減ツテモ、是ハ絕對數ノ金額ガ非常ニ大キイノダカラ、五十八億ノ一割減ツテモ五億八千万圓殘ルノデス、此ノ五億八千万圓ト云フモノハ通貨トナツテ現ハレル場合ニハ十倍ノ五十八億ノ力ヲ持つテ来ル、小切手ニナツタリ、手形ニナツタリシテグル、(回轉スレバ十倍ニナツテ来ル、ソレダカラ一割減ツテモ非常ニ元ガ大キイカラ大キイ、サウシテ公債ノ消化ト云ツテ貯蓄ノ上ツタケケ公債ヲ消化シタ、大變購買力ガ吸収サレタヤウニ思ハレルケレドモ、ソレハ貯蓄ノ成績ニ依ルノデス、消費過程ヲ通貨ガ通ツテ来テ貯貯ニナツタノハ、ソレハ其ノ間ニ於テ物價貴サシテ居ル原因ニナリ、惡性インフレーションノ因ニナル、工場ノ職工ガ直接ニ賞ツタ金ヲ直ぐ貯蓄スル、消費過程ヲ通ラスヤウナ貯蓄ノ獎勵ノ方法デナケレバナラス、是ハ私ハ同ジ貯蓄高ガ百億集ツテモ、百億ガ消費過程ヲ通ツテ来タモノト通ラナイモノトハ餘程違フト思フ、其ノ點ニ付テモ餘程工夫ヲシテ賞ハナケレバナラスト思ヒマス、最近ニ於キマシテ、去年ノ下半年

ト思フノデスガ、是等ニ對シテ何カ適當ナ方法ヲ考ヘテ居ラレマセウカ  
○櫻内國務大臣 只今中島君ノ御話ノ點ハ最モ吾等トシテ注意シナケレバナラス所デアリマシテ、現在各地方ノ有ル團體ノ御協力ヲ願ヒ、又地方廳等ノ協力ヲ願ヒ、又專業會社等ノ協力ヲ願フテ、國債ヲ一般ニ持ツテ貰フト云フコトニ付キマシテハ、十分努力致シテ居ルノデアリマスガ、今御話ノ通り或ハ香盤返シトカ、御祝トカ、贈答デアルトカ云フモノニ此ノ國債ヲ使フト云フコトハ固ヨリ、或ハ現ニ行ハレテ居リマスガ、何カノ表彰ヲスル場合ニ於テモ國債ヲ供與スルトカ、サウ云フ風ナ問題ニ付テ總テ有ル手段方法ヲ講ジテ國債ノ大衆化ト云フコトヲ圖ラナケレバナラスト思フテ居リマス、又現在郵便局アタリ取扱ツテ貰ツテ居ルノデアリマスガ、更ニ此ノ取扱機關ヲ擴大シテ手易ク國債ヲ持テルヤウニシナケレバナラスト思フテ居リマス、サウ云フ點ニ付テハ十分考慮ヲ掃ツテ行クト云フ考ノ下ニ進ンデ居ル次第デアリマス  
○中島委員 此ノ點ニ付キマシテ十分ニ御研究サレマシテ、尙ホ一層ノ御努力ヲ盡サレンコトヲ希望致シマス  
ソレカラ公債ノ募集ノ方法ニ付キマシテ、公債ノ方法モ併用シタラドウデアリマスガ、今日本銀行ニダケ引受サセテ、サウシテ日本銀行ニ今言ツタ二十三億ト云フモノガ現ニ手持公債ニナツテ居ル、生産擴充ノ資金ヲ害シナイ限リニ於テハ、公債ノ方法モ執ツテ行ツタラドウデアラウカ、チツトモ公債ノ方法ハ執ラナイデ、日本銀行一本擔任シテ、サウシテ日本銀行ガ他ノ銀行ニ貯蓄ガ出來タ時ニ、廻ツテ来タ金ヲ吸收スル

ヤウナ方法デヤツテ居ルノデアリマスガ、日本銀行ヲ通ジテヤル方法以外ニ公債ノ方法ヲ執ル、是ハ「シンヂケイト」團ナドヲ組織シテモ、現ニアルノデアリマスガ、ソレヲヤツタガ、手數料ハ要ルデアリマセウケレドモ、併シ日本銀行ニ今言ツタウナ二十三億ト云フモノガ何時モ殘ツテ居ル、戰前二十五億モアツタモノガ、今二十三億手持公債ヲ殘ツテ居ル、是ハ確ニ大蔵省ハ日本銀行ノ通貨ノ統制ヲ圖ラレテ居ルノデスカラ、二十三億ノ金額ハ何トモ出來ヌヤウニナツテ居ルガ、之ヲ消シテ行クト云フコトハ私ハ容易ナコトデアリナイト思フ、ソコト公債ノ方法モ之ヲ採用シテ行ツタラドウカト思フ、此ノ點モ試ミテ行ツテ、有ル角度カラ見テ、有ル手段方法ヲ盡サナケレバ惡性インフレーション、公債消化ト云フコトハ容易ナイト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テハ御所見ハドウデアリマスガ  
○櫻内國務大臣 只今日本銀行ニ主トシテ取扱ハシテ居リマスモノハ、日本銀行ニ先引引受ケサセマシテ、サウシテ經濟上ノ實情カラ見テ各地方銀行、或ハ一般市場ニ之ヲ放出サセテ居ルノデアリマスガ、證券業者其ノ他ニ向ツテ此ノ取扱ヲサセルコトモ一ツノ方法デアリマスケレドモ、是ハ今日ニ於テモ日本銀行ノ所謂下請ト申スカ、日本銀行ノ下ニ附イテ之ヲヤツテ居ルノデアリマス、ソレデ今御話ノ一般ノ公衆ニ直接公債シテハドウカト云フ點デアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ、政府ニ於テモ只今考慮ヲ致シテ居リマシテ、サウ云フ事柄モ是非ヤツテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス  
○中島委員 一寸私ガ質問シタ點ヲ藏相ハ

誤解シテ居ラレタヤウデスカラ、理財局長ニ御致シマス  
○相田政府委員 只今大蔵大臣カラ申サレタ通り別ニ間違ヒナイト思ヒマシタノデスガ、公債ト仰セラレル意味ハ「シンヂケイト」引受ノヤウナコトヲ若シ意味シテ居ラレルモノデアリマスレバ、先般大蔵大臣ガ儲力本會議議デモ答辯サレタ通り、今日ニ於キマシテハ日本銀行引受ノ方法ニ依ツテ發行シマシテ、其ノ上デ金融機關其ノ他ニ於ケル消化ヲ圖ル、斯ウ云フ方法デヤツテ行ツテ居リマスノデ、之ヲ繼續シテ行ク積リデ居リマスガ、尙ホ情勢ノ如何ニ依リマシテハ、直接公債ノ方法モ「ヘルコトガアルカ」知レヌト云フ意味ノコトヲ、先般大蔵大臣ハ答辯致シテ居ラレマスノデ、其ノ點ニ付テモ何モ間違ヒハナイノデアリマス  
ソレカラ尙ホ先程来日本銀行ノ手持二十三億ト云フコトヲ仰セラレマスガ、年末ノ日本銀行ノ國債ノ手持ハ二十二億デゴザイマス、今年ニ入りマシテカラハ更ニソレガ減少致シテ居リマス、昨年即チ十四年ニ於キマシテモ、十三年末ノ數字ガ段々ニ減少シテ、六月末ニ於テハ相當減ツタノデアリマスガ、又年末ニナツテ殖エテ来テ居ルト云フ工合ニ、日本銀行ノ手持額ハ常ニヤハリ動イテ居ルノデアリマス、私共ノ考ト致シマシテハ、新規公債ノ完全ナル消化ヲ圖ルノハ勿論、出來ルダケ此ノ日本銀行ノ手持モ減シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘ居ル譯デアリマス、ソレデ數字ニ付テ重ネテ申上ゲマスガ、手持ノ國債ハ年末ニ於テ二十二億幾ラデアリマシテ、今日ニ於キマシテハ更ニソレガ減ツテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

カラ公債消化ノ傾向ガアル、是ハ何ト云ツテモ投機的ノ取引ガ盛ニナツタカラデアリマス、第一商品ノ取引ガ非常ニ盛ニス、ソレカラ小切手取引、現金取引ガ非常ニ盛ニナツテ来タ、是ハ開取引ガ横行シテ居ルノデアリマシテ、何處ノ商店ニ行キマシテモ金庫ニ札ガ一杯詰ツテ居ル、是ガ餘程公債消化ヲ妨ゲテ居ル、ソレデ現金取引ヲ成ベクサセヌヤウニシテ小切手ノ方法ヲ獎勵スルヤウナコトヲ何カ御考ニナツテ居ルノデアリマセウカ  
○櫻内國務大臣 小切手ヲ多ク使用セシメルト云フ事柄ハ、是ハドウシテモ發達ヲ圖ラナケレバナラスコトデアリマスガ、此ノ小切手獎勵ト云フコトニ付キマシテハ、個人個人ノ信用關係モアリマスシ、又其ノ地方ノ事情モアリマスノデ、一概ニ論ズルコトハ出來マセウケレドモ、今御話ノ通り開取引ナドハ現金取引ト云フモノノ反面ニ含マレテ居ルノデアリマシテ、開取引ニ對スル取締リ嚴重ニスルコトモ一ツノ方法デアリマセウシ、又地方々々ニ於キマシテハ小切手ノ代リニ他ノ適當ナル方法ヲ考慮シテ居ル地方モ現ニアルノデアリマシテ、京都府ノ或ル村ノ如キハ、全然金ヲ取扱ハズシテ毎日ノ取引ヲ致シテ居ル所モアルヤウデアリマス、サウ云フ譯デアリマスガ、其ノ點ニ付テハ十分注意ヲ致シマシテ、出來ルダケ市中ニ於ケル所ノ通貨ノ増大ヲ防グ途ヲ有ル方面ト協議シテ進メテ行キタイト考ヘテ居リマス  
○中島委員 ソレカラ今日ノ公債消化ノ鈍化ノ原因ハ金ガ物ニ向ツテ居ル、金ガ株ニ向ツテ居ルノト、モウ一ツハ不動産ニ非常ニ向ツテ居ル、第一不動産ノ方ノ土地建物

ノ賣買ノ思惑ガ進モ盛デアリマシテ、新聞ニモ毎日アリマスヤウニ、土地ニ對スル所ノ思惑熱ハ異常ナモノデアリマス、此ノ土地建物等ノ思惑熱ヲ冷却サシテ行クノ方法ヲ御考ニナツテ居ナイノデアリマセウカ、即チ土地ノ賣買ニ付テ之ヲ許可制度ニシナケレバ、實際ノ必要ノ爲ニ自己資金ヲ以テ事業ノ擴張、設備ノ爲ニ土地ヲ買入レル場合トカ、或ハ事業ノ種類ニ依ツテ三万圓以上ノ時ハ政府ノ許可ヲ要スルコトニナツテ居リマスガ、自己ノ住宅、其ノ他敷地ヲ思惑熱ニヤツテ居ルモノハ到底分ラナイ、ソコデ土地ノ思惑熱ニ依ツテ土地ガ随分暴騰シテ居リマス、之ヲ此ノ儘拾テ置キマシタラバ農村ノ土地ニマデ及ンテ行キマシテ、殆ド東京附近ノ千葉縣アタリノ耕作地ト云フモノハ、此ノ間千葉縣ニ行ツテ調べテ来マシタガ、段何ボガ坪何ボト云フコトニナツテ居リマス、住宅ト同様ノ價値ヲ持つテ来テ居ル、是ハ土地ノ賣買ノ許可制ノ方法デモ採ラナケレバナラス、登記ノ時ニ許可證ヲ附ケテヤレバ簡單ニ行タカラ、必ズシモ出來ナイ制度デハナイト思ヒマス、サウシナケレバ農村ノ土地マデモ影響シテ行クト思ヒマスガ、都會ハ非常ニ土地熱ガアル、之ヲ少シ力ヲ入レテ冷却サシテ行ク方法ヲ講ジナケレバナラスト考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ對策ヲ御持チニナツテ居ルノデアリマセウカ  
○櫻内國務大臣 土地ノ價格ガ上ツテ行クト云フ事柄ハ御話ノ通りデアリマス、之ニ對シテドウ云フヤウナ抑ヘル方法ヲ講ジテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、今具體的ニ是レノト云フコトヲ申上ゲルコトハ出來マセウケレドモ、此ノ問題ニ付キマシ

テハ適當ニ考慮ヲ拂ヒタイト思フテ居リマス、何分ニモ金ヨリ物ヘト云フ思想ガ傳播シツアルノデアリマシテ、土地ノ方ニ資金ヲ集メルヤウナコトガ自然ノ勢デアリマシテ、其ノ結果ガ將來小作法ノ問題ニモ及ボシマスシ、又家賃地代等ニモ影響ヲ及ボシマスノデ、此ノ對策ヲ考ヘナケレバナラヌト思フテ居リマスガ、今御話ノ許可制度デアルトカ云フコトハ、今日ノ場合マダ之ヲ考慮スルニ至ツテ居リマセウ、サウ云フコトガ果シテ經濟界ニ何等ノ大ナル影響ヲ及ボシテ居ルモノデアラカドウカ、折角今考究中デアリマス  
○中島委員 土地ノ思惑賣買ニ對シテ、臨時資金調整法ニ依ツテ調整セラレル範圍ハドウシテ範圍デスカ  
○入間野政府委員 土地ヲ買入レマシテ、ソレニ工場ヲ建設スルトカ、設備ノ擴張等ニ用ヒラレル場合ニ於テハ、臨時資金調整法ニ依ツテ取締ツテ居リマス  
○中島委員 其ノ土地思惑熱ニ依ル賣買ニ付テハ、臨時資金調整法ノ統制外デスカ  
○入間野政府委員 事業ノ營業者ニアラザル限リハ、臨時資金調整法ニ於テ之ヲ見テ居リマセウ、但シ銀行ナドヨリノ借入金ニ依ツテヤリマス場合ニ於テハ、銀行ノ方ニ通謀ヲ出シマシテ、投機思惑資金ノ供給ハ抑制致スヤウニ、特ニ注意ヲシテ居リマス、尙ホ又銀行ニ付テハ、其ノ種ノ金融ヲ致スコトハ望マシクナイト思ヒマスノデ、時々實地検査ヲ致シマシテ、其ノ内情ヲ調査致シテ居リマス、又昨年二月及九月ノ二回ニ互リマシテ、投機思惑資金ノ供給ニ付キマシテハ通謀ヲ發シテデアリマス、尙ホ先程御話ノアリマシタヤウニ、最近地方ニ

○中島委員 減つて居つてモ後カラ直ぐ大體四五億位ノ公債ヲ募集スルカラ、又殖エテ来ルノデス、大體二十億カラ二十三億位ノモノハ動かヌヤウニ思ハレル、ソコヲ私ハ言ツテ居ルノデアリマシテ、一億十二億ハ減ツテモ殖エテモ大シク違ヒハナイ、二十億ト云フモノハ到底ハ消エナイダラウト思フ、此ノ消ス方法ニ付テハ御努力ヲ願ヒタイ、最近公債ハ八割七分カ八分カ消化サレテ居ルト大蔵大臣ハ本會ノ施政ノ方針ノ演説言ハレマシタケレドモ、アトハ一割二分減ツテモ、一割五分減ツテモ、是ハ絕對數ノ金額ガ非常ニ大キイノダカラ、五十八億ノ一割減ツテモ五億八千万圓殘ルノデス、此ノ五億八千万圓ト云フモノハ通貨トナツテ現ハレル場合ニハ十倍ノ五十八億ノ力ヲ持つテ来ル、小切手ニナツタリ、手形ニナツタリシテグル、(回轉スレバ十倍ニナツテ来ル、ソレダカラ一割減ツテモ非常ニ元ガ大キイカラ大キイ、サウシテ公債ノ消化ト云ツテ貯蓄ノ上ツタケケ公債ヲ消化シタ、大變購買力ガ吸収サレタヤウニ思ハレルケレドモ、ソレハ貯蓄ノ成績ニ依ルノデス、消費過程ヲ通貨ガ通ツテ来テ貯貯ニナツタノハ、ソレハ其ノ間ニ於テ物價貴サシテ居ル原因ニナリ、惡性インフレーションノ因ニナル、工場ノ職工ガ直接ニ賞ツタ金ヲ直ぐ貯蓄スル、消費過程ヲ通ラスヤウナ貯蓄ノ獎勵ノ方法デナケレバナラス、是ハ私ハ同ジ貯蓄高ガ百億集ツテモ、百億ガ消費過程ヲ通ツテ来タモノト通ラナイモノトハ餘程違フト思フ、其ノ點ニ付テモ餘程工夫ヲシテ賞ハナケレバナラスト思ヒマス、最近ニ於キマシテ、去年ノ下半年

○中島委員 減つて居つてモ後カラ直ぐ大體四五億位ノ公債ヲ募集スルカラ、又殖エテ来ルノデス、大體二十億カラ二十三億位ノモノハ動かヌヤウニ思ハレル、ソコヲ私ハ言ツテ居ルノデアリマシテ、一億十二億ハ減ツテモ殖エテモ大シク違ヒハナイ、二十億ト云フモノハ到底ハ消エナイダラウト思フ、此ノ消ス方法ニ付テハ御努力ヲ願ヒタイ、最近公債ハ八割七分カ八分カ消化サレテ居ルト大蔵大臣ハ本會ノ施政ノ方針ノ演説言ハレマシタケレドモ、アトハ一割二分減ツテモ、一割五分減ツテモ、是ハ絕對數ノ金額ガ非常ニ大キイノダカラ、五十八億ノ一割減ツテモ五億八千万圓殘ルノデス、此ノ五億八千万圓ト云フモノハ通貨トナツテ現ハレル場合ニハ十倍ノ五十八億ノ力ヲ持つテ来ル、小切手ニナツタリ、手形ニナツタリシテグル、(回轉スレバ十倍ニナツテ来ル、ソレダカラ一割減ツテモ非常ニ元ガ大キイカラ大キイ、サウシテ公債ノ消化ト云ツテ貯蓄ノ上ツタケケ公債ヲ消化シタ、大變購買力ガ吸収サレタヤウニ思ハレルケレドモ、ソレハ貯蓄ノ成績ニ依ルノデス、消費過程ヲ通貨ガ通ツテ来テ貯貯ニナツタノハ、ソレハ其ノ間ニ於テ物價貴サシテ居ル原因ニナリ、惡性インフレーションノ因ニナル、工場ノ職工ガ直接ニ賞ツタ金ヲ直ぐ貯蓄スル、消費過程ヲ通ラスヤウナ貯蓄ノ獎勵ノ方法デナケレバナラス、是ハ私ハ同ジ貯蓄高ガ百億集ツテモ、百億ガ消費過程ヲ通ツテ来タモノト通ラナイモノトハ餘程違フト思フ、其ノ點ニ付テモ餘程工夫ヲシテ賞ハナケレバナラスト思ヒマス、最近ニ於キマシテ、去年ノ下半年

○中島委員 減つて居つてモ後カラ直ぐ大體四五億位ノ公債ヲ募集スルカラ、又殖エテ来ルノデス、大體二十億カラ二十三億位ノモノハ動かヌヤウニ思ハレル、ソコヲ私ハ言ツテ居ルノデアリマシテ、一億十二億ハ減ツテモ殖エテモ大シク違ヒハナイ、二十億ト云フモノハ到底ハ消エナイダラウト思フ、此ノ消ス方法ニ付テハ御努力ヲ願ヒタイ、最近公債ハ八割七分カ八分カ消化サレテ居ルト大蔵大臣ハ本會ノ施政ノ方針ノ演説言ハレマシタケレドモ、アトハ一割二分減ツテモ、一割五分減ツテモ、是ハ絕對數ノ金額ガ非常ニ大キイノダカラ、五十八億ノ一割減ツテモ五億八千万圓殘ルノデス、此ノ五億八千万圓ト云フモノハ通貨トナツテ現ハレル場合ニハ十倍ノ五十八億ノ力ヲ持つテ来ル、小切手ニナツタリ、手形ニナツタリシテグル、(回轉スレバ十倍ニナツテ来ル、ソレダカラ一割減ツテモ非常ニ元ガ大キイカラ大キイ、サウシテ公債ノ消化ト云ツテ貯蓄ノ上ツタケケ公債ヲ消化シタ、大變購買力ガ吸収サレタヤウニ思ハレルケレドモ、ソレハ貯蓄ノ成績ニ依ルノデス、消費過程ヲ通貨ガ通ツテ来テ貯貯ニナツタノハ、ソレハ其ノ間ニ於テ物價貴サシテ居ル原因ニナリ、惡性インフレーションノ因ニナル、工場ノ職工ガ直接ニ賞ツタ金ヲ直ぐ貯蓄スル、消費過程ヲ通ラスヤウナ貯蓄ノ獎勵ノ方法デナケレバナラス、是ハ私ハ同ジ貯蓄高ガ百億集ツテモ、百億ガ消費過程ヲ通ツテ来タモノト通ラナイモノトハ餘程違フト思フ、其ノ點ニ付テモ餘程工夫ヲシテ賞ハナケレバナラスト思ヒマス、最近ニ於キマシテ、去年ノ下半年



於ケル株式類が相當高マツテ参リマシタノ  
 デ、如何ハシイ株ナドノ地方ニ流レ出ルコ  
 トガアリマシテハ、將來大ニ考ヘナケレバ  
 ナラズト存ジマスルノデ、此ノ點ニ付キマ  
 シテモ、最近地方ノ銀行其ノ他ニ對シテ、  
 恩恵資金ノ供給ヲ差控ヘルヤウニト云フ通  
 牒ヲ出シテ居リマス、尙又地方ニ於ケル銀  
 行家ハ、其ノ地方ノ有力者デアリマスノデ、  
 サウ云フコトノナイヤウニ、能ク地方民ニ  
 モ其ノ趣旨ヲ言ツテ貰フヤウニ、是亦道德  
 的意味モアルカモ知レマセウニ、サウ云フ  
 所マデモ配慮致シテ居ルヤウナ次第デアリ  
 マス

振向ケルヤウニ致シタイト思ツテ、今其ノ  
 考案ヲ致シテ居ル最中デアリマス  
 ○中島委員 ソレカラ會社ノ今ノ二十萬圓  
 以下ノモノハ殆ド日銀ノ目モ届カヌシ、銀  
 行ノ目モ届カヌ、農家ナドハ銀行ニ除リ預  
 ケテ居ナイ、預ケテ居ル者モアルガ、現金  
 デ懐ロニ入レテ自分ノ家ニ隠シテ居ル者ガ  
 アル、ソレ程マデニ通貨ガ浸潤シテ居ルノ  
 デアリマスカラ、其ノ金ヲ狙ツテ誘惑サレ  
 ル、其ノ點ニ付キマシテモ十分ニ農林當局  
 トモ連絡ヲ取ラレテ十分ナル徹底シテ改善  
 ノ方法ヲ執ラレンコトヲ希望致シマス

○中島委員 道德的若クハ其ノ他ノ方法デ  
 ハ思惑熱ハ止メラレナイト思ヒマスカラ、  
 法制的ニ土地ノ投機熱ニ對シマシテモ考ヘ  
 テ戴キタイト思ヒマス

○中島委員 ソレカラ増資拂込ニ付キマシ  
 テハ、臨時資金調整法ニ於テハ之ヲ統制ス  
 ル所ノ力ガナイ、之ヲヤハリ許可制度ニス  
 ルヤウナ御考ハ持ツテ居ナイデセウカ

ソレカラ株デアリマスガ、株ノ方デ上場  
 株ト非上場株ト別テ見マスルト、上場シ  
 テ居ル大キナ會社ノ株ハ非常ニ是ハ堅實ナ  
 株デアリマシテ、ソレ以外ニ非上  
 場株ガ非常ニ殖エテ居ル、或ル研究所ノ調  
 査ニ依リマスルト、上場株ガ昨年ノ暮少シ  
 シツク時デアリマスケレドモ、二百億ノ  
 資金ガ投資サレテ居リマス、非上場株ハ七  
 百億、殆ド三倍以上デアリマス、此ノ非  
 上場株ハドウ云フ株カト云フト、軍需工  
 業ノ下請株ガ多イ、此ノ下請株ガ殆トシ  
 テ農村方面ニ入ツテ居ル、二四、三四ノ  
 株ガ十圓、二十圓、甚シキハ三十圓デ賣  
 付ケラレル、此ノ農村ニ對スル非上場  
 株ノ防止方法如何、之ニ付テ一ツ研究  
 シテ戴キタイ此ノ會社ハ皆五萬、三萬、十萬、  
 二十萬ト云フヤウナ小サイ會社デス、サウ  
 云フヤウナ小サイ會社ガ十三年、十四年ニ

○櫻内國務大臣 今日ノ狀態カラ見マシテ、  
 高率配當ヲ順次低下スルト云フ事柄ハ考慮  
 スベキ問題デアリト思ヒマス、御通知ノ通  
 リ新規ノ企業ニ付キマシテハ、最初ハ六分  
 ノ配當ヲ認メ、其次カラ一分ツツ増加シ  
 テ一割ニ止メテ居ルヤウナ課デアリマス

○櫻内國務大臣 御話ノ點ハ最も心配スベ  
 キ所デアリマスガ、資金調整法ニ於キマシ  
 テハ、二十萬圓以下ノ會社ニハ及ンデ居リ  
 マセヌノデ、二十萬圓以上ノ會社ニ付キマ  
 シテハ、十分ツレ等ノ點ヲ注意致シマシテ、  
 其ノ會社ノ事業ノ性質並ニ其ノ經營等ニ付  
 キマシテモ調査ヲ致シテ許可ヲ致シテ居ル  
 ヤウナ次第デアリマス、二十萬圓以下ノ分  
 ニ對シマシテハ、今積極的ニ取締ハ致シテ  
 居リマセウケレドモ、資金ヲ出ス場合ニハ  
 御承知ノ通り三萬圓以上ノ貸出ニ付テハ取  
 締ヲシテ居ルノデ、其ノ點ニ付テモ注意ヲ  
 致シテ居リマスガ、更ニソレ等ノ株券ガ地  
 方ニ盛ニ向ヒツアルト云フコトヲ聞キマ  
 シタノデ、是等ノ問題ニ付テハ私就任間ニ  
 ナク、全國ノ各銀行其ノ他ニ向ツテ通牒ヲ  
 發シマシテ、自己資金ト雖モサウ云フ方面  
 ニ向ツテ流出スルヤウナ場合ニ於テハ十分  
 ノ注意ヲシテ貰ヒタイト云フコトヲ各銀行ニ  
 モ通牒ヲ致シマシタリト云フコトヲ同時ニ  
 ニソレ等ノ株券ニ投資スルヤウナ方面ニ  
 向ツテ、之ヲ公債ノ方面ニ廻スコトガ最も  
 適當デアラウト思ヒマシテ、十分注意ヲシ  
 テ、ソレ等ノ方面ニ向ツテ國債消化ノ方ニ

○櫻内國務大臣 法律的根據ガアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律的根據ガアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律的根據ガアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス

○櫻内國務大臣 法律の根據がアルヤウデ  
 アリマス



第一類第四號 豫算委員第三分科會議錄
第一回 昭和十五年二月十七日
ヨシテ見タラドウカ、検査シテ見タコトガ...

是カラモ減ツテ行カナイ、大體是テ繰ケテ
行クノダト云フヤウナ状態デアリマス...

自發ニ振集メテ石炭軍需工業等ニ相當影
響シテ居ラウト思フ、斯ウ云フヤウナ...

マス、ソレト相關聯シテ、所謂金融統制法
ト云フ法ヲ設ケテ總テノ問題ヲ解決シ...

能モナイ、此ノ金ハ一箇月ノ準備位シカナ
イ、更ニ根本的ニ戰後ノ經營ト致シマシテ...

船行行詰ツテ使ヘナイト云フヤウナ感ジガ
スルノデアリマスガ、無論外國ニ對シマシ...

議論モゴザイマセウ、或ハ金本位ヲ變ヘテ
鐵本位ニスルト云フコトモ考ヘラレマセ...

○中島委員 昨ハマダアリマスケレドモ、
長クナリマスカラ大體此ノ程度中止致シ...



第七十五回帝國議會

豫算委員第三分科(大藏省)會議錄速記第三回

會議

昭和十五年二月十九日(月曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

主席 矢野庄太郎君

中島彌次郎君

前田房之助君

助川啓四郎君

牧野 良三君

水谷長三郎君

由谷 義治君

兼務

篠原 陸朗君

小川郷太郎君

川崎 克君

北 吟吉君

田村 秀吉君

小笠原三九郎君

板野 友造君

三善 信房君

石坂 豊一君

田原 春次君

守屋 榮夫君

原 夫次郎君

加藤 知正君

吉植 庄亮君

山本 芳治君

松尾 孝之君

同日第一分科所屬員松尾孝之君、第四分科所屬員加藤知正君及第八分科所屬員山本芳治君ハ孰レモ本分科兼務ト爲リタリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

内閣書記官長 石渡莊太郎君

法制局參事官 樋貝 詮三君

企畫院總裁 竹内 可吉君

興亞院總務長官 柳川 平助君

興亞院部長 日高信六郎君

興亞院部長 松村 憲君

大藏政務次官 木村 正義君

大藏參與官 松田 正一君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏省爲替局長 中村孝次郎君

預金部資金局長 廣瀬 豐作君

營繕管財局理事 松隈 秀雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中大藏省所管

豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中大藏省所管

(第一號)昭和十五年度歳入歳出總豫算追加案中大藏省所管

(特第一號)昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案中大藏省所管

○矢野主席 是ヨリ會議ヲ開キマス、前日ニ引續イテ質疑ヲ繼續致シマス——吉植庄亮君

○吉植委員 昭和十四年度ノ物動計畫ノ中ニ勞働力ガ百十万人ト云フコトニナツテ居リマシタガ、本年度ノ物動計畫中ノ勞働力ハ、數字ヲ此處テ御聽スルコトガ出來マセヌデシタラ、數字ハ宜シウゴザイマスガ、其ノ比較ト、ソレカラ此ノ勞働力ノ大部分ハ農村カラ徵募スルコトニナツテ居ルト存ジマスガ、中小商業者階級カラモ其ノ中ノ何割カラ徵募スルコトニナツテ居リマセウカ、農村カラ何割、都會カラ何割ト云フヤウナコトハ、全然ナイ計畫ニナツテ居リマスカ

○竹内政府委員 十五年度ノ勞務動員計畫ハマダ確定ハ致シテ居リマセヌ、十四年度ノ計畫ニ比シマシテサウヒト違ヒハナイ見込デ居リマセヌ、數字ハマダ確定ニ至ツテ居リマセヌ、十四年ノ實績ニ鑑ミマシテ此ノ調整ニ付キマシテハ、更ニ計畫ヲ的確ニスル必要ガアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、次ニ御話ノヤウニ供給ノ源ハ各方面ニ互ツテ居リマスガ、農村方面ニモ相當ナ期待ヲ致シテ居ルコトハ事實デアリマス、尙又中小工業方面ニモ、其ノ方面ノ離職者ト云フヤウナモノヲ無論考ヘテ居リマセウカ、此ノ方面ニハ計畫トシマシテハ、サウ多數ノ者ヲ期待スルコトハ困難デハナカラウカト云フヤウニ考ヘテ居リマス、農村方面ノ者ニ付キマシテモ、御承知ノ通り其ノ地方ノ實情ヲ餘程能ク考ヘテヤラナケレバナラヌデアリマシテ、是ガ爲ニ地方的ニ勞力不足ノ生ジナイヤウニ、格別ノ注意ヲ拂ツテ行キタイト思ツテ居リマス

○吉植委員 御承知ノ通りニ農村ニ於キマシテハ農産物確保ト云フ點デ今大重ニナツテ居リマスガ、資料ハ足りマセヌシ、勞働力モ段々枯渴シテ參ツテ居リマスノデ、此ノ勞働力ノ調整ト云フコトガ今急務中ノ急務ニナツテ居ルヤウニ思ヒマス、然ルニ反面ニ於テ中小商業ト云フ方面ヲ見マスト、今回ノ事變ノ爲ニ中小商業者カラ特別ニ勞働力ガ他ヘ流レ出ス、或ハ又中小商業ノ上ニ農村ニ於ケル増産計畫ノ如キモノモ持ツ

テ居リマセヌ、或ハ之ヲ救済セネバナラスヤウナ聲ガ起ツテ居ル程業務ガ大發展致シテ居リマセヌ、隨テ是ハ勞働力ト申シマセウカ、人的資源ニ於テ前ヨリモ餘計ニ要ルト云フコトハナイヤウデアリマス、前申シタ通りニ農村ノ方ハ之ニ反シマシテ、ドウシテモ人的資源ガ最モ必要ナ時ニナツテ居リマスカラ、彼此レ配合セマシテ、ドウシテモ企畫院ノ物動計畫ニ於ケル勞働力ト云フ問題ハ、其ノ上ニ立ツテ餘程調整ヲ執ツテ戴キタイト思ヒマス、サウ云フ點ニ付テドウ云フ御意見デゴザイマセウカ、承リタイ

○竹内政府委員 洵ニ御尤モナ御意見ダト存ジマス、中小工業方面ノ中デモ、工業方面ニ於キマシテハ、事變勃發以來、他ヘ——他ト申シマスノハ即チ緊急ナ方面ニ轉換ヲシタ者モ相當アルト思ヒマスガ、商業方面ニ於キマシテハ、御話ノヤウニ、緊急性ナ方面ヘ勞務ヲ提供スルコトハ、從來可ナリノ困難ガアツタノデハナイカト思フノデアリマス、併シハ段々勞務動員計畫ガ詳細ニ的確ヲ期スルヤウニナリマスルト、當然考慮ニ入レナケレバナラス問題ダト思フノデアリマシテ、現ニ又此ノ三月一日カラ實施セラレマス青少年ノ使用制限ト云フコトモ、不急方面ニ對シマシテハ其ノ人員ヲ増加スルトカ、或ハ缺員ニナリマシタ場合ノ補充ニ可ナリノ制限ヲ加ヘルコトニナルノデアリマシテ、自然只今御話ノゴザイマスヤウナ趣旨ヲ達成スルノニ資スルコト



ガ相當ナモノガアルヲラウト思ハレルノデ  
アリマス、御趣意ハ洵ニ御尤モデアリマシ  
テ、計畫ヲ立テル上ニ於キマシテハ十分考  
慮シテ参リタイト思ヒマス

カ御考ニナツタコトガゴザイマウカ、承リ  
タイ  
○竹内政府委員 時局産業ト申シマスカ、  
特ニ勞務者ヲ緊急ニ澤山必要トシマス産業  
ト、又此ノ勞務ノ給源トシテ相當考ヘラレ  
ル農村方面トノ間ノ勞務調整ハ、御話ノ如  
クソレニ對スル貨銀ト云フヤウナモノモ  
同時ニ併セテ考ヘナケレバナラヌ問題デア  
ルト思フノデアリマス、唯併シナガラ御承  
知ノヤウニ貨銀ノ標準ト云フモノガ、從來  
ハ工業方面ト農業方面トデハ餘程趣異ニ  
シテ居ルノデハナイカト思ハレルノデアリ  
マス、隨テ今日ノヤウナ時局ニ際シマシテ、  
急速ニ一ツノ科學的ナ標準ト云フヤウナモ  
ノヲ拵ヘマスコトハ事實上非常ニ困難ガア  
ルト思ヒマス、併シナガラハ非常ニ大切  
ナコトデアリマス、努力ノ調整ト云フコ  
トト併セマシテ、貨銀ノ問題ハ是非考ヘテ  
行カナケレバナラヌ問題デアラウト思フノ  
デゴザイマス

ルト承リマシタガ、未ダニヤハリ左様ナ機  
構ニナツテ居ルノデアリマスカ、承リタイ  
○竹内政府委員 只今ノ御話私モ能ク記  
憶ヲ喚ビ起スコトガ出来マス、アレ以來實ハ  
相當努力ヲ致シマシタ、最近ニ於キマシテ  
ハ、或ハ物ニ依リマシテ、マダ理想的デナ  
イ物モアルカモ知レマセスケレドモ、農村  
方面ニ於ケル必要資材ノ確保ト云フ見地カ  
ラ申シマス、餘程改善サレテ居ルハ私ハ  
思フノデアリマス、次ニ配給ノ方法デア  
リマスガ、是ハ物ニ依リマシテ非常ニ違フ  
ト思ヒマス、主トシテハ商工省ト農林省ト  
ノ懇談ニ依リマシテ、今日餘程改善サレテ  
決定サシテ居ルノデアリマス、今ドウ云フ品  
物ガドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコト  
ヲ私記憶致シマセスケレドモ、當時トソレガ  
餘程違フテ行ツテ居ルト思ヒマス、併シナガ  
ラ何分ニモ、欲シイダケノモノヲ供給スル  
コトガ出来ナイ現狀デアリマス、需要方  
面ニ於キマシテ不満足ヲ感ジテ居ラレマス  
コトモ想像出来マス、又配給ノ方法ニシマ  
シテモ、豫定サレテ居ルヤウナ風ニ十分  
違ハズ實行サレテ居ルカドウカト云フ  
點ニ付キマシテモ、必ズシモ保證ノ出来ナ  
イモノガ事實上ナイトハ限ラヌト思フノ  
デアリマス、併シナガラハ豫定サレマシタ  
通り、即チ計畫通りニ物ガ必要方面ニ  
流レテ行クヤウニスル、他ハ流出シナイヤ  
ウニスルコトハ、是非トモハキナラケレ  
バナラヌ事デアリマシテ、今後モ其ノ點ニ  
ハ十分注意シテ參ル積リテ居リマスガ、  
具體的ニハ商工農林ノ間テ話合サシテ貰フ  
コトガ實際的ダト思ヒマス、併シ御趣意ノ  
點ハ能ク分ツテ居リマス、企畫院トシ  
マシテモ、其ノ計畫ガ實行サレルヤウニ能

ク發言モシ、注意モスルコトハ、今後モ怠  
ラナクヤツテ行キタイト思ヒマス  
○吉植委員 昨年私共ガ質疑致シマシタ時  
分ニハ、物ガ企畫院ノ手デ數字ヲ決定シマ  
シテ、ソレヲ商工省ノ手ニ渡ス、ソレガ地  
下足袋ナドニスルト工業組合ノ手ニ渡ツテ、  
其ノ工業組合ハ此ノ物資ヲ受取ツテソレニ  
對シテ、例ヘバ地下足袋三千万足拵ヘルダケ  
ノ物資ハ受取ツテ居リマシテモ、地下足袋ヲ  
二千万足ニシテ、同時ニ運動靴ノ方ノ數ヲ  
増シテ造ツテモ宜シイ、斯ウ云フ風ナ工合  
ニナツテ居リ、其ノ數少ク造ラレタ地下足  
袋ニシマシテモ、ソレガ臨ニ流レ出シテモ  
責任ガナイ、全部ソレハ農村ノ手ニ渡サネ  
バナラヌト云フ責任ハ持タナイデ、造ラレ  
タ物ガ臨ニ流レテ行キマシテ農村ニ來ナカ  
サウ云フ點ハ改マツテ居リマセウカ  
○竹内政府委員 私ガ前段ノ御質問ニ御答  
ヲ致シマシタ通り、計畫トシマシテハ、配給  
方法ハ相當改善サレタト思フノデアリマス、  
唯附加ヘテ申上ガマシタ通り、實際ガ其ノ  
通り十分違ハズニ行ツテ居ルカドウカト云  
フコトニ付キマシテハ、是ハ事實上問題デア  
リマス、十分其ノ配給機構等ノ監督  
ヲ勵行スルコトニ依リマシテ、計畫通りニ  
行クコトヲ期シテ行キタイト云フ風ニ考ヘ  
テ居リマス

○吉植委員 承知シマシタ——今ノ御話デ  
大體私ノ御尋シタイ心持ハ滿タサレルコトト  
思ヒマスガ、今日ハ國ヲ舉ツテ生産擴充ニ  
邁進セネバナラナイ秋デゴザイマス、其  
ノ中デ中小商業者ハ此ノ生産部面ニハ參與  
シテ居ラナイ職業ト心得テ居リマス、此ノ  
生産部面ニ參與致シテ居リマセス、而モ中  
小商業ノ方カラハ、其ノ人的資源ヲ吸收ス  
ルコトガ出来ル餘裕ガアルト致シマス——  
或ハ餘裕ガナイトシマシテモ、餘裕ヲ  
付ケ得ル餘地ガアルトシマシテ——其ノ餘  
地ハ確ニアルト私共ハ思ツテ居リマス、之  
ヲ生産部面ニ參加セシメルコトハ、ヤハリ  
國家ニ取ツテ一ツノ「ポイント」ヲ衝クコト  
ニナルト思ヒマス、ドウカ此ノ上トモ  
斯ウ云フ方面ニ能ク御注意ヲ願ヒタイノデ  
アリマス、ソレカラ農村デ只今一番困リマ  
スノハ、都會ノ工場労働ニ出テ居ル、或ハ  
農村カラ工場ノ方ニ毎日働キニ出テ居ル勞  
働賃銀ト、農村ニ於キマスル労働賃銀トノ  
隔リガ餘リニモ大キイ、農村ニ多少デモ節  
約出來サウナ努力ガアリマス、ソレガド  
ンドンサウ云フ意味デ都會並ニ工場ニ走ツ  
テシマフ、此ノ農村労働賃銀ト、工場労働  
賃銀トノ隔リガ餘リニモ大キイコトニ付テ農  
村ガ困ツテ居ルコトニ對シテ、其ノ對策ト  
云フヤウナモノハ何カ會テ御考ニナツタ  
コトハゴザイマセウカ、ソレトモ何

○吉植委員 此ノ事ニ付テハ私共農村ニ居  
リマス者トシマシテモ、ドウ云フ風ニシテ  
貫ツタ宜シイカト云フコトニ付テ意見ノ  
持合セガゴザイマセス、併シ何トカシテ貫  
ヒマセスト、是ハ甚ダ四ノダト云フコト  
ダケハ分ツテ居リマス、ドウカ一ツ何  
分ノ御考ヲ御願致シマス  
ソレカラ昨年總裁ガ物資調整局長長デ  
居ラレマシタ時分ニ、委員會デ農産資材ノ配  
給ノコトデ色々御尋シタコトガアツタノ  
デアリマスガ、今デモ物資配給ニ付キマシ  
テハ、企畫院カラ商工省ニ廻シテ、其ノ物  
資ヲ工業組合ノ手ニ渡スト云フヤウナ工合  
ニ、例ヘバ地下足袋ノ問題ニ付キマシテ  
モ、去年ハサウ云フヤウナ機構ニナツテ居

ルト承リマシタガ、未ダニヤハリ左様ナ機  
構ニナツテ居ルノデアリマスカ、承リタイ  
○竹内政府委員 只今ノ御話私モ能ク記  
憶ヲ喚ビ起スコトガ出来マス、アレ以來實ハ  
相當努力ヲ致シマシタ、最近ニ於キマシテ  
ハ、或ハ物ニ依リマシテ、マダ理想的デナ  
イ物モアルカモ知レマセスケレドモ、農村  
方面ニ於ケル必要資材ノ確保ト云フ見地カ  
ラ申シマス、餘程改善サレテ居ルハ私ハ  
思フノデアリマス、次ニ配給ノ方法デア  
リマスガ、是ハ物ニ依リマシテ非常ニ違フ  
ト思ヒマス、主トシテハ商工省ト農林省ト  
ノ懇談ニ依リマシテ、今日餘程改善サレテ  
決定サシテ居ルノデアリマス、今ドウ云フ品  
物ガドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコト  
ヲ私記憶致シマセスケレドモ、當時トソレガ  
餘程違フテ行ツテ居ルト思ヒマス、併シナガ  
ラ何分ニモ、欲シイダケノモノヲ供給スル  
コトガ出来ナイ現狀デアリマス、需要方  
面ニ於キマシテ不満足ヲ感ジテ居ラレマス  
コトモ想像出来マス、又配給ノ方法ニシマ  
シテモ、豫定サレテ居ルヤウナ風ニ十分  
違ハズ實行サレテ居ルカドウカト云フ  
點ニ付キマシテモ、必ズシモ保證ノ出来ナ  
イモノガ實際上ナイトハ限ラヌト思フノ  
デアリマス、併シナガラハ豫定サレマシタ  
通り、即チ計畫通りニ物ガ必要方面ニ  
流レテ行クヤウニスル、他ハ流出シナイヤ  
ウニスルコトハ、是非トモハキナラケレ  
バナラヌ事デアリマシテ、今後モ其ノ點ニ  
ハ十分注意シテ參ル積リテ居リマスガ、  
具體的ニハ商工農林ノ間テ話合サシテ貰フ  
コトガ實際的ダト思ヒマス、併シ御趣意ノ  
點ハ能ク分ツテ居リマス、企畫院トシ  
マシテモ、其ノ計畫ガ實行サレルヤウニ能

○吉植委員 昨年ハ只今私申上ガマシタヤ  
ウニ、企畫院ノ方デ決メタ數字ハ當然農村  
ニ來ルベキ數字ニナツテ居リナガラ、工業  
組合ガ之ヲ造ルトキニ、農村ノ地下足袋ヲ  
造ルト云フ責任ヲ負ハズ、又出來タ地下足  
袋ニシマシテモ、之ヲ農村ニ幾ラ送り出サ  
ネバナラヌト云フ責任ガ附イテ居リマセウ

爲ニ、先刻モ申シマシタ通りニ申上ガ思  
フヤウニ農村ニ來マセウデシタ、斯ウ云フ  
點ハ當然改マツテ居ル管トハ思ヒマスガ、  
此ノ上トモ一ツ商工當局トモ能ク打合せ、  
左様ナコトハ絕對ニナイヤウニ、一ツ御取  
計ヲ願ヒタイノデアリマス、一昨日商工當  
局カラ承リマス地下足袋方昭和十二年ニ  
四千八百萬足、十三年ガ四千四百萬足、然  
レニ二十四年ニハ千八百萬足ヨリ出來テ居リ  
マセウ、千八百萬足トシマス、農家一戸當  
リニシテ約三足平均ニ使フトシマス、是  
ハ殆ドモウ全部ト云フヤウナ數字ニナリマ  
ス、所ガ是ハ農家ノミニ來ルノデナク、全  
國到ル處ニ地下足袋方行ツテシマフノデア  
リマス、其ノ結果農村ニ於テハ、今日  
十戸ニ一足位來ル所ハ、地下足袋ノ配給ト  
シテハ、上々ノ成績ニナツテ居ルヤウナ次  
第デゴザイマス、一體ハドウシテ昨年ハ此  
ノヤウニ少クナツタカ、物資ガ足ラナカツ  
タカラデハアリマセウガ、十二月ノ配給方  
法ヲ聞イテ見マス、全部デ百二十萬足拵  
ヘマシテ配給シタ中デ、農家ガ約五割強ノ  
六十何萬足、鑛山労働者ガ十五萬足、一般  
階級ニ四十二萬足、斯ウ云フ數字デ配給サ  
レタト云フコトヲ一昨日承リマシタガ、全  
農村ハ農家一戸五人半ノ家族デ三人ノ労働  
力ガアリマスカラ、三人、即チドウシテモ  
最小限度三足ハ要ル、ソレガ年ニ一足デハ  
到底足リマセウ、ソレモ暑イ時ハ素裸足デ  
歩クトシマシテモ、一足ダケト限定シマシ  
テモ、千七百萬足近クハ農家デ要リマス、  
所ガ國民ノ過半數ガ農民デアリマシテ、其  
ノ半數以下ノ一般ノ方ニ——是ハ商人モ居  
リマス、其ノ他有階級モ居リマス、  
地下足袋ナンカ必要ノナイ所ノ人ノ方ガ數

ガ多イノデアリマスガ、其ノ方ニ四十二萬  
足行ツテ居ル、農村ニハ今申上ガマシタヤ  
ウニ最モ必要デ、ナクテハナラヌ所ヘハ六  
十何萬足シカ參ツテ居ラス、斯ウ云フ所ニ  
配給機構——是ハアナタノ手ヲ離レテ商工  
省ノ配給機構ノ方ニ移ツテ居ルカモ知レマセ  
ウ、不合理ナ實績ガ出テ居リマス、斯ウ云フ點  
ヲ餘程氣付ケテ戴キマセスト、御承知ノ  
通り今年ハ麥ガ、ヤハリ是モ配給ガ巧ク參  
リマセウ、肥料ナシテ、素時ニ時イテ居  
ルト云フノガ相當アリマス、其ノ素時ニ時  
イタ麥デモ麥踏ヲシテ分麥ヲ旺盛ナラシム  
ル、其ノ麥踏ヲシマス、是ハ地下足袋ガナイ、  
朝一而ニ霜ガ降りマシタ、畑ニ行ツテ踏ムノ  
アリマスガ、素足デハ中々出來ナイ、サウ  
シマス、地下足袋ガナイ爲ニ麥踏モ意リ  
勝テアル、又肥料モ行カナイ、ガカラ分  
葉モ劣リ、益減傾向ヲ迎ル如クノ現況ナ  
ノデアリマシテ、ホソノ小サナ事ノヤウデ  
ゴザイマスガ、是ガ國策トシテノ食糧増産  
ト云フコトヲ、斯ウ云フヤウナ所カラチヨ  
イチヨイ破ツテ居リマス、ドウカ斯ウ云フ點  
ヲ徹底シ、是正シテ戴キタイノデアリマ  
スガ、御願申上ゲマス、其ノ時ニ承リマス  
ト、四月カラハ非常ニ地下足袋ノ増産ヲ企  
テテ居ツテ、只今企畫院ト交渉中デアルト  
云フ商工當局ノ御話デアリマシタガ、四月  
カラ地下足袋増産ハドノ程度マデ力ヲ入レ  
テ戴ケルノデアリマセウカ、之ヲ承リタイ  
ト思ヒマス

○竹内政府委員 地下足袋其ノ他農業用資  
材ニ付キマシテ、前ノ議會デ吉植君ヨリ非  
常ニ熱誠ナ御意見を承リマシタガ、企畫院モ、  
商工省モ、農林省モ、以來此ノ方面ニハ一  
層ノ努力ヲ致シテ今日ニ至ツテ居ルノデア  
リマス、其ノ結果先程申上ゲル通りデアリ  
マスガ、例ヘバ地下足袋ノヤウナ、生産資  
材トシテ、ドウシテモ必要ダト云フモノニ  
付キマシテハ、特ニソレガ食糧確保ノ見地カ  
ラシマシテ、更ニ一層關心ヲ以テ之ガ解決  
ヲ圖ツテ行キタイト云フ點ニ付キマシテハ、  
各省間デハ全然意見ハ一致シテ居ル譯デア  
リマス、企畫院ト致シマシテモ十五年度ノ  
物動計畫ガマダ確定ヲ致シテ居リマセウ  
カラ、サウ云フ方面ガドノ位増スト云フ數  
字ニハ只今何モ御話ガ申上ゲラレマセウ、  
併シナガラ御趣意ハ能ク分リマシタ、又  
吾々モ或ル程度、例ヘバモウ少シ緊急性ノ  
少ナイ方面カラ融通ヲ致シマシテ、地下足  
袋ノ供給ヲ殖スヤウニ努メテ行キタイト思  
フノデアリマス、同時ニ配給ノ方法ニ付キ  
マシテモ、實情ヲ計畫通りニ合セルト云フ  
コトニモ一段ノ努力ヲシテ行キタイト思ヒ  
マス

○吉植委員 是カラ十五年度ノ計畫中デア  
ルト云フコトデゴザイマスガ、ドウカ何分  
此ノ點ヲ特ニ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマ  
ス、今申上ゲタヤウニ農家デハ一年ニタツ  
タ一足穿タト致シマシテモ一千六百八十萬  
足ノ地下足袋が必要ナノデアリマス、前年  
ノ成績ハ全體トシテ千八百萬足ト云フヤウ  
ナコトデアリマス、昨年一年中ドレダケ  
農民ガ困ツテ居ツタカト云フコトガ御分リ  
ダラウト思ヒマス、農民ニ取リマシテハ何トシ  
テモ増産ヲシタテハ相成ラヌ、是ガ増産ヲ  
シヘダツタラ、洵ニ國家並ニ前線將兵ニ對シ  
テ申講ガ相立タヌト眞劍ニ考ヘテ居リマス、  
ソコニ地下足袋一ツ與ヘテ呉レナイ、物資  
ガナイナラナイデ宜シイ、ナイナラナイデ  
吾々ハ國家ノ爲ニ我慢シテヤラウ、併シ農



クト云フコトニナリマス、是ハ現在ヨリモ將來ガ私ハ恐ロシト思フノデアリマス、サウスレバドウシテモ技本寒源ノ策ガナケレバナリマセガ、大臣ノ言ハレルヤウニ強制的ノ貯金ヲスル、或ハ其ノ他ノコトヲ考ヘマシテモ、中々此ノ大勢ヲ既倒ニ挽回スル策ト云フモノハ見當ラナイト思ヒマス、サウスレバハドウシテモヤハリ富農ト名ヲ付ケテ宜イカドウカ分リマセシガ、愛國富農モ宜シウゴザイマスシ、愛國債券デモ結構デアリマスガ、一等富農ニ三十万圓カ五十万圓ヲ出ス、之ヲ直チニ與ヘルト風教ニ害ガアルト云フナラバ今日勤業債券デヤツテ居ル三千圓トカ、五千圓程度位ノモノヲ現金デ與ヘテ、アトハ國家ガ公債ヲ以テ保管シテヤルナリ、風教ノ害ヲ除ク途ハ幾ラデモアラウト思ヒマス、間相場ノ生活ニアラザル、公定相場ノ明朗ナ生活ニ導ク爲ニハ、何カ此ノ種ノ技術ヲ要ルト思フノデアリマスガ、ヤハリドウシテモサウ云ツクヤウナ點マデ、突キ進ンデ行クコトハ出来マセズゴザイマセウカ、御同致シマス。

○櫻内國務大臣 今日市場ニ撒布セラレタル資金ヲ吸收スル上ニ於テ、人心ヲ捉ヘテ之ヲ集メルノニハ、富農類似ノ方法ガ一番効果的デハナイカ、又現在間取引ト云フヤウナ洵ニ忌ハシキコトガ行ハレテ居ルノデアリカ、富農ノ缺點デアリマス射撃心ノ挑發等ト比ベルト、此ノ方ガ宜シイデハナイカト云フヤウナ御意見ノヤウニ拜聴シタラデアリマスガ、ドウシテモ民間ニ撒布セラレタル資金ヲ吸收スルコトニ付キマシテハ、何等カ特別ナ方法ヲ設ケテ之ヲ集メルト云フコトニ付テ考慮ヲ拂ハナケレ

バナラヌト云フコトハ仰セノ通りデアリマス、政府ニ於キマシテモ此ノ點ニ付キマシテハ目下深ク研究シテ居リマシテ、近キ期間ニ於テ是等ノ案ヲ決定致シタイト考ヘテ居リマス、唯富農ヲ發行スルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、先般來度々御答辯申上ゲマシタ通り、一面ニ於テ射撃心ヲ挑發シ、又場合ニ依ツテハ善良ノ風俗ヲ害スル點モアリマスノデ、此ノ事柄ト今日資金ノ撒布セラレテ居ル所ノ状態ト照シ合セテ見テ、サウシテ富農ヲ發行シナケレバ、之ヲ吸收スルコトガ出来ナイト云フ場合ニ至リマシテハ、或ハ今ノ御話ノ如ク富農ヲ出スト云フコトモ、一ツノ手段デアラウト思ヒマスケレドモ、マダソコマデ私共ハ考ヘテ居ナイノデアリマス、併シナガラ吉植君ノ御意見モアリ、又吾々モ左様ニ考ヘマスノデ、何等カ人心ヲ捉ヘ得ル方法ニ依リマシテ、資金ヲ吸收スルコトノ新シイ構想ヲ致シタイト思フデ、折角今考慮致シテ居ル最中デアリマスノデ、其ノ點ハ其ノ程度ニ於テ御諒解願ヒタイト思ヒマス。

○吉植委員 私が特ニ惧レマスノハ、日本ノ少年少女ニ、此ノヤウナ事態ノ中ニ住ンデ居ツク不幸ト云フコトヲ、後世マデ沁ミ沁ミト味ハハセタクナイノデアリマス、今日一切ノ相場ガ公定相場ニアラズシテ、此ノ間相場ノ中ニ少年兒童達ガ居リマシテ、表ト裏ト云フ世界ヲ呼吸シテ、魂ノ底マデ是ガ沁ミ込シタ時ニ、將來恐ルベキモノガアルト存ジマス、法治國ニ於テ法律ハアルガ其ノ法律ノ定メタル所ノモノガ行ハレズシテ、其ノ裏ノモノガ行ハレテ居ル、此ノ空氣ノ中ニ住ンデ居ツク、而モ是ガ沁ミ付キマシテ、是ガ將來ノ國民ノ中堅層ト相成

カ、獎勵金或ハ種其ノ他ノ配給ニ依ツテ種リマシタ收穫物ヲ只徴收サレルノデハナイカト云フ心配カラ、中々助成金ヲ受ケズ困ツテ居ルト云フ話モ聞イテ參リマシタガ、左様ナ點ハ直チニ解消出来ルト思ヒマス、ソレニハ興亞院ガ真向カラ乗出シテ掛ラストイカスト思ヒマスガ、左様ナ點ニ於テ何か御意見、御計畫ガゴザイマシタラ承リタイト思ヒマス。

○松村政府委員 只今吉植君ノ御話ノアリマシタコトハ、一々肯察ニ當ツテ居ル非常ニ重要ナ點ヲ御指摘ニナツタノデアリマスガ、興亞院トシテ今日マデヤツテ居ルコトヲ簡單ニ御説明致シマス、吉植君ノ言ハレマシタ通り、支那ノ現在ノ廣汎ナ範圍ニ居ル多數ノ農民ガ皆千年或ハソレ以上ノ古イ時代ノ——今日ノ科學知識ト云フヤウナコトガ全ク用ヒラレテ居ナイ古イ時代ノ方法ヲ踏襲シテ居リマシテ、少シモソレニ研究、或ハ改良ヲ加ヘテ居ル點ガナイノデアリマス、サウ云フ關係デ、アノ非常ニ勤勉無比ナ農民ガ其ノ收穫カラ言ヒマス、勞多クシテ功ガ少イト云フ實情ニアリマスコトハ、今ノ吉植君ノ御話ノ通りデアリマス、肥料問題ニシテモ、或ハ灌溉、治水問題ニ付テモ、少シモ近代ノ知識ヲ用ヒテ居ラスコトハ洵ニ可哀相デアリマス、所ガ、日本デハ之ニ反シテ、最も效果ノアル進歩シタ知識ヲ農業ガ營マレテ居リマスカラ、此ノ日本ノ農業知識ヲ支那人ニ能ク教ヘ導キマシテ、勞力ニ相當スル酬イヲ得サセタイト云フ考ガ強イノデアリマス、サウ云フ關係ト興亞院トシテハ外務省ニ依ツテ前カラ試ミラレテ居リマシタ所ノ産業科學研究所、詰リ農事試験場ノヤウナモノニ力ヲ入レマシテ、

日本カラ指導、知識ヲ音シミナク向フヘ流シ出シマシテ、極メテ合理的ナ、サウシテ效果ノ多イ方法ヲ支那人ニ教ヘルヤウニ努メテ居リマス、而シテ相當ノ效果ヲ得ルルヤウ大體ノ目途ハ付イテ居リマスガ、何分ニモ支那人ハ永イ間政府ノ洵ニ素レタ間ニ育ツテ居リマス關係デ、日本ノ農村ニ於テハ非常ニ立派ナ結果ヲ得ルヤウナコトデモ中々サウ眞直クニ行カナイト云フヤウナコトモ今ノ所アリマス、ソレニ付テハヤハリ支那人ニ日本ヲ信賴サセルト云フ、政治的ニ、所謂徳化ト云フカ、徳治ト云フカ、多少徳ヲ以テ彼等ノ信賴ヲ高メルト云フ爲スニアラザレバ、如何ナルコトヲシテモ、如何ナル知識モソレニ力ガ及バナイト云フヤウニ考ヘラレマス、ソレニ付テハ思想ナリ教育ノ力ニ依ツテ、一時蔽ハレテ居ル漢民族ノ本然ノ姿ヲ出来ルダケ磨キ出スト云フヤウニ、下ノ方面カラモ力ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、専門ノ農業ノ學術ノ指導ト云フヤウナコトニ付テハ、只今申上ゲタヤウニソレニ集中シテ居リマスガ、只今吉植君ノカラ一寸申サレマシタ現地除根ノ者ヲ用ヒテ、ソレニ資金ヲ提供シ、其處デ日本ノ耕作法ヲヤラセテ方宜カラウト云フ御意見ハ、是亦一ツノ非常ニ面白キ考ト存ジマスケレドモ、マダ興亞院トシテハ實際上サウ云フ方向ニ向ツテ具體的ニハ何モ考エ進メテ居リマセズ、併シ何レサウ云フコトモ逐次研究シテ、良イモノハ何デモ採ツテ支那農民ノ爲ニ圖リタイト云フ心構進ンデ居リマス。

○吉植委員 今ノ御話ヲ承リマシテ御尤モノコトト存ジマスガ、唯私トシテハ高遠ナ學理、或ハ深い研究ト云フヤウナモノヲ持

リマシタ時ニハ、餘程恐ルベキモノガアルト思ヒマスノデ、射撃心ヲ挑發シ風教ニ害ガアルト云フコトニナリマス、是以上ニ風教ニ害ガアルコトハナイト思ヒマスノデ、ドウカ此ノ上トモ一段ノ大藏大臣ノ御考慮ヲ御願申上ゲマス。

ソレカラ次ハ興亞院ニ御尋致シマス、私共ハ昨年モ一昨年モ支那ニ行ツテ參リマシタ、其ノ時ニアチラデ感じテ參ツタコトデアリマスガ、第一ニ現地ニ於キマシテハ私共ニ、本當ノ日本人ガ來テ居ルコトガ少イ折角軍ノ宣撫班、其ノ他ノ盡力ニ依ツテ、支那ノ民心ヲ漸ク得掛ケテ來ルト、非日本入ガ來テ之ヲ徹底的ニ破壊シテシマフ、人的資源ニ於テ最も優良ナ日本人ガコチラニ來テ與レルト云フコトガ、同時ニ大業達成ノ基本デモアルト云フコトヲ聞カサレマシテ、又其ノ實情モ見テ參リマシテ、御尤モト感じタノデアリマス、又モウ一ツハ北支ニシマシテモ、中支那ニシマシテモ、支那ハ俗ニ九割マデ農民デ成立ツテ居ルト云ハレテ居リマスガ、其ノ農民ニ依ツテ形作ラレテ居リマス支那ノ農業ヲ見マス、北支ノ島作中支那ノ水田經營ニ致シマシテモ、極ク原始的ナモノデアリマシテ、アレガ多少資金ヲ持ツタ日本人ガ出掛ケマシテ、現在吾々ガ耕耘ニ從事シテ居リマス知識ヲ應用致シマス、直チニ二倍、場合ニ依リマスト三倍ノ増收ヲ得ルコトハ難事デナイト云フコトヲ感じマシタ、又其ノ筋ノ人達ニ此ノ事ニ付テ意見ヲ質シマス、其ノ通りデアルト云フ御挨拶デアリマシタ、シテ見ルト支那ノ振興ト云フコトハ、先ツ九割ヲ占メテ居リマス農業ノ振興カラ著手セラレタナラバ、一番近道デハナイカト思フノデ

ウツテ行ツテ直チニ支那農民ヲ開發スルコトモ一ツノ基本方針デアリマスガ、サウデナク、今日日本農村出ノ兵隊サン達ガ持つテ居ル知識ヲ直チニ支那農民開發ニ應用スル、此ノ點ヲ御考慮願ヒタイト云フノデアリマス、ゴザイマセズ、學問モ學理モ何モ要ラスノデアリマス、聽キ學問、見學問デモ結構ヤレルノデアリマス、私ハ小學校ヲ了ヘルト東京ニ出テ來テ學生生活ヲヤリ、新聞記者ヲヤツテ居ツタノデアリマス、農業知識ハ一ツモナイ人間デアリマスガ、大正十五年ニ農村ニ飛込ンデ、開墾ノ傍ラ耕作ニ從事致シマシタ、讀ンダ本ハ一ツモゴザイマセズ、唯一冊愛知縣ノ農林學校ノ先生ガ出シマシタ「實際農業」ト云フ本ヲ見タキリデ、アトハ新聞ノ産業欄、雜誌ノ端シカカラス所ハ村ノ技術員或ハ那農會ヘ行ツテ聽クト云フヤウナ程度デ百姓ヲヤリマシタ、三十年百姓ヲヤツテ居ツタ人ニ負ケナイ成績ヲ舉ゲテ居リマスノデ、コンナ不思議ナ職業ハナイト私ハ思ヒマシタ、要スルニ見開スル學問デ澤山デアアル、ソレニ今申上ゲマシタ農民心理ト云フモノハ一種不可思議ナモノデアリマシテ、私共ガ知リマセズコトハ、オ前ガ斯ウ云フコトヲヤルノハ間違ヒダカラ、斯ウシナイサイト向フカラチヤント教ヘマス、所ガ自分ガ知ツテ居ル學問ナリ、原理ヲオ前ノヤツテ居ルコトハ間違ヒダカラ、斯ウシナイサイト言ツテモ向フハ中聽タモノデハナイ、アチラニ行ツテ其ノ事ヲ土著ニ色々聞イテ見マス、農民心理ハ支那ト日本トハ違ハナイヤウデゴザイマシテ、結局立派ナ成績ヲ擧ゲテ、一人ノ人

ガ身ヲ以テ示スト云フコトガアルト、其ノ周圍ガ皆サウナツテシマヒマス、一人ノ兵隊サンガ現地除根シテ其處ニ入植シテ農園ヲ經營スル、サウシテ三年或ハ四年デ立派ナ成績ヲ擧ゲテ、彼等ノ作物ヨリ倍モ三倍モ收穫ヲ擧ゲマス、支那農民ノ驚異ノ的ニナリマス、驚異ノ的ニナツテドウシタラア、ナルカ、一體肥料ハドンナ風ニシタラ宜イノカ、其ノ中耕方法ハドウシタラ宜イカ、種ノ選別方法ハドウシタラ宜イカト云フヤウナコトヲ何時ノ間ニカ聽出シマス、ソレヲ聽出シテ自分デヤリマス、ソコニ肥料ガ足りナイ、或ハ其ノ他井戸ヲ掘ル施設ガ足りナイト云フ時ニ、助成ヲ與ヘルベ喜ビマス、私ガ先程申上ゲテ松村君モ是認セラレマシタヤウニ、支那ノ農民ハ多年稅政ノ結果デアルカ助成シヨウト云フテモ中々助成ニ乘ツテ來ナイ、北支ノ方デハ百五十圓カ掛ケテ井戸ヲ掘ツテ、是カラ單ニ水ヲ上ゲテ麥ニ與ヘサレバ、ソレダケデ二倍ノ増收ガ出来ルノデス、ソレニ付テ井戸ヲ掘ル助成金ヲ與ヘヨウトシテモ恐レヲ爲シテ、助成金ヲ貰ツタラ後ドウナルカト思フデ、ソレヲ掘ルノニ心配シテ居ルト云フヤウナ實話モ聽イテ來マシタ、ソレデ左様ナコトガ絕對ニナイヤウニ、例ヘバ北支ノ方デ現地除根ノ日本ノ兵隊サンガ井戸ヲ掘ツテ、唯水ヲ上ゲルダケデ二倍ノ收穫ヲ取ツテ居ルト、成程アレハ神様ミタイナモノデ、アレドドウカ私共ニモ使ハシテ貰ヒタイト言ヒ出ス、ソコデ助成ヲ與ヘルゾト言ヘバ飛付イテ助成ヲ受ケルコトニモナリマス、兎ニ角コチラカラ云フト普通デアアルガ、支那カラ云フト模範的ナ農園ガ到處ニ出来テ參リマス、之ニ依ツテ支那農民ガ利戟ヲ

カ、獎勵金或ハ種其ノ他ノ配給ニ依ツテ種リマシタ收穫物ヲ只徴收サレルノデハナイカト云フ心配カラ、中々助成金ヲ受ケズ困ツテ居ルト云フ話モ聞イテ參リマシタガ、左様ナ點ハ直チニ解消出来ルト思ヒマス、ソレニハ興亞院ガ真向カラ乗出シテ掛ラストイカスト思ヒマスガ、左様ナ點ニ於テ何か御意見、御計畫ガゴザイマシタラ承リタイト思ヒマス。

○松村政府委員 只今吉植君ノ御話ノアリマシタコトハ、一々肯察ニ當ツテ居ル非常ニ重要ナ點ヲ御指摘ニナツタノデアリマスガ、興亞院トシテ今日マデヤツテ居ルコトヲ簡單ニ御説明致シマス、吉植君ノ言ハレマシタ通り、支那ノ現在ノ廣汎ナ範圍ニ居ル多數ノ農民ガ皆千年或ハソレ以上ノ古イ時代ノ——今日ノ科學知識ト云フヤウナコトガ全ク用ヒラレテ居ナイ古イ時代ノ方法ヲ踏襲シテ居リマシテ、少シモソレニ研究、或ハ改良ヲ加ヘテ居ル點ガナイノデアリマス、サウ云フ關係デ、アノ非常ニ勤勉無比ナ農民ガ其ノ收穫カラ言ヒマス、勞多クシテ功ガ少イト云フ實情ニアリマスコトハ、今ノ吉植君ノ御話ノ通りデアリマス、肥料問題ニシテモ、或ハ灌溉、治水問題ニ付テモ、少シモ近代ノ知識ヲ用ヒテ居ラスコトハ洵ニ可哀相デアリマス、所ガ、日本デハ之ニ反シテ、最も效果ノアル進歩シタ知識ヲ農業ガ營マレテ居リマスカラ、此ノ日本ノ農業知識ヲ支那人ニ能ク教ヘ導キマシテ、勞力ニ相當スル酬イヲ得サセタイト云フ考ガ強イノデアリマス、サウ云フ關係ト興亞院トシテハ外務省ニ依ツテ前カラ試ミラレテ居リマシタ所ノ産業科學研究所、詰リ農事試験場ノヤウナモノニ力ヲ入レマシテ、

日本カラ指導、知識ヲ音シミナク向フヘ流シ出シマシテ、極メテ合理的ナ、サウシテ效果ノ多イ方法ヲ支那人ニ教ヘルヤウニ努メテ居リマス、而シテ相當ノ效果ヲ得ルルヤウ大體ノ目途ハ付イテ居リマスガ、何分ニモ支那人ハ永イ間政府ノ洵ニ素レタ間ニ育ツテ居リマス關係デ、日本ノ農村ニ於テハ非常ニ立派ナ結果ヲ得ルヤウナコトデモ中々サウ眞直クニ行カナイト云フヤウナコトモ今ノ所アリマス、ソレニ付テハヤハリ支那人ニ日本ヲ信賴サセルト云フ、政治的ニ、所謂徳化ト云フカ、徳治ト云フカ、多少徳ヲ以テ彼等ノ信賴ヲ高メルト云フ爲スニアラザレバ、如何ナルコトヲシテモ、如何ナル知識モソレニ力ガ及バナイト云フヤウニ考ヘラレマス、ソレニ付テハ思想ナリ教育ノ力ニ依ツテ、一時蔽ハレテ居ル漢民族ノ本然ノ姿ヲ出来ルダケ磨キ出スト云フヤウニ、下ノ方面カラモ力ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、専門ノ農業ノ學術ノ指導ト云フヤウナコトニ付テハ、只今申上ゲタヤウニソレニ集中シテ居リマスガ、只今吉植君ノカラ一寸申サレマシタ現地除根ノ者ヲ用ヒテ、ソレニ資金ヲ提供シ、其處デ日本ノ耕作法ヲヤラセテ方宜カラウト云フ御意見ハ、是亦一ツノ非常ニ面白キ考ト存ジマスケレドモ、マダ興亞院トシテハ實際上サウ云フ方向ニ向ツテ具體的ニハ何モ考エ進メテ居リマセズ、併シ何レサウ云フコトモ逐次研究シテ、良イモノハ何デモ採ツテ支那農民ノ爲ニ圖リタイト云フ心構進ンデ居リマス。

○吉植委員 今ノ御話ヲ承リマシテ御尤モノコトト存ジマスガ、唯私トシテハ高遠ナ學理、或ハ深い研究ト云フヤウナモノヲ持







法トシテ、限外發行ニ對スル發行稅ヲ増ス  
トカ何トカト云フコトモ一ツノ考ヘ方デア  
ラウト思フ、此ノ點ニ對スル御考ヲ一ツ承  
リタイ、モウ一ツ、保證發行高ヲ現在ノ二  
十二億カラ或ハ三億ナリ五億ナリ増ス必要  
ガアルノデハナイカ、此ノ際保證發行高ヲ  
増ス御考ガアルカドウカト云フコトト、増  
サナイデ、保證準備高ヲ此ノ儘ニシテ置イ  
テ、限外發行ヲ抑制スル爲ニ發行稅ヲ上ゲ  
タラドウカ、此ノ二點ヲ明瞭ニ御答ヲ願ヒ  
タイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 只今ノ問題ハ今考究致シ  
テ居ル際デアリマシテ、極メテ近イ期間ノ  
中ニ何等カ對策ヲ決定致シタイト思フテ居  
リマス

○田村委員 今考究中デ御答辯ガ出来ナイ  
ヤウデアリマスカラ、此ノ問題ハ差控ヘマ  
ス——法務局關係ノ政府委員ハ見エルデモ  
ウカ

○矢野至奎 見エテ居リマス

○田村委員 興亞院長官ハ御見エデアリマ  
スカ

○矢野至奎 見エテ居リマス

○田村委員 ソレデハ御呼ビテ願ヒタイ、  
ソレデハ内閣ノ方ニ承リタイト思フノデス  
ガ、其ノ前ニ主計局長ニ對シテ承リタイ  
ノハ、精神總動員中央聯盟ニ關スル問題  
デスガ、精神總動員中央聯盟ノ問題ハ、豫  
算總會ニ於テ色々論議ガアリマシタガ、此  
ノ點ハワキリシテ居ナイ、精神總動員中央  
聯盟ノ——是ハ後程監督關係ニ付テ内閣ノ  
法制局ノ方ニ承リタイト思ヒマスガ、先ヅ  
其ノ前ニ豫算關係ニ付テ承ツテ置キタイ、  
一體、精神總動員中央聯盟、名前ガ随分長  
イノデスガ、此ノ精神總動員中央聯盟ガ、

大キナコトヲ考ヘテ大キナコトヲ言ヒナガ  
ラチツトモ效果ヲ齎ラサナイ、サウシテ自  
カト云フモノハ一ツモナイ、國家カラ金ヲ  
貰ツテ、其ノ金ヲ其ノ役ニ就イテ居ル者ガ  
高給ヲ食シテ、ヤツテ居ルコトハ何デア  
カト云フト、國民ハ全ク何ノコトヲヤツ  
テ居ルカ諒解ニ苦シム、サウシテ一部ニ偏在  
シテ居ツテ大キナ額ヲシテ、國民ハ自分ガ  
支配シテ、支那事變解決ノ政府ノ方針ト相  
呼應スルノダト云フヤウナコトヲ呼號シテ  
居ル、官僚獨善ノ聲ガ天下ニ轟々トシテ起  
キル所ノ現象ハ、精神總動員中央聯盟ノ動キ  
ニアルトマデ世間ハ言ウテ居ル、是ハ私共  
ハ此ノ議會ヲ通ジテ嚴重ナル態度ヲ以テ此  
ノ精神總動員中央聯盟ノ對策ヲ講ジタイト  
思フテ居ルノデスガ、結論ハ二三日ノ中ニ  
著ト思フノデス、此ノ際明瞭ニ承リタイ  
ト思フノハ、一體此ノ國民精神總動員關係  
ノ豫算ガ各省ニ分散サレテ居リマスカラ、是  
ガドウ云フ風ニナツテ居ルカ、ソレカラ國  
民精神總動員中央聯盟ニ對スル補助金ハ何  
處カラドノ部分ツツ行ツテ居ルカ、國民精  
神總動員中央聯盟ニ對スル補助金ノ總額ガ  
幾ラデ、ソレハ何處ト何處ト、何處カラ來  
テ居ルカ、ソレカラ先程申上ゲタ國民精神  
總動員ニ關スル費用、是ハ委員會ノ費用モ  
アリマセウ、或ハ文部省、内務省ガ直接持  
ツテ居ル費用モアリマセウガ、ソレモ、簡  
單デモ結構デスガ、明瞭ニ此ノ際主計局長  
カラ御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○谷口政府委員 只今田村サンカラ御尋  
點デアリマスカラ、十五年度豫算ニ於キマシ  
テ國民精神總動員諸費トシテ掲ゲラレテ居  
リマスノハ、大藏省ノ所管ニ於キマシテ百  
五萬圓、内務省ニ於キマシテ三十萬圓、文

部省ニ於キマシテ四十七萬六千五百圓、總  
計百八十二萬六千五百圓、是ガ國民精神總  
動員諸費トシテ掲ゲラレテ居ル金額デアリ  
マスガ、此ノ中デ國民精神總動員中央聯盟  
ニ對シテ交付サレマスノハ、大藏省所管ノ  
中カラ百五萬圓ヲ交付サレルコトニナツテ居  
ルノデアリマス、尙ホ詳細ニト云フ仰セデ  
アリマスガ、國民精神總動員中央聯盟ニ於  
キマシテハ、只今申シマシタ金額以外ニ於  
キマシテ、國民貯蓄獎勵運動ノ趣旨ヲ以テ  
マシテ、貯蓄獎勵ノ諸費ノ中カラ二萬圓ヲ  
交付サレテ居リマス、要シマスルニ、國民  
精神總動員中央聯盟ガ政府カラ補助金トシ  
テ交付サレテ居ル金額ノ總額ハ百二萬圓デ  
アリマス

○田村委員 世間ノ傳フル所ニ依リマス  
ト、國民精神總動員中央聯盟ハ滿洲ノ協和  
會ミタケウナ考ヘ方ヲ以テ、現在ノ國民代  
表組織ト云フモノニ取ツテ代ルト云フ大ッ  
レタ、又ヲカシナ話デスガ、アノ連中ハサ  
ウ云フ考ヘ方ヲ持チ兼ねナイ、サウ云フ考  
ヘノ下ニ現在ノ補助金ハ百二萬圓デアリマ  
スカラ、八百九十萬ノ大藏省ニ要求シタト云  
フコトガ傳ツテ居ル、査定セラレルニ當リ  
マシテ百五萬圓トセラレタノカ、サウ云フ  
要求ガアツタカドウカ、ソレカラ若シ要求  
ガナカツタトスレバ、今追加豫算ヲ要求シ  
ヨウトシテ居ルコト云フコトヲ聞イテ居ル、  
サウ云フモノニ對シ大藏省ガ是ハ政治的ノ  
問題デスガ、ドウ御考ニナリマスカ、サウ  
云フ要求ガアツタカドウカト云フコトヲ主  
計局長カラ承リ、大藏大臣ハ此ノ國民精神  
總動員中央聯盟ノ價值、行動ヲ御承知ニナ  
ツテ、假ニサウ云フ豫算ヲ要求シテ來ル以  
上ハ、腹ノ中ニハ之ヲ觀破シテ行カナケレ

バナラスト思フノデス、時局ニ對シテ國  
民精神總動員デ出來レバ宜シイガ、少シモ  
出來ナイ、若シ追加要求スルト云フ動キ  
ガアルトスレバ、其ノ場合ニ處スル態度  
ヲ、是ハ假定的ナ將來ノ問題デスガ、此ノ  
際承ツテ置キタイト思ヒマス

○谷口政府委員 此ノ國民精神總動員諸費  
ニ付テ八萬圓云々ト云フ御話デアリマス  
ガ、昭和十五年度豫算ニ計上シテ居リマス  
ル所ノ國民精神總動員諸費ハ大體十四年度  
ノ額ト同額ヲ動カサナイト云フ考デ計上シ  
テアルノデアリマシテ、十四年度ニ於キマ  
シテハ大藏省ニ於テ八十五萬圓、内務省ニ  
於テ三十萬圓、文部省ニ於テ七十萬圓、計  
百八十五萬圓デアリマシテ、其ノ中文部省  
ト大藏省トニ金額ノ移動ガアルノデアリマ  
スカ、總額ニ於キマシテ八十四年度百八  
十五萬圓、十五年度百八十二萬六千五百圓デ、  
少々十五年度ニ於テハ内閣ニ相成ツテ居  
ルノ關係カラ只今ノ八萬圓云々ト云フ御話  
ハ、概算編成ノ時ニハ全ク聞イタコトハナ  
カツタノデアリマス、更ニ進ンデ追加豫算  
ニ於テサウ云フ要求ガアルカドウカト云フ  
御話デアリマスガ、此ノ事ニ付キマシテハ  
私ハ只今ノ所全ク其ノ要求ガアルト云フコ  
トヲ承知シテ居リマセウ、御答致シマス

○櫻内國務大臣 マダ何等ノ交渉ヲ受ケテ  
居リマセウノデ、答辯致シ兼ねマスケレド  
モ、若シ萬一要求ガアリマシテモ、十分ニ  
調査ヲ致シマシテ、適當ナリト認メタ場合  
デナケレバ同意致サス積デアリマス

○田村委員 ソコデ此ノ問題ニ關係致シマ  
シテ法制局ノ方ニ伺ヒタイノデスガ、一體  
此ノ國民精神總動員中央聯盟ト云フモノノ

監督機關、是ハ誰ガ監督スルノカ、ソレカラ  
國民精神總動員委員會ト云フモノガ内閣ニ  
アリマスガ、此ノ委員會ト中央聯盟トノ關  
係ガドウナツテ居ルカ、ソレカラ中央聯盟  
ノ活動スル所ノ企畫、運動ノ内容、是等ハ  
委員會ニハ幹事ガアリ、庶務ハ内閣情報部  
ニ於テ扱フト云フコトハ國民精神總動員ノ  
官制ニ明カデアリマスガ、ソコデ大藏大臣  
ノ組マレテ豫算ハ、是ハ結局内閣情報部カ  
ラ百五萬圓ハ行クヤウニナツテ居ルコト思フ  
デアリマスガ、サウスルト補助金百五萬圓、  
貯蓄獎勵ノ二萬圓ハ大藏省カラ直接行ツテ  
居ルノデアリマスガ、此ノ百五萬圓ノ補助金  
ヲ與ヘテ居ル、サウスルト内閣ニ監督權ガ  
ナケレバナラヌト思フ、監督權ガアル以上  
ハ中央聯盟ノ行動、價值、效果ト云フコト  
ニ付テハ常ニ綿密ナル注意ヲ之ニ拂ツテ居  
ラナケレバナラヌト思フデスガ、其ノ監  
督關係、企畫、行動ニ對スル關係、此ノ委  
員會トノ關係並ニ最後ニ引括メテ承ツテ置  
キタイノハ、中央聯盟ハ補助金百二萬圓ダ  
ケデ動イテ居ル、中央聯盟自身ノ金ト云フ  
モノハ一厘モナイ、隨テ是ハ政府ノ附屬機  
關デスガ、サウスルト監督ノ機關ガハツキ  
リ致シマスレバ、全ク役ニ立タヌヤウナ行動  
ヲシテ居ルモノニ對シテ放任シテ置ク譯ニ  
ハ行カナイ、今後ノソレニ對スル……今ヤ  
ウテ居ルノハ、私ハ地方ニ居リマシテ地方  
ノ活動ヲ聞イテ居リマスガ、中央デハ、ネ  
オン・サイン、ガドウ、バーマ・ネット、ガド  
ウト云フヤウナコトヲ言ツテ、新聞ニ面白  
半分ニ出テ居リマスガ、地方民ハ非常ニ迷  
惑シテ居ル、モーニング、ヲ著テ來イ  
カ、羽織袴ヲ著テ來イナドト云ツテ、譯  
ノ分ラヌ講師ノ講演ヲ聴カサレルト云フコ

トガ一ツ、此ノ頃部憲會ト云フノヲ聞ク、  
是モ役ニ立タヌ、國民ガ自發的ニ動イテ、  
自發的ニ立上ツテ時局ニ協力スルト云フコ  
トデナケレバナラヌノ、上カラワイ、  
斯ウ云フ何處ノ者ヤラ分ラヌ者ガ分ラヌコ  
トヲ言ツテ引張ツテモ、國民ハ附イテ來ル  
モノデハナイ、サウ云フ根本ノ認識ガ違ツ  
テ居ル、ソレデ監督權ガ内閣ニアルトスレ  
バ、内閣ハコソナ重大ナル、國民ガ眞ニ協  
力シナケレバナラヌ場合ニ、宜イ加減ニ扱  
ツテ居ルコト云フコトハ、其ノ責任重大ナリ  
ト言ハナケレバナラヌト思フノデスガ、議論  
ハ別トシテ、今ノ點ヲ明確ニ伺ヒタイ、責  
任ハ私ハ總理大臣ニ伺ヒタイト思ヒマス  
ガ、企畫ノ點、委員會トノ關係、監督關係  
ノ行動ニ對スル指導ノ内容等ノ關係ヲハツキ  
リ承ツテ置キマス

○櫻内政府委員 中央聯盟ノ監督機關デス  
ガ、御説ノヤウニ中央聯盟ハ民間ノ團體ニ  
ナツテ居リマス、各種ノ國民精神總動員ニ  
關スル民間團體ノ中カラ中央聯盟ニ加盟シ  
テ居ルモノガアリマス、ソレカラ構成サレ  
テ居ル純民間團體デアリマス、之ニ對シマ  
シテノ監督權ハ目下ノ制度ノ上カラ申シマ  
スルト、總理大臣ニハ無イ、隨テ之ヲ何處  
ガ監督スルカト云フヘバ、今日ノ監督トシテ  
ハ内務大臣ノ監督ニ屬スル、サウ申ス外ハ  
ナイノデゴザイマス、ソレカラ次ニ、内閣ノ  
國民精神總動員委員會ト此ノ中央聯盟トノ  
關係ガドウナルカ、精神總動員委員會ト中  
央聯盟ノ關係ガドウナルカト云フト、是ハ中  
央聯盟ハ只今申上ゲタヤウニ純民間團體、ソ  
レカラ内閣ノ精神總動員委員會ノ構成ハ、  
實際ニ於キマシテ民間ノ方面ノ委員ヲ約三  
分ノ二バカリ加ヘ、官廳方面ヲ三分ノ一

加ヘテ出來テ居リマシテ、是ハ明ニ内閣總  
理大臣ノ管理ニ屬スル委員會デアリマス、  
兩者ノ關係ハ、民間ノ中央聯盟ト、ソレカ  
ラ官制ニ據ル所ノ委員會トノ關係ト云フコ  
トニシカ法制局ノ上デハアリマセウ、此ノ點  
カラ見レバ無關係ト云フヘバ言ヘルノデスガ、  
構成ノ上ニ於キマシテ連絡ヲ取り、仕事ノ  
上ニ於テ連絡ヲ取ツテ居ル、丁度國民精神  
總動員委員會ト云フモノガ、政府側ト民間  
側トノ中間ニ位シテ居ル、政府側ノヤルコト  
ト、民間側デヤル間ノ連絡統制ニ當ツテ居  
ル、且又ソコデ國民精神總動員ニ關スル所  
ノ根本企畫ヲヤルト云フ建前ニナツテ居ル  
ノデアリマス、ソコデ民間側ノ方ハ中央聯  
盟ニ所屬スル各種團體ガ深山ゴザイマスガ、  
其ノ團體ノ方ノ各個ノモノニ付テハ、中央聯  
盟ガ其ノ企畫ナリ、調整ナリヤルト云フヤウ  
ナ聯盟規約ニナツテ居リマス、ソレデ民間  
ノ方ハ集メテ來ル、ソレカラ尙ホ加盟シナ  
イ所ノ團體ガアリマスガ、其ノ加盟漏レノ  
團體ト、加盟シテ居ル所ノ中央聯盟ノ團體  
ト、其ノ方面デ色々ノ企畫ナリ計畫ナリト  
云フモノガ、此ノ精神總動員委員會ノ方ニ  
事實上ニ於テ反映スル組織ヲ取ツテ居ルノ  
デスガ、是ハ法制局ノ上デハ反映セバナラ  
ヌヤウニハ出來テ居リマセウ、ソレカラ國民  
精神總動員委員會決ツタ事ハ、政府側ノ  
方ヘ反映スル、政府側ノ方デハ各省デ實行  
スル譯デアリマスガ、其ノ實行ヲスルヤウ  
ナ場合ニ、内閣情報部ガ是等ト連絡調整ス  
ルト云フヤウナ組織ニナツテ居リマス、内  
閣情報部ノ官制ガサウ云フヤウニナツテ居  
リマス、尙ホ其ノ外デ各省ノ管轄ニ屬シテ  
居ラナイ部分、是ハ非常ニ少イノデスケレ  
ドモ、サウ云フ抜ケ残りノ部分ニ付テハ、内

閣情報部ガ獨立ニ精神總動員ノ事ヲスルト云  
フヤウナ建前ニナツテ居リマスガ、併シ主  
ナモノハ委員會決メテ來ルノデス、殆ド  
大部分ト云フモノハ内閣ニアル精神總動員  
委員會決ツテ、情報部ガソレヲ實行ヲス  
ルト云フコトニナル譯デアリマス、先程ノ  
補助金ヲ内閣ノ情報部ヲ通ジテヤルカト云  
フコトニ付テ、サウ云フコトデアラナラバ、  
内閣情報部ガ中央聯盟ノ監督ヲスルカト云  
フト云フ建前ニハナツテ居リマセウ、先程申  
上ゲタヤウニ、唯補助金ヲ通ジテヤルト云  
フトコトニ付キマシテ、自ら事實上其ノ補助  
金ヲ與フルニ付テハ色々ナ條付モ考ヘラレ  
ル、ドウ云フヤウナ行動ヲシテ置キタイト  
云フヤウナコトモ註文スルコトガ出來得ル  
譯デアリマス、法制的ニハ補助金ヲヤルカ  
ラ當然ニ他ノ事マデ監督スルト云フ建前ニ  
ハナツテ居リマセウ、サウ云フヤウナ譯デ  
中央聯盟ノ行動ニ關スル監督ヲ一般的ニ内  
閣ニ致シテ居ルコト云フコトハ申セヌ事情ニ  
ナツテ居リマス

○田村委員 サウスルト情報部デ應務ヲヤ  
ツテ居ル委員會、此ノ企畫ニ基イテ、是ト  
行動ヲ共ニスルト云フコトデ中央聯盟ガ動  
イテ居ルヤウニ承ツテ居リマスガ、其ノ補  
助金ヲ與ヘル——大藏省カラ行ツテ居ルカ  
ラ知レマセウガ、事實ハ政治的ニハ——政  
治的ト云フコトヲカシイデスガ、仕事ノ建前  
カラ言ツテ、内閣ノ仕事ニ關聯シテ百五萬  
圓ノ補助金ガ出テ居ルノデハナイノデスカ、  
補助金ヲ出シテ置イテ其ノ補助金ガドウナ  
ツテ居ラウガ、新ウナツテ居ラウガチツト  
モ監督關係ガナイト云フコトハ、國費支出  
ノ上ニ於テ、法律ノ規程準據デハ何トモ言



ハナイト思フノデスガ、其ノ點ヲモウ一度一寸……

○補員政府委員 御説ノ通り補助金ヲ出ス  
ト云フハ金ヲ出セバ宜イノデハナイト云  
フコトハ疑ナシト云フコトハ、随テドウ云  
フヤウナ行動ヲ取ツテ行カト云フコトニ  
付テ注意スルコトハ勿論デアリマス、又  
中央聯盟ト總動員委員會トノ連絡ヲ取ツテ  
行動シテ行クト云フコトヲ圖ルハ必然ノ關係  
カラ致シマシテ、無論情報部ヲ通ジテ總理  
大臣ガ考ヘルト云フコトニモナリマセウガ、其  
ノ方ノ考ヘ方ガ中央聯盟ヘモ反映シテ來ル  
ト云フコトハ疑ナシト云フコトデアリマス、サ  
ウ云フ限度ニ於テ今日ハ動イテ居ルガケ  
デアリマス、直接仕事ノ上デノ監督權ヲ持ツ  
テ、サウ云ウ方面ノ發動ヲスルト云フコト  
ハ出來ナイヤウナ立場ニナツテ居ル譯デア  
リマス

○田村委員 サウシマス是ハ内務大臣ガ  
監督權ヲ持ツテ居ル、サウスルト中央聯盟  
ノ改組ト云フコトハ、是ハ中央聯盟側カラ  
考ヘテ居ルト思フノデスガ、法制的ニハ  
何等カ内務大臣ノ監督權ガアルカドウカ、  
今アルト云フ御説デスガ、ハツキアリマ  
スカドウカ、法制的ノ根據ナシニ唯補助金  
ダケオヤリニナルト、是ハ政治問題トシテ  
考ヘナケレバナラス、政治問題トシテ考  
ルト總理大臣ノ之ニ對スル考ヘ方、其ノ改  
組ノ如何、之ヲ廢メサスカドウカト云フ問  
題モ政治的ニハ考ヘラレルト思フノデス  
ガ、其ノ點ハツキリモウ一言ダケ答辯願  
ヒタイ

○補員政府委員 全ク御説ノ通り政治問題  
トシテ考ヘレバ、只今申シテヤウナ事情ニ  
ナツテ居ルモノデスカラ、總理大臣モ亦相

當ニ之ヲ考慮シナケレバナラスト云フ立場  
ニナルト思フテ居リマス

○田村委員 改組ニ内務大臣ハ關係ガアリ  
マスカ、監督ニ付テ……

○補員政府委員 改組ト云フヨリ、一般  
監督ト云フコトデ、必要ガアレバ考慮シ  
ナケレバナラス

○田村委員 諒承シマシタ、ソレ以上ハ私  
措キマセウ、總理大臣ハ出デガナイノデ  
スガ、要スルニ思想的ニ穩カデナイモノガ  
ル、行動ノ上ニ效果ヲ持ツテ居ナイ、サ  
ウ云フコトニナレバ、百万圓ハ大金デア  
リマスガ、之ヲ無駄ニ使フト云フ結果ニナ  
ル、此ノ點ニ付テ政府當局トシテ深く考慮  
セラレル要アリト思フノデアリマス、ソレ  
カラアト一、二箇單ニ御許願ヲ置キマ  
ス

○矢野委員 宜シウゴザイマス——田村君  
ニ申上ゲマスガ、與亞院長官ガ登院シテ居  
ラナイト云フコトデアリマス、私ノ方カラ  
ハ登院シテ居ルヤウニ註文ヲシテ置イ  
タ管デスガ、登院シテ居リマセウ、日高部  
長ト松村部長ト居リマセウ……

○田村委員 宜シウゴザイマス、企業院ニ  
一ツ伺ツテ置キタイノデスガ、企業院官  
制ヲ見マス、兵戰時ニ於ケル綜合國力ノ  
擴充運用ニ關シテノ仕事ヲスル、斯ウ云フ  
トニナツテ居ル、物動計畫ガ現在其ノ中心  
デセウガ、軍需民需ノ關係ヲ巧ク計畫シテ  
行クト云フコトヲ狙ツテ居ルノデスガ、企  
業院ノ綜合國力ノ擴充運用ニ關スルコト  
云フノハ、日滿支ヲ打ツテ一丸トシナケ  
レバ今日ノ日本ノ國家ノ建前トシテハ出來  
ナイト思フノデスガ、此ノ物動計畫其ノ他ノ  
綜合國力ノ擴充運用ニ關スル計畫ト云フ

ルカラト云フテ入レヤセス、斯ウ云フコト  
ヲ民間ノ者ハ言ヒナガラモ、實ハ期待シテ  
居ル、其ノ期待ニ對スル動キ、企業院ノ事  
務ノ取扱ニ於テサウ云フ所ニ心ヲ用ヒテ  
レテ居ル動キ方ガアルカドウカ、又今後サ  
ウ云フ必要ガアルト思フノガ之ニ對シテ企業院  
總裁トシテ何等カノ御考ガアルカ此ノ二點  
ヲ承リタイ

○竹内政府委員 企業院ノ仕事ハ只今御述  
ニナリマシタガ如ク平戰兩時ニ於ケル綜合  
國力、此ノ擴充運用ト云フコトガ主ニナツ  
テ居リマス、隨テ綜合國力ト申シマスル以  
上ハ、實際ニ即シタ計畫ト云フモノガ技  
立タナケレバナラスコトハ當然デアリマス、  
此ノ意味ニ於キマシテ企業院ノ職員モ御承  
知ノ通り比較的銜階ノ範圍ガ廣クナツテ居  
ルノデアリマス、是ハ今後ノ運用ト云フコ  
トニ重點ガアルト思フノデアリマスガ、官  
吏デナケレバ秘密ガ保テナイト云フヤウナ  
偏狹ナ考ヘ持ツテ居リマセウ、ト同時ニ一  
方ニ於キマシテ秘密ニ對スル則ト云フヤ  
ウナコトヨリモ、秘密ノ常ニ漏レルト云フ  
コトヲ豫防スルト云フコトハ、是ハ考ヘナ  
ケレバナラスノデアリマスガ、官吏デナケ  
レバ漏レルト云フヤウナ風ノ考ヲ今日吾々  
持ツテ居ル譯デヤナイノデアリマス、尙ホ  
只今御等ノ中ニアツタト思ヒマスガ、今後  
ノ企業院ノ機構ト申シマスカ、サウ云フ點  
ニ付キマシテハ、是ハ時局ノ推移ニ鑑ミマシ  
テ整備ヲシナケレバナラスノデアリマス、  
サウ云フ際ニ廣ク人材ヲ集メテ實際ニ即シ  
タ計畫ガ立チ、又其ノ運用サレルヤウニ考  
慮シテ行カケレバナラスコトダト思フテ  
居リマス

ノハ、現在ノ企業院ニ於カレテハ日滿支ヲ  
引括メテ計畫ヲ立テルト云フ風ニ動イテ居  
ルカドウカト云フコトヲ承リタイト思ヒマ  
ス

○竹内政府委員 結果ニ於キマシテ日滿支  
ヲ通ジタ計畫ニナラナケレバナラスコトハ  
御述ニナリマシタ通りデアリマス、隨テ運  
用ニ於キマシテ物動計畫ト云ヒ、或ハ生  
産力擴充計畫ト云ヒ、滿洲、支那方面ノ問  
題ヲモ併セ考慮サレテ居リマシテ、隨テ之  
ヲ決メマセウハ、事實上是等ノ關係機關  
ノ間デ協議ノ上決定ヲサレル次第デアリマ  
ス

○田村委員 私共ハ此ノ議會始ツテ以來、  
豫算總會等ニ於テ物動計畫ノ事モ秘密會  
ニ於テ承リ、ソレカラ豫算ト物トノ關係  
是ハ是カラノ我國財政上ノ一番大キナ問題  
デスガ、金ハ出シテモ物ガ果シテ之ニ即應  
ジ得ラレルカドウカト云フ問題ガアル、物  
ト豫算トノ關係、所謂物ト金トノ關係、ソ  
レカラ物動關係ニ於ケル所ノ國防、所謂軍  
需ト民需トノ關係戰時ガカラ國民生活ニ關  
スル問題ハドウデモ宜イト云フ譯ニ行カ  
ス、國防力、生産力——所謂重要資源ノ生  
産力、而シテ國民生活ノ安定、此ノ三本建  
立ガ物動計畫デアリ、軍需、民需ノ企業ノ中  
心ヲ成サナケレバナラス、其ノ何レガ缺ケ  
テモイカスト思フノデアリマス、サウ致シ  
マス、私共ガ豫算總會ヲ通ジテ、或ハ秘  
密會等デ承ツテモ、ドウモ十五年度ノ財政  
計畫ノ上ニ、又國民經濟ノ上ニ、所謂ピン  
ト來ルモノガマダ感ゼラレナイコトヲ遺憾  
トスルノデアリマス、無論企業院ヲ初メ非  
常ニ努力シテ居ラレテ、其ノ御苦心ノアル  
所ハ、御説明ノ中カラ吾々諒承スルニ寄カ

ナル者デハナイガ、ドウモ一方ニハ開取引  
ガ行ハレ、今企業院ノ中心ヲ成サナケレバ  
ラヌ物資配給ノ上ニ於テ缺陷ガアルヤウニ  
思フ、サウスルト此ノ企業院ノ上ニ何等  
カ缺陷ガアルノデハナイカト云フコトヲ私  
共ハ感ズル、其ノ原因ハ那邊ニアルカト云  
フト、所謂國民經濟ノ實體、動イテ居ル經濟界  
ノ實情ニ即シタ企業院、計畫ガ樹立出來ナイ  
ト云フ所ニ來ルノデアリマス、企業院ノ官制  
ヲ見マス、企業院ハ殆ド全部役人デ組織  
セラレテ居ツテ、民間ノ知識經驗者ハ此ノ  
官制ノ中ニ織込マレテ居ナイ、參與ハ官吏  
ノ中カラ、委員モアリマスガ、是モ大部分  
ハ役人バカリ、調査官モ役人デス、之ニ加  
フルニ企業院會議ト云フモノガ置カレテ居  
リマスガ、コンナモノハ全ク世間胡麻化  
シノヤウナモノデアアル、而モ企業院會議ハ  
總理大臣ノ諮問機關デアツテ、年ニ二回位  
シカ開カレテ居ナイ、此ノ中ニハ財界、學  
界、政治界、其ノ他有ル方面カラ民間ノ  
知識經驗者、練達ノ士ヲ糾合シテ居ルケレ  
ドモ、ソレヲ活用シテ居ナイ、ソコデ物動  
計畫、色々ナ國家ノ重要ナル企業ニ關シ、  
民間ノ知識經驗ヲ織込マデニナツテ居  
ナイヤウニ吾々ニハ思ハレル、サウシテ今  
ノ議會ニ臨ンデ豫算總會等ニ於テ政府ノ考  
ヲ聽イテモ、國民生活ヲドウ維持シテ、支  
那事變ヲドウ解決スルカト云フ此ノ重要  
ナル計畫ニ當ツテ、民間ノ知識經驗ハ全部  
ツテ置イテオ役人ノ方ガ——机上ノ空論  
トハ申シマセウ、オ役人ノ方ガ一方的ニ  
色々ナ資料ヲ蒐集シ、一方的ニ企業院ノ  
ルト云フ所ニ、國民ヲシテピント感ゼシメ  
ナイ一ツノ缺陷ガ出テ來ルノデハナイカト  
思フノデアリマス、ソコデ吾々ノ考ヘルノ

ハ、日本ノ役人ハ、民間ノ知識經驗ハ求  
ルガ、サウ云フ者ヲ入レルトドウモ秘密ガ  
漏洩スルカト云フコトヲ迷ゲルト思フ、  
若シ秘密ガ漏洩スルト云フコトデ企業院  
ノ者ヲ参加セシムルコトガ出來ナイトス  
レバ、是ハ大キナ問題ト云フケレバナラス、  
私國民ヲ信賴シナケレバイカスト思フ、國  
民ト共ニヤツテ行カケレバ今日ノ日本ノ  
大キナ問題ハ解決出來ナイト思フ、ソコデ  
米ノ關係、國防ノ關係、國民生活ノ關係、  
生産擴充ノ關係、此ノ大キナ消極的、積  
極的ノ方面ヲ企業院ニ當ツテ、國民ノ實  
情ニ即シテ一歩前進スル企業院ト云フモノ  
ヲ立テ行カケレバナラス、ソコニ民間ノ  
知識經驗ヲドウシテモ織込マナケレバナ  
ス、所ガ織込ムヤウニナツテ居ナイ、之ヲ  
活用スルヤウナ動キヲ考ヘナケレバナラ  
スト思フガ、企業院總裁ニハ事務的ノ方面  
伺ツテ見タイ、其ノ上デ私ハ總理大臣ニ質  
シタイト思フノデスガ、假ニ秘密漏洩ノ虞  
ガアレバ單行法ヲ持ヘテモ宜イト思フ、今  
日重大ナル時局ニ當ツテ民間ノ知識經驗者  
ヲ國家重大ナル企業ニ参加セシムル、其ノ  
参加シタ者ガ若シ秘密ヲ漏洩シタ時ニ、嚴  
罰ヲ以テ之ニ臨ム所ノ單行法ヲ作ルノモ  
一ツノ方法デアルト同時ニ、民間ノ知識經  
驗者ヲ信賴シテ協力セシムル、之ヲ今日ノ  
時代ニハ國民ニ要求シナケレバイカス、サ  
ウシテ官民打ツテ一丸トナツテ今日ノ重大  
時局ニ臨ンデ行カケレバナラスト思フノ  
デス、企業院ノ仕事ヲ運用スル上ニ當ツテ  
斯ウ云フ要求ガ今世間ニハ相當アル、政界  
カラ入レラドウカ、或ハ財界ノ知識經驗  
者ヲ入レラドウカ、イヤサウ云ツテ居ツテ  
モ、政府ハ民間ノ者ガ入ルト秘密ガ漏洩ス

ルカト云フテ入レヤセス、斯ウ云フコト  
ヲ民間ノ者ハ言ヒナガラモ、實ハ期待シテ  
居ル、其ノ期待ニ對スル動キ、企業院ノ事  
務ノ取扱ニ於テサウ云フ所ニ心ヲ用ヒテ  
レテ居ル動キ方ガアルカドウカ、又今後サ  
ウ云フ必要ガアルト思フノガ之ニ對シテ企業院  
總裁トシテ何等カノ御考ガアルカ此ノ二點  
ヲ承リタイ

○竹内政府委員 企業院ノ仕事ハ只今御述  
ニナリマシタガ如ク平戰兩時ニ於ケル綜合  
國力、此ノ擴充運用ト云フコトガ主ニナツ  
テ居リマス、隨テ綜合國力ト申シマスル以  
上ハ、實際ニ即シタ計畫ト云フモノガ技  
立タナケレバナラスコトハ當然デアリマス、  
此ノ意味ニ於キマシテ企業院ノ職員モ御承  
知ノ通り比較的銜階ノ範圍ガ廣クナツテ居  
ルノデアリマス、是ハ今後ノ運用ト云フコ  
トニ重點ガアルト思フノデアリマスガ、官  
吏デナケレバ秘密ガ保テナイト云フヤウナ  
偏狹ナ考ヘ持ツテ居リマセウ、ト同時ニ一  
方ニ於キマシテ秘密ニ對スル則ト云フヤ  
ウナコトヨリモ、秘密ノ常ニ漏レルト云フ  
コトヲ豫防スルト云フコトハ、是ハ考ヘナ  
ケレバナラスノデアリマスガ、官吏デナケ  
レバ漏レルト云フヤウナ風ノ考ヲ今日吾々  
持ツテ居ル譯デヤナイノデアリマス、尙ホ  
只今御等ノ中ニアツタト思ヒマスガ、今後  
ノ企業院ノ機構ト申シマスカ、サウ云フ點  
ニ付キマシテハ、是ハ時局ノ推移ニ鑑ミマシ  
テ整備ヲシナケレバナラスノデアリマス、  
サウ云フ際ニ廣ク人材ヲ集メテ實際ニ即シ  
タ計畫ガ立チ、又其ノ運用サレルヤウニ考  
慮シテ行カケレバナラスコトダト思フテ  
居リマス

院長官ガ見エテ居リマス

○田村委員 ソレカラ企業院總裁ハ、實際  
上ノ問題デ法制上ノ問題デハナイノデスガ  
閣議ニハ始終御列席デアリマスガ、少ク  
モ今日時局ノ問題デ企業院ニ關スルヤウ  
ナコトハ始終出ルト思フノデス、無論今ノ  
職制カラ申シマスルト内閣總理大臣ニ直屬  
シテ居ルノデアリマスガ、併シ是ハ仕事ハ  
非常ニ大キナ問題デアリマスガ、企業院  
總裁トシテ始終閣議トノ連絡ガナケレバ  
ラナイト思ヒマスガ、其ノ點實際ハドウナ  
ツテ居リマスカ

○竹内政府委員 必要ニ應ジマシテ出席致  
シテ居リマス

○田村委員 其ノ點ハ是デ止メテ置キマス、  
與亞院長ノ方ニ承リタイノデスガ、先程吉植  
君カラ一寸御話ガアリマシタガ、長官カラ  
此ノ際伺ツテ置キタイ、私モ支那ニ行ツテ  
見マス、支那ノ在留邦人カラ、支那ニ良  
イ人ガ澤山來テ吳レナケレバ困ル、宜イ加  
減ナ、金モ持タナイ、衣食モ足ラナイヤウ  
ナ者ガ支那ニヤタラニ來テハ困ル、斯ウ云  
フコトヲ向フノ民間等ノ人カラ聞ク、併シ  
ソレハ間違ツテ居ル、君等ハドウダ、以前  
ニモ金ガアリ、教育ガアツテ、内地デ業々  
トシテ居ラレ、教育ガ來テ居ルカ、今何  
成功シテ居ルカト云フテ、日本内地カラ  
宜イ加減ナ者ガ來テハイカスト云フヤウナ  
ケチナ根性ヲ持ツテハイカス、來テラ手ヲ  
擴ゲテ迎ヘテラ宜イデハナイカト云フコト  
ヲ私ハ話シテ歸ツテ來タノデアリマスガ、  
私ハ其ノ當時カラ斯ウ云フ考ヲ持ツテ居  
ル、現在モ支那ニ大キナ夢ヲ描イテ行ツタ  
途方モナイ人間モアツテ、已ムヲ得ズ送リ  
還サナケレバナラスヤウナ人モアリマセウ、

相當送リ還シテ居ルガ、國民ヲ擧ゲテ支那  
ニ發展シナケレバナラス、支那ニ行ツテ支  
那國民ト接觸シテ協力シテ行カケレバナ  
ラス、ソコニ與亞院長ガアル、與亞院長ハ支那事  
變中ノ臨時機關デアアル、臨時機關ハ總テハ  
アルト思フ、ソコデ支那ニ對スル日本人ノ  
發展方法トシテ、私ハ何デモ宜イト思フ、無  
一文デモ何デモ支那ニヤツテ行クト云フ志  
ハ嘉ズベキデアルト思フ、此ノ志ヲ活カシ  
テ、日支協力ノ礎石トシテ之ヲ働カシテヤ  
ラナケレバナラス、オ前ハ金ガナイ、教育  
モナイカラ支那ニ來テハイカスト云フコト  
デ、追返サヤウナコトハ、今日ノ事變下ニ  
於ケル對策トシテ執ルベキモノデアナイト思  
フ、ソコデ與亞院長ナラ與亞院長ガ向フノ現地  
ニ適當ナ機關ヲ作ツテ、來タ者ハ誰デモ宜  
イ——病人ハ困ルガ、活動ノ出來ル者ハ、  
其ノ人間ノ分ニ應ジ、能力ニ應ジテ有ル  
方面ニ活動セシムルヤウニ、寧ロ是ハ培養  
シテ行カケレバナラスト思フノデアリマ  
ス、ヤタラニ排斥シテ選ンデ居ルト、是ハ  
細クナツテシマツテ駄目デス、大キク日支  
協力ニ向フト云フコトニ付テハ、與亞院長  
支那現地ニヤツテ來ル日本人ヲドウ扱フカ  
ガ一番根本的ノ問題デス、ヤタラニ學校ニ  
生徒ヲ入學サセルノニ試験ヲスルヤウナ考  
ヘ方ヤ、役人ヲ採用スルヤウナ考ヘ方ヲ以  
テ、支那ニ發展セントスル日本人ヲ取扱フ  
タラ大問題ダト思フ、金儲ケニ來タ者ハ金  
儲ケヲヤラスベシ、ケチナ考ヲスルモノデ  
ハナイ、サウシテ働キタイ者ハ働カスベシ、  
地位ノ欲シイ者ニハ其ノ能力ニ應ジテ地位  
ヲ與ヘルベシ、兎ニ角何デモ來タ者ハ働カ  
スベシ、大キナ太ッ腹ナ考ヲ持ツテ、而モ



其ノ處理ニ付テハ精密ナル途ヲ與ヘル、併シ根本ハ來ルベシ、働カセルゾ、斯ウナラナケレバナラヌ、來ルベカラズ、追返スゾデハイカスト思フ、此ノ點ニ對シテ與亞院長官トシテ、國民ニ明瞭ナル方針ヲ御説明願ヒタイ

○柳川政府委員 向フニ行ツテ居ル者、並ニ渡ラントスル人ノ指導ニ關シテハ、大體御意見ニ通りデアリマスガ、全ク成算ナシニ、唯行ツテ見タラ何トカナルグラウト云フノデハ困ル、又既ニ行ツテ居ル人ニモ迷惑ヲ掛ケルヤウナ見込ナシハ、成ベク見込立テテ行クヤウニシテ欲シ、行ツテシマツタラ、實際事ニ當ツテ居ル者ハ少シ位氣ニ入ラヌカラト云ツテ歸レト云フコトモシニタイデアリマス、大體ノ方針ハ萬已ムヲ得ザル者ニハ勸メテ歸ラセテリ、或ハドウシテモ仕方ノナイ者ハ、昨年ノ議會デモ實業ガアリマシタガ、是ハ當局ト圖ツテ退去ヲ命ジナケレバナラス場合モアリマセウケレドモ、是ハ萬已ムヲ得ザル處置デアルト思ヒマス、大體ハ御意見ニ通り、折角渡ツタ以上ハ、成ベク活動セシメルヤウニ指導シタイ思ツテ居リマス

外ハ寄附金デヤツテ居ル、ソレデ經營ノ基礎ガ不安定デアリマス、民會ニハ納稅徵收權ガナイノデ、分擔金ヲ出ス者ガ極メテ少イ、隨テ學校經營ト云フモノハ非常ニ困難デアリマス、爲ニ良イ教員ハ到底得ラレナイ、給料ハ安イ、而モ此ノ教員ニ對シテハ政府ハ補助金ヲ與ヘテ居ルガ、事實ハ民會若クハ民團ニ屬シテ居ル爲ニ、民會民團ノ儲人ニナツテ居ル、隨テ教員ノ見識、品位ト云フモノハ保テナイ、之ヲ今後ドウスルカ、國內ニ於キマシテハ教育費ノ全額ハ國庫負擔ニ依ツテ、教員ノ品位ト教育ノ獨立性ヲ保持シテ行カネバナラスコトニナツテ居ル、今後ドウシテ支那ニ行ク邦人第二世ノ教育ガ宜シキヲ得ルト云フコトハ、日支親善、所謂東亞新秩序建設ノ指導者トナリ、其ノ先驅者トナツテ非常ナル役目ヲ爲ス者デアルト思フノデアル、此ノ在支第一世邦人ノ教育問題ト云フモノハ、決シテ忽セニスルコトハ出來ナイ、現在ノ狀態ハ教材ノ問題、設備ノ問題、内容ノ問題、全然不統一デアツテ、全ク其ノ日暮シデヤツテ居ルヤウニ思フ、現在在外務省ガヤツテ居ルモノニ文部省ハ關係シテ居ルヤウデスガ、是ハ更ニ百尺竿頭一步ヲ進メテヤツテ貰ヒタイ、現地ニ行ツテ聽イテ見ルト、斯ウ云フ學校デハ困ルカラ、或ハ公共機關デアアル所ノ華北交通會社トカ、北支開發會社ト云フヤウナモノノ手デ一ツ經營シテ貰フ方ガマダマシチヤナイカト云フ説ガアル、私ハソレヨリ莫與亞院ガ——是ハ將來ドウ云フコトニナルカ知リマセスガ——與亞院ガ此ノ點ニ一步手ヲ染メテ、外務省、文部省トモ相談シテ、在支邦人第二世教育ニ關スル特別ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラスト思フ

ノデスガ、サウ云フ點ニ付テ直接權限ハ御持チニナツテ居ナイデセウガ、研究シテ居ラレカドウカ、現在在支邦人第二世ノ教育ノ實情ハドウナツテ居ルカ、之ヲドウシテウカト云フ御考ガアリマシタラ、此ノ際承ツテ置キタイ思ヒマス

○柳川政府委員 在支邦人ノ子弟ノ學校教育ハ、只今御述ニナリマシタヤウニ、大體外務省ノ擔任ニ從來ノ關係ハナツテ居リマスケレドモ、ヤハリ與亞院モ、現地ニ於ケル陸海軍ノ機關モ、宜シク協力シテヤラナケレバナラヌコトダト考ヘマス、之ヲ現在ノ經營ガ困難デアリ、若クハ色々ナ事情ガアルト云フノデ、將來ドウ云フ風ニスベキカト云フコトニ付テ研究シテ居ルノデアリマス、現ニ義務教育ノ上級ノ教育ニ對シテ、其ノ所管等ニ付テモ單一ニナツテ居ナイ所モアリマスカラ、度々打合會議ヲ開イテ、成ベク之ヲ一本ニシタイト云フノデ、研究中デアリマス

○田村委員 アトハ細カキ事デスカラ總マテ申上ゲマス、其ノ一ツハ、私ハ支那事變ガ起キテカラ、議會ヲ通ジテ政府ニ要求シテ居ルノデアリマスガ、所謂文字、言語等ヲ通ジテ日支人間ノ感情ヲ融和ヲ圖ルト云フ意味カラ、支那ニ日本語學校ヲ立テテ欲シト云フコトヲ、絶エズ言ツテ居ルノデアリマス、其ノ日本語普及シ、假名文字ヲ普及スルコトハ非常ニ必要ナコトデアルノデ、各地、各村落ニ日本語學校ヲ立テ、又日本カラ之ニ對シテ金モ出シテヤル、サウシテ日本語普及スルト云フコトハ、是モ東亞新秩序建設ノ礎石ヲ成ス大キキ仕事ダト思フノデアリマスガ、斯ウ云フコトニ付テ御計畫ハドウナツテ居リマスカ

今一ツハ是モ私ハ支那事變ガ起キテカラ、殊ニ現地ヲ巡ツテ見テ以來、深ク其ノ必要ヲ痛感シテ、日本政府ニ要求シテ居ルノデアリマスガ、ソレハ支那ニ於ケル醫療機關ノ充實ノコトデアリマス、一體支那ニハ衛生設備ガ無い爲ニ、非常ニ流行病ニ罹ラテ死スル者ガ多イ、西洋人ハ新イ所ニ自分ノ勢力ヲ植エ付ケル時ニハ、一先此ノ醫療機關ニ手ヲ付ケテ居ルト云フコトハ、殖民史ノ明ニ教ヘテ居ル所デアリマス、先づ第一ニ醫療機關ヲ設ケテ、以テ支那ノ民心ヲコソツヘ頼ラス、實際支那ニ行ツテ見マスト、佛米等ハモウ天ニ居クヤウナ大キナ病院ヲ經營シテ、サウシテ其處ニ支那ノ民心ヲ吸收シテ居ル、然レ日本ハ金儲ケハヤルケレドモ、サウ云フ捨石ハ中打ダス、支那ニ行ツテ見マスト——私ノ友人モ二三行ツテヤツテ居リマスガ、皆掛ツタ者ハ信賴シテ、小キナ病院ガ門前市ヲ爲ス位デ、一度ニ十數人モ來ルト云フ状態デアアル、然レ是ニ對シテ政府ハ機關セズデヤツテ居ルカラ、其ノ建物タルヤ實ニボロ家デ、日本ノ方ノ病院經營ハ亞米利加ノ財團法ニ依ル所ノ經營トモ比較ニナラヌ、是デハ東亞ノ盟主タル日本ノ地位ヲ進メテ行クコトハ出來ナイと思フ、金ヲ少クトモ二千萬圓、三千万圓出シテモ宜イ、現在同仁會ガボツツノ學校モ病院モヤツテ居ルガ、アンナチツケナモノデハ駄目デアアル、此ノ際思切ツテ與亞院ガ全力ヲ擧ゲテ大キナ病院ヲ經營シテ行カネバナラス、青島ニ大キナ醫學校ガ出來テ居ルガ、アレモ國內ノ學校ヲ指ヘルヤウナ考ヘ方デ與亞院ガ突付キ點シテ居ル、ソナニ突付キ點スコトヲ止シタラドウカト長官ニ私ハ首ヒ

ニ行カウカト思ツタガ、ソレハ止シタ、是カラ支那經營ヲシテ行カウト云フノハソシナケテナ根性デ餘リ突付キ點シテハイカヌ、長官ガ大局ヲ握ツテ、事務ノ係リノ者ヲ督勵スルヤウニシテ行カケレバナラス、アノ青島ノ學校ガ出來タ時ノヤリ方ニモ弊害ガアツタコトヲ私ハ聞イテ居リマスガ、長官ノ氣ノ付カヌヤウナヤリ方ガアツタ、ヤカラニ御殿女申式ノコトヲヤツテ居ル、兎ニ角青島ニハ學校ガ出來タ、上海ニモ出來テ居ルガ、北京ニアア云フ學校ヲ指ヘルコトト、其ノ學校ニ依ツテ衛生知識ヲ普及スルコト、ソレカラ大キナ病院ヲ經營スル、斯ウ云フコトデ支那ノ民心ヲ日本ノ方ニ引付ケ來テ、日本ニ頼ツテ居リサヘスレバ食ウテモ行ケルシ、病氣シテモ心配ナシ、斯ウ行カケレバナラヌ、是ガ日支親善ノ政治施設ニ伴フ實際上ノ大キナ問題ト思フ、醫療施設ト、モウ一ツハ醫學校並ニ病院ヲ經營ニ付テ與亞院ガ支那事變中ノ機關トシテ一番先ニ著手シテ貰ヒタイ、此ノ點ニ對シテ現在ドウシテ居ラレカ、日本語學校ノ問題ト一緒ニ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○柳川政府委員 日語教育ハ御意見ノヤウナ趣旨デ各地デヤツテ居リマシテ、マダ地方ノ機關ガ行カヌ前カラ軍ニ於テモヤリ、又最近ニ於テハ段々各地ニ、大規模ト云フ程デアリマセウガ、相當規模ノ教育ノ施設ヲヤリマシマシテ、此ノ事ハ一般ニ獎勵モシ、助成モシテ居リマス、御意見ノ通りニ日本語普及シ、同時ニ又一緒ニ共働スルモノハ日用ノ言葉モ覺エルヤウニシテ、兩方相携ヘテ行クヤウニ努メル考デアリマス、日語教育ノ獎勵ハ將來モ益

續ケテ行ク考デアリマス、醫療ノ方ハ全ク御同意デアリマスガ、現地ニ於ケル與亞院機關モ亦同様ノ意見ヲ最近ニモ言ツテ居ル位デアリマス、昨年度中同仁會ノ盡力デ診療班、防疫班等ヲ各地ニ派遣シ、又前方ニ於テハ軍ニ除裕ノアル限リ地方ノ防疫診療ニ力ヲ盡シテ居レシノ機關ニ協力シマシテ、其ノ結果デアラウト思ヒマスガ、昨年ハ割合ニ流行病ニ從來ニ比シテ實績ガ良カツトモ是非進メテ行カケレバナラヌトモ思フノデアリマス、今ノ例ニ御擧ゲニナリマシタ青島ノ學校モ漸ク昨年ノ終り頃ニ成立致シマシテ、目下青島ニ第一年度ノ教育モ始メテ居リマシテ、此ノ四月カラ第二年度ノ學生ガ入ルヤウナ狀況ニナツテ居リマスガ、益々督勵ヲシテ、御趣旨ノヤウナ風ニ進メタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、病院施設ニ付キマシテモ、御意見ノ通りニ外國ノ病院ニ比シテハ見劣リノスルヤウナ施設デアリマスガ、今御話ノ通りニ我が日本ノ醫者ガ支那ノ上下ノ人ニ信用ガアリ、又親切ニヤツテ居ラレコトモ私共經驗シテ居ル所デアリマス、アノ排日ノ最モ盛ナリシ時代ニ於キマシテモ、隠レテデモ夜間日本ノ醫院ニ診察ヲ受ケルト云フヤウナ事情デアリマシタ、日支親善ノ爲ニ大變ニ貢獻シテ居ルと思ヒマス、將來出來ルケ施設ヲ進メ、又各醫學校ニハ附屬院ヲ設ケテ、衛生醫療等ノ進歩ヲ圖リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○田村委員 私ハ質問ヲ終リマスガ、最後ニ主査ニ希望シテ置キマス、ソレハ私ハ總理大臣ノ出席ヲ希望シテ置キマスガ、如何カ御都合デアラレナイ、總理大臣ニ對シ

テ大キナ、ト云フト失禮デスガ、私ノ考ガ大キキ點デアリガ、私ハ現在ノ問題トシテ非常ニ關係ノ深い三ツノ質問ヲシタイ、是ハ適當ナ機會ニ總會ニ於テ發言スルガ、主査ニ於テ御考慮願ヒタイ、一ツハ對滿事務局ニ付テデアリマスガ、是ハ支那事變ノ起ラナイ前、昭和九年ニ出來テ居ル、對滿事務局ヲ廢止スルカセカト云フコトガ問題ニナツテ來テ居ル、國防ノ關係ハ別ニナツテ居ル、與亞院ハ、支那事變中ノ臨時機關デアアル、ソコデ與亞院ガ支那事變ガ濟マバドウナルカ、日滿支ハ打ツテ一丸トシナケレバナラス、企業院ノ物動計畫ニ付テハ一丸トシテ居ルノデアル、モウ一ツハ對滿事務局ガ獨立シテ居ルツテハ工合ガ惡イト思フ、與亞院ト對滿事務局ノ關係ヲドウスルカ、對滿事務局ヲ廢止スルカドウカ、之ヲドウ云フ機關ニシテ行カケルコトヲ總理大臣ニ、國政ニ付テノ方針ヲ伺ハナケレバナラ

ノ下ニ吾々ハ昨年ノ豫算ニ贊成シテ居ル、然レ是ノ其ノ後ノ改組ニ當ツテハ理事ガ大數黨カラ二人ヅツ出テ居タノヲ一人ニシタ、ソレハハウルサイコトヲ言ハレリノガ厭ガカラデアアル、サウシテ毎週一回開イテ居ツタノヲ、アベコベニ改組シテ一箇月ニ一回ニシタ、而モ理事ト云フモノノ常任ニ政黨關係——國民代表ノ最高峰ヲ入レテ居ラス、斯ウ云フコトハ不都合千萬デアアル、此ノ國民精神總動員ハ滿洲ノ協和會ノ眞似事ヲシテ、政府カラ補助金ヲ貰ツテ國民指導權ヲ握ラウト云フ考ト、國民代表ヲ排斥セントスル排他ノ考ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フ考デ國民ノ精神ガ總動員出來ルモノデハナイ、國民精神總動員ヲ妨害スルモノハ、極端カモ知レナイガ、國民精神總動員中央聯盟ノ考ヘ方デアルト世間ハ言ツテ居ル、此ノ問題ニ對シテ國政運用ノ局ニ當ツテ居ル總理大臣ハ、是カラドウスルカ、ドウ云フ認識ニ基イテ今後ドウスルカ、此ノ三點ヲ總理大臣カラ明確ナル御説明ヲ聽カネバナラヌト思フ、適當ノ機會ヲ與ヘラレコトヲ希望シマス、主査ニ於ケレテ宜シク御願シマス

○矢野主査 田村君ニ御答申上ゲマス、總理大臣ニ對スル質問ニ付テハ、總理大臣カラ適當ノ機會ニ於テ答辨セラレヤウニ主査カラ交渉シマス、次ニ松尾君ニ御質問シマスガ、政府ノ答辨ト併セテ十分位デ了シテ欲シイト思ヒマス

○松尾委員 私人生産力擴充ト北海道振興計畫ノ問題ニ付テ大藏大臣ニ簡單ニ御質問シタイト思ヒマス、何シロ此ノ事變以來大掛リニ國力ガ消耗サレテ居リマスカラ、生産力ヲドシシ擴充シナケレバナラナイコト

第一類第四號 豫算委員第三分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日



ハ當然デアリマスガ、ソレニ付朝鮮、臺灣等ノ外地、或ハ滿洲、北支等ノ問題モアリマセウガ、我國ノ内地ト致シマシテハ、北海道ヲ除イテ他ノ府縣ニハ此ノ生産力ノ擴充ノ餘地ト云フモノハ極メテ少イ、北海道ノ資源ト云フモノハ、海或ハ陸、其ノ他地下等ニ於テ殆ド今ノ所無盡藏ト言ウテモ宜イと思ヒマス、然ルニ拘ラズ北海道ガ開拓長官ヲ置カレテ既ニ七十年ニナツテ居リマス、後カラ我國ノ國土トナツテ朝鮮トカ、或ハ臺灣等ニ比較スルト其ノ進歩ト云フモノハ實ニ遅タタルモノデス、是ハ要スルニ國家ガ北海道ノ開發ト云フコトニ付テ相當ノ金ヲ注込マナイカラデアルト云フコトニ歸スルノデハナイカト思ヒマス、北海道ノ拓殖計畫ハ先年改正サレテ今日ニ至ツタノデアリマス、サウシテ毎年內務當局ハ大藏省ニ向ツテ最小限度ノ豫算ヲ要求シテ居ルノデアリマスガ、毎年相當査定ヲサレテ削減サレテ居リマス、斯ウ云フヤウナ工合デ北海道ノ拓殖ト云フモノハ全ク遅タトシテ進ミマセス、今日石炭ノ問題ナドニ付キマシテモ、九州方面ノ炭田ハ非常ニ老齡デスガ、北海道ノ如キハマダ青年期デアツテ、是カラ資料ヲ注込ミ、努力ヲ入レタナラバドン／＼出ルト思ヒマス、隨テ鐵道トカ、道路トカ、港灣トカ、サウ云フ方面ニ政府ハ努力スルト云フコトガ刻下ノ急務デアリカト思ヒマスガ、之ニ付テ大藏大臣ハ將來ドウ云フヤウニ御考ニナツテ居ルカ、此ノ場合御伺シタイと思ヒマス

シテ、歴代ノ内閣共之ニカヲ入レテ居ルノデアリマスガ、現内閣ニ於テモ此ノ點ニ付キマシテハ十分力ヲ致ス考デ居リマス、本年度ノ豫算ニ於テモ此ノ點ニ付キマシテハ、儲カ昨年ハ三千万圓チヤナカウカト思ヒマスガ、本年ハ三百何十万圓カ殖エテ居リ積リテ居リマス、併シソレハ今日ノ北海道ノ開拓ノ計畫トシテハ餘リ少イチヤナイカト云フ御意見モアルカト思ヒマス、ソレハ御尤モデアリマスガ、何分ニモ今日ノヤウナ財政ノ状態デアリマシテ十分力ヲ注ゴトノ出来ナイノハ遺憾ト存ジマス、今御話ノ今日日本ニ於テル所ノ生産擴充ノ根幹トナルベキ石炭其ノ他ニ付テ、北海道ガ青年期デアツテ前途最モ有望ダト云フ御話ハ全然同感デアリマス、隨ヒマシテ此ノ石炭ノ増産計畫ニ付キマシテモ主トシテ北海道方面ニ著目ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、資料ノ供給、其ノ他ニ付キマシテ十分力ヲ致シタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○松尾委員 ドウカ此ノ問題ニ付キマシテ只今ノ御答辯ノ如ク一層力ヲ注イデ戴キタイコトヲ御願シテ置キマス  
次ニ一ツ伺ヒタイノハ、今年ノ豫算ヲ拜見シマス、官吏ノ賞與ト云フ項目ガ現ハレテ居リマス、大體百分ノ五位ニ計上シテアルヤウデアリマスガ、是ハ我國ノ豫算トシテハ恐ラク今度初メテダラウト思ヒマス、此ノ賞與ハ從來ノヤウナアノ豫算ノ餘ツタモノヲ給スルノデハナクシテ、此ノ豫算ニ計上サレテ部分ダケヲ賞與トシテ支給サレルノカドウカ、是デハ餘リニ私ハ少イと思ヒマス、此ノ點ヲ一ツ、ソレカラ官吏ノ減俸ヲ復活シナイト云フコトハ、大藏大臣ハ他ノ機會ニハツキリ仰シヤツタヤウデア

リマスガ、最近政府ハ七十圓以下ノ労働者其ノ他ニ家族手当ヲ支給スルト云フコトヲ決定サレタヤウデアリマス、ドウモ民間側ノ者ト此ノ官吏若クハ學校教員、下級警察官等ヲ比較スルト、今日ノ物價高カヲ見テドウシテモ平衡ガ取レナイと思ヒマス、隨テサウ云フヤウナ方面ノ官吏、教員、警察官ナドガ民間ノ方ニドン／＼流レテ行ク傾向ガアルヤウデアリマスガ、私ハドウシテモ此ノ場合政府ハ此ノ下級官吏ノ増俸若クハ家族手当ナドヲ支給スルコトヲ斷行サレナケレバナラナイと思ヒマスガ、モウ一度此ノ點ニ付テ大藏大臣カラ御伺シタイと思ヒマス  
○櫻内國務大臣 第一ノ賞與金ノ問題デアリマスガ、從來賞與金ヲ出シテ居ルノニ拘ラズ、賞與金ト云フ項目ガアリマセナカウタノデ、此ノ度設ケマシテ御承知ノ通りノ組方ニシテデアリマス、併シ其ノ賞與金以外ニハ一文モ出サヌノデアルカト云ヒマス、現在ノ實情ニ照シマシテ、巴ム得ズ人手ヲ省イテ多クノ仕事ヲ致シマス所ニハ、從來ノ例ヲ追ウテ居ル部分モアルノデアリマシテ、此ノ點ハ順次整理ヲシテ行ツテ、終ヒニハ適當ナル賞與額ヲ支給致シマス同時ニ、在來ノ通りノヤリ方ハ廢止ヲシテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、此ノ賞與ヲ次第ニ増額シテ行クコトヲ云フヤウナ方針ニ付キマシテハ十分考慮シタイト云フ問題ニ付キマシテハ、豫定度々賞與應答ノ際ニ申上ゲマシタ通り、實際今日官吏ノ生活状態ハ實ニ氣ノ毒デアリマス、殊ニ昭和六年減俸以來今日マデソレガ踏襲サレテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點カラ見マ

トノ關係モゴザイマシテ、農林省ト話合ヲ致シマシテ或ハ減ジ、或ハ増加スルヤウナ手續ヲヤツテ居リマス、ドウカ左様御承知願ヒタイと思ヒマス  
○矢野委員 篠原君ニ申上ゲマスガ、商工大臣ハマダ御見エニナリマセス、ソレデ商工大臣ガ見エマシタラ、アナクニ五分間位發言ヲ許シマス、次ハ由谷君——一寸申上ゲマスガ、時間ガ非常ニ少クナリマシタノデ、成ベク簡單ニ願ヒマシテ、一時ニ本會ヲ散會シタイと思ツテ居リマス  
○由谷委員 承知致シマシタ、大藏大臣ニ御伺致シマスガ、實ハ時間ノ關係ガ非常ニ簡潔ニ重點ダケヲ申上ゲタイと思ヒマス、先達テ稅制ノ委員會デ、大藏大臣ハ日本財政ノ將來ノ見透シニ對シテ非常ニ重大ナ御言明ガアツタヤウニ承知シタノデアリマス、即チ我國ノ財政ハ當分ノ中一年百億豫算ハ避テベカラザル情勢デアルト云フ御意見デアリマス、之ニ付テ私ハ可否ハ申シマセスガ、少クトモ百億豫算ト云フ財政ノ見透シハ今後何年位ヲ豫想シテ宜イノデセウカ、將來ノコトヲ聽クノデスカラ、非常ニ無理ナ點モアリマスガ、併シ大藏大臣ノ氣持デ百億豫算ハ五年掛ルトカ、七年掛ルト云フ風ナ大體ノ御見當デモアレバ此ノ際豫想シテ置キタイノデアリマス

マス、今御話ノ今後何年間サウ云フ狀況ガ續カカト云フ御尋ニ對シマシテハ、所謂支那事變ノ進行ノ程度ニモ依リマスシ、ソレカラ國際情勢ノ關係ニモ依リマスシ致シマスノデ、何年ト云フ見當ハ私付キ兼ネマスケレドモ、ココ、兩三年ノ間ハ中々國費ヲ減ラスト云フコトハ容易ニ期待ガ出来ナイデハナカラウカト、斯様ニ考ヘテ居リマス  
○由谷委員 御尤モ御答辯デアリマシテ、私モ兩三年トシテ一應豫算シテ宜カラウト思ヒマス、併シ此ノ兩三年タルヤ、今御答辯ノ中ニアリマシタヤウニ、支那事變ノ進行其ノモノトノ見合ヒ關係デアリマスカラ、實ハ可ナリ長イ將來ヲ覺悟セナケレバナラズダラウト私ハ考ヘテ居リマス、ソコデ第二ノ問題デスガ、百億豫算ノ内容デアリマス、今議會ニ豫算シテ居リマス十五年度豫算ヲ見テモ、所謂軍事費ガ七割二三分ニナツテ居リマスガ、少クトモ將來ノ百億豫算モ、軍事費關係ハ一般國防費、支那事變費ヲ一本ニ見テ、ヤハリ七割二三分見當ノモノガ豫想セラレルノデセウカ、此ノ邊ノ御見透シモアレバ拜誌シテ置キタイノデス  
○櫻内國務大臣 大體ニ於テ現在ノ歩合ト云フモノガ、今ノ御話ハ恐ラク臨時軍事費ト陸海軍ノ一般會計ヲ一本ニシテノ御考デアラウト思ヒマスガ、是ハ臨時事件費ノ方ハ御話ノ通り臨時事件ノ進行ノ状態ニ依リマシテ、存外連ニ解決シテ大イニ減ルカモ知レマセシ、ソレカラ或ハ是ガ擴大シテ又更ニ金額ガ殖エルヤウナコトガナイトモ限リマセシマシマスカラ、此ノ今年ノ豫算デア

ル四十四億ト云フモノノ金ニ付キマシテハ、此ノ事變ノ状態ニ依ツテ考ヘナケレバナリマセヌノデ、一概ニ斷案ヲ下スコトハ私出來ナイダラウト思フノデアリマス、併シナガラ他ノ計上サレタル陸海軍軍事費ト云フモノハ、大體ニ於テキマシテコト數年ハ減ラスト見ナケレバナラスト思ヒマス、是ト一般ノ豫算トノ釣合ト申シマスガ、比率ト申シマスガ、ソレハ恐ラク此ノ以後ニ於ケルヤリ方ニ付キマシテハ、大體大ナル變化ハナイダラウト思ヒマスガ、御承知ノ通り陸海軍ノ國防充實ヲ致シマスノニモ、又其ノ他ノ點カラ言ツテ、生産擴充等ヲ急ニヤラナケレバナラヌモノモアルシ、國民生活ノ安定ヲサセル爲ニ相當ノ費用ヲ投ジナケレバナラヌモノモアリマスノデ、私共ノ今ノ見透シハ、是ハドウモ見透シテ置キタルコトハ申上ゲ兼ネマスケレドモ、大體ニ於テハ現在ノ情勢ノ比率ニ依ツテ通ムノデハナカラウカト思ツテ居リマス

○由谷委員 ソコデ一寸話ガ別ニナルノデスガ、百億豫算ハ一應肯定シテ置キマシテ、近々汪兆銘政權ガ出来、是ト一應ノ和平交渉ガ成功スル、所ガ汪兆銘政權ガ出来レバ之ニ對シテ相當ナ經濟的援助ガ覺悟サレナケレバナラスト思ヒマス、即チ汪兆銘政權ニ對シテ色々意味ニ於ケル經濟的援助ガ可ナリ必要デアラウト考ヘマスガ、今ノ百億豫算ノ氣持ノ中ニハ、此ノ汪兆銘政權ニ對スル國家援助ノ費用ハ全然除外シテ考ヘテ居ラレルノデセウカ、ソレトモソレモ相當程度見越シテ、百億豫算ヲ汪兆銘政權ニ對スル相當ナ經濟的援助モ出來ルンダ、斯ウ云フ御考デアリマセウカ、此ノ點ニ對スル所見ヲ伺ツテ見タイと思ヒマス  
○櫻内國務大臣 御承知ノ通り今日マデ汪兆銘政權ガ出来テ居リマセヌノデ、汪兆銘ノ政權ガ出来タ時ニ於テ之ニ對シテ如何様

シテ他ノ物價ノ昂騰ノ工合、又各方面ノ勞銀及ビ貨銀ノ騰貴シテ割合、斯ウ云フコトニ願ミマシテ洵ニ氣ノ毒ダト考ヘマス、併シナガラ御承知ノ通り今日ハ昨年ノ九月十八日ノ勞銀ノ値上リノ停止令マデ出シテ居ル際デアリマシテ、其ノ際ニ官吏ダケガ増俸スルトカ、或ハ減俸ヲ復活スルトカ云フコトヲ致シマスコトハ甚ダ全般的ニ對シテ影響モアリマスノデ、暫ク辛抱シテ貰フ考デアリマス、極ク小額ノ給金ヲ取ラレテ居ツテ、物價騰貴、其ノ他ノ爲ニ生活困難ナ向キニ對シマシテハ、即チ家族手当ト云フヤウナ名前ノモノヲ御承知ノ通り數日前決定致シマシテ、七十圓以下ノ收入ノ人ニ對シテハホンノ心バカリデアリマスケレドモ、其ノ手當ヲ出スト云フ風ニ方針ヲ決メテ居ル次第デアリマス、將來ニ對シマシテハ是等ノ點ニ付テハ十分注意ヲ拂ツテ、今日官吏カラドン／＼他ノ方面ニ轉出スルト云フ事柄ヲ防グコトモ考ヘナケレバナリマセヌシ、又根本的ニ其ノ生活ノ安定ヲ期スルコトニ付テモ、考慮ヲ拂ハナケレバナラスト考ヘテ居リマス  
○松尾委員 政府ハ酒ノ造石ニ對シテ約半減サレルトニナツタヤウデアリマス、酒ト煙草ハ大體ニ於テ付キ物ノヤウデアリマスガ、ソレト並ニシテ私ハ煙草ノ耕作モ半分ニサレテ、サウシテ一方ニ食糧ノ確保ト云フヤウナコトヲ考ヘル必要ガアラウト思ヒマス、之ニ付テ何カ他ノ機會ヲ御述ニナツタヤウニ伺ツテ居リマスガ、此ノ際簡單ニ宜シウゴザイマスカラ御伺シタイと思ヒマス

ナ經濟的助力ヲスルカ、ドウスルカト云フコトハ、ソコニ自ラ考ヘナケレバナラヌコトガ起ツテ來ルト思フノデアリマス、今日ハマダ所謂出先官憲トノ關係ニアリマスノデ、國內ノ今日ノ豫算ニハ之ニ對シテドウ云フ金額ヲ助成スルトカ、ドウスルカト云フモノハ計上サレテアリマセヌノデスガ、汪政權ガ愈々成立シタ場合ニ於テドウ云フ風ナ援助ヲスルカト云フコトニ付キマシテハ、相當ニ考慮ヲ拂ツテ居リマスケレドモ、今之ヲ申上ゲルコトハ出来兼ネマス  
○由谷委員 今ノ御答辯ハ私ハ斯ウ解釋シテ置キタイノデアリマス、即チ御答辯ニアリマシタヤウニ、マダ具體的ニハツキリシタモノガ出テ來ナイ、言ヒ換ヘレバ、汪兆銘政權ニ對スル經濟的援助ヲスル場合ハ百億豫算ニコブラスアルフアガ付クノダ、斯ウ考ヘテ置キタイノデアリマス、ソコデ百億豫算ノ將來デアリマスガ、何レ公債計畫ト云フモノガ毎年相當ニ實行サレナケレバナラスト思ヒマス、此ノ度ノ増稅關係ガ儲カ國庫收入ハ正味五億圓バカリハ「カバ」サレルトニナツテ居リマスガ、少クトモ百億豫算ヲ基礎ニ致シマスルト、毎年五十億圓程度ノ公債計畫ガ附隨シテ來ナケレバナラスト思ヒマスガ、大體左様ニ目測ラシテ宜イデアリマセウカ、ドウゾ御所見ヲ御伺シマス

○櫻内國務大臣 大體其ノ程度ノ公債ハ當分ノ間續クモノト思ヒマス  
○由谷委員 サウ致シマス、假ニ百億豫算ガ今後五年間續クモノト假定シテ考ヘタインデアリマスガ、今日我國ノ公債ハ既ニ二百五十億デアリマス、今後五年間百億豫算ガ續クモノトスルト、ソレノ公債總額

第一類第四號 豫算委員第三分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日



ガ二百五十億、少クとも昭和十九年、昭和二十年ニナリマスルト、我國ノ公債總額ハ五百億圓ヲ突破スルト考ヘマス、私ハ公債總額ノ多イコトヲ決シテ悲觀致シマセス、私ハ別ニ日本財政ニ對スル一ツノ意見ヲ持ツテ居リマスカラ、悲觀論ヲ申上ケルノデハアリマセウガ、少クとも昭和十九年、二十年ニ日本ノ政府ノ公債ガ五百億圓ト云フ一ツノ具體的ナ見透シガ付イタ以上ハ、政府ハ今日カラ此ノ公債處理ニ關スル基本ナ考ヘ方ヲ御決メニナルコトガ必要ト思フノデアリマス、此ノ場合斯ウ云フ公債ノ根本處理ニ對シテ大藏大臣ニ相當ナ御意見ガアルヲラウト思ヒマス、此ノ機會ニ拜聽出來レバ非常ニ仕合セト考ヘマス

○櫻内國務大臣 今日一月末現在ニ於テハ國債ノ總額ガ二百十億デアリマシタカニ達シテ居ルノデアリマシテ、今後五十億若クハ六十億ト云フ公債ヲ發行致シマスレバ、數年ナラズシテ四百億トカ、或ハ三百五十億トカ云フ數字ニ達スルコトハ勢ヒヒムヲ得ヌコトデアラウト思ヒマス、之ニ對スル所ノ對策ハ、要スルニ現在ノ日本ノ國力ト云フモノヲソレニ耐ヘ得ルヤウニ持ツテ行クコトガ最モ必要トラウト思ヒマス、即チ生産擴充及ビ産業ノ發展ヲ圖リ、一面ニ於テハ輸出貿易ノ振興ヲ圖リ、サウシテ其ノ擴充セラレ、又擴大セラレタル所ノ産業ニ依ツテ國民所得ノ増大ヲ圖ツテ、之ニ耐ヘ得ルヤウノ力ヲ與ヘルコトニ專念致サナケレバナラズト思ツテ居リマス、ソレニハ今日吾々ト致シマシテハ、國民ガ今一般ニ撤布セラレタル資金ヲ唯獨ノモノニ消費セラレナイヤウニ之ヲ吸收シテ、更ニ資本化シテ、即チ惡循環ニアラズシテ、極メテ圓滑ナル

○櫻内國務大臣 現在ノ通貨ガ約二十九億幾ラデアリマスガ、昨年ノ暮ハ三十八億モ出タヤウナ譯デアリマシテ、實ニ急激ナル増加デアリマス、此ノ通貨ノ現在ノ狀況ヲ正當ト看做スカドウデアアルカト云フ御尋デアリマスガ、私ハ日本ノ經濟界ノ此ノ發展シタル狀況カラ考ヘテ見テ、或ル程度ニ三年以前ヨリ増加スルコトハ、是ハモウ已ムヲ得ナイコトデアアルト思ヒマス、殊ニ今日此ノ事變下ニ於キマシテ澤山ノ經費ガ出ルノデアリマスカラ、是ハドウモ已ムヲ得ナイト思ヒマス、併シ現在出テ居ル三十億トカ、或ハ三十五億トカ云フ數字ハ私ハ今日ノ狀態カラ言フト餘リ少イモノデアリナイ、即チ少シ多過ギハシナイカト云フ考ヲ持ツテ居リマス、隨ヒマシテ民間ニ撒布サレテアル所ノ此ノ通貨ノ出來ルガケ縮小スルコトヲ考ヘナケレバナリマセウガ、其ノ點ニ付テ度々申ス通り有ル手段ヲ以テ其ノ縮小ヲ圖ツテ行キタイト思ヒマス、併シ本年又百億ト云フ豫算ガ通過シテソレダケ消費ノ方ニ廻リマスト、又或ハ通貨ガ積エテ來ルト云フコトガナイトハ限リマセウガ、殊ニ色々ナル事情カラ申シテ見マスト、更ニ一層通貨ハ積ニ傾向ヲ持ツテ居ルコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマシテ、之ニ對シテ吾々トシテハ出來得限リ少イ通貨ヲ民間ニ置クヤウニシタイ、斯ウ云フ考デアリマス、唯三十億ガ多イカ少イカト云フコトニ付キマシテハ、今日只今ト致シマシテハ、モウ少シ減ラシタイヤウナ氣分ガ致シ

○櫻内國務大臣 公債ガ非常ニ多クナツテ來ル、サウシテ消化ガ不十分デアルト云フ時ニ、強制的ニ公債ヲ消化スルノ方法ヲ講ズルヤウナ時期ガ起ツテ來ハシナイカ、斯ウ云フ御尋ガ第一點デアリマス、私ハ實ハ公債ヲ強制保有セシムルト云フガ如キコトニ付キマシテモ、相當考慮ヲ拂ツテ見マシタガ、一部ニハ公債ヲ強制的ニ保有セシムルコトモ適當ト思ヒマスケレドモ、全面的ニハ公債ヲ強制的ニ保有セシムルト云フガ如キコトヲ行ヒマスル時ニハ、却テ逆作用ガ起リハシナイカト思ヒマス、今日先ツ五十億乃至六十億程度ノ公債ノ消化ヲ致シマスノニハ、國民ガ協力シテ與レサヘスレバ、強制ヲ致サズトモ私ハ募集シ得ルノデハナカラウカ、即チ年々増加スル所ノ貯蓄ノ狀態カラ考ヘテ見マシテモ私ハ出來ハシナイカ、斯様ニ考ヘマシテ、強制ヨリモヨリ以上ノ效果ヲ擧ゲハシナイカト、今日ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、併シナガラ將來ニ於テ三百億、四百億ト云フ大キナ公債ヲ出シタ曉ニ於テハドウ云フ風ニナルカト云フコトニ付キマシテハ、ソレニ對シテハ或ハ適當ナル考慮ヲ拂ハナケレバナラズト時代ガ來ヌトモ私ハ斷言致シマセウケレドモ、出來得限リハ圓滿ニ公債ガ消化サレル途ヲ講ジテ行キタ、斯様ニ今ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ増稅ノ問題ニ對シテモツト徹底的ナ増稅ヲ致スコトガ必要デアリナイカト云フ御話デアリマスガ、ソレハ見方ニ依リマシテハ由谷君ノ御話ノ通りノコトモ私ハ考ヘテ宜イコトトガト思ヒマス、併シナガラ急激ナル所ノ増稅ト云フコトハ、今回ノ増稅デモ私ハ是ガ一般財界ニ惡影響ヲ及ボシハシナイカ、及ボシテハ相成ラヌト云フコトヲ深

ク考慮致シマシテ、サウシテ兎ニ角民間並ニ官界ノ權威者ガ集ツテ十分檢討サレタ案デアリマスカラ、私自身モ檢討シテ見テ、先ツ此ノ程度ナラ宜カラウト云フノ實ハ提案ヲ致シタ譯デアリマシテ、今之ヲ更ニ前途ニ向ツテ大イニドシ、増稅スルノデアルト云フコトハ私トシテハ申上ケルコトガ出來ナイノデアリマス、併シ將來五年、十年後ニ經濟界ノ情勢ガ變ツテ參リマシタ曉ニ於テ、善イ意味ニ言ヘバ國民ノ負擔力ガ餘裕ト云フ場合ニ於テ更ニ増稅ヲ促ストカ、又惡イ意味トシテハドウシテモ増稅ヲシナケレバ惡性インフレガ起ルカラ、惡性インフレヲ抑ヘル上カラモ増稅ヲヤツタ方ガ宜イト云フ風ナ意見ガゴザイマシレバ、サウ云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ時代ガ來マシレバ、更ニサウ云フ場合ニ御話ノヤウナコトガ考慮サレルノデハナカラウカト思ヒマスケレドモ、今日ノ場合、私ハ左様ナ考ヲ持ツテ居リマセウガ、度々申ス通り當分ノ間増稅ヲ致サヌデアルト、斯ウ申シタノデアリマス

○由谷委員 モウ一點ダケ伺ヒマスガ、只今ノ御答辯ニ對シテハ別ニ意見ガアリマスガ、此處ハ討論會デアリマセウカラ、大藏大臣ノ御意見ヲ拜聽シタ程度ニ止メテ置キマス

○櫻内國務大臣 現在ノ通貨ガ約二十九億幾ラデアリマスガ、昨年ノ暮ハ三十八億モ出タヤウナ譯デアリマシテ、實ニ急激ナル増加デアリマス、此ノ通貨ノ現在ノ狀況ヲ正當ト看做スカドウデアアルカト云フ御尋デアリマスガ、私ハ日本ノ經濟界ノ此ノ發展シタル狀況カラ考ヘテ見テ、或ル程度ニ三年以前ヨリ増加スルコトハ、是ハモウ已ムヲ得ナイコトデアアルト思ヒマス、殊ニ今日此ノ事變下ニ於キマシテ澤山ノ經費ガ出ルノデアリマスカラ、是ハドウモ已ムヲ得ナイト思ヒマス、併シ現在出テ居ル三十億トカ、或ハ三十五億トカ云フ數字ハ私ハ今日ノ狀態カラ言フト餘リ少イモノデアリナイ、即チ少シ多過ギハシナイカト云フ考ヲ持ツテ居リマス、隨ヒマシテ民間ニ撒布サレテアル所ノ此ノ通貨ノ出來ルガケ縮小スルコトヲ考ヘナケレバナリマセウガ、其ノ點ニ付テ度々申ス通り有ル手段ヲ以テ其ノ縮小ヲ圖ツテ行キタイト思ヒマス、併シ本年又百億ト云フ豫算ガ通過シテソレダケ消費ノ方ニ廻リマスト、又或ハ通貨ガ積エテ來ルト云フコトガナイトハ限リマセウガ、殊ニ色々ナル事情カラ申シテ見マスト、更ニ一層通貨ハ積ニ傾向ヲ持ツテ居ルコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマシテ、之ニ對シテ吾々トシテハ出來得限リ少イ通貨ヲ民間ニ置クヤウニシタイ、斯ウ云フ考デアリマス、唯三十億ガ多イカ少イカト云フコトニ付キマシテハ、今日只今ト致シマシテハ、モウ少シ減ラシタイヤウナ氣分ガ致シ

○由谷委員 時間モアリマセウシ、私ハ此ノ程度デ質問ヲ終ラウト思ヒマスガ、唯最後ニ極ク手近ノ問題デ一ツ大藏大臣ノ所信ヲ聽イテ置キタイノデス、所謂惡性インフレノ問題デスガ、議論ヨリモ何ヨリモ實際ノ現實ヲ擷シテ見ルト、公定價格ノアル品物ハ開取引、無論高價相場デアリマス、ソレカラ公定價格カラ除外サレテ居ル品物ハ價格ニ高イ、實ハ吾々ノ家デモ可ナリ小言ガ起キテ居ルノデアリマシテ、大根ヲ買ヒニ行ツテモ一本ガ二十錢、葱ガ一本ガ一錢カラ二錢アル、斯ウ云ツタ開取引ノ相場タルト云フ間ハズ、此ノ物價高ハ實ハ國民生活ニヒシク追ツテ來テ居ル、惡性インフレガ來ルカ來ヌカト云フ議論ハ隨分アルガ、現在ノ物價情勢其ノモノハ既ニ惡性インフレニナツテ居ルデハナイカト云フ見方ガアルノデス、現在ノ物價ヲ抑ヘテ果シテ惡性インフレノ現象ト見カドウカ、此ノ點ニ對スル大藏大臣ノ御考ヘ方ヲ拜聽シテ置キタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 今日一月末現在ニ於テハ國債ノ總額ガ二百十億デアリマシタカニ達シテ居ルノデアリマシテ、今後五十億若クハ六十億ト云フ公債ヲ發行致シマスレバ、數年ナラズシテ四百億トカ、或ハ三百五十億トカ云フ數字ニ達スルコトハ勢ヒヒムヲ得ヌコトデアラウト思ヒマス、之ニ對スル所ノ對策ハ、要スルニ現在ノ日本ノ國力ト云フモノヲソレニ耐ヘ得ルヤウニ持ツテ行クコトガ最モ必要トラウト思ヒマス、即チ生産擴充及ビ産業ノ發展ヲ圖リ、一面ニ於テハ輸出貿易ノ振興ヲ圖リ、サウシテ其ノ擴充セラレ、又擴大セラレタル所ノ産業ニ依ツテ國民所得ノ増大ヲ圖ツテ、之ニ耐ヘ得ルヤウノ力ヲ與ヘルコトニ專念致サナケレバナラズト思ツテ居リマス、ソレニハ今日吾々ト致シマシテハ、國民ガ今一般ニ撤布セラレタル資金ヲ唯獨ノモノニ消費セラレナイヤウニ之ヲ吸收シテ、更ニ資本化シテ、即チ惡循環ニアラズシテ、極メテ圓滑ナル

○櫻内國務大臣 現在ノ通貨ガ約二十九億幾ラデアリマスガ、昨年ノ暮ハ三十八億モ出タヤウナ譯デアリマシテ、實ニ急激ナル増加デアリマス、此ノ通貨ノ現在ノ狀況ヲ正當ト看做スカドウデアアルカト云フ御尋デアリマスガ、私ハ日本ノ經濟界ノ此ノ發展シタル狀況カラ考ヘテ見テ、或ル程度ニ三年以前ヨリ増加スルコトハ、是ハモウ已ムヲ得ナイコトデアアルト思ヒマス、殊ニ今日此ノ事變下ニ於キマシテ澤山ノ經費ガ出ルノデアリマスカラ、是ハドウモ已ムヲ得ナイト思ヒマス、併シ現在出テ居ル三十億トカ、或ハ三十五億トカ云フ數字ハ私ハ今日ノ狀態カラ言フト餘リ少イモノデアリナイ、即チ少シ多過ギハシナイカト云フ考ヲ持ツテ居リマス、隨ヒマシテ民間ニ撒布サレテアル所ノ此ノ通貨ノ出來ルガケ縮小スルコトヲ考ヘナケレバナリマセウガ、其ノ點ニ付テ度々申ス通り有ル手段ヲ以テ其ノ縮小ヲ圖ツテ行キタイト思ヒマス、併シ本年又百億ト云フ豫算ガ通過シテソレダケ消費ノ方ニ廻リマスト、又或ハ通貨ガ積エテ來ルト云フコトガナイトハ限リマセウガ、殊ニ色々ナル事情カラ申シテ見マスト、更ニ一層通貨ハ積ニ傾向ヲ持ツテ居ルコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマシテ、之ニ對シテ吾々トシテハ出來得限リ少イ通貨ヲ民間ニ置クヤウニシタイ、斯ウ云フ考デアリマス、唯三十億ガ多イカ少イカト云フコトニ付キマシテハ、今日只今ト致シマシテハ、モウ少シ減ラシタイヤウナ氣分ガ致シ

○櫻内國務大臣 今日一月末現在ニ於テハ國債ノ總額ガ二百十億デアリマシタカニ達シテ居ルノデアリマシテ、今後五十億若クハ六十億ト云フ公債ヲ發行致シマスレバ、數年ナラズシテ四百億トカ、或ハ三百五十億トカ云フ數字ニ達スルコトハ勢ヒヒムヲ得ヌコトデアラウト思ヒマス、之ニ對スル所ノ對策ハ、要スルニ現在ノ日本ノ國力ト云フモノヲソレニ耐ヘ得ルヤウニ持ツテ行クコトガ最モ必要トラウト思ヒマス、即チ生産擴充及ビ産業ノ發展ヲ圖リ、一面ニ於テハ輸出貿易ノ振興ヲ圖リ、サウシテ其ノ擴充セラレ、又擴大セラレタル所ノ産業ニ依ツテ國民所得ノ増大ヲ圖ツテ、之ニ耐ヘ得ルヤウノ力ヲ與ヘルコトニ專念致サナケレバナラズト思ツテ居リマス、ソレニハ今日吾々ト致シマシテハ、國民ガ今一般ニ撤布セラレタル資金ヲ唯獨ノモノニ消費セラレナイヤウニ之ヲ吸收シテ、更ニ資本化シテ、即チ惡循環ニアラズシテ、極メテ圓滑ナル

○由谷委員 時間モアリマセウシ、私ハ此ノ程度デ質問ヲ終ラウト思ヒマスガ、唯最後ニ極ク手近ノ問題デ一ツ大藏大臣ノ所信ヲ聽イテ置キタイノデス、所謂惡性インフレノ問題デスガ、議論ヨリモ何ヨリモ實際ノ現實ヲ擷シテ見ルト、公定價格ノアル品物ハ開取引、無論高價相場デアリマス、ソレカラ公定價格カラ除外サレテ居ル品物ハ價格ニ高イ、實ハ吾々ノ家デモ可ナリ小言ガ起キテ居ルノデアリマシテ、大根ヲ買ヒニ行ツテモ一本ガ二十錢、葱ガ一本ガ一錢カラ二錢アル、斯ウ云ツタ開取引ノ相場タルト云フ間ハズ、此ノ物價高ハ實ハ國民生活ニヒシク追ツテ來テ居ル、惡性インフレガ來ルカ來ヌカト云フ議論ハ隨分アルガ、現在ノ物價情勢其ノモノハ既ニ惡性インフレニナツテ居ルデハナイカト云フ見方ガアルノデス、現在ノ物價ヲ抑ヘテ果シテ惡性インフレノ現象ト見カドウカ、此ノ點ニ對スル大藏大臣ノ御考ヘ方ヲ拜聽シテ置キタイノデアリマス

○矢野圭章 是ニテ質疑ハ大體ニ於テ終了致シマシタ、明後日午前十時ヨリ討論ニ移リマスガ、其ノ前ニ簡單ナル質問ヲ二三許スコトニ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シ

午後一時一分散會



第七十五回帝國議會 豫算委員第三分科(大藏省)會議錄(速記)第四回

會議

昭和十五年二月二十一日(水曜日)午前十時三十二分開議

出席委員左ノ如シ

- 中島彌爾次君 前田房之助君
- 助川啓四郎君 牧野 良三君
- 水谷長三郎君

兼務

- 篠原 陸朗君 小川郷太郎君
- 川崎 克君 北 吟吉君
- 田村 秀吉君 小笠原三九郎君
- 石坂 豊一君 吉植 庄亮君
- 松尾 孝之君 加藤 知正君
- 山本 芳治君 石坂 繁君

二月十九日本分科所屬員行吉治君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月二十一日太田正孝君當選シ本分科所屬員ト爲リタリ

同月二十一日第五分科所屬員石坂繁君ハ本分科兼務ト爲リタリ

出席國務大臣左ノ如シ

- 大藏大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

- 内閣書記官長 石渡莊太郎君
- 大藏政務次官 木村 正義君
- 大藏參與官 松田 正一君
- 大藏省主計局長 谷口 恒二君
- 大藏省主稅局長 大矢半次郎君
- 大藏省理財局長 相田 岩夫君
- 大藏省銀行局長 入間野武雄君
- 大藏省爲替局長 中村孝次郎君

預金部資金局長 廣瀬 豊作君  
營繕管理財局理事 松隈 秀雄君  
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中大藏省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中大藏省所管

○矢野主査 是ヨリ會議ヲ開キマス、山本君ニ簡單ナ質問ヲ許シマス

○山本委員 私ハ國民精神總動員ノ問題ニ付キマシテ内閣書記官長ニ御尋致シマス、本年ノ豫算デハ百万圓ノ獎勵金ガ計上セラレテ居リマスガ、一體アノ百万圓ノ獎勵金ハドウ云フ風ニ御使ヒニナツテ居ルカ、先ヅ其ノ御説明ヲ願ヒマス

○石渡政府委員 國民精神總動員ノ爲ノ豫算ハ前年通りノ豫算デアルト承知致シテ居ルノデアリマス、今年別ニ此ノ爲ニ新シキ豫算ハ請求致シテ居ナイ積リデゴザイマス

○山本委員 成程豫算ノ上デハ文部省ガ昨年ハ二十八萬圓デアリマシタガ、本年ハソレガ八萬圓ニナツテ居リマス、昨年ハ大藏省ガ八十萬圓デアツタノガ百万圓ニナツテ居ルノデ、結局文部省ノ二十萬圓ガ大藏省ノ方ヘ組替ニナツタト云フ形式ニ見ラレテ居ルノデアリマス、國民精神總動員ノ運動ニ付キマシテハ、協力昨年ノ議會デモ各派カラ警告ガアツタト思フノデアリマスルガ、ドウモ實際ニ於テ成績ガ擧ラナイ、國民精神總動員運動ニ付テハ、政府ニ向ツテ改組

ヲ要求スルト云フ強イ希望ガ各派カラ現ハレテ居ツタト記憶シテ居リマスルガ、其ノ後ノ成績ヲ見マスルト、先ヅ都會地デ申シマスレバ、ソレノノ業界ニ於キマシテハ、工業ニ致シマシテモ、商業ニ致シマシテモ業者ハ専門的ノ知識ヲ持ツテ居ル、然ルニ國民精神總動員ノ運動ニ參リマシタ講師ト申シマスカ、其ノ人達ノ説明ト云フモノハ國民ノ實生活ニ觸レナイ、専門的ノ知識ヲ缺イテ居リマスルカ、抽象的ノ上滑リヲシタコトバカリヲ話シマスノデ、聴ク者ニ取リマシテハ面白クモナケレバ、有難クモナイ、然ルニ此ノ國民精神總動員運動ガ始マリマスルト云フト、有ル團體ヲ動員致シマシテ、講師ガ參リマスルト云フト之ヲ應講スル爲ニ特出ヲ喰ハサレル、有難クモナシ、面白クモナイ講義ヲ聴ク爲ニ却テ無駄ナ時間ヲ潰シテ、結果ニ於テハ非常ニ國民ハ迷惑ヲシテ居ル、都會ニ於キマシテハ是ガ幾分産業ヲ壓迫スルト云フ結果ヲ見テ居リマス、又農村方面デ聴キマスルト云フト、國民ハ時局深刻ナル生活苦ヲ嘗メテ居ル、然ルニ此ノ講師ニ參ル人達ハ一向深刻ナル生活苦ヲ味ハナイ、サウ云フ體験ノナイ人デアリマスカラ、講義ト云フモノガ上滑リヲシテ抽象的デアアル、之ヲ聴ク者ヲ却テ却テ精神、思想ノ緊張ヲ缺カシメルト云フ風ナ抑イ結果ヲ見テ居ルト云フコトヲ展 展々ハ農村方面カラモ聞キマス、此ノ實績ニ積ヘマシテ、昨年ノ議會ニ於キマシテハ各派カラ國民精神總動員運動ニ付テハ政府ニ向ツテ改組

組ヲ要求シタ答デアリマスガ、政府ハ之ニ付テ一體ドウ御考ニナツテ居ルカ、此ノ機會ニ御答ヲ承リタイノデアリマス

○石渡政府委員 山本君ノ御尋ニ御答致シマスガ、國民精神總動員ノ仕事ト云フモノハ御承知ノ如ク中々ムツカシイ仕事デアリマス、ソレデ此ノ事變勃發以來國民精神總動員ノ運動ヲ繼續致シテ居ルノデアリマスガ、私ハ今日マデ相當ノ效果ヲ擧ゲテ居ルト思ツテ居リマス、思ツテ居リマスガ、モット效果ヲ擧ゲルベク計畫シタラバ宜イデアアルマイカ、斯ウ云フ御考ガ屢、本議場等ニ於テモ現ハレルノデゴザイマシテ、昨年モソウ云フ御言葉ガゴザイマシテ、議會閉會後ニ於キマシテ其ノ當時ノ政府ハ之ニ改組ヲ加ヘタノデゴザイマス、是ハ中央聯盟ノ外ニ中央ニ委員會ヲ置ク、斯ウ云フ計畫ヲ致シタノデゴザイマス、此ノ計畫ノ下ニ衆議院議員ノ方ニモ中央聯盟ニ四名入ツテ戴イテ居ツタノデアリマスルガ、此ノ四名ガ三名ニナツテ、一名減ツテ居ルノハ甚ダ意外デアアル、斯ウ云フヤウナ御意見モ承ツテ居ルノデアリマスガ、實ハ此ノ中央聯盟ト中央委員會トノ二ツニ分レタノデアリマシテ、兩方合セマス、四名ノ衆議院議員ノ方ニ御願シテ居リマシタ役員ガ、九名ニ増加致シテ居ルノデアリマス、昨年ハサウ云フヤウナコトニ依ツテ之ヲ改組シマシテ、全般的ニヤツテ見タノデゴザイマスガ、今日尙ホ此ノ中央委員會ノ組織、中央聯盟ノ組織、其ノ他各地方ニ於ケル所



ノ組織等ニ付テ幾多ノ改革改正ヲ致スベキ  
點ガ多イト存ジテ居リマスノデ、政府ニ於  
キマシテモ目下銳意是ガ改革改正ニ付テノ  
調査ヲ進メテ居ル次第デゴザイマス、何レ  
ニ致シマシテモ、此ノ戰時重大時局ヲ乘切  
リマス爲ニハ、國民精神ノ昂揚ヲ是非トモ  
必要ト致スノデゴザイマスカラ、政府ト致  
シマシテモ此ノ問題ニ付キマシテハ最モ熱  
心ニ考ヘテ居リマス次第デアリマス

○山本委員 只今書記官長ノ御話ノ通り  
ニ、國民精神總動員運動ハ時局柄最モ大切  
ナ運動デアリマス、其ノ成績ガ學ガラナイ  
ト云フコトハ吾々モ最モ遺憾トスル所デゴ  
ザイマスガ、只今御話ノアリマシタヤウニ、  
政府ニ於テモ銳意改善シテ、成績ノ學ガ  
コトニ努力スルト云ハレテ居リマスカラ、  
暫ク此ノ言葉ヲ信賴致シマシテ、ドウカ政  
府ニ於キマシテ十分ニ成績ノ學ガラヤウニ  
改組改善セラレンコトヲ希望致シマシテ、  
一先ツ此ノ質問ヲ打切りマス

○矢野主査 是ニテ質疑ハ終了致シマシ  
タ、是ヨリ討論ニ入りマス、念ノ爲ニ議題  
ヲ宣告致シマス、即チ昭和十五年度歳入歳  
出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入  
歳出豫算案中大藏省所管及豫算外國庫ノ  
負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中大  
藏省所管、右ヲ一括シテ討論ニ付シマス、  
討論ハ通告順ニ依ッテ之ヲ御許シ致シマ  
ス——田村秀吉君

○田村委員 私立憲民政黨ヲ代表致シマ  
シテ只今議題トナリマシタ豫算案ニ對シ贊  
成ノ意ヲ表スル者デアリマス  
○矢野主査 小笠原三九郎君  
○小笠原委員 私立憲政友會ヲ代表シテ  
本分科ニ付議セラレタル豫算及ビ關係各案

ニ對シ贊成ノ意ヲ表明スル者デアリマス、  
是ガ理由ニ付テハ豫算總會又ハ本會議ニ於  
テ申述ベマスルガ、茲ニ唯一言致シテ置キ  
タイノハ官公吏ノ俸給、特ニ下級官公吏ノ  
俸給ニ付テデアリマス、前年ノ減俸前ニ復  
活スルカ、適當ニ俸給ノ改正ヲ行ヒ、以テ  
物價騰貴ニ對應シ、安シテ其ノ職務ニ勵  
精シ得ルヤウ速ニ善處セラレンコトヲ要望  
致シマス

○矢野主査 牧野良三君  
○牧野委員 立憲政友會ヲ代表シテ贊成ノ  
意ヲ表シマス、意見ハ豫算總會ニ譲リマス  
○矢野主査 水谷長三郎君  
○水谷委員 社會大衆黨ヲ代表致シマシテ  
議題トナリマシタ問題ニ對シテ贊成ノ意ヲ  
表シマス、意見ハ他ノ機會ニ於テ述べルコ  
トニ致シマス

○矢野主査 石坂繁君  
○石坂(繁)委員 私立時局同志會ヲ代表致  
シマシテ本分科ニ付託サレマシタ各案ニ對  
シマシテ贊成ノ意ヲ表明致シマス、其ノ意  
見ハ豫算總會ナリ本會議ノ機會ニ譲リマス  
○矢野主査 討論ハ結局致シマシタ、是ヨ  
リ採決ヲ致シマス、但シ豫算案中皇室費ハ  
協費ヲ要セザル費目デアリマスカラ之ヲ除  
キマス、各案トモ原案ニ贊成ノ諸君ハ起立  
ヲ願ヒマス

(總員起立)  
○矢野主査 起立總員——各案ハ何レモ原  
案ノ通り可決致シマシタ、本日ハ是ニテ散  
會致シマス  
午前十時四十三分散會

昭和十五年二月二十一日印刷

昭和十五年二月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局



第七十五回帝國議會 院 豫算委員第四分科(陸軍省及海軍省所管)會議錄(速記)第一回

會議

昭和十五年二月十六日(金曜日)午前十時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

主在 末松借一郎君 兼務 篠原 陸朗君 加藤 知正君 板野 友造君 小山 亮君

中島彌爾次君 堤 康次郎君 松尾 孝之君 吉植 庄亮君 水谷長三郎君 由谷 義治君

二月十六日第五分科所屬員吉植庄亮君ハ本分科兼務ト爲リタリ

出席國務大臣左ノ如シ

海軍大臣 吉田 善吾君 陸軍大臣 畑 俊六君

出席政府委員左ノ如シ 陸軍政務次官 三好 英之君 陸軍參與官 宮崎 一君 陸軍主計中將 石川半三郎君 陸軍少將 武藤 章君 陸軍主計大佐 森田 親三君 陸軍歩兵大佐 河村 參郎君 海軍政務次官 松山常次郎君 海軍參與官 小山邦太郎君 海軍主計中將 武井 大助君

海軍少將 阿部 勝雄君 海軍主計大佐 爲本 博篤君 海軍大佐 矢野 英雄君 海軍大佐 千田 金二君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ 昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中陸軍省及海軍省所管 豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中陸軍省及海軍省所管 (臨時第一號)臨時陸軍材料資金豫算追加案

○末松至奎 是ヨリ豫算委員會第四分科會ヲ開キマス、第四分科會ハ陸軍省及海軍省所管ノ豫算案ヲ議題ニ致シマス、本分科會ノ日割豫定ハ、本日ヨリ十九日マデノ三日間デ、本日ハ海軍省所管及陸軍省所管ノ順序デ質問ヲ始メマス、十七日午前ハ海軍省所管、十九日午前ハ陸軍省所管ノ順序及ビ區別ニ隨ヒ審議致シタト思ヒマス、尙ホ質問ハ豫メ諸君ノ御通告ヲ受ケ、豫算總會ニ於ケル例ニ倣フテ發言ヲ許シタト思ヒマス、質問ノ希望者相當多數アリマスカラ、陸軍省及海軍省ヲ通ジテ、一時間ニ制限致シタト思ヒマス、御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○末松至奎 異議ナシト認メマス、ソレデハ先ヅ海軍省所管ノ豫算案ニ付キ、海軍大臣ノ御説明ヲ願ヒマス

○吉田國務大臣 只今カラ昭和十五年度海軍省所管豫算ノ概要ヲ御説明申上ゲマス、御手許ニ差上ゲテ置キマシタ海軍省所管豫算案ヲ御參照願ヒマス

昭和十五年度一般會計豫定經費要求額ハ經常部、臨時部ヲ併セテ總額二千八百九十四萬五千三百三十四アリマシテ、之ヲ前年度豫算額八億二千六百七十五萬二千四百三十二圓ニ比較致シマス、二億二千九百九十九萬二千六百九十八圓ノ増加トナツテ居リマス、此ノ増加ヲ來シマシタルハ、前年度ヨリノ施設等ニ伴フ經費ノ増加、二億四千九百二十七萬二千六百七十一圓、新規要求ニ依ル經費ノ増加、一億五千四百四十五萬六千六百六十七圓、前年度ヨリノ施設等ニ伴フ經費ノ減少、前年度ヨリノ施設等ニ伴フ經費ノ減少、千二百六十七萬四千二百九十九圓、節約ニ依ル經費ノ減少、二千四百九十二萬四千四百四十四圓、要求ニ依ル經費ノ減少、一億六千三百九十三萬六千二百二十六圓ヲ差引致シタ結果トゴザイマス

以下新規要求ニ依ル經費ノ増加ニ就キ、書類ノ順序ニ從ヒマシテ順次申上ゲマス、レバ、第一新艦船維持ニ關スル經費、四百二十四萬四千三百八十四圓、是ハ既定計畫ニ基ク艦船ノ竣工ニ伴ヒ要スル維持費デアリマシテ、昭和十四年度末迄ニ竣工スル分ヲ計上致シテ居リマス、第二定員充實ニ關スル經費、六百七十六萬四千四百七十七圓、之ハ各工廠開始メ官衙、學校、病院ニ於ケル施設増備等ニ依ル定員ノ充實、並ニ艦船部隊ニ於ケル定員ノ充實ニ要スル經費トゴザイマス、第三、航空ニ關スル經費、三千九百八十三萬六千六百六十圓、是ハ新設航空隊、艦艇飛行機等ノ維持費、及ビ艦上機訓練場等ノ設備ニ要スル經費トゴザイマス、第四、水陸諸設備ニ關スル經費、五千九百四十六萬三千三百圓、其ノ一ハ工作廠設備デアリマシテ、各海軍工廠、航空技術廠、技術研究所、燃料廠等ノ工場機械等ヲ整備スルニ要スル經費トゴザイマス、其ノ二ハ軍需設備デアリマシテ、各軍需部ノ補給施設ヲ整備スルニ要スル經費、及ビ銅製貯油槽ノ保安施設ニ要スル經費等トゴザイマス、其ノ三ハ防備部隊設備デアリマシテ海兵團、通信隊等ノ施設ニ要スル經費トゴザイマス、其ノ四ハ軍港雜設備デアリマシテ、橫須賀、佐世保、舞鶴、大湊ニ於ケル水道其ノ他ノ雜設備整備ニ要スル經費トゴザイマス、其ノ五ハ病院設備デアリマシテ、主トシテ横須賀鎮守府管下ノ病院施設整備ニ要スル經費トゴザイマス

第五ハ艦船整備ニ關スル經費、五百三十三萬四千圓、其ノ一ハ艦船改裝費ノ追加デアリマシテ、各艦種ニ互リ兵器機關等ヲ整備スルニ要スル經費トゴザイマス、其ノ二ハ艦船特定修理費ノ追加デアリマシテ、特定修理ノ施行時期ニ到達シマシタ艦船ノ工事ニ要スル經費トゴザイマス、其ノ三ハ臨時雜船製造費ノ追加デアリマシテ、水路部ニ於テ使用シマスル海洋觀測船ヲ建造スルニ要スル經費トゴザイマス

第六軍需品整備ニ關スル經費、二百八十



九方圓、是ハ彈丸、魚雷其ノ他軍需品ノ更新、又ハ整備ニ要スル經費デゴザイマス  
第七、諸研究ニ關スル經費、二百九十二萬六千八百圓、是ハ船體、機關、兵器其ノ他ノ試驗研究ニ要スル經費デゴザイマス  
第八、教育ニ關スル經費、四百七十八萬二千四百七十七圓、是ハ海軍兵學校、機關學校、經理學校ニ於ケル生徒並ニ海軍水雷學校、航海學校、通信學校等ニ於ケル練習生ノ増加ニ伴ヒ兵舎、講堂等ノ施設及ビ教育用兵器ノ増備ニ要スル經費、並ニ增加人員ニ要スル教育諸費等ノ増加ニ要スル經費デゴザイマス

第九、其ノ他ノ經費二千九百七十九萬五千二百四圓、之ニハ各種ノ經費ヲ含メテ居リマスガ、其ノ主ナルモノハ、其ノ一建物等維持費、其ノ四賞與計上ニ要スル經費、其ノ六共濟組合給與金、其ノ七米麥相場ノ變動ニ基ク經費、其ノ八爲替相場ノ變動ニ基ク經費、其ノ九十二海軍工廠資金繰入ニ要スル經費デゴザイマス、建物等維持費ハ、各種新築建物等ノ維持費デアリマシテ、從來ノ豫算ヲ以テ處辨シ難キモノヲ計上致シテ居ル大第デゴザイマス、賞與計上ニ要スル經費ハ、從來賞與ハ豫算トシテ計上セラレテ居ナカッタノデアリマスガ、昭和十五年度ヨリ各省齊一ニ本俸豫算ノ一割程度ヲ積算スルコトトナリ、之ガ財源トシテ既定豫算中ヨリ同額ヲ節減スルコトト致シテ居リマス、共濟組合給與金、米麥相場ノ變動ニ基ク一經費、爲替相場ノ變動ニ基ク一經費、毎年度限リトシテ要求シテ居ル事項デアリマシテ、本年度モ同様デゴザイマス、海軍工廠資金繰入ニ要スル經費ハ、第七十四回帝國議會ニ於テ、資金法定額ヲ五千圓トシ、

資金額ヲ四千圓トスルコトニ御協賛ヲ得タノデアリマスガ、最近ノ海軍工作廳事業量ノ増加ニ伴ヒ、尙ホ資金ノ不足ヲ痛感致シマスノデ、更ニ五百万圓ノ資金増額ヲ要求シテ大第デゴザイマス、次ニ減少ノ主ナルモノハ、節約ニ依ル經費ノ減少、及ビ要求ニ依ル經費ノ減少デアリマス、節約ニ依ル經費ノ減少ハ、現下財政、經濟ノ實情ニ鑑ミマシテ、國防上支障ナキ限り既定經費ノ節減、繰延ヲ行フ金額デアリマシテ、要求ニ依ル經費ノ減少ハ、出征艦船除等ノ經費ガ、臨時軍事費支辨トナル結果、一般會計既定豫算ノ不要トナル分等デゴザイマス

以上ヲ以テ海軍省所管昭和十五年豫算ノ概要ヲ御説明申上ゲマシタ外ニ海軍工廠資金、海軍火藥廠及ビ海軍燃料廠ノ特別會計ガゴザイマスガ、特ニ申上ゲルコトモゴザイマセス、尙ホ海軍臨時軍事費豫算追加ニ關シマシテハ、曩ニ御説明申上ゲマシタノデ省略致シマス、尙卒御審議ノ上、御協賛アラントコトヲ希望致シマス  
此ノ際事務變動以來職金品ヲ通過シ、國民一般ヨリ海軍ニ寄セラレマシタ其ノ溢ル熱誠ニ對シマシテ、議會ヲ通過シ國民ニ感謝ノ意ヲ表シタト存ジマス  
今其ノ現狀ヲ簡單ニ申上ゲマシレバ本年二月十一日現在ニ於ケル受理額ハ、國防費約二千七百三十三萬圓、他兵品約一千五百萬圓、學藝技術獎勵金約百二十七萬圓、合計約三千九百五十五萬圓、他兵品約三百三十萬圓、其ノ價格約三百五十七萬圓ノ巨額ニ及ンデ居リマス、其ノ用途ハ極力節約者ノ意思ニ副フ如ク慎重考究ノ上決定シツツアル所デアリマシテ、現在マデニ國防費

分析シテ見マスルト、大體ノ標準ガ概相ノ首ハレタ當時ノ物價ヲ採ツタノデアリマセウケレドモ、省ニ依ツテ、又部局々々ニ依ツテ、省ノ中デモ米ノ如キハ一寸算用シテ見マスルト、最近ノ價值ヲ參照シテアルヤウニ思フノデスガ、三十八回ト記憶シテ居リマスガ、此ノ海軍ニ要スル物資、各部門部門ニ依ツテ何月ノ單價ヲ標準トシテ御採リニナツタカ、此ノ點ヲ一ツ...

○吉田國務大臣 御尋ノ通り物價ノ問題ハ、大體政府ノ方針ニ從ツテヤツテ居リマスノデ、米トカ、或ハ外國カラ買フヤウナ物ニ付テハ、最近ノ價值ニ換算シテゴザイマス、其ノ他ノ物品ニ付キマシテハ全然政府ノ方針ニ從ツテヤツテ居ルデアリマスカラ、今後益々物價ガ騰貴スルヤウナコトニデモナリマスレバ、豫算ノ實行ニ付テハ相當ノ困難ヲ伴フコトハ覺悟シナケレバナラヌト思ヒマス、之ニ付テハ何時モ申上ゲルヤウニ、工場ノ原價計算ヲ非常ニヤカマシク言フトカ、或ハ最近又特ニ監査官ヲ多數出シマシテ、價值ヲ緊メルヤウニ督促スルコトカ云フ風ナ、從來ヤツタ程度ヲ更ニ強化致シマシテ、物價ヲ下ゲルヤウニシタイト思ヒマスケレドモ、斯ウ云フ情勢ニナリマスト、從來ニ比シテ相當困難ガ加ハルノデハナイカト云フコトヲ心配致シテ居リマス、併シ目下豫想シテ居リマス海軍ノ重要物資ハ、大體今ノ所十分ノ豫定デゴザイマシテ、單價モ上ツテ居リマセズ、割合ニ困ラス積リデアリマスガ、何レニシマシテモ豫算ガ増シマスレバ、重要デアルヤウヤニ拘ラズ、物資ガ増シマスノデ、ソレ等ニ對シテ代用品ヲ更ニ餘計使フトカ、色々研究ヲ進メテ居リマス、斯ウ云フ場合斯ウ

金ヲ以テ作成致シマシタモノハ、飛行機三百五十二機ヲ主タルモノトシ、各種兵器三千數百點ニ上ツテ居リマス、又他兵品ハ慰問袋等ノ他兵品ノ購入、死者等ニ對スル弔慰金等ニ使用シ、學藝技術獎勵金ハ艦船、航空機其ノ他諸軍用器材ニ關スル研究資金ニ充テテ居リマス  
右ニ申述マシタ職金品中、特ニ心ヲ打タレマスモノハ、少年少女ガ小遣費ヲ節シ、婦人ガ衣食費ヲ削減、廢品ヲ回收シ、裝飾品ヲ賣却シ、或ハ交際費、冠婚葬祭其ノ他諸會合費ヲ節約シタ如キモノガ非常ニ多イコトデアリマシテ、又學生生徒、婦人會員、町會員、工場従業員等ノ多人數ノ協力一致ニ依ルモノガ多イコトモ、洵ニ心強イ限リデアリマス、之ニ對シマシテ前線將兵ヲ初メ一同深ク感謝致シテ居ル大第デアリマス  
○末松至奎 是ヨリ質疑ニ移リマス——中島彌次君

○中島委員 海軍ノ軍需品ニ付キマシテ御伺ヒシマスガ、臨時軍事費ノ中ニモ相當軍需品ヲ製造スルモノモアリマスシ、又殊ニ第四次補充計畫ト申シマスガ、昨年通過致シマシタ海軍ノ艦艇製造費ガアルノデアリマスガ、是等ヲ通觀シテ見マスト、非常ニ物ヲ要スルノデアリマシテ、海軍ノ方ハ豫算ニモ現ハレテ居リマスヤウニ、艦艇製造費、水陸整備費、航空隊設備費、艦船改裝費、其ノ他ノモノヲ合計致シマスト、非常ニ大キナ金額ニ上ルノデアリマスシテ、十四年度ニ於テ全額現ハサレタノデアリマスガ、私共ガ計算シテ見マスト、艦艇製造費デ繼續費ニナツテ行クノト、水陸整備費デ繼續費ニナツテ行クノト、航空隊整備費デ繼續費ニナツテ行クノト、軍需品ノ整備費デ繼續

スナラバ、十三年ノ軍需品ノ單價ト、ドレダケノ程度ニ於テ切下フナサツタノデアリマセウカ、サウシテ之ニ依ツテ大體節約シタ所ノ金額ハ、ドレ位ニ上ルコトニナツテ居ルノデアリマセウカ、即チ換算スレバ單價切下ノ實績ニ付キマシテ、ドレダケ海軍豫算ト致シマシテ成果ヲ擧ゲラレテ居ルノデアリマセウカ、此ノ點ヲ御説明シテ戴キタイノデアリマス

○吉田國務大臣 經理局長カラ御答致サセマス  
○武井政府委員 昨年ノ分科會ニ於キマシテモ、單價切下ニ關スル警告的ノ御質問ガアリマシテ——勿論御質問ガナクとも豫算ノ實行上、又一般物價政策ト云フヤウナ上カラ見マシテモ、切下ニ努力シナケレバナラヌノデアリマスルガ——先程海軍大臣カラモ申サレマシタヤウニ今日マデ單價ノ切下ノ爲ニハ、有ユル努力ヲ拂ヒ來ツテ居ルノデアリマス、目標ハ出來ルコトナラバ、事變前ノ單價マデ引下ゲルコト云フ所ニ置キマシテ、各地ニ在リマスル契約主任官等ニモ其ノ旨ヲ含メテ、差當リトシテハ戰前マデ持ツテ行クコト云フコトガ難シイナラバ、十二年ノ十二月一ツノ基準ト致シマシテ、以下ニ於テ事變前ノ所マデ持ツテ行クコト云フコトニ致シマシテ、ドウシテモソレガ不可能ナ場合ニハ、其ノ都度認可ヲ要スト云フ程度マデニ致シテ參ツタノデアリマス、ソレカラ又關係會社等ニ對シマシテモ、幹部級ヲ集メマシテ、今日海軍ノ豫算ノ實行ノ上カラ、單價切下ノ已ムヲ得ナイ事情ヲ力説致シマシテ、彼等ノ協力ヲ求メ——唯併シナカラ會社方面ダケヲ壓迫スルト云フ

意味ハ毛頭ナイノデアリマシテ、海軍自身トシマシテモ、出來ルダケ單價切下ガヤサシク行ハレルヤウニ、材料等ノ手ニ入り難イモノハ略旋ヲシテヤル、或ハ融通シテ差支ヘナイモノハ、官給ヲシテヤル、資金ノ不足ノ場合ニハ前金拂、概算拂ヲシテヤル、其ノ他規格等ヲ下ゲル等有ユル點ヲ便宜ヲ圖リ、兩方一緒ニナツテ單價切下ニ努力シテ今日ニ及ンデ居ルノデアリマスガ、其ノ實績ト致シマシテハ、金額デ何千萬圓減ツタカト云フコトハ、簡單ニ申上ゲ難イノデアリマスガ、今手許ニ集ツテ居リマスル報告カラ、十四年度ノ上半期ヲ十三年度ニ比ベタ比率ガ出來テ居リマスカラ、大體ノ輪廓ハ是デ御分リト思ヒマスノデ申上ゲマシマスガ、値下ニナリマシタモノガ契約件數デ三三%、金額デ五〇%ニナツテ居リマス、據置ノモノガ件數デ六一%、金額デ四四%値上リニナリマシタモノガ件數デ七%、金額デ六%、總平均ヲ致シマシテ、六分内外程度下ツテ居ルト見テ居リマス、多少ノ相違ガアルカモ知レマセスガ、値上リニナリマシタモノハ大部分農産品、ソレカラ動力ガ主體トナツテ居ル品物デアリマス、尙ホ只今段々切下ガ困難ニナツテ來テ居ルノデハナイカト云フ説モゴザイマシタガ、幾分チウ云フ傾向ハ見マス、話合ガ困難ニナツテ參リマシテ、上半期程度ノ切下ヲ、下半期ニモ維持シ得ルヤウニ、今各地ノ購買主任官ハ必死ノ努力ヲ續ケテ居リマスケレドモ、餘程困難ニナツテ居ルコト云フ報告ガ參

ワテ居リマス、困難デアルト云フ問ハズ、今後モ同様ナ方針デ、同様ノ努力ヲ續ケテ行ク、大臣モ申サレマシタヤウニ、最近ニ監査官ト云フ制度モ新ニ設ケラレマシテ、



各工場原價計算ノ監査ヲスル者ヲ配置シ  
マシテ、工場ノ内部ニマテ立入ツテ調ベ  
テ、單價ノ引下、或ハ契約ノ合理化ト申シ  
マスカ、サウ云フ方面ニ努力ヲ續ケテ行ク  
コトニナツテ居リマス

○中島委員 大體ニ於キマシテヨクオヤリ  
ニナラレトコトニ付キマシテハ、洵ニ敬意  
ヲ表スルノデアリマスカ、實際ノ工場ノ狀  
態ヲ觀察シテ見マスカ、不合格品ガ非常  
ニ多ク、陸軍ノ會社デアアルカ、海軍ノ會  
社デアアルカ分リマセスケレドモ、又申上  
ルコトハ出來マセスカ、私共北九州カラズ  
ツト大阪方面、及ビ關東ニ互リマシテ視察  
シタ結果ヲ申上ゲマスカ、不合格品ガ非  
常ニ多クナツテ居ル、サウシテ私共ノ見  
マシテハ、平均五割位ハ不合格品チ  
ヤナイカト思フ、甚シイ所ハ八割モ不  
合格品ガアル、而シテ尙且ツ其ノ會社ガ一割以  
上ノ配當ヲナツテ居ルト云フコトカラ考  
ヘマシタナラバ、二割カ三割ノモノサヘ合格  
スレバ、ソレデ一割以上ノ配當ガ續ケテ行  
カレトスルナラバ、餘程單價ガ高ク見積  
ラレテ居ルノチヤナイカト思ヒマスカ、其ノ  
下請會社ヲ見マスカ、其ノ下請會社ガ三  
回ニ互ツテ、其ノ親會社ニ對シテ納メル品  
物ガ、マルキリ不合格ニナツテ居ル、四回  
目ニ合格スレバ五割配當ヲシテ居ル小サ  
イ下請會社ガアリマスカ、是ハ澤山ナ會社  
ニ就イテ調ベタモノデアリマセスカ、  
全部ノ會社ガサウデアアルト云フコトハ私ハ  
斷言出來マセスカ、一部ノ會社カモ知レ  
マセスカ、斯ウ云フ點カラ下カラ觀察シ  
テ見マスカ、相當ニハ高イ單價ガ此ノ間  
ニ織込マレテ、一番下請カラ其ノ次ノ又下  
請其ノ次ノ親會社、ソレカラ工廠ト云フ

○武井政府委員 今ノ御質問ノ不合格品ノ  
問題デアリマスカ、海軍ト直接契約ヲ致シ  
テ居リマスカ、程度ノ工場ノ製品ニハ、不  
合格品ガ激増シタト云フ事實ハアリマセ  
スカ、固ヨリ海軍ト直接契約ヲ致シマスカ  
社ト致シマシテモ、非常ニ註文量ハ積  
シテ、今マデヨリハ材料ノ選ビ方、熟練工  
ノ使ヒ方ト云フ點ニ於テモ思フヤウニ行カ  
ナイデ、多少ハ不合格品ガ積エテ居ルト云  
フ報告ニ接シテ居リマスカ、是ハ極メテ輕  
微ナ事實デアリマシテ、今中島委員ノ御指  
摘ニナツタヤウナ、五割ト云フヤウナ事實  
ハレテ居リマスカ、ソレカラ配當ガ多イ、隨  
單價ガ高イデハナイカト云フ御質問ニ對シ

マシテハ、海軍デモ始終サウ云フ點ニハ注  
意ヲ拂ヒマシテ取調ベテ居リマスカ、最  
近ニ調ベマシタ十三年度ノ實績ニ依リマ  
スカ、海軍カラ注文スル品物ガ、其ノ會社  
ノ製品ノ一割以上ヲ占ムルモノ一三分、  
五分ト云フノハ止マシテ、一割以上ヲ占  
ムルモノダケノ會社ノ數ハ、今一十記憶ニ  
アリマセスカ、約五十社以上、其ノ配當ノ  
平均ガ七分見當、是ハ此ノ二三年ニ約一分  
位上ツタト云フノデアリマシテ、二三年前  
ニハ六分位、現在ハ七分何厘カノ平均ニナ  
ツテ居リマスカ、隨ヒマシテ海軍ト直接契約  
ヲ致シテ居リマスカ、於テハ、今御話  
ニナリマシタヤウナ高率ノ配當ヲシテ居ル  
會社ハ殆ドアリマセスカ、其ノ點カラ單價ガ  
不當ニ高イデハナイカト云フ御疑念ハ、御  
解消ヲ願ヒタイト思フノデアリマスカ、但  
シハ直接ニ契約ヲシテ居ル會社ダケデアリ  
マシテ、其ノ會社ニ材料、原料ヲ供給スル  
會社、又ハ製品ノ下請ヲシテ居ル會社マデ  
ハ及ビマセスカ、其ノ邊ニハ多少御指摘  
ニナツタヤウナ事實ガアルカモ分リマセ  
ガ、ソコマデハ今日マデノ所分ツテ居ラ  
ナイデアリマスカ、今度監査官ノ制度ヲ設  
ケマシテ、今マデハ單ニ契約ヲシテ居ル會社  
ケノ原價ノ計算ガ出來マシタノヲ、ソレ以  
上ニ材料、原料ヲ供給スル會社並ニ下請  
スル會社ニモ、原價ノ計算ガ出來ルヤウニ  
勅令ニ於テ權限ヲ與ヘラレマシタノモ、ソ  
レ等ノ點ヲ考ヘテ結果デアリマスカ、隨ヒ  
シテ今ノ所分ハ下請方面、原料、材料方面  
ノ會社ガ、下云フ利益ヲ得テ居ルカ、ド  
ウ云フ配當ヲシテ居ルカト云フ所マデハ調  
ベテアリマセスカ、ハツキリシテ御返事  
ハ出來マセスカ

ツテ居ル所ガアル、是デヤツテ居ル下請會  
社ガ、東京方面ニハ大分アリマスカ、其ノ單  
價ヲ切下ゲルニハ、指導監督ノ上ニ於テ根  
本ニ、所謂下請會社ニ至ルマデ、頭カラ爪  
ノ先キマデ、末梢神經マデノ御監督ヲナサイ  
マセスト、上ヘ現レテ來マシテ、直接海軍  
ノ軍需品ヲ納メル會社ダケノコトヲ御考  
ナツテ居リマシテモ、下ガサウ云フコトヲ  
ヤツテ居ルト、自然ト上ノ會社ハ苦シクナ  
ツテ參リマスカ、海軍トノ板挟ミトナツテ  
參リマシテ、無理ナ經營ヲヤラサレルヤウ  
ナコトニナツテ來ルシ、又サウデナカツタ  
ナラバ、單價ヲ色々ナ點カラ胡椒化シテ掛  
カルト云フヤウニナツテ來マスカ、稅法  
トモ色々ナ關係ヲ持ツテ參リマスカ、金  
利ノ方面ニ付キマシテ驚クベキ高利ヲ拂ツ  
テ居ツテ、漸ク生産ノ間ニ合ハシテ居ル、日  
歩三十錢ト云フ高利ヲ拂ツテ下請ヲシテ、  
尙ホ三割、四割ノ配當ヲヤツテ居ル、斯ウ  
ナツテ參リマスカ、今經理局長ハ、海軍關  
係ノ會社ガ五十アツテ、七分見當ノ配當ヲ  
ヤツテ居ル、一割以上占メテ居ル會社ハ極  
メテ少イト云ハレマスカ、ズツト下ノ方マ  
デ見マスカ、今言ツタヤウナ現象カラ、相  
當ニ是ガ單價ノ中ニ喰込シテ來テ居ルヤウ  
デアリマスカ、ソレカラ金利ノ高イ方面モ、海  
軍アタリカラ力ヲ入レテヤリマシテ、上ノ  
親會社カラ子會社ヘ安イ金ヲ貸シテヤル、  
興業銀行アタリ當テニシテ居ツテモ間ニ合  
ハス、官僚式ナヤリ方デ、三月、四月掛カ  
ラナケレバ二十萬、三十萬ト云フ金ヲ貸シ  
テ與レナイ、斯ウ云フ現象ガアル、尤モ初  
メ一年デ貸シテ與レルノガ三月、四月デ漸  
ク貸スヤウニナリマシタ、モウ一ツハ材料  
原料品ノ間取引ヲ退治シナケレバナラヌ、

物ノ方面カラ見レバ間取引デ相當高イ物ヲ  
買ツテ居ルヤウデアリマスカ、ソレカラ一  
ハ非常ニ間取引デ、物價ノ公道價格カラ比  
ベマシテモ、五割乃至十割位ノ間取引ヲヤ  
ツテ居ル、物ノ方面カラ見ル單價ノ上ル原  
因ハソコニアル、ソレカラモウ一ツハ労働者  
ヲ引抜イテ、非常ニ高イ賃銀ヲ軍需工業ノ  
方デ付シ、引抜クノデ、平和工業ハソレ  
デ參ツテシマツテ居ル、ソレハ重役ガ金ヲ  
持ツテ行ツテ千圓二千圓ヤツテダシ、引  
抜イテ來テ、地方工場ヨリハ非常ニ高イ  
「エキスパート」所謂熟練工ヲ雇フテ居リ  
マスカ、ソレデ努力、物、金利、此ノ三ツカ  
ラ下請會社ヲ私ハ觀察シテ見マスカ、  
大體ニ無理ナ經營ヲシテ居ツテ、尙且ツ少  
クトモ一割五分カラ、多イノニナルト、三  
四割マデ儲ケテ居ル、斯ウ云フ現象ヲ私見  
マシテ、上ノ方ノ親會社ハ今言ツタヤウナ  
工合ニ配當ガ一割トカ、或ハ七分トカ云フ  
コトニナツテ居ル、ドウモ私共此ノ間ニ何  
カカラ線リガヤラレテ居ルノデハナイカ、  
斯ウ云フ點ヲ解釋ニ苦シムノデアリマスカ、  
サウ云フ點ニ付テ御研究サレテ居ルノデア  
リマセウカ、其ノ下請會社ノ物ノ購入ノ點、  
金利ノ點、努力ノ點、物ノ間取引ノ點、  
金利ノ一種ノ間取引デス、是ハ所謂興業銀  
行ナリ、日本銀行ナリ、大藏省ナリノ方針ニ  
從ハナイ金利ノ高イ金ヲ借リテ居ル、三ツト  
モ間取引ニ依ツテ一番下ノ下請會社ノ製品  
ガ出來ルノニ、一番上ノ方ガ平均七分配當  
位デハ、甚ニ私共御切レナイ解釋ガ出來ナ  
イモノガアルト思ヒマスカ、サウ云フ點ニ付  
テノ御研究、或ハ御監督サレテ居ル點ニ付  
テノ御意見ハ、ドウデアリマセウカ

○武井政府委員 下請ノ關係ハ非常ニ厄介  
デアリマシテ、今新シク御批評ヲ受ケタヤ  
ウナ點モ實ハアルノデハナイカト考ヘマシ  
テ、將來監督致シマスカ、參考ニナルノ  
デアリマスカ、其ノ點ハ御覽ヲ申上ゲテ置キ  
マスカ、御指摘ニナリマシタ中デ、金利ノ點  
ハ會計法其ノ他ノ規定ニ依ツテ、前金拂ナ  
リ概算拂ナリノ出來マスカ、海軍ト契  
約ヲ致シマスカ親會社ニ、前金拂ノ中若干  
割イテ、下請會社ニモ廻サヤウニト嚴重ニ  
申スノデアリマスカ、ソレガ事實下請會社  
ニ行クカドウカ、行キマスカ、今ノヤウナ  
高利ノ金ヲ借リルト云フコトハ、サウ頻繁  
ニ起ラナイ點ト思フノデアリマスカ、或ハ  
コチラナイ點ト思フノデアリマスカ、或ハ  
デ居ナイカモ知レマセスカ、併シ其ノ點ハ勵  
行シタイト思ヒマスカ

ソレカラ物ノ關係ハ、先程一寸申上ゲマ  
シタヤウニ、原料材料ノ手ニ入りニキイ場  
合ニハ、商工省等ト話合ヒテ付ケマシテ、  
海軍ガ將校ヲシテヤル、海軍デ一時應通シ  
テ良イ物ヲ持ツテ居ル場合ニハ、官給ノ形  
デ之ヲ分ケテヤルト云フコトヲ申シマシ  
ガ、是ハ直接契約ヲスル會社ダケニ止マリ  
マシテ、ソレカラ下マデハ、契約ノ上デハ  
行キ兼ねルノデアリマスカ、唯其ノ際モ親會  
社ニ對シマシテハ、下請ニ出ス場合ニ原料材  
料ヲ、出來ルダケ分ケテヤルヤウニト云フ  
コトハ申スノデアリマスカ、是亦前金拂ト  
同ジヤウニ徹底致シテ居リマスカドウカ、  
ソコマデハ今ノ所シツカリシタコトハ申上  
ガレマセスカ

○中島委員 今ノ努力、物及ビ金利ノ三點  
ニ付キマシテハ、十分ニ御調査サレマシテ、  
軍需品ノ單價ノ切下ノ徹底サレルヤウニ、  
私ハ希望致シマスカ、是ハ非常ニ重大問題  
デアリマシテ、平和産業ニモ其ノ單價ナリ收



入ナリガ—労働者ニ取ツテハ收入ガ單價ノ構成分子、物ニ取ツテハ物價デアリ、金ニ取ツテハ金利デアリマシマス、是ガ標準ニナツテ行ツテ居リマシテ、軍需工業ト云フモノガ、他ノ産業ニ對シテ一ツノ範ヲ示スト云フコトニナリマシマス、例ハ關東地方ニ於テ或ル飛行機會社ガ或ル所ニ出來、理研ノ或ル會社ガ出來レバ、其ノ附近ノ平和産業ト云フモノハ労働者ノ收入、勞銀、必要ナル物、ソレカラ金利等ガ、ズツト皆ソレニ影響サレテ來ル、是非非常ニ重大デアリマシテ、軍需品ノ方ガ急イデ早ク作ラナケレバナラスト云フ關係カラ、多少ノ無理モアリマセウ、戰時中デアルカラ、ソレハ已ムヲ得マセウ、ソレハ答メマセウ、併シテガ其ノ影響スル所ハ實ニ大キイモノガアリマシマス、其ノ點ハ能ク監督サシテ戴キタイ

ニナルニ從ツテ今申シマシタ不合格品ガ多イ、ソレカラ責任ヲ持タヌ、ソレカラ其ノ工場ト云フモノガ頻繁ニ賣買サレテ居ル、其ノ下請會社ノ株主東主ニ上場サレテ株主デアリマセウ、大體ニ於テ非上場株ニナツテ居リマシマス、其ノ株主ガ二、三間位シテ居ワタモノガ、最近ハ四、五間カラ二、七、八間モシテ居ル、是ガ殆ブトシテ農村ノ中ニ入ツテ參ツテ居リマシマス、農村ノ養蠶ノ米ノ收穫ニ依ツテ得タ金デ、所謂農村、インフレトナリ、惡「ブローカー」ガ附イテ居ツテ株式ヲ持タサレル、其ノ工場ハ一旦反動期ニナレババタ／＼倒レル工場デス、斯ウ云フ變フベキ現象ガ、現在ノ農村ニ起ツテ居リマシマス、是ハ畢竟スルニドウ云フ點ガ根本ニナツテ居ルカト申シマシマス、陸海軍ニ直屬シテ居ルヤウナ親會社デアリマシマス、其ノ株主ハ大體東主ニ上場サレテ、一定ノ値段ノ基礎ガ出來テ居ル、ソレデモ株式ノ上り下りハアリマシケレドモ、子會社ノ株主ト云フモノハ株主ノ上り下りガヒドイ、上場サレテ居ナイダケニ五、六間ノモノガ十、二十間ノモノガ二百間ニナルコトハ容易デハナイ、五、六間下ツテ十、二十間上ツテ十、二十間ノモノ、一方ノモノハ五、六間ノモノガ十、二十間ノモノ、其ノシノハ十、二十間ノモノガ三十、四十間ノモノ上ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ下請會社ノ株主騰落狀況デアリマシマス、ソレニ對シテハ其ノ根本ニ於キマシテ、基礎ノ大キナ會社ニ對シテ生産擴充ヲヤツテ行ク、サウ云フ重點主義ヲ執ツテヤツテ行ク方ガ宜シイノデアリマシマス、私共ノ考ヘトシテハ斯ウ無方針ニヤツテハイカスト思フ、下請會社

社ハ殆ド是ハ大藏省ノ資金統制ニ依ツテ、漸クヤツテ居ルダケデアリマシテ、會社其ノモノヲ許可制度ニスルト云フヤウナ方法ハ、執ツテ居ナイノデアリマシマス、ソコデ生産擴充ニ付テ、工作機械ノ話ヲ聞キマシマス、昨年ニ於キマシテ約二億圓ニ近イ程ノ「スクラップ」ガ出來タ、不合格品出來タ、ソレハ何故カト云フト、ソレヲ皆下請會社ニ「スキルド・レーバー」モ居ラナイ、資金モ乏シイ、ソレガ請負ツテヤツタカラ、工作機械ガ二億圓ノ「スクラップ」ニナツタト云フコトヲ、産業界ノ人ガ言ツテ居リマシタガ、是ハヤハリ軍需工業ト云フモノヲ大工場重點主義ニヤツテ行クカ、或ハ所謂下請會社ニマデズツト鐵ニ掘下ゲテ、澤山ナ會社デバラ／＼ニヤツテ行クカト云フ點ニ付キマシマス、一定ノ方針ガ根本カラ立ツテ居ナイカラデアルト思ヒマシマス、此ノ方針ヲ確立サレテ、大工場重點主義デヤラナケレバ國民經濟上ニ非常ナ、ウエスト、ガ出來テ行キ、不合格品ガ出來テ行キ、サウシテ無益ナ努力ト不當ナ金利ニ依ツテ製造サレテ行クコトガ、横カラ吾々ニ觀察サレルノデアリマシマス、是ハ重大問題デアリマシマス、唯陸海軍ニ限ラズ内閣ノ方針トシテモ、大問題デアラウト考ヘマシマス、今日ノ如ク急激ニ三十二年、十四年ニ互リマシテ、非常ナ膨脹ヲシテ居ル生産、殊ニ軍需生産ノ擴充デアリマシカス、是ハ無理モナイ、ソレヲ替メルノデハアリマセウケレドモ、モウ今日カラ先ハ之ヲ平常化シ、縮括リ付ケナケレバ、カス時デアルト私共ハ考ヘマシマス、事變其ノモノモ大體汪兆銘ノ中央政權ガ出來テ、縮括リ付ケル方面ニ向ツテ居ルコトハ、昨

日ノ總理大臣ノ御話カラ言ツテモサウデアル、是カラ考ヘルト、軍需生産ニ付キマシテ、是ガ民間生産ノ非常ナ模範トナリ中心トナリ、之ヲ縮括リ付ケタウナ生産方針ニマデ導イテ行クコト云フコトガ、軍ノ御方針デナケレバナラスト私ハ考ヘマシマス、其ノ點ニ付テ是カラ先ドウ云フヤウニ軍ノ方針ヲ執ツテ行カレルノデアリマセウカ、一應承ツテ置キマシタナラバ、今後生産擴充ノ上ニ於キマシテハ、軍ガ中心ナノデアリマシカス、洵ニ結構デアルト思ヒマシマス

○武井政府委員 只今ノ點、生産擴充ノ全般の方針ニ付キマシテハ、大藏省ナリ、商工省ナリソレ／＼ノ主管省ガアラウト思ヒマシマス、海軍ニ關係スル限リデハ、只今仰セノ根本方針ガ確立シテ居ラスデハナイカト云フ御言葉ニ對シマシテハ、吾々ハ相當程度マデ確立シテ居ル、斯ウ御答シナケレバナラスト思フノデアリマシマス、内容ヲ詳シク申上ゲルコトハ差控ヘマシケレドモ、例ハ航空機ナラ航空機ニ致シマシマス、ココ數年間ノ海軍ノ計畫ニ依リマシテ、ドウ云フ機種ノモノハ中島ヘヤラセル、ドウ云フ機種ノモノハ三菱ヘヤラセルト云フコトヲ考ヘマシテ、ソレ／＼生産擴充能力ノ擴張スベキ限度ヲ示シマシテ、ソレニ依ツテスレ／＼會社ガ著々擴充ノ計畫ヲ進メテ居ル、ソレハ其ノ他ノ艦艇兵器ニ致シマシテモ、同様ノ關係ニアリマシマス、唯問題ハ海軍モ需要同時ニ民間モ需要スルト云フモノニナルコト、海軍ガケノ思フ通りニハ參リマセウ、只今舉ゲラレマシタ工作機械ノ如キモノハ、海軍ノ需要ハホン／＼一部分デアリマシテ、大部分ハ陸軍其ノ他ノ官省及民間ノ需要ニナツテ居リマシマス、海軍ガケノ考デ、茲

ニドウスト云フコトヲ決メテハ參ラヌノデアリマシマス、海軍ガケノ關係ノモノハ、今飛行機ノ例デ申上ゲマシタヤウニ、ココ數年間ノ需要ヲ考ヘテ、ソレニ基イテ各自ノ計畫ヲ確立シテ居リマシマス、隨ヒマシテ會社側ガソレニ基イテ計畫ヲ立テテ、資材ノ要求ガアリマシマス、ソレヲ嚴重ニ査定シテ商工省ニ廻ス、資金ノ要求ガアリマシマス、是亦嚴重ニ査定ヲ加ヘマシテ、大藏省並ニ日本銀行ニ廻ス、サウ云フ手續ヲ執リ、委員會ニモ海軍ノ代表ノ者ガ出テ相談ニ與ツテ居リマシマス、今日マデハサウ云フ狀況デ、今後モ御心配ニナルヤウナ設備上ノ無駄ハ、先ヅ大體避ケテ行キ得ルモノデハナイカト考ヘテ居リマシマス、勿論將來モ其ノ方針デ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマシマス、ソレダケ申上ゲテ置キマシマス

○末松主査 中島君ニ申上ゲマシマス、モウ時間ガ來マシタカラ極々簡單ニ願ヒマシマス、二十分ゾツト云フ御話デアツタノガ、一時間ニナリマシタ

○中島委員 簡單ニヤリマシマス—今局長ノ仰シヤラレマシタ海軍自體ノ直接需要シテ居ル工場ニ付テハ、方針ガ確立サレテ居ルト云フコトハ、洵ニ結構ナコトデアリマシテ、私共モ承知シテ居リマシマス、一ツノ工場ニ付テ海軍ト陸軍トソレカラ民間ノ需要、其ノ民間モヤハリ軍需方面ノモノヲヤツテ居ルト云フ場合、此ノ三ツノモノガ重ナツテ居ル所ハ、ヤハリ巧ク行ツテ居ナイヤウデアリマシマス、此ノ點ニ付キマシテ、能ク陸軍ト海軍ト民間ノ方トモ打合ハサレマシテ、一定ノ方針ニ歩調ヲ揃ヘテ行カレルヤウナコトニナラント希望致シマシマス、私ノ質

問ハマダアリマシケレドモ、時間ノ關係デ是デ打切りマシマス

○末松主査 篠原君

○篠原委員 私ハ大體前ノ議會ト思ヒマシタガ、海軍大臣ニ對シテ航空部隊ノ獨立ノコトヲ御尋シタノデアリマシマス、所謂空軍ヲ拵ヘル方ガ善イカ悪イカト云フコトハ、御議論ガアルデアリマセウガ、現在ノ車變ノ狀況カラ見マシマス、大陸ニ攻撃ヲ加ヘルト云フコトガ海軍ノ職能デアルカ、陸軍ノ職能デアルカ、ドチラガヤルコトモ無論蓋支ナイコトデアリマセウガ、其ノ間ニ一トト進歩ガナイデアリマセウカ、更ニ又艦隊ノ移動力、其ノ外連力ノ關係等ヲ考ヘテ見マシタ場合ニハ、假ニ大キナ海ヲ渡ツテ一方ノ攻撃力ガ來ル、之ニ對シテ艦隊ノ行動ヨリモ先ズ速力ノ多イモノニアリマセウト思ヒマシマス、此ノ點ハ主トシテ海軍ニ重クナルコトト存ジマシマス、尙ホ其ノ彼此レヲ御考ヘナツテ、艦隊ノ行動ニ伴フ空軍部隊、或ハ陸上部隊ノ行動ニ伴フ空軍部隊、其ノ以外ニ更ニ眞ノ空軍部隊ト云フモノヲ拵ヘル方ガ、經費其ノ他ハ別トシテ、大キナ進歩ヲスルモノデハナカラウカ、故ニ以下大體ノ經費ノ概要ニ付テモ、其ノ點ニ觸レテ是カラ先少シ御尋ヲ致シ見タイト思フノデアリマシマス、デアリマシカシテ、最初ニ尙ホ海軍、陸軍、各空軍部隊ヲ獨有セラレル方ガ御考ノ趨勢デアリマセウカ、併セテ世界ノ大體ノ要領ト、特ニ歐洲ニ於テ假ニ英獨ガ戰ヲ、斯ウ云フ場合ハ決勝戰ガ何處ニアルカ、艦隊ノ行動ニアル場合モアリマセウシ、又經濟力ノ封鎖其ノ他ニ依リ力ニ依ツテ、決戦スル場合モアリマセウ、併シ空軍部隊ニ依ツテ決戦スル場合モ

アラウカト、素人的ニ考ヘラレルノデアリマシマス、此ノ點ハ軍口海軍、陸軍、或ハサウ云フ問題デナシニ、大體的ニ御考ヘナツタ大體ノ趨勢ヲ承ツテカラ、内容ノ質問ニ入りタイト思ヒマシマス

○吉田國務大臣 只今ノ御尋ハ空軍ヲ別個ニ編成シテ、空軍獨立ト云フヤウナ意味ニ拜承致シマシタガ、此ノ點ハヤハリ從來モ展々議會デモ御尋ガアツテ、前大臣カラ御答ヲシテ居リマシマス通りノ考ヘデアリマシテ、依然トシテ空軍ヲ獨立サセテ、海軍ト分離スルト云フコトハ、用兵上ノ見地カラ不可デアル、斯ウ云フ結論ヲ持ツテ居リマシマス、是ハ色々國情ニ依ツテ違フ點モアリマシケレドモ、大體今ノ各國トモサウ云フ空氣ニアルヤウデアリマシマス、陸軍ハ別デアリマシマス、海軍ノ作戰上カラ致シマシテ、海軍ハヤハリ海軍デ、海軍ノ中ニ自分ノ航空部隊ヲ持ツ、斯ウ云フコトデアリマシマス、英吉利アタリデモ元ハ分離シタコトガアリマシケレドモ、段々ト還元致シマシテ、今デハ實質デハヤハリ海軍ノ中ニ入レテ居リマシマス、コトヲ申上ゲルト、或ハ御分リニナルカト存ジマシマス、是ハ差控ヘテ置キマシマス、要スルニ結論ハ、入レナイ方ガ宜イト云フヨリモヤハリ中ニ入レナクテハナラスト云フ積極的ノ意味ガアルコトヲ申上ゲテ置キマシマス

○篠原委員 海軍ハ海軍、アロー／＼ト云フコトガ、私共ニハ範圍ガ能ク分ラナイノデアリマシマス、海軍ノ艦隊ノ行動ニ伴フ空軍部隊、言ヒ換ヘレバ海軍ト云フモノハ艦隊ヲ主トシ、ソレニ伴フ諸部隊ヲ持ツト云フコトハ、無論必要デアリマセウガ、海軍「アロー／＼」ノコトハ、私共ニハ明確ニ分リマ

セマシマス、艦隊ノ行動ニ伴フコトハ餘リ狭小ナルデハナイカト、海軍「アロー／＼」ノ空軍部隊ヲ持ツト云フコト、空軍ヲ有スト云フコトハ、一寸意義ガ違フヤウニ思ヒマシマス、陸軍ニ於テモ同様ニ、陸軍ノ陸上部隊ノ行動ニ伴フ空軍部隊ト云フモノト、サウデナシニ陸上部隊ノ行動ニ伴フモノト、獨立ニ行動スル空軍部隊ト云フモノト、陸軍ニモ離レテアルノデハナカラウカ、デアリマシカス、無論吾々ハ海軍カラ空軍部隊ヲ取ルト云フ考ハ毛頭持ツテ居リマシマス、又日本ノ海軍ノ趨勢カラ見テ、移動力ノ早イモノデサウ云フモノヲ假想スレバ、十分ニ大キナモノガアリ得テ、又我國モ之ニ對シテ行動スルダケノ場合、若クハ機會ト云フモノガ非常ニアルダラウト思ヒマシマス、サウ云フ場合ニ海軍「アロー／＼」ノ中ニ入ル空軍部隊ト云フモノト、ソレ以外ニモ空軍部隊ト云フモノガアリ得ルノデハナカラウカ、寧ろ想像上ノ問題、用兵上ノ問題ヨリシテモアリ得ルノデハナカラウカ、又財政上ノ問題トシテモ、サウ云フ空軍部隊ヲ拵ヘル方ガ、非常ニ大キナ財政的ノ負擔デアル、斯ウ云フ議論モアリマセウ、アロー／＼ト云フコトハ、ソレガ宜イトアラバ財政上ノ負擔ト云フモノハ、ソコニドウ云フ方法カデ考ヘテ行クコト云フコトハ、當然起リ得ル問題ダラウト思フ、財政ヲ受身ニシテ解決スルト云フコトデハ、是カラ先國防ハヤツテ行カレナイト思フ、財政ヲ指導的ニ總テノ問題ヲ解決スルト云フ考デ、財政ノ問題ヲヤツテ行ク、斯ウ云フ考デ出發シマシマス、サウ困難デアナイト私ハ思フ

○吉田國務大臣 空軍ヲ假ニ今獨立致シタトスル場合、或ハ然ラザル場合ニ、經費ノ



問題ト云フ話ガゴザイマシタガ、此ノ方面ハ別段私ノ方デハ、サウ大シタ變リハナイト思フ、要スルニ海軍ノ持つテ居ル飛行機ハ、海洋作戦上ニ必要ナルモノガ本體デアリマシテ、隨テ陸軍用ノ飛行機ト性能其ト他ニ於テ、ヤハリ若干ノ相違ヲ要スルコトハ當然デアリマスカラ、陸軍ハ陸軍用ノ飛行機ガ必要デアリシ、海軍ハ海軍用ノ飛行機ガ必要デアリ、之ヲ統合致シマシテモ、必要ナルモノハヤハリ必要ダト云フコトデアリマシテ、統一シテ結果特ニ經費ガ輕クナルト云フヤウナコトモ、別段ナイダラウト思フ、尙ホ艦隊ニ隨伴スルトカト云フ風ナ御話モアリマシタケレドモ、要スルニ海軍ノ航空隊ハ海軍作戦ニ必須ナ兵力ノ一部デアリマシテ、例ヘバ今日海軍作戦ニ潜水艦ガ要ルト云フノト同ジヤウナ意味ニ、ヤハリ航空機ヲ必要トスル、斯ウ云フ考ヘ方デアリマシ、サウ云フ海軍作戦ノ必要ト云フ意味デゴザイマスカラ、其ノ外ニハ考ヘテハ居ラスノデアリマシ、ソレヲ若干利用スル場合モアリマシケレドモ、本體ハソコニアルト云フ風ニ御諒解願ヘルダラウト思ヒマシ

○篠原委員 其ノ點ハ海軍作戦ノ必要ノ限度ト仰ツシヤルナラバ、陸軍トノ問題ニナリマシケレドモ、其ノ點ハ又別ニ他ノ機會ニ讓ルコトニ致シマシ、隨ヒマシテ私ハ現在ノ大體ノ趨勢ヤラ、言換ヘラマシト空中ノ作戦行動ノ進歩ト、艦隊ヲ拵ヘラ、サウ云フ元素トノ變化ニ多少ノ影響ガアツテ、將來ドウ云フ風ニ變ツテ行クデアラウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマシ、私ノ申上ゲ方モ不明瞭デアリカモ知レマセヌガ、茲ニ私ガ豫想ヲ致シマシラナラバ、假リニ

海ノ大キイ、非常ナ距離ヲ持つテ居ル兩國ガ戰鬪行爲ニナルト云フ場合ニ、大艦隊ヲ動かスト云フコトハ、非常ニ億劫ダラウト思フ、其ノ時分ニハ、確ニ其ノ強イモノハ、ヤハリ空中部隊ガ最前ニ動タト云フ場合ヲ想像シ得ルノデハナカラウカ、是ガ爲ニハ艦隊ノ造成ニ、將來空中部隊ノ發達ガドウ云フ影響ヲ及ボシテ來ルモノデアラウカ、艦隊或ハ速度、兵器其ノ他ニ對シテ、ドウ云フ變化ガアルカガ、吾々國民ノ概念的ニ知リタイ所デアリマシ

○吉田國務大臣 航空機ガ出現シマシタ爲ニ、海軍ノ作戦上ニ色々影響ガアルコトハ事實デゴザイマシ、ソレアルガ爲ニ、今日マデノ海軍ノ各種ノ艦船ノ性能ニ特ニ變更ヲ要求スルト云フモノハ、例ヘバ細カイトコトニナリマシケレドモ、空中カラ爆彈ヲ投ゼラル場合ニハ、水平防禦ヲ用意シナケレバナラヌト云フコトモゴザイマシ、又今マデ色々洋中ニ於テ會戰スル場合ニ、早ク見付ケ得ナカッタモノヲ、飛行機デ早ク見付ケテ、敵艦ヲ知ルト云フコトハ當然ノコトデアリマシ、併シハ、彼我雙方ノヤリ方デアリマシカラ、作戦ノ大局カラ見マシト、別段海洋作戦ニ於テ、他ノ艦船部隊ニドウ云フ影響ヲ及ボシタカト云フコトハ、一寸申サレナイト云フ方ガ適當カト存ジマシ、ヤハリ今日デハ艦船兵器ノ進歩、飛行機ノ進歩、總テノモノガ進歩致シマシテ、其ノ進歩シタルモノガ全體トナツテ對抗スルト云フ風ニ、概念的ニハ御考ニナツテ差支ナイト思ヒマシ

○篠原委員 概念的ニハ並行シテ行クト云フコトデスネ

○吉田國務大臣 一部ノ兵力トナリマシテ、

一緒ニナツテ海軍兵力ニ入ツテ來タ、斯ウ見ルベキダト思ヒマシ

○篠原委員 吾々ノ方ハ先備計畫、其ノ外ノ年度計畫ト仰シヤイマシケドモ、内容ガ能ク分ツテ居ナイ、噸數モ分ラズ、大キサモ分ツテ居ナイシ、隻數モ分ツテ居ナイト云フ風デアリマシカラ、ドウ云フ工合ニ製艦ガ進んで行クノデアラウカ、サウ云フコトヲ示サレナイ譯デアリマシカラ、大體ヲ掴ンデ、御諒スル基準ガ分ラナイ譯デアリマシ、ソレデアリマシカラ一般素人流儀ニ、現在ノ艦艇製造費ガ大體四億五千萬圓、或ハ一方ニ艦艇整備費ヲ加ヘテ四億圓、艦艇整備費凡ソ一億五千萬圓、或ハ二億圓トマセヌガ、年一億圓、ソレカラ水陸整備費、是ハ兩方ニ共通ノモノデアリマセウガ、水陸整備費凡ソ一億五千萬圓、或ハ二億圓トシタ方宜イカモ知レマセヌガ、サウ云フ大キサヲ持つテ兩方ガ進んで行ク、斯ウ云フコトデアリマシカラ、大體自擔ハ臨時部ニハアルケレドモ、經常的ノ負擔ミタヤウナ形ニナツテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマシ、此ノ考カラ進んで行キマシト、臨時軍事費ニ入ツテ居ル經常費ハ、凡ソ幾ラデゴザイマシカ

○武井政府委員 臨時軍事費ガナクナリマシタハ、當然増トシテ經常部ニ入ツテ來ルノデス

○篠原委員 サウシマシト經常費ハ臨時軍事費支辨ノモノヲ加ヘルト、ザツト五億圓ニナリマシカ

○武井政府委員 サウ云フ風ニナリマシ

○篠原委員 臨時部ハザツト七億圓位ニナリマシ

○武井政府委員 サウ云フ風ニナリマシ

○篠原委員 ソレデアリマシカラザツト十億デ現在ノモノガ進んで居ル、斯ウ云フコトニナリマシ、此ノ際私共ノ知リタイコトハ財政的ノ將來ノ負擔ト云フコトデアリマシ、此ノ問題ハ幸ニシテ海軍ノ方ハ、一旦非常財政ニ移ツテモ、其ノ增加ハ割合ニ大キクナイ、此ノ點ハ私ハ財政的ニ言ヘバ、非常ニ結構ナコトデアナカラウカト思ツテ居リマシガ

○武井政府委員 一寸諒解サレルト困リマシカ、今ノ事變ハ海軍トシテハ御承知ノ通り全面戰デハゴザイマセヌカ、其ノ點ハ別引シテ御考ニナリマセヌト、イツノ場合デモ事變ニ於ケル海軍ノ經費ノ増ガ、此ノ程度デ済ムト御考ニナルト困リマシカ、其ノ點ハ誤解ノナイヤウニ願ヒマシ

○篠原委員 斯ウ云フ状態ニアリマシ場合ニ、私共ハ海軍ノ量ノ問題ト云フモノガ、頭ニ能ク入ラナイノデアリマシ、大體ニ於テ此ノ艦艇製造費ハ主力艦ノ建造状態ハ、代艦建造ニ對シテドウ云フ割増ガ加ハツテ居リマセウカ

○吉田國務大臣 是ハ此ノ前華盛頓、倫敦條約ノ廢棄通告ヲ致シマシト同時ニ、帝國海軍ハ要目ヲ一切發表シナイト云フコトニ、方針ヲ一決致シマシテ以來ハ、量、艦ノ性能等ノ何處ニモ申上ゲナイコトニシテ居リマシ、唯豫算ノ製艦費ハ幾ラ、繼續年度ハ幾ラト云フコトハ申上ゲテ居リマシガ、

其ノ點ヲ申上ゲルコトガ出來レバ、或ハ只今ノ御等ノ要求ニ合スルカモ知レナイト存ジマシガ、遺憾ナガラ何トモ申上ゲ難ナマシ

○篠原委員 量ノ問題ハ無論必要ナコトデアリマシ、吾々モ斯ウ云フ豫算ノ數字、又繼續費ノ將來ニ依ツテ、大體ソレデ宜イト思ヒマシガ、次ニ來ルモノハ私ハ質ノ問題ダト思ヒマシ、私ハ海軍ヲ通ジマシテ、兩方トモ質ノ問題ガ來タノデハナカラウカ、專門家ニアラザル人間ガ海外ノ状態ヲ見マシト、全體ガ學術及ビ技術ヲ綜合シタル精銳ノ力ガ、國防ノ各部門ニ集中シテ來ル、此ノ力ヲ見逃セバ國防ノ進歩ト云フモノハナイヤウニ私ハ思フ、私共ガ油ノ問題デ昨年合衆國ニ行ツテ「アイソオクテン」ノ問題ノ見學ニ來タト云フコトヲ申シタ所ガ、ソレガ何故國防ノ問題デスカ、日本デハソレハ國防ノ問題デスカト總ク、是ハ油ノ研究ヲスル、見ニ行ツタノハ産業會社ノ問題デアリマシガ、研究スル事項自體ハ、油ハ何處デドウ云フ風ニ爆發シタラ「エンジン」ノ最高ノ力ヲ出スカト云フ、是ハ物理ノ問題デアリマシカ、吾々ハ學問ノ問題デスカラ十分ニ御目ニ懸ケマシト云フ、唯ソレヲ拵ヘルノニ「パテント」ガアルトカナイトカ云フコトハ、産業ニ關スル「パテント」ノ問題デスカ、又別ノ問題デアリマシト、斯ウ云フ、又一方デ獨逸ノ海運ノ運賃ガ下ツタト云ヒマシカ、私共ハ獨逸ノ海運ガ運賃ガ下ゲル爲ニ、補助カ何カヤツテ居ルノカト思ツテ研究シテ見ルト、サウデナクテ「ボイラー」ガ非常ニ進歩シテ、蒸氣ノ非常ニ高壓ニ拵ヘ得ル、ソレデアリマシカ、ボイ

ラー」ノ數ガ非常ニ減ツテ來ル、又艦體ガ減ツテ來ル、運賃ハ下ゲテモマダ得ガアル、人間モ少クテ済ム、石炭モ少クテ済ム、船腹ハウント空イテ來ル、ソレデ物品ハ一萬噸積シタモノガ一萬三千噸積メル、運賃ハ三割下ゲタ所ヲ五割下ゲテモマダ割合ガ、斯ウ云フコトハ海軍「プロバ」ノ問題デアリマシカ、造船學上ノ技術ト云フモノガ進んで來タコトニ依ツテ、著シク經濟上ノ進歩ト云フモノガアル、獨逸ト競争シテ勝テヌ所ガココニアル、斯ウ云フヤウニ、サウ云フ點ヲ例ニ舉ゲレバ幾ラモアリマセウガ、要スルニ學問全體ノ進歩シタ力カ、國防ニダツト押ツテ來ル所ニ、私ハ大キナ問題ガアルノデハナカラウカ、幸ニ海軍ノ方ハ、此ノ問題ハ割合ニ御注意ヲ拂ツテ戴イテ居ルノデ進歩スルノデス、又ソレ自體海軍固有ノ方々ノ御勉勵ト、眞面目ノ御努力ニ依リ其ノ成果ト云フモノガ十分ニ私ハ發揮サレテ居ルト思ヒマシケレドモ、併シ是ハ世界的ニ考ヘテ見マシト、マダ、日本ノサウ云フ全面的ノ學術及ビ技術ノ研究セラル威力ト云フモノガ、集中サレテ效力ヲ百パーセントニ發揮スルヤウナ程度ニナツテ居ルノデアラウカナカラウカ、私共ハ皆サンノ精神的ノ部門、特ニ國防ニ對スル精神的ノ部門ニ對シテハ、深甚ノ敬意ヲ表シテ居リマシ、又之ニ對シテハ私共ハ遺憾ナイト思ツテ居リマシガ、所謂精神

的ノ問題ヲ除外シマシタ以外ノ質ノ進歩ニ付キマシテハ、餘程深イ注意ヲ拂フ必要ガアルノデハナカラウカ、是ハ産業ノ方面カラ見マシト、最初ハ軍需工業ノ獨立トカ何トカ言ツテ居リマシケレドモ、是ハ非常ニ世界ニ誇ルヤウナ進歩ノ程度ニ到達シマシ

タ場合ニハ、終ヒニハ兵器ノ輸出ガ平和ニ要スル器材ノ輸出ニナル、軍需工業全體ガ「ベコベ」輸出工業ニ轉換シテ、非常ナ大キナ國防力ヲ造成スルト、同時ニ輸出力ヲ造成スル、斯ウ云ツタヤウナコトデアリマシ、飛行機工業ノ最初ノ出發點ハ、陸軍デアツタカモ知レナイガ、今デハ歐羅巴ニ行ツテ見ルト、安全ニ乘ツテ居ルモノ「ダグラス」ガ多イ、東洋ニ於テモ「ダグラス」ガ多イ、「ダグラス」ガモウ一步進歩シマシテ、サウ云フ點ニマデ到達シマシト海軍ノ精銳ト云フノモ精神的以外ノ所謂質ノ進歩ト云フコトガ、軍需工業ヲ抜ケテモウ一步進ムト、平和産業ニナツテ來ル、斯ウ云フ風ニ思ヒマシ、ソレデアリマシカラ私ハ陸軍ニモ御尋タイノデアリマシガ、海軍ハ全體ノ現在ノ學術ノ進歩、技術ノ進歩ト云フモノヲ軍需ノ必要ノ所ニ縮上ゲテ來テ綜合スル方針ニ付テドウ云フ風ヲ御考ト體制ヲ御持チニナツテ居ルノデアリマセウカ、從來ハ委託學生トカ「サウ言ヒマシト餘リ言葉ガ宜クハアリマセヌガ、優秀ノ者ガ委託學生トシテ餘リ行カナイ、ソレデアリマシカラ兵科固有ノ中カラサウ云フ方ガ出ニナルト云フコトハ已ムヲ得ナイガ、サウ發達シテ來ルノデハナイカト思フ、併シサウ云フ部門ニサウ云フ立派ナ方ガ幸ニ輩出スレバ結構デアリマシガ、制度トシテハソレダケデアリマシ、又從來ノ日本ニ於ケル各種艦艇ノ尖端ヲ行キマシタ實例カラ申シマシテモ、實

績ガサウナツテ居ルヤウニ考ヘマシ、今後益々其ノ方面ニ——單ニ精神上ノミナラズ、科學方面ニ於ケル進歩ヲ非常ニ必要ト考ヘマシ、次第デアリマシテ、殊ニ今日ノヤウニ各國ガ互ニ其ノ技術ヲ秘匿致シマシテ、公開シナイ傾向ガ段々ト濃厚トナツテ來テ居リマシ、結局ハ吾々自身ノ力ニ依ツテ其ノ方面ヲ彌ガ上ニ開拓進歩サシテ行クト云フコトガ、益々必要ナコトハモウ當然デアリマシテ、此ノ見地ニ於テ今日海軍デモ單ニ普通ノモノヲ造ルト云フコトデナク、極力最新、最鋭ノモノヲ拵ヘル爲ニ全力ヲ擧ゲテ居リマシ、研究機關ノ如キモノモ、御承知ノ通り各種ノ設備ヲ持チ、又裝備致シマシテヤツテ居ル次第デアリマシ、人ノ養成ノ方モ、是ハ幾ラ設備ガ出來マシテモ、人ガ無ケレバイカスノデアリマシカ、此ノ方面ニモ非常ナ力ヲ注ギマシテ、相當優秀ナ人ヲ向ケルト云フ風ナコトニモ、勿論努力致シテ居ル譯デアリマシ、大學アタリニ委託學生ヲ作ルコト、是モ繼續シテ居リマシガ、基礎的ノ學術ヲ要スルモノハ、高等ノ教育ヲ受ケサシテ置クコトハ當然デアリマシ、其ノ基礎ノ上ニ吾々ノ現在ヤツテ居リマシ技術ヲ實習シテ、其ノ間ニ經驗モ與ヘテ、段々其ノ人ノ將來ヲ磨キ上ゲテ行ク、斯ウ云フ方法ニ指導シツツアル譯デアリマシ、要スルニ御達ニナリマシタ趣旨ハ全然同感デゴザイマシテ、極力其ノ方向ニ進んで居リ、他ノモノニ對シテ餘リ劣ラナイノミナラズ、進んで其ノ上ニ出ルト云フコトヲ目標ト致シ、中ニハ上ニ出テ居ルモノモ多クアルト確信致シテ居リマシ、左様御承知ヲ願ヒマシ

○篠原委員 其ノ研究費ガ段々減ツテ來ル



ノデアリマスガ、繼續費ノ研究以外ニナリ  
マスルガ、此ノ中ニ外ニ研究費ガ澤山アル  
ノデオザイマスガ、或ハ此ノ艦艇製造費ノ  
中ニモ、製造シテガ研究シテ行ク趣旨ガ  
アルノデアリマスガ、或ハサウデナシニ材  
料其ノ他一ツノ「テスト」シナガ研究ス  
ルト云フ設備ガ、研究費デナクテ製造費ノ  
中ニ入ツテ居ルノデスカ、モウ一ツハ臨時  
軍事費ト云フモノガ一番大キナ消費デアリ  
マスガ、ソレニ對シテハ研究スル經費ノ内  
容ト云フモノガナイモノデアリマスガ、ド  
ウ云フモノデアリマスガ

○武井政府委員 研究費ハ色々ナ費目ニ入  
ツテ居リマシテ、一寸一覽スルノニハ不便  
デスカ、全部ヲ引括メテ申シマス、年額  
研究費若クハ試験費ト云フ名目ノ現ハレテ  
居リマスル經費ガ、約三千万圓デアリマ  
ス、全體ヲ通ジマシテハ減リマセス、年々  
殖エツツアリマス、併シソレハ試験研究ト  
云フ名前ヲ與ヘテ居ル科目ノ數字ダケ  
デアリマシテ、ソレダケデ海軍ノ試験研究  
ガ全部附ヘルカト申シマス、サウデハア  
リマセス、今御話ノヤウニ海軍ノ軍艦兵器  
ハ、何レモ日進月歩デアリマシテ、製造即  
チ研究デアツテ、製造シテガ研究シナケ  
レバナラスト云フ立前デアリマス、其ノ外  
デ費用デハ分リマセスケレドモ、三千万圓  
ト云フ研究費「プロパー」ノ外ニ更ニ試験研  
究ノ爲ニ相當力ヲ注イデ居ル、サウ云フ事  
情デアリマス

○藤原委員 サウシマス特定事項ノ目的  
ノ「艦艇機關兵器其他」トアリマスガ、航空機  
モ入ツテ居ルノデアリマセウカ、船體、機  
關兵器其他研究費六百万、斯ウ云フモノダ  
ケハ特定物ヲ指定シテ居ル譯デアリマス

比ベルト非常ニ貧弱ナラデス、ソレデサウ云  
フ場合ニ、ヤハリ委託試験ト云フカ何ト云  
フカ、サウ云フ軍需會社ニ實際ノ仕事ト  
セテ、研究ノ委託ヲスルト云フ場合ガアリ  
マスガ

○武井政府委員 三菱アタリノ造船所ノヤ  
ウニ、相當ノ機關ヲ持ツテ居ル所ニハ、委託  
スル場合モナイデハゴザイマセス、併シ仰  
セノヤウニ民間工場ガ相當大キナ注文ヲ受  
ケマス場合ハ、研究ヲシテガ製造ニ從事  
スルト云フコトニナリマス、其ノ方  
ハ契約價ト關係ヲ及ボスノデアリマスガ、  
同ジ會社ニ物ヲ注文スル場合デモ、一番初造  
ラセル場合ハ、若干單價ヲ見ル場合ニ高ク  
見テ居ル、其ノ點ニ肝腎ナ材料費、工費、附  
屬費ト云フモノノ外ニ、サウ云フ意味デカ  
ヲ入レナケレバナラスト云フコトヲ考ヘテ  
居リマス、極ク僅デアリマスケレドモ、考  
ヘテ居リマス、ソレニ依ツテ軍需會社デハ  
研究試験ヲシテ製造ニ入ル、斯ウ云フ段取  
ニナツテ居リマス

カ、其ノ指定ノ研究ガ濟シマヘバ直ダ  
ニ終ツテシマフノデスカ、サウデナシニ經  
常軍事費ノ中ニモ無論研究費ガナクテチヤナ  
ラヌ譯デ、是非非常ニ多イダラウト思ヒマス、  
サウ云フモノト、詰リ軍艦ヲ製造スルト云  
フ場合ニハ、三億五千九百万圓ヲ使フコト、  
ドウ云フ研究ヲ重ネテヤルノデアリマスガ、  
サウ云フ經費ト經常部ノ軍事費ノ現在ノヤ  
リ方ト云フモノト、何カ「システム」ガア  
ルノデアリマセウカ、或ハ經費ヲ混同シテ  
使フヤウナ「惡口」ヲ言フノデアリマセ  
ス、其ノヤリ方ト、ソレカラモウ一ツハ人  
間ノ使ヒ方デ、海軍部隊ノ中間ヲ動員  
スルカ、或ハ海軍以外ノ人間ヲドウ云フ「シ  
ステム」デ動員スルカト云フ此處ガ、進歩ノ  
爲ニ研究シテチヤナラヌノデスカ、其  
ノ進歩シテ行ク段階トドウ云フヤウニシテ  
取扱ツテ行クノデアルカ、サウ云フコトガ、  
海軍ノ方デハ何ヲ必要ヲ、ソレナニ認メナ  
イノデスカ、陸軍ノ方デハ一遍御等シテ見  
タイト思ツテ居ルノデス

○武井政府委員 今ノ費目ノ關係デ、經常  
費ノ方デ造船及修理費ト云フノガゴザ  
イマスガ、其ノ中ニ約二千三百万圓ノ試験  
費ガ含マレテ居リマス、ソレカラ臨時部ノ  
方ニハ、今御覽ニナツタノモ其ノ一ツデア  
リマスガ、合セテ六百餘萬圓、ソレデザツ  
ト三千万圓ニナル譯デアリマス

○藤原委員 此ノ九款デスネ、六百五十  
萬圓  
○武井政府委員 其ノ經常臨時ノ使ヒ方  
ハ、經常部ノ試験ハ、先ツ毎年引續イテ軍  
艦ナリ兵器ナリヲ造リマスニ當ツテ、試験  
研究ヲシテ行カケレバナラヌ、各地ニ實  
驗部、研究所ト云フモノガ工場等ニ屬シテ

ノ維持費ト云フモノモ、相當進マナケレバ  
ナラヌノデアリマセウガ、第三款ノ航空部  
隊ニ伴フ經常費ト云フモノハ、ヤハリア  
タノ方ニハ豫定ガアルノデスカ

○武井政府委員 豫定シテ居リマス、昨年  
御覽ヲ經マシテ第四次充實計畫ノ中ノ航  
空設備、之ニ伴ヒマシテ航空隊ガ出來ル  
ニ從ツテ、維持費ガ殖行クノデアリマシ  
テ、是ハ相當將來マデ豫定シテ居リマス、  
併シ此ノ豫算書ニハ現ハレテ居リマセス  
○藤原委員 是ハアタノ方ニ對シテ申上  
ゲルノハ無駄カモ知レマセスガ、航空隊維持  
等ニ要スル經費ノ増加二千六百万圓、其ノ  
次ニ航空兵器維持ニ要スル經費ノ増加九百  
萬圓、是ハチヨット私共豫算書ヲ持タナイ  
デスカラ分ラナイノデスカ  
○武井政府委員 初ノ方ハ航空隊ガ竣工シ  
マスルト、ソレニ伴ツテ維持費ガ殖エル、  
其ノ分デアリマス、其ノ次ノ航空兵器ト申  
シマス、艦載飛行機、ソレカラ航空母艦  
ニ積ム飛行機、飛行機關係ニ要スル兵器、  
「カタル」デアルトカ、或ハ機銃デアリ  
マス、サウ云ツタヤウナ兵器ノ維持費  
デアリマス、是等ハ、一番初ハ臨時部ノ經  
費デアリマスガ、竣工後ノ維持費ハ經常費  
ニナリマス

居リマスガ、ソレ等ヲ維持シ、其處ニ居リ  
マス技術官、工員トドガ研究ヲ續ケテ居リマ  
スノデ、其ノ經常的ノ經費デアリマス、臨  
時部ニ限ラレタモノハ或ル特定ノ目的ヲ以  
テマシテ、飛行機ナラバドウ云フ型ノ飛行  
機ヲ造リ出シタイ、其ノ飛行機ノ爲ニ何十  
萬圓充ガフ、大砲ナラバ何吋ノ大砲ヲ新ニ  
造リタイ、何種ノ砲ヲ新ニ造リタイ  
云フ要求ニ基キマシテ、特定ノ研究ヲ進メ  
ル、ソレガ臨時部デアリマス、ダカラ今仰  
セノヤウニ、サウ云フ事項ガ完成シマスレ  
バ、當然無クナルコトニナル譯デアリマス  
ガ、先程申シマシタヤウニ、日進月歩デ新  
シイ要求ガ次カラ次ニ生レルノデ、是ハ無  
クナルト云フ時期ハ恐ラク來ナイ、今ノ事  
項ガ完成スレバ次ノ要求ガ生レル、ソレニ  
依ツテ次ノ臨時部ノ要求ガ出ルコト云フコト  
ニナルト思ヒマス、ソレデ人ノ分ケ方ハ大  
體ハ海軍内部ノ人間デアリマスガ、其ノ他  
ハ各地ノ試験所、大學ニ委託シテ研究スル  
コトニナツテ居リマス、殊ニ航空機ノ如キ  
ハ外國ヘ行ツテ研究スル、或ハ外國人ヲ雇  
入レテ研究スルト云フヤウナ例モゴザイマ  
スノデ、海軍ダケニ止ツテ居ル譯デハ無論  
ゴザイマセス

○藤原委員 サウスト大體經常部ハ内部  
人員デヤル、サウ云フコトト違ヒマスガ、  
經常部ノ二千三百万圓ニ對シテハ、アタ  
ノ方ノ從事シテ居ラツシヤルオ方、職員  
其ノ他屬託ミタヤウナ者モ在リデセウ  
ガ、サウ云ツタモノデ研究スル、九款ノ研  
究費ハ獨立シテ、一種ノ「システム」ヲ拵ヘテ、  
目的ヲ決メテ、ソレニ對シテハ外部ノ人間  
モ動員スル、斯ウ云フ風ニ承ツタノデアリ  
マスガ、唯第一款ノ艦艇製造費モ、ヤハリ

此ノ四十七頁ノ造船修理費ノ本年度増  
加ハ三千九十一萬圓トアリマス、之ニ對シ  
テ航空隊維持費ニ要スル増加二千六百万圓  
トアリマスガ、是ハ條給ナンカ入ツテ居リ  
マスガ、維持費ガ殖行クハナイデセウ

○武井政府委員 航空隊維持費ノ中ニハ航  
空隊ガ生レルト、ソレニ伴フ一切ノ經費ガ  
入ツテ居リマス、條給、燃料其ノ他十何科  
目ニ互ルモノガ入ツテ居リマス

○藤原委員 ソレデハ大體ニ於テ私ノ希望  
ヲ申上ゲマス、私ハ皆サシノ御努力ニ對シ  
テ、深甚ノ敬意ヲ表シマスガ、私ハ將來ノ  
海軍ノ發達ト云フモノハ、我が日本ノ生命  
ノヤウニ感ゼラレマス、此ノ際ニ於テ研究  
ニ對シテノ學術的動員ヲスルコトガ、將來  
必要デハナイカト私ハ思ヒマシテ、御注意  
旁々ニ希望ヲ申上ゲテ置キマス

研究ヲシナガ御拵ヘニナリマスガ、サウ  
デナシニヤハリ是ハ叩キ上ゲルダケデ、研  
究ハ濟シタモノト「造船製造兵ノ方ニ計上  
シタノ」デ濟シタモノトシテ、コツチハ叩キ  
上ゲルダケデ、斯ウ云フ風ニナサイマスガ  
○武井政府委員 第一ノ御等ノ經常部ノ方  
ハ主トシテ海軍内部ノ人間デヤル、臨時  
部ハ外部ノ人間デヤルカト云フコト、サウ  
云フ譯ニハ行キマセス、經常部デ外部ノ  
人間ヲ使フ場合モアレバ、臨時部デ内部  
ノ者ヲ使フコトモアリマス、經常部モ多少  
外ニ出スモノモアリマス、各大學ノ外ニ商  
工省、選信省等ニ依頼スル場合モアリマス  
シ、斯様ナ關係モアリマシテ、官民ノ有  
ル研究所、試験所等殆ド利用シナイ所ハナ  
イ、サウシテ外國ノ力モ若干加ヘルト云  
フ譯デアリマス、ソレカラ艦艇製造費ハ、  
表面上費目ノ上デハ試験費ト云フ名目ノモ  
ノハ現ハレテ居リマセス、併シ艦艇ニ依リ  
マシテ新シイ驅逐艦、潜水艦ト云フ様ナモ  
ノヲ造ル時ハ、第一回ノ建造ノ海軍ノ工廠  
デヤルガ、其ノ時ハ相當研究ノ意味デヤリ  
マス、第二回以後ハ經費等モ違フト云フコ  
トニ事實上ナツテ參リマス、デスカラ實質  
的ニハ仰セノヤウナ形ニナリマス

○藤原委員 委託試験ノ中デハ、實際軍艦  
品ヲ製造シテ居ル會社、サウ云フ會社ハ配  
屬モシナケレバナラヌ、何モシナケレバナ  
ラスノデ、斯ウ言ツタ語弊ガアルカモ知レ  
スケレドモ、貧乏會社ノ場合、一方デハ及  
第スル爲ニ研究モシナケレバナラヌ、軍艦  
品ヲナル會社自身モ研究所ガ欲シイ、ソレ  
デ自分モ已ムヲ得ナイカラ出ス、其ノ額ガ  
實際私共見學ニ行ツテモ、研究設備ト云フ  
モノハ海軍方ヤツテ居ルノヲ拜見シタノト

第一ハ軍備充實ニ要スル經費ノ増加デ  
アリマス、軍備充實ニ關シマシテハ、曩ニ  
昭和十二年當時ノ情勢ニ基キ、計畫致シタ  
ノデアリマスガ、著手幾何ナラズシテ偶々  
那事變ノ勃發ニ遇ヒ、之ニ修正ヲ加フルノ  
止ムナキニ立チ至リマシテ、昨昭和十四年  
度ニ於テハ取敢ズ急ヲ要スルモノニ付キ、  
所要經費ノ協賛ヲ得マシテ、是ガ補償ニ著  
手致シタノデアリマスガ、計畫全般ニ互リ  
マシテハ、其ノ後鋭意検討ヲ續行致シ、更  
ニ最新ノ經驗ヲモ加味致シマシテ、新ニ展  
開シテ參リマシタ帝國ノ國防態勢ニ應ズル  
モノトシテ、故ニ所謂修正軍備充實計畫ノ  
樹立ヲ見マシテ、其ノ基本的部分ニ付テ豫  
算ヲ要求スルコトトナツタ次第デアリマス、  
而シテ此ノ經費ハ地上部隊ノ充實ニ要スル  
所ノ兵備改善ニ要スル經費ト、航空部隊ノ  
充實ニ要スル經費ト戰時裝備ノ爲ノ所謂資  
材整備ニ要スル經費トニ分レテ居ルノデア  
リマシテ、以下是等ノ内容ニ付キ概要ヲ申  
述ベマス

午後二時開議  
○末松至奎 休憩前ニ引續イテ開會致シマ  
ス、先ツ陸軍大臣ヨリ豫算ノ大要ノ御説明  
ヲ願ヒマス

○畑國務大臣 只今議題トナツテ居リマス  
豫算案ニ付キ説明致シマス、昭和十五年度  
一般會計陸軍豫算ハ、總額十二億七千四百  
七十八萬一千六百一十圓デアリマシテ、之ヲ  
昭和十四年度豫算十億四千萬二千九百十三  
圓ニ比ベマス、二億七千四百三十七萬八  
千四百八十八圓ノ増加トナツテ居リマス、以  
下新規計畫ノ内、主要ナモノニ付キ申述ベ  
マス







トデアリマス、更ニ又各種ノ物價騰貴ヲ起  
ス原因等モアリマス、輸入價格ハサウ  
云フ工合デドウシテモ高マツテ居ルコト  
コトハ、現實ニ御取扱ニナツテ居レバ能ク  
分ルコトト思フデアリマス、國內物價ガ  
既ニサウ云フ風ニ騰貴ヲ致シテ居リ、輸入  
物價ガ騰貴シテ居ル一方、日本バカリデハ  
アリマセズ、假ニ之ヲ使ヒマス滿洲ナリ  
支那ナリヲ見マス、此ノ間私方通貨貨  
策ノ誤リト云フコトヲ豫算總會デ能ク言  
ツテ置イタノデアリマス、現在ノ如キ通  
貨政策ハ宜シクナイト云フコトヲ繰返シ  
申シテ置イタノデアリマスガ、其ノ結果  
トシテ、此ノ頃例ヘバ北支ノ方面ニ於キ  
マシテモ、天津デホンノ一年前マデハ四  
圓買ヘタ小麥ガ、十二圓モ出サナケレバ  
買ヘナイト云フ工合ニ、各種ノ物資ハ二倍  
若クハ三倍ノ値上リヲ致シテ居ルコトハ、  
私方申上ケルマデモゴザイマセズ、サウ云  
フコトヲ彼此レ考ヘテ見マス、價格ノ  
點カラ或ハ三割、ソレハドレダケガドウ  
云フ風ニ行ハレルカ、又使ハレルカ、内容  
ハ能ク存ジマセズガ、少クモ二割トカ三  
割トカ云フモノハ價格騰貴ノ結果實行ガ出  
來ナイノデアリマス、斯ウ云フ風ニ懸念ス  
ルノデアリマス、ソレデ此ノ二ツノ點ニ付  
テドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルノデアリ  
カ、即チ私方結論的ニ申シマス、物資足  
ラス結果、計畫ヲ變ヘナケレバナラズ部分  
モ出マセウ、物ノ騰貴スル結果計畫ヲ變ヘ  
ナケレバナラズ部分モ出ルト思ヒマス、斯  
様ナ場合ニ計畫ヲドウ云フ風ニ御變ヘニナ  
ツテ行カ、即チ是ダケノ現計畫自體ハ絶  
對ニ必要ナモノデアラドウカト云フコト  
ガ、最も御伺ヒシタイ點デアリマス、現計

畫ガ絕對的ニ必要トスレバ、今申上ゲタ通  
リ、是ハ物ノ不足カラ出來ナイモノハ延期  
シテヤルト云フコトガ出來マセウガ、物ガ  
高クテ得ラナイモノニ付テハ、更ニ追加  
豫算ヲ出スト云フコトニナツテ參ルデアリ  
マセウ、サウ云フヤウナ只今申上ゲマシタ  
物ノ不足ノ點カラ、物ノ價格ノ騰貴並ニ騰貴  
ノ趨勢等ヲ見込マシテ、其ノ點カラドウ  
云フ風ニ此ノ豫算ガ遂行サレテ行クノカ、  
現計畫ハドウシテモ行ツテ行カケレバナ  
ラヌノカ、現計畫ヲ行フトスレバ、將來是  
等ニ付テドウ云フ御考ヲ以テ現計畫ヲ行ハ  
ントセラルルノデアリカ、此ノ點ヲ御伺ス  
ルダケデ私ノ質問ハ終ル譯デアリマス  
○細國務大臣 只今ノ御質問ハ洵ニ御尤モ  
ナ御質問デアリマシテ、實ハ陸軍ニ於キマ  
シテモ十五年度ノ豫算ヲ組ミマス時ニハ、  
物ノ組合セニ一番注意モシ、關心モ拂ツタ  
譯デアリマシテ、先ヅ物ニ付キマシテハ此  
ノ間物動計畫ノ御説明ニアリマシタ通り、  
減ツタモノガアリマスケレドモ、大體ノモ  
トハ十三年度並ニ十四年度ノ或ル時期マデ  
ノ平均ニ依ツテ見ルト、サウ減ツタモノハ  
ナイ、先ヅ物動計畫ノ既往ノ實績並ニ將來  
ノ豫想ヲ基礎ニ致シマシテ、大體昭和十五  
年度ノ陸軍ノ要求シテ居リマス、詰リ陸  
軍ノ取りマスモノハ、昭和十四年度ノモノ  
ラ今申シタヤウナコトニ依リマシテ、大體  
十五年度ハ十四年度ト同ジヤウナモノガ取  
レルダラウ、若シモ取レナイモノガアツタ  
場合ハハ代用品ヲ使フトカ、廢品ヲ回收ス  
ルトカ、廢品回收ト申シマス、今マデ  
ハ下請工場ニ彈丸ノ素材ヲヤツテ居ツタモ  
ノヲ、今度ハ其ノ廢品ヲコッチヘ全部取上

ゲテシマフコト云フヤウナ方法ニ依ツテ、サ  
ウシテ大體此ノ位ノ見當デ宜カラウト云フ  
譯デ、物ヲ見合シテ作ツタ譯デアリマス、  
重ネテ申シマスケレドモ、大體十四年度ト  
同ジデ、餘リ物ノ増加ハナイト云フ見當デ  
此ノ豫算ハ組ンデアルノデアリマス、又物  
價ノ件デアリマスガ、物價ノ件モ陸軍ト致  
シマシテハ、此ノ處大ナル豫算ヲ洵ニ財政  
ノ苦シイ中ニ御願ヲ致シテ居ルノデアリマ  
スカラ、出來ルダケノ節約ヲスル、出來ル  
ダケ物ヲ安ク調ヘルト云フ點カラシマス、  
吾々ト致シマシテハ何處マデモ低物價政策  
ヲヤツテ戴キタイト云フ希望ガアルノデア  
リマシテ、此ノ低物價政策ガ總テノ計算ノ  
基礎ニナルト云フ見地カラ此ノ豫算ヲ組  
ンデアルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ見地  
カラ豫算ヲ組ンデアリマスガ、併シ十五年  
度ノ軍備ノ計畫ハ、吾々ノ責任ト致シマシ  
テ是非ヤツテ行キタイ、斯ウ云フ積リヲ持  
ツテ居ルノデアリマス、又國際情勢其ノ  
他ノコトヲ考ヘテヤラナケレバナラズ  
ト考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシ  
テ吾々ト致シマシテハ、此ノ計畫ヲ  
何處マデモヤツテ行キタイ、萬難ヲ  
排シテモヤツテ行キタイ斯ウ云フ固イ決  
心ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、今ノ  
所ニ於キマシテハ別ニ追加豫算ヲ政府カラ  
貰フト云フ考ヲ持ツテ居リマセズ、併シナ  
ガラ今後情勢ノ變化ニ依ツテ、豫定通り物  
ガ出來ナイ、或ハ其ノ他ノ關係カラ到底イ  
カスト云フコトニナリマスレバ、是ハ如何  
トモ仕方ガナイコトデアリマシテ、今ドウ  
シヨウト云フ別ニ腹案ハ持ツテ居リマセ  
ズ、是ハ其ノ時ノ情勢ニ依ツテ善處致シタ  
イト考ヘテ居リマスガ、今ノ所ハ既定ノ計

畫ガケハ、是非トモヤツテ行キタイト云フ  
固イ決心ヲ持ツテ居リマスコトヲ申上ゲテ  
置キマス  
○小笠原委員 其ノ決意ノ下ニ是非御實行  
ヲ願ヒタイト思ヒマスルガ、只今ノ物價ノ  
點ハ、低物價政策ノコトヲ仰セラレタ、ソ  
レガ出來レバ洵ニ結構デアリマスガ、此ノ  
間丁度電力ノ問題デ住友ノ小倉氏ガ言ハレ  
テ居ル、アレハ私共ノ方デ何時モ唱ヘテ居  
ル物價政策ヲ申シテ居ルノデスガ、低物價  
政策デ一貫シヨウトスル、是ハ方針ハ飽  
マデ低物價政策デナケレバナリマセズガ、  
個々ノ物ヲドレモ是モ低物價政策ヲシヨウ  
トスルト、増産ガ期待出來ナイ、ソレデ一  
遍物價問題ヲ私ハ商工大臣ト數時間、今度  
追加豫算ノ時ニ申上ゲテ見タイト思ツテ居  
ルノデスガ、ドウ致シマシテモ今ノ場合  
デ申シマスレバ、増産ト云フコトガ第一ニ  
ナツテ參リマス、増産ト云フカラニハ或ル  
程度ノ價格引上ゲテ、之ヲ刺戟スル以外  
ニハ増産ノ途ハナイヤウニ、私共考ヘル、  
ソレハモウ少シ日本ガ嚴重ナル統制ノ下ニ  
アリト致シマスレバ、ソレハ出來得ナイト  
モ限リマセズケレドモ、現在ノ如キ經濟機  
構ニ於キマシテ、唯物價ヲ引下ケルコトヲ  
爲サズシテ、單純ニ低物價政策ヲ貫カウト  
シテモ、是ハ事實貫ケルモノデアリマセ  
ズ、其ノ物ガ必要デアレバ必要デアルダ  
ケ、低物價政策ヲヤラウトスルト、一層其  
ノ物ノ値段ガ上ツテ參リマス、ソレハ丁度  
此ノ間ノ日用品ノ必要モノデ御覽下サル  
ト能ク分リマス、必要デアルカラドウシテ  
モ値段ニ構ハズ買ハナケレバナラズコトニ  
ナツテ參リマス、デアリマスカラヨリ必要  
ナモノデアルカラ、物價ヲ下ゲナケレバナ

ラスト言ハレマスガ、必要ナ物ハ先ヅ供給  
ヲ潤澤ニスルト云フコトガ一番、是モナイ  
ト云フト此ノ間ノ「マッチ」ノ如ク、「マッチ」  
ハ一箱一錢カラシテ居ツタノヲ、一錢  
一厘ニ値上スルト増産ガ出來ルノデアリマ  
ス、而モ買フ者ハ何等ノ困難ガナクテ出來  
ルノデアリマス、サウシナカツタ爲ニ、ア  
ア云フコトニナツテ居ルノデアリマス、デ  
アリマスカラ是ハ外ノ物資ニ付テモ、同様  
ナコトガ言ヘルノデアリマス、軍ノ要求ガ  
是ハ是非トモ必要トサレルト云フト、私共  
ハ若干ノ物價騰貴ヲ見越シテヤラナイト、  
實行ガ餘程困難デハナイカト思ヒマスル  
デ、其ノ事ヲ一應申上ゲテ私ノ質疑ヲ終リ  
マス  
○末松主査 中島君アリマスカ...成ベク  
簡單ニ願ヒマス  
○中島委員 ドレ位時間ガアリマスカ  
○末松主査 三十分乃至四十分位ノ所  
デ...

畫、統帥權ナドノ問題デハアリマセズ、私  
共ハ金額、物ノ問題カラ言フノデアリマスガ、  
大體之ヲ通算シテ見マスト二十三億ナンボ  
ニナリマスガ、新國防計畫デ之ヲ四箇年計畫  
位ニ盛ラレルコトニナツテ居リマス、アトハ板  
垣サント私ト約東デハ、十五年度ハ全額ヲ  
現ハス、斯ウ言ツテ居ルノデアリマス、アタガ  
御代リニナツタカラ、前ノ大臣ノ言フコト  
ハ知ラヌト仰シヤレバ、ソレキリデアリマ  
スケレドモ、海軍ハ十五年度マデニ全額ヲ  
現ハシテシマツタ、製鐵費ノ全額ヲ全部現  
ハシマシタ、後カラ出テ來ルモノハ少イモ  
ノハ、少イト言ウテモ一億三千万圓ト云  
ウテ居リマスルガ、陸軍ノ二十三億ニ比  
マシテハ、微々タルモノデアリマス、ソコ  
ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルノデアリ  
マスカ、成ベク國民ニ對シマシテ將來國防  
費ハ大體斯ウ云フ見當デアルト言ツテ現  
シタガ、陸軍ト致シマシテモ、又國家ノ  
爲ニモ宜カラウト思ヒマス  
○畑國務大臣 實ハ今中島君ガ御指摘ニナ  
リマス前ニ、若干ノ御説明ヲ致シタノデア  
リマスガ、全額申上ゲマシテモ、是ハ頭  
デアルカ調デアルカ、其ノ限界ハハツキリ  
申上ゲラレナイ次第デアリマスガ、此ノ軍  
備充實ニ關シマシテハ、是ハ多分中島君御  
承知ト思ツテ居リマスガ、昭和十二年當時  
ノ情勢ニ基キマシテ、一ツノ軍備計畫ヲ立  
テタノデアリマスルガ、ソレヲ立テマシテ、  
間モナク今度ノ支那事變ノ勃發ヲ申シマシテ、  
ソコデ此ノ支那事變ノ勃發ヲ申シマシテ、  
所謂昭和十二年度ノ軍備計畫ノ所ヘ持ツテ  
來テ、支那事變ト云フ一ツノモノガ起リマ  
シテ、サウシテ大キナ作戦ガ支那ニ於テ行  
ハレルト云フ、ソコニクツイタモノガ出

來タモノデアリマスカラ、ソコデドウシテ  
モ是ハ昭和十二年度ノ軍備計畫ハ、變ヘナケ  
レバイカスト云フコトニナリマシテ、直チ  
ニ研究ヲ始メマシテ、其ノ一部ガ昨年十四  
年度ニ、所謂應急的ノ措置トシテ出タノデ  
アリマスルガ、今度出シマシタモノハ、大  
體ノ見當ヲ付ケマシテ、餘リ長ク續ケルト  
云フコトハ國際情勢カラ適當デナイ、ソコデ  
今後三四年ノ間ニドウ云フ風ニ國際情勢  
ガナルデアラウカ、即チ一方ニ於テハ戰ヲ  
シ、一方ニ於テハ諸種ノ手當ヲスルト云フ  
國際情勢ヲ見合セマシテ、又國ノ財政狀態  
ヲ見合セマシテ立テマシタノガ、今度ノ軍  
備計畫デアリマシテ、吾々ト致シマシテハ、  
一刻モ早ク出來ルコトヲ無論希望スルノデ  
アリマスルケレドモ、ソレニハ財政デゴザ  
イマストカ、殊ニ生産擴充ノ關係モアリマ  
スルカラ、ソレ等ヲ見合セマシテ、昭和十八  
年頃マデニハ、大體開始ガ出來ル、併シ殊  
ニ生産擴充ノ關係ノアリマスモノハ、ソレ  
ヲ若干延バシテ、昭和二十年頃マデニハ大  
體ノ計畫ガ出來上ツテシマフ、斯ウ云フ計  
畫ノ出來テ居ルノデアリマス、即チ十二年  
度ノ計畫ヲ修正ラシテ大體二十年頃マデニ  
全部ガ終ルト云フコトニ直シタノダト云フ  
コトヲ御説明サレバ、其ノ出來マスモノ  
ハ繼續費トシテ昭和二十年頃デアリマスル  
ケレドモ、其ノ外ノ所謂資材ノ準備等ニ付  
キマシテハ、是ハ一寸マダ所謂物動計畫並  
ニ生産擴充計畫ニ關係ガゴザイマスカラ、今  
計畫ハ多クアリマス、ソレデ此ノ間申上ゲ  
タノハ全額デアリナイ、一部デアル、斯ウ申  
上ゲタ次第デアリマス  
○中島委員 大體十二年度ノ計畫ハ私ハ承  
知致シテ居リマスルガ、十二年度ノ計畫ガ

大體アノ線ニ沿ツテ、兵備改善モ合セテ國  
防計畫モヤラレテ、作戰資材モ作ツテ行  
ト云フヤウナ方向ニスツト進ンデ行カト、  
大體十五年度程度ノモノガ十四年度カラ出  
テ來ルヤウニナツテ居リマス、ソレカラ先  
モ大體十五年度程度ノモノガ、經常臨時共  
アト四箇年ニ、其ノ外又四箇年、八箇年位  
ニ出テ來ルト、斯ウ見做シテ宜シウゴザイ  
マスカ  
○石川政府委員 大體大臣ノ言ハレタ通り  
デアリマスケレドモ、一寸補足シテ置キマ  
ス、物動關係、生産擴充關係デ、今ノ二十  
年マデノ計畫ガ出來テ居リマスルガ、其ノ  
次ニ續クカ、或ハ又其ノ時ノ財政狀況、其  
ノ他狀況ガ許シマスレバ十六年、十七年、  
十八年ノ所ニ横ニ痛ガ多少付クヤウニナル  
カモ知レマセズガ、成ベク短期間ニヤル方  
ガ陸軍ト致シマシテハ宜シイノデ、其ノ邊  
ノコトハマダ只今狀況ガ確立致シマセズノ  
デ、何ントモ申上ゲテ置カヌヤウナ次第デ  
ザイマス  
○中島委員 大體内容的ニ考ヘテ見マスル  
ト、斯ウ云フヤウニモ考ヘラレルノデス、  
臨時軍事費ト新國防計畫トノ關係性デ  
スガ、動的ニ見レバ、「ソ」支兩面ノ軍備  
デアリ、靜的ニ見レバ、日滿支一體ノ共同  
國防計畫ト見テ宜カラウト思フダデス、  
サウシマスルト、新國防計畫ガ大體十八  
九年度頃ニ完成セラレテ、海軍モ亦其ノ  
頃ニ、丁度第四補充計畫ガ完成セラレ  
コトニナツテ居リマス、ソレデ臨時軍事  
費ナルモノハ、戰爭ノ費用デアリマセウケ  
レドモ、大體誰ガ想像致シマシテモ、兵器  
ガ入ツテ居ルコトモ確カデアリマスルシ、  
其ノ他ノ彈藥、糧秣ガ入ツテ居ルコトモ



想像せらるる、兵隊が入つて居る以上輸送費がトカ、又其ノ外ニ臨時軍事費、昨日大臣ノ仰セラレタヤウナ範圍内ノ所ニ於キマシテ、支那ニヤハリ師團ヲ作ツテ行クノダラウト思ヒマス、現ニソレハ作ツテ居ルヤウニ見ラレマス、兵隊ヲ補充セラレテ、コツチヘ練習シテ送ツテ、臨時軍事費デ一ツノ師團ヲ作ツテ行ケル、内地ニ於テハ補充隊ヲ拵ヘテ、ソレカラ補充シテ行ケルト云フ關係ヲ見マス、詰リ之ヲズツト續ケテ行クトスレバ、戦争ハ段々縮小サレテ來ルデセウ、戰鬪行爲ト云フモノハ誰ガ見テモサウ大キクハナラス、動的方面ガ減ツテ、靜的方面ノ駐屯部隊ト云フヤウナモノガ、ズツト増加シテ行ク、換言スレバ、臨時軍事費ト云フモノガ、段々經常化サレテ行ク、ソレト内地ノ新國防計畫ト一緒ニナラズ、日滿支共同ノ國防計畫ヲ作ツテ居ル、數字ヲ離レテ言ヘバ、斯ウ見テ宜イデスカ

○石川政府委員 此ノ一般ノ國防計畫ノ方ハ、十五年カテ十九年、二十年ニ互ツテ居リマスガ、臨時軍事費ノ方ハ、此ノ際要求申上テ居ルノハ、十五年度ガケナノデアリマス、ソレデ十五年度ニ於キマシテハ、臨時軍事費ノ方ニ於キマシテモ、色々ノ兵器彈藥、飛行機ヲ造ル、作戰ニ使フト云フ積リテヤツテ居リマスガ、ソレガ又或ル部分ニ於キマシテ、軍備充實計畫ノ一部ニナルト云フヤウナコトニナルカモ分ラヌノデアリマス、ソレ等ノ邊ガ非常ニ判然ト致シマス、ソレデアリマスガ、滿洲ニ於キマスル經費デモ、滿洲デナケレバ使ヘナイト云フ例ヘバ築造費ノ如キ、是ハ滿洲デ造ルノダト云フ風ニナリマスレドモ、アトノ兵器ニ於キマシテハ、ドツチノ方デ使

フヤウニナルカ分ラヌト云フモノモゴザイマスノデ、一部分ノモノハ、臨時軍事費ノ方ニ入ツテ居ルコト云フコトニモナリマスガ、段々狀況ガ進シテ參リマシテ、和平ノ方ニ一歩々々進ミマス、今中島委員ノ御話ノヤウニ、動的方面ガ少クナツテ、靜的部分ガ多クナツテ行クト云フコトニナリマス、サウシテ漸次豫算モ平常化シテ參ルヤウニナリマス、其ノ點ハ臨時軍事費ト一般經費トノ分界モハツキリシテ、自然ニ將來一般經費ノ方ニ固マツテ來ルト云フヤウニナルカトモ考ヘテ居リマス

○中島委員 一般會計ヨリ臨時軍事費ニ、事變ノ爲ニ移シタルモノト云フノデ、十四年度ニ陸軍ガ一億一千九百萬圓、十五年度ニ二億三千一百万圓、此ノ差引一億一千二百万圓ガ積エテ來テ居リマス、此ノ積エテ來テ居ルノハ、豫算總會ニ於テ大臣デアツカカ、主計局長デアツカカ説明サレマシタヤウニ、補充部隊ヲ作ツテ置イテ、其ノ部隊モ留守部隊ノモノモ、是ハ臨時軍事費ト一緒ニ支辨スルト仰シヤツタ、サウシマスルト補充部隊デ、補充ノ爲ニ造ルノダカラ、臨時軍事費ノ經常化サルベキ線火線ト云フカ、經費ノ一部分ノ頭ヲ現ハシタモノト見テ宜イノデスカ

○石川政府委員 臨時軍事費ノ方ニ振向ケタモノガ多クナツタト云フコトハ、豫算總會デ御尋ニナリマシタノデ御答致シマシタ通り、内地ニ於ケル臨時軍事費支辨部隊ガ多クナツタ、即チ補充充テ任スル部隊

ガ多クナツタト云フ關係デ、其ノ部隊ハ或ル一部分ハ臨時軍事費支辨シ、他ノ大部分ハ經常費支辨スルト云フ區別ガムツカシイノデ、全體ヲ臨時軍事費ト略シ、隨テツレニ對シテ一般經常費ハ減額ニ遭ツタト云フ關係ニナツテ居リマス、師團ガ出來ルト云フコトモ、是ハ作戰ノ必要ニ依ツテ部隊數ガ増加シテ、サウシテ向フニ部隊ガ積エタノデゴザイマスガ、ソレ等ニ關シマシテハ、當分ノ中ハヤハリ臨時軍事費ニ依ツテ賄フコトニナツテ來ルト思フノデアリマス、是ハ漸次平常化シテ、例ヘバ支那事變費ナドモ、臨時軍事費ガナクナツテ、恰モ滿洲事件費ノヤウナモノニナツテ來ルト思フノデアリマス、是ハ情勢ノ變化ニ伴ヒマシテ、豫算ガ漸次一般會計ノ方ニ移ツテ行クモノト思フノデアリマス

○中島委員 大體分リマシタガ、此ノ滿洲事件費ハ昨年ハ維持費、即チ行動費ト云フカ、是ダケガ臨時軍事費ニ入ツテ、用度費設備費ト云フカ、是ガ一般會計ノ中ニ入ツテ居ルガ、今年ノ見ルト全部埋没シテ居リマス、臨時軍事費ノ中ニ全部入レテシマツタノデアリマセウカ、或ハ兵備改善トカ、航空、防空ノ中ニ入ツテシマツタノデアリマセウカ、滿洲事件ト云フ公債モナクナツテ居ルガ、大蔵大臣ノ豫算ニ關スル施政方針演説ノ中ニモ、一寸書イテアリマスケレドモ、ハツキリシマセウカ、滿洲事件費ト云フモノハ、モウナクナツテシマツテ、内地ノ兵備改善ナリ、航空、防空ノ費用ノ中デ賄ツテ、隨テ公債モ滿洲事件公債ガナクナツテ、支辨ガ赤字公債ニナル、斯ウ云フ風ニ解シテ宜イノデスカ

○石川政府委員 大體今御質問ノ通りデゴ

ザイマスガ、モウ一度私カラ申上ゲテ見マス、昨年度ノ滿洲事件費ノ中デ、行動ニ關スル經費ハ、臨時軍事費ノ經費ノ中ニ繰入レタノデアリマスガ、其ノ方針ハ十五年度ニ於キマシテモ依然トシテ續クノデアリマス、其ノ外ノ維持費ノ方ニ於キマシテハ、滿洲事件費ト云フモノヲ止マシテ、兵備改善ニ關スルモノハ、内地ノ兵備改善費ノ中ニ入レマス、航空防空ニ關スル費用ハ、航空部隊其他改編費ノ中ニ入レテシマヒマシテ、滿洲事件費ト云フモノヲ解體シテシマツタノデゴザイマス、隨ヒマシテ公債關係ニ於キマシテモ、滿洲事件費ニ充當シテ居ツタモノハ、是ハ赤字公債ノ中ニ入ツテ來ルモノト御諒承願ヒマス

○中島委員 能ク分リマシタ、サウスルト是カラ先支那事變費モ、一時ハ滿洲事件費ノヤウニ計上サレテ行ツテ、遂ニハヤハリ兵備改善費ノ中ニ入り、航空防空ノ一般會計ノ中ニ入ツテ來ルヤウニ取扱フ方針デスカ、支那事變費モヤハリ滿洲事件費ノヤウナ歴史ト沿革トヲ追ツテ來ルト見テ宜イデセウカ

○石川政府委員 是ハ陸軍トシマシテ餘リ進ンデ申上ゲ難ク問題デゴザイマシテ、大蔵省トノ關係モゴザイマス、其ノ邊ハ概シテ大蔵省ノ方針ヲ尊重致シマシテ、陸軍ガソレニ順應スルト云フコトニナツテ來ルト思フノデアリマス、陸軍ノ方カラ將來ドウナルト云フコトニ付キマシテ、的確ナコトヲ申上ゲ難ク状態デゴザイマス、カ、ドウカ惡シカラズ御諒承願ヒマス

○中島委員 大體ニ於キマシテ中央政權ガ出來、日本トノ間ニ條約ガ出來、一定ノ兵ヲ駐屯スルコトガ決マリ、サウシテ支那ニ

置ク兵力量ガ大體決ツテ參リマシテ、ソレカラ長期戦、長期建設、此ノ兩方デ行クノデアリマスガ、其ノ間ニ於テ動的方面カラ靜的方面ニ移ツテ行ク、斯ウ考ヘテ見マス、經常化サレテ行クベキ大體ノ見當ハ何時ノ頃カ、日清戦争、日露戦争ハ二年カ三年デ短カカツタガ、シベリヤ出兵ハ十一年掛ツテ居ル、此ノ事變費ニ付キマシテ相當長ク掛ルダラウト思ヒマスガ、大體ノ見當トシテ、ソレヲドウ云フ風ニシテ始メテ付テ經常化シテ行クカ、其ノ大體ノ目安ヲ經理關係カヲ見テ、ドウ御考ニナツテ居ルノデセウカ

○石川政府委員 日清戦争、日露戦争ノ時ニハ、其ノ點ハ非常ニハツキリ致シテ居タノデアリマス、宣戰布告ヲシマスシ、又平和克復ト云フコトガゴザイマシテ、何時カラ始ツテ何時終ルト云フコトガ、ハツキリシテ居リマシタカラ、サウ云フ關係ハ非常ニハツキリ致シテ居リマシタ、併シナガラ本事業ハ、ドウモ其ノ邊ガボンヤリシテ居リマシテ、何時事變ガ終結スルカト云フコトガ、未ダ一寸豫想ガ付キマセウガ、併シナガラ臨時軍事費ノ會計年度ガ、此ノ事變ガ始ツテヨリソレガ終結スルマデ通ジテ一會計年度ト云フコトニナツテ居リマスカラ、何レ終リガナクテハナラスノデアリマス、是ハ支那ニ於ケル實勢ニ從ツテ、ソレニ順應シテ行クノデゴザイマシテ、此ノ支那事變ガ何時終局スルカト云フ見當ガ付キニクイノト同様ニ、ソレニ伴ヒマス臨時軍事費ヲ何時マデ續カセルカト云フコトニ付キマシテモ、是ハ中々一寸豫想ノ付キニクイ問題ダト思ヒマス

○中島委員 無理カモ知レマセウカラ餘リ追究致シマセウ、ソレカラ十四年度ニ於テ豫

算外國庫負擔デ、五億ダケノモノヲ取ツテアリマシテ、是ハ使ツテナイト云フ答辯ヲ、豫算總會ニ於テ得タノデアリマスガ、是ハハハリ十五年度ニ使フ御考デスカ、又是ハ將來ニ於テドウ云フ計畫ノ下ニ立テテ居ルノデアリマス

○石川政府委員 陸軍ト致シマシテハ、承認サレタ所ノ豫算外國庫ノ負擔、是ガアルカラ必ズ之ヲ使ハナケレバナラス、斯ウハ考ヘテ居リマセウ、出來ルナラバ豫算外國庫負擔ノ方ハ、成ベク使ハナイデヤリタイ併シナガラ與ヘラレタル豫算モ使ヒ切り、豫備費モ使ツテ、尙ホ其ノ上ニ手ヲ出サナケレバナラスト云フ場合ニハ、豫算外國庫負擔ヲ使フト云フ意味デ取ツテアルノデアリマス、出來得ルナラバ豫算ノ範圍デ賄ツテ行ツテ、已ムヲ得ナイ場合ノ豫備隊、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ十五年度豫算モ、成ベク豫算ノ範圍デ賄ツテ行キマシテ、各種ノ狀況ニ依ツテソレデ足りナイト云フ時ニハ、大蔵省ニ豫備費ガ準備シテアリマスカラ、其ノ方ヲ動員シ仰ギ、尙ホソレデモイケナイト云フ場合ニ之ヲ使フ、斯ウ云フ積リデゴザイマシテ、消極的ノ考ヲ持ツテ居リマス

○中島委員 次ニ昨年ノ議會デ私ガ陸海軍兩大臣ニ質問致シマシテ、國家ガ一番ノ消費者デアリ、殊ニ陸海軍ガ多大ナル消費者デアル、國費ノ節約ノ上ニ於テハ軍需品單價ノ切下ト云フコトハ、重大ナル問題デアル、之ヲドウスルカト云フ質問ニ對シテ、其ノ通り實行スルト仰シヤラレタノデアリマスガ、陸軍ノ方ト致シマシテハ、ドウ云フ方針ノ下ニ單價ノ切下ヲサレマシテ、昭和十三年度ニ比シテ十四年度ハどの位ノ割合

デ切下ラレテ、どの位ノ金額ノ節約ヲサレタノデアリマス、此ノ點去年ノ私トノ約束モアリマス、國民亦齊シク懸カント欲スルモノデアリマス、聞ク所ニ依リマス、最近非常ニ又物價ガ騰貴シタ關係上、單價ノ切下ヲ軍需工業家ガ非常ニ嫌ツテ、又元ノ通りニシテ呉レト云フヤウナ陳情ヲ運動ヤラアツテ、軍ノ方デモ困ツテ居ルト云フコトヲ聞キマシタガ、此ノ物價ノ値上リニ對シテ、單價ノ切下ニ付キマシテ今後ドウ云フ方針ヲ御執リニナリマス、モウ一層切下ゲテ行クノデアリカ、又切下ゲル標準ヲ海軍デハ戰前ノ物價通りニキリタイ、出來ナケレバ成ベク最近ノ安イ時ノ物價通りニキリタイト云フヤウナ御答デアリマシタガ、陸軍ノ方デハ今申上ゲタ點ニ付キマシテ、ドウ云フ方針デアツテ居ラレマス

○石川政府委員 御答致シマスニ當リマシテ、昨年議會デ色々御要望ガゴザイマシタノデ、其ノ後ソレニ對シテ陸軍ガ執リマシタ經過ヲ若干申上ゲマシテ、サウシテドレダケ引下ゲタカト云フコトニ付テ申述ベタイト思ヒマス

時局ニ伴ヒマシテ軍需品ノ調劑數量ハ極メテ莫大デアリマシテ、是ガ調劑價格ノ適否ハ、實ニ軍需豫算ノ運用ニ至リテ極メテ影響スル所ガ大ナルノミナラス、一般物價政策其ノ他戰時經濟政策全般ノ遂行ニ、密接ナル關係ガゴザイマス、陸軍ト致シマシテモ各種ノ方途ヲ講ジマシテ、是ガ低下ヲ所期シタノデアリマス、御承知ノ通りニ十三年度ハ非常ナ大作戦ノ途

行中デゴザイマシテ、軍需量ガ莫大ニ上リマシタノ同時ニ、急遽調劑シナケレバナラヌト云フ情勢下ニアツタノデアリマス、隨ヒマシテ經濟ト云フコトヲ考ヘナイノデアリマス、所望ノ數量ヲ所望ノ時期ニ的確ニ手ニ納ムルコトガ、其ノ當時ノ主眼ニナツテ居リマシタ、一面生産擴充ノ方モ非常ニ重要シツツ、實行ニ移リツツ非常ニ澤山ノ注文ヲ致シテヤラナケレバナラス、職工ニ致シマシテモ各府縣カラ澤山輸入レタ者ニ對シマシテ、直チニ必要ノ技術ヲ施シテ實施ヲシナケレバナラヌト云フ狀況デアリマシテ、詰リ混雑タル事態デアリマシタ、隨テ軍需品ノ調劑價格モ、彼此レ言ハレル程度ニ達シテ居ツタト思フノデアリマス、併シナガラ十四年ニ至リマシテハ、其ノ方モ平常化致シマシタノト、又ドシナ狀況ニアラウトモ、此ノ際單價引下ゲナケレバナラヌト云フ決意ノ下ニ、先ヅ二月ニ於キマシテ軍需品ノ値上リト云フコトニ付キマシテ、止メヲ刺シタノデアリマス、ソレハ十三年ノ十二月三十一日以前ニ於ケル最近時ノ調劑價格ヲ標準價格ト、斯ウ陸軍デハ定メマシテ、ソレヨリモ高ク調劑スルコトハ相成ラヌ、ソレヨリモ高ク調劑スル時ニハ、其ノ直後ニ於テ豫定價格ヲ軍需品ノ標準價格ト定メタノデアリマス、ソレニ加ヘマシテソレヨリモ出來ルダケノ價格ノ引下ヲ、調劑官ニ要求シタノデアリマス、ソレハ製造技術ノ熟練向上トカ、或ハ需要供給ニ彈性力ヲ持



セルトカ、或ハ生産力擴充施設ノ軌道化ト  
カ、工場管理ノ合理化、或ハ原材料價格ヲ  
供給者ト協定ヲ致シマシテソレヲ引下ゲル  
トカ、或ハ軍需品會社ノ利潤ヲ抑制スル  
カ云フヤウナコトデ、或ル品種毎ニ、或ハ  
部局毎ニ低下ノ目標ヲ定メマシテ、サウシ  
テ其ノ目標ニ邁進ヲサセテノデアリマス、  
是ガ二月ニ於ケル狀況デアリマスガ、議  
會ガ決議ミマシテ四月ニハ、陸軍ニ於キマシ  
テ軍需品購入對策委員會ナルモノヲ設ケマ  
シテ、中央部ガ爲スベキ價格低下ノ方策ヲ  
審議ヲ致シマシテ、ソレニ基キマシテ調停  
ノ實行ヲヤラセルヤウニ指導ヲ致シマシ  
シ、又次イデ調停主任者會議ヲ催シマシ  
中央部ノ審議致シマシテ方途ヲ授ケテ、極  
力其ノ方針ニ副フ様ニ努力ヲサセテノデア  
リマス、又一方ニ於キマシテ軍需品ノ供給  
者ノ側ノ代表者、社長、重役連中ノ會同ヲ  
催シマシテ陸軍大臣、陸軍次官其ノ他主務  
局長カラ、軍需品價格ノ適正ヲ要望シマシ  
テ、ソレニ對シテ協力援助ヲ要望シタ  
デアリマス、斯ノ如クニ致シマシテ全力ヲ  
盡シテ參リマシテ、其ノ結果ハドウカト申  
シマスルト、品物ニ依ツテ皆違フノデアリ  
マス、一割ニ三分下ツテ居ルモノモアリマ  
スシ、或ハ四分下ツテ居ルモノモアリマ  
スレドモ、先ツ全般ヲ通ジマシテ六分以上七  
分位ナ經過ニナツテ居リマス、其ノ中陸  
軍ト致シマシテ金額ノ一番高ク上リマスモ  
ノハ、航空兵器ノ類デアリマス、是ナドニ  
ハ最モ力ヲ注イダノデアリマスガ、其ノ  
方デモ平均八分位ノコトニナツテ居リマ  
スガ、ドウモ一般ノ民間ノ生活資料ト同  
ナモノ、例ヘバ糧秣廠デ調停致シマスル糧  
秣品類、或ハ臨時東京陸軍經理部アタリデ、

是モ一千種位ゴザイマスガ、民間一般ノ需  
要品ト品類同ジクスル物ハ、民間ノ値上  
リニ進レマシテ、是ガ値上ルノハ已ムヲ得  
ヌコトデゴザイマシテ、此ノ方面デハ思フ  
ヤウニ下ゲルコトハ出来マセヌデシタガ、  
今申シテ通リ全般ヲ通ジマシテ、約六分一厘  
一毛位ノコトニナツテ居リマス、尤モ是ハ  
昭和十四年ノ四月カラ十月位マデノ實績デ  
ゴザイマシテ、ソレヨリ後ノハ今調停サセ  
テ居リマス、ソレデハ先刻申上ゲマシタ基  
準價格、十三年十二月ノ價格ニ伴フ所ノ豫  
算カラ、ドレ程節減ガ出来タラウカ、斯ウ  
云フコトニナリマスガ、是モ四月カラ十  
月マデノ調停デアリマスガ、五千六百萬圓バ  
カリノ餘裕ガ出来タラト云フ譯デアリマ  
ス、是ハ既述ニ於ケル經過並ニ實績ヲ申上  
ゲタノデアリマスガ、今後ニ於キマシテ  
モ、此ノ傾向ハ決シテ鈍化スルコトナシ  
益安イ價格ヲ調停ヲ致シヤウニ指導シナ  
ケレバナラヌト思フテ居リマス、其ノ中價  
格ノ低下ニ役立チマスルモノト致シマシテ  
ハ、ロスガ減少致シマス爲ニ、單價ハウ  
ト抑ヘルコトガ出来ルト思フ、又技術方  
上致シマシタノデ、單價構成ノ要素デア  
ル勞力費モ減ルト思フノデアリマスガ、併  
シナガラ陸軍自體ニ於テモ努力ヲ致シマ  
スガ、何ヲ申シマシテモ政府ノ低物價政策  
ノ方ガ、之ニ先ダチマシテ十分ナル效果ヲ  
奏シマセヌト、唯陸軍自體ノ力ダケデハ、  
其ノ中ノ幾分カノ效果ヲ奏スルノミデア  
カト存ジテ居ルノデアリマス、ソレデア  
リマスノデ、私共モ物價委員會ノ幹事ノ末席  
ニ列シテ居リマシテ、意見ヲ申上ゲル機  
會ヲ與ヘラレテ居リマスノデ、物價委員會  
對シマシテハ、極力其ノ點ヲ御願シテ居

マシテ、一般的ニ物價ヲ下ゲテ貰フト云フ  
コトガ、先決問題デアル、ソレニ併セテ陸  
軍ハ自分デ働キ得ル範圍ニ於テ働クト云フ  
コトニ進マナケレバナラヌト思フテ居ル  
デアリマス  
○中島委員 詳細ナル御答辯ガアリマシテ  
能ク諒解致シマシタ、五千何百萬圓ノ節約  
ヲ短期間ニセラレタコトハ洵ニ結構ナコト  
デアリマス、尙ホ此ノ方針ニ依リマシテ極  
力十三年十一月三十一日ノ標準ニ持ツテ行  
カレンコトヲ希望致シマス、今經理局長ノ御  
答辯ノ中ニ、軍需會社ノ利潤ニ付テモ、ヨ  
ク整理セラレタ言ハレタノデアリマスガ、  
大體陸軍ニ軍需品ヲ納メテ居ル會社ノ數、  
及ビ其ノ平均利潤ガドレ位ニナツテ居ル  
デアリマセウカ、又ドレ位高イノドレ位  
ノ程度ニ引下ゲマシテ、利潤ノ調整ヲ圖  
ツタノデアリマスガ  
○石川政府委員 是ハ會社ノ種類ニ依ツテ  
モ違ヒマスルシ、生産品ノ違ヒマスルニ應  
ジマシテ、一律ニハ申上ゲラレマセヌガ、  
先ツ目安ト致シマシテハ、一年一割以內ト  
云フコトニ致シテヤツテ居ルノデアリマス、  
隨ヒマシテ三回轉數スモノハ、三分位ノ利  
潤ヲ見込マレト云フ風ニ致シテヤツテ居  
ルノデアリマス  
又一面利益配當審議會ノ方ニ於キマシテ  
モ、陸軍ノ工場ニ對シマシテハ、總動員法  
第十一條ニ依リマスル配當制限デアリマス  
ルガ、是ハ一割以內ノ利益配當デアリマ  
スレバ、一決算期ニ一分ヅツ上ゲテ行ツテモ  
宜シト云フコトニナツテ居ルノデアリマ  
スルケレドモ、陸軍ト致シマシテハ極力會  
社ニ相談致シマシテ、前ノ期ガ六分デア  
レバ六分、七分デアレバ七分ト云フヤウニシ

テ、ソレヲ上ゲナイヤウニスルト云フ風ナ  
コトデ、極力利益ハ少ク取ツテ貰フテ、ソ  
シテ此ノ聖職ニ軍需品生産ノ方面カラモ、  
一ツ出来ルタケ援助參與シテ貰ヒタイ、斯  
ウ云フ方針デアリマス  
○中島委員 一割ソコノニ軍需工業ノ利  
益ヲ抑ヘテ居ルヤウデアリマスガ、下請  
工場ノ小サイ百萬圓以下ノ會社ニナリマス  
ト二割、大キナノニナルト三割モ配當シテ  
居ルノデアリマスガ、聞ク所ニ依リマス、  
私共ノ調査シマシタ點ニモアリマスガ、下  
請工場ハ親會社ニ納メル品物ガ不合格品ガ  
非常ニ多イ、前ニ親工場カラ陸軍ヘ納メル  
方ノ不合格品ノ率ハ、大體十三年度ニ比シ  
テ十四年度ハ「ロス」ガ、減少シツツアルト  
云フヤウナ御話デアリマスガ、不合格ノ程  
度ハドウナツテ居リマスガ、下請工場カラ  
親工場ニ納メル、親工場カラ陸軍ニ納メル、  
斯ウ云フヤウナ關係ニ於キマシテ、ドンナ  
風ニナツテ居ルノデアリマセウカ  
○石川政府委員 不合格ノ率トシテ只今私  
申上ゲルタケノ數字ヲ持ツテ居リマセヌノ  
デアリマスガ、唯抽象的ニ申上ゲマスト、  
初メノ中ハ相當ニ不合格品ヲ出シテ居ツタ  
ノデアリマスガ、漸時技術ノ熟練ト、又技  
術ノ指導トニ依リマシテ少クナツテ居ルト  
云フ傾向ヲ迪ツテ居ルヤウニ存ジテ居リマ  
ス、尤モ儲ケノ關係ニ於キマシテハ、事變  
初メニ於キマシテハ、下請工場ハ非常ニ親  
會社ガ利益ヲ吸收シテマツテ、自分ニ與  
ヘラレル所ノ利潤ガ少イト云フコトデ不平  
ヲ言ツテ居リマシタガ、其ノ後ハ却テ親會  
社ヨリモ下請工場ノ方ガ非常ニ利潤ガ増シ  
テ、利益ヲ餘計ニ取ルヤウナ狀態ニナツタ  
ト云フヤウナ傾向デアリマシタガ、是モ亦

引續ツテ參リマシタヤウニ考ヘテ居リマス、  
時々陸軍省カラ調査ノ人ヲ派遣致シマシテ、  
調査致シマシタ報告ヲ受ケテ居リマス、數  
字的ニドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコ  
トハ申上ゲラレマセヌ  
○中島委員 監督ノ方法、組織ハドウ云フ  
風ニヤツテ居ルノデアリマセウカ、此ノ軍  
需工業ニ對スル監督ハ、下請工場ニマデ徹  
底シテヤツテ居ルノデアリマセウカ、又最近  
ニ於テ人員モ殖ヤシテ居ルト云フコトデア  
リマスガ、ソレニ依リマシテ十分ニ效果ヲ  
舉ゲラレテ居ルノデアリマセウカ、横カラ  
軍需工業ノ狀態ヲ見テ居リマス、相當監  
督ガ行届イテ居ナイ所モアルヤウニ見受ケ  
ラレノデアリマシテ、例ヘバ川口ニ軍需  
品ヲヤツテ居ル或ル工場アリマス、物動  
計畫ノ上カラ配當ヲ受ケテ鐵ヲ七割ハ軍需  
工業ニ使ツテ三割ハ平和工業ニ使ツテ胡麻  
化シテ居ルト云フヤウナ所モアリマス、私  
知ツテ居ル人ガ軍手ヲヤツテ居リマスガ、  
軍手百ニ對スル純綿割當ヲ百貫ツテ居リマ  
スガ、技術ガ上手ニナツテ六乃至七度出來  
ル、アトノ三ハ平和工業ノ方ニ使ツテ胡麻  
化シテ居ル、斯ウ云フヤウナコトニ對スル  
監督デスガ軍需工業用トシテノ鐵ナリ綿絲  
ナリヲ配當サレテ、ソレヲ胡麻化シテ平和  
工業的ノモノニ使ツテ、之ニ依ツテ利益ヲ  
得テ居ルヤウナ下請工場ガ、私ノ調査ニ依  
ルト大分アルヤウデスガ、其ノ邊ノ監督ハ  
ドウデアリマセウカ、其ノ點ガ非常ニ大事  
ナ點デアリマシテ、物動計畫ガ水膨レニナ  
ツテ來テ居リマス、サウ云フモノガ深山ア  
ルト致シマシタナラバ、相當深山アルヤ  
ウニ見受ケテ居リマスガ、サウ云フ點ヲ陸  
軍ノ方トシテハ、十分監督サレテ居ルノデ

アリマセウカ  
○石川政府委員 下請工場ニ對スル監督ハ、  
未ダ十分ナラズト申上ゲナケレバナラヌ狀  
態ニゴザイマスノハ、其ダ遺憾デゴザイマ  
ス、併シナガラソレハ遺憾ニ依ツテ十分ナ  
ラズト申上ゲルノデハゴザイマセヌ、監督  
官ノ人員ガ非常ニ少イノデゴザイマス、ソ  
レハ編制ハ大キク作ツテ豫算ヲ戴キマシ  
テ、ソレニ充當スベキ人間ガアリマセヌノ  
デ、一人ノ監督官ガ、大キナ會社ヲ三ツモ  
四ツモ掛持ツシナケレバナラヌト云フ狀態  
ニナツテ居リマスノデ、下請工場ノ所マデ  
ハ手ガ及ビ難ネルノデアリマス、併シナガ  
ラ下請工場ニ對スル監督ヲ徹底セシナケ  
レバナラヌト云フ中央部ノ方針ハ、確乎トシ  
テ決ツテ居ルノデアリマスガ、實力ガソ  
コマデ及ビナカウツノデアリマス、ソレデ  
又下請會社ト云フノ組織サレテ居リマセ  
ヌデシテ、一ツノ下請工場ガアツチノ親會  
社ノ仕事ヲシ、コツチノ親會社ノ仕事ヲシ  
テ居ル、又親會社ノ方デハ下請ノ適合ヒヲ  
マシノデ、先程申シマシタ陸軍省ニ開キマ  
シタ四月ノ軍需品購入對策委員會ニ於キマ  
シテモ、此ノ事項ヲ取上ゲマシテ、下請工  
場ノ新制、下請工場ノ適正ニ關スル件、錯  
雜サセル下請作業並ニ是ガ利用分野ヲ新制  
スルト共ニ親工場ト下請工場トノ能力ヲ調  
整シ且ツ指導監督ヲ徹底シテ下請工場ヲ  
適正ナラシムルコト、斯ウ云フコトハ夙ニ  
方針ヲ決メマシテ、ソレハ監督官ヲ派シ  
マシテ、サウシテヤラセテ居ル譯ナラデ  
アリマス、漸次其ノ方向ニハ向ツテ居リマ  
スケレドモ、大キナ難ヲシテ私ガ十分ダト申  
上ゲルコトハ、今出來マセヌノデアリマス、

益ニ監督官ノ數モ増シテ貰ヒ、質モ向上サセ  
マシテ、此ノ方面ニモツツ善處シナケレバ  
ナラヌト思フテ居リマス  
○中島委員 根本方針ト致シマシテ、陸軍  
ノ軍需工場ノ生産擴充ノ方針ハ重心ヲ何處  
ニ置イテ居ルノデアリマセウカ、換言スレ  
バ所謂大工場集中主義ヲ執ツテ居ルノデア  
リマセウカ、或ハ小工場若クハ下請工場ノ  
ヤウナモノニ撒布サセテヤル方針ヲ執ツテ  
居ルノデアリマセウカ、ドウモ私共一般ニ  
見テ居リマスニ、非常ニ複雑、亂雜デア  
ツ、非常ニ國民經濟上カラ考ヘテモ、ウエ  
ガ多イヤウデアリマス、是ハ下請工場ノ  
方、中及ビ小ノ工場ニ縱ニヤル方針ノヤ  
ウニ見エルノデアリマスガ、私ハ横ニ大キ  
ナ工場ヲ延バシテ行クコトニシタ方ガ能率  
的デハナイカト思ヒマス、ソレカラ技術ハ  
熟練シテ良クナツタト仰シヤイマスケレド  
モ、私共ノ見テ所デハ、反對ノヤウデア  
リマス、非常ニ努力ガ今拂底シテ居ツテ、熟  
練工ノ奪ヒ合デアツテ、不熟練職工ガ非常  
ニ入ツテ來テ居ル、物モ取引デ非常ニ高  
イモノヲ下請工場デ使ツテ居ル、又金利モ  
高イ、海軍ノ時モ申上ゲマシタヤウニ、  
高利貸ニ往々ニシテ食ハレテ居ル、ソレハ  
興業銀行ノヤウナ所ヘハ頼出シガ出來ナ  
イ、又行ツテモ取上ゲテ呉レナイ、又三箇  
月モ經タナケレバ貸シテ呉レヌ、高利貸ニ  
行キマス、直グ其ノ日ニ三時間位貸シ  
テ呉レルガ、其ノ金利ガ日歩三十錢位ト云  
フ金ヲ使ツテ居ル下請工場ガアルノデア  
リマス、ソレ等ガ三割モノ配當ヲシテ居ル  
ガ不思議デアラヌ、餘程高イ金利ト、間相  
場ノ高イ物ト、間取引デ他所ノ熟練工ヲ  
盜ンデ來タモノトニ依リマシテ作ツテ、下

請工場ガ相當高ク親工場ニ賣ツテ居ルノデ  
アリマス、所ガ上ノ方ノ親工場ハ、陸軍ニ  
利潤ヲ抑ヘラレテ、一割位シカ儲ケサセヌ、  
是ハ何處カニ皆ヤツテ居ル所ガアルノデ  
ハナイカ、ソレハ何處カ分リマセヌガ、サ  
ウ云フ所ヲ横カラ眺メテ研究シテ見ルト、  
割切レヌ所ガアルノデアリマス、十三年、  
十四年ハ御承知ノ通りニ急激ニ生産擴充ノ  
膨脹デアツテ來タカラ、已ムヲ得ナカウツ  
ガ、是カラ縮括リヲ付ケテ行カナケレバナ  
ラスノデ、堅實ナル地步ノ下ニ、大キナ  
戦ヒモナカラウト思ヒマスカラ、此ノ軍需  
工業ニ對スル大體ノ御方針ヲ何處ニ置カ、  
生産擴充ノ上カラ言ツテモ、又此ノ陸軍ノ  
軍需工業ト云フモノハ、民間ノ非常ニ模範  
ニナルノデス、是ガ民間ノ金利ノ標準ニナ  
リ、物價ノ標準ニナリ、或ハ勞働賃銀デモ民  
間ノ標準ニナルノデアリマス、陸軍軍需工  
場ガ一ツ出來ルト、其ノ附近ノ平和工業ハ、  
勞銀モ引上ゲルシ、生産物モ隨テ上ゲル、又  
使フ金利モ高クナルト云フヤウナ關係ニナ  
リマシテ、大變ニ他ノ平和産業ニモ及ボス  
影響ガ大キイノデアリマス、ソレ等ノ點ニ  
付キマシテノ御方針モ、ドウ云フヤウニ御  
考ニナツテ居リマスガ、是ハ大事ナコトデ  
アリマス  
○石川政府委員 只今仰セラレマシタヤウ  
ナ、高イ金利ノモノヲ使ヒ、物資ヲ間相場  
デ高ク買ヒ、高イ勞働賃銀ヲ出シテ居ルト  
云フ狀態モアルコトハ、私モ存ジテ居リマ  
ス、是ハ金利ノ高イモノヲ借りテ居リマ  
スレバ勢ヒ下請價格ガ高クナルニ違ヒナイノ  
デゴザイマス、是ハ私ノ方ノ理想通りニ行  
キマスレバ、斯ウ云フコトハアリ得ナカウツ  
タノデアリマス、併シ手ガ行届カナカウツ



カト思フノデアリマス、モウ少し別ノ言葉  
デ中上ゲテ見マスト官廳ニ於キマシテハ、  
殊ニ陸海軍ニ於キマシテハ、前金拂ノ制度  
ヲ御承認ヲ願フテ居ルノデアリマスガ、是  
ガ親工場ニハ渡リマスガ、親工場カラ下  
ハ是方染込シテ行カナイ、親工場ハ金庫ノ  
非常ナ援助ヲ受ケテ居ルケレドモ、下請工  
場ノ方ニ於キマシテハ、ソレガ調ツテ居ラ  
イト云フ點モゴザイマシタノデ、其ノ點ヲ  
發見致シマシテ、親會社ヲシテ財政的援助  
ヲヤラセルヤウニ指導ヲ致シツツアルノデ  
アリマス、又物資ヲ團相場デ高ク買ハナケ  
レバナラスト云フ事態ヲモ認メマシテ、親  
會社ヲシテ幹旋セシメル、親會社ガ幹旋シ  
得ナイ所ハ、陸軍デ出來ルダケノ援助ヲシ  
テヤリマシテ、サウ甚ダシイ高イモノヲ買  
ハナイヤウニスルト云フコトニ指導致シツ  
ツアリマス、又労働ノ方ハ、是ハ各工場ノ奪  
セ合デアリマシテ、勢ヒ高イ貨銀ヲ拂ハナ  
ケレバ居力カナイト云フヤウナ状態デアリ  
マシタガ、是モソレレ、制限ノ法令ガ出マ  
シテ、今ノ所デハ那樣ナ状態モ改ツタモノ  
ト思ツテ居リマス、併シナガラ澤山ノ利益  
ヲ取ルチヤナイカト云フコトニ付キマシテ  
ハ、何シロ町工場ノ如キハ自分ノ家庭的  
ニヤツテ居ルノデアリマシテ、而モ夜モ晝  
モ働カセルト云フヤウナ風デアリマシテ、  
非常ニ經濟的ニヤツテ居ルモノデアリマス  
カラ、大キナ會社デヤツテ居ルモノト違ヒマ  
シテ、資金モ餘リ要ラナイシ、使用人モ少  
イト云フヤウナ點デ、割合ニ利益ガ厚ツテ  
居ルノダト思ヒマス、陸軍ト致シマシテ、  
將來ノ下請工場ノ對策ヲ如何ニ見テ居ルカ  
ト云フ御等ニ對シマシテハ、下請工場ハ努  
メテ専門部分工場トナサシメマシテ、親工

場トノ關係ハ、軍ノ指導幹旋ノ下ニ、從來ニ  
比ベテ一層緊密且ツ有機的ナラシメ、是ガ  
爲親工場ノ下請工場利用分野ノ合理化、親  
工場ノ下請工場ニ對スル發注量ノ保障及ビ  
原材料ノ供給、技術的資本的援助ヲ爲サシ  
タマシテ下請工場ノ經營ノ堅實ナル發展ヲ  
助長スル如クテ、指導致シタイト思ツテ居  
リマス  
○中島委員 私人質問ハ大體是デ終リマス  
○末松至奎 加藤君  
○加藤委員 簡單ニ御申上ゲテイト思ヒ  
マス、御承知ノヤウニ支那ノ工業地帯トシ  
テ、最モ知ラレテ居リマスノハ無錫地方デ  
アリマス、此處ニハ製絲工場ダケデモ中々  
數多クアリマシテ、其ノ他ノ各種ノ工業モ  
發達シテ居リマスノデ、聞ク所ニ依ルト、  
蔣介石ハ何トカシテ其ノ無錫ヲ取遣ヘシタ  
イ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ色々ヤツテ見タガ  
到底其ノ見込ハ立タナイ、立タナイ以上ハ  
日本人ヲシテ安シク無錫デ工業ニ從事シ  
テ居ルコトノ出來ナイヤウニシタイ、斯ウ  
云フヤウナ考カラ、絶ヘズ所謂刺客ノヤウナ  
者ヲ送ツテ、日本人ニ對シテハ一人一殺主  
義ト云フヤウナ方針ノ下ニ仇ヲ加ヘテ居  
ル、斯ウ云フ話ヲ實ハ聞イタノデアリマス、  
實ハ私共ソコヘ參リマス際ニ無錫ニハ成ベ  
テ行カヌ方ガ宜イ、行ツテハ頗ル危險ナ  
ルカラト云フヤウナ注意ヲ他カラ受ケタノ  
デアリマスガ、併シ蘇州トカ、無錫トカ、抗  
州方面ハ蠶絲業ニ取ツテハ最モ重要ナ地點  
デアリマスカラ如何ナル間諜ガアツタ所デ  
仕方ガナイ、斯ウ云フ考ノ下ニ實ハ無錫ヘ  
參ツタノデアリマス、其ノ際實ハ南京ノ司  
令部ヲ御訪ネ申上ゲマシテ、色々御話ヲ申  
上ゲテ何トカ一ツ特ニ向フヘ行ツテ蠶絲業

ノ状態、其ノ他各種ノ工業状態ヲ調べタイ  
ト思ヒマシタシカラ、便宜ヲ與ヘテ實ヒタ  
イト御願シマシタ所ガ、宜シイ、コチヲノ  
方カラ電話ヲ掛ケテ置カウト云フヤウナ御  
話デアリマシテ、其ノ積リテ無錫ヘ下車ヲ  
致シマシタガ、ドウモ何處ヘ行ツテ宜イ  
カサツバリ分ラナイ、漸ク一憲兵ノ方ニ  
御願シマシテ色々頼ミマシタケレドモ、  
ツイドウモサウ云フヤウナ允許ヲ與ヘテ載  
クコトモ出來ナイデ、吾々ハ満足ナ調査モ  
爲シ得ナイデ實ハ引揚ゲタノデアリマス、  
其ノ時町ノ様子ト言ヒ、又其處ニ居ラルル  
日本人ノ話ト言ヒ、色々頼ミマシテソレヲ  
綜合ヲシマス、要スルニ中々物懸千萬デ、  
自分等ガ此處ニ居ツテ仕事ヲヤツテ居ツテ  
モ、一日モ安心思ガナイノデアアル、普通ノ  
人間ナラバモウ疾ニ神經衰弱ニナラナケレ  
バナラスヤウナ状態デアルケレドモ、幸ニ  
此處ニ來テ居ル者ハ皆頑丈デ、又サウ云フ  
コトハ餘リ大シテ苦ニモシナイノデ、ソレ  
ガ爲ニ神經衰弱ニナルト云フヤウナコトモ  
ナイケレドモ、ドウモ中々油斷モナラナイ  
ノデ、思フヤウニ發展スル譯ニ參ラス、色  
色サウ云フヤウナ話モアツタノデアリマス、  
ソコ段々ヨク聴イテ見マスル、要スル  
ニ守備隊ガ少イ、是ハ無錫バカリデハナク  
テ、其ノ他ノ地方デモ我方守備軍ノ澤山居  
ラルル所ハ、サウ云フヤウナ危險ハ稀ニア  
ツテモ、マアナイト云ツテ宜イヤウナ譯デ  
アルケレドモ、其ノ守備軍ノ少イ所、殊ニ無  
錫ノヤウナ我方守備セラルル方々ノ極メテ  
稀薄ノ所ニ於キマシテハ、エテサウ云フ風  
ヲ危險ノ状態ニアルヤウニ思ハレルノデア  
リマス、ソコ段々私共考ヘマスノニ、中々ア  
ア云フ廣イ範圍デアリマシテ、地圖ノ上デ

見ルトチヨボリト指ヲ付ケタ位ノ所デアリ  
マシテモ、行ツテ見マスト大變ナ廣イ範圍  
ニ瓦ツテ居ルノダカラ、中々容易ナモノノ  
ハナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘタノデアリマス  
ケレドモ、併シ無錫ノヤウナアア云フ工業地  
帯デアリ、殊ニ我方日本人ガ行ツテ、蠶絲  
業其ノ他ノ工業ニ從事シヨウト云フヤウナ  
所ハ、特ニ守備兵ヲ澤山ニ増シテ、アア云  
フ危險状態ニ置カレナイ方ガ宜イノデハナ  
イカ、斯ウ云フ風ニ實ハ痛感シタノデアリ  
マス、併シ此ノ點ニ付テハ、吾々軍部ノコ  
トハ少シモ分リマセヌノデ、唯素人考デサ  
ウ云フ風ニ思ウタノデアリマス、折角斯ウ  
云フ風ニナツテ居ル所ヲ、不安ノ状態ニ置  
クト云フコトハ遺憾ナコトデアリナイカト云  
フ風ニ考ヘ、今デモサウ云フ風ニ考ヘテ居  
ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ一ツ吾々  
共ニ吞込メマスルヤウニ、御話ヲ伺フコトガ  
出來レバ、大變結構ダト思フノデアリマス  
○畑國務大臣 無錫ガ殊ニ危險デアルト云  
フヤウナコトハ、實ハ初メテ伺ツタ次第デ  
アリマスルガ、御承知ノ通り無錫ハ蔣介石  
政權ノ時ニハ製粉、製絲ノ大キナ工場ガア  
リマシテ、是ハ御覽ニナツタコトト考ヘマ  
スガ、上海戰爭ノ時ニ支那軍ガ退却ヲシテ、  
彼處デ相當強固ニ抵抗致シマシタ、又相當  
ノ爆撃ヲシタノデアリマス、今ハドウナツ  
タカ存シマセヌケレドモ、私ノ居リマシタ  
時分ニハ、隨分荒涼タル非常ナ慘憺タル光  
景ヲ呈シテ居ツタノデアリマス、隨テ其ノ  
破壊ヲ激シウゴザイマスカラ、復元モ段々  
遅レテ來ルト云フヤウナコトニナルト思フ  
ノデアリマスルガ、大體上海ト南京トノ間  
ノ鐵道ノ中デ一番損害ヲ受ケタ所ハ無錫、

常州、アノ邊デアリマス、ナゼカト申シマ  
スルト、匪賊ガ太湖ヲ根據トシテ、サウシ  
テ海賊見タイナ奴ガ陸ニ揚ツテ來テ鐵道ヲ  
壞ハス、又太湖ノ西側ノ山地ニ根據ヲ持ツ  
タ匪賊ヲ殘敵等ガ出テ來テ鐵道ヲ壞ハス、  
アノ邊ガ一番損害ガ多イノデアリマス、ダ  
カラ軍ト致シマシテアノ邊ニハ相當ノ考  
慮ヲ拂ツテ居リマスルシ、隨テ配備モ厚ク  
ナツテ居リマスガ、何ト申セ今アノ邊ニ居  
リマスル軍ハ、或ル一定ノ地域ヲ受持チマ  
シテ、サウシテ其ノ間ノ警備ヲ擔任シテ居  
ルノデアリマス、デアリマスカラ、兵力ニ  
制限モアリマスノデ、サウ何處デモ到ル處  
ニ兵力ヲ置クト云フ譯ニ參リマセス、隨テ  
最小限ノ必要ナ兵力ヲ到ル處ニ置イテ、サ  
ウシテ相當ノ警備隊ヲ以テ何カ被奴怪シ  
イ、彼處ハ今度匪賊ガ出テイカスト云フ時  
ニハ、ドツト出テ討伐スル、始終討伐ヲシテ  
居ル譯デアリマス、ソレデ此ノ間モ儘カ松  
木君デアリマシタカノ發表ニ依ルト、非常  
ニ回數ガ多イト云フヤウナ御話モアリマシ  
タガ、詰リ彼處ノ村ニ何人匪賊ガ出タカラ  
直ダ行ツテ叩ク、此處ノ村ニ何人出タカラ  
叩クト云フ風デ、非常ニ交戦回數ガ多クナ  
ルノデアリマシテ、今後發達致ス無錫ニ於  
キマシテハ、軍ト致シマシテモ當然相當ノ  
關心ヲ持ツテ、治安維持ヲ圖ルコトト確信  
シテ居リマス、加藤サングオ出デニナリマ  
シタ時ニハ、甚ダドウモ御扱ガ惡カウツヤ  
ウデアリマスガ、ソレハ何カノ都合デアリ  
カナカウツノダト思ヒマス、其ノ點ハ惡カ  
ラズ私カラ御話申シテ置キマス

後ノ話ヲ聞イタ上デ、綜合シテ實ハ御話申  
上ゲタ譯デアリマス、最近ニモ向フカラ來  
タ人ノ話ヲ聞イテ見マス、今日尙ホ依然  
トシテ其ノ治安ヲ維持ガ出來テ居ラナイ、  
實ニドウモ物懸千萬デアアル、斯ウ云フコトヲ  
申シテ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デア  
リマシテ、私ノ參ツタノハ昨年ノ六月上旬  
デアリマシタガ、モウ既ニ半年以上モ過キ  
テ居ル今日、向カラ來タ人ノ話ニ依ルト、  
今日尙ホ申上ゲタヤウナ次第デアアルノデア  
リマス、私共ガ行ツテ何モ便宜ヲ與ヘテ費  
ヘナイカラ、ドウ斯ウ云フコト云フ意味ハ少  
シモナイ、勿論外人達モ向フニ居リマシ  
テ、隨分世話ヲシテ呉レマシタ、ダカラ唯  
危險千萬デアアルカラ、調査ニ行キタイト思  
フ所モ行クコトガ出來ナイ、外ノ方面ハ皆  
全部警備兵ヲ附ケテ置キマシテ、思フ存分  
ニ御慰問ヲ申上ゲ、又調査ニ致シテ參ツタ  
ノデアリマスケレドモ、無錫ダケハ何トシ  
テモ、サウ云フ便宜ハ得ラレナカウツ、得  
ラレナイカラト言ツテ決シテ其ノ不平ヲ申  
上ゲル譯デアリナイ、ソレハ御尤モ至極デア  
ル、詰リ守備兵ハ少イカラ、其ノ少イ所ヘ  
吾々ガ行ツテ、サウ云フ御無理ヲ申上ゲル  
ト云フコトハ、コチラガ惡イノデアツテ、  
ソレヲ今取立テ申上ゲルノデハナイ、私  
共色々事情ヲ察イテ見ルト、向フニ居ル日  
本人トシテモ甚ダ危險千萬デアアルガ、其處  
ニ守備ノ任ニ當ツテ居ラレ方モ、洵ニ御  
氣ノ毒ナ感シガシテ居ルノデス、サウ云フ  
譯デアアルカラ、アア云フ重要ナ工業地帯、  
殊ニ上海カラ南京ヘノ道路ノ一ツニアル都  
市デアリマシテ、日本人ガ行ケバ必ズ其處  
ヘ行カウトスル、行ケバ向フハ治安ガ出來  
テ居ラス、サウスルトソレ一ツダケデモ、

歸ツテ來タ人ナドノ話ヲ聞イテ、マダ支那  
ハ駄目ダ、治安ハ維持サレテ居ラス、ヤア  
何ハドウダト云フヤウナ話ヲスルノデス、  
ソレガ私ハ軍ノ爲ニモ宜クナイシ、總テノ  
方面ニ惡イ影響ヲ與ヘルノデハナイカト考  
ヘマス、サウ云フ意味デ實ハ御尋申上ゲ  
タノデアリマシテ、寧ろ是ハ御尋申上ゲル  
ト云フヨリモ、アア云フ所ヘハ特ニ一ツ守  
備軍ヲ御増シ下サツテ、サウシテ治安ヲ維  
持ガ立派ニ出來、日本人ガ行ツテモ蘇州其  
ノ他ノ地方ニハ安心シテ行カレル、又其處  
ニ居ル者モ安心シテ、其ノ業ニ從事スルコ  
トガ出來ル、斯ウ云フ風ニシテ下サル方  
ガ、結局事變處理ノ上ニ付テモ宜イノデハ  
ナカラウカ、斯ウ云フ心持ヲ以テ御話ヲ申  
上ゲタノデアリマスカラ、ドウモ其ノ御積  
リデ御願致シタイト思フノデアリマス  
ソコ段々立チマシタ序デアリマスカラ、尙  
ホ一ツ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、コト  
ハ、廣東方面ヘ參リマシタ所ガ、或所デ實  
ハ第一線ノ方々色々御見舞サセテ戴イテ、  
斯ウ云フヤウナ御話ヲ伺ツタノデス水ト云  
フモノガ一番ノ問題デアアル、惡イ水ヲ飲ム  
ナト言ツタ所デ喉ガ乾ケバドウシテモ飲マ  
ス譯ニハ參ラナイ、所ガ中々良イ水ガナ  
イ、今ハ相當注意シテ濾過シテ飲マセムヤ  
ウニシテ居ル、最近軍ノ方カラ配付セラレ  
タ濾過器ハ中々良イ、ケレドモ唯一ツダ  
ケ配付セラレタニ過ギナイ、或所デハ二ツ  
配付セラレタト申シテ居ツタノデスガ、サ  
ウ云フヤウナコトデハ機械ハ小キイシ、間  
ニ合ハナイ、中々良イ物ダト思ヒナガラ、  
ドウモ良イ水ガナケレバ濾サナイ水ヲ飲マ  
セナケレバナラスヤウナコトニナル、ソレ  
ガ爲ニ心配スルヤウナコトデアアルノダガ、

何トカ斯ウ云フヤウナモノハ、吾々ノ不自  
由ノナイヤウニ配付シテ貰フ譯ニ參ラスモ  
ノデアアルカ、斯ウ云フコトヲ二三聽イタノ  
デアリマス、ソコ段々私ハサウ言ツタノデ  
ス、是ハ甚ダ過ギタコトヲ申スカモ知レマ  
スガ、私共ハ軍ノ御要求ニ對シテハ、一  
厘一毛ト雖モ削除シテ居ラス、仰シヤル儘  
ニ御協賛ヲ申上ゲテ居ルノダ、然ルニ今斯  
ウ云フ所ニ來テサウ云フ話ヲ伺フコトハ頗  
ル遺憾ニ思フ、十分ナル御費用ヲ國民トシ  
テ差上ゲテ居ル積リデアアルガ、斯ウヤツテ  
萬里ノ波瀾ヲ起シテコチラニ來テ、非常ナ  
御苦勞下サル方々ニ對シテ、サウ云フ御不  
自由ヲサセルト云フコトハ、甚ダ吾々トシ  
テ遺憾デアルト云フコトヲ申上ゲタノデア  
リマス、私ハ昨日南京ニ參リマシタ時ニ  
モ司令官ノ方ニ、實ハ斯ウ云フ話ヲ聽イ  
テ居ル、是ハ吾々トシテハ意外ニ思フト云  
フコトヲ申上ゲタ、陸軍大臣ハ親シクア  
チヲニ御出陣ナシマシテ、能ク向フノ事  
情ヲ御承知ノコトデアアルカラ、ドウモ釋迦  
ニ向ツテ說法スルヤウナコトデアリマス、  
マセスケレドモ、併シドウモサウ云フコト  
ノデアリマス、ドウ云フ譯デアリマス、  
ニナツタノデアアルカ、實際支那ニ行クト誰  
ガ何ト言ツテモ困ルモノハ水デアアル、其ノ  
水ダケハ遺憾ノナイヤウニ供給シ得ルダケ  
ノ方法ヲ講ゼラレテハ如何デアアル、斯ウ云  
フ風ニ考ヘルモノデアリマスカラ、此ノ點  
ニ付テ一ツ御話ヲ伺フコトガ出來レバ、結  
構ダト思フノデアリマス  
○武蔵政府委員 アノ濾水器ハ日本獨特ノ  
モノデアリマシテ、世界ニ自慢シテ居ル立  
派ナモノデゴザイマス、此ノ濾水器ノ爲ニ



カト思フノデアリマス、モウ少シ別ノ言葉  
 申上テ見マスト官廳ニ於キマシテハ、  
 殊ニ陸海軍ニ於キマシテハ、前金拂ノ制度  
 ヲ御承認ヲ願フテ居ルノデアリマスガ、是  
 ガ親工場ニハ渡リマスガ、親工場カラ下ニ  
 ハ是ガ染込シテ行カナイ、親工場ハ金銀ノ  
 非常ニ援助ヲ受ケテ居ルケレドモ、下請工  
 場ノ方ニ於キマシテハ、ソレガ潤ツテ居ラ  
 ナイト云フ點モゴザイマシタノデ、其ノ點ヲ  
 發見致シマシテ、親會社ヲシテ財政的援助  
 ヲヤラセルヤウニ指導ヲ致シツツアルノデ  
 アリマス、又物資ヲ開相場高ク買ハナケ  
 レバナラスト云フ事態ヲモ認メマシテ、親  
 會社ヲシテ幹旋セシメル、親會社ガ幹旋シ  
 得ナイ所ハ、陸軍デ出来ルダケノ援助ヲシ  
 テヤリマシテ、サウ甚ダシイ高イモノヲ買  
 ハナイヤウニスルト云フコトニ指導致シツ  
 ツアリマス、又労働ノ方ハ、是ハ各工場ノ奪  
 ヒ合デアリマシテ、勢ヒ高イ賃銀ヲ拂ハナ  
 ケレバ居付カナイト云フヤウナ状態デアリ  
 マシタガ、是モソレノ制限ノ法令ガ出マ  
 シテ、今ノ所デハ斯様ナ状態モ改ツタモノ  
 ト思ツテ居リマス、併シナガラ澤山ノ利益  
 ヲ取ルチヤナイカト云フコトニ付キマシテ  
 ハ、何シロ町工場如キハ自分ノ家庭庭の  
 ニヤツテ居ルノデアリマシテ、而モ夜モ晝  
 モ働カセルト云フヤウナ風デアリマシテ、  
 非常ニ經濟的ニヤツテ居ルモノト違ヒマ  
 カラ、大キナ會社デヤツテ居ルモノト違ヒマ  
 シテ、資金モ餘リ要ラナイシ、使用人モ少  
 イト云フヤウナ點デ、割合ニ利益ガ集ツテ  
 居ルノダト思ヒマス、陸軍ト致シマシテ、  
 將來ノ下請工場ノ對策ヲ如何ニ見テ居ルカ  
 ト云フ御尋ニ對シマシテハ、下請工場ハ努  
 メテ専門部分工場トナサシメマシテ、親工

ノ状態、其ノ他各種ノ工業状態ヲ調べタイ  
 ト思ヒマシタシカラ、便宜ヲ與ヘテ貴ヒク  
 イト御願シマシタ所ガ、宜シイ、コチラノ  
 方カラ電話ヲ掛ケテ置カウト云フヤウナ御  
 話デアリマシテ、其ノ積リテ無錫ノ下車ヲ  
 致シマシタガ、ドウモ何處ヘ行ツテ宜イ  
 カサツバリ分ラナイ、漸ク一憲兵ノ方ニ  
 御願シマシテ色々頼ミマシタケレドモ、  
 ツイドウモサウ云フヤウナ免許ヲ與ヘテ載  
 タコトモ出来ナイデ、吾々ハ満足ニ調査モ  
 得ナイデ實ハ引揚ゲタノデアリマス、  
 其ノ時町ノ様子ト言ヒ、又其處ニ居ラルル  
 日本人ノ話ト言ヒ、色々頼ミマシテソレヲ  
 綜合シマスト、要スルニ中々物懸千萬デ、  
 自分等ガ此處ニ居ツテ仕事ヲヤツテ居ツテ  
 モ、一日モ安キ思ガナイノデアル、普通ノ  
 人間ナラバモウ疾ニ神衰弱ニナラナケレ  
 バナラスヤウナ状態デアルケレドモ、幸ニ  
 此處ニ來テ居ル者ハ皆頑丈デ、又サウ云フ  
 コトハ餘リ大シテ苦ニモシナイノデ、ソレ  
 ガ爲ニ神衰弱ニナルト云フヤウナコトモ  
 ナイケレドモ、ドウモ中々油断モナラナイ  
 ノデ、思フヤウニ發展スル譯ニ參ラス、色  
 色サウ云フヤウナ話モアツタノデアリマス、  
 ソコデ段々ヨク聴イテ見マスルト、要スル  
 ニ守備隊ガ少イ、是ハ無錫ノバカリデハナ  
 テ、其ノ他ノ地方デモ我ガ守備軍ノ澤山居  
 ラルル所ハ、サウ云フヤウナ危險ハ稀ニア  
 ツテモ、マアナイト云ツテ宜イヤウナ譯デ  
 アルケレドモ、其ノ守備軍ノ少イ所、殊ニ無  
 錫ノヤウナ我ガ守備セラルル方々ノ極メテ  
 稀薄ノ所ニ於キマシテハ、エテサウ云フ風  
 ナ危險ノ状態ニアルヤウニ思ハレルノデア  
 リマス、ソコデ私共考ヘマスノニ、中々ア  
 ヲ云フ廣イ範圍デアリマシテ、地圖ノ上デ

常州、アノ邊デアリマス、ナゼカト申シマ  
 スルト、匪賊ガ太湖ヲ根據トシテ、サウシ  
 テ海賊見タイナ奴ガ陸ニ揚ツテ來テ鐵道ヲ  
 壞ハス、又太湖ノ西側ノ山地ニ根據ヲ持ツ  
 タ匪賊千餘敵等ガ出テ來テ鐵道ヲ壞ハス、  
 アノ邊ガ一番損害ガ多イノデアリマス、ダ  
 カラ軍ト致シマシテモアノ邊ニハ相當ノ考  
 慮ヲ拂ツテ居リマスルシ、隨テ配備モ厚ク  
 ナツテ居リマスガ、何ト申セ今アノ邊ニ居  
 リマスル軍ハ、或ル一定ノ地域ヲ受持チマ  
 シテ、サウシテ其ノ間ノ警備ヲ擔任シテ居  
 ルノデアリマス、デアリマスカラ、兵力ニ  
 制限モアリマスノデ、サウ何處デモ到ル處  
 ニ兵力ヲ置クト云フ譯ニ參リマセス、隨テ  
 最小限ノ必要ノ兵力ヲ到ル處ニ置イテ、サ  
 ウシテ相當ノ豫備隊ヲ以テ何カ被奴怪シ  
 イ、彼處ハ今度匪賊ガ出テイカスト云フ時  
 ニハ、ドツト出テ討伐スル、始終討伐ヲシテ  
 居ル譯デアリマス、ソレデ此ノ間モ儲カ松  
 本君デアリマシタカノ發表ニ依ルト、非常  
 ニ回数ガ多イト云フヤウナ御話モアリマシ  
 タガ、詰リ彼處ノ村ニ何人匪賊ガ出タカラ  
 直ダ行ツテ叩ク、此處ノ村ニ何人出タカラ  
 叩クト云フ風デ、非常ニ交戦回数ガ多クナ  
 ルノデアリマシテ、今後發達致ス無錫ニ於  
 キマシテハ、軍ト致シマシテモ當然相當ノ  
 關心ヲ持ツテ、治安維持ヲ圖ルコトト確信  
 シテ居リマス、加藤サシガ出デニナリマ  
 シタ時ニハ、甚ダドウモ御坂ガ惡カツタヤ  
 ウデアリマスガ、ソレハ何カノ都合デア行届  
 カナカツタノダト思ヒマス、其ノ點ハ惡カ  
 ラズ私カラ御詫申シテ置キマス

後ノ話ヲ聞イタ上デ、綜合シテ實ハ御話申  
 上テ話ヲ聞イタ上デ、最近ニモ向フカラ來  
 タ人ノ話ヲ聞イテ見マス、今日尚ホ依然  
 トシテ其ノ治安ノ維持ガ出来テ居ラナイ、  
 實ニドウモ物懸千萬デアル、斯ウ云フコトヲ  
 申シテ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デア  
 リマシテ、私ノ參ツタノハ昨年ノ六月上旬  
 デアリマシタガ、モウ既ニ半年以上モ過ギ  
 テ居ル今日、向カラ來タ人ノ話ニ依ルト、  
 今日尚ホ申上テヤウナ次第デアアルノデア  
 リマス、私共ガ行ツテ何モ便宜ヲ與ヘテ貴  
 ヘナイカラ、ドウスウ云フコト云フ意味ハ少  
 シモナイ、勿論外人達モ向フニ居リマシ  
 テ、隨分世話ヲシテ呉レマシタ、ダカラ唯  
 危險千萬デアルカラ、調査ニ行キタイト思  
 フ所モ行ツコトガ出来ナイ、外ノ方面ハ皆  
 全部護衛兵ヲ附ケテ貴ヒマシテ、思フ存分  
 ニ御慰問ヲ申上テ、又調査モ致シテ參ツタ  
 ノデアリマスケレドモ、無錫ダケハ何トシ  
 テモ、サウ云フ便宜ハ得ラレナカツタ、得  
 ラレナイカラト云ツテ決シテ其ノ不平ヲ申  
 上ゲル譯デアナイ、ソレハ御尤モ至極デア  
 ル、詰リ守備兵ハ少イカラ、其ノ少イ所ヘ  
 吾々ガ行ツテ、サウ云フ御無理ヲ申上ゲル  
 ト云フコトハ、コチラガ惡イノデアツテ、  
 ソレヲ今取立テ申上ゲルノデアナイ、私  
 共色々事情ヲ聴イテ見ルト、向フニ居ル日  
 本人トシテモ甚ダ危險千萬デアアルガ、其處  
 ニ守備ノ任ニ當ツテ居ラレ方モ、洵ニ御  
 氣ノ毒ナ感ガシテ居ルノデス、サウ云フ  
 譯デアアルカラ、アア云フ重要ナ工業地帯、  
 殊ニ上海カラ南京ヘノ通路ノ一ツニアル都  
 市デアリマシテ、日本人ガ行ケバ必ズ其處  
 へ行カウトスル、行ケバ向フハ治安ガ出来  
 テ居ラス、サウスルトソレ一ツダケデモ、



日清、日露戦争時ヨリモ、傳染病ニ罹ツテ死ス者數方減ツタ位ニ良イモノデゴザイマシテ、是ハ事變後急速ニ製造致シマシテ、只今ノ所略、第一線ノ需要ヲ充テシテ居ル者ナラバ、第一線ノ需要ヲ充テシテ居ルマシタカ存ジマセスガ、アノ自動車ト云ヒ或ハ手デヤリマスモノニシテモ、各人々々ガ持つテ行ク譯ニハ參リマセヌノデ、或ハ末梢ノ部隊ニ於キマシテ、サウ云フ不便ナコトガアツタカモ知レマセスガ、大體第一線將兵ニハ之ニ依ツテ給水ガ出來ルヤウニナツテ居リマス、又御話ノヤウナ點モアルカモ知レマセスガ、十分調査致シマシテ御心配ヲ掛ケヌヤウニ今後注意シヨウト思ヒマス

○加藤委員 昨十分ニサウ云フモノハ行届タヤウニシテ戴キタイ、斯ウ云フ心持デ申上ゲルノデアリマシテ、決シテサウ云フコトヲ控イタカラ、ソレガイカスト云フコトヲ申上ゲルノデアリマシテ、大變水ニ困ツテ居ルノダカラ、晒タハ水ダケハ良イ水ヲ飲マセルヤウニ御配慮戴キタイ、ソレニハサウ云フ濾過器ヲ不自由ノナイヤウニセラレタイ、是ハ費用モ要スルコトデアリカラ、ソレハ十分御計上下サイマシテ、今後ト雖モ差支ノナイヤウ、不便ノナイヤウニシテ戴キタイ、斯ウ云フ趣旨デ申上ゲルノデアリマスガ、只今ノ御話ヲ伺ヒマシテ、サウ云フコトニナツテ居レバ頗ル結構ト思ヒマス

○石川政府委員 只今軍務局長カラ御答ニナリマシタガ、私カラモ附加致シ申上ゲマス、戦地ニ於キマスル給水ハ大キナ部隊ノ所トカ、又或ル所ニ駐屯シテ塊ツテ居ル所ハ、割合ニ能ク行ツテ居ルノデアリマス、

併シナガラ小部隊ガ出テ行ク場合トカ、或ハ斥候ニ行クトカ云フ個人ノ場合ハ一番難シテ居ルノデアリマス、近頃個人地帯用ノ大變良イノガ出來タノデアリマスガ、是モ第一線、第二線ト云フ風ニ造リマシタノデ、第一線、第二線ト云フハ、バールセント、デアリマセヌデシタガ、ソレヲ送ツテ使ツテ居リマス、又今度ハ殆ド理想的ナノガ出來マシテ、今ソレヲ整備シテ送リツツアル譯デアリマスカラ、漸次今仰シヤツタ難儀ナ點ハ緩和サレルコト思ヒマス、ソレカラ大キナ自動車ニ乗セテ居ル水器デアリマスガ、是ハ一臺五六万圓位致シマス、又小サナモノハ一四二三十圓位致出來マスガ、個人用、小部隊裝備用、大部隊用等色々種類ガゴザイマシテ、大キナ部隊ノモノヲ整備致スニハ、相當ノ研究費ト製造費ガ要ルノデアリマス、併シナガラ今加藤委員ノ仰シヤイマス通り、十分努力致シテ居ル次第デアリマス

○加藤委員 序デアリマスカラ今一點伺ヒマス、蘆溝橋ニ參リマシタ所ガ、例ノ一文宇山ニ記念塔ガ建ツタバカリデアリマシテ、大變多クノ人達ガ集ツテ居リマシタ、其處ニ澤山ノ兵隊サンモ居リマシタ、其處ニ色々御話ヲ伺ヒマシタ、其ノ際一人ノ支那人ノ婆サシガ居ツタノデアリマス、ソレヲ其ノ兵隊サンガ我が陸軍ノ母デアアルトカ、親デアアルトカ、實ニ感心ナオ婆サシデアルト云フ話ヲ聽カサレマシタ、私共其ノ話ヲドウ云フ所カラ言ハレルノカト段々察イテ見マス、我が軍方支那軍ニ包圍サレテ水ガナクテ困ツテ居ツタ時ニ、其ノ婆サシガ絶エズ良イ水ヲ汲ンデ來テ飲マシテ呉レタ、サウ云フコトガ我が軍ノ感謝ス

ル所トナツテ、其ノ後兵隊サン方ガ皆自分ノ親デアアルトカ、母デアアルトカ言ツテ非常ニ感謝シテ居ツタ、是ハ若シ日支事變ガ終ツタナラバ、第一支那人トシテ表彰セラレベキ者デアアル、斯ウ云フ話ヲ聽イタノデアリマス、サウ云フヤウナ美談ヲ非常ニ愉快ニ思イタノデアリマス、ソレガ本當デアルトシマスナラバ、是ハ日本ノ教科書ニモ入レテ宜イノチヤナイカト云フ位ニ、實ハ感シタノデアリマス、サウ云フコトハ陸軍ノ方デモ御調査ガ出來テ居ルコトデアラウト思フシ、若シ私共ノ承ツタ所ガ本當デアルトシマスナラバ、成ベク早ク首唱セラレテ、サウシテ成ベク多クノ國民ニ知ラシメルト云フコトガ、非常ニ宜イコトデアリマシカト云フ風ニ、實ハ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、如何ナモノデアリマセウカ、此ノ事ニ付テ一寸御伺シテ見タイト思ヒマス

○武藤政府委員 今ノ御話ハ私初メテ承ルノデアリマスガ、ソレニ類似致シマスヤウナ支那人ト日本人トノ間ニ關シマス美談ハ澤山アルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ聽キマス、私共モ現地ニ居リマシテ東洋永遠ノ平和トカ、或ハ共存共榮ト云フコトハ必ズ實現出來ルト云フ感シテ持ツテ仕事ヲシテ來タ次第デアリマシテ、何レ近ク機會ヲ求メマシテ、御趣旨ニ副フヤウナコトヲシタイト考ヘテ居リマス、但シ教科書ト云フコトニナリマス、ドウカト思ヒマスガ、其ノ他ノ手段ハ成ベク講ジタイト思ツテ居リマス

ツテ居ツタノデアリマス、應召シマシテ出征致シマシテ、ノモンハンデ戦死致シマシタ、其ノ父兄ハ大分縣ニ現ニ居ルノデアリマスガ、其ノ保険料ヲ朝鮮ノ簡易保險局ニ請求致シマシタ所ガ、中隊長ノ健康證明ガナケレバ渡セナイ、斯ウ言ツテ居リマス、所ガ其ノ中隊長ハ、ノモンハンデ戦死シテ居リマス、然ルニ其ノ人ハ入營スル位デアリマスカラ、無論甲種合格デ行ツテ居リマスルシ、戦死者ノ簡易保險ノ拂戻ハ、ソレ程數モ多クナク、金額モ少ナカラウト思ヒマスカラ、モツト簡單ニサウテ貰ウタラドウカト云フノデ、遺族ノ父ハ朝鮮總督府ノ簡易保險局ト數回交渉シテ居リマスガ、昨年ノ八月頃カラ今日ニ至ルマデ、未ダニ金ガ來テ居ラヌト云フコトデアリマス、是ハ各地ニサウ多クハナイト思ヒマスガ、間々アルコトト思ヒマス、簡易保險、或ハ生命保險、是等ニ對スル扱ヒヲ迅速ニスルヤウニ、如何特別ノ達力何カラ豫メ出シテ貰フコトニハ行キマセヌカト云フコトヲ、先ツ伺ツテ置キマス

○畑國務大臣 ソレハ初メテ何ツタコトデアリマスガ、是ハ一ツ關係ト連絡ヲ執リマシテ、御趣旨ニ副フヤウニ致シマス、陸軍ト致シマシテモ遺族扶助料、或ハ特別賜金ニ付キマシテハ、段々今マデ遅レテ居ルト云フヤウナ御話ガアリマシタカラ、是ハ是非迅速ニヤル必要ヲ認メマシテ、御承知ノ通り手續ヲ極メテ簡單ニシテ、極力速ク遺族ノ方ニ渡ルヤウナ方法ヲ執ツテ居ルノデアリマスカラ、況ンヤ簡易保險ノ如キハ、是非連絡ヲ執ツテサウ云フ風ニ致シマス

○田原委員 ソレカラ是ハ國內一般ノ問題デアリマスガ、陸軍トシテ若シ率先シテヤ

ルナラバ、此ノ問題ハ非常ニヤリ易クナルト思フノハ、禁酒ノ問題デアリマス、御承知ノ如ク二十歳マデノ禁酒ハ、今法律ヲ規定サレテ居リマス、併シナガラソレ以上ノモノハ實際デアハ酒ハ飲メルノデアリマス、地方デ中學校ヲ卒ヘテ高等學校ニ入ルノハ丁度十八歳カラ二十歳デアリマス、今マデ自宅カラ中學ニ行ツテ、非常ニ成績ノ好イ眞面目ナ青年モ、高等學校、專門學校ニ入ルト酒ヲ飲ムヤウニナル、殊ニ吾々ハ反對デアリマスケレドモ教育機關ガ大體東京ニ集ツテ居ル、若シ是ガ全國ニ散在シテ居レバ、自宅カラ通學ガ可能デアリマスガ、東京ニ出テ來ル爲ニ金モ餘計要リマス、サウシテ酒ヲ飲マナケレバ豪傑デハナイト云フヤウナ惡イ習慣ガアリマシテ、非常ニ眞面目ナ青年ガ學校ニ入ルト酒ヲ飲ミ、煙草ヲ喫ムヤウニナツテ惡イ生活ヲ覺エル、ソレダケナラバマダシモ、進ンデハ龜戶、玉ノ井ト云フヤウナ所ニ行クト云フコトニナルノデアリマス、サウシテ學校卒業後肺病ガ覺レル者、花柳病ニ罹ツテ覺レル者モアリ、酒ノ害ニ依ツテ修學ノ中途、或ハ卒業後ニ於テ覺レル者ガ非常ニ多イノデアリマス、是ハ學生バカリデハナク、一般ニサウ云フコトニナツテ居ルノハ、法律上ノ制裁ガナイカラデアラウト思ヒマス、永イ間議會ニ於テモ、セメテ二十五歳マデハ禁酒シテ貰ヒタイ、大體人間ノ生長時期ガ其ノ頃デアリマシタノデ、禁酒法案ハ毎年出ルノデアリマスガ、之ニ對シマシテ又議員ノ中ニハ酒ノ醸造家モ居リマスカラ、ソレガ青年禁酒ニ反對陳情ヲヤリマシテ、相殺サレテ是ガ今日マデ擧テ居リマス、併シナガラ今年ハ特ニ節米運動ガ行ハレ、大體米ガ足ラナイト云フノ

ニ、依然トシテ「カフエ」料理屋ハ繁昌シテ居ルノデアリマス、軍隊トシマシテモ丁度其ノ年齢頃デアリマス、第一線ニ居リマス者ノ疲勞、制務ハ又多少考慮シナケレバナラヌト思ヒマスガ、内地ニ居リマス者ハ酒ヲ飲マナイト云フヤウニ考慮サレマスナラバ、是ガズツト各會社、學校ニ影響致シマシテ、縱令青年禁酒法ガ法律化サレタクテモ、社會的自肅自戒ニ依ツテ、或ル程度青年期ニハ酒ハイケナイト云フ社會的強制力ガ出來ルノデアリカト、私カニ考ヘルノデアリマス、取扱ニハ色々慎重ヲ期サナケレバナラヌト思ヒマスガ、今日ノ場合デアリマスカラ、何カ酒ニ對スル御方針ヲ決メテ戴キタイ、酒ヲ飲マナケレバ豪傑デナイト云フコトハナイ一ツノ有名ナ例ト致シマシテ、清水次郎長ハ酒ヲ飲ンデ居ナイ、サウシテ森ノ石松ガ代參スル時ニ、オ前ハ酒ヲ飲ムガ、飲ンダラ失敗スルカラ、必ズ飲マズニ行ツテ來イト云フ注意ヲ與ヘテヤツタガ、石松ノソレヲ犯シテ酒ヲ飲ンデ爲ニ、到頭途中デ殺サレテ居ル、デアリマスカラ、英雄、豪傑トカ俠客ハ酒ヲ飲マナケレバナラヌト云フヤウナコトハナイノデアリマスカラ、寧ろ斷乎トシテ酒ハ禁止スルト云フコトガ體格ノ上ニ於テモ、道徳ノ上ニ於テモ非常ニ宜イト思ヒマス、全部禁酒スルコトハ困難ダト思ヒマスガ、二十五歳マデハ左程困難ハナイト思ツテ居ルノデアリマスカ、何カ此ノ際陸軍大臣トシテ御所見ヲ聽カセテ戴キタイト思ヒマス

○畑國務大臣 陸軍ト致シマシテハ、國民ノ體位向上ニ付キマシテハ、非常ニ重大ナ關心ヲ持ツコトハ申スマデモナイコトデアリマス、就イテハ酒ト云フコトモ國民ノ體位向上ニ、非常ニ影響ガアルノデアリマスカ、戰時ハ無論デアリマスガ、平時ニ於テモ軍隊ニ於テハ、酒ヲ禁ジテ居ル隊ガ少クナイノデアリマス、地方ニ於テ酒ヲ禁ズル所モアル位デアリマス、又事變中ニ於キマシテモ、段々犯罪ヲ調ベテ見マス、ドウモ酒ガ動機ニナツテ居ル場合ガ多イヤウデアリマス、殊ニ醇良ナル日本酒ニアラズシテ、猛烈ナ支那ノ酒ヲ引ツ掛ケテ、ソレガ爲ニ氣ガ一變シテ罪ヲ犯スト云フコトガ、段々統計上現ハレテ居リマスコトハ遺憾デアリマスガ、事實其ノ通りデアリマス、デアリマスカラ軍隊ト致シマシテハ體位向上地カラシマシテ、酒ノ害ヲ認メテ居リマスカ、併シテ之ヲ二十五歳以下ハ一切禁酒スルト云フコトニナリマス、是ハ國內間題ニモ重大ナ關係ガアリマスカラ、ドウモヨト云フコトハ私ハハツキリ申上ゲラレマセスケレドモ、大體今ノ御意見ハ能ク承ツテ置ク次第デアリマス

○田原委員 ソレカラ次ニ、御承知ノ如ク豫算總會等デ、石炭問題、電力問題ガ隨分論ゼラレテ居ルノデアリマス、アノ間ニ感シタ所カラ私共今調査シテ居リマスガ、今日日本ニ缺ケテ居ルノハ綜合的國土計畫デアルト思ヒマス、之ヲ産業立地計畫トモ言ヒ、工業立地計畫トモ言フノデアリマスガ、獨リソレノミデハナク、文化、衛生等ニ對スル綜合的國土計畫ガ立ツテ居リマセヌ、其ノ爲ニ例ヘバ東京ニハ、官公私立専門學校セテ六十三アル、全國デ中等學校ヲ卒ルト、皆争ツテ東京ノ學校ニ來ル、東京ニ居ル間ニ東京ノ風ニナジマシテ、卒業後ハドナナ地位、待遇ノ低イ所デモ、東京デ

生活ヲシタイト云フコトニナル、益々農村ハ疲弊シテ、都會ニ澤山ノ人ガ集マル、又工場ニ付キマシテモ、今日電力、石炭ガ足ラナイト言ウテモ、北九州ニハ石炭ハ餘ツテ居ル、餘ツテ居ルドロロデハナイ、澤山出テ居リマス、電力モ澤山アリマス、然ルニ工場ハ神奈川、東京兩府縣ニ集中シテ居ル、ソレカラ大阪附近ニ集中シテ居ル、是ハ單ニ資本ノ便宜上、其處ニ設立ノ計畫ヲ立テマシテ、願書ヲ出スト、其ノ地方ノ工場課デ認可スルノデアリマスカラ、石炭計畫、勞務計畫、電力計畫ヲ伴ハズシテ、何時モ認可シテ居ルノデアリマス、全ク是ハ各府縣ノ一種ノ封建制度デアツテ、自分ノ縣ニ澤山工場ガアレバ宜イト云フノデ、取込主義ノヤウニナツテ計畫シテ居リマス、學校ト云ヒ、工場ト云ヒ、大都會ニ偏在スル爲ニ、防空設備並ニ衛生、風紀、色々ノ問題ガアリマスカラ、私達ハ少クモ東京ト大阪ノヤウナ大都會ハ、假ニ東京ノ人口ヲ現在七百万人トスルト、四百万人位方適當ト認メル、

他ノ三百万位ハ合理的ニ地方ニ分散スルヤウニシテ貰ヒタイ、ソレハ單ニ人間ヲ強制的ニ遷セト言ツテモ過ラナイ、ソコデ大學ナリ病院設備ナリ合理的ニ地方ニ遷スト云フノガ、所謂綜合的國土計畫デアラウト思フ、其ノ一端トシテ陸軍トシテハ東京附近ニ教育機關ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、ドウシテモ東京デナケレバナラナイモラ、例ヘバ陸軍大學ノ如キハ色々政治トノ關係モアリマセウシ、致シ方ナイトシテ校デアルトカ、各種ノ技術訓練機關、或ハ幼年學校、或ハ士官學校等ニ致シマシテモ同様デアリマスガ、何モ大都會デナケレバナ



ラスト云フコトハナイト思フ、私ハ寧ろ此ノ種ノ陸軍ノ教育機關ニシテ、東京ニ偏在シテ居ルモノハ、成ベク速ニ之ヲ地方ニ分散シテ貰ヒタイ、唯地方ニバラ／＼ニ分散スルコトハ色々又教育機關相互ノ關係ガアツテイカストスルナラバ、思ヒ切ツテ朝鮮邊リニ一定ノ廣大ナ土地ヲ決メテ、其處ニ演習モ出來ル位ナ土地ヲ持ツテ、各種ノ學校ヲ漸次之ニ移サレマシタナラバ、滿洲カヲ留學スル者、或ハ新シク支那方面カラ留學スル者モ、其處ニ收容出來ルコトニナルシ、或ハ教育ダケハ帝都ヲ離レテヤル、サウシテ教育後ノコトハ、必要ニ應ジテ又東京ニ出テ勤イテ貰フヤウニスレバ宜イ、是ハ各私立大學、官立大學等ニ對シテモ私ハ三年前カラ要求シテ居タ、昨年ノ議會ニ於キマシテ前ノ荒木文部大臣ニ此ノ事ヲ談判シテ、高等工業ヲ全國ニ七ツ拵ヘルト云フ時ニ、東京、大阪ニハ斷ジテ作ツテ貰ツテハ困ル、人口十萬以下ノ工場地帯ニ近接シタ都市ニ作ツテ貰ヒタイト云フコトヲ要望シテ、第一回ノ七ツノ高等工業ハ是ガ採用サレテ、東京以外ニナツテ居リマス、今年更ニ七ツ、來年更ニ七ツ出來ルヤウデアリマスガ、ソレハ總テ成ベク地方ニ分散シテ貰ヒタイト思ツテ居リマスガ、現存學校ノ分散ニ付テハ、建築費等ノ關係ガアリ、サウ急ニハ運ベナイカモ知レマセウガ、大體ノ目標ハ大都會ノ文化機關ヲ成ベク地方ニ分散シテ、地方ノ文化ヲ高メ、東京ノ不自然ナル人口集中ヲ制壓スルト云フ建前カラシテ何カ陸軍ニサウ云フ御考ヲ實行シテ貰ヒタイト思ヒマスガ、私ノ質問申上ゲタ點ダケニ付テ、御考ヲ承リタイト思ヒマス

○田原委員 次ハ陸軍大臣トシテ又與亞院、對滿事務局ノ主管者ト致シマシテ、綜合的ニ御質問申上ゲマスガ、是ハ元來行政機構ノ改革ノ場合考慮スベキモノデアリト思フデアリマシテ、總理大臣ノ御意向モ聽キタイト思ツテ居ルデアリマス、對滿事務局、ソレカラ與亞院、拓務省、大體ハ軍事施設以外ノ行政事務ト致シマシテ、大陸關係ノモノガ三ツアルト思フデアリマス、然ルニ是等ノモノハ相互ニ旨ク行ツテ居ル場合ハ宜イデアリマスガ、或ル場合ニハ機關ガ多過ぎル爲ニ、敏活ヲ缺クト云フ弊ヲ展開クデアリマス、例ヘバ一例ヲ上海ニ舉ゲマス、何カ工場ノ建設ヲシタイト云フ時ニ、上海ノ舊市街ハ海軍ノ復興班ノ一應下無キガアリ、ソレカラ領事館ノ經濟部、ソレカラ與亞院、陸軍特務機關、憲兵隊ノ意向ヲ質スト云フノデ、結局非常ニ日子ガ掛リマス、ソレカララドコガ主管デアアルカト云フコトガハツキリシナイ、勿論事業ノ新設ダケガ目的デアラウ云フ機關ガアルノデナイコトハ分ツテ居リマスガ、ソレカラ私考ヘマスノハ行政機構改革ノ際ガ高マリマシテ、前ノ内閣ノ時ハ貿易省問題ガ先ニ上ゲラレテ、アア云フ結果ニ終ツタ、貿易省ト云フ第三國ニ關係ガアリ、此ノ際拓務省ノ中ニ例ヘバ樺太廳アタリヲ假ニ拓務省系統ノ地方廳ニ移管致シマシテ、拓務省ヲシテ實質的ナ東亞省ノ如キモノニスル、ソレニ與亞院ハ支那局、或ハ對滿事務局ハ滿洲局ト云フヤウニシテ入ルコトニシタラドウカ、而シテ一ツノ中央ノ機關ニ此ノ一切ガ統合サレルト云フ風ニシタラドウカ、商工省デハ曾テ現役武官デアツタ人ガ、何レモ大臣官房ノ審議室ト云フ所ニ入ツテ居ツテ、商工行政全般ノ發言機關トシテ居ルヤウデアリマス、今日對滿事務局、與亞院、拓務省ガ一定ノ目標ニ整理統合サレタ後ニ於キマシテ、陸海軍ノ意向ヲ反映スル機關ト致シマシテハ、丁度商工省ノ審議室ノ如クヤツテ宜イデアリマシカ、其ノ他ニモ名案ガアルカモ知レマセウガ、何レニ致シマシテモ指揮命令權モナイ、發案權モナイ同ジ程度ノ機關ガ幾通りモアルト云フコトハ、兎角能率ノ上ニ於キマシテ非常ナル無駄ガアルノデハナイカト云フコトヲ、私ハ屬感スルノデハナイカト云フコトヲ、能ナル範圍トシテ外地行政ト支那、滿洲行政ノ統一ヲサレテハドウデアアルカ、是ガ或ハ交通行政ノ統一、或ハ内地行政ノ統一ノ

切ツ掛ケタルデハナイカト思フ、先ツ陸軍ノ方針先シテサウ云フコトヲヤレバ、農林省或ハ鐵道、通信等ノ仕事ノ連絡ノ取レナイ所ガ、漸次見習ツテ行クヤウニナルノデハナイカト考ヘマス、以上ノヤウナ點ニ付テドウ云フ御考デアリマスガ、一寸據カシテ載キタイ

○田原委員 一應御尤モ御意見トシテ承リマス、事變ヲ遂行致シマス爲ニ支那ニ對スル政治、經濟、文化、色々ナ政策ガアルノデアリマスガ、是等ノ政策ガ所謂戰略ト完全ニ一致ヲシテ行ハレルト云フコトガ、目下ノ急務デアアルト私ハ思フデアリマス、ソレガ爲ニ現ニ政府ノ各機關ト共ニ、事變ノ遂行ニ緊密ナル關係ヲ以テ運営サレルノハ御承知ノ通りデアリマシテ、今ノ御意見ノヤウナ根本的ナ意見モ無論必要デアリマセウガ、事變ノ遂行中ニアル現狀ニ於キマシテハ、取敢ヘズ現在ノ各機關ガ政策ヲ綜合シテ、其ノ綜合力ヲ十分ニ發揮サセラルコトガ先ツ一番先ニ必要デアリナイカト思フ、先ツ之ヲヤツテ、若モ情勢ガ更ニ一段落付イタナラバ、別ニ今ノ御意見ノヤウナコトヲ考ヘルノガ順序デアリナイカト、私ハ考ヘテ居リマス

○田原委員 次ハ戰死者、戰死者遺家族ニ對スル戸籍上優遇ノ問題デアリマシテ、昨年ノ議會ニ建議案ヲ出シマシタガ、是ト司法省、内務省ノ問題デアリマシテ、是ガ成程今日色々ナ點ニ於キマシテ戰死者ニ對スル心遣ハ有難ク皆感激シテ居ル次第デアリマスケレドモ、尙ホ父戰死シテ子供ガ學校ニ行ツテ居ル時、父無シト云フヤウナ感ジモアツテハイカス、自分ノ父ハ今度ノ聖戰ヲ華々シク戰死シタモノ

デアルト云フコトヲ、戸籍上ニモ何カ明ニサレテハ如何デアラウカ、範圍ハ無論出征將兵全體トナルト、非常ナ多數ニ上リマスシ、又假ニ今日士族、華族ト云フ制度ノアル限リ、新シク又別箇ノ族籍ヲ設ケテハ時代錯誤デアルト云フヤウナ聲モ聞キマスガ、寧ろ從來ノ士族ナドト云フモノハ徳川士族、大名士族デアリマシテ、徳川ノ大名ニ仕ヘタ爲ニ、明治御一新ニナツテ士族ト云フ肩書ヲ貰ツタニ過ぎナイノデ、廢止スベキモノト思ヒマスガ、今ハ法律上廢止ガ困難ガサウデアリマス、ソレデ、言葉ハ適當デアリカモ知レマセウガ、天皇士族ト云フカ、明治御一新以來ノ國民皆兵ノ中ニアツテ、華々シク戰死サレタ者ニ對シテ、永久トハ言ハナイガ、セメテ孫位マデノ間戸籍上優遇シテハドウカ、昨年ノ建議案ノ時ニハ、假ニ動族ト云フヤウナ名ヲ附ケテ居ツタノデアリマスガ、別ニ豫算ヲ伴ハナイコトデアリマス、シ、精神的一ツノ感謝ノ現ハレニ過ぎナイノデアリマスガ、サウ云フ名稱ヲ作ルコトニ依ツテ、一見反動的ノヤウデアリマスガ、却テ今マデノ士族制度等ニ對スル所ノ批判ガ生レ、吾々ノ父ハ、陛下ノ御爲ニ死シタノデナカト云フ意味デ、今度ノ議會ニ於テモ法律案ニナルカ、建議案ニナルカ知リマセウガ、寄リ／＼各派ニ依ツテ、サウ云フ相談モ進マラレテ居ルデアリマス、或ハ陸軍省トシテ積極的ニ之ニ對スル所ノ御意見ハナイカモ知レマセウガ、一般ノ考トニ依ツテ、一切ノ士族制度ノ再批判ヲシテ、全ク一視同仁、從來ノ因習ニ依ツテ家庭的ニ、或ハ世間的ニ差別サレテ居ル者

モ、戰死ニ依ツテ一躍ニ貴族シテ得ルカト考ヘマス、範圍トシテハ、明治御一新以來靖國神社ニ祀ラレタ者、現在十四五萬ダサウデアリマスガ、大體戰死者ト云フ範圍デモ宜イノチヤナイカト云フ考ヲ持ツテ居リマス、以上ノ問題ニ付キマシテ大臣ノ御感想ヲ承ツテ見タイト思ヒマス

○田原委員 其ノ御話ハ私モ伺ツテ居リマス、又戰死者ノ遺家族ニ對シマシテハ、吾々ト致シマシテハ何ヨリモ彼ヨリモ深い關心ヲ持ツテ居リマス、決シテ其ノ關心ニ付テハ人後ニ落チナイ積リデアリマス、今戰死者ノ遺族ヲ動族ニシタラト云フ御意見ガアリマシタガ、一體我國ハ申サマデモナク一君萬民、國民皆兵ノ國家デアリマス、皇室ノ藩屏タル華族ハ別ト致シマシテ、他ハ族籍ニハ差別ガアツテハナラヌト思フデアリマス、御承知ノ通り今ハ族籍ハ、公文書ニハ一切掲ゲテアリマセウシ、之ニ依ツテ一君萬民ヲ形式的ニモ現サントシツアルノデアリマスカラ、之ヲ以テ戰死者ノ遺族ヲ士族ニシナケレバナラヌト云フノハドウカト思フ、唯斯ウ云フ名前ヨリハ、寧ろ精神的ニ出來ルダケ待遇シテ見タラドウカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、兎ニ角是ハ續イテ研究ヲ行ツテ居リマス

○田原委員 先程中島君ヨリ國防費ノ將來ノ見透シノコトヲ御談致シタノデアリマス、私ハ國防費將來ノ見透シガ財政的ニ知リタインデアリマスガ、併シ單純ニ平常化ト云フコトヲ言フヨリモ、國防費全體ノ性質ト將來ノ問題トニ付テ、陸軍ノ編成ノ關係ニ付テノ御考ヲ極ク常識的ニ御談致シタイト思ヒマス、私共ハ此ノ點ニ付テ專門ノ知識

ヲ澤山有シテ居ル者デアリマセウカラ、其ノ點ハ十分御考慮ノ上デ御答ヲ得タイト思ヒマス、私共ハ戰爭全般ニ其ノ影響スル所ヲ考ヘテ見マス、豫備或ハ後備役ニ從事スル人ノ感想ト、現役ノ兵ガ感スル國防ノ義務遂行ニ關スル感想トノ間ニ、感想ガ若干異ルモノガアルヤウニ感ゼラレルノデアリマス、デアリマスカラ、成ベク戰爭ト云フモノニ對スル社會的ノ影響ト云フモノガ、小サクナル方ガ宜イノデハナカラウカ、又モ一點ハ、此ノ點ハ軍ノ全體ノ義務ヲ履行シマス共ノ形ガ、吾々ノ研究スベキ問題ヲ殘シテ居ルノデハナカラウカ、第一點ハ社會的影響デアリマス、第二點ハ、吾々ノ現在持ツテ居ル國防算ノ關係ガ、國防充備費ノ負擔スル所ト、航空、防空、其ノ他ノ設備費ト、兵備改善ノ經費ノ持チ方ガ、自然茲ニ吾々ガ多少研究ヲシナケレバナラヌヤウナ關係ヲ生ムモノデハナカラウカ、全體ノ問題トシマスト、吾々ハ經常費ガ多クテ臨時費ガ大キナラバ、是ハ無論理想案デアリマセウガ、經常費ガ非常ニ大キクテ、其ノ代リニ一旦緩急ガアツタ場合ノ財政ト云フモノハ、思ツタヨリ割合ニ大キクナラナイ、斯ウ云フ點ガ宜イカ、或ハ平時ニ於テ負擔スル關係ト云フモノハ比較的小サイガ、非常時ニ於テ非常ナ大キキ負擔ヲ以テ擴大シテ來ル、斯ウ云フ點ニ立ツ財政ノ方ガ宜イカ、是ハ單純ナル財政ノ關係ノミカラ考慮スレバ、色々ノ論議モアリマセウガ、又主トシテ財政ガ受身デアル場合ニ於テハ、軍ノ行動ノ必要上、戰時ノ得員ノ大キキ方ガ非常ニ結構ニハ違ナイデアリマセウガ、度々此ノ事變ト云フモノヲ繰返スト云フ場合ニハ、寧ろ經常財政ノ方ガ相當大キ

クテモ、臨時財政ノ方ガ割合ニ大キクナル場合ノ少イ方ガ、國民經濟ノ上ニ於テ、又財政ノ方針ニ於テ、各種ノ國民各階級層ノ政治問題ヲ解決スル上ニ於テモ、却テ希望スベキ點ガアルノデハナカラウカ、或ハ豫算ノ實際ノ編成ト違ツテ居ルノカモ知レマセウガ、國防充備費ト云フモノハ、戰時ノ得員ヲ得ル爲ニ一種ノ準備ヲシテ、用意シテ居ルヤウニ思フデアリマスガ、違ヒマス

○田原委員 此ノ國防充備費ト申シマスノハ、主トシテ作戰資料ノ方デアリマス

○田原委員 今度ノ國防充備費自體ノ目的ト云フモノハ、非常ノ事變ガ來タラ、ソレニ人間ヲ得テ來テ、ソレニ武器、兵器ヲ供給シテ、サウシテ戰闘ニ從事サセヨウ、一種ノ準備チヤナイカト言フ者モアリマスガ……

○田原委員 準備デアリマスケレドモ、其ノ中ノ國防充備費ト云フモノハ、例ヘバ戰爭ヲスルノニ彈ガ要ル、大砲ガ要ル、飛行機ガ要ル、戰車モ要ル、之ヲ整備シテ行クト云フノデアリマス

○田原委員 其ノ點カラ言ヒマス、戰闘ノ始ル時ノ一種ノ準備ヲ平常カラ提ツテ居ツテサウシテ戰闘ニ移ル、斯ウ云フ風……

○田原委員 先程藤原君カラ國防ノ社會的思想ト云フ御談ガアツタノデゴザイマスガ、其處ヲ私ハ一寸アナタニ御伺シタイノデスガ、結局軍備ト云フモノハ普段ハ小サイモノヲ持ツテ居ツテ、ソレヲイザト云フ時ニハ擴ゲテヤツタ方ガ經濟的デアリカ、例ヘバ大戰前ニヤツテ居リマシタ亞米利加ノ如キ、英吉利ノ如キモサウデアリスガ、又獨逸ノ「ゼークト」ノ如キモサウ云フ考ヲ持ツテ居リマスガ、要スル兵器ダケ準備シテ置ケバ、人間ハイザト云フ時ニ引張リ







質共ニ、多ク良クナケレバイカス、斯ウ云フ情勢ニナツテ居ルノデアリマス、コ、デ吾々軍備ニ非常ニ苦心ヲ致ス次第デアリマシテ、結局平時モ精銳ナル常備軍ヲ持ツテ、其ノ擴張シテ軍ト云フモノガヤハリ精銳ナモノデアル、是方吾々ノ理想ナリマシタガ、是モ全然御同感デアリマシテ、先程藤原君ハ、餘計ナ兵器ヲ普及カラ貯メテ置クノデハナ

ケレバナラヌト云フコトニ付テハ、滿幅ノ努力ヲ拂ツテ居リマスルカラ、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス。 ○藤原委員 其ノ御説明ハ私共承ラナクテモ大體サウ云フ風ニ想像シテ居ルノデアリマス、是ハ其ノ點能ク精通シテ居ナイト云フコトダケデ、大體ノ傾向ハサウダラウト思ヒマスガ、多少ナリトモ新シク資料ヲ整備シヨウ、此ノ問題ガ起ルト云フコトガ、吾々ハ非常ニ肚ノ中デハ——陸軍ノ方々ノ前デハ、ソレデ安心シマスト申上ゲマスケレドモ、肚ノ中デハモウ一カテ進歩シタイト云フ氣持ヲ吾々ハ抱イテ居ルノデアリマス、其ノ點ガ一番——吾々ハ相手ガ弱體デアル場合ニハ心配致シマセヌ、併シ相手ガ強カツタ場合ニハ非常ニ心配ニナル、私ハ海軍デモ強大ナル敵ヲ持ツテ居ルト云フコトガ一番安全ダト思フ、是ハ地ヲスゾト云フ氣持ヲ聲ガ掛ツタ場合ニハ私ハ決シテ敗ケナイト思フ、幾ラカ安心氣分ヲ生ジテ來タ時ニヤラレルノデアリマス、是ハ素人ノ生兵法ノ議論デアリマス、其ノ點カラ言ヒマス、既ニ全幅ノ進歩シテ兵器ヲ捕ヘテ居ツテ動員スルト云フコトハ、ヒトラーナドダツタラソレハヤルカモ知レマセヌガ、

ソレデアリマスカラ、兵ノ目的ト云フモノヲ達スルト云フコトハ、國防ノ最小限度ノ安全ト云フモノヲ國民的ニ得ルニハ、此ノ立場ハソレダケノ犧牲ヲ忍バナケレバイカス、ソレデアリマスカラ、御尋シタイノハ、寧ロ斯ウ云フ今年度ノ豫算ヲ御取リニナル此ノ成行ト云フモノハ、私ハ新シイ財政上ノ趨向ト云フモノヲ考ヘテオヤリニナツタノデアリナイト思フ、是ハ財政當局ガ非常ニ弱イノデスカラ、吾々ガ傍見テ居ルト、査定ヲスルカト云フモノハ何モナイ、唯集計シテ、サウシテ足りナイモノハ公債ヲ取ル、斯ウ云フコトナラバ、ソレデアリマスカラ、此ノヤリ方ヲヤツテ行クナラバ、言ヒ換レバ露出ト云フモノガ取レルナラ——私ハ又時間ガ掛ツテ申譯アリマセヌガ、公債政策ト云フモノヲ長ク續ケテ行キマス、戰爭ガ續ケバ無産大業ガ公債ヲ擲山掘レルヤウナ情勢ガ出來レバ、ソレハ結構デアリマスシ、ソレハ幾ラ戰爭ガ長クナツテモ結構デアリマスガ、公債政策ト云フモノハ長イ間續ケバ物ヲ持ツテ居ル人間ガ金ノ使ヒ分ケデ過當ク、公債政策ガ長ク續ケタ有産者一番大キモノガ公債ヲ買ツテ殖エテ行ク、是ハ英吉利デヤツテ見直ク分リマス、無産大業ガ公債ヲ何十枚モ握ルカト言ヘバ握レシナイ、事變ガ長引キ公債政策ガ長ク續ケバ無産階級ガ苦シム、有産階級ハ財産ガ大キナルト云フコトデ、政治トシテモ餘リ面白クナイ、ソレデアリマスカラ本當ニ公債政策常デヤルト云フコトハ理窟ガ立タヌノデスカラ困ル、所謂本當ノ普通歲入ヲ餘計ニシテ、負擔デヤツテ行ク、其ノ代リニ戰爭ニハ軍ノ目的トシテ精銳アル代リニ、財政ハ軍ノ上カラ言ツテモサウ偉イ大負擔デアリナイ

ノ、斯ウ云フコトニナレバ、私ハ兵制ノ大キナ目的ト云フモノガ達セラレルト同時ニ、財政ニモ大キナ改善ガ持ツテ來ラレルトデアリナイカ、ソコニヤハリ政治ノ實際ノ原則ト云フモノヲ活用出來ルノデアリナイカ、此ノ兩方面カラ私ハ考ヘマシテ、偶々財政方面ノ趨向カラ考ヘマシテモ、斯ウ云フ議論ガ出來ルノデアリナイカ、ソレカラ兵ノ完備ト云フモノヲ期スル上ニ於テ、又此ノ議論ガ實際ニ適スルノデアリナイカ、特ニ隣邦「ソビエト」露西亞ノ兵ノヤリ方ト云フモノハ、是ハ私共ハ非常ニ研究シナクテハナラズ問題デアリマス、アナタ方ガ御研究ニナル以外ニ、國民的ニモ吾々モ此ノ兵ノ維持ノ仕方ト云フモノハ研究シナクテハナラズノデアリナイカ、此ノ點ハ併セテ何カ滿「ソ」國境ノ兵ノ裝備トカ、或ハ——私ハ先達ツテ北支ニ御邪魔ニ出マシタガ、北支ニ近イ所ノ共產軍ノ活動ト「ソ」聯軍ノ關係等、此ノコトハ一遍秘密會カ何カデ伺ハレナイデセウカ、國內情勢デナシニ、相手側ノ「ソビエト」露西亞ノ滿「ソ」國境ニ於ケル所ノ裝備、併セマシテ陝西省、寧夏、新疆ニ互ル「ソ」聯軍ノ最近ノ働キ、之ニ對應スル支那共產軍ノ働キ、斯ウ云フ情勢ハ私共短時間ニ御邪魔シタノデ能ク承ツテ來ラレナカッタノデアリマスガ、若シ秘密會カ何カ御願ガ出來テ、ドノ邊マデ増強シテ、吾々ハドウ云フ覺悟ヲシナクテハイカヌカ、又其ノ覺悟ハ臨時ノ覺悟デ宜イカ、或ハ經常的ノ覺悟デ是カラヤツテ行カ、ソレニ對シテハ進んで根本的ニ考ヘル必要ガアルノデアリナイカ、斯ウ云フ考ニ基イテ御尋致シタイノデアリマス。 ○武蔵政府委員 只今ノ御意見私共非常ニ

示唆ヲ受ケル點ガ多クアルヤウニ存ズルノデアリマス、第一ノ、平時カラ精銳ナル必要量ノ強力ナル部隊ヲ持ツテ居ツテ、戰時ニナツテ非常ニ強大ナル軍隊ヲ作ルト云フコトハ、社會的影響ガ大キイノデアリカラ、之ヲ避ケテ方宜イデハナイカト云フ御議論デゴザイマスガ、此ノ點ハ速即決ノ趣意カラ申シマス、一應諒承スル點デゴザイマス、歐洲大戦後獨逸軍ガ十萬ニ制限サレマシタ當時、先程大臣カラ申上ゲマシタ如ク、「ゼクト」將軍ガ其ノコトヲ唱ヘタコトガアルノデアリマス、ソレガ一時世界ノ兵學界ヲ風靡シタコトモアルノデアリマス、其ノ後此ノ議論ハヤハリ獨逸ノ負惜ミノ議論デアツタト云フコトニナリマシテ、各國トモ非常ニ大キナ軍隊ヲ、戰時作ル方式ヲ探ツテ居ルノデアリマス、ソレガ御覽ノ通り「ヒトラー」ノ政權ニナリマシテ、「ベルサイユ」條約ヲ破棄シマシテ、アノ大キナ軍隊ヲ作ツタ、且ツ今後ノ戰爭ニナリマスルト、アノ強大ナル動員力ヲ作ツタノデアリマス、ソレデアリマス、ソレ今仰セニナリマスヤウナコトハ、各國トモ陸軍ニ關スル限リ探レナイノデアリマス、海軍ニ關シマシテハ大凡御説ノ通りニヤツテ居ルノデアリマス、日本陸軍ト致シマシテモ、支那ト云フ素質ハ惡クアリマスガ、アノ強大ナル陸軍ヲ持ツテ居ル支那ガアリマス、又隣邦露西亞ハ御承知ノヤウナ次第デゴザイマスノデ、ドウ致シマシテモ平時カラソレダケノモノニ對抗スル軍隊ヲ保有シテ居ラナケレバ、如何ニ裝備ヲ良クシ訓練ヲ正當ニ致シマシテモ、之ニ對抗スルコトハドウシテモ不可能デゴザイマスノデ、戰時ニナリマシテ必要量ノ動員ヲスルコトハ已ム

ヲ得ナイコトト思ツテ居リマス。 次ニ現在ノ新軍備充實計畫デゴザイマスガ、是ハ斯ウ云フ風ニ御尋テ願ヒタイト思フノデアリマス、只今日本ハ支那ト事ヲ構ヘマシテ、陸軍ニ關シマスル點ニ於キマシテハ、全力ヲ舉ゲテヤツテ居ルノデアリマス、而モ國際情勢ハ變轉豫測シ得ナイモノガアリマシテ、如何ナル狀態ガ生起スルカモ知レマセヌノデ、之ニ對抗スル軍備モ亦備ヘナケレバナラヌ狀態ナラデアリマス、平靜ナ狀態ニ於キマシテ軍備ヲ彼此レスルト云フ譯デハゴザイマセヌノデ、言葉ヲ換ヘテ申シマスト戰爭最中ニ於ケル軍備ノ充實ナラデアリマス、嘗テノ歐洲大戦ノ場合、亞米利加ガ急遽ニ大軍備ヲ作リマシタ如ク、又英吉利ガ戰ニナリマシテアノ大陸軍ヲ編制致シマシタ如ク、丁度其ノ狀態ニ於ケル軍備ノ充實計畫ナラデアリマス、之ヲ一ツ御考ヲ願ヒマス、軍備充實計畫ガ公債ニ依ツテヤルノハ無理デアルト云フ御説モ御尤モデアリマスガ、戰時ニ於ケル急遽ナル軍備ノ充實ト御諒承願ヒタイ、色々申上ゲタイ點モアリマス、又御要求モアリマシタノデ、此ノ次ノ機會カ何カニ御希望ノ點ハ申上ゲタイト云フ大臣ノ意向ゴザイマス。 ○藤原委員 私モ此ノ目下ノ豫算ノ計上ニ文句ヲ言フテ居ルノデアリナイノデス、サウ云フ計畫及ビ將來ノ見透シテ氣分ヲ以テモ、是ハ一朝一夕ニ變更ハ國ラレト思ヒマス、ノミナラズ戰時動員シテ戰爭スルト云フコトモ、我國カラ云ヘバ餘所カラ教ツタコトデハナイカト思ヒマス、我國固有ノ研究ニ依ツテ、日本獨特ニ編制シ出シタ制度トハ私共ハ思ハレナイノデアリマス、デア

リマスカラ技ニモウ少シ高遠ナ考ヲ以テ、モウ一步御研究ヲ願ヒタイ、無論私共現在ノ專變處理ノ爲ニ設立ツコトハ肌脫ギデアリマス、又サウ云フコトハ御心配アルマイト思ヒマス、事變處理ニ關スル兵備ノ改善或ハ資料ノ充足、斯ウ云ツタ位ノモノデサウ大キナ心配ヲシナクテモ、私ハ財政的ニヤツテ行ケルト思ヒマス、又私ハ國內ノ資源カラ云ツテモ、財政ノ力カラ云ヒマシテモ、餘裕餘裕タラウト思ヒマス、準備ハ幾テモ出來ルト思ヒマス、又吾々軍ノ方々ノ意ヲ安ゼシメル、所謂戰闘ノ威力ヲ高メルトニ於テ、財政ハ餘裕餘裕ヲ思ハセムコトハ必要ダト思ヒマス、是ハ現ニサウ云フ腕ヲ持ツテヤルコトガ財政當局ノ責任ダト思ヒマス、サウ云フ確信ガナイナラバ止メタラ宜イ、餘裕ガアツテ、而シテ之ヲヤルノガ政治行カナケレバ私ハイカヌト思ヒマス、無論現狀ノ議論ハサウデアリマスガ、將來ヲ考ヘテ、中島君カラ現狀ノ成行及ビ平年化、或ハ支那ニ駐屯スル部隊ノ平年化ト云フコトマデ話ガ出マシタ、吾々ハモウ少シ理想案ヲ考ヘル必要ガアル、陸軍大臣ノ御言葉ハ財政的ノ願望ガ非常ニ大キイヤウデアリマス、財政的ニハ斯ウ云フ結果ニナルノデアリナイカ、一種ノ理窟ミタヤウナコトヲ申上ゲタノデアリマス、財政的ニモ將來非常ニ研究スル餘地ガアルト存ジマス、是ハマダ我輩デモサウ云フコトヲ決シテ居ル譯デモアリマセヌケレドモ、財政的ニ考ヘテ、斯ウ云フ議論ガ生ジ得ルノデアリナイカ、今年御出シニナツテ居ル豫算ニ付テ御質問申上ゲルヨリモ、斯ウ云フ豫算ヲ計上シテ、皇軍ノ精銳ヲ圖ル、其ノ上ニモ

ウ一步進ム餘力ハ何處ニアルデアラウカ、モウ一遍深く研究ヲシテ裁ツ必要ガアルノデアリナイカ、又其ノ調和ノ爲ニ、或ハ學術ト兵器トノ關係、或ハ學術ト兵役、教育ノ關係、サウ云フ問題ノ根本的ニ研究致シマシタラバ、モウ一段ノ進歩ガアリ得ルノデアリナイカ、特ニ私ハ終リニ研究費ノ實體化、軍ノ技術其ノ他ノ進歩ノ關係ヲ申上ゲタイ、斯ウ云フコトヲ一遍御尋シテ見タイト思ヒマス、新シイ豫算ノ追加ニ對シテ研究費ヲ持ツテオ居デニナルガ、私ハ其ノ出シ方ガ少シ遲イノデアリナイカト思フ、又モウ少シ大キナ研究費ガ必要デアリナイカ、是ハ文部省ノ學術研究費ナドニ比ベテ、國費分配ノ問題カラ言ヒマスレバ、非常ニ多イノデアリマスガ、國費分配ノ全體ノ見地カラ申シマス、是ハ問題ニナラズダラウト思フ、是ハ文部省ノ何カモウ少シ振ハナクテハイカヌト思ヒマスガ、私共ハ此ノ研究ヲ進メルニアラザレバ、總テノ事ハ成就シナイノデアリナイカト思フ、デアリマス、之ニ向ツテ經費ノコトハ言ツテ居ラレナイ、物ヲ拵ヘルヨリモ寧ロ研究費ヲ出ス方ガ先キデアリナイカ、物ノ量ノ問題ヨリモ、生産設備ヲ完備シテ、品物ノ精銳ナモノガ出來ル方ガ宜イ、是ハ非常ニ私ハ簡單ナコトダト思フ、是ガ自給自足出來テ國內ノ需要ヲ充タスノミナラズ、其ノ上ニ世界のニ進歩スベキダト思フ、研究ガ出來テ立派ナ物ガ出來レバ、世界中何處ヘデモ持ツテ行ケル、各國ハ輸出ガ出來マス、亞米利加合衆國ノ航空事業ノ如キハ、初メ陸軍ガ先キダツタサウデアリマスガ、ソカラ海軍ニ行ツテ、今デハ輸出ヲヤルヤウニナツテ居ル、歐羅巴ト云ハズ、東洋ト云

示唆ヲ受ケル點ガ多クアルヤウニ存ズルノデアリマス、第一ノ、平時カラ精銳ナル必要量ノ強力ナル部隊ヲ持ツテ居ツテ、戰時ニナツテ非常ニ強大ナル軍隊ヲ作ルト云フコトハ、社會的影響ガ大キイノデアリカラ、之ヲ避ケテ方宜イデハナイカト云フ御議論デゴザイマスガ、此ノ點ハ速即決ノ趣意カラ申シマス、一應諒承スル點デゴザイマス、歐洲大戦後獨逸軍ガ十萬ニ制限サレマシタ當時、先程大臣カラ申上ゲマシタ如ク、「ゼクト」將軍ガ其ノコトヲ唱ヘタコトガアルノデアリマス、ソレガ一時世界ノ兵學界ヲ風靡シタコトモアルノデアリマス、其ノ後此ノ議論ハヤハリ獨逸ノ負惜ミノ議論デアツタト云フコトニナリマシテ、各國トモ非常ニ大キナ軍隊ヲ、戰時作ル方式ヲ探ツテ居ルノデアリマス、ソレガ御覽ノ通り「ヒトラー」ノ政權ニナリマシテ、「ベルサイユ」條約ヲ破棄シマシテ、アノ大キナ軍隊ヲ作ツタ、且ツ今後ノ戰爭ニナリマスルト、アノ強大ナル動員力ヲ作ツタノデアリマス、ソレ今仰セニナリマスヤウナコトハ、各國トモ陸軍ニ關スル限リ探レナイノデアリマス、海軍ニ關シマシテハ大凡御説ノ通りニヤツテ居ルノデアリマス、日本陸軍ト致シマシテモ、支那ト云フ素質ハ惡クアリマスガ、アノ強大ナル陸軍ヲ持ツテ居ル支那ガアリマス、又隣邦露西亞ハ御承知ノヤウナ次第デゴザイマスノデ、ドウ致シマシテモ平時カラソレダケノモノニ對抗スル軍隊ヲ保有シテ居ラナケレバ、如何ニ裝備ヲ良クシ訓練ヲ正當ニ致シマシテモ、之ニ對抗スルコトハドウシテモ不可能デゴザイマスノデ、戰時ニナリマシテ必要量ノ動員ヲスルコトハ已ム

ヲ得ナイコトト思ツテ居リマス。 次ニ現在ノ新軍備充實計畫デゴザイマスガ、是ハ斯ウ云フ風ニ御尋テ願ヒタイト思フノデアリマス、只今日本ハ支那ト事ヲ構ヘマシテ、陸軍ニ關シマスル點ニ於キマシテハ、全力ヲ舉ゲテヤツテ居ルノデアリマス、而モ國際情勢ハ變轉豫測シ得ナイモノガアリマシテ、如何ナル狀態ガ生起スルカモ知レマセヌノデ、之ニ對抗スル軍備モ亦備ヘナケレバナラヌ狀態ナラデアリマス、平靜ナ狀態ニ於キマシテ軍備ヲ彼此レスルト云フ譯デハゴザイマセヌノデ、言葉ヲ換ヘテ申シマスト戰爭最中ニ於ケル軍備ノ充實ナラデアリマス、嘗テノ歐洲大戦ノ場合、亞米利加ガ急遽ニ大軍備ヲ作リマシタ如ク、又英吉利ガ戰ニナリマシテアノ大陸軍ヲ編制致シマシタ如ク、丁度其ノ狀態ニ於ケル軍備ノ充實計畫ナラデアリマス、之ヲ一ツ御考ヲ願ヒマス、軍備充實計畫ガ公債ニ依ツテヤルノハ無理デアルト云フ御説モ御尤モデアリマスガ、戰時ニ於ケル急遽ナル軍備ノ充實ト御諒承願ヒタイ、色々申上ゲタイ點モアリマス、又御要求モアリマシタノデ、此ノ次ノ機會カ何カニ御希望ノ點ハ申上ゲタイト云フ大臣ノ意向ゴザイマス。 ○藤原委員 私モ此ノ目下ノ豫算ノ計上ニ文句ヲ言フテ居ルノデアリナイノデス、サウ云フ計畫及ビ將來ノ見透シテ氣分ヲ以テモ、是ハ一朝一夕ニ變更ハ國ラレト思ヒマス、ノミナラズ戰時動員シテ戰爭スルト云フコトモ、我國カラ云ヘバ餘所カラ教ツタコトデハナイカト思ヒマス、我國固有ノ研究ニ依ツテ、日本獨特ニ編制シ出シタ制度トハ私共ハ思ハレナイノデアリマス、デア

リマスカラ技ニモウ少シ高遠ナ考ヲ以テ、モウ一步御研究ヲ願ヒタイ、無論私共現在ノ專變處理ノ爲ニ設立ツコトハ肌脫ギデアリマス、又サウ云フコトハ御心配アルマイト思ヒマス、事變處理ニ關スル兵備ノ改善或ハ資料ノ充足、斯ウ云ツタ位ノモノデサウ大キナ心配ヲシナクテモ、私ハ財政的ニヤツテ行ケルト思ヒマス、又私ハ國內ノ資源カラ云ツテモ、財政ノ力カラ云ヒマシテモ、餘裕餘裕タラウト思ヒマス、準備ハ幾テモ出來ルト思ヒマス、又吾々軍ノ方々ノ意ヲ安ゼシメル、所謂戰闘ノ威力ヲ高メルトニ於テ、財政ハ餘裕餘裕ヲ思ハセムコトハ必要ダト思ヒマス、是ハ現ニサウ云フ腕ヲ持ツテヤルコトガ財政當局ノ責任ダト思ヒマス、サウ云フ確信ガナイナラバ止メタラ宜イ、餘裕ガアツテ、而シテ之ヲヤルノガ政治行カナケレバ私ハイカヌト思ヒマス、無論現狀ノ議論ハサウデアリマスガ、將來ヲ考ヘテ、中島君カラ現狀ノ成行及ビ平年化、或ハ支那ニ駐屯スル部隊ノ平年化ト云フコトマデ話ガ出マシタ、吾々ハモウ少シ理想案ヲ考ヘル必要ガアル、陸軍大臣ノ御言葉ハ財政的ノ願望ガ非常ニ大キイヤウデアリマス、財政的ニハ斯ウ云フ結果ニナルノデアリナイカ、一種ノ理窟ミタヤウナコトヲ申上ゲタノデアリマス、財政的ニモ將來非常ニ研究スル餘地ガアルト存ジマス、是ハマダ我輩デモサウ云フコトヲ決シテ居ル譯デモアリマセヌケレドモ、財政的ニ考ヘテ、斯ウ云フ議論ガ生ジ得ルノデアリナイカ、今年御出シニナツテ居ル豫算ニ付テ御質問申上ゲルヨリモ、斯ウ云フ豫算ヲ計上シテ、皇軍ノ精銳ヲ圖ル、其ノ上ニモ

ウ一步進ム餘力ハ何處ニアルデアラウカ、モウ一遍深く研究ヲシテ裁ツ必要ガアルノデアリナイカ、又其ノ調和ノ爲ニ、或ハ學術ト兵器トノ關係、或ハ學術ト兵役、教育ノ關係、サウ云フ問題ノ根本的ニ研究致シマシタラバ、モウ一段ノ進歩ガアリ得ルノデアリナイカ、特ニ私ハ終リニ研究費ノ實體化、軍ノ技術其ノ他ノ進歩ノ關係ヲ申上ゲタイ、斯ウ云フコトヲ一遍御尋シテ見タイト思ヒマス、新シイ豫算ノ追加ニ對シテ研究費ヲ持ツテオ居デニナルガ、私ハ其ノ出シ方ガ少シ遲イノデアリナイカト思フ、又モウ少シ大キナ研究費ガ必要デアリナイカ、是ハ文部省ノ學術研究費ナドニ比ベテ、國費分配ノ問題カラ言ヒマスレバ、非常ニ多イノデアリマスガ、國費分配ノ全體ノ見地カラ申シマス、是ハ問題ニナラズダラウト思フ、是ハ文部省ノ何カモウ少シ振ハナクテハイカヌト思ヒマスガ、私共ハ此ノ研究ヲ進メルニアラザレバ、總テノ事ハ成就シナイノデアリナイカト思フ、デアリマス、之ニ向ツテ經費ノコトハ言ツテ居ラレナイ、物ヲ拵ヘルヨリモ寧ロ研究費ヲ出ス方ガ先キデアリナイカ、物ノ量ノ問題ヨリモ、生産設備ヲ完備シテ、品物ノ精銳ナモノガ出來ル方ガ宜イ、是ハ非常ニ私ハ簡單ナコトダト思フ、是ガ自給自足出來テ國內ノ需要ヲ充タスノミナラズ、其ノ上ニ世界のニ進歩スベキダト思フ、研究ガ出來テ立派ナ物ガ出來レバ、世界中何處ヘデモ持ツテ行ケル、各國ハ輸出ガ出來マス、亞米利加合衆國ノ航空事業ノ如キハ、初メ陸軍ガ先キダツタサウデアリマスガ、ソカラ海軍ニ行ツテ、今デハ輸出ヲヤルヤウニナツテ居ル、歐羅巴ト云ハズ、東洋ト云



ハズ輸出シテ、其ノ合ヒノ間ニ陸軍、海軍ノ用事ヲ足ス、斯ウ云フ域ニ達シマス、是ハ寧ロ軍ノ問題ヲ超越シテ結果ガ生ズルト私ハ思フ、ソレデアリマスカラ研究ノヤリ方モ、ドウ云フ組織デ、ドウ云フ人間ガドウ云フ風ニ研究スルカ、陸軍固有ノ方々ガ職ヲ擔ツテオヤリニナルコトハ勿論デアリマセウガ、ソレダケデ一頭地ヲ抜ク威力ヲ世界的ニ發揮スルト云フコトモアルト思ヒマスカラ、研究方法ノ運営ノ一端ヲ簡單デ宜シウゴザイマスカラ……

○畑國務大臣 篠原君ノ御議論ハ結局公債政策ナドト云フ彌縫的ナコトデハイカスカラ、財政ノ根本方針ヲ確立シテ此ノ龐大ナル陸軍ノ豫算ヲ經常化セヨト云フヤウニ伺ツタノデアリマス、斯ウナリマスルト吾々ト致シマシテモ、總テノ經費ヲ經常化シマシレバ、非常ニ便利ニナリ、大イニ望ム所ナノデアリマス

次ハ研究ノ件デアリマスガ、洵ニ御説ノ通りデアリマシテ、陸軍ト致シマシテハ現在ノ研究ニ充テテ居ル費用ヲ以テ、決シテ満足ナリトハ考ヘテ居リマセス、出來ルダケ費用ヲ廻シタイト思フノデアリマスガ、外ニ緊急已ムヲ得ザルモノガアルノデアリマシテ、ツイ知リナガラソレニ多クノ費用ヲ向ケルコトガ出來ナイト云フ有様ナノデアリマス、此ノ研究ニ成ベク多クノ費用ヲ計上シタイト云フコトハ、今後ト雖モ是非努メタイト考ヘテ居リマス

研究ノ現状デアリマスガ、研究費ハ十五年度ニ於キマシテ二千四百四十九万六千四百二十六万四千四百、臨時部ガ千二百三十三万二千四百、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、研究

ハ今所謂航空ノ方ノ研究ト其ノ以外ノ研究トハ別ニナツテ居リマス、併シ航空ト云フモノハ、單リ陸軍ノミナラズ、海軍ニモ民間航空ニモ關係ガアリマスカラ、出來ルダケ之ヲ統合シテ居リマスカレドモ、併シ陸軍ハ陸軍、海軍ハ海軍ト獨特ノ見地カラ研究ヲシナケレバナラヌノデアリマシテ、分擔ハシテ居リマスガ、出來ルダケ統合シタイト云フ方針ヲ以テ進シテ居リマス、臨時部ノ研究費ノ申テ國防充備費中ノ研究費ハ、是ハ整備セントスル資料ノ研究調査ニ使用スルモノデアリマス、是カラ使ハウト云フ、例ヘバ大砲ナラ大砲デ、是カラ使ハウト云フ大砲ノ研究調査ニ使用スルモノデアリマシテ、航空部隊、其ノ他改編費中ノ研究費ハ航空機、兵器等ノ研究施設ノ諸設備ニ使用スルモノデアリマス、經常部ノ研究費ハ兵器、器材、及ビ衛生等ノ從屬的研究調査ニ使用スルモノデアリマシテ、今話御ニナリマシタ通り、之ヲ大イニ働カセナケレバ日進月歩ノ航空技術ノ進歩ニ伴フコトガ出來ナイノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テハ一段ノ努力ヲ拂ヒタイト思ヒマス

○篠原委員 財政ノ議論ハ私一箇デ申上ゲタコトデアリマスカラ、其ノ點ドウゾ御含ミ置キヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ將來ノ發達ハ單純ニ軍ダケデ總テノ發達ガ期セラレルト云フコトデハナイヤウニ思フノデアリマス、自給經濟ノ第一ノ限界ト云フモノハ、無論國防ヲ充タス、之ニアルコトハ勿論デアリマスガ、自給經濟ノ觀念ニ出發シマシタコトデモ、其ノ研究ト云フモノハ或ル程度ヲ越シマスト自給經濟ノ現象デナクナツテ來ル、是ガ學術トシテノミナラズ、産業經濟ト云フ點ニナツテ來ルト、最初ハ

自分等ノ手ニ依ツテヤラウト云フ觀念ニ出發シマスガ、研究ガ功ヲ奏シテ來マス、之ニ依ツテ初メテ世界的ニ稱ヲ稱フルコトノ出來ル境地ガ出テ參リマス、此ノ點ガ望マシイ點デアルト存ジマシテ、陸軍ノ研究ニ對シマスル事柄ハ成ベク所謂動員ト申シマスカ、全國ノ學術知識ヲ動カシテ、サウシテソレニ依ツテ進歩ヲ世界ノ上ニ及ボシテ行ク、斯ウ云フコトニナリマス、茲ニ學術ヲ持ツ人ト軍ノ關係ガモウ一層圓滑ニナツテ、サウシテ其ノ精髄ガ全部軍ノ方ヘ入ツテ來ル其ノ途ヲ、囑託ニスルトカ何トカスルコトヨリモ、モツト緊密ニ入ツテ來ル方法ヲ講ジテ戴キタイヤウニ思フ、此ノ點ハ希望デアリマスカラ更ニ適當ノ機會ニ申上ゲルコトニ致シテ置キマス

○末松主査 ソレデハ明日午前十時カラ開會致シマス、明日ノ日程ハ午前中トナツテ居リマスカラ、海軍省所管ノ豫算ニ付テ質問ヲ繼續致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時十分散會

昭和十五年二月十六日印刷

昭和十五年二月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局



第七十五回帝國議會 豫算委員第四分科(陸軍省及海軍省所管)會議錄(速記第二一回)

會 議 昭和十五年二月十七日(土曜日)午前十時十五分開議

出席委員左ノ如シ

- 主席 末松借一郎君
- 加藤 知正君 小笠原三九郎君
- 篠原 陸朗君 小山 亮君
- 中島彌次君 中村三之丞君

二月十七日第二分科所屬員森下國雄君ハ本分科業務ト爲リタリ

出席國務大臣左ノ如シ 海軍大臣 吉田 善吾君

- 海軍政務次官 松山常次郎君
- 海軍參謀官 小山邦太郎君
- 海軍主計中將 武井 大助君
- 海軍少將 阿部 勝雄君
- 海軍主計大佐 爲本 博篤君
- 海軍大佐 矢野 英雄君
- 海軍大佐 千田 金二君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ 昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中海軍省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中海軍省所管 (臨時一號)臨時軍事費豫算追加案中海軍省所管 ○末松主席 開會致シマス、曩ニ豫算總會ニ於ケル小山君ノ質問ニ對シ、海軍大臣ノ

答辯ガ留保サレテ居リマシタ、此ノ際海軍大臣カラ發言ノ通告ガアリマスカラ、之ヲ許シマス——海軍大臣 ○吉田國務大臣 今主在カラ御述ニナリマシタコトニ付キマシテ、昨年ノ一月射陽河方面ニ於テ、當時海軍ハ青島ヲ根據トシテ各種ノ作戰ヲヤツテ居リマシタガ、飛行機ナドモ行動致シマシテ、アノ沿岸ヲ監視シ、封鎖ノ任務ニ從ツテ居ツタノデアリマシタガ、其處ニ英吉利ノ永貞號ト諾威ノ汽船ニ隻ガ居ルト云フコトガ分リマシタ、固固海軍ノ飛行機ガアノ方面ニ參リマスノハ、其ノ船ノ國籍ガ果シテ英吉利ノ旗ノ通リデアラカ、詰リ疑義ガアルカナイカ、船籍ニ付テサウ云フコトヲ實スノガ主目的デアリマスガ、サウ云フ風ナ任務ヲ以テ行動シタ結果、サウ云フ船ガ居リマシタノデアリマシタガ、ドウモアノ邊ヲ行動シタ船ハ、密輸入ノ形跡ガアル疑ヲ以チマシテ、之ヲ青島ノ稅關ニ通知致シマシテ、稅關ト連絡ヲ取ツテ稅關ノ手配ニ依ツテ、之ヲ青島ニ回航致シマシタノハ、永貞號ト諾威ノ汽船ニ隻デ、他ノ汽船ハ都合ガアツテ參リマセヌデシタガ、其ノ二隻ハ青島ニ回航シテ稅關ノ手ニ於テ取調ヲ開始致シタノデアリマス、所ガ其ノ調査ノ間ニ英吉利ノ永貞號、其ノ嫌疑ガ嗜レタト稱シテ出テ行ツタノデアリマス、其ノ間、其ノ前日ニ入ツテ居ツタ「パーミンガム」デアツタト思ヒマスガ、其ノ士官ナドモ行ツテ、稅關ニモ交渉

シ、船ニモ色々連絡ヲ取ツタヤウデアリマスガ、サウ云フ交渉ノ途中ニ於テ、永貞號ハモウ稅關ノ嫌疑モ免レテ、釋放サレタト云フコトニ諒解シタト申シテ、出テ來タコトニナリマシタ、所ガ能ク調べテ見マスルト、稅關ノ方デ釋放シタコトハナイト云フ風ナコトガ分リマシテ、其ノ間ニ多少ノ行違ヒガアツタノデス、ソレデハ相成ラヌト云フノデ、再ビ交渉ヲ繼續シテ、其ノ後上海ニ於テ更ニアノ方ノ稅關ヲ對シテハ開金三百弗、ソレカラ内河航行許可ノ取消ト云フコトニ依ツテ、其ノ翌月ノ二月ニ解決致シテ居ルト聽イテ居リマス、尙ホ他ノ諸國ノ汽船ハ、是モ取調ノ結果、一隻ノ方ハ罰金百弗、他ノ一弗ハ五十弗ト云フコトノ罰ヲ受ケテ、是モ解決シタト云フコトニ承知致シテ居リマス、大體サウ云フコトニナツテ居リマス ○小山委員 私ノ是カラ質問ヲ致シマス事柄ニ付テ、海軍大臣ガ詳シク御承知ノナイコトガゴザイマシタラ、政府委員ノドナカカラデモ、適當ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、要ハ成ベク具體的ニ事實ヲ知リタイト云フコトニ過ギナイノデス、只今ノ永貞號事件ハ、私共ガ之ヲ調査致シマシタ所ニ依リマスルト、當時支那ノ稅關ノ監視船ガ、此ノ永貞號ノ軍需品ヲ密輸入ラシテ居ル事實ヲ確認シ、之ヲ現行犯トシテ拿捕シマシテ、青島ニ之ヲ回航セセタ、然ルニ據メ此ノ永貞號ノ方ト「パーミンガム」トノ打

合セガアツテ、此ノ船ガ青島ニ入港スルト、直チニ「パーミンガム」カラ武裝セル水兵ヲ永貞號ニ派遣シマシテ、日本ノ稅關ノ検査ガ終ラナイ中ニ、證據書類全部ヲ持去ツテシマツタ、此ノ事件ハ十二月二十九日デアリマスガ、翌三十日ニ支那ノ稅關ノ官吏ガ、其ノ船ヲ取調ノ爲ニ行キマスルト、永貞號ニハ英吉利ノ士官以下六名ノ武裝シテ居ル水兵ガ居リマシテ、稅關吏ノ乗船ヲ阻止シ、其ノ職務ヲ執行ヲ妨害シ不能ナラシメタ、ソコデ此ノ事實ヲ當時青島ニ碇泊シテ居ツタ帝國ノ軍艦、是ハ司令官ノ名前ハ艦々申上ゲマセヌガ、其處ニ參リマシテ此ノ事實ヲ報告シ、之ニ對スル援助方ヲ要請シタ、所ガ其ノ司令官ガ、斯ル事柄ハ我が海軍ノ關知スル所ニアラズト云フ意味ヲ回答シマシタ爲ニ、遂ニ施ス術ガナク、「パーミンガム」ガ威嚇ニ回航サレルニ連レテ、折角拿捕シテ來タ船モ其ノ健康ニ連レテ行カレタ、帝國ノ軍艦ガ船體相衝シテ堂々トシテ居ル前ヲ、英吉利ノ「パーミンガム」ガ不逞ヲ働イテ居ル永貞號ト共ニ、意氣揚々トシテ威嚇ニ引揚ゲテ行ツタト云フ事柄ヲ私ハ聞イテ居ル、若シ果シテサウデアルトスルナラバ、淺間丸事件以上ノ實ニ國辱的ノ事件デナイカ、日本ノ軍艦ノ船體相衝シテ堂々トシテ居ル其ノ前ニ、人モナゲナル振舞ヲサレル、是ガ支那ノ民心ニ及ボス影響ハ極メテ甚大デアル、東亞ノ新秩序建設ノ爲ニハ、先ヅ支那ノ民心ヲ把握シナケレバナラス、然ルニ日本ノ無敵海



軍ノ居ル前テ、斯ルコトガ行ハレト云フコトガ若シ事實デアルトスラバ、支那ノ民心ヲ把握スルニハ到底行カナイノデハナイカ、サウ云フコトニ付テハ非常ニ懸念ヲ持ツデアリマス、是ガ果シテ事實デアラカドウカ、其ノ後英吉利ノ方カラ日本ノ方ニ逆進チテ居ルコト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、結果ニ於テハ、上海ニ於テ只今海軍大臣ノ御話ノヤウニ三百萬ノ罰金ヲ徴ルコトニナツタ、併シ英吉利ハ船ヲ連レテ行ツタバカリデナク、逆進シテ來テ居ルコト聞イテ居ルノデアリマスガ、左様ナ事實ガアリマシタカドウカ

○吉田國務大臣 私ノ方デハ司令官ガサウ答ヘタト云フコトハ全然承知シテ居リマセス、又私ガ今ノ御話ヲ聽イテ了解シテ所ニ依ルト、税關ハアレハ支那ノ税關デゴザイマスカラ、海軍ガ直接立入ツテハ筋合デナイト云フ意味デアツタカモ知レシト思ヒマス、彼處ニハ海軍モ陸軍モ居リマスガ、御話ノヤウナ印象ヲ受ケタト云フコトハ、全然聽イテ居リマセス、サウ云フ事ハアル答ガナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ其處ニ水兵ガ行ツテ、色々荷物ヲ調査シタト云フコトガアツタラシウゴザイマスガ、色々記録ヲ調べマシテ、今カラ考ヘルトモウ少シ連絡ガ旨ク行ツタナラバ、ソレモ此方デ釋放シタト云フコト云フコトナシ、英吉利ノ方デハ釋放サレタト云フコト居ツタウデゴザイマスガ、サウ云フ事實ガアリマスコトデ、ソコニ一寸事務上ノ連絡ガ完全デナカッタ爲ニ、事件ガ長引イタト云フコトハアリ得ルト思フデアリマス、併シ帝國海軍ノ威力ガドウトカ、或ハ抗議ヲ申込シタト云フコトハ全然聞イテ居リマセス、恐ラク

ハ其ノ當時ノ事情ハサウデナカッタト思ツテ居リマス、是以上ノ資料ハ私持ツテ居リマセスケレドモ、當時ノ情勢カラ見テ、結局税關ノ調ベ中デアツタト云フ其ノ經過ノ間ニ、何カ或ル連絡ノ十分デナカッタ點ガアツタヤニ、今記録ヲ見テ感ズルノデアリマス

○小山委員 海軍大臣ノ今ノ御答辯ノ中ニ、支那ノ税關ガヤツタコトデ、日本ノ海軍トハ關聯ガナイト云フ意味ノ御話ガゴザイマシタガ、成程支那ノ税關ノ監視船デアラ、ソレニハ違ヒナイノデス、併シ青島ノ支那税關ノ監視船ハ、支那人ガヤツテ居ルノデナク、日本人ガヤツテ居ル、日本ハ交戦權ヲ發動シテ居ラナイノデアラカラ、支那ニ起ル色々事件ニ對シテ、日本カラ英吉利ニ嚴重ノ抗議ガ出來ナイト云フ考ヘ方ヲ、私ハ日本ノ政府モ多少持ツテ居ラレルノデハナイカト思ヒマスガ、是ハ先般起リマシタ天津會議ノ際、英吉利ノ代表トシテ「クレギー」大使ガ、有田外相ト折衝ノ際ニ、日本ハ交戦權ヲ發動シテ居ラヌガ、支那ト日本トノ間ガ交戦状態ニ入ツテ居ルト云フ事實ハ、之ヲ確認スル、即チ宣戰ノ布告コソシテ居ラヌケレドモ、支那ニ於テハ日支ノ間ガ交戦状態ニ入ツテ居ルコトヲ、英吉利ハ確認シタ、是ハ私ハ天津會議ニ於ケル大キナ收穫ヲ得タト思フ、此ノ交戦状態デアルコトヲ確認シタ以上ハ、占據地域内ニ於ケル治安一切ノ取締、一切ノ外交的折衝ト云フモノハ、占據軍ニ依ツテ行ハレルコトハ尋ハレナイコトヲラウト思フ、サウシマス青島ハ御承知ノ通り明白ニ日本軍ガ占據シテ居リマスカラ、ソレ等ノ一切ノ折衝ハ、交戦状態

デアルコトヲ確認サレタ以上ハ、堂々ト占據軍ガ英吉利ニ對シテ爲シ得ルモノグラウト私ハ思ツテ居リマス、其ノ意味ニ於テ支那ノ税關ガヤツタコトデアラカラ、日本ノ海軍ハ知ラナイト云フコトハアリ得ナイ、即チ日本ノ海軍ガ若シ青島ヲ抑ヘテ居ルモノトスレバ、日本ノ海軍ガ一切ノ事情ヲヤレルノデハナイカト思フデアリマス

○吉田國務大臣 只今ノ點ハ洵ニ御同感デアリマス、實ハ私モ過程ヲ申上ゲタノデ、法的ニ言ハバサウ云フ解釋ノ付カ點ガアルノデハナイカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソレハ御説ノ通りグト思ヒマス、又實際其ノ通りヤツテ居リマス、唯先程申シタ通り、連絡ガ間違ツタト云フコトデ、上海ニマデ事件ガ繼續シタ連絡ノ點ニ於テ十分ノ點ガナカッタノデハナイカ、斯ウ申上ゲタノデアリマス、事實支那ノ沿岸デハ交戦状態デ、今日マデ二百件ニ互ル件數デ臨檢モヤツテ居リ、抑留モヤツテ居リマス、現ニ英吉利ノ船三隻ヲ抑留シテ居リマス、是ハ嚴ニ吾々ハ主張シテ居リマスガ、今日マデ抑留モ臨檢モヤツテ居リマスガ、其ノ點ハ全然同感デアリマス、永貞號ノ事件ガ即刻解決シナイノデ、上海マデ來テ翌月解決シタト云フコトハ、連絡ガ十分デアナカッタト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、海軍ガサウ云フコトヲ言ツタト云フ御話デアリマシタガ、私ハ全然承知シマセス、或ハ法的ニ見レバサウ云フコトモアルカモ知レヌケレドモ、法ハ法トシテ、實質的ニハドンノヤツテ然ルベキモノデアル、其ノ點ハ御意旨ニ全然同感デアリマス、只今ハ多少ノ連絡ノ足ラナカッタト云フ感想ヲ申上ゲタ譯デアリマス

○小山委員 更ニ一點伺ヒタイノハ、御承知ノ通り獨逸ト英吉利トハ今戰爭ヲ開始シテ居リマスガ、歐洲戰亂ニ對シテハ日本モ支那モ完全ナ中立國デアラウ、此ノ中立國ト云フ解釋ガ適當デアララバ、ヤハリ中立權ノ發動、中立權ノ主張ト云フコトガアリ得ルノデハナイカト考ヘマス、先般獨逸ノ豆戰艦「シムーン」號ガ「モンテピデオ」ノ港ノ中ニ入ツテ居リマシタノヲ英吉利ハ中立權ヲ發動シテ之ヲ二十四時間内ニ退去サセロト云フ強硬ナ抗議ヲシテ、其ノ結果四十八時間以内ニ出港シナケレバナラスコトニナリマシタ、御承知ノ通り國內法ガアリサヘスレバ、必ズシモ二十四時間内デナクテモ、四十八時間内デモ宜イコトニナツテ居リマスカラ、ソコデ「モンテピデオ」ノ港ヲ、四十八時間以内ニ「シムーン」ハ出港シマシタ、出港スル同時ニ新聞デモ、世界各國ノ人達ガ賞讃シタヤウニ自爆ヲシテ、艦ハ沈没シマシタガ、同ジヤウナ事情ガナゼ私ハ支那デハ行ハレナイカ、支那ハ中立國デアリマスカラ、其ノ中立國ノ港ノ中ニ入ツテ居ル英吉利ノ艦ハ、二十四時間以上支那ノ港ニ碇泊シテ居ル艦ハ、武裝解除ヲシナケレバナラスコトハ、是ハ國際法ニ明記サレテアルノデ明白デナクテハナラヌ、阿部内閣ノ當時ニ英吉利ガ宣戰ノ布告ヲスル同時ニ、日本ノ政府カラ之ニ對シテ、二十四時間内ニ武裝解除ヲスルカラ出港ヲシナケレバナラスコト云フコトヲ向フニ通告ヲシテ居ル、然ルニ英吉利ハ其ノ抗議ヲ受ケタダケデ、マダ其ノ艦依然トシテ支那ノ港ノ中ニ、英吉利ノ軍艦ガ碇泊シテ居リマス、世界ノ秩序ヲ維持スル爲ニハ、何處

マデモ國際法トカ、其ノ他九箇國條約トカ云フモノヲ、吾々ハ守ルノダト言ツテ居ル英吉利ガ、自ラ國際法ヲ破壞シテ居ルト云フヤウナ事實ガアルノデアリマス、御承知ノ通り歐洲大戰ノ時ニハ、歐洲戰爭ニ參加シマシタ日本トシテハ、支那ノ揚子江ニ居リマシタ軍艦ニ、別段ノ請求ヲ受ケナイニモ拘ラズ、二十四時間内ニ出港スルコトガ出來マセヌ爲ニ、武裝解除ヲシタト云フ事實ガアリマス、日本ハ其ノ當時ハ國際法ヲ完全ニ守ツテ居ツタノデアリマス、然ルニ英國ハ今回ニ於テハ少シモ國際法ヲ守ツテ居ラナイ、日本ガ之ニ對シテ報告ヲシタニモ拘ラズ、英國ハ其ノ報告ニモ應ジナイ、ヤハリ只今申シマシタヤウニ、交戦權ヲ發動シタ以上ハ、或ハ交戦權ヲ彼等ガ發動シタトモ、交戦状態デアルト云フ事實ヲ承認シタ以上ハ、上海ニ居ル日本ノ海軍カラ、二十四時間内ニ出港シロト云フ通告ヲシテモ、私ハ差支ナイ状態デハナイカト思ヒマス、之ニ對シテ日本ノ海軍トシテハ、ドウ云フ見解ヲ持ツテ御居デニナルカ、私ハ其ノ點ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 是ハ過般モ豫算總會デ、外務大臣カラ極ク簡單ナ御回答ガアツタウデアリマスケレドモ、實ハ此ノ問題ハ、此ノ前ノ内閣デアア云フ報告ヲ發スル時ニ、相當慎重ニ研究シタノデアリマスガ、元來交戦國ガ支那國內ニ或ル軍隊ヲ駐屯セシメルコトニ付キマシテハ、種々複雑ナル解釋ガアリマス、之ヲ一般的ニ、原則的ニ認メタト云フモノハナイノデアリマス、世界大戰ニ於ケル前例、現在ノ支那事變ニ對スル解釋、又ハ對支駐兵權ノ問題、租界ノ

性質等ニ對スル解釋ガ非常ニ複雑ニナツテ居リマシテ、サウ云フコトヲ研究致シマシタ結果、當時報告ヲヤツタノデアリマス、其ノ解釋ハ今日モ變リマセス、是ハ普通ノ外ノ今御話ニナリマシタヤウナモノト若干性質ガ違ツテ居ルト解釋シテ居リマス、唯實績ニ於テハ向フデ軍隊ヲ兵船ヲ撤退致シマシタケレドモ、解釋ト云フコトニナルト中ニ複雜デアルト云フコトヲ申上ゲル外ナイト思ヒマス

○小山委員 若シ海軍大臣ガ仰シヤルヤウニ、此ノ解釋ガ非常ニ複雑デアツテ、輕キシクヤレナイト云フコトナラバ、何故日本ノ政府ハ二十四時間内ニ、武裝解除乃至ハ出港シラ宜カラウト云フヤウナ報告ヲシタラ宜カラウト云フヤウナ報告ヲナサツタカ、非常ニ複雑デアラナラバ、モウ複雑デアルトシテ、斯様ナコトヲナサラズニ置ケバ宜イモノヲ、斯ウ云フコトヲ日本ノ政府トシテ報告ラシタ以上ハ、ヤハリ之ヲ實行サセルト云フコトデナケレバ、私ハ威信ガ保テナイノデハナイカト思フデアリマス、聞ク所ニ依ルト當時ノ外務次官ノ澤田氏ガ辭メナケレバナラナクナツタト云フコトモ、此ノ事ニ關聯シテ居ルト聞イテ居リマス、事實デアラカドウカ私ハ知リマセヌガ、日本ハ歐洲ノ戰亂ニハ不介入デアルト云フコトヲ屢々聲明シテ居ルニモ拘ラズ、其ノ行ツテ居ル所ヲ見マスト、英吉利側ニ對シテハ非常ニ寛大デアツタ、サウシテ獨逸側ニ對シテハ非常ニ苛酷デアラヤウニ、最近見ラレルノデアリマス、暨ヘテ申シマスト、淺間丸事件以後、亞米利加カラ日本ヲ通過シテ獨逸ニ歸還シナケレバナラス所ノ船員ガ數百人居リマスガ、ソレハ乘セナイヤウニ

シタラ宜カラウト云フ風ヲ通告ラ、各會社カラ出シテ居リマス、勿論各會社カラ出シタノハ、外務省カラ内示ガアツテ、サウ云フ通告ヲ出シタニ違ヒナイ、又昨日モ問題ニナツタ件デアリマスガ、現ニ獨逸ノ赤十字社總裁ガ日本ニ來ル爲ニ、朝鮮ニマデ來テ居ル、關釜連絡船ニ鐵道省ガ之ヲ乗船セシメテハナラヌト言ツテ、現役ノ軍人デナイ者デモ乗セルナト云フ指令ヲ出シテ、各豫算分科會デ問題ニナツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ點ヲ既ニ合セテ考ヘマスト、英國ノ方デハ國際法ヲ無視シテ、何日デモ何コトガ出來ル、獨逸ノ方ハ現役軍人デナイ者マデ日本ノ船ニハ乗ラレナイ、乗ラレナイヤウニ日本ノ政府ガスルト云フコトニナリマスト、歐洲戰亂ニハ不介入デアルト云フ所ノ日本ノ方針ガ、結局ハ不介入ニアラズシテ英吉利側ニ非常ニ好意ヲ持ツテ、獨逸側ニハ好意ヲ持ツザル意味ノ中立的立場ヲ執ツテ居ルノダト云フ感ヲ深クスルノデアリマスガ、私ハ斯様ナ點ニ對シテハ、何レノ國ニモ偏セザル態度ヲ執ルト言ツタ以上ハ、何レノ國ニモ眞ニ偏セザル態度ヲ執ツタ方ガ宜イノデハナイカト考ヘマス、隨テ阿部内閣當時デアリマスケレドモ、一旦日本ノ政府カラ國際法ヲ完全ニ破壞セズニ、之ヲ實行セヨト云フコトヲ要求シマシタ以上ハ、報告ラシマシタ以上ハ、少クトモ之ヲ實行サセルト云フコトガ至當デアナイカ、サウデナケレバ初カラ言ハナイ方ガ宜カッタノデアリナイカト、私ハ思フデアリマスガ、御意見ハ如何デアリマスカ

○吉田國務大臣 先程報告ラシタト云フ點旨ハ御説明致シマシタガ、其ノ後向フノ言

比ハハモアレ、實質的ニハ大體吾々ノ要求ニ近イモノニナツテ居リマスガ、其ノ後モ行動ニ付テハ相當ノ占據地域ノ制限ヲシ、實質的ニハ今日何等モノ期待ニ反スルコトニナツテ居リマセス、理論上ノ問題トシテ今御話ノヤウナ點モ出ルカト思ヒマス、併シ此ノ問題ハ先程申上ゲタヤウニ法理上カラ言ツテハサウ云フコトハ出來ナイノデ、實質的ニ行クト云フ所ヲ狙ツタノデアリマシテ、成果ニ於テモ今日ハ大體實質的ニハ、吾々ノ期待シテ居ツタ點ニ近イ所ニ來テ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ今一ツハ英獨ニ偏頗ナ處置ヲ執ルト云フヤウナコト、今回ノ乘船ノ制限、或ハ日本ガ解釋ヲ執ツテ居リマスヤウナ交戦國ノ戰時禁制人ニ該當スル者ハ乗セナイト云フ意味ノコトニナリマシテ、其ノ解釋上或ル制限ヲヤツテ居ルコトハ、事實ト承知シテ居リマスガ、其ノ基礎ニ於テ英獨總テノ者ヲ、差別待遇スルヤウナ考ヘ私ハ毛頭ナイノデアリマス、唯獨逸艦艇其ノ他獨逸人ハ、東洋ニ非常ニ少イノデアリマスガ、吾々今日ノ海軍ノ目カラ見マスト、支那方面デ今日マデ大小ノ議論ノ種ヲ時クモハ殆ド英米デアリマス、之ニ對シテハ先程申シマシタヤウニ多數ノ事件ガアリマス、英吉利ケデモ既ニ二百件ニ達シテ居ルヤウナコトニ對シテハ、始終遺漏ナク交渉ヲヤツテ居リマス、サウシテ向フノ抗議ガアリマシテモ、吾々ノ主張スベキコトハ他マデモ主張シテ、必ズシモ向フノ言ヒナリ放題ニナルモノデハナイノデアリマス、其ノ點吾々ノ概念カラ申シマスト、今小山委員カラ申サレタヤウナ概念トハ非常ニ違フノデアリマス、吾々ハ實際ヤツテ居ル、可ナリヤ



ツテ居ルト云フ印象が非常ニアルノデアリマシテ、如何ニモ一方のニサウ云フ風ニ御覽ニナル方ハ、寧ロ不思議デアル位ノ印象ヲ持ツテ居リマス、色々法法的ニ調ベマスト先程ノ報告問題モアリマセウガ、今日英吉利ハ殆ド艦艇ヲ引揚ゲマシタ、昔ノ東洋テ優勢ヲ誇ツタ艦隊ハ、此ノ間ノ淺間丸事件ノ節ノ艦艇ハ居リマスケレドモ、殆ド大部分引揚ゲタ、サウ云フ譯デアリマスカラ、英吉利側ニ於テハ寧ロ日本カ無理解ヲサレテ居ルト云フ感ジガアルカモ知レマセウガ、少クモ吾々ノ感ジトシテハ、今ノ御話ノ印象トハ全然逆ノ印象ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○小山委員 海軍大臣ハ私等ガ一方のノ見方ヲシテ居ルト仰シヤラシテ居ルチヤナイカト云フ風ニ、御取リニナルカモ知レマセウガ、私共ハ決シテ一方のノ見方ヲシテ居ルノチヤアリマセウ、只今日本ノ海軍モ支那ノ沿岸ニ於テ、英吉利ノ艦ニ對シテ相當ノコトヲシテ居ルノダト云フコトヲ仰シヤイマシタガ、私ハソレハ當然チヤナイカト思フ、サウシテ又日本ノ近海ニ於テ淺間丸臨檢事件、其ノ他昨年ノ九月頃カラ起リマシタ色々日本ノ通商ニ對シマシテ、脅威ヲ與ヘテ居ル事件、是ト此ノ支那事變ヲ總ツテ英吉利ノ軍艦ニ對シテ日本ノ海軍ガヤツテ居リマス事柄ハ、同ジヤウニ臨檢ヲシ、同ジヤウニ捜査ヲシテ居ルカモ知レマセウ、或ハ船名ヲ訊クトカ、或ハ船ヲ停船スルトカ云フコトヲヤツテ居ルカモ知レマセウ、併シソレトハ同ジヤウニ解釋ハ出來ナイ、向フモヤツテ居ルノダカラ、此方モ調ベテ宜イト云フコトハナラナイノチ

ヤナイカト私ハ思フ、ト云フノハ歐洲戰亂ニハ、日本ノ政府トシテハハツキリトシテ態度ヲ決メテ、歐洲戰亂ニ對シテハ不介入デアルト言ツテ、寧ロ英吉利側ニ對シテハ好意的デアルト考ヘラレル處置ヲ執ツテ居ル、然レニ日支事變ニ對シテ英吉利ノ立場ト云フモノト、歐洲戰亂ニ對シテ日本ノ事變ニ對シテ英吉利ノ立場ト云フモノハ、武器供給シテ居ルカ、軍需品ヲ供給シテ居ルカ、或ハ兵ヲ輸送シテ居ルカ、明カナル所ノ敵性ヲ持ツテ居ル投擲第三國トシテ、日本ハ之ニ對シテ居ルデアリマス、デアリマスカラ支那事變關係ニ於テ英吉利ノ船ヲ日本ガ臨檢シ、或ハ之ニ停船ヲ命ジ、或ハ貨物ヲ押收スル、或ハ船ヲ拿捕スルト云フヤウナコトガ假ニアツタトシマシテモ、是ハ明カナル敵性第三國ニ對シテ所立ヲ標榜シ、全ク中立的態度ヲ執ツテ居ル所ノ日本ノ船艦ニ對シテ立場トハ、是ハ私ハ一緒ニナラナイト思フテ居ル、淺間丸等ニ對シテハ實際中立國カラ中立國ニ非戰團員ヲ運送シテ居ルト云フノニ過ギナイ、軍需品ノヤウナモノハ一ツツモ積ンデハ居ラナイ、サウ云フモノニ對シテ、英國ガ全ク敵性ヲ持ツザル日本ニ對シテ所立態度、是ハ實ニ度ヲ越エテ居ル、又海軍ガ現在支那附近ノ海岸ニ於テ英吉利ノ商船、支那軍ヲ援助スル明カナル目的ヲ持ツテ行動シテ居ル所ノ英吉利ノ商船ニ對スル態度、是ハ相當ノコトヲヤツテ然ルベキモノデアツテ、是ハ同ジハナラナイト私ハ思フテ居ル、此ノ點ノ御解釋ハ、海軍大臣モ恐ラタ私共ト同ジダラウト思フ、決シテ私共ノ言フコトガ一方のナ

○吉田國務大臣 御説ノ通り先デ行動スルト云フコトハ、法的ニハ見モアレ面白クナイ、ダカラ今回ハ非友誼的トシテ強硬ナラシメテ居ル、無法律的ニ許サレルカト云フテ玄關先ニ艦ヲ返セルト云フ風ナコトハ非禮ト申シマス、外交上非友誼的ト申シマス、是ハ當然デアラウト思フ、何モ法規バカリニ拘泥シテハイカスノダカラ、實質的ニ又法的ニ兩方見テ行カナクテハナラス、其ノ點ハ全然同意デアリマス、元々英吉利ノ艦艇ガ日本近海ニ傍ツタノハ、既ニ御承知ト思フガ、率逸ノ商船ガ歐洲戰亂勃發ト共ニ、日本ノ港灣ニ回避致シマシテ、是ガ武裝商船ニナツテ再ビ外洋ニ出テ、サウシテ此ノ前ノ歐洲戰亂デハ「エムデン」或ハ「ヴォルフ」トカガ非常ニ通商破壞ヲヤリマシタノデ、サウ云フコトヲ非常ニ危懼シテ居ツタ、殊ニ内地ニ居ツタ當時ノ獨船ノ中ニハ、相當ナ高速度ナモノガアツテ、是ガ一旦武裝デモシテ日本ノ港灣ヲ脱出シテ、サウシテ太平洋ヲ荒サレルト大變ダト云フコトヲ非常ニ危懼シテソレヲヤツテ居ツタヤウデアリマス、其ノ場合ト雖モ今御話ノヤウナ點モアリマス、近海ニ海軍ガ行動シ演習ヲヤルト云フ場合モアルノデ、オ五ノ視界内ニ入ルコトハ面白クナイ、演習ノ場合ニモ差支ヘルト云フヤウナ場合ニハ、其ノ都度海軍省ハ英吉利ノ武官ヲ呼ンデ注意ヲ與ヘテ、其ノ都度向フノ行動ヲ變更サシテ居ルト云フヤウナコトヲヤツテ居ル、併シ今獨船ノ脱出ヲ恐レルト云フコトハ、一應向フトシテハ考ヘサウナコトデアリマス、ソレガ相當ナ距離デアラナラバ、ソレマデ一々ナルト云フコトハ、必ズシモ適當チヤ

○小山委員 次ノ問題ニ移リマシテ、淺間丸ノ問題ニ對シテ御説シタイノデアリマスガ、淺間丸ガ停船ヲ命ゼラレマシタ時ニ、英吉利ノ艦ト覺シキ艦ニ停船ヲ命ゼラレマシタ時ニ、淺間丸ノ船長ガ直グニ無線電信ヲ打ツテ、之ヲ鎮守府ナリ、或ハ軍司令部ナリニ報告ヲシテ、其ノ指揮ヲ仰グトカ、或ハ援助ヲ求メルトカ云フコトヲシタラ宜カウツチヤナイカト云フコトガ、一般ノ人達ガ淺間丸船長ノ執ツタ處置ガ宜クナカウツチヤナイカト云フ疑念ヲ持ツタ一ツノ理由デアリマスガ、若シ假リニ淺間丸ガ英吉利ノ軍艦ニ停船ヲ命ゼラレ、或ハ臨檢ヲ受ケテ居リマス當時ニ、直チニ電信ヲ打ツテ鎮守府ナリ、或ハ館山ノ航空隊ナリ、或ハ軍司令部ニ、之ニ對スル所ノ指揮ヲ求メ、或ハ援助ヲ求メタリシ場合ガアリト致シマシタラ、果シテ其ノ時ニ海軍ハドシナ處置ヲ御執ニナルデアリマセウカ、伺ヒタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 先ヅ以テ無線ヲ打ツコトノドウトカ斯ウトカ云フコトガ一ツノ問題ニナルト思ヒマス、是ハ敵ヲ見テ、詰リ軍

テハ爲サナイト云フコトヲハツキリト確約スルコトガ必要チヤナイカ、例ヘバ淺間丸事件ガ帝都ノ入口デ起ツタ、ダカラ之ヲ報復的ニ倫敦ノ入口ニ日本ノ驅逐艦或ハ巡洋艦ガ行ツテ、英吉利ノ商船ヲ取調ベルトカ、サウ云フヤウナコトハオ五ニ出來ナイコトナシダカラ、此方モ向フコトハヤラナイ代リニ、向フモ此方ヲヤラナイト云フコトニナラナイト、國民ガ非常ニ危懼ノ念ヲ持ツツチヤナイカ、申スマデモアリマセウ、日本ノ近海、潮岬トカ小笠原附近ヲ含ム日本ノ太平洋方面ト云フモノハ、日本ノ海軍ノ極メテ重要ナル作戦圈内デアル、其ノ作戦圈内デアル限り、假令公海デアルトハ言ヒナガラ、其處ニ於テ英吉利ノ名前モ付ケナイ、其ノ行動モ分ラナイト云フヤウナ怪軍艦ガ出沒ヲシテ、隨時隨所ニ日本ノ船ヲ難何スルト云フヤウナコトニナルト、是ハ國民トシテハ非常ニ危懼ノ念ヲ持ツ、先般豫算總會デ外務大臣ハ公海デアル以上、國際法ニ明記サレテ居ル以上致シ方ナイノダト云フ風ナ答辯ヲサレタ、若シ法律上公海デアルカラ蒸気船ノ艦隊ガ來マシテ、日本ノ近海デ大演習ヲシタ致シマシタラバ、日本ノ海軍ハ到底黙ツテ居ラレナイダラウト思フ、法律ノ解釋ヨリ以上ニ、オ五ニ兩方トモ重要ナル作戦圈内ト云フコトヲ考ヘ合セルト、法律上ハ出來ルコトデアツテモ、オ五ニ遠慮シ、自制止合ハナケレバナラス所ガアルンチヤナイカ、ソレヲ敢テ行フコトハ、日本ニ對スル挑戰行爲以外ノ何モノデモナイト考ヘマスガ、御所見ハ如何デゴザイマスカ

○吉田國務大臣 御説ノ通り先デ行動スルト云フコトハ、法的ニハ見モアレ面白クナイ、ダカラ今回ハ非友誼的トシテ強硬ナラシメテ居ル、無法律的ニ許サレルカト云フテ玄關先ニ艦ヲ返セルト云フ風ナコトハ非禮ト申シマス、外交上非友誼的ト申シマス、是ハ當然デアラウト思フ、何モ法規バカリニ拘泥シテハイカスノダカラ、實質的ニ又法的ニ兩方見テ行カナクテハナラス、其ノ點ハ全然同意デアリマス、元々英吉利ノ艦艇ガ日本近海ニ傍ツタノハ、既ニ御承知ト思フガ、率逸ノ商船ガ歐洲戰亂勃發ト共ニ、日本ノ港灣ニ回避致シマシテ、是ガ武裝商船ニナツテ再ビ外洋ニ出テ、サウシテ此ノ前ノ歐洲戰亂デハ「エムデン」或ハ「ヴォルフ」トカガ非常ニ通商破壞ヲヤリマシタノデ、サウ云フコトヲ非常ニ危懼シテ居ツタ、殊ニ内地ニ居ツタ當時ノ獨船ノ中ニハ、相當ナ高速度ナモノガアツテ、是ガ一旦武裝デモシテ日本ノ港灣ヲ脱出シテ、サウシテ太平洋ヲ荒サレルト大變ダト云フコトヲ非常ニ危懼シテソレヲヤツテ居ツタヤウデアリマス、其ノ場合ト雖モ今御話ノヤウナ點モアリマス、近海ニ海軍ガ行動シ演習ヲヤルト云フ場合モアルノデ、オ五ノ視界内ニ入ルコトハ面白クナイ、演習ノ場合ニモ差支ヘルト云フヤウナ場合ニハ、其ノ都度海軍省ハ英吉利ノ武官ヲ呼ンデ注意ヲ與ヘテ、其ノ都度向フノ行動ヲ變更サシテ居ルト云フヤウナコトヲヤツテ居ル、併シ今獨船ノ脱出ヲ恐レルト云フコトハ、一應向フトシテハ考ヘサウナコトデアリマス、ソレガ相當ナ距離デアラナラバ、ソレマデ一々ナルト云フコトハ、必ズシモ適當チヤ

○小山委員 大變ハツキリシマシタガ、サウシマスト先般淺間丸ノ臨檢シタ艦名ハ……目デハ怪ト云フ字ノ付タノハ一ツモアリマセウ、皆分ツテ居ル大體サウ云フ心持デアルト御承知願ヒタイ

○吉田國務大臣 先ヅ以テ無線ヲ打ツコトノドウトカ斯ウトカ云フコトガ一ツノ問題ニナルト思ヒマス、是ハ敵ヲ見テ、詰リ軍

○小山委員 是ハ外務省ノ方デ非常ニ此ノ點ヲ私ハ強ク言ウク問題デアリマスガ、先般郵船會社ノ當崎丸ト云フ船ガ、儘カ去年ノ十月三日ト思ヒマスガ「ポートセッド」ニ碇泊シテ居ル時ニ、英吉利士官ガ一名參リマシテ當崎丸ニ積込シテ居ル所ノ、交戦國ニ近接シテ居ル中立國ニ行ク郵便物ヲ檢査シタイト云フ要求ヲシマシタガ、係デアル二等運轉手ト船長ガ、海軍法規ニ則ツテ中立國船艦ニ積込シテ居ル郵便物ハ不可侵デアルト云フノデ、拒絶致シマシタノデ「エムデン」ズ英吉利ノ士官ハ引下ツテ參リマシタ、サウスルト今度ハ「ポートセッド」駐在ノ總領事ガ參リマシテ、英吉利側ノサウ云フ要求ヲ拒絶シテモ、若シ武力ヲ以テ來ラレタ場合ニハ、法規ハアツタトシテモヤハリ檢査ヲサレルノデアル、更ニ其ノ問題ヲ拒否シタガ爲ニ、英吉利ト日本トノ外交上ニ非常ナ障礙ヲ來サウナコトガアツテハイカスカラ、見セテヤツタラ宜イチヤナイカト云フ要求ヲ船長ノ方ニシテ來マシタ、ソレコト船長ハ一旦拒絶シタノデアリマスガ、日本外交上ニ障礙ヲ來スト云フコトヲ言ハレマシタノデ、再ビコチカラ進ンデ其ノ郵便物ヲ見セタ、即チ臨檢ヲサレタト云フ事實ガアルノデアリマス、斯様ナコトハ私ハ

○吉田國務大臣 先ヅ以テ無線ヲ打ツコトノドウトカ斯ウトカ云フコトガ一ツノ問題ニナルト思ヒマス、是ハ敵ヲ見テ、詰リ軍

○小山委員 是ハ外務省ノ方デ非常ニ此ノ點ヲ私ハ強ク言ウク問題デアリマスガ、先般郵船會社ノ當崎丸ト云フ船ガ、儘カ去年ノ十月三日ト思ヒマスガ「ポートセッド」ニ碇泊シテ居ル時ニ、英吉利士官ガ一名參リマシテ當崎丸ニ積込シテ居ル所ノ、交戦國ニ近接シテ居ル中立國ニ行ク郵便物ヲ檢査シタイト云フ要求ヲシマシタガ、係デアル二等運轉手ト船長ガ、海軍法規ニ則ツテ中立國船艦ニ積込シテ居ル郵便物ハ不可侵デアルト云フノデ、拒絶致シマシタノデ「エムデン」ズ英吉利ノ士官ハ引下ツテ參リマシタ、サウスルト今度ハ「ポートセッド」駐在ノ總領事ガ參リマシテ、英吉利側ノサウ云フ要求ヲ拒絶シテモ、若シ武力ヲ以テ來ラレタ場合ニハ、法規ハアツタトシテモヤハリ檢査ヲサレルノデアル、更ニ其ノ問題ヲ拒否シタガ爲ニ、英吉利ト日本トノ外交上ニ非常ナ障礙ヲ來サウナコトガアツテハイカスカラ、見セテヤツタラ宜イチヤナイカト云フ要求ヲ船長ノ方ニシテ來マシタ、ソレコト船長ハ一旦拒絶シタノデアリマスガ、日本外交上ニ障礙ヲ來スト云フコトヲ言ハレマシタノデ、再ビコチカラ進ンデ其ノ郵便物ヲ見セタ、即チ臨檢ヲサレタト云フ事實ガアルノデアリマス、斯様ナコトハ私ハ

○吉田國務大臣 先ヅ以テ無線ヲ打ツコトノドウトカ斯ウトカ云フコトガ一ツノ問題ニナルト思ヒマス、是ハ敵ヲ見テ、詰リ軍

○小山委員 是ハ外務省ノ方デ非常ニ此ノ點ヲ私ハ強ク言ウク問題デアリマスガ、先般郵船會社ノ當崎丸ト云フ船ガ、儘カ去年ノ十月三日ト思ヒマスガ「ポートセッド」ニ碇泊シテ居ル時ニ、英吉利士官ガ一名參リマシテ當崎丸ニ積込シテ居ル所ノ、交戦國ニ近接シテ居ル中立國ニ行ク郵便物ヲ檢査シタイト云フ要求ヲシマシタガ、係デアル二等運轉手ト船長ガ、海軍法規ニ則ツテ中立國船艦ニ積込シテ居ル郵便物ハ不可侵デアルト云フノデ、拒絶致シマシタノデ「エムデン」ズ英吉利ノ士官ハ引下ツテ參リマシタ、サウスルト今度ハ「ポートセッド」駐在ノ總領事ガ參リマシテ、英吉利側ノサウ云フ要求ヲ拒絶シテモ、若シ武力ヲ以テ來ラレタ場合ニハ、法規ハアツタトシテモヤハリ檢査ヲサレルノデアル、更ニ其ノ問題ヲ拒否シタガ爲ニ、英吉利ト日本トノ外交上ニ非常ナ障礙ヲ來サウナコトガアツテハイカスカラ、見セテヤツタラ宜イチヤナイカト云フ要求ヲ船長ノ方ニシテ來マシタ、ソレコト船長ハ一旦拒絶シタノデアリマスガ、日本外交上ニ障礙ヲ來スト云フコトヲ言ハレマシタノデ、再ビコチカラ進ンデ其ノ郵便物ヲ見セタ、即チ臨檢ヲサレタト云フ事實ガアルノデアリマス、斯様ナコトハ私ハ

○吉田國務大臣 先ヅ以テ無線ヲ打ツコトノドウトカ斯ウトカ云フコトガ一ツノ問題ニナルト思ヒマス、是ハ敵ヲ見テ、詰リ軍

○小山委員 是ハ外務省ノ方デ非常ニ此ノ點ヲ私ハ強ク言ウク問題デアリマスガ、先般郵船會社ノ當崎丸ト云フ船ガ、儘カ去年ノ十月三日ト思ヒマスガ「ポートセッド」ニ碇泊シテ居ル時ニ、英吉利士官ガ一名參リマシテ當崎丸ニ積込シテ居ル所ノ、交戦國ニ近接シテ居ル中立國ニ行ク郵便物ヲ檢査シタイト云フ要求ヲシマシタガ、係デアル二等運轉手ト船長ガ、海軍法規ニ則ツテ中立國船艦ニ積込シテ居ル郵便物ハ不可侵デアルト云フノデ、拒絶致シマシタノデ「エムデン」ズ英吉利ノ士官ハ引下ツテ參リマシタ、サウスルト今度ハ「ポートセッド」駐在ノ總領事ガ參リマシテ、英吉利側ノサウ云フ要求ヲ拒絶シテモ、若シ武力ヲ以テ來ラレタ場合ニハ、法規ハアツタトシテモヤハリ檢査ヲサレルノデアル、更ニ其ノ問題ヲ拒否シタガ爲ニ、英吉利ト日本トノ外交上ニ非常ナ障礙ヲ來サウナコトガアツテハイカスカラ、見セテヤツタラ宜イチヤナイカト云フ要求ヲ船長ノ方ニシテ來マシタ、ソレコト船長ハ一旦拒絶シタノデアリマスガ、日本外交上ニ障礙ヲ來スト云フコトヲ言ハレマシタノデ、再ビコチカラ進ンデ其ノ郵便物ヲ見セタ、即チ臨檢ヲサレタト云フ事實ガアルノデアリマス、斯様ナコトハ私ハ

○吉田國務大臣 先ヅ以テ無線ヲ打ツコトノドウトカ斯ウトカ云フコトガ一ツノ問題ニナルト思ヒマス、是ハ敵ヲ見テ、詰リ軍

○小山委員 是ハ外務省ノ方デ非常ニ此ノ點ヲ私ハ強ク言ウク問題デアリマスガ、先般郵船會社ノ當崎丸ト云フ船ガ、儘カ去年ノ十月三日ト思ヒマスガ「ポートセッド」ニ碇泊シテ居ル時ニ、英吉利士官ガ一名參リマシテ當崎丸ニ積込シテ居ル所ノ、交戦國ニ近接シテ居ル中立國ニ行ク郵便物ヲ檢査シタイト云フ要求ヲシマシタガ、係デアル二等運轉手ト船長ガ、海軍法規ニ則ツテ中立國船艦ニ積込シテ居ル郵便物ハ不可侵デアルト云フノデ、拒絶致シマシタノデ「エムデン」ズ英吉利ノ士官ハ引下ツテ參リマシタ、サウスルト今度ハ「ポートセッド」駐在ノ總領事ガ參リマシテ、英吉利側ノサウ云フ要求ヲ拒絶シテモ、若シ武力ヲ以テ來ラレタ場合ニハ、法規ハアツタトシテモヤハリ檢査ヲサレルノデアル、更ニ其ノ問題ヲ拒否シタガ爲ニ、英吉利ト日本トノ外交上ニ非常ナ障礙ヲ來サウナコトガアツテハイカスカラ、見セテヤツタラ宜イチヤナイカト云フ要求ヲ船長ノ方ニシテ來マシタ、ソレコト船長ハ一旦拒絶シタノデアリマスガ、日本外交上ニ障礙ヲ來スト云フコトヲ言ハレマシタノデ、再ビコチカラ進ンデ其ノ郵便物ヲ見セタ、即チ臨檢ヲサレタト云フ事實ガアルノデアリマス、斯様ナコトハ私ハ

○吉田國務大臣 先ヅ以テ無線ヲ打ツコトノドウトカ斯ウトカ云フコトガ一ツノ問題ニナルト思ヒマス、是ハ敵ヲ見テ、詰リ軍

○小山委員 是ハ外務省ノ方デ非常ニ此ノ點ヲ私ハ強ク言ウク問題デアリマスガ、先般郵船會社ノ當崎丸ト云フ船ガ、儘カ去年ノ十月三日ト思ヒマスガ「ポートセッド」ニ碇泊シテ居ル時ニ、英吉利士官ガ一名參リマシテ當崎丸ニ積込シテ居ル所ノ、交戦國ニ近接シテ居ル中立國ニ行ク郵便物ヲ檢査シタイト云フ要求ヲシマシタガ、係デアル二等運轉手ト船長ガ、海軍法規ニ則ツテ中立國船艦ニ積込シテ居ル郵便物ハ不可侵デアルト云フノデ、拒絶致シマシタノデ「エムデン」ズ英吉利ノ士官ハ引下ツテ參リマシタ、サウスルト今度ハ「ポートセッド」駐在ノ總領事ガ參リマシテ、英吉利側ノサウ云フ要求ヲ拒絶シテモ、若シ武力ヲ以テ來ラレタ場合ニハ、法規ハアツタトシテモヤハリ檢査ヲサレルノデアル、更ニ其ノ問題ヲ拒否シタガ爲ニ、英吉利ト日本トノ外交上ニ非常ナ障礙ヲ來サウナコトガアツテハイカスカラ、見セテヤツタラ宜イチヤナイカト云フ要求ヲ船長ノ方ニシテ來マシタ、ソレコト船長ハ一旦拒絶シタノデアリマスガ、日本外交上ニ障礙ヲ來スト云フコトヲ言ハレマシタノデ、再ビコチカラ進ンデ其ノ郵便物ヲ見セタ、即チ臨檢ヲサレタト云フ事實ガアルノデアリマス、斯様ナコトハ私ハ

○吉田國務大臣 先ヅ以テ無線ヲ打ツコトノドウトカ斯ウトカ云フコトガ一ツノ問題ニナルト思ヒマス、是ハ敵ヲ見テ、詰リ軍



ガ軟弱ニナルノモ、強硬ニナルノモ、毅然タル態度ヲ執ルノモ、糊塗的態度ヲ執ルノモ、一ニ懸ツテ海軍ノ決心如何ニアルト考ヘマス、デアリマスカラ、支那事變處理ノ爲ニハ、ドウシテモ諸外國ニ對シテ、最も強硬ナル外交的態度ヲ執ラナケレバナラス、米内總理大臣ハ斷乎タル態度デアルトカ、毅然タル態度デアルトカ云フコトヲ仰シヤイマスガ、ソレハ言葉ノ上ニ斷乎毅然タルノデハナイ、實行ノ上ニ斷乎毅然デナケレバナラスト私ハ思フ、若シ此ノ外交問題ノ處置ヲ、一ツデモ誤ルト云フヤウナコトニナリマス、此ノ事變ノ爲ニ多クノ物質的ニモ、或ハ人命ニモ非常ナ犧牲ヲ拂ツタ所ノ此ノ事變ノ結果、成果ガ全ク水泡ニ歸スルヤウナ結果ニナル、隨テ人心ハ是ガ爲ニ非常ニ動搖スルヤウナコトニナリハシナイカト云フコトヲ私ハ憂フル、デアリマスカラ、日本ノ對外的態度ト云フモノハ、極メテ重大デアリマシテ、私ハ一貫不動ノ對策ガナケレバナラスト思フ、或ル場合ニ於テハ英國ニ對シテハ非常ニ追隨的デアリ、或ル場合ニ於テハ亞米利加ニ對シテハ戰々競タル態度ニ出テ居ルト云フヤウナ感シテ、國民ガ非常ニ持ツノデアリマス、屢内閣ガ迭ルト云フコトニモ弊害ガアリマセウケレドモ、一貫不動ノ日本ノ對外方針ト云フモノガ確立シテ居ラヌカラデアアル、其ノ外交方針ト云フモノハ、懸ツテ日本ノ陸海軍ノ強キ支持後援ニアルノデハナイカト考ヘマスノデ、此ノ點ニ對シテハ、今後斯ル事件ガ全クナイトハ私ハ豫想ガ出來ナイ、淺間丸ノヤウナ事件ヲ再ヒ起スコトガアルカナイカト云フコトヲ海軍大臣ニ御伺シテモ仕様ガナイガ、斯様ナコトハアルカモ知

昭和十五年二月十七日印刷

昭和十五年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

レス、又はカラ長イ戰爭ノ間ニ、ナイナドト云フコトハ斷言シ切レナイ、アツテモ宜イ、アツテモ宜イガ、其ノ解決ハ斷乎タル態度ニ依ツテ、強硬ニ解決ヲスルト云フコトヲ、私ハ此ノ際海軍大臣カラ自信ノアル御所信ノ御發表ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○吉田國務大臣 外交ハ實力ヲ伴ハネバナラス、力ノナイ外交ハイカヌト云フ趣旨ニ於テハ、全然同感デアリマシテ、各國ノ軍備モ其ノ點ニアルノデゴザイマスガ、大體小山委員ノ申サレタ趣旨ニハ、別段附加ヘナクモ宜カラウト思フ、御同感ノ意ヲ表シテ置キマス

○小山委員 私ノ質問ハ終リマシタ

○末松至奎 他ニ質問ノ通告モアリマセヌカラ、本日ハ是ニテ散會致シマス、明後日八午前十時カラ陸軍省所管ノ事項ニ付テ、質問ヲ繼續致シマス

午前十一時四分散會



第七十五回帝國議會 豫算委員第四分科(陸軍省及海軍省所管)會議錄(筆記)第三回

會議

昭和十五年二月十九日(月曜日)午前十時十八分開議

出席委員左ノ如シ

主査 末松借一郎君

篠原 陸朗君

加藤 知正君

田原 春次君

中島彌爾次君

中村三之丞君

水谷長三郎君

由谷 義治君

川崎 克君

同日第五分科所屬員川崎克君ハ本分科兼務ト爲リタリ

出席國務大臣左ノ如シ

陸軍大臣 畑 俊六君

海軍大臣 吉田 善吾君

出席政府委員左ノ如シ

興亞院部長 日高信六郎君

陸軍政務次官 三好 英之君

陸軍參與官 宮崎 一君

陸軍主計中將 石川半三郎君

陸軍少將 武藤 章君

陸軍主計大佐 森田 親三君

陸軍歩兵大佐 河村 參郎君

海軍政務次官 松山常次郎君

海軍參與官 小山邦太郎君

海軍主計中將 武井 大助君

海軍少將 阿部 勝雄君

海軍主計大佐 爲本 博篤君  
海軍大佐 矢野 英雄君  
海軍大佐 千田 金二君  
主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ  
議員中山 福藏君 議員土屋清三郎君  
議員羽田武嗣郎君  
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中陸軍省及海軍省所管  
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中陸軍省及海軍省所管  
(臨時第一號)臨時軍費豫算追加案  
(臨時第一號)臨時陸軍材料資金豫算追加案

○末松主査 開會致シマス——川崎君  
○川崎委員 私人御尋ラシタイ問題ハ物動計畫ト直接ノ關係アル問題デアリマスルガ、陸軍當局ニモ是ハ重要ナ關係ヲ持ツ問題デアリマスノデ同フデアリマス、物動計畫ニ依ル資料ヲ得ルノ途ハ、一ツハ正貨ヲ以テ海外カラ得ルノ途ト、ソレカラ則チ、アロク、内ノ資料ヲ得ルノ途トアル課デアリマスケレドモ、其ノ最モ大キナ取殘サレタ問題ハ廢品ノ回收ト云フヨリモ、モウ一步進ンデ廢品ノ更生ニ關スル問題ガ重要ナ問題デアリマスガ、今期議會ニ此ノ問題ニ關シテ質問應答ノ行ハレタ跡ヲ見マスト、極ク一小部分サウ云フ論議ガアツタヤウデアリマスシ、政府ノ提出シテ居リマス案ノ中デモ、取分ケツレテ取上ゲテ居ルモノ

ハ、商工省豫算ニ代品及ビ廢品回收ニ關スル經費トシテ、僅ニ四十七万圓餘リシカ、是等ニ關スル經費ヲ見テ居ナイ、此ノ廢品ノ回收トカ、或ハ更生運動ト云フ問題ハ、歐洲戰爭ノ後ニ獨逸ニ於テ最モ能ク研究セラレタ問題デアリ、ソレカラ資源ノ最モ多イ亞米利加ニ於テモ、之ヲ取上ゲテ組織的ニ研究セラレタ問題デアリマス、日本デハ此ノ問題ヲ大キク取上ゲテ研究セラレテ居ナイ、之ニ關シテノミ別ナ法令ヲ作ツテモ居ナケレバ、組織モシテ居ナイ、私ハ非常ニ之ヲ遺憾ニ思フテ居ルノデス、今日ノヤウニ物資不足デアリ、物動計畫ノ内容ヲ仔細ニ點檢シマシテモ、洵ニ心細イ感ジガサレル場合ニ、最モ取殘サレタ此ノ廢品ノ更生問題ト云フモノハ、大キナ問題デアリナイカ、殊ニ現地ニ於テ大戰争ノ行ハレテ居ル場合ハ、困難カモ知レマセヌガ、秩安維持ノ確立シテ居ルヤウナ場合ニ、陸軍ノ駐屯セラレテ居ルヤウナ場合ニ處シテハ、此ノ問題ヲ取上ゲテ研究セラレベキ餘地ガ十分ニアルト思フ、併シテガラ之ヲ取上ゲテヤルトスルナラバ、現在ノ組織デハ到底困難デ、整理ニ關スル陸軍ノ今日ノ配屬將校ナリ關係者ノ編制ノ狀況ヲ見マシテモ、手一パイニ仕事ヲシテ居ルノデアリマスカラ、ドウシテモ是ハモウ少シ人ヲ殖ヤサナケレバナラズ、又組織ヲ變更スルト同時ニ、是等ニ關スル部門々々ノ受持ヲ決メテ、適當ニ此ノ問題ヲ取上ゲテ研究シテ行カナケレバナラズト思ヒマスガ、斯ウ云ツタコトニ對

シテ從來ノヤリ方ハ、大キナ鐵材デアルトカ何トカ云フモノニ付テハ取上ゲラレテ居リマスガ、小サイ物ニ互ツテ、幾種類モノ細カイ物ニマデ互ツテ、或ハ總機デアルトカ、或ハ木ノ破片デアルトカ、サウモノニ互ツテヤツテ居ルカト云ヘバ、ソレハヤツテ居ナイヤウデアリマス、獨逸ヤ亞米利加ノ例ヲ見マスルト、其ノ方面ニ向ツテマデ行ハレテ居ル、此ノ問題ヲドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ラルカ、一ツ伺ツテ見タイト思ヒマス、大臣御承知ナラバ結構デアリマスガ、經理局カラデモ結構デアリマス  
○畑國務大臣 川崎君カラ廢品回收ノ御話デゴザイマシタガ、是ハ私共全然同ジ考ヘデアリマシテ、ソレニ付テハ微ニ入り細ニ互ツテ實行致シテ居リマスルシ、又事變地ニ於キマシテモ、初メ作戰ガドク、進行スル間ハ考ヘテ居ツテモ申出來マセヌデシタガ、其ノ後段々秩安維持ガ確立スルト云フコトニナリマス、是ハ隨分現地ニ於テモ餘ニ徹底致シテ居リマス、私ガ見聞致シマシタ所デ、モ能ク是マデ出來テ居ルト云フコトヲ感ジタ次第デアリマスガ、只今陸軍ニ於テヤツテ居リマスコトヲ、御參考マデニ一ツ申上ゲテ見タイト存ジマス、不用品ト廢品ノ回收利用ニ付テハ、夙ニ其ノ緊要性ヲ認メマシテ、昭和十四年初メ全軍ニ資源回收ニ關スル指示ヲ與ヘ、次イデ同年八月陸軍物資回收利用要領手続ト云フモノヲ決メマシタ、之ヲ以テ此ノ回收物資ノ利用ニ任ズル機關ノ業務系統ヲ明確ナラ











ス限リ運輸部ノ方面ニ廻シマシテ、船舶ノ運用ニ遺憾ナカラシメテコトヲ期シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ又大連ノ御話ガゴザイマシタガ、大連ハ御話ノ通り實際此ノ事變以來多量ノ滞貨デアリマシテ、船舶ノ沖待ヲ發生スルニ至ツタノデアリマスガ、其ノ原因ハ今指摘サレマシタ通り貨物ノ數量、就中日本カラノ輸入貨物ノ激増ニ依ルモノデアリマス、是ガ對策トシテハ、應久ノニハ荷役方法ノ改善、埠頭倉庫ノ増設、保管料ノ引上等ヲ行ヒマシテ、相當埠頭狀況ノ改善ヲ見ルニ至リマシタガ、根本的ニハ何ト申シテモ埠頭ノ設備ヲ必要デアリマスシカラ、此ノ擴張ヲ行フ必要ヲ認メラレマシタノデ、昨年來滿鐵ニ於テハ豫算ヲ計上シテ、擴張工事ニ着手シテ居リマス、重ネテ申シマスルガ、此ノ陸軍備船ノ運用ト云フコトニ付キマシテハ、國ノ船舶經濟ニ少シデモ支障ヲ與ヘナイト云フ見地カラ、出來ルダケ經濟的ノ運用ヲ圖ルコトニナツテ居リマスシ、又將來モ努メタイ考テ居リマス

ハ、幾人モ居ラナイノデス、ドンナ大キナ會社デモ一人カ二人シカ居リマセス、誰ヲ連レテ行ツテモ船ニ經驗ノアル者ナラ出來ル、サウ云フモノデアリマセス、皆ソレソレ「エキスパート」ガアツテ、ズツト會社ニ入ツタ時カラ今日マデ、一貫シテ配船ヲシテ居ルヤウナ連中ハ、逆モ他ノ追隨ヲ許サナイヤウナ熟練シタ人デアアル、私ハサウ云フ人間ヲ引ツコ抜イタガ宜イコト言フノデス、誰デモ船ニ經驗アル者ナラ構ハナイ、會社ノ方デ是ガ宜カラウト云ツテ推薦シタ人間ナラ皆連レテ來ル、斯ウ云フヤリ方ハ却ツテイケンナイチヤナイカ、陸軍ハ一ツノ大キナ會社ガ出來テモ宜イ位ノ噸數ヲ動かシテ居ルノデアリマスカラ、立派ナ組織的ナ機關ヲ御作リニナツテオヤリニナルガ宜イ、本當ニ長イ戰争ヲ覺悟シテオヤリニナルナラバ、サウ云フ機關ヲ御作リニナルコトガ宜イノチヤナイカト云フ意味合デ質問ヲ致シタノデアリマシテ、私ノ言フノハ軍方船ノ使ヒ方ガ多イトカ少イトカ、ソノ意味デ言ツタノデアリマセス、此ノ方ガ能率ヲ舉ゲル上ニ於テ、眞ニ船ヲ經濟的ニ運用スル意味ニ於テ宜イノチヤナイカ、斯ウ云フコトヲ御質問申上テ答テアリマス

ウ云フ意味デ陸軍ハ陸軍ノ立場ヲ強ク聲明サレマシタ、ソレニ從ツテ發送會社ガ出來マシテ、電力ノ國家管理ト云フコトガ實現シテ居ルノデアリマスカラ、之ニ伴ツテ最モ必要ナルモノハ、發送電ノ國家管理ト同時ニ、配電ノ國家管理ナケレバナラヌト私ハ思フ、電力バカリヨドシナニ統制シマシテモ、國家ガ之ヲ管理シマシテモ、配電ヲ國家ガ管理シナケレバ何モナラナイノデアリマス、恰度兩方ノ車輪ガ動イテ車ハ進ンデ行ク、ソレヲ片方ノ車輪ダケヲ造ツテ、片方ノ車輪ヲ造ラナイト云フヤウナ不徹底ナ統制ヲサレルカラ、現在ノヤウナ變態ナ狀況ヲ生ジテ居ルノダト思フ、大阪方面ニ行ツテ調査シテ見マスカラ、配電會社カラ相當ノ制限ヲスルヤウ各會社ノ自製ヲ求メル、所ガ申合セ通りニナツテ居ル會社ト云フモノハ、大阪砲兵工廠ダケト云フ、アトノ會社ニナリマスカラ、一日ニ三時間ナリ四時間ナリ休ンデ、アトノ時間ダケ働タト云フヤウナ中合セヲシマシテモ、其ノ三時間ナリ四時間ナリハ、是ハ已ムヲ得ス休ンデ居リマスカレドモ、残ツタ時間ニナリマス、職工ニ辨當ヲ與レタリ、或ハ菓子ヲ與レタリシテ、職工ニ今マデ休ンダ分ヲ取返ヘサセルヤウニ、ウント働ラカセルノデス、サウスルト折角ソコデ三時間ナリ四時間ナリ「セーブ」シテ居リマシタ電力ハ、休ンダ後ウント働カサレマスカラ、ドンドン使ハレテ、電氣ハ幾ラデモ使ヘバ使フ程ソツチニ流レルノデアリマスカラ、制限ヲシタシナイニ拘ラズ、シナイ時ト同ジヤウニ電氣ハヤハリ使ハレテシマフ、ダカラ幾ラヤツテモ是ハ同ジコトニナルノデアリマス、隨テ眞ニ電氣ヲ國家的ニ使ハウト

考ヘル時ニハ、ドウシテモ電力ノ國家管理ト相對應シテ、配電ノ國家管理ヲ實行シナケレバナラヌト云フコトハ申スマデモナイコトデアアル、サウデナケレバ申スウ云フヤウナ事變ガ發生スルト云フコトヲ、私ハ憂ヘザルヲ得ナイ、隨テ配電ノ國家管理ト云フコトハ焦眉ノ急デアル、電力ノ統制ヲ徹底的ニサセル爲ニ、配電ノ國家管理ヲ陸軍大臣ハ直チニ御ヤリニナル御決心ガオアリデハナイデゴザイマスカ、又本年度ハ勿論是ハ出來ナイデゴザイマセウガ、來年度ニハ斯ウ云フヤウナ法律ヲ作ツテ、完備シタモノニシタイト云フヤウナ御考ガオアリデゴザイマスカ、伺ヒタイ

○小山委員 陸軍ノ備船ガ多イトカ少イトカ云フコトヲ申上テハ、ハナイノデアリマス、能率ヲ現在以上ニ上ゲル意味合カラ、只今申上テマシタヤウニ、組織的ナ機關ヲ御作リニナツタラドウカト云フコトヲ申上テタノデアリマス、尙ホ民間各會社等カラ囑託ヲ御使ヒニナツテオ居デニナルコトモ、私ハ知ツテ居リマス、又應召兵ノ中ニモサウ云フ者ガアツテ働イテ居ルコトモ知ツテ居リマス、併シナガラ船線リニ付テハ、ドンナ大キナ會社デモ、斯ウ云フコトニ非常ニ熟練シタ、船線リノ名人ト云ハレルヤウナ「エキスパート」ト云フモノ

○小山委員 次ニ御話シタイノハ電力問題デアリマス、先般ノ議會ニ杉山陸軍大臣ハ、通信省ノ提出シマシタ電力國家管理案ニ對シテ言葉ヲ添ヘラレテ、電力ヲ國家管理スルコトハ國防上絕對必要デアル、サ

ラナカツカト思フ、其ノ一ツノ點ハ政治上ノ發言問答ト所謂政治干渉ト謂ハレルモノトガ、錯綜シテ居ル、ソレカラモウ一ツハナゼサウ云フ一部ノ機關ガ政治上ノ發言問答トナラカト云フ官制上ノ根據ト云フモノガ、ハツキリシテ居ラナカツカト思フノデアリマス、私ハ塞聞ニシテ陸軍官制ノ詳細イコトハ知ラスノデゴザイマス、今度ノ問答ニ關シマシテ少シク調べマスカラ、二六事件以後ニ軍務局ニ軍務課ガ出來タコトハ、此處デ言フマデモナイ次第デアリマス、其ノ軍務局ノ職員トシテ、ハツキリ陸軍官制ニ帝國議會トノ交渉デアルトカ、或ハ國防政策一般ニ關スル事項デアルトカ、或ハ國防思想ノ普及或ハ對策ト云フヤウナコトガ載ツテ居ルヤウニ、私ハ了承シテ居ルノデゴザイマス、隨テ是等ノ一部ノ機關ガ政治上ノ發言ヲ爲シ得ル其ノ根據ト云フモノハ、此ノ陸軍官制ノ中ニ明記サレテ居ル國防トハ何ゾヤト云フ、此ノ基礎概念ハハツキリサスコトガ、私ハ此ノ問題ヲハ明瞭ニ解決出來ル所以デアラウト思フノデアリマス、隨テ先ヅ其ノ順序ト致シマシテ、國防トハ何ゾヤ、國防ノ基準ハ何處ニ置クベキカト云フ點ニ關シテ、明瞭ナル御答ヲ煩シタイト思フノデアリマス

○水谷委員 サウシマス、別ノ言葉ヲ言ヘバ、國防トハ武力戰、ソレニ「ブラス」一般戰略戰其ノ一般戰略戰ノ中ニ、或ハ外交戰デアルトカ、或ハ經濟戰デアルトカ、思想戰、宣傳戰、サウ云フモノガ一切含マレテ居ルト云フヤウニ、陸軍大臣ノ御答辯ヲ了解出來ルト思フノデアリマス、然ラバ其ノ點ヲ了承シマシテ、更ニ私ガ考ヘタイト云フノハ、軍ノ立場ト致シマシテ、サウ云フ武力戰ノミナラズ、一般戰略戰マデモ含メテ全部軍ノ手デヤルト云フコト、又ナラナクテハナイト云フコトガ、果シテ軍ノ爲ニ幸福デアラカドウカト云フコトニ關シマシテハ、私ハ多クノ考ガアラウト思フノデアリマス、即チ現在ノ支那事變ニ於キマシテ、軍制ノ武力戰ノ勝利ノ上ニ、一般戰略戰ヲバ革々シク效果ニ展開シナクテハナラナイ、今日ノ時期ニ於キマシテ、サウ云フ武力戰ノ展開シ得ベキ所ノ、國內政治力ノ體制ト申シマスカ、國內政治力ノ確立ト云フモノガハツキリセナイ所ニ、私ハ現在ノ色々ナ問題ガ起ル原因ガアラウト思ヒマス、例ヘバ先達テ陸軍大臣ハ同僚議員ノ星君ノ御質問ニ對シマシテ、戰時體制強化ハ非常ニ必要デアツテ、社會狀態ハ今尙ホ不十分デアルト云フヤウナコトヲ述ベテレマシテ、「此ノ時難克服ヲ致ス爲、政治、經濟、軍事、是等ノ一切ヲ舉ゲテ戰時體制ニ置クノ要アルコトハ星君ト全然同意デアリマス、又吾等トシテモ現下ノ國內一般ノ社會狀態ガ、満足スベキ狀態ニアルト考ヘテ居ラスノデアリマス、銃後ニ在ル者モ前線ニ在ル者モ同様ノ心持ニナツテ、精神的ニ

軍ノ政治發言問題ニ關シマシテ、同僚議員ト陸軍大臣トノ間ニ問答ガ取交ハサレタノデアリマス、ソレニ關聯シテ二ノ問題ニ關シマシテ、モウ少シ明瞭ニシテ置キタイト思ヒマス、重ネテ大臣ノ御答辯ヲ煩シタイト思フノデアリマス

第一點ハ其ノ際問答ニアリマシタ陸軍大臣ノ仰シヤル陸軍大臣ノ輔佐機關タル陸軍省一部ノ職員、即チ必要ナル研究討論ヲ爲スコトガ職務上當然トサレ、政治上ノ發言ヲ陸軍大臣ノ責任ト爲スコトガ、職務上當然トサレテ居リマス、其ノ輔佐機關タル陸軍省ノ職員ト云フモノハ、一體何ヲ指スノデアアルカ、或ハ軍務局ヲ指スノデアアルカ、或ハ情報部モ含ムノデアアルカ、或ハ整備局ノ一部、例ヘバ戰備課ナドヲ含ムノデアアルカ、或ハソレ以外ニ何カアルノカ、ソレ等ノ點ヲモウ少シ明瞭ニシテ載キタイト思ヒマス

テ国防ト吾々ハ解釋シマス

モ物質的ニモ等シク聖戰ニ從事シテ居ルト云フ觀念ノ下ニ、萬端ノコトガ行ハレルコトヲ希望シテ止マナイ次第デアリマス」ト云フヤウナコトヲ言ツテ居ラレルノデアリマス、然ラバ私ガ尋ネル點ハ、俗ニ謂ハレテ居ル軍略、政略ノ渾然タル一體ヲ爲シ得ベキ所ノ政略ノ擔當方面ノ政治體制ト云フモノハ、戰時下ニ於テ如何ナルモノデアアルカ、其ノ點ヲ、星君ニ答ヘラレマシタヤウナ抽象的ナ言葉デナシニ、モウ少シ突込シテ具體的ナコトヲ御答辯サレマシテ、斯ウ云フヤウナ戰時體制ガ望マシイ、斯ウ云フヤウニ、國內ノ政治體制ガ出來、國內ノ政治力ガ結成サレレバ、軍ハ安シテ武力戰ニ終始スルコトガ出來ル、サウシテオ五ニ所謂政略、軍略ガ渾然一體トナツテ、此ノ日支事變ノ有終ノ美ヲ收メタイト云ハレルヤウナ、戰時體制ト云フモノハ如何ナルモノデアアルカト云フ點ヲ、モウ少シ明瞭ニサレタイ、私ハ星君ノ答辯ニ對シテ延長ト致シマシテ、是非サウサレナクテハナラナイ點デアラウト思フノデアリマス、此ノ點ニ關シマスル陸軍大臣ノ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○水谷委員 ソレデハ官制上當然アルモノト、其ノ時ノ必要ニ應ジテ陸軍大臣ノ責任ニ於テ發言シ得ルモノト、大體二ツアルト云フコトニ了解シテ宜シウゴザイマスカ

○水谷委員 ソレニ關聯致シマシテ大體是マデノ問答ハ二ツノ點ガハツキリサレテ居

○水谷委員 此ノ國防ト云フ意味ハ、從來廣義デアルトカ、狹義デアルトカ色々議論サレタリマシマスガ、吾々ノ考ヘテ居リマスル國防ト云フモノハ、武力、政治、經濟、思想其ノ他有形無形ノ要素ヲ網羅スル綜合力ニ立脚ヲシテ、外敵ノ侵入及ビ攻撃ニ對シ我ガ國家ヲ防衛スルハ無論、我ガ國策進行ニ對スル各種ノ妨害ヲ排除シテ、我ガ繁榮ノ理想ヲ實現スル施策、是等ノ總

○畑國務大臣 吾々ノ考ヘテ居リマス國防ト云フモノハ、今申シテ通りデアリマス、目下ハ詰リ國ノ總力ヲ舉ゲテ、此ノ事變ヲ解決スベキモノデアルトハ、申スマデモナイコトデアリマス、デアリマスカラ陸軍ト致シマシテハ、此ノ國家ノ總力ヲ舉ゲテ事變ヲ遂行スル、サウシテ東亞ノ新秩序ヲ樹立シタイト云フコトニ付キマシテハ、是ハ申スマデモナイコトデアリマスカレドモ、陸軍トシテノ立場ハ各相當考フベキデアリマ



シテ、兎ニ角陸軍トシマシテハ武力戰ヲ主トシマシテ、其ノ他ノ經濟、政治、思想、斯ウ云フ方面ニハ、軍トシテハ極力協力支授ヲスルコトヲ建前テ参リタイト思フテ居リマス、再言致シマス、兎ニ角陸軍ハ武力戰ガ主ナル、アトノ事ハ所謂總力ヲ擧ゲテ、此ノ事變ヲ解決スルニ協力支授ヲシテ行キタイ、斯ウ云フ立場ヲ行キタイト私ハ思フテ居リマス

○水谷委員 ソコデ私ハ此ノ際其ノ問題ニ關シテノ結論ト致シマシテ、軍ノ政治的意見ノ發表ト、所謂政治干與ト世間テ謂ハレテ居ル問題トハ此ノ際嚴格ニ區別スベキ問題デアラウト思フデアリマス、是マデノ議論ハソレガ間フ方モゴツチヤナリ、或ハ答ヘラレル方モ失禮デゴザイマスガ、ハツキリト區別ヲサレテ居ラナイノデ、非常ニ其ノ點ガ不明確ニナツタト思フデアリマス、私ハ現在ノ戰時狀態ノ下ニ於テ、而モ軍部ノ全責任ヲ上テテ日支事變ヲ根本的ニ解決シナクテハナラナイ時ニ於テ、而モ亦全豫算ノ莫大ナル部分ガ、軍ニ關係スル今日ニ於キマシテ、軍ノ政治上ノ關心、或ハ政治上ノ意見ノ發表ト云フモノハ、サウ云フ狀態カラ云ツテモ、亦莫ニ示シマシタ官制ノ上カラ申シマシテモ、私ハ是ハ當然デアラウト思フ、併シナガラソレデアラフ故ニ、所謂世間ニ謂ハレテ居ル所謂政治干與ト云フモノモ妥當デアルト云フコトハ、結論トシテ私ハ絕對ニ言ヘナイデアリマス、然レドモ、世間ノ代表的意見トシテ斯ウ云フコトガ言ハレテ居ル所謂軍人ノ政治干與ニ付テ國民ノ憂慮スル所ヲ直言スレバ、平常ヨリハ政變來ル時デアリ、

内閣組織ノ大命ハ 天皇ノ大權デアリ、内閣組織ヲ命ゼラレタル者ハ他ノ干渉ヲ受ケズシテ、自由ニ之ヲ組織スベキデアル、從來ノ經過ヲ見レバ、軍部ガ内閣組織ニ干渉シタル跡ナシトハ言ヒ難イ、軍部モ恐ラク之ヲ否定シナイデアラウ、戰時中ノ内閣組織ニハ内閣組織者軍部ノ意思ヲ尊重シテ、軍部ト拮据ナキヤウニ心掛クベキハ當然ナルベキモ、軍部ノ積極的干渉ヲ制シテ之ヲ慎マシメバナルマイ、我等ハ軍部ガ此ノ點ニ思フ致サレシコトヲ望ムト云フヤウナ説ガアルノデゴザイマス、私ハ滿洲事變以來此ノ方、軍部ノ所謂政治上ノ力ト云フモノガ、壓倒的ニナツタ事實ヲ斷ジテ否定スル者デハゴザイマス、之ニ對シテ一部ノ或ハ俗ニ言フ自由主義者ト申シマスガ、サウ云フ人ハ斯ウ云フコトヲ感情的ニ非常ニ不愉快ニ思フテ、軍ノ言フコトハ一カラ十マデ悉ク反對ダ、ケチヲ付ケルト云フヤウナ態度ノ人ガ一部ニアリマスガ、是亦大キニ間違ヒデアラウト私ハ思ヒマス、併シナガラ之ニ反シマシテ、軍部ノスルコトハ一カラ十マデ何デモ良イノダ、何デモソレハ良イノダト云フヤウナ、俗ニ言フ軍部追従主義ト申シマスガ、サウ云フ人ノ態度モ、私ハ絕對ニ排撃シナクテハナラナイト思フデアリマス、今日ノ所謂政黨、今日ノ所謂政治家ノ戰時體制ニ於ケル任務ト云フモノハ、此ノ重大ナル事實上ノ政治ノ力ヲ持ツテ居ル軍部ノ正シイ所ヲ正シイ言ツテ、之ヲ極力支持スル、併シナガラ假ニ少シデモ間違ヒガアルナラバ、ソレハ國民ノ名ニ於テ軍部ニ反省ヲ願フツテ、サウシテ正シイ方向ニ行ツテ貰フコトヲサウナ態度ニ出ルコトガ、私ハ現在ノ政治家ニ、或ハ現在ノ

ノ政黨ニ課セラレタ嚴肅ナ義務デハナカラウカト思フノデゴザイマス、斯ウ云フ點ニ對シマシテ、私ハ所謂實際上ノ政治上ノ權力ヲ持ツタ軍部ガ國民ヲ恐レサスヤウナ、國民ニ恐レラレルヤウナ軍部デアツテハ絕對ニナラナイト思ヒマス、一方デハ軍部ノ強サハ他マデ保チツツモ、他方ニ於テハ國民全體カラ心カラ親シマレシムル所ノ軍部デナクテハナラズト、私ハ痛切ニ感ズルノデゴザイマス、之ヲ私ハ如何ナル場所ニ於テモ、如何ナル時ニ於テモ、所謂政治家ノ末席ヲ汚シテ居ル私トシテ、是マデ終始一貫シテ執ツテ來タ態度デゴザイマス、隨テ私ハ今度軍部ノ政治干與ノ問題ニ對スル所謂總決算ト致シマシテ、軍部ノ政治上ノ意見發表ト云フモノハ、曩ニ申シマシタ事情、或ハ官制ノ上カラ云ツテ當然デアアル、是ハ誰モ否認スルコトハ出来ナイ、併シナガラ曩ニ述ベマシタ所ノ意見ノヤウニ、政變來ル時ノヤウナコトガアルト致シマスナラバ、是ハ私ハ國民ノ名ニ於テ、國民ニ親シマナクテハナラナイ軍部ノ立場カラ申シマシテモ、軍部ノ爲ニモ、國民ノ爲ニモ斷ジテ幸福デハナイト思フノデゴザイマス、所謂軍部ノ正當ナル政治上ノ意見ノ發表ト、俗ニ謂ハレテ居ル所謂軍部ノ政治干與ト云フ此ノ問題ニ關シマシテ、陸軍大臣ノ明確ナル御答辯ヲ得ルコトガ出來マシタナラバ、非常ニ幸ヒデアラウト思フデアリマス

○畑國務大臣 陸軍ハ申スマデモナク、陛下ノ軍隊デアリマシテ、所謂國民アツテ軍隊ナシ、軍民一致、殊ニ此ノ時局ヲ突破致シマス爲ニハ、固ク此ノ軍民トガ一體ニ抱キ合ツテ行クコトガ、極メテ必要デアリト思フデアリマス、此ノ見地カラ申シマシテ、概テ次ノヤウニ只今ノ所判斷致シテ居リマス、重慶側ニ於キマスル抗戰ノ中心勢力ハ、今日ト雖モ依然トシテ蔣介石ガ確實ニ把握シテ居リマス、色々ノ情報ガアリマスガ、依然トシテ蔣介石ノ統御力ト云フモノハ存在致シテ居リマス、併シナガラ重慶ノ中心ト致シマスル敵側一般ノ最近ニ於ケル和平氣分ト云フモノハ、是又相當ニ最近擴大致シテ居ルコトモ、否定出來ナイ顯著ナ事實デアリマス、殊ニ最近南支方面ニ於キマスル、敵ノ最近南支方面ニ於キマスル機械化兵團ノ潰滅ニハ直接的ニ重慶ニ非常ナシヨク影響ヘテ居ルヤウデアリマス、又逐次風靡シテ來タノデアリマス、是ガ風化致シテ來テ居リマス、是モ見逃シベカラザル敵ノ最近ノ情勢デアリマス、各部隊ノ素質デアリマスガ、開戰當時カヲ致シマスルト、逐次ニ其ノ素質ガ落ちテ參リマシテ、一箇師團ノ兵力ノ數ハ固ヨリノコト、其ノ裝備シテ居リマスル小銃、火砲等ノ程度モ、數ニ於テ、質ニ於テ、逐次ニ落チツツアルノデアリマス、又其ノ所謂冬季攻勢ト云ヒ、夏季攻勢ト云ヒ、秋季攻勢ト云ヒ、色々ノ踏キハ致シテ居リマスガ、殆ド取ルニ足ラザル動作デアリマシテ、其ノ衰退ハ日ニ著シタルモノガアリマス、之ヲ具體的ニ申シマスルト、最初ハ一箇師團ヲ一箇師團ト替ヘハ見ナケレバナラナカウツ時期モアリマシタガ、逐次ニ減リマシテ、一時ハ二箇師團位ノ兵力デアラウ、或ハ最近デハ一箇大隊以下ノ兵力、詰リ戰力ト云フモノニ判斷ヲ致シテ來テ居ル次第デゴザイマシテ、武力戰トシテ敵ノ抗戰威力ト云フモノハ、最早衰退ノ一途

マシタナラバ、今ノ政治干與ノ問題ハ自然ニ解決サレルト思フデアリマシテ、吾々ハ所謂此ノ國家ノ總力ヲ擧ゲテ、サウシテ此ノ八紘一字ノ肇國ノ大理想ヲ實現スル爲ニ、聖戰ニ向ツテ邁進シテ居ルデアリマス、茲ニ此ノ目的ヲ達成致シマスル爲ニ、少シデモ國家ノ爲ニ好クアレト云フ本當ノ心カラ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、此ノ點ハ十分御諒解アラシコトヲ望ミマス、隨ヒマシテ此ノ所謂政治干與問題デアリマス、是モ只今御話ノアリマシタ通り、政治干與ト云ヒ、或ハ一部ノ政治的ノ發言ト云ヒ、此ノ限界ハ極メテ不明瞭デアリマス、不明瞭デアリマスガ、大體今申上ゲマシタヤウナ見地カラ、陸軍ト致シマシテハ行動ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、先般申シマシタ通り、私ノ所懐ト致シマシテハ、大體水谷君ノ御話ニ依リマス、政治的ノ干與トデモ申シマスガ、是ハ他マデモ陸軍大臣ガヤルコトデアリ、發言モ陸軍大臣ノ一部ト云フヤウナ所謂事務的ノモノニナリマスルト、隨テ此ノ發言ノ範圍ガ自ラ違ツテ來ルノデアリマシテ、此ノ點要スルノニ陸軍大臣ガ其ノ總テヲ統御シテ居ルノデアリマスガ、其ノ時ノ情勢ニ依リ、或ハ其ノ時ノ狀況ニ依リマシテ、之ヲ監督指導スベキモノデアアル、斯ウ私ハ確信致シテ居リマス

○水谷委員 私ハ心ヨリ軍ヲ愛スルガ故ニ、敢テサウ云フコトヲ言ツタノデアリマシテ、成程只今大臣ガ仰シナイマシタヤウニ、政治意見ノ發表ト、所謂俗ニ言ハレテ居ル政治干與ト云フ限界ガ、可ナリ不明瞭ナ點ガアルト云フコトモ、是ハ事實デゴザ

イマセウ、併シナガラ現在日本ノ國內ニ於テ、政治上ニ於テ壓倒的ナ實力ヲ持ツテ居ル所ノ軍部——是ハモウ事實デアル、誰ガ何ト云フテモ是ハ事實デアル、サウ云フ人ノ立場カラ致シマスレバ、唯苟且ニモソレ程強ク言ツタ覺エガナイト云フ其ノ言葉或ハ行ヒデモ、是ガ政局或ハ國民ノ上ニ與ヘル影響ト云フモノハ、非常ニ大キイノデゴザイマシテ、此ノ點ヲ能ク御諒察願ヒマシテ、先ニ新聞ノ論說トシテ讀ミマシタ點ヲ、能ク御參考ニ願ヒタイト思フ次第デアリマス

テ居ルノカト云フコトヲ、支那ノ現在ノ社會狀態、或ハ經濟狀態ノ變遷過程ノ上カラ、之ヲハツキリ考察スルコトガ正シイト思フノデゴザイマス、斯ウ云フ點ニ關シマシテ、軍ト致シマシテハ、所謂重慶政府ノ抗戰能力ヲ、ドノヤウニ計ツテ居ラレルノカ、軍事的ノ抗戰能力、或ハ財政的ノ抗戰能力、或ハ思想的ノ抗戰能力ト云フヤウナコトニ對シテ、所謂科學的ニドノヤウニ計ツテ居ラレルノデアアルカ、勿論ハ此ノヤウニ計ツテ居ルガ故ニ、モウアト重慶政府ノ抗戰能力ハ、是レノ日數シカナイト云フヤウナコトヲ、私ハ尋ネヨウトスルノデハゴザイマセウ、サウ云フコトハ無理デゴザイマス、併シナガラ大體ノ見透シハ矢張立テナケレバ、唯重慶政府ガ懸念解體ノ上、新政權ニ合流スルコトヲ期待スルコトヲヤウナコトデハ、國民ノ方カラハ可ナリ不安デアラウト思フノデゴザイマス、斯ウ云フ點カラ所謂重慶政府ノ抗戰能力ヲ、軍ハドノヤウニ御計リデアリマスルカ、更ニ又思想的抗戰能力ト申シマスガ、重慶政府ト共產黨トノ關係ハ、ドノヤウニナツテ居ルカ、新聞デハ色々傳ヘラレテ居リマスガ、軍ガ色々ノ立場カラ御計リヨ願ヒマシタ、サウ云フ思想上ノ抗戰能力ハドノヤウニナツテ居ルカ、之ヲ私ハ陸軍大臣カラ御伺シタイト思ヒマス、更ニ又財政的ノ抗戰能力ハドノヤウニナツテ居ルカ、是ハ興亞院ノ經濟部長カラ御説明ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマスガ、前ノ二點ヲ軍ノ方カラ御答辯ヲ願ヒタイト思フデアリマス

○武藤政府委員 私カラ申上ゲマス、敵側ノ抗戰能力ノ判斷ト云フコトハ、極メテ困難ナコトデアリマスルガ、諸情報ヲ綜合致シマシテ、概テ次ノヤウニ只今ノ所判斷致シテ居リマス、重慶側ニ於キマスル抗戰ノ中心勢力ハ、今日ト雖モ依然トシテ蔣介石ガ確實ニ把握シテ居リマス、色々ノ情報ガアリマスガ、依然トシテ蔣介石ノ統御力ト云フモノハ存在致シテ居リマス、併シナガラ重慶ノ中心ト致シマスル敵側一般ノ最近ニ於ケル和平氣分ト云フモノハ、是又相當ニ最近擴大致シテ居ルコトモ、否定出來ナイ顯著ナ事實デアリマス、殊ニ最近南支方面ニ於キマスル、敵ノ最近南支方面ニ於キマスル機械化兵團ノ潰滅ニハ直接的ニ重慶ニ非常ナシヨク影響ヘテ居ルヤウデアリマス、又逐次風靡シテ來タノデアリマス、是ガ風化致シテ來テ居リマス、是モ見逃シベカラザル敵ノ最近ノ情勢デアリマス、各部隊ノ素質デアリマスガ、開戰當時カヲ致シマスルト、逐次ニ其ノ素質ガ落ちテ參リマシテ、一箇師團ノ兵力ノ數ハ固ヨリノコト、其ノ裝備シテ居リマスル小銃、火砲等ノ程度モ、數ニ於テ、質ニ於テ、逐次ニ落チツツアルノデアリマス、又其ノ所謂冬季攻勢ト云ヒ、夏季攻勢ト云ヒ、秋季攻勢ト云ヒ、色々ノ踏キハ致シテ居リマスガ、殆ド取ルニ足ラザル動作デアリマシテ、其ノ衰退ハ日ニ著シタルモノガアリマス、之ヲ具體的ニ申シマスルト、最初ハ一箇師團ヲ一箇師團ト替ヘハ見ナケレバナラナカウツ時期モアリマシタガ、逐次ニ減リマシテ、一時ハ二箇師團位ノ兵力デアラウ、或ハ最近デハ一箇大隊以下ノ兵力、詰リ戰力ト云フモノハ、最早衰退ノ一途

○日高政府委員 只今重慶政府ノ財政的ノ方面ノ抗戰力ハドウカト云フ御質問デアリマスガ、一言ニ申シマス、益々困難ヲ加ヘテ來ツツアルト云フノガ、結論ニナル譯デアリマス、御存ジノ通り支那デハ國內ニ工業力、殊ニ重工業ナドノ戰時ニ必要ナル

ヲ迎リツツアル、斯ウ見テ居リマス

又思想的ノ抗戰能力ニ付キマシテハ、是ハ今日午後少シ詳シク御話シヨウト思フテ居リマスガ、支那ニ於キマスル敵側ノ思想戰、吾々ガ最も重視シナケレバナラズ、ハ、矢張り共產黨ノ思想戰デアリマス、此ノ間カラ豫算總會等デ色々ノ質問ガアリマシテ、支那ニ於ケル治安狀況ト云フコトヲ能ク御尋ナリマスルガ、此ノ治安ト云フコトモ、吾々ガ内地ニ於キマスル治安ハ、安寧秩序ト云フコトヲ直グ觀念シテ居ルノデアリマス、占領地域内ニ於キマスル治安ト云フコトハ、現地ニ於キマシテハ治安工作乃至ハ治安作戰ト稱シテ居ルノデ、今次ノ事變ノ特性ガ、占領地域内ニ於ケル支那民衆ノ獲得戰、之ヲヤツテ居ル譯デアリマス、即チ經濟戰ト同時ニ、思想戰ト云フモノガ重要ナル因子ヲ成シテ來テ居ルノデアリマシテ、特ニ我ガ皇軍ニ於キマシテハ、八紘一字ノ大理想、東亞新秩序建設ト云フコトヲ「モットー」ト致シマシテ、民衆ノ信頼ヲ得、民心ノ把握ヲスルコトニ努メテ居ルノデゴザイマス、之ニ對抗致シマスル敵側ハ、三民主義ヲ奉ズル國民黨ノ工作ト、共產主義ヲ以テスル共產黨ノ工作トガ、三ツ巴ニナツテ、今思想戰ハ極メテ熾烈ニ展開セラレテ居ル狀況デゴザイマス、其ノ詳シイコトニ付テハ、午後秘密會ガアルサウデゴザイマスガ、其ノ際ニ御諒リシタイト思ヒマス

更ニモウ一點陸軍大臣ニ御尋シタイ事ガゴザイマス、ソレハ汪政權ト重慶政府トノ關係ニ付キマシテ、總理大臣或ハ其ノ他ノ各大臣ガ、此ノ度議會ガ始マリマシテカラ、絶エズ繰返サレテ、懸念解體ノ上、新政權ノ傘下ニ入ルコトヲ期待スルコトヲ云フヤウナ御言葉ガゴザイマシタ、之ニ對シテ豫算總會、或ハ分科會デ色々議論ガ開カハレテ來タノデゴザイマスガ、サウ云フヤウナ懸念解體ノ上、新政權ノ傘下ニ入ルコトヲ期待スルコトヲ云フヤウナコトデ、ソレデハドウ云フ手段方法ヲ執ルベキデアルカ、ソレ等ノ點ニ關シマシテ明確ナ御説明ガナカウツノデ、何ダカ此ノ新政權ノ成立ト云フモノヲバ、一ツノ謀略論的ナ考テ論議サレル人ガアツタノハ、洵ニ遺憾デアルト思フノデゴザイマス、私ハ此ノ新中央政權ト重慶トノ間ノ工作ト云フモノハ、サウ云フヤウナ單純ナル一箇ノ謀略論トシテ見ルベキモノデハナシニ、寧ロ重慶政府ノ抗戰能力ト申シマスガ、サウ云フコトヲ有ニル角度カラ科學的ニ計ツテ、其ノ軍事的或ハ財政的ノ抗戰能力ガ、現在ドノヤウニ弱ク

テ居ルノカト云フコトヲ、支那ノ現在ノ社會狀態、或ハ經濟狀態ノ變遷過程ノ上カラ、之ヲハツキリ考察スルコトガ正シイト思フノデゴザイマス、斯ウ云フ點ニ關シマシテ、軍ト致シマシテハ、所謂重慶政府ノ抗戰能力ヲ、ドノヤウニ計ツテ居ラレルノカ、軍事的ノ抗戰能力、或ハ財政的ノ抗戰能力、或ハ思想的ノ抗戰能力ト云フヤウナコトニ對シテ、所謂科學的ニドノヤウニ計ツテ居ラレルノデアアルカ、勿論ハ此ノヤウニ計ツテ居ルガ故ニ、モウアト重慶政府ノ抗戰能力ハ、是レノ日數シカナイト云フヤウナコトヲ、私ハ尋ネヨウトスルノデハゴザイマセウ、サウ云フコトハ無理デゴザイマス、併シナガラ大體ノ見透シハ矢張立テナケレバ、唯重慶政府ガ懸念解體ノ上、新政權ニ合流スルコトヲ期待スルコトヲヤウナコトデハ、國民ノ方カラハ可ナリ不安デアラウト思フノデゴザイマス、斯ウ云フ點カラ所謂重慶政府ノ抗戰能力ヲ、軍ハドノヤウニ御計リデアリマスルカ、更ニ又思想的抗戰能力ト申シマスガ、重慶政府ト共產黨トノ關係ハ、ドノヤウニナツテ居ルカ、新聞デハ色々傳ヘラレテ居リマスガ、軍ガ色々ノ立場カラ御計リヨ願ヒマシタ、サウ云フ思想上ノ抗戰能力ハドノヤウニナツテ居ルカ、之ヲ私ハ陸軍大臣カラ御伺シタイト思ヒマス、更ニ又財政的ノ抗戰能力ハドノヤウニナツテ居ルカ、是ハ興亞院ノ經濟部長カラ御説明ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマスガ、前ノ二點ヲ軍ノ方カラ御答辯ヲ願ヒタイト思フデアリマス

○武藤政府委員 私カラ申上ゲマス、敵側ノ抗戰能力ノ判斷ト云フコトハ、極メテ困難ナコトデアリマスルガ、諸情報ヲ綜合致シマシテ、概テ次ノヤウニ只今ノ所判斷致シテ居リマス、重慶側ニ於キマスル抗戰ノ中心勢力ハ、今日ト雖モ依然トシテ蔣介石ガ確實ニ把握シテ居リマス、色々ノ情報ガアリマスガ、依然トシテ蔣介石ノ統御力ト云フモノハ存在致シテ居リマス、併シナガラ重慶ノ中心ト致シマスル敵側一般ノ最近ニ於ケル和平氣分ト云フモノハ、是又相當ニ最近擴大致シテ居ルコトモ、否定出來ナイ顯著ナ事實デアリマス、殊ニ最近南支方面ニ於キマスル、敵ノ最近南支方面ニ於キマスル機械化兵團ノ潰滅ニハ直接的ニ重慶ニ非常ナシヨク影響ヘテ居ルヤウデアリマス、又逐次風靡シテ來タノデアリマス、是ガ風化致シテ來テ居リマス、是モ見逃シベカラザル敵ノ最近ノ情勢デアリマス、各部隊ノ素質デアリマスガ、開戰當時カヲ致シマスルト、逐次ニ其ノ素質ガ落ちテ參リマシテ、一箇師團ノ兵力ノ數ハ固ヨリノコト、其ノ裝備シテ居リマスル小銃、火砲等ノ程度モ、數ニ於テ、質ニ於テ、逐次ニ落チツツアルノデアリマス、又其ノ所謂冬季攻勢ト云ヒ、夏季攻勢ト云ヒ、秋季攻勢ト云ヒ、色々ノ踏キハ致シテ居リマスガ、殆ド取ルニ足ラザル動作デアリマシテ、其ノ衰退ハ日ニ著シタルモノガアリマス、之ヲ具體的ニ申シマスルト、最初ハ一箇師團ヲ一箇師團ト替ヘハ見ナケレバナラナカウツ時期モアリマシタガ、逐次ニ減リマシテ、一時ハ二箇師團位ノ兵力デアラウ、或ハ最近デハ一箇大隊以下ノ兵力、詰リ戰力ト云フモノハ、最早衰退ノ一途

○日高政府委員 只今重慶政府ノ財政的ノ方面ノ抗戰力ハドウカト云フ御質問デアリマスガ、一言ニ申シマス、益々困難ヲ加ヘテ來ツツアルト云フノガ、結論ニナル譯デアリマス、御存ジノ通り支那デハ國內ニ工業力、殊ニ重工業ナドノ戰時ニ必要ナル

ヲ迎リツツアル、斯ウ見テ居リマス

又思想的ノ抗戰能力ニ付キマシテハ、是ハ今日午後少シ詳シク御話シヨウト思フテ居リマスガ、支那ニ於キマスル敵側ノ思想戰、吾々ガ最も重視シナケレバナラズ、ハ、矢張り共產黨ノ思想戰デアリマス、此ノ間カラ豫算總會等デ色々ノ質問ガアリマシテ、支那ニ於ケル治安狀況ト云フコトヲ能ク御尋ナリマスルガ、此ノ治安ト云フコトモ、吾々ガ内地ニ於キマスル治安ハ、安寧秩序ト云フコトヲ直グ觀念シテ居ルノデアリマス、占領地域内ニ於キマスル治安ト云フコトハ、現地ニ於キマシテハ治安工作乃至ハ治安作戰ト稱シテ居ルノデ、今次ノ事變ノ特性ガ、占領地域内ニ於ケル支那民衆ノ獲得戰、之ヲヤツテ居ル譯デアリマス、即チ經濟戰ト同時ニ、思想戰ト云フモノガ重要ナル因子ヲ成シテ來テ居ルノデアリマシテ、特ニ我ガ皇軍ニ於キマシテハ、八紘一字ノ大理想、東亞新秩序建設ト云フコトヲ「モットー」ト致シマシテ、民衆ノ信頼ヲ得、民心ノ把握ヲスルコトニ努メテ居ルノデゴザイマス、之ニ對抗致シマスル敵側ハ、三民主義ヲ奉ズル國民黨ノ工作ト、共產主義ヲ以テスル共產黨ノ工作トガ、三ツ巴ニナツテ、今思想戰ハ極メテ熾烈ニ展開セラレテ居ル狀況デゴザイマス、其ノ詳シイコトニ付テハ、午後秘密會ガアルサウデゴザイマスガ、其ノ際ニ御諒リシタイト思ヒマス



物ヲ採ヘルト云フ設備ガ、全然ゴザイマセヌノデ、總テ是ハ外國ヨリノ輸入ニ依テナケレバナラナイト云フ状態ニアル譯デアリマスガ、段々主ナル輸出ノ途ト云フモノハ占領サレテ閉サレテ居リマス、隨テ物ガ外ニ出マセバカリデナク、物ヲ外カラ入レルト云フコトモ、苦シクナツテ來テ居リマス、主要生産地デアリ、貿易ノ重要點ハ占領サレテ居リマス、關稅其ノ他ノ政府收入ト云フモノハ、非常ニ減ツテ參ツテ居リマス、デアリマスカラ種々ナル工作ヲ構ジテ、内債又ハ華僑ノ送金ト云フヤウナモノニ頼ツテ居ル次第デアリマス、併シ是トモ新シイ政治情勢ニ連レマシテ、殊ニ今マデ半強制的ニ工業ニ應ジサセラレテ居リマシタ者モ、サウ云フコトガ段々難カシクナツテ來マシク、又華僑方面ニ於キマシテモ新ラシイ政治情勢ニ從ヒマシテ、今マデト考ガ随分變ルバカリデナク、其ノ行動ニ於テモ現ハレテ來ルモノガ出來テ居ル譯デアリマス、デアリマスカラ諸外國カラノ「クレヂット」ト云フモノニ付テ、狂奔シテ居ルヤウナ次第デアリマス、一方カラ申シマス「クレヂット」ガ出來マシテモ、物ガ入ツテ來マセスト國內生産ガ出來ナイ、物ガ入ツテ來マスト云フコトハ我が陸海軍ノ方ニ於テ、殊ニ最近ノ軍事工作ガ進展シテ居リマシテ、斯様ナ輸入ノ途ト云フモノハ非常ニ狭メラレタ云フコトガアリマスノデ、實際上ニ於テ財政上カラ見マシテ抗戰ノ能力ハ、日ニ縮マツテ居ルト云フ状態デアリマス

○水谷委員 法幣ノ關係ハ如何デアリマス  
○日高政府委員 法幣ニ付キマシテ昨日デ

アリマシタカ、一昨日デアリマシタカ、第三分科會水谷サシカラ御質問ガアリマシタ際ニモ、一寸御返答致シタノデアリマスガ、法幣ハ見透シトシテハ、先行不安ト云フ一語デ盡キルダラウト思ツテ居リマス、ソレニハ種々ナ理由モアルノデアリマスガ、一言ニシテ申セバ先行不安、是ハ支那側、殊ニ重慶側自體ニ於テ、先行不安ヲ非常ニ感ジテ居ルデアラウト思ツテ居リマス

○水谷委員 日高サシニ伺ヒマスガ、先行不安ト云フコトハ、假令揚子江ガ開放サレマシテモ、其ノ通り解釋シテ宜イノデスカ  
○日高政府委員 サウ云フ風ニ思ツテ居リマス

○水谷委員 私人質問ハ是デ終リマス  
○末松委員 田原君カラ關聯ノ質問ガアリマスカラ之ヲ許シマス、簡單ニ願ヒマス

○田原委員 前ノ小山君ノ質問ニ關聯シテ……其ノ前ニ斯ウ云フコトガアリマスノデ、陸軍ノ方ニ於テ適當ニ御注意願ヒタイト思フ、ソレハ戰死者ノ身許ニ付キマシテ、役場カラ各方面ニ提出スル戸籍簿本ガ十七通要ルノデス、實動局トカ内務省トカ、ソレデ少シ家族ノ多イ戰死者デアリマス、戸籍簿本ヲ一通作ルダケデ三枚モ四枚モ要ルノデアリマスカラ、役場デハ悲鳴ヲ上ゲテ居リマス、既ニ應召者ハ身許ガ分ツテ居ルノデアリマスカラ、實動局其ノ他ノ手續ヲモツト簡單ニサセルカ、豫メサウ云フヤウナ手續ヲ一元ノニヤツテ貰ヒタイ、是ハ町村役場ノ悲鳴デアリマスカラ、此ノ點ハ適當ナ機會ニサウ云フ簡便化スル方法ヲ講ジテ貰ヒタイ次ハ先般大臣モ、軍費ハ一厘一毛ト雖モ疎カニシナイト云フコトヲ言ハレタノデアリマシテ、事實サウナツテ來ナ

ケレバイカスト思フデアリマスガ、今度ノヤウニ豫算ガ多クナリマス、如何ニ防止シヨウト思ヒマシテモ、ヤハリ物價高ラ來ス、所ガ私ハ斯様ナ事實ガアルト云フコトノ投書ヲ受ケタノデアリマス、ソレハ或ル陸軍關係ノ工場デアリマスガ、其處デ帽子掛ヲ五十箇註文シタ、所ガ註文者ガ別途ヘテ五十ノ「十」ノ字ヲ「千」ト見違ヘタラシイ、ソコデ註文ヲ受ケタ方デハ五千箇作ツテ出シマシタ、所ガ註文違ヒト云フ譯ニハイキマセスカラ、其ノ僅納入サセテ、併シ五千箇ノ帽子掛ガ其ノ工場ニ必要ハナイノデ、五十箇ヲ使ツテ後ノ四千九百五十箇ハ、庭先ニ二年間位積ンデ置イテ、漸ク枯レタ頃ニ薪木ニシテシマツタ、洵ニ勿體ナイコトデアルト云フコトヲ聞イタノデアリマス、サウ云フ間違ヒガアツタ場合ニハ、殘ツタ物ハ更ニ拂下ガルトカ何カ致シマシテ、實際ノ豫算ノ執行上ニ手加減ガアルノデハナイカト思フデアリマスガ、今後ト雖モ經理當局デハ相當嚴格ナ監督ガ必要アルト考ヘルノデアリマス、モウ一ツハ或ル飛行場ノ工事デアリマスガ、飛行場ヲ埋立テルノ「レール」ガ必要デアリマシテ、其ノ爲ニ五千圓ノ豫算ガ取ツテアツタ、所ガ色々ノ配給ノ關係デ、何箇月掛ツテモ「レール」ガ來ナイモノデアリマスカラ、請負師自身ガ自分持ツテ居リマス、「レール」ヲ假ニ數キマシテ、「トロッコ」ヲ動カシテ居ツタ、其ノ「レール」代ガ約五千圓位ノモノデアル、然ルニ三四箇月經テマシテ政府カラノモノガ届イタ、ソコデソレヲ敷替ヘテ使用シタ、所ガ前ノ私物ハ一万八千圓價レルト云フノデ、喜ンデ之ヲ賣ツテ政府カラノモノヲ使ツタサウデアリマス、斯様ナコトモアリマ

スノデ、豫算ヲ執行スル上ニ於キマシテ、マダノ色々ナ點ニ本當ニ節約ノ趣旨ガ徹底スルヤウニ努力サレルコトガ必要デハナイカト思フデアリマスガ、本年ノ豫算ヲ執行サレル上ニ於キマシテハ、特ニサウ云フ點ヲ明瞭ニサレテ載キタイト思フデアリマスガ、何カソレニ對シテ御答辯ハアリマセカ

ノ會合ハ率先シテ全部一血主義デ、ソレカラ陸軍省、參謀本部少クモ此ノ二者デ自主的ニ會合ノ時ニハ酒ヲ止メ、藝者ハ招バナイヤウニスルト云フコトヲ實行サレレバ、ソレガ全官廳ニ及ビ、民間ノ精神總動員ノ方ニモ及ンデ來ルト思ヒマス、今申上ゲマシタヤウニ、地方ノ出先ノ司令部デハ、總テ一血主義デヤツテ居リマスガ、何カ統一サレテ、モツト簡便主義ト云フコトデアラレラバ、豫算ノ節減ニモナルト思ヒマスガ、御意見如何デアリマスカ

○烟國務大臣 御趣旨ニ副フヤウニ努メマ

○末松委員 吉植庄亮君

○吉植委員 私人質問ノ豫算總會ノ席デ、陸軍大臣ニ質問ヲ致シマシタガ、時間ノ關係デ中途半端ニナツテシマヒマシタノデ、其ノ續キヲ質問致シタイト思ヒマス、現在ノヤウナ米穀事情デハ、端境期ニ於テ七八百万石ヲ殘シテ置ケバ宜シイ、是ガ理想持越米ト云フヤウナ斯様ナ現狀デハ陸軍トシテハ満足デアリマスガ、ソレニトテ先般御尋シタノデアリマスガ、ソレニ對シテ大臣ハ、兵食確保ハ政府ノ確保シテ居ル所ノ米ノ配給ヲ受ケテ居ルカラ安心ダ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタ、私ハソレハ分ツテ居リマスガ、併シ現在ノヤウナ不安ハ除去サレナイノデアルカラ、斯様ニナツテ居ツタノデアリマス、併シ其ノ儘ニナツテ居ツタノデアリマス、私共過般中支那方面ニ皇軍慰問ニ參リマシタ時ニ、汽車ノ中、或ハ宿舎ノ門口等ヘ

兵隊サン達ガ集ツテ來テ總キマスコトハ、何ニモ他ノコトハゴザイマセス、尤モ是ハ私共ガ農村出ノ代議士ダト云フコトヲ知ツテ來ラレタカラデモアリマセウガ、又大體私共ノ行キマシタ先々ハ、農村出ノ兵隊サンノ多イ所デアリマシタガ、先ヅ私共ニ聽キマスコトハ、滿ハドウナツテ居ルカ、肥料ハドウナツテ居ルカ、一體農村勞力ガ足リナイト云フコトガ新聞ニ出テ居ルガ、ソレハドウナツテ居リマスガ、斯ウ云フコトデアリマス、私共ハ眞ツ先ニアチラニ參ツテ、相當激シイ戰モシ、人モ斬ツテ居リ、又周圍ニ同僚ノ死モ見テ居ルノデアリマスカラ、兵隊サン達ハ相當深刻ナ顔ヲシテ居ラレラダラウト思ツテ居リマシタガ、何處ヘ參リマシテモ兵隊サン達ハ、明朝湖邊デアリマシテ、此ノ點第一ニ驚キマシタ、生死ヲ超脱シテ居リマシタコトニ驚キマシタト共ニ、第二ニソレヨリモ大ナル驚キハ、今申上ゲマシタヤウニ、此ノ兵隊サン達ガ自己ノ身命ト云フモノヲ超脱シテ居リマシタガ、國ノ銃後ノ護リガドウナツテ居ルカト云フコトガ、心配デ堪ラナイノダト云フコトヲ知ツタ時ニ、此ノ驚キガ非常ニ大キカツタノデアリマス、某所ニ於キマシテ歐洲部隊長閣下ニ御眼ニ懸リマシタガ、其ノ席上デ、丁度私ノ「テーブル」ノ前ニ奈良少將閣下ガ慰問ニ來ラレタガ、知事サンモ來ラレマシタ、學務部長サンモ來ラレマシタガ、併シ私共ノ部隊ハ皆農村出ノ兵隊デアル、此ノ農村出ノ兵隊ハ、自分ノ農村ガドウナツテ居ルカト云フコトガ心配デ堪ラナイノダカラ、ドウセ來テ戴クナラ經濟部長サンノヤ

ウナ、農村事情ヲ能ク知ツテ居ツテ、肥料ハ今ハ足りナイガ、是レ「斯ウ云フヤウニシテ、十分ニ確保スル積リデアル、勞働力ハ足りナイガ、ソコヲ調整シテドウシテ行カウト思フデアルト云フヤウニ、現在ト將來ト能ク話ヲシテ、兵隊サン達ヲ安心サシテ戴ケルヤウナ方ニ澤山來テ貰ヒタイ、此ノ事ヲ歸ツタラ能クアチカラモ話シテ貰ヒタイト云フヤウナコトヲ承リマシテ、私ノ感ジテ居リマシタコトガ、ヤハリ軍當局ニ於テモ眞劍ニ感ジテ居ラレラドト云フコトヲ了承シタノデゴザイマス、ソコデ私ハ思フ、國內ニ於テ何ガ不安デアルト申シマシテモ、米穀事情ノ不安カラ體シト申シマシテ、不安ナモノハゴザイマセス、昨年ノ秋米ガ獲レ盛ツテ居リマス最中デサヘ、米ノ配給不完全ノ爲ニ、手ノ届ク所ニ米ガ見エテ居ツテ手ニ入ラナイ状態デアリマシタ、況シテキヤ米ガ段々食ベ盡サレテ來ル頃ニナリマス、此ノ不安ト云フモノガ、具體的ノ事實トナツテ日本ノ所々ニ現ハレ來ハシナイカ、サウ相成リマシタナラバ、瑞穂國日本ニ於テ米ヲ食ベルコトガ出來ナイデ、或ル事實ガ勃發シタト云フコトニナリマス、第一ニ前線ニ於ケル將兵ノ心持ニ如何ナル衝擊ヲ與ヘルカ、是以上ノ衝擊ハアリマセス、地下足袋ガナイ、肥料ガナイ、勞働力ガ不足ト云フコトサヘ、アレダケ眞劍ニ心配シテ居リマス、若シ米ヲ食フコト能ハズシテ變方何處カニ起ツタト云フヤウナコトニナリマス、將兵ノ心境ニ動搖ヲ來スコトハ、火ヲ賭ルヨリ明カデアリマス、斯様ナ點カラ考ヘマシテ、兵食ノ方ハ軍ニ於テ確保致シテ居ツテ、毫末モ心配ナイデゴザイマセウガ、此ノ七八百万

石ノ理想持越方導キ來リマスル所ノ今日ノヤウナ米ノ不安ト云フコトガアリマシタナラバ、如何ニ兵食ハ確保致シテ居リマシテモ、是ハ日本ニ取ツテ容易ナラスコトデアリマイカ、ソコデ此ノ持越量七八百万石ト云フヤウナ在來ノ政策ハ、之ヲ打棄テ、常備二千万石デモ三千万石デモ貯ヘテ置クヤウナ方針ニ、新シク進マセバ相成ラヌデハナカラウカ、ソレニ付テ陸軍大臣ニ御尋シタノデゴザイマス、サウスルト大臣カラ兵食ヲ確保シテ居ルカラ安心ダト言ハレマシタカラ、私ハソレダケデハ満足デゴザイマス、此ノ點ニ付テ大臣ノ御考ヲ承リタイノデゴザイマス

○烟國務大臣 此ノ間ハ如何ニモ、陸軍ノ作戦用ノ米ハ、政府ノ保管米カラ廻シテ貰フカラ、不安ハナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスルガ、陸軍ト致シマシテハ、戰時ノ食糧政策ヲ確保シテ、國民ニ不安ナカラシメル爲ニ、重大ナル關心ヲ持ツテ居ルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、殊ニ第一線ノ將兵ヲシテ、一意前面ノ敵ダケ見テ居レバ宜イ任務デアルニ拘ラス、顧ミテ國內ノ食糧ハドウナツテ居ルカ、米ハドウダ、蠶絲ハドウダト云フコトヲ考ヘサセルト云フコトハ、私共ト致シマシテハ洵ニ心苦シイ次第デアリマス、ソレガ爲ニ吾々ト致シマシテモ、食糧政策ト云フ見地カラ致シマシテ、事ハ政治ニ關ハルカモ知レセケレモ、關係廳ニ協力モシ、支援モシ、又場合ニ依ツテハ發言モシテ居ル次第ナノデアリマス、隨ヒマシテ今端境期ニ於テ七八百万石宜イカト云フヤウナ御話モゴザイマシタガ、是ハ私專門デ

第一類第五號 豫算委員第四分科會議錄 第三回 昭和十五年二月十九日

四七



アリマセスカラ能ク存ジマセシガ、要スルニ獨リ戰地ニアル軍隊ヲシテ後顧ノ憂ナカラシムルノミナラズ、戰時ノ食糧政策ヲ確保スル爲ニ、一層米ノ統制ガ必要ナル、又現在ノ量ヨリモ尙ホ一層米ノ貯蔵、其ノ他ガ必要アルト云フコトデアリマス、陸軍トシテモ無難之ニ同意スベキモノデアリマス、又之ニ向テ協力支援スベキモノデアルト考ヘテ居ルデアリマス

○吉植委員 今ノ御答辯ニ依リマシテ、稍満足シマスガ、マダ十分ニ満足シ兼ねルモノガゴザイマス、ト申シマスノハ、陸軍大臣ノ職ニ居ラレマス上カラ、積極的ノ御言明ハ出來ナイノカモ知レマセヌレドモ、内地ニ七八百万石持越スコトガ理想ダト云フコトニナツテ居リマスカラ、一タビ朝鮮ニ早寄ガ來ルト云フヤウナコトニナルト、今回ノヤウナコトガ起ルノデアリマス、之ヲ二千万石、三千万石ヲ持越スヤウニ、昔段カラ貯蓄ヲ獎勵シテ居リマスナラバ、假令朝鮮ニ於テ一千万石ノ減收ガ來マシテモ、又内地ニ於テ一千万石ノ減收ガ來マシテモ、ビクトモスルモノデアリマス、先日ノ總會ニ於テモ申上ゲマシタ通り、昭和九年ニ五千万石ノ大減收、昭和十年ニ五千万石ノ大減收ガ來マシタガ、其ノ時ニハ幸ニシテ千六百万石ノ持越ガアツタカラ、此ノ二回ノ減收ヲ切抜ケタノデゴザイマス、是方最モ良イ證據ニナツテ居リマス、只今大臣ハ官民一致ト仰セラレマシタガ、陸軍モ他ノ官廳モ國民モ一體トナツテ、將來再ビ戰時態勢ノ時ニ於テ、米ノ爲ニ假令一部分デアリマシテモ、國內ニ不安状態ヲ來スト云フコトガ絕對的ニナイヤウニ、根本對策ヲ立テネバナラナイト存ジマス

○畑國務大臣 此ノ點ハ必要トアリマスレバ、陸軍トシテハ何時デモ實行致シタイ覺悟デ居リマス、  
○吉植委員 昨年中支那方面、一昨年北支那方面ニ皇軍ノ御恩問ニ行ツテ參ツタノデゴザイマスガ、其ノ時ニ前線將兵ガドレダケ娛樂機關ニ飢エテ居ルカ、所謂慰問隊ト云フモノガ參リマス、モウ五十二ナツテ居リマス、老士官モ非常ニ之ヲ喜ビマス、況シテヤ兵隊サン達ニナリマス、正月ト祭ガ一緒ニ來タヤウニ喜ンデ居リマス、丁

○畑國務大臣 此ノ點ハ必要トアリマスレバ、陸軍トシテハ何時デモ實行致シタイ覺悟デ居リマス、  
○吉植委員 昨年中支那方面、一昨年北支那方面ニ皇軍ノ御恩問ニ行ツテ參ツタノデゴザイマスガ、其ノ時ニ前線將兵ガドレダケ娛樂機關ニ飢エテ居ルカ、所謂慰問隊ト云フモノガ參リマス、モウ五十二ナツテ居リマス、老士官モ非常ニ之ヲ喜ビマス、況シテヤ兵隊サン達ニナリマス、正月ト祭ガ一緒ニ來タヤウニ喜ンデ居リマス、丁

度南昌ニ私居リマシタ時ニ、或ル部隊ニ行キマス、五十何歳カニナリマス、老士官トモウ一人ヤハリ五十何歳カノ老士官ト問答ヲシテ居マシタ、ドウダ、昨夜ノ南昌ノ本部ノ方デヤウツタ慰問團ハ泰敵ダツタヨ、オ前行ツタカ、イヤ俺ハ行カヌ、サウカ、俺ハモウアンナ素晴シイモノハ近頃見タコトガナイ、ソレチヤ俺モ今夜行クヨ、ケレドモオ前ハ昨夜行ツタカラ今夜ハ行カヌデモ宜イダラウ、冗談言フナ、アレモモウ一度見テ居リマシテ、成程此ノ年寄ラレタ老士官デサ、此ノ通り、一度見タモノヲ又見ナクテハ居ラレナイ、ドレダケ此ノ慰問團ガ皇軍將兵ニ勇氣ヲ付ケルコトニナツテ居ルカト云フコトヲ、其ノ時池々知ツテ歸リマシタ、所ガ斯ウ云フ風ニ慰問團ガ參リマスニハ人數ニ制限ガゴザイマス、サウ度モ慰問ヲ繰返スコトモ出來ナイヤウナ狀況デゴザイマス、ソレニハ活動寫眞ガ一番簡便ト思フデアリマスガ、軍ノ方デハ特ニ前線將兵慰問ノ活動寫眞ノ作製トカ、或ハ選擧トカト云フコトヲ行ヒマシテ、此ノ活動寫眞隊ヲ前線ニ出シテ居ルヤウナコトガゴザイマセウカ、之ヲ承リタウゴザイマス

○武藤政府委員 只今ノ御話ノ點デゴザイマスガ、活動寫眞ニ付キマシテハ、各軍ニソレソレノヤウニ持ツテ居リマシテ、實施ヲ致シテ居リマス、御恩問ノヤウニ新シク非常ニ良イモノヲ、定時適切ニ配給スルト云フ所マデハ行ツテ居リマセシガ、大體寫眞機ヲ配給致シマシテ、電氣ノアル所ハ無論ノコト、サウデナイ所ハ特別ノ裝置ヲシテヤル所マデ努メテ居ルデアリマス、將來更ニ努メルコトニ致シマス

○吉植委員 私人質問ハ是打切リマスガ、ドウカ軍當局ニ於カレマシテモ、其ノ方面ニ一ツ積極的ニ出テ戴キタウゴザイマス  
○末松主査 ソレデハ中山君  
○中山福藏君 私委員外デアリマスガ、陸軍大臣ニ御伺シテ置キタイト思ヒマス、御承知ノ通りニ我國ハ前古未嘗有ラ大難局ニ際會シテ居リマス、而シテ聖戰ノ基本觀念ト云フモノハ、八紘一宇ニ在ルト云フコトハ世界ニ述ベラレアルノデアリマスガ、此ノ八紘一宇ト云フ言葉ノ外語譯ト云フモノハ、日本ノ本當ノ氣持ト云フモノヲ含シタ言葉ニ依ツテ表ハサレナケレバイカヌト、私ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、コチラデ右ト考ヘテ居リマシテモ、譯シヤウ次第デハ左トナル結果ニ陥リハセスカト思ヒマス、凡ソ世界ニ通用シテ居ル言葉ヲ御研究ニナリマシテ、本當ノ日本ノ氣持ヲ表ハス所ノ言葉ヲ、ソレニ當儀メルト云フヤウナ工作ヲナサルト云フコトガ此ノ事變ノ調整上ニ最モ必要トナイカト存ジマス、陸軍大臣ノ此ノ點ニ付テ御考ヘアリマセヌデセウカ、一ツ御伺シテ置キタイト思ヒマス

○畑國務大臣 此ノ八紘一宇ト云フ意味ニ付キマシテハ、先般來總理大臣其ノ他ヲカ説明ヲ致シテ居リマス、カラ私ハ説明ヲ差控ヘマス、只今ノ御恩問ノコトハ承リマシテ、總理ノ方ニ傳ヘルコトニ致シマス  
○中山福藏君 モウ一點御伺シテ置キタイト思ヒマス、陸軍大臣ハ多分與亞院ノ副總裁デアラレタト思ヒマスガ、先般柳川與亞院總務長官カラ、色々ト與亞院ノ連絡長官會議ニ於キマシテ御決定ニ相成リマシタ事柄ヲ、新聞ニ堂々ト御發表ニナツタヤウニ

○吉植委員 私人質問ハ是打切リマスガ、ドウカ軍當局ニ於カレマシテモ、其ノ方面ニ一ツ積極的ニ出テ戴キタウゴザイマス  
○末松主査 ソレデハ中山君  
○中山福藏君 私委員外デアリマスガ、陸軍大臣ニ御伺シテ置キタイト思ヒマス、御承知ノ通りニ我國ハ前古未嘗有ラ大難局ニ際會シテ居リマス、而シテ聖戰ノ基本觀念ト云フモノハ、八紘一宇ニ在ルト云フコトハ世界ニ述ベラレアルノデアリマスガ、此ノ八紘一宇ト云フ言葉ノ外語譯ト云フモノハ、日本ノ本當ノ氣持ト云フモノヲ含シタ言葉ニ依ツテ表ハサレナケレバイカヌト、私ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、コチラデ右ト考ヘテ居リマシテモ、譯シヤウ次第デハ左トナル結果ニ陥リハセスカト思ヒマス、凡ソ世界ニ通用シテ居ル言葉ヲ御研究ニナリマシテ、本當ノ日本ノ氣持ヲ表ハス所ノ言葉ヲ、ソレニ當儀メルト云フヤウナ工作ヲナサルト云フコトガ此ノ事變ノ調整上ニ最モ必要トナイカト存ジマス、陸軍大臣ノ此ノ點ニ付テ御考ヘアリマセヌデセウカ、一ツ御伺シテ置キタイト思ヒマス

○畑國務大臣 此ノ八紘一宇ト云フ意味ニ付キマシテハ、先般來總理大臣其ノ他ヲカ説明ヲ致シテ居リマス、カラ私ハ説明ヲ差控ヘマス、只今ノ御恩問ノコトハ承リマシテ、總理ノ方ニ傳ヘルコトニ致シマス  
○中山福藏君 モウ一點御伺シテ置キタイト思ヒマス、陸軍大臣ハ多分與亞院ノ副總裁デアラレタト思ヒマスガ、先般柳川與亞院總務長官カラ、色々ト與亞院ノ連絡長官會議ニ於キマシテ御決定ニ相成リマシタ事柄ヲ、新聞ニ堂々ト御發表ニナツタヤウニ

○吉植委員 私人質問ハ是打切リマスガ、ドウカ軍當局ニ於カレマシテモ、其ノ方面ニ一ツ積極的ニ出テ戴キタウゴザイマス  
○末松主査 ソレデハ中山君  
○中山福藏君 私委員外デアリマスガ、陸軍大臣ニ御伺シテ置キタイト思ヒマス、御承知ノ通りニ我國ハ前古未嘗有ラ大難局ニ際會シテ居リマス、而シテ聖戰ノ基本觀念ト云フモノハ、八紘一宇ニ在ルト云フコトハ世界ニ述ベラレアルノデアリマスガ、此ノ八紘一宇ト云フ言葉ノ外語譯ト云フモノハ、日本ノ本當ノ氣持ト云フモノヲ含シタ言葉ニ依ツテ表ハサレナケレバイカヌト、私ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、コチラデ右ト考ヘテ居リマシテモ、譯シヤウ次第デハ左トナル結果ニ陥リハセスカト思ヒマス、凡ソ世界ニ通用シテ居ル言葉ヲ御研究ニナリマシテ、本當ノ日本ノ氣持ヲ表ハス所ノ言葉ヲ、ソレニ當儀メルト云フヤウナ工作ヲナサルト云フコトガ此ノ事變ノ調整上ニ最モ必要トナイカト存ジマス、陸軍大臣ノ此ノ點ニ付テ御考ヘアリマセヌデセウカ、一ツ御伺シテ置キタイト思ヒマス

○畑國務大臣 此ノ八紘一宇ト云フ意味ニ付キマシテハ、先般來總理大臣其ノ他ヲカ説明ヲ致シテ居リマス、カラ私ハ説明ヲ差控ヘマス、只今ノ御恩問ノコトハ承リマシテ、總理ノ方ニ傳ヘルコトニ致シマス  
○中山福藏君 モウ一點御伺シテ置キタイト思ヒマス、陸軍大臣ハ多分與亞院ノ副總裁デアラレタト思ヒマスガ、先般柳川與亞院總務長官カラ、色々ト與亞院ノ連絡長官會議ニ於キマシテ御決定ニ相成リマシタ事柄ヲ、新聞ニ堂々ト御發表ニナツタヤウニ

覺エテ居リマス、其ノ言葉ノ中ニ、日本ノ事變處理ノ根本觀念ト云フノハ「ウシハク」ト云フコトデハナイ、「シラス」ト云フコトデアルト云フコトヲ御述べ、ニナツテ居リマシテ、是ハ「ウシハク」ハ御承知ノ通りニ大國主命ノ關係ニ付テ用ヒタ言葉デアリマシテ、「シラス」ト云フノガ、現在ノ我國ノ一般統治觀念ニ使用サレテ居ル言葉カト存ジテ居リマス、ソコデ御尋シテ置キタイノハ、是非非常ニ難カシイコトデス、「タンク」ニ迷彩ヲ施シテ、空中カラ何モノカ分ラナイト云フヤウニ感ゼラレルト同ジ氣持ヲ、國民全部ニ與ヘテ居ルト私ハ思フデス、アノ古事記ノ難カシイ言葉ト云フノハ、アア云フ風ニ連絡長官會議デ、斯ウダト仰シヤツタ所ガ、是ハ一般ニハ分ラヌト思フ、斯ウ云フ難カシイ思想ノ根本ヲ爲ス所ノ一我國ノ思想ノ根柢ヲ爲ス所ノ言葉ヲ御使用ニナルト云フコトハ、相當慎重ナル考慮ヲ要スルト私ハ思フデス、此ノ言葉ヲ使用サレマス以上ハ、此ノ言葉ハ現在如何ナル言葉ニナツテ居ルカト云フコトハ、非常ニ是ハ難カシイコトダト思フデスガ、先般安藤正純君カラ、三民主義ノ文理解釋ト云フヤウナ所カラ、將來ノ支那ノ指導精神ヲ確立シナケレバナラヌト云フヤウナ御議論モアリマシタ、私ハ一歩突キ進ンデ、是ハ内地ニ於テソレ以上ノ重大問題デハナイカト考ヘテ居リマス、此ノ邊ノ言葉ニ付テノ陸軍省ノ確定シタル意味ヲ、全國民ニ御知ラセニナル必要ガアルコトヲ考ヘルノデアリマス、サウ云フ御處置ヲ執ル思召ハゴザイマセヌデセウカ

○畑國務大臣 「ウシハク」「シロシメス」ト云フコトノ御説モゴザイマシタガ、是ハ與亞院ニ於テモ研究ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、又與亞院ノ副總裁トシテ、與亞院ノ意見ハ斯ウ云フ風デアルト云フテ、代表的ニ申上ゲルコトハ出來マセヌ、又陸軍ト致シマシテハ是ハ專重大デアリマス、折角研究ヲ致シマスガ、是ハ陸軍ガ斯ウ云フ意見デアルト發表スルノハ、ドウカト私ハ思フデアリマス、尙ホ併シ研究ハ致シマス  
○中山福藏君 先般松浦文部大臣ノ北君ニ對スル御言葉ヲ新聞ニ依ツテ拜見致シマスルト、八紘一宇ト云フ言葉ハ、古事記ニ依ツテ現ハサレテ居リマスガ、神武天皇ノ時ニ既ニサウ云フ御精神ガアラセラレタモノデ、非常ニ是ハ大事ナコトヲ述ベラレテ居ル、私ハ八紘一宇ト云フ言葉ハ、天御中主命其ノモノヲ現ハシタモノト解釋シ奉ツテ居ルノデスガ、斯ウ云フコトヲ輕々ニアア云フ風ニ御發表ニナルコトハ、重大ナ學問上ノ疑義ヲ扶ク根本ヲ作ルノデハナイカト思フノデス、アレハ内閣全體トシテノ御意向ヲ、松浦文部大臣ガ御述べニナツタト云フ御考デ、陸軍大臣ハオ居デニナリマセウカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス、私午後カラ文部大臣ニ質問シテ見タイト思ツテ居リマス、特ニ其ノ點ヲ……  
○畑國務大臣 是ハ内閣ノ意見デゴザイマス、カラ、内閣總理大臣カラ御返事ヲ申上ゲルノガ然ルベシト私ハ考ヘテ居リマス  
○中山福藏君 私ハモウ是ダケ止メテ置キマス  
○末松主査 ソレデハ羽田君、簡單ニ願ヒマス  
○羽田武嗣郎君 私人質問ニ御質問申上ゲタイト思ヒマス、私ノ質問シタイ點ハ將兵ノ

進級ノ問題デアリマス、能ク應召シテ遣ツテ來タ歸還ノ兵隊カラ聽カサレルコトデアリマス、大體將兵ノ進級ノ内容ハ、現役ノ方ニ優先サレテ、應召兵、豫後備ノ方面ニ於テハ、現役ニ比シテ非常ニ進級ノ率ガ惡イト云フコトデアリマス、是ハ勿論内規ノコトデアリマシテ、今此處デ其ノ内容ガドウナツテ居ルカト云フコトヲ御聽キ致スノデアリマセヌ、唯精神問題トシテ御聽キ致シタイノデアリマス、勿論軍隊ハ能率ヲ學ガナケレバナラヌデアリマス、隨ツテ現役ノ若イ元氣ノ宜イ能力ノアル人ガ、上官カラ見テ進級ノ早イコトハ考ヘラレケレドモ、一面ニ考ヘマスト應召ノ人々ハ家庭ノ事情モ非常ニ複雑デアリマス、更ニ又年輩モ相當取ツテ居リ、職業ノ關係カラモ非常ニ複雑ナ人々ガ多イ、サウ云フモノヲ一切振リ棄テテ、第一線ニ勇躍サレテ居ルト云フ此ノ個人的ノ立場ト云フモノモ、能力本位以外ニ加味シテ戴キマシテ、昇級ヲ現役ト比較シヤウニシテ戴キタイ、以前ノ時代ト比較シマス、今回ノ事變ナンカデハモウ殆ンド差ガナイヤウデアリマスガ併シ何ト云ツテモ現役ノ方ヲ優先シテ、豫後備ノ方ノ進級ガ惡イト云フコトヲ能ク聽カサレマス、其ノ點ニ付キマシテ特別ニ陸軍當局ノ御配慮ヲ願ヒタイ、殊ニ歸還ヲ致シマシテ、召集ヲ解除セラレル際ニ於キマシテハ、第一線デ二箇年位國ノ爲ニ働カレタ方ニ對シマシテハ、特別ノ事故ノナイ限り、一級ツツ是非進級サセテ戴キマシテ、皇軍ノ豫後備、現役ヲ通ジテ、眞ニ士氣ヲ鼓舞シマシテ、此ノ長期戰ニ對應出來スルヤウニ、御配慮ヲ願ヒタイト思フデアリマス、此ノ點ニ付テ

一寸陸軍大臣ニ御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマス  
○武藤政府委員 只今御質問ノヤウナコトハ私共聞クノデゴザイマスガ、實際陸軍ニ於キマシテハ、決シテ豫後備ヲ現役ト差別シテ居ル譯デアリナイノデゴザイマス、唯陸軍ニ依リマシテ、損耗ノ多イ隊、或ハ少イ隊ト云フコトニ依リマシテ、進級ノ早イコト選イノガ出來ルコトガアリマス、ソレカラ兵カラ下士ニナリマス、是ハ進級ト世間デ能ク言ツテ居ルノデアリマスガ、任官デゴザイマシテ、之ニハ又數ノ制限モゴザイマス、只今最後ニ歸ヘル時ニハ一級ツツ上ゲテ與レト云フ御話デゴザイマスガ、是モ成ベク御趣旨ニ副ヒタイト云フ考デアツテ居リマス、上等兵マデハ現ニ角進級シテ行キマスガ、伍長トシマス、任官デアリマシテ、任官ニナリマス、サウ云フ所ニ陸軍トシマシテハ非常ニ苦心ヲ致シテ居リマス、只今御質問ノヤウナコトモ時々他ノ方カラ承リマス、サウ云フ誤解ナドノナイヤウニ努メタイト思ツテ居リマス

○末松主査 ソレデハ是ニテ本分科ノ一般質問ハ終了致シマシタ、明日ハ各政黨會派ノ態度決定ノ必要ガアラウト思ヒマス、今日午後一時半カラ陸軍省當局カラ秘密會ヲ開イテ御説明モアリ、之ニ對シテ委員ノ方ノ質疑モアル管デアリマス、尙ホ陸軍省ノ所管事項ニ付テ秘密會ニ於テ質問應答ヲ致シマス、暫時休憩致シマス  
午後零時三十分休憩



(以下筆記)

午後一時三十五分開議

○末松委員長 會議ヲ開クベキ旨ヲ宣シ政府ノ要求ニ依リ是レヨリ秘密會ニ入ル旨ヲ宣告ス

(午後一時三十六分秘密會ニ入ル)

(午後三時四十四分秘密會ヲ終ル)

○末松委員長 秘密會ヲ終ル旨ヲ宣シ是ニテ散會スル旨ヲ宣告ス  
午後三時四十五分散會

昭和十五年二月十九日印刷

昭和十五年二月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局



第七十五回帝國議會 豫算委員第四分科會議錄(速記)第四回

會議

昭和十五年二月二十一日(水曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

主席 末松借一郎君

佐藤 陸朗君

加藤 知正君

田原 春次君

兼務

中島彌圓次君

工藤 鐵男君

松尾 孝之君

吉植 庄亮君

由谷 義治君

石坂 繁君

同第五分科所屬員石坂繁君及第八分科所屬員工藤鐵男君ハ孰レモ本分科兼務ト爲リテ

出席國務大臣左ノ如シ

海軍大臣 吉田 善吾君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍政務次官 三好 英之君

陸軍參與官 宮崎 一君

陸軍主計中將 石川半三郎君

陸軍少將 武藤 章君

陸軍主計大佐 森田 親三君

陸軍步兵大佐 河村 參郎君

海軍政務次官 松山常次郎君

海軍參與官 小山邦太郎君

海軍主計中將 武井 大助君

海軍少將 阿部 勝雄君

海軍主計大佐 爲本 博篤君  
海軍大佐 矢野 英雄君  
海軍大佐 千田 金二君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年歳入歳出豫算案並昭和十五年各特別會計歳入歳出豫算案中陸軍省及海軍省所管

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中陸軍省及海軍省所管

(臨時第一號)臨時陸軍材料資金豫算追加案

(臨時第一號)臨時陸軍材料資金豫算追加案

案

○末松主席 前會ニ引續イテ開會致シマス、質問ノ追加ノ要求ガアリマスカラ、之ヲ許シマス——工藤鐵男君

○工藤委員 海軍ノ政府委員ノ方ニ質問ヲ致シマス、ソレハ高等海員ノ養成ニ關シマシテ、學校教育トシテハ主管ハ文部省デアリマセウケレドモ、其ノ海員ノ海軍關係ニ於テノ軍籍トノ關係ニ於テ、相當私共ハ大切ナル問題ト考ヘマシテ、隨テ此ノ養成ニ關スル海軍當局ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、申スマデモナク今回ノ事變ニ際シテ海軍ノ活動ト云フモノハ、沿岸封鎖ヲ始メ非常ナル效果ヲ奏シテ居ツテ、陸軍空軍ト相俟ツテ偉大ナル戰果ヲ得テ居ルノデアリマス、此ノ東亞ノ新局面ニ沿ウテ種々ナル方面ニ發展シテ行クノデアリマセウガ、海運界ノ狀態ト云フモノハ、是亦非常ナル激變ヲ來スモノデアルト云フコトヲ、私ハ想像スルニ難クナイト思フノデアリマス、

海運界ノ異常ナル發展ハ船舶ノ増加、之ニ伴フ所ノ海員ノ配置、隨テ之ヲ養成スル機關、此ノ養成機關ノ配置等ハ、適當ツテ私共ハ將來性ヲ持ツテ居ル施設トシテ、相當注意ヲスルヤウナ次第デゴザイマス、隨テ其ノ海員ハ將來海軍ノ豫備將校トシテ軍籍ニ置カレマシテ、有事ノ際ニハ直接軍務ニ勤務シナケレバナラスヤウナ次第デアリマスカラシテ、海員養成ニ關スル當局者ノ御所見ヲ先ヅ伺ヒマシテ、一二之ニ關シマシテ御尋シテ見タイト思ヒマス

○吉田(專)國務大臣 私カラ御答致シマス、今工藤委員カラ述ベラレタ通りニ、海員ノ素質ノ向上致シマシテ優秀ナル海員ヲ養成スルコトハ、殊ニ海洋日本ニ取ツテハ非常ニ重要ナコトデゴザイマシテ、一般的ニ見テサウ云フ考ヲ持ツテ居リマスバカリデナク、海軍ト致シマシテハ是ガ戰時ノ豫備員ニナル關係モアリマスノデ、從來トモ商船學校ノ内容、素質ノ向上其ノ他ニ付キマシテハ、多大ノ關心ヲ持ツテ主務省ト連絡ヲシテ參ツタノデアリマス、今後益々其ノ趨勢ヲ強化シナケレバナラスコトハ全然同感デアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ今デモ文部省、逕信省ト能ク連絡ヲ執リマシテ、其ノ方向ニ向ツテ努力致シテ居ル狀況デアリマス

○工藤委員 此ノ間逕信當局者ニ向ツテ此ノ點ヲ伺ツテ見マシタガ、ヤハリ將來ノ海運界ノ發展ニ伴フ此ノ方面ノ準備ト云フモノハ相當必要デアル、唯、今日未就職ノ海員ノ殘ツテ居ル者ハ、職業紹介所ノ報告ニ依ツテマダ若干ノ餘裕ハアルケレドモ、是ハ恐ラクハ一層増加シテ行ク需要ヲ滿タス譯ニハ行カヌダノウト云フ御話デアリマシタ、而シテ私ノ窮極ノ担ヒ所ハ、商船學校ノ増設ノ問題デアリマス、而シテ學校ヲ設ケル場合ニ於テ、文部當局ガ考ヘラレルノハ固ヨリデアラウ、又申スマデモナク海軍若クハ逕信省ト相談ヲシテ、適當ニヤツテケレララウト思ヒマスケレドモ、現在ノ狀態カラ見ルト、私共ハ甚ダ遺憾ガ多イト思ツテ居ルノデアリマス、七校ノ中ノ一校ダケハ日本海ノ富山縣ニアツテ、後ノ六校ハ瀬戸内海ニ集中セラレテ居ルヤウナ狀況デアル、是ハ沿岸モアリ又歴史モアルカラ之ヲ否定シ、又除イテドウシヨウト云フ意味デアリマセウ、益々學校ノ増設ハ今日ノ急ニ應ズル爲ニ必要ガアルト云フナラバ、現在ノ七校ヲ八校ニスルカ何カノ方法デ、北日本ノ方ニ欲シイト云フノガ私共ノ希望デアリマス、實ハ北日本ト云フテモ何處ヲ選ブカ、地方的ニ申シマス、青森ニシテモ、皆ソレモ、宮城、福島、秋田、山形ニシテモ、皆ソレソレ希望ガアルカモ知レマセウケレドモ、歴史的ニ考ヘテ見ルト北海道ノ函館ニハ、六十年間繼續シテ商船學校ガアリマシタガ、一時海運界ノ不況ニ伴ウテソレヲ廢止致シマシタ、尙ホ併シ他日ノ機會ヲ得ンガ爲ニ一切ノ諸道具カラ器具、設備ト云フモノハ其ノ確保存シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、ソレデアリマスカラ、今日ノ海運界ノ急ニ







第七十五回帝國議會院 豫算委員第五分科(文部省及厚生省所管)會議錄(速記)第一回

會 議  
昭和十五年二月十六日(金曜日)午前七時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

主査 平川松太郎君

川崎 克君

吉植 庄亮君

坂本宗太郎君

兼務

最上 政三君

田村 秀吉君

大本貞太郎君

牧野 良三君

名川 侃市君

塚本 重蔵君

出席國務大臣左ノ如シ

厚生大臣 吉田 茂君

出席政府委員左ノ如シ

厚生政務次官 一松 定吉君

厚生參與官 飯村 五郎君

厚生省體力局長 佐々木芳遠君

厚生省衛生局長 林 信夫君

厚生省豫防局長 高野 六郎君

厚生省社會局長 新居善太郎君

厚生省労働局長 藤原 孝夫君

厚生省職業部長 内藤 寛一君

保險院長官 進藤 誠一君

保險院總務局長 佐藤 基君

保險院社會保險局長 清水 玄君

保險院簡易保險局長 藤川 靖君

軍事保護院援護局長 數藤 鐵臣君

主査ノ許可ヲ得テ主席シタル者左ノ如シ  
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
昭和十五年度歳入歳出總豫算案並昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算案中厚生省所管  
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中厚生省所管  
(第一號) 昭和十五年度歳入歳出總豫算追加案中厚生省所管  
○平川主査 ソレデハ是カラ始メマス、先ヅ厚生省ノ方カラ先ニ始メマス、厚生大臣ノ説明ヲ求メマス

○吉田國務大臣 厚生省所管ノ昭和十五年度豫算ノ概要ニ付テ御説明ヲ申上ゲマス、厚生省所管ノ昭和十五年度一般會計豫算ノ要求額ハ經常部八千四百二十六万七千五百八十一圓、臨時部六千六百三十九万九千九百十三圓、合計一億五千三百九十九万九千四百九十四圓アリマシテ、本年度ノ豫算ニ比較シテ千五百四十六万四千四百八十四圓ノ増加トナツテ居リマス、而シテ昭和十五年度豫算中ニ於ケル新規増加額ハ一億五千八百八十八万九千五百四十四圓アリマシテ、其ノ大要ニ付キマシテハ、是ニ提出シマシタ當省所管豫定經費要求書ノ初メニ各事項ニ付テ、ソレノ説明ヲ附記シテゴザイマスガ、之ヲ大別シテ軍事扶助、傷病軍人保護其ノ他ノ軍事保護事業等、軍人援護ニ關スル事項、國民體力ノ向上ニ關スル事項、國民生活安定ニ關スル衛生ニ關スル事項、國民生活安定ニ關スル

事項、勞務對策ニ關スル事項、社會保險ニ關スル事項ノ六ツトスルコトガ出來マスルノデ、今此ノ六ツノ事項ニ分ケテ大要ヲ御説明申上ゲマス

先ヅ軍人援護ニ關スル事項デアリマスガ、事變下ニ於キマシテ最モ必要ナコトハ、軍人ノ遺家族ノ扶助援護、傷病兵ノ保護等デアリマスノデ、軍事扶助法ニ依リマス扶助ヲ遺憾ノナイヤウニ施行致シマス共ニ、法律ノ適用ヲ受ケナイ人々ニ對スル援護及ビ傷病軍人ニ對シマスル保護等ニ適切ナ施設ヲ、本年度ニ引續イテ、更ニヨリ徹底シテ施行スルコトヲ致シマシテ、軍事保護院ニ要スル經費五十二万七千六百三十四圓、一般軍人援護ニ要スル經費六千八百九十一万八千四百四十四圓、傷病軍人保護ニ要スル經費千六百三十六万五千七百九十三圓、戰死者遺族援護ニ要スル經費百四十七万五千五百九十六圓ヲ計上シテ居ルノデアリマス

次ニ國民體力向上ニ關スル事項デアリマスガ、事變下ニ於キマシテ、國民體力ノ低下ヲ防止シ、其ノ増強ヲ圖リマスコトハ、洵ニ喫緊ノ要務ト認メラレマスノデ、之ニ要スル經費トシテ國民體力管理ニ要スル經費二百六十六万五千四百四十四圓、乳幼児體力向上指導ニ要スル經費八十六万三千六百八十八圓、紀元二千六百年奉祝國民體育大會開催ニ要スル經費三十万圓、體育指導員設置費補給ニ要スル經費十二万圓ヲ計上致シマシタ

次ニ國民ノ保健衛生ニ關スル事項ト致シマシテ、國民ノ健康増進ヲ圖リ、疾病豫防ニ努メマスコトハ、事變下ニ於テ極メテ肝要ナル時務デアリマスノデ、結核豫防其ノ他保健衛生ノ施設ニ特ニ力ヲ致スコトトシマシテ、結核豫防施設ノ擴充等ニ關スル經費三百六十六万五千五百二十六圓其ノ内國立結核療養所ニ要スル經費ノ増加三十八万四千九百五十一圓、結核豫防費補助ノ増加二百一十六千圓、都市小兒結核豫防費補助ノ増加四十八万圓、農村結核豫防指導ニ要スル經費十五万五千七百七十五圓、結核豫防會補助五十万圓、療養所建設ノ爲ノ健康保險特別會計繰入金ノ増加十二万八千圓ヲゴザイマス

次ニ厚生科學研究所設置ニ要スル經費五十四万四千七百二十三圓、阿片費ノ増加八十八万八千六百六十圓、醫藥品臨時對策ニ要スル經費七万七千三百五十四圓、齒科材料規格調査並ニ検査試験ニ要スル經費二万五千九百七十九圓、ビタミン試驗ニ要スル經費一万五千二百五十五圓、國立療養所ニ要スル經費ノ増加十七万三千三百二十九圓、花柳病豫防費補助ノ増加三十四万七千九百四十一圓、寄生蟲病豫防施設費補助ニ要スル經費二十三萬圓、民族衛生思想啓發ニ要スル經費三萬圓、沖繩縣振興事業ニ要スル經費ノ増加二万三千四百七十七圓、鹿児島縣大島郡振興事業ニ要スル經費八万圓等ヲ計上致シマシタ

又第四ニ、國民生活安定ニ關スル事項トシテ、協和事業ニ要スル經費二十五万六千



七百五十一圓、地方改善費ノ増加九十三萬  
千五百五十四圓、農村保健施設助成ニ要スル  
經費十五萬圓、兒童保護思想啓蒙ニ要スル  
經費十萬圓、地代家賃新制ニ住宅供給應  
急措置ニ要スル經費八萬九千四百七十六圓  
等ヲ計上致シマシタ

第五ニハ、勞務對策ニ關スル事項トシテ、  
生産力擴充等ノ爲ニ賃金新制ニ要スル經費  
十四萬七千九百九十九圓、次ニ賃金臨時措  
置ニ要スル經費一萬七千六百六十六圓、臨  
時勞働對策ニ要スル經費五萬八千二百六  
十六圓、勞務調整機構整備ニ要スル經費六  
萬三千八百圓、技能者養成ニ要スル經費二  
百四十四萬四千三百五十五圓、勞務動員ニ  
要スル經費三百八十三萬二千八百二十六圓、  
勞務動態調査ニ要スル經費六萬五千九百五  
十四圓等ヲ計上致シマシタ

最後ニ社會保險ニ關スル事項トシテ、國  
民健康保險ニ關スル經費ノ増加五十七萬八  
千圓、職員健康保險ニ關スル經費ノ増加六  
十八萬三千四百七十四圓、船員保險ニ關スル經  
費ノ増加十三萬九千七百八十八圓等ヲ計上シテ  
アリマス

以上厚生省所管昭和十五年年度一般會計豫  
算ノ大要ヲ御説明申上テ次第デアリマス  
尙ホ厚生省所管ノ特別會計ニ付テ申上テ  
マスレバ、健康保險特別會計ニ於ケル來年  
度豫定額ハ、歳入歳出共五千五百四十五萬  
四千六百二十九圓デアリマシテ、之ヲ本年  
度豫定額ニ比較致シマス、歳入歳出共千  
一百三十九萬五千五百二十九圓ヲ増加シテ  
居リマス

又勞働者災害扶助責任保險特別會計ニ於  
ケル來年度豫定額ハ、歳入歳出共五百九十  
七萬六千五百八十一圓デアリマシテ、之ヲ  
本年度豫定額ニ比較致シマス、歳入歳出  
出共二十九萬七千七百七圓ヲ増加シテ居リマ  
ス

又簡易生命保險特別會計ニ於ケル來年度  
豫定額ハ、歳入四億八千二百三十三萬四千九  
百六十三圓、歳出二億四千三百三十五萬五千  
六十二圓、差引歳入超過二億三千九百八十八  
萬三千六百一十一圓デアリマシテ、之ヲ本年度  
豫定額ニ比較シマス、歳入ニ於テ九  
千三百六十六萬九千九百六十一圓、歳出ニ於  
テ四千三百二十一萬六千六百六十九圓、歳  
入超過ニ於テ二千二百五十五萬九千九百二  
十二圓ヲ増加シテ居リマス

又郵便年金特別會計ニ於ケル來年度豫定  
額ハ、歳入三千九百六十一萬三千七百九十九  
圓、歳出千七百三十二萬四千七百七十五圓、  
差引歳入超過二千八百八十九萬三千三百十六  
圓デアリマシテ、之ヲ本年度豫定額ニ比較シ  
マス、歳入ニ於テ千四百二十五萬五千三百  
二十二圓、歳出ニ於テ七百七十四萬二千四  
百八十八圓、歳入超過ニ於テ六百七十一萬九  
千九百九十四圓、職員健康保險及船員保險  
增加シテ居リマス、又來年度ヨリ新タニ設  
定致シマス、職員健康保險及船員保險  
特別會計ニ於ケル來年度豫定額ハ、職員健  
康保險特別會計ニ於テハ、歳入歳出共六百十  
九萬三千二百六十一圓、船員保險特別會計  
ニ於テハ、歳入六百五十一萬四千二百九十九  
圓、歳出三百三十八萬六千六百三十一圓、  
差引歳入超過三百一十二萬七千六百六十七圓  
デアリマス、是等ニ付テハ詳シイ説明ハ省  
略致シマス

最後ニ昭和十五年年度一般會計追加豫算第  
一號トシテ早稲地方救濟施設ニ要スル  
經費十八萬三千五百八十四圓ヲ要求致シマ  
ス

シタ、是ハ中國地方其ノ他ニ於ケル早稲  
災者ニ付キ其ノ實情ニ即シテ醫療救護ノ途  
ヲ講ジ、又子女保育施設ノ整備充實ヲ圖リ  
マス等ノ爲メ昭和十四年度ニ於テ應急ノ施  
設ヲ爲シタデアリマスガ、是ガ施設ハ尙  
ホ引續キ實施スルノ必要ガアルデアリマ  
ス

以上厚生省所管昭和十五年年度一般及比特  
別會計豫算ノ概要ヲ申上テタラシメテモ、  
何卒御審議ノ上御協賛ヲ願フコトヲ希  
望致ス次第デアリマス

○平川室長 是ヨリ質問ニ入りマス、先  
通告願ニ依リマシテ、吉植庄亮君  
○吉植委員 私人戰時體制ニ入りマシテカ  
ラ益ヲ以テ國民保健ト云フコトノ大切ナコ  
トヲ知リマシタ、厚生省ガ誕生致シマシタ  
理由モ、國民保健ノ低下ノ非常ニ此シクテ、  
壯丁檢査ノ成績ニ見テモ、昭和五六年  
カラ十年ニ掛ケテ急激ニ合格者ノ激減ヲ來  
シマシタ、此ノコトガ一ツ本省ノ誕生ノ理  
由ニナツタト云フコトヲ承ツテ居リマス、  
サウ云フ意味ヲ以テマシテ、國民保健ニ關  
スル問題ハ重大ト心得テ居リマス、就キマ  
シテハ十二月一日カラ政府ガ實施シマシタ  
白米食禁止、是ハ單ニ節米ノ點カラノミデ  
ナク、國民保健ノ上カラ斷行セラレタヤニ  
承ツテ居リマスガ、厚生省トシテハドウシ  
テモサウアルベキコトト存ジマスガ、其ノ  
點ニ付テ大臣ノ御答辯ヲ御願致シマス

○吉田國務大臣 洵ニ御意見ノ通りニ私共  
考ヘテ居ル次第デアリマス、白米食禁止ニ  
依リマシテ米ノ消費額ヲ節約シ得ルコトハ  
固ヨリデアリマスガ、消費額ノ節約ト云フ  
見地ヨリハ、寧ろ私共トシテハ、白  
米食ノ廢止セラレルコトニ依リマシテ、國  
民ノ健康、營養ノ上ニ資スルコト云フコトニ  
對シマシテ、米ノ生産額ガ將來殖ムルコト  
ガアリマシテモ、其ノ見地カラ白米食ガ一  
般ニ廢止セラレルコトノ必要ヲ深ク感ジテ  
居ル次第デアリマス

○吉植委員 サウシマス、私ハココニ非  
常ニ重大ナコトガ政府ニ依ツテ取殘サレテ  
居ルト存ジマス、政府ノ方デハ七分搗リ斷  
行シマシテ、白米食ヲ國民ニ食ハセヌヤウ  
ニスル、所ガソレニハドウシテモ混砂精白  
ノ禁止ヲ國法ヲ以テ斷行スルコト云フコトガ  
伴ヒマセスト、只今大臣ガ仰セラレマシタ、  
國民保健ヲ心配下サル點ガ、大キナ穴ガ明  
クト存ジマス、否穴ガ明クヨリモ、寧ろ白  
米食ニ放任シテ置イテ以上ノ害毒ヲ國民體  
位ニ及ボスコトト私ハ確信ヲ致シマス、ト  
申シマスノハ、厚生省ハ米ノ淘洗ニ依リマ  
シテ營養分ガ流失セラレ、以前ハ衛生上  
ニ混砂白米ハ有害デアルト云フガデアリ  
マシタガ、今日ニナリマス、營養學上  
ニ於テ、淘洗ニ依ル營養分ノ損失ト云フコト  
ガ多大ニ上ルカラ、混砂精白ハイケンナイ  
ダ、是ガ厚生省ノ營養研究所ノ發表デアリ  
マス、私共モ曾テ此ノ營養分ノ損失ガ米ニ  
見積リマシテ、年ニ約四百萬石程度、或ハ  
蛋白質ノミニ依リマス、一千萬石ニ匹  
敵スベキ所ノ營養分ガ流失スル、淘洗ハ宜シ  
クナイカラ、サウト米ヲ磨イデ、芥子流シ  
テ炊クヤウニト云フコトヲ、厚生省ノ營養  
研究所カラ承ツテ居リマシタ、サウシマス  
ルト、ココデ愈、白米食ガ禁止ニナツタ、  
是モ厚生省ガ豫メ主張セラレテ居リマシタ  
所、是ガ實現ヲ見マシタ上ハ、混砂精白ト云  
フコトハ絕對ナイ筈ダ、東京市ノ米屋ヲ  
見テサキマシテモ混砂精白ノ看板ヲ掲ゲテ



對外的ニ示ス必要ガアルト私ハ存ジマス、是レ此ノ點ニ思ヒ合セマシテ、是非一ツ此ノ際、一日モ早ク、只今承リマシタ大臣ノ御決意ヲ、早メテ戴キテウゴザイマス、是ハ希望ヲ申上ゲテ置キマス

次ニ御同致シタイノハ、今日貴金停止令ヲ見マシテ時ニ當リマシテ、米價ガ二回引上リ見テ居リマス、貴金停止令ト前後シテ、或ハ一回ノ五圓ノ方デアリマシタカ、時期ハ失念致シマシタガ、貴金停止令ノ時ニ、少クとも五圓以上ニナツタ、是ハ戰時體制ヲ完全ニ遂行スル上ナツタ、又低物價政策ヲ以テ物價對策ノ基本ト致シマス建前カラ、甚ダ以テ寒心ニ堪ヘナイ次第ト存ジマス、丁度我國ノ一戸當ノ人口ト云フモノハ、大體五人半カラ六人ノ間ニナル、農家ハ五人半デアリマスガ、一般大衆ハレヨリ少シ多イウデアリマス、假ニ之ヲ五人半ト致シマシテ、一年一人ガ一石一斗何ガシラ食ベルコトニ相成ツテ居リマスカ、一家ヲ以テ年六石食ベルコトニ相成リマス、之ヲ月別ニ致シマス、一箇月ニ五斗ヲ食ベル、サウシマス、今日ノ白米ハ公定價格四十七圓五十錢デアリマスカラ、是ガ二三圓七十五錢ニナツテ居ル、月々ノ家計費ニ見マス、五十四ノ家計ニ於キマシテハ、此ノ米價ガ四七五ニ相成ツテ居ル、七十圓ノ家計ニ於テハ、三三九ニナツテ居ル、八十圓ノ家計ニ於テハ、二九三ニナツテ居ル、是ハ米ノ價值ト云フモノガ、是等ノ階級ノ家計費ニ如何ニ重大ニ占メテ居ルカ云フコトヲ證據立テテ居リマス、之ニ對シテ政府ハ家族手當ニ二圓ト云フモノヲ出シテ、救済セラルルヤウウゴザイマス、洵ニ結構ナコトデゴザイマスガ、モウ少シ突キ

進シテ根本對策ガアルヤウニ思ヒマス、是ハ所管諸ヒデゴザイマスノデ、此處デ申上ゲルノハ當ラ得ナイカモ存ジマセマスガ、是ハ農林大臣ニモ是カラ大ニ御意見ヲ聽イテ、決意ヲ固メテ戴キタイト思フノデアリマス、今日玄米ト白米トノ價開キト云フモノハ、四圓五十錢ニ相成ツテ居リマス、玄米ノ公定價格ガ四十三圓、白米ガ四十七圓五十錢、四圓五十錢ノ差デアリマス、所ガ農家自體ガ消費スル米ヲ三萬石ト見テ消費ガ大體八萬石トシテ、除ク五萬石ト見テナリマス、此ノ五萬石ヲ四圓五十錢ニ掛合セマス、二億二千五百圓ニ相成リマス、此ノ二億二千五百圓ト云フ金ガ、今日全國ノ米屋サシノ收入ト相成ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ米屋サシノ方モ、然ラバ生活ハソレレ樂カト云フト、樂デハゴザイマセ、産組ハ進出シテ參リマス、東京、大阪ノ米屋ハサウデモアリマセマスガ、地方ニ於キマスル米穀商ハ、日々衰運ノ一途ヲ迪ツテ居ルノミデゴザイマシテ、彼等モ言ウテ居リマス、私共ノ前途ハ十年經ツタラドウナルカ分リマセ、是ハ大キナ一ツノ社會問題デアリ何トカ解決セネバナリマセ、而シテ他面ニ二億二千五百圓ト云フ金ノ問題ト相成ツテ來マス、此ノ際米穀專賣ヲ斷行致シマス、今日六百五十萬石ヲ政府ガ買付ケテ、六大都市ニ配給ヲ致シテ居リマスガ、買付費用ハ一文モ掛ツテ居リマセ、是ハ二千萬石買ハウガ、三千万石買ハウガ、一文モ掛リマセ、集荷ニ於キマシテハ零デアリマシテ、配給手段トシテ二億二千五百圓ト云フ金ガアリマスカラ、此ノ國策ヲ斷行スル時ニナリマス、貴金停止令ニ對スル所ノ立派ナル社會政策ガ出來

民生生活方面カラ、又厚生省所管ノ保健衛生ノ上カラモ、或ハ社會政策ノ上カラモ、消費ヲ代表スルト云フ方面カラ考ヘマシテモ、十分ノ關心ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、此ノ米穀ノ問題ト云フノハ我國ニ取リマシテモ一番基礎ノ大事ナ問題デアリマスカラ、專賣制度ニ贊成スルシナイト云フコトニ付キマシテハ、今日意見ヲ申上ゲラレマデノ段階ニ達シテ居リマセマスガ、御趣旨ハ能ク分ルト思ヒマス

○吉植委員 只今大臣ノ御答辯ヲ承リマシテ洵ニ意ヲ強ウスルモノガアリマス、此ノ上トモ米專賣ニ關シマシテハ、一ツ十分ノ御研鑽ヲ願フテ、正ニ是デナケレバ、ナラヌト大臣ガナラレヤウニナルコトガ、國家ノ爲ノ幸福デアリ、國民ノ爲ノ幸福デアリマスカラ、此ノ點ヲ是非御願致シマス、私ノ質問ハ之ヲ以テ打切りマシテ、一番終ニ時間ガ餘リマシタラ又少シ質問サセテ戴キタイト思ヒマス

○平川主査 宜シウゴザイマス——次ハ塚本重藏君

○塚本委員 少シバカリ此ノ機會ニ厚生大臣ニ御尋シタイノデスガ、其ノ前ニ一ツ御伺シテ置キタイコトハ、本日午前九時ノ閣議ニ於テ家族手當ヲ最後ニ決定スベク閣議ニ付議セラレト云フコトガ新聞ニ傳ヘラレテ居ツタノデアリマスガ、閣議決定ヲ見タノデアリマセウカ、見タトスレバ其ノ内容ハ如何ニ決定セラレタノデアリマセウカ、簡單ニ御述ヲ願ヒマス

○吉田國務大臣 御尋ノ點ハ本日閣議決定ヲ見マシテ、直チニ各方面ニ於キマシテ施行ノ手續ヲ執ルコトニ致シマシタ、内容ニ付キマシテハ、私共ノ期待スル程ノ實質ヲ

十分備ヘルト云フコトニ參リマセマスコトヲ甚ダ残念ニ考ヘルノデアリマスガ、是ハ隨カ豫算總會ノ席上ニ於テモ申上ゲテ置イタカト思フノデアリマスガ、何分生活ノ方面ノ考慮カラ出テ居ル事デアリマスケレドモ、手當ヲ支拂フ方ノ側ノ事ヲ考ヘマシマス、可ナリ各方面ニ及ブコトデアリマス、官廳、公共團體等ノ下級給料生活者ノ問題モ併セテ考ヘネバナリマセ、又一方貸金問題ノ根本ヲドウ決メルカト云フコトニ付テノ基礎的ナ問題ガマダ決ツテ居ラヌト云フ關係モアリマス、極メテ一時的ノ已ムヲ得ザル措置トシテ行ハレタモノデアリマスカラ、程度ニ於キマシテハ餘リ十分ニ國民ノ生活ヲ緩和スルコト云フ效用ヲ、是デ大丈夫ト云フコトマデ上ゲ得ナイコトヲ甚ダ残念ニハ思ツテ居ルノデアリマスガ、大體勞務者ニ付テ言ヒマセ、月収入七十圓未滿ノ、十四歳以下ノ扶養家族ヲ抱ヘテ居リマス人々ニ對シマシテ、其ノ工場ナラ工場ノ全體ノ員數ニ對シテ、一人當リ二圓ニ當ル家族手當ト云フモノヲ支給シテモ宜イ、ソレヲ貸金臨時措置令、今ノ「ストッ」令ノ例外トシテサウ云フコトヲ認メヨウ、之ヲヤル場合ハ地方長官ノ許可ニ依ツテヤリ得ルコト云フコトヲ、各地方長官ニ通達致スコトニナツテ居リマス、又勞務者以外只今申シマセウナ公共團體、國等ノ職員、傭人ト云フモノニ付キマシテモ、只今申シマシタヤウナ標準ニ準ジテ、出來得ル限り生活不安ノ緩和ニ資スルヤウニト云フコトデ、是ハ各廳々々其ノ向キノ「二」通達致スコトニナツテ居リマス、尙ホ詳細シイコトハ政府委員カラ申上ゲテモ宜シウゴザイマス、大體ノ骨組ハ左様ナコトデアリマ

○塚本委員 豫算總會デモ此ノ點ニ關シテ私ノ所見ヲ申上ゲテ、厚生大臣ノ御考慮ヲ御願シテ置イタノデアリマスガ、其ノ點ニ付テハ何等私共ノ主張ガ容ラレラレテ居ラナイ、甚ダ残念ニ考ヘルノデアリマス、更ニ遺憾ナコトハ、此ノ前ノ厚生省ノ私案ト致シマシテハ、六十歳以上ノ老人ヲモ含メルヤウナ腹案ニナツテ居ツタト思フノデアリマスガ、今ノ御答辯ニ依リマシテモ、又新間ニ散見スル所ニ依リマシテモ、老人ノ事ガ取除カレテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ點如何デアリマスカ、又モウ一ツハ支給ニ付キマシテノ所要ノ經費ハ、是ハ新規ノ豫算ニ計上シナイデ、人件費、又ハ内務省土木局ノ如キ現業員ノ給與ヲ事業費トシテ計上シテアル官衙ハ、其ノ事業費中ヨリ適當ニ抽出按配セヨト云フコトニナツテ居リマスガ、其ノ結果トシテハ家族手當出シタガ爲ニ或ハ一般ノ賞與デアルトカ、手當デアルト云フモノガ削減セラレテ、結局全體ヲ通ジテ一箇年ノ收入ト云フモノノ上ニハ何等ノ増額ニナラナイト云フ結果ニナリハシナイカ、ソレカラ又一方ニハ之ニ該當シテ居ナイ人達ガ當然支給セラレベキ手當デアルトカ、賞與デアルト云フモノガ削減セラレテ、之ニ該當スル家族ヲ持ツテ居ル者ノ方ニ流用セラレト云フ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、其ノ點如何デアリマスカ

○吉田國務大臣 此ノ案ノ決定ヲ見マスルマデニハ各省關係ノ人々ノ間ニ、隨分私共カラ考ヘマス長イ間ニ互リマシテ、非常ニ細密ノ打合せヲ遂ゲラレタノデアリマス、今日漸ク閣議決定ヲ見ル運ビニナリマシ

タ、第一決マリヤウガ選カツタト云フコトモ洵ニ申譯ナイト思フノデアリマスガ、當初ハ老人ト云フコトニナラズ、多分扶養家族ヲ持ツテ居ルコトデアツタカト思フノデアリマス、ソレガ十四歳未滿ノ扶養家族ト云フコトニ限ラレヤウニナリマシタコトハ、ソレガ範圍ガ限定サレタ譯デアリマス、ソレ等ノ育子盛リ——乳幼児ヲモ含ミマシタ家族ノ扶養ト云フコトハ、殊ニ戰時下ニ於テ最モ大切ナコトデアラウト云フ點デ、ソコニ力點ヲ注イダノデアリマス、年寄ヲ省イタト云フコトハ年寄ヲ粗末ニシテ宜イト云フコトハナイノデアリマシテ、出來レバ老幼ヲ間ハズ扶養家族ガ多ケレバ多イ程生活ニハ難儀ヲスルノデアリマスカラ、ソレハ入レタカツタノデアリマスガ、何分ニモ第二點トシテ御指摘ニナリマシタヤウニ、既定豫算ノ範圍内ニ當リ至急ニ賄イタイト云フ實情モアリマスガ爲ニ、斯様ニ程度ニ付テハ制限ト云フモノガキツクナツテ居リマスルコトハ甚ダ残念ナノデアリマスガ、併シ第二點デ御尋ニナリマシタヤウニ、此ノ家族手當ヲ支給スルガ爲ニ年末賞與ガ減ルトカ給與ガ減ルトカ云フコトナイヤウニト云フ趣意ハ極メテ明瞭ナノデアリマス、今マデノ給與ニ加ヘテ是ダケノ金額ヲ増ス、斯ウ云フ趣意ナシデアリマス、色々各省ト致シマシテハ、ヤリ繰リノ難カシイコトモアルヤウデアリマスガ、閣議ノ席上ニ於キマシテハ各大臣トモ何トカヤリ繰リテ是ダケノコトハ切メテシタイト云フ熱意ハ皆サン悉ク示シテ下サレテ居ツタノデアリマス、金額ノコトモ是デハ少シ少イデハナイカト云フコトヲ仰シヤツタ向キモアルノデアリマスケレドモ、直チニ今



ガネバナリマセヌノデ、停止令ニ對スル一ツノ至急已ムヲ得ザル措置ノ一ツトシテノ値打ヲ今回ノ家族手当ハ持つテ居ルノダト云フ點ヲ御諒解下サイマシテ、外ノ大切ナ國民生活確保ノ方面ニ於キマシテモ、十分努力ヲサシテ戴クト云フ積リデアリマスルコトヲ御諒解願ツテ置キタイト存ジマス

○塚本委員 此ノ家族手当ヲ支給スルト云フコトノ爲ニ其ノ他ノ給與ガ減ルト云フコトニハ、斷ジテナラヌト云フ言明ヲ得マシテ安心シタノデアリマスガ、豫算總會デモ申シマシヤウニモウ一ツノ之ニ依ツテ生ズル點ハドウ云フ風ニ解決シタラ宜イデセウカ、即チ私ガ豫算總會デ申シマシヤウニ七十圓未滿ト云フコトニスルト、七十一圓取ツテ居ル者ハ四人五人ノ子供ヲ持つテ居ツテモ家族手当ガ貰ヘナイ、七十圓未滿ノ者ハ五人子供ヲ持つテ居レバ十圓貰ヘル、ソコニ非常ナ不均衡ガ生ズルト思フノデアリマスガ、ソレハドウ云フ風ニ安排セラレルノデアリマスルカ

○吉田國務大臣 七十圓未滿ト限リマシタニ付キマシテハ左様ナ點モアル譯デアリマ

唯一ツ御伺シテ置キタイノハ、例へバ大阪市電デハ十一月、十二月、本年ノ一月既ニ百五十圓以下ノ者ニ對シテ相當額ノ最高二十圓未滿ノ子女手当ト云フ名目デ以テ家族手当ヲ出シテ居リマス、是ハ厚生省デハ一時中止ヲ命ゼラレタヤウデアリマスガ、大阪市其ノ他東京市デモ之ニ倣ハウトシテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ許可ニナル方針デアリマスカ

○吉田國務大臣 一ツノノ公共團體或ハ工場等ニ關スル問題ニ付キマシテ、是ハドウカ、是ハドウカト云フコトニ付キマシテハ、只今御答ヲ申上ゲルノモ如何デアラウカト思ヒマス、詰リ其ノ點ハ「ストップ」令ノ出ル前ニ決ツテ居リマシタ給與規則ナラバ此ノ標準ヨリスツト上デアツテモ宜シイノデアリマスルシ、「ストップ」令ニ掛ツテ居リマス分ハ今度ノ取極メニ依リマシテ、其ノ制限ガ取極メノ限度ニ於キマシテ制限ヲ緩和スルコトヲ地方長官ニ於テ認メヨウトスルノデ、運用ノ上ニ於キマシテハ出來ル限り實情ニ即應スルヤウニシヨウト云フ

題云アリマスガ、私共厚生省ニ御願シマシテ、厚生省カラモソレノ指令ヲ出シテ戴イタノデアリマスガ、唯遺憾ノコトガ一ツアリマス、私共議會ニ臨ムニ方リマシテ大阪ノ多クノ労働者ニ會ヒマシテ、一體オ前連ハ議會ニ行ツタラ何ヲ先ツ言ツテ貰ヒタイカト云フ質問ヲ發シタ所ガ、即座ニソレハ今ノ休電ニ依ル所ノ手当ノ問題ダト云フコトヲ異口同音ニ言フノデアリマス、ソレハ私共ハ能ク事情ヲ知ツテ居リマスガ、厚生省ノ方デハ六割以上ノ手当ヲ支給スルヤウニト云フコトヲ指令セラレタ、所ガ今日關東デハドウカ知リマセヌガ、關西ニ於テ行ハレテ居ル所ノ六割支給ト云フモノハ、實收ノ六割デナクシテ名目賃銀ノ六割デアリマス、是ガ非常ニ労働者ニ打撃ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、而モ大阪デハ御承知ノ通り二日働イテ一日休ム、即チ三日ニ一日ツツ休マサレタ、事變中ノコトデモアルカラ、一週間ニ一日休ムト云フ程度ナラバ自分等モ我慢シナケレバナラヌダラウト云フコトハ覺悟シテ居ツタノデアリマス、所ガ三

テアリマセウカ、分ツテ居ルヤウニト云フコトヲ重ネテ御命令ニナル御意思ハナイノデアリマセウカ伺ヒタイ

○吉田國務大臣 電力不足ニ依ル休業ノ手當ノ點ハ、是亦ソレヲ一律一體ニ全國ニ普及シテ底底シ得ルト云フヤウナ仕事デゴザイマセヌノデ、其ノ趣意ハ豫算總會デモ申上ゲマシタ通りニ、斯様ナ電力ノ不足ニ依ツテ休業ノ日數ノ殖エルト云フコトハ勞資雙方共ニ非常ニ難儀ノコトデゴザイマス、餘裕ノアル所ハ格別、餘裕ノ無イ所ニ於キマシテハ隨分困ツタ結果ヲ生ジテ居リマスコトハ御承知ノ通りノヤウナ次第デアリマス、左様ナ困難ヲ勞資ノ共存共榮ト云フ見地カラ共ニ手ヲ携ヘテ忍ンデ行ク爲ニ、手當ノ支給ト云フコトヲ業界ニ御勸メヲスルヤウニト云フ趣意ヲ以テ全國ニ通達ヲシテアル次第デアリマシテ、六割以上ヲ標準トスルト云フコトハ申シテアリマスガ、必ズ六割拂ハネバナラヌト云フコトハ申兼ネルヤウナ狀況ノ下ニ此ノ通牒ガ出テ居ルヤウナ譯

ナノデアリマス、又餘裕ノアル所デハ六割デナクシテ 是モ御承知カト思ヒマスガ、全額ノ休業手当ヲ支給シテ居ル向キモアルヤウナ次第デアリマス、ドウモ餘裕ノアル所トナイ所ノ間ニ均衡ヲ保チ難イト云フコトハ今日ノ現狀ニ於キマシテハ或ル程度已ムヲ得ナイヤウナ實情デアルト思ヒマス、私共ノ六割ト言ヒマシタ意味ハ、實收賃銀、極ク形式的ニ申シマスレバ、健康保險ノ標準賃銀ト云フヤウナモノニ該當スルヤウナ意味デ申シテアルノデアリマスケレドモ、事ノ本質ガソレヲ強制スルト云フ建前ニ立ツテ居リマセヌノデ、ソレハ實收賃銀ニ依ル六割デナクテハナラス、名目賃銀ノ六割デハ違フノダト云フ指令ヲ出スコトモ其ノ實益ガドウアラウカト實ハ考ヘルノデアリマス、洵ニ御指摘ノ點ハ御尤モト思フノデアリマスケレドモ、アノ取極メノ本質ニ鑑ミマシテ、出來ルダケ一ツ拂ツテ貰ヒタイト云フコトシカ言ヘナイ場合デアルト云フコトヲ御諒解願ヒタイノデアリマス

言ウテ居ルノデアリマセヌ、サウ云フ所デハ労働者ハ黙ツテ我慢ヲシテ居リマス、併シ是ハ序デアリマスカラ厚相モ一ツ頭ニ入レテ置イテ戴キタイト思フノデスガ、實ハ此ノ事カラ大阪ニ於キマス所ノ中小ノ工業ト云フモノハ非常ニ大キナ打撃ヲ受ケテ居ル、御承知ノヤウニ我國ノ輸出産業ノ七割ヲ占メテ居ル所ノ中小工業ノ上ニ及ボシタ打撃ト云フモノハ非常ニ甚大デアリマス、此ノ事ノ爲ニ恐ラク中小ノ工業ノ大部分ノモノガ破産倒壊スルノデハナカラウカト思フ、今言フ手当ノ問題ニ致シマシテモ、サウ云フ所デハ手当ガ出セナイ、労働者モ亦ソレガ要求出來ナイ、事業主ノ懐ガ分ツテ居ルカラサウ云フ所デハ要求スル譯ニ行カナイノデアリマス、涙ヲ吞ンデ我慢シテ居ル、併シ労働者ハヤハリ食ハナケレバナラヌノデアリマスカラ、食フダケノモノハ何處カ得ナケレバナラヌ、ソレデ其處デ働イテ居ル労働者ハ職ヲ求メテ他ニ轉ジテ行ク、併シ中小商工業者ハ自分ノ所ニ留メテ置キタイ

小商工業ノ問題ハ商工省所管デアリマスガ、同時ニ厚相ニ於カレマシテモ十分此ノ點ヲ御記憶ニナリマシテ、中小工業ノ破産ヲ食止メルヤウニ御盡力アラシコトヲ希望致シマス、斯ウ云フ問題ニ對シテハ労働者ニ對シテ手当ヲ與ヘルバカリデハナシニ、ソレ等ノ業者ニ對シテモ此ノ難局ヲ忍ンデ行クダケノ手当ヲシテヤラナケレバナラヌ、事業主ガ出サナケレバ政府ノ方カラデモ補助金ヲ出シテヤラナケレバナラヌ、石炭ガ足ラヌト云ヘバ適當五圓ノ補助金ヲ出シテ居リマス、實際労働者ニ手当ヲ出スト云フバカリデハナシニ、業者ニモ補助金ヲ出シテ破産ヲ救ツテ行クト云フコトニ政府ガ目ヲ注イデ戴キタイト思フ、政府ハ移動制限ト云フヤウナコトヲ労働者ノ移動ヲ防止シテ居リマスケレドモ、食ヘルヤウニシテヤラナイデ労働者ガドウシテデツトシテ居ラレマスガ、ソコデ政府ノ人ニ分ラヌ、是ハ細カイ問題ノヤウデアリマスケレドモ、實ハ産業界ノ一番大キナ原動力ヲ爲シテ居ルノ

少クトモ四五人、多イ時ハ十數人ノ労働者ガ私ノ家ヲ訪レテ來タ、サウシテ工場ヲ辭メタケレドモ、次ノ工場デ働クコトガ出來ナイ、一體ドウシタラ宜イカト云フ相談ヲ毎日受ケテ、私ハソレニ惱マサレタ、ソレハ勿論最初ノ間ハ法律ノ内容ヲ能ク知リマセヌカラサウ云フ失敗ヲシタノデアリマシテ、私共ハ懇々ト法律ヲ持ヘラレタ精神、竝ニ其ノ内容ヲ説明致シマシテ我慢サセテ居ルノデアリマスガ、今日ニ至ツテ是ハ稍ノ内容ガ分ツテ來タモノデアリマスカラ其ノ數ハ非常ニ減ツテ參リマシタ、ケレドモ尙ホ多數ノ労働者ノ中ニハ法律ノ内容ノ分ラナイノト、モウ一ツハ事業主ガ之ヲ悪用スルコトガ頻々トシテ起ツテ居ル、現ニ私ノ知ツテ居リマス問題ノ甚シイモノヲ申上ゲルト、是ハ大阪ニ住ンデ居ル者デアリマスガ、尼ヶ崎製鋼所ニ働イテ居ツテ昨十四年十二月十三日ニ家庭ノ事情ガアツテ郷里ノ鹿兒島ニ歸ツタ、所ガ家庭ノ事情デ再ビ働カナケレバナラヌヤウニナツテ、今年ノ正月ニ



浦ノ機務製作所五人ノ労働者ヲ解雇シ  
タ、解雇シテ置キナガラ其ノ労働者ニ他ニ  
轉ジテ宜シト云フ同意書ヲ與ヘテ居ラナ  
イ、更ニ又昭和電工株式會社デアリマスガ、  
此處デモ工場規則違反ト云フ廢テ労働者  
ヲ解雇シタ、解雇シテ置キナガラ、他ニ轉  
ジテ宜シト云フ同意書ヲ與ヘテ居ラヌ、勞  
働者ヲ解雇シテ置キナガラ、其ノ労働者ガ  
他ノ工場ニ行クコトニ同意ヲ與ヘナイト云  
フコトハ死刑ノ宣告ニ等シイモノデハアリ  
マセヌカ、斯ノ如ク到ル處ノ工場ニ於テ此  
ノ雇入制限令、移動防止令ト云フモノヲ惡  
用シテ居ルノデス、豫算總會ニ於テモ申シ  
マシタヤウニ、昨年ノ十月マデニ大阪デ移  
動防止令ニ依ツテ届出ヲシナケレバナラヌ  
者ガ六千人アル、然ルニ其ノ中デ本當ニ届  
出ラシク者ガ二百人シカ居ナイ、アトノ五  
千八百人ト云フ者ハ斯ウ云フヤウナ事情デ  
正式ニ他ノ工場ニ移ルコトガ出來ナイデ、  
人夫デアルトカ其ノ他ノ名目ニ依ツテ六  
箇月ノ期間ト云フモノヲ潜ツテ居ル、サウ

使ハナイナラバ、替ルヤウニシテ宜  
チヤナイカ、若シソコデ同意書ヲ出サナケ  
レバ職業紹介所長ガ自分ノ職權ヲ以テ認メ  
タラ宜イチヤナイカ、所ガ此ノ職業紹介所  
長ハ、ソレハ私ハ困ル、東京、ロール以外  
ノ他ノ工場ヲ見付ケテ來イ、斯ウ云フコト  
ヲ言ツテ此處ニ入ルコトヲ認メテ居ラヌ、  
許可シナイ、斯ウ云フヤウナ事例ハ澤山ア  
ルノデアリマスカラ、一ツ職業紹介所長ガ  
權限ヲ實行スルヤウニ厚生省カラ訓令ヲ出  
サレテ、事情ハハ已ムヲ得ザルモノデア  
ル、是ハ轉職サスト云フコトノ方ガ國家的ニ見  
テ妥當デアルト考ヘラレルモノ、又労働者  
ソレ自身ノ生活事情カラ見テハ已ムヲ得  
ナイモノデアルト認メラレルヤウナ事例ニ  
付キマシテハ、職業紹介所長ハ、元ノ雇主  
ノ同意書ガナクツテモ許可スル所ノ權限ヲ  
持つテ居ルノデスカラ、此ノ權限ヲ巧ク利  
用セラレルヤウニシテ載キタイ、サウシテ  
今申シマスルヤウニ此ノ生産力擴充ノ絕對  
至上命令トマデ吾々ハ考ヘテ居ルノデア  
リマスガ、其ノ生産ニ携ハル所ノ多クノ労働

ガ出來ナイコトデアリマシテ、勞資雙方、  
此ノ非常時下ニ於ケル労働統制ト云フコト  
ニ付キマシテノ趣意ヲ能ク理解シテ載イテ  
銘々法ノ趣意ヲ守ラウト云フコトノ心持ヲ  
是非持ツテ貫ハナケレバナラヌコトと思  
フデアリマス、恐ラク今御學ガニナリマシ  
クヤウナ例ニ付キマシテハ、ドウモドチラ  
ニモ幾ラカ其ノ點ニ於テ缺タル所ガアツク  
ンチヤナカラウト云フヤウナ想像ヲ、御話  
ヲ伺ツテ居リナガラ私サウ云フ心持モシタ  
ノデアリマスガ、此ノ制限令ヲ潜ラウトカ、  
惡用シヨウトカ云フ心持ガアリマスレバ、  
幾ラ労働統制ノ法令ヲ濫發致シマシテモ、  
實效ガナイノミナラズ、却テ害ヲ及ボスヤ  
ウナコトニナルノデアリマスカラ、其ノ點  
ハ役所ト致シマシテモ運用ノ上ニ於テ能ク  
此ノ點ニ重キヲ置イテ過チナキヤウニシナ  
ケレバナリマセヌト同時ニ、産業人自體ノ  
自覺、奉仕ト云フコトニモ俟タネバナラヌ  
譯デアリマス、職業紹介所ノ機能等ニ付キ  
マシテモ、紹介所ガ國營ニナリマシテ以後、

デサウ云フコトハ申上ゲナイコトニシテ居  
リマス、唯今申上ゲマシタ如キハ最モ甚シ  
イノデアリマス、既ニ解雇シテ居ル、解雇  
シテ居リナガラ他ノ工場ニ行クコトヲ同意  
シナイト云フヤウナコトハ、是ハ労働者ノ  
生命ヲ絶ツコトデア  
ル、斯ノ如キコトハモ  
ウ批判ノ限リデナイト思フ、ドウゾ御注意  
下サルコトヲ御願シマス、ソレカラ餘リ多  
クノ時間ヲ取ルコトモドウカト思フノデ、  
二三ノ點ヲ省略致シマシテ、次ニハ産業報  
國會ノコトニ付テ御尋シタイノデアリマス  
ガ、是ハ事變下國民ノ再組織ガヤカマシク  
叫バレテ居ルノデアリマシテ、私共ハ是非  
此ノ國民ノ再組織、國民ヲ強力ニ組織スル  
ト云フコトノ必要デア  
ルコトヲ痛感シテ居  
ル、其ノ爲ニハ先ヅ以テ産業人ノ統制再組  
織竝ニ農村ニ於キマスル所ノ農民ノ組織問  
題、是ガ國民組織ノ重要ナ問題デア  
ルト私  
ハ思フ、殊ニ産業人ノ勤勞者ノ再組織ト云  
フモノガ理想的ニ行ハレマスナラバ、是ハ  
非常ニ大キナ國家ノ力ニナルト思フ、政府

ガ國民ニ協力ヲ求メルト云フ場合ニ於キマ  
シテモ、此ノ機關ヲ通シテ國策ヲ遂行スル  
ト云フコトニナルノデアリマシテ、是非ナ  
ケレバナラヌモノデア  
ル、ソコデ厚生省ノ  
唱道セラレテ居ル所ノ産業報國會運動、是ハ  
洵ニ結構ナモノデア  
リマス、事變下是ハ出  
來ルダケ強力ニ押進  
メテ行カナケレバナ  
ラヌモノト私共衷心カ  
ラ實意ヲ表スル次第  
デアリ、且ツ微力デア  
リマススケレドモ、其  
事ノ爲ニ盡シテ居ル  
次第デアリマス、所ガ  
遺憾ナコトニ今日マ  
デノ實績カラ見マス  
ト、ドウモ甚ダ振ハ  
ナイデハナイカ、面  
白クナイデハナイカ  
ト思ヒマス、勿論茲  
ニ參考資料トシテ提  
供セラレマシタ所ニ  
依ルト、既ニ全國一  
万四千幾ラノ産業報  
國會ガ出來、茲ニ二  
百七十萬ノ労働者ガ  
組織セラレテ居ル、  
量ノ上ニ於テハ大體  
相當ナ成績ヲ擧ゲ  
テ來クノデアリマス  
スケレドモ、之ヲ質  
的內容ニ於テ見マス  
ト全然零デアリマス  
、此ノ産業報國會ガ  
出來テ労働者ガ喜ン  
デ居ルカ、喜ンデ居  
ラナイ、事業主ガ喜  
ンデ居

經驗ヲ活カシテ、一ツ善處セラレル必要ガ  
アルノデハナカラウカト思フ、第一私共ハ  
然ラバドウスレバ宜  
イカト云フコトニ付  
テ、今日ハ勞資トモ  
ニ此ノ産業報國會ト  
云フモノヲ自分ノ工  
場ニ組織シ、組織ヲ  
持つテ居リナガラ、  
ソレニ期待ヲ掛ケテ  
居ラナイ、寧ロ作ツ  
テ置キナガラ厄介者  
扱ニシテ居ル、併シ  
労働者ノ方ハ事業主  
ニ比ベテ幾ラカ熱意  
ヲ持つテ居ル、何ト  
カシテ之ヲ巧ク善用  
シテ産業報國會ノ精  
神ヲ益々發揮シテ行  
キタイト考ヘテ居  
リマススケレドモ、  
事業主ノ方デハ之ヲ  
善用シヨウトシナイ  
、私ハ此ノ産業報國  
會ノ組織ニ付テハ、  
第一番ニ今ノヤリ方  
ト云フモノガ非常ニ  
官僚的デアルト云フ  
コトガ抑、イケナイ  
ト思フ、勞資一體——  
今日ノ事變下ニ於テ  
、労働者トカ資本家  
トカ云フモノガアル  
ベキ筈ハナイ、御五  
トモ是ハ皇國ノ爲ニ  
、陛下ノ爲メノ産業  
ヲ御互ガ預ツテ居  
ルノデア  
ル、斯ウ云フ精神カ  
ラ勞資一體論ト云フ  
モノガ生レテ來ク、  
洵ニ結構デアリマス  
、ケレドモ實

ルコトヲ知ラナイ者ガ半数以上デア  
ル、サウシテ半数以上ノ者ハソレヲ使  
フコトヲ知ラナイ、  
コンナモノハアツテ  
モナクテモ宜イト云  
フヤウナコトヲ言ツ  
テ居ル投ゲヤリノ人  
ガ半数以上デセウ、  
大體私ハサウ云フ風  
ニ見ル、サウ云フ風  
ナ譯デアリマスカラ、  
組織ノ上ニ於テハ根  
本的ニハ先刻申シマ  
スヤウナ點ニ重大ナ  
原因ガアルガ、組織  
ノ方法論ニ於キマシ  
テモ、モツト労働者  
ノ自發的ナ協力を求  
メルヤウナ形ヲ執ラ  
レル必  
要ガアル、ソレニハ  
ドウスレバ宜イカト  
言フト、第一ニハ産  
業報國會ノ委員デア  
リマス、之ヲ公選制  
ニシテ居ル所ガ此ノ  
一萬四千幾ラノ産業  
報國會ノ中ニ幾ツアル  
ノデア  
リマスカ、恐ラク十  
ニモ足ラナイデア  
リマセウ、其ノ大部  
分ト云フモノハ事業  
主ノ指名デアリマシ  
テ、事業主ノ氣ニ入  
ツタ労働者ヲ役員ニ  
選任シテ居ルニ過ギ  
ナイ、サウ云フモノ  
ノ労働者ガ本當ニ其  
ノ委員ヲ信頼スルコ  
トガ出來  
ルカ、私ハ此ノ點ニ  
付テハ、産業報國會  
ノ委員ト云フモノハ  
飽タマデモ

トガ出來ナイ立場ニ置カレテ居  
ルノデアリマスカラ、言ヒタイコトガ十分ニ言  
ヘナイ、是ハ労働者  
デナケレバ其ノ心理  
ハ分ラヌト思フ、斯  
ウ云フコトヲ言ツテ  
ハ誠ニナルノチヤナ  
カラウカ、斯ウ云フ  
コトヲ言ツテハ自分  
ガ職場ノ中デ利益  
ニナルノチヤナカラ  
ウカト云フコトノ不  
安ガ絶エズ頭ノ中  
ニ附キ纏ウテ居ル、  
デスカラ本當ニ労働  
者ニ言ヒタイコトヲ  
言ハシテ、サウシテ  
採ルベキハ採ル、其  
ノ良カラザル者ニ付  
テハ之ヲ善導スルト  
云フヤウニ事業主ガ  
積極的ナ態度ヲ執ラ  
ナケレバナラヌ、其  
ノコトノ爲ニハ労働  
者ニ先ヅ言ヒタイコ  
トヲ言ハセル、サウ  
シテ労働者ノ本當ノ  
心ヲ掴ムト云フムヤ  
ウニナラナケレバ  
ナラヌ、其ノ事ノ爲  
ニハ公選制ニシテ、  
而モ選バレタ委員  
ニ付テハ相當身分ノ  
保障ヲスルト云フコ  
トガ必要デア  
リナカラウカ、是ハ  
労働者側ノ委員ガ  
言ツテ居ルダケチヤ  
ナイ、事業主側ノ委  
員ノ申デモサウ云フ  
コトヲ言ツテ居ル、  
例ヘバ會社ノ勞務管  
理ノ立場ニ居ル人達  
、是ハ労働者ノ方カ  
ラ見



ワテ来ル、セメテ其ノ工場、其ノ事業場ダケニ於ケル勞務者側ノ委員ダケニモ絶エズ密ラシテ、多クノ勞働者ハ斯ウ云フ意見ヲ持ツテ居ルカドウデアラウカ、ア、云フ意見ヲ持ツテ居ルカドウデアラウカ、ソコハ委員ノ中カラ大局ヲ見テ、是正スベキハ是正シ、統制スベキハ統制シ、意見ノバラバラノモノヲ一ツニスベキモノハ一ツニシ、サウシテ集約セラレタ意見ヲ持ツテ行ツテ事業主ト懇談ヲ重ネテ行クト云フ形ヲ執ラナケレバナラヌニ拘ラズ、サウ云フ事ヲシヨウトシテモ、其ノ委員ノ集マリスラモ禁ジテ居ル産業報國會ガ多イ、斯ウ云フコトデ産業報國會ガ三百万ノ勞働者ヲ組織シタカラト云ツテ、ソレガ旨ク運用ガ出来マセウカ、出来ヤシナイ、少クトモ其ノ事業場、職場々々ニ於ケル委員ハ勞務者側ハ勞務者デ意見ヲ纏メル所ノ機關ヲ持タサナケレバナラヌ、更ニモウ一ツハ大キク申セバ地方的ニ、或ハ職業別ニ、或ハ産業別ニサウ云フ勞働者側ノ委員ノ會合ヲ認メテモ宜イノ

ナケレバナラヌ、則下日本ノ時局下ニ於テハ是非トモ之ヲ強力ニ推進メテ行カナケレバナラヌニ拘ラズ、是マデノヤウナリ来リヲ見テ居ルト、ドウモ此ノ成績ヲ十分ニ上ゲテ、其ノ眞價ヲ發揮スルト云フコトニハ不可能デアルト思フ、寧ロ此ノ儘デ行キマスナラバ産業報國會ト云フモノガ眠ツテシマハナケレバナラヌコトニナツテ参リマスガ、厚生省ニ於テハドウ云フヤウニ御考ニナツテ居リマスカ

○吉田國務大臣 産業報國會ノ實ヲ上ゲルト云フコトニ付キマシテハ、日本ノ戰時體制確立ノ上ニモ亦日本産業ノ恒久的ノ姿ノ上カラモ、洵ニ是非ヤラネバナラヌコトデアルト私共確信致シテ居ルデアリマス、私今マデ在野ノ間ニサウ云フ建前カラ若干ノ御手傳ヒヲ申上ゲテ今日ニ及ンデ居ル譯デアリマスガ、御承知ノ通り今日ハ半バ以上ノ府縣ニ産業報國會ノ府縣聯合會ト云フモノガ結成セラレ、數百万ノ會員ヲ擁シテ居ルヤウナ形ノ上ノ組織ト云フモノハ、大分

リマスガ、併シ此ノ問題ノ取扱ハ如何ニマシテハ、折角サウ云フモノガ出来テモ何ニモナラヌデヤナイカト云フコトニナツテハ洵ニ相済マナイト思ヒマシテ、産業報國會運動ノ組織、今後ノ運営ト云フコトヲ取扱フ上ニ於キマシテハ、私ハ重大ナ責任ヲ自ラ痛感シテ居ルデアリマス、目下其ノコトニ付キマシテ種々苦慮致シテ居ルヤウナ譯デアリマスノデ、斯ウ云フ風ニナルノダト云フコトヲ今日具體的ニハツキリ申上ゲラレマセヌガ、趣意ト致シマシテハ、日本ノ産業ト云フモノハ外國ノソレトハ違ツタ獨自ノ一ツ高イ立場ト云フモノヲ持ツテ居ラネバナラヌ筈デアアル、又サウ云フ風ニ立派ニヤツテ居ラレル工場モアレバ、産業報國會モアルト思ヒマスガ、丁度我國ノ國體其ノモノガ職場ニ具現セラレタト云フ譯デアレバナラナイト思フデアリマス、今マデ産業界ノ實情ハ一般的ニ考ヘマシテ必ズシモサウナツテ居ラナイモノガ非常ニ多イデアリマス、ソレガ今日ノ戰時體制

報國運動ガ立派ニナツテ我國ニ結成セラレ、サウシテ之ヲ通ジテ所謂戰時體制ト云フモノガ強化セラレルヤウニ善慮ヲ願ヒタイ、組織ノコトニ付テ尙ホ一ツ希望ヲ申上ゲテ置キマスガ、職場々々ニ於テハ是ハモウ已ムヲ得ズ事業主ガ委員ヲ指名シテ居ルノデスガ、ソレハイケナイ、兎ニ角委員ハ出来ルガ、府縣ノ聯合會ニ於テハ勞務者側ノ意見ヲ代表スベキ人ガ入ツテ居ラナイ、是モ一ツノ大キナ缺陷デアラウト思フ、是ハ他ニモアルノカモ知レマセヌケレドモ、私ノ知ツテ居ル所デハ福岡縣ニ伊藤卯四郎君ガ入ツテ居ル位ナモノデアアル、兵庫縣ニモ縣聯ガ出来タケレドモ、アソコニハ勞働者ノ立場ヲ代表スベキ適當ナ人ガアルナニモ拘ラズ、一人モ入レテ居ライ、其ノ他ニ於テモ一人モ入レテ居ライ、恐ラク私ノ知ツテ居ルノハ福岡縣一人、斯ウ云フコトデアラ、府縣聯ノ組織トシテハ甚ダ不十分デアアル、勞働者側ノ意見ガソコニ

反映スルヤウニ組織シテ行カナケレバナラヌ、中央ノ方ニモ出来ル限リ早イ時ニサウ云フ組織ヲ持タナケレバナラヌト云フコトヲ今御述ニナリマシタガ、之ニ付テモ同様ナコトガ言ヘルト思フ、ヤハリ勞働者側ノ意見ト云フモノガ、ソコニモ反映スルダケノ組織ヲ持ツテ来ナケレバイカスト思フデアリマス、是ハ府縣聯ノ組織ニ當リマシテモ、今後ノ中央ノ組織ニ當リマシテモ、十分ニ一ツ脚配慮方願ヒタイ、此ノ産業報國會ノ法制化ノ問題ニ付テハ、吉田厚生大臣ハ其ノ就任ノ當初ニ當リマシテ意見ヲ發表セラレテ居リマス、洵ニ私ハ同感ニ思フ、今日ノ儘ニ於テ之ヲ法制化シテ見タ所デ何ノ役ニモ立タナイ、モット之ヲ立派ナモノニシ、サウシテ一部ノ者ガ之ニ同意シナイ場合ニ於テ初メテ法制化シテ之ヲ強制スルト云フヤウニヤツテ行カウトセラレルコトハ洵ニ道行トシテハ結構デアリマスガ、併シ今カラ法制化ノ準備ガアツテ然ルベキダト思フ、先程申上ゲマシタ内容ノ改善ヲス

ル心配カラ致シマス存ジマス、公ノ選舉ヲ採ツテ各職場々々デ投票ト云フコトデモシテ、役員ガ出ルヤウナコトニナリマス、又其ノ方面ノ弊害ト云フコトモ憂慮セラレル事態ニナリハシナイカト思ヒマスガ、本當ニ勞資共々ニ國家産業ノ爲ニ御奉公スルノダト云フ心持ガ決ツテ居レバ、選舉ト云フコトハナク、何カ外ニスツキリシタ形デ立派ニ勞資協調ノ實ガ擧ゲラレルノデアリカト考ヘマス、ソレ等ノコトモ内容改善ノ點ニ於テ重大ナ問題ノ一ツデアルト思ツテ色々苦慮シテ居ルコトヲ申上ゲテ置キマス、大體法制化ト云フコトニ付キマシテハ、別ニ私發表シタ譯デアゴザイマセヌガ、法制化ニ依ツテ産業報國會ノコトヲ規定スレバ、ソレデモノガ出来上ルヤウニハ考ヘナイト云フ意味ニ於テ私話シタコトハゴザイマス、是ハ法律規則デ出来ルコトデハナイデアリマシテ、本當ノ國民ノ心持ガソコニ實際ニ現レ、行ハレテ行クト云フコトデナケレバ、法制ダケデアラウト云フヤウ

働者ニ人宜シキヲ得ナケレバナラヌ、人ト人トノ問題デアアル、私ハ其ノ點デモ勞働者ノ知識ヲ啓發シ之ヲ指導シテ行クト云フ責任ヲ痛感シテ居ルモノデアリマス、何ト言ツテモ法律ツクメデモノガ巧ク行カナイト云フコトハ十分ニ、諒承シテ居リマス、ソコデ勞働者側ニ於テモ、此ノ點ニ付テノ教育ヲ進メテ行カナケレバナラヌガ、事業主側ニ對シテモ産業報國會運動ヲ完全ナモノニシ、立派ナモノニ育テテ行ク爲ニ特ニ教育ヲシナケレバイカスト思フ、是マデノ事業主ノ物ノ考ヘ方觀方デハ、如何ニ立派ナコトヲ考ヘテ居ツテモ成功スベキモノデアリナイト思フ、私ハ此ノ點ニ付テ此ノ機會ヲ通ジテ事業主側ニ言ヒタイコト、又厚生省カラ努力シテ貰ヒタイコトハ、今日斯ウ云フ産業報國會ガ出来レバ、出来タ當初ニ於テハ、其ノ機關ヲ通ジテ色々ナ問題ガ錯雜シテ現レテ来ル傾向ヲ持ツト云フコトハ當然デアラウト思フガ、ソレニ事業主側ガヘコタレテハイケナイ、斯様ナモノヲ拵ヘテ色々問題ヲ勞働者側ガ

タ所へ、何カサウ云フ組織ガ出来マス、其ノ組織ヲ通ジテ自分ノ日頃持ツテ居ル氣持ヲ現ハシタイ、言ヒタイコトヲ言ヒタイト云フコトニナツテ来ルノハ當然デアアル、ソコデ是マデ鬱積シタ所ノ色々ノ問題ガ一時ニ持上ツテ来ル、ソレニ事業主ガ怯エルデアアル、ケレドモ是ハ決シテ怯エテ居テハナラヌト思フ、一應勞働者ニ言ヒタイコトヲ言ハセテ、ソノ中デ聽クベキモノハ聽イテヤルヤウニスレバ、ズツト落著イテ来ルノデアリマス、其ノ我慢ガ必要ダ、私ハ或所デ勞働組合ヲ組織シタ時、ソコノ事業主ガ巧ク行カト云フコトヲ言ハレタノデ、最初ハ巧クハ行カヌカモ知レマセヌ、ケレドモ長イ目ヲ以テ二年我慢シテ呉レ、サウスレバ勞資一體トナツテ巧ク行クヤウニシテ見セル、二年ノ間我慢シテ呉レト話シタコトガアルガ、ソレデス、産業報國會ハ必ズ色々ナ問題ガ起ツテ来ルノハ當然デアアル、是マデ言ヒタイコトヲ言ハズニ居ツタカラ、言ヒタイコトヲ一應言ハシテ、聽ケルモノハ聽ク、採ルベキモノハ採ル、無理ナモノ



ロサウ云フ團體ガアリマス所デハ、之ヲ産業  
報國會ニ正式ニ變ヘ、寧ロ産業報國會ヲ作  
ルニ勞働組合ノカト協力スルト云フ立  
場ヲ厚生省ガ執ヲナケレバナラヌ、所  
ガ是マデノ厚生省ノヤツテ來タ所ヲ見  
ルト、勞働組合ハ悉ク之ヲ解散セシメ  
テ、サウシテ産業報國會一本ニシヨウ、  
勿論私ガ斯ウ正面カラ申シマス、サウ云  
フ方針デハナカツタト答辯セラレルノデア  
ラウガ、實際ニ於テ厚生省ハヤラナイカ知  
ラヌガ、其ノ意圖ヲ受ケテ地方ニ於ケル警  
察官ガドウ云フ態度ヲ執ツテ居ルカ、近ク  
ハオ膝元ニ於ケル警視廳ガドウ云フ態度ヲ  
執ツタカ、東交組合ニ對シテ執ツテ態度ノ  
如キハ、厚生省ハ明ニ知ツテ居ラレル所デ  
アル、各地到ル處勞働組合ノアル所悉クト  
言ウテ差支ナイ程ニ、到ル處ノ警察官ハ勞  
働組合ノ幹部ヲ呼出シテ、サウシテ解散ヲ  
強要シテ居ル事例ハ非常ニ多イ、或ハ又勞  
働者ト事業主トノ間ニ麗シキ團體協約ト云

今日ノ勞働組合コソ本當ニ愛國ノ精神ニ燃  
エ、博愛ノ精神ニ燃エテ勞資協力シテ時局  
下産業報國會ニ邁進シヨウト云フ決意ニ燃エ  
テ、有ユル困苦缺乏ニ堪ヘ、有ユル非難ト  
中傷ノ間ニ立ツテ、尚且ツ敢然自己ノ所信  
ニ邁進シテ居ルノデアアル、一部ノ人ニハ隨  
分非難モアル、ケレドモ吾々ガヤツテ居ル  
コトガ是ガ本當ノ愛國運動デアルト云フ考  
ニ燃エテヤツテ居ルコトヲ厚生省ノ内部ノ  
多クノ人達ノ間ニハマダ誤解シ曲解サレテ居  
ル者ガ相當アリマセウ、吉田厚生大臣ハ御理  
解ヲ持ツテ居ラレル一人デハナイカト思ヒ  
マスガ、此ノ點ニ付テ一體厚生大臣ハドウ  
云フ風ニ御考ニナルカ、今日既存ノ勞働組  
合ハ殆ド潰レテシマツタ、殘ツテ居ル代表  
的ナモノヲ云ヘバ總同盟デアリマスガ、總  
同盟ガ此ノ事變前既ニ早クカラ産業協約ト  
云フ大旗ヲ掲ゲテ運動ヲ進メテ來タ、是ハ  
相當古イ歴史ヲ持ツテ居ル、事業主ト勞働  
者ハ對立スベキモノデハナイ、産業協力、

タレタ宣言デアアルカト言フカモ知レナイ、  
多クノ勞働者ハソレハ勞働組合ノ任務デハ  
ナイチヤナイカト言フカモ知レナイガ、此  
ノ時局柄勞働組合ガ争議ヲヤルコトハ儼ト  
シテ憤シマナケレバナラヌト言ウテ、争議  
絶滅ノ宣言ヲシテ居ル、大藏省ニ先シテ  
此ノ團體ハ所謂愛國貯金運動ト云フモノヲ  
起シタリ、銃後委員會ト云フモノヲ組織シ  
テ銃後ノ任務ニ邁進シヨウトシテ居ル、  
斯ウ云フ事變下三大運動ト云フモノヲ逸早  
ク始メテ、今日マデ續ケテ來テ居ル、又産  
業報國會ノ組織ニ付テモ、其ノ精神ニ贊意  
ヲ表シ、其ノ組織ノ達成ニ協力シテ居ルニ  
モ拘ラズ、依然トシテ厚生省ノ意思ニ反シ  
テ居ルカモ知レナイガ、兎ニ角各地ニ於テ  
警察ノ力ヲ通シテ勞働組合ニ對スル所ノ所  
謂解散ヲ強要シ、或ハ團體協約ヲ破棄ヲ  
強要シテ居ル、是ハ實ニ憤シマナケレバナ  
ラヌコトデアルト思フ、而シテ今後ニ於テ  
厚生省ハ此ノ問題ニ付テドウ云フ風ニヤツ

赤子デアリマス、立派ナ日本國民デアリ、  
産業ノ戰士デアリマス、今日ニ於テハ恐ラ  
クドノ勞働組合ニ於テモ其ノ組合員タル者  
ハ階級闘争ノ立場ニ立脚シテ勞務者ノ爲ノ  
利益ヲ圖ヒ護ラウト云フ考、而シテサウ云  
フ指導精神ヲ持ツテ居ラウトハ思ヒマセ  
ヌ、又宣言綱領等ヲ見マシテモ、前トハ非  
常ニ異ツテ來テ居ルノデアリマスガ、隨テ  
勞働組合タルモノガ惡イト云フコトハソ  
レハ言ヒ過ギデアラウト思フノデアリマス  
ケレドモ、ヤハリ從前ノ組織沿革、或ハ其  
ノ組合ノ構成員ト云フヤウナ者ノ中ニハ、  
十分ニ産業報國會精神ニ徹底シテ居ルカドウ  
カ、疑ナキヲ得ナイヤウナ分子ノアルコト  
モ、是ハ忘レテハナラヌト私ハ思フノデア  
リマス、詰リ其ノ人ノ本心ニ於キマシテハ  
忠良ナ日本國民ナノデアリマスケレドモ、  
今マデノ仕來リヲマダ清算シ切レテ居ラヌ  
ト云フ點ガ大分殘ツテ居ルト云フコトモ、  
是ハ強イテ眼ヲ蔽ウテハナラナイコトダト

私ハ考ヘルノデアリマス、隨テ産業報國會ノ  
達成ノ爲ニ、一ツノ勞働組合ト云フモノヲ  
活用スルニ限ル、ソコマデハ私ハ申シ切レ  
マセヌガ、サレバト云ツテ勞働組合ハ絕對  
ニ之ヲ排撃スル、彈壓スルコトモ、ソレモ  
間違ヒダト思フノデアリマス、要スルニ實  
際ノ働キガ良イカ惡イカト云フコトニアル  
ト私ハ考ヘルノデアリマス、實際ノ働キガ  
立派ニ行ツテ居ルカ、行ツテ居ラヌカト云  
フ問題ヲ考ヘマスルト、ソレハ今マデ言ハ  
レテ居ツタヤウナ勞働組合ト云フヤウナ仕  
組、今マデノヤウナ働キ宜シイノカドウ  
カト云フ問題モ、同時ニヤハリ取扱ハネバ  
ナラナイ段階ニ、必ズ將來ハ進ンデ來ル  
ト思ヒマス、將來デハナシニ、現ニ其ノ問  
題ヲ考ヘナケレバナラナイ、隨テ例ヘバ只  
今例ニ學ガマシタヤウニ、總同盟ナラ總同  
盟ノ中ニ於テ、サウ云フ點ニ付テ意見ヲ異  
ニスル人々ガ自然ニ出テ來ルノデアリマ  
ス、是ハ此ノ時代ニ於テ日本ニ與ヘラレタ  
ル大キナ問題ヲ解決スル爲ニ甲ノ考ヘ方、

言ヒ得ナイト思フノデアリマス、左様ナ心  
持テ私ハ産業報國會運動ト、勞働組合トノ關  
係ヲ、其ノ一部分トシテ考ヘタイト思ツテ  
居ルノデアリマス、私ノ考ニ對シテ或ハ御  
満足デナイカトモ考ヘマスガ、左様ニ考ヘ  
テ居リマス、デアリマスカラ、勞働組合ダ  
カラト云フテ遠慮スルト云フコトハ、致シ  
テナラナイト思フノデアリマス、ト同時ニ  
勞働組合ダカラ何デモ彼デモ排撃スルコト  
モ私等ハ大キナ間違ダト思フノデアリマス、  
要スルニ産業報國會精神ニ邁進シテ立派ニ働キ  
ガ出來ルト云フコトガ大切ダト思ヒマス、  
現ニ私ノ承知シテ居ル實例デハ、工場ニ於  
ケル團體ニモ産業報國會運動トビツタリ合ツ  
テ、見事ナ成果ヲ收メテ居ル所モアルノデ  
デアリマス、團體協約ガカラ宜イト云フ意味  
デナイ、其ノ團體協約ノ效果ガ良イカラサ  
ウ云フコトモ出來ルノデアリマス、一律ニ  
體ニ考ヘズニ、本質ヲ見テ向フベキ所ニ進  
メテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居ル譯デア  
リマス

シテ居ルノデアリマス、併シナガラ此ノ産  
業報國會運動ト云フモノト、勞働組合ト云フ  
モノノ二ツノ關係ニ付テ考ヘマスル時ニ  
ハ、是ハ能ク靜ニ其ノ觀念及ビ組織ト云フ  
ヤウナ點ニ付テ考慮ヲシナケレバナラヌト  
思フノデアリマス、産業報國會運動ナルモノ  
ハ、先到來御話ノアリマシタ通り、塚本サシ  
ハ此ノ趣旨ヲ非常ニ能ク御了解サツテ御  
盡力ヲ戴イテ居ルコトヲ私ハ承知致シテ居  
ルノデアリマス、即チ事業場、工場ニ於テ  
資本家ト云ハズ、勞働者ト云ハズ、所謂勞  
資一體ト云フコトニナツテ、事業ヲ一家ト  
シテ、ソレヲ通ジテ國家ニ御奉公ヲスル、  
斯ウ云フ建前ノモノデアリマスガ、之ニ反  
シマシテ、勞働組合ト云フモノハ、是ハ生  
立チノ趣旨カラ致シマシテ、組合ノ成立ノ  
趣旨ハ何ト云ツテモ勞働者相互ガ橫斷ノ組  
織ヲ以テ、サウシテ自主的ニ資本家ニ對立  
シテ、勞働者相互ノ生活ノ維持向上ヲ圖ル  
爲ノ活動ヲスル爲ニ、生レテ參ツテ來テ居  
ルノデアリマシテ、隨ヒマシテ其ノ組織モ

ハ、徒ニ摩擦ヲ多クシテ、サウシテ國內ノ  
戰時體制ニ緩ミヲ生ズルガ如キコトガアツ  
テハナラヌト云フコトヲ痛感スルノデアリ  
マス、隨ヒマシテ其ノ方法ト致シマシテハ、  
今後ニ處スル途ト致シマシテ、サウシテ  
動ヲ如實ニ普及徹底致シマシテ、サウシテ  
此ノ精神ノ徹底ヲスルコトニ依ツテ、自然  
ニ勞働組合ト云フヤウナ運動ガ、即チ自主  
的ニ勞働者諸君ガ資本家ニ對立シテ、其ノ  
生活ノ維持向上ヲ圖ラナケレバナラヌト云  
フヤウナ必要性ガ自然ニ解消シテ行クヤウ  
ニ、指導シテ行キタイト考ヘテ居ルノデア  
リマス

○平川主査 塚本君十二時半ダカラ午後ニ  
ヤリマセウカ

○塚本委員 宜シウゴザイマス

○平川主査 ソレデハ午後一時半マデ休憩  
致シマス

午後零時三十分休憩

午後一時三十分開議

○平川主査 午前ニ引續キ會議ヲ開キマス



今日ノ争議ニハ、ソレコソ本當ニ已ムニ已マレナイ所ノ争議ナル、事變前ノヤウニ何デモ彼デモ自分ノ要求ヲ貫カウト云フヤウナ、サウ云フ輕薄ナ考カラ起ツテ居ルノデハナイト云フコトハ、十分ニ御洞察給ハツテ居ルト思フノデアリマスガ、此ノ時局ヲ認識シ、サウシテ時局ニ協力シテ行カウトシテ居リナガラモ、尙且ツ已ムニ止マレズシテ起シマスル争議ノ數ガ殖エテ行クト云フコト、茲ニ深ク私共ハ思ヒヲ致サナケレバナラス、殊ニ政府ト致シマシテモ、深甚ノ注意ヲ拂ツテ、此ノ争議ノ殖エテ來タル原因ガ那邊ニアルカ、又争議ノ最少化ヲ圖ル爲ニハドウ云フ政策ヲ執ラナケレバナラスカト云フコトヲ深ク御考ニナラナケレバナラヌト思フ、又考ヘテ居ラレルトコトト思フノデアリマス、今日此ノ争議ノ件數ノ増加シツツアル傾向ヲ如何ニ御覽ニナツテ居ラレマスカ、サウシテ之ニ對スル所ノ對策トシテ何ヲ御考ニナツテ居ラレマセウカ、御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

テ此ノ頃ノ争議發生原因ヲ見テ居リマス、争議目標ト申シマスカ、サウ云フモノヲ私ハ極ク概觀シテ居ルノデアリマスガ、尙ホ實際的ニ深ク場下ヲ研究シテ見タイト思ツテ居リマス、今マデ感シテ居リマス所デハ、ヤハリ生活ガ苦シクナツタ、ソレヲ何トカシテ貰ヒタイ、ソレガ賃金ノ要求ニ現ハレ、外ノ労働條件ニ現ハレ、或ハ解雇ノ手當ト云フヤウナコトニモ現ハレル、結局食ベニクイト云フコトノ爲ニ起ルモノガ先ヅ一番多イノチヤナイカ、其ノ外ノ原因ノモノモ段々アルヤウデアリマスガ、ソレハ是ハ原因療法ニ依リマシテ争議ノ根絶ヲ圖ルト云フコトニ向ツテ進ンデ行キタイト思フノデアリマス、丁度御話ノアリマシクヤウニ今日ノ時局ノ上デ産業人ノ心得ベキコトト云フヤウナコトニ付テハ誰モソレヲ知ラナイト云フ人ハ殆ドナイト思フノデアリマス、知ツテ尙且ツサウ云フコトニナルト云フコトニ付キマシテハ、一ツハ環境ガ争議ヲ孕ムヤウナ環境ニナツテ居ルト云フコト

労働條件ノ問題ナリ、サウ云フモノガヤハリ戦時ニ相應シイヤウニ安定確立セラレルコトガ肝腎ダラウト思フノデアリマス、併シ實際ニ其ノコトヲ實現致シマスルコトハ、口デ申上ゲル程容易デナイノデアリマス、非常ナ困難ヲ伴フコトニハ違ヒナイノデアリマスケレドモ、銘々萬全ヲ望ンデ、相手方ノスルコトニ不平ヲ持ツヤウナコトデハ何時マデ經ツテモ満足ナル境地ニ達シ得ナイノデアリマスカラ、不満足ナガラサウ云フ方面ニ向ツテ出來ル限リ努力スル、厚生省トシテハ自分ノ所ノ所管ノ範圍ダケデナシニ、サウ云フ觀點カラ餘所ノ役所ノ範圍マデモ自分ノ所ノ立場カラ見テモ改善施設ヲ望マナケレバナラスコトハ遠慮ナシニ望ンデ行カウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○塚本委員 大體争議ノ發生スル原因ニ付テノ御想像ハソレ結構ダト思ヒマス、非常ニ大事ナ所ニ既ニ御氣付ニナツテ居ラレルヤウデアリマスカラ、是方對策ニ付テ一ツ非常立ツテ居リマスルモノガ自主的ノモノデア

展的ナル自然解消デアリマスナラバ、私共モ勿論異議ノナイ所デアツテ、大イニ賛同シ之ニ共鳴スル所以デアリマス、併シ労働組合ノ發展のナル自然の解消ニアラズシテ、産業報國會ヲ組織スルガ爲ニ未ダ海ノモノトモ山ノモノトモ分ラナイ、而モ今日マデノ經驗ヲ以テスレバ、甚ダ芳シカラザル狀況ニアル時ニ於テ、其ノ産業報國會ヲ作ルガ爲ニ此ノ労働組合ニ對シテ解雇ヲ強要スル、或ハ團體協約權ノ破棄ヲ強要スルガ如キ行爲ハ、斷ジテ慎シマナケレバナラス、御言葉ニアリマシクヤウニ、労働組合ガ自

然的ニ發展シ解消スルガ爲ニハ、今日ノ産業報國會ト云フモノガ、労働組合ガナクテモ宜イ事態ニマデ是ガ發展シテ來ナケレバナラス、サウスルト自然ニ茲ニ労働組合ハ解消スルノデアアル、私ハ又其ノ機ノ早カラシコトヲ望ンデ居ルノデアリマス、吾々ハ決シテサウ云フ自然の發展解消ヲ飽マデモ抗争シテ居ルノデアアリマセ、其ノコ

ス、尙ホ牢固トシテサウ云フ意見ヲ持ツテ居ル方ガ厚生省ノ一部ニアルダラウト思フ、或ハ其ノ點ニ付テ是デハイカスト云フコトヲ私カニ認識シ始メタ者モアルデアラウ、併シナガラサウダト言ツテマダ斷言シ切レナイ所ノ人達モアルデアラウケレドモ、是ハ過去ニ於ケル經過ニ鑑ミテ大イニ反省セラ

ルベキデハナカラウカ、サウシテ共ニ俱ニ相携ヘテ、即チ皇國ノ精神ニ基クテ所ノ産業報國會運動ニ邁進シテ行キタイト考ヘマス、重ネテ吾々ト意見ノ一致スル答辯ヲ承ルコトガ出來ルナラバ、非常ニ仕合せトスル者デアリマス

○藤原政府委員 労働組合ニ對シマス關係ノコトニ付キマシテ先刻私ヨリ大臣ノ御答ニ附加ヘテ申上ゲタノデアリマシテ、組合ニ對スル考ヘ方ト致シマシテハ、吾々ハ先刻御答シマシタト同ジ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、唯併シナガラ塚本サシノ言ハレマスヤウニ、此ノ組合ノ今日アリマスル事實ト



○塚本委員 遺憾ナガラ私ハ當局ガサウ云フ考ヲ持ツテ致シマシテハ、此ノ立派ナル産業報國會ニ早イ期間ニ於テ、出來ルダケ良キ成果ヲ擧ゲサセルト云フコトガ非常ニ困難デアラウト云フ一言ヲ申上ゲテ、此ノ質問ヲ打切りマス、次ニ保險ノ問題デアリマスガ、労働者ノ健康保險ノ問題ニ付キマシテハ是ハ屢、申上ゲテ居ルコトデアリマスカラ、此ノ機會ニ於テハ省略シマセウ、又建議案ヲ出シテ居リマスカラ、ソコデ説明申上ゲルコトニシマシテ、茲デハ簡易保險ニ付テ御伺ヒシマス、此ノ簡易保險ノ最高限度ハ今日七百圓ニナツテ居ルデアリマスガ、凡ソ一年間ノ簡易保險ノ積立金ハ二億圓程度ニ達シテ居ルと思フ、之ヲ一ツ最高限度ヲ千五百圓位マデ引上ゲラレハ御意思ハナイカ、サウシマスルコトニ依ツテ國家ニソレ等ノ必要ナル資金ヲ吸收シ、インフレヲ防止シ、事變下必要ナル所ノ色々ナ政策ヲ遂行シテ行ク所ノ資金ヲコ、ニ得ルコトガ出來ル、一舉兩得ト云フ言葉ガアルガ、一舉兩

物ヲ考ヘルコトハ國家ノ大局ニ付テ今日ハ必要ダラウト私ハ思ヒマス、ソレヲドウシタラ宜イト云フ結論ハ輕々ニハ決メラレナイと思ヒマス、ソレ等ノ問題ト限ミ合セテ考ヘマシテ、簡易保險ノ職分ト云フモノカラモウ少シ限度ヲ高クスルガ宜イト云フ結論ヲ得マスレバ其ノ事ニ努メテ見タイと思ヒマスガ、今日ノ所之ヲ是非至急ニ引上ゲタイト云フ所マデハ自分ハマダ結論ヲ持ツテ來テ居リマセヌノデアリマスガ、尙ホ政府委員カラ何カ御話ヲ申上ゲテ御参考ニナルコトガアレバ政府委員ニ申サセマス、自分ノ心持ダケ申上ゲテ置キマス

○藤川政府委員 簡易保險ノ最高制限額ヲ千五百圓程度マデ引上ゲタラドウカト云フ只今ノ御質問ニ對シマシテ大臣カラ御答辯ガアリマシタガ、私カラモ申シ加ヘサセテ戴キタイと思ヒマス、昨年ノ議會ニ最高制限額ヲ七百圓ニ引上ゲマス爲、法律改正案ヲ提出致シマシタ際ニ、更ニ相當額マデ引上ゲルヤウニト云フ御希望モアツタノデアリ

云フコトダケニナツテ居ルデアリマスガ、折角サウ云フ健康相談所ガアルノデアリマスカラ、此處デモ一ツ輕費診療ヲヤル、即チ極ク手輕イ所ノ治療ヲ其處デモ受ケラレルト云フ風ニ、健康相談所ト云フモノヲモウ一段ト進シテ仕事ヲサセラレテハドウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ是ハ都會デハ大體醫療機關ガ普及致シテ居リマスルガ、農村方面ニハ例ノ千何百町村ノ無醫村ガアルト云フヤウナ状態デアアルノデアリマスルガ、此ノ全國無醫農村地方ヲ主ト致シマシテ巡回診療班ト云フヤウナモノヲ——是ハ府縣デヤツテ居ル所モアリマスガ、厚生省ノ仕事トシテマダ手ノ届カナイ方面ニサウ云フ巡回診療機關ヲ設ケタラドウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、御所見ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○藤川政府委員 簡易保險ノ健康相談所デ輕費診療ヲ開始シタラドウカト云フ御話デゴザイマスルガ、從來ハ健康相談ト云フ事ヲ建前ト致シテ居リマシテ、患者ヲ診テ特テ、全國各地、殊ニ農山村ニ均霑サセルヤウニ計畫致シテ居ルノデアリマスガ、今後ハ無醫村等ニ付キマシテハ巡回ノ度數ヲ殖ヤスコト等ニ依リマシテ一層效果ヲ擧ゲタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○塚本委員 既ニ當局ニ於テモ御氣付キデアリマシテ、ソレノ適切ナル施設ノ行ハレツツアルコトヲ拜承致シマシタ、一ツ一段ノ御努力ヲ御願シテ已ミマセヌ

次ニ厚生省ヲ是非一ツ激動シテ置カナケレバナラヌコトガアリマス、言フマデモナク戰時下ノ住宅問題ハ是非非常ナ重大ナ問題デアリマス、隨ヒマシテ厚生省ニ於キマシテモ、第一期計畫ヲ既ニ立テラレテ、案ヲ以テ其ノ實現ニ努力セラレテ居ルコトハ承知致シテ居リマス、世帯向三万戸ト共同宿舍二百箇所ト云フヤウナ計畫ヲ立テテ居リマスケレドモ、是ダケノ住宅計畫デハ物動計畫ニ基ク所ノ勞務動員計畫ト限ミ合セテ見テ、此ノ住宅計畫ハ極メテ不徹底デアルト思ヒマス、殊ニ都市ニ於キマス所ノ今

日ノ住宅拂底ニハ殆ド皆困惑致シテ居ルノデアリマス、農村カラ労働者ガ澤山來マスケレドモ、住ムニ家無キ現状デアル、是ハ何トカモウ少シ大規模ニ早急ニ計畫ヲ立直シテヤラレマセスト、住宅ノ需給調節ヲ圖ルコトハ至難ナ問題ニナツテ來ルト思フ、都會ノ工場地帯ニ労働者ヲ吸收シナケレバナラヌガ、吸收シテモ居ル所ガナイト云フヤウナコトデハ、是ハドウニモナラヌノチヤナイカト思ヒマス、歐洲戰爭當時ニ於キマス所ノ各國ノ住宅問題等ヲ研究シテ見マシテモ、各國共ニ此ノ問題ニハ悩ムンデ居ルヤウデアリマス、戰時並ニ戰後ヲ通シテ住宅ノ拂底ニ困ツテ居ルヤウデアリマス、今ノ厚生省ガ計畫シテ居ラレマスコトニ依ツテハ甚ダ不十分デアルト思フノデアリマシテ、其ノ十分ノ一ノ希望ヲモ滿シ得ナイコトニナル、都會地ニ於ケル住宅問題ハ非常ニ大キナ問題ニナツテ來ルト思フノデアリマス、一ツ計畫ヲヤリ直シテ貰ヒタイト

ニハ、例ヘバ朝鮮ナラ朝鮮カラ何人來テ貰フト云フコトヲ決メテ居リマシテモ、事實ソレダケヲ入レルコトガ出來ナイ、サウ云フ困難ノ狀況ニ當面シテ居リマスノデ、出來ル限リ其ノ點ニ付テモウチト力ヲ注イデ、骨ヲ折ツテ見タイと思ツテ居リマスガ、是デ宜イト云フ萬全ノ計畫ヲ此ノ非常ノ際ニ一週ニヤリ遂ゲルコトハ非常ニ困難デアルト云フコトモ、豫メ覺悟シテ居ラナケレバナラヌト思ヒマス、尙ホ詳細ノ事ハ政府委員カラ實情ニ付テ申上ゲマス

○新居政府委員 住宅ノ問題ニ付キマシテ大體只今大臣カラ御答致シマシタ通りデゴザイマス、先程計畫ガ小サ過ギルト云フ御話デアリマシタガ、勿論第一期計畫ト致シマシテハ御述べニナリマシタヤウニ、世帯向住宅三万戸、共同宿舍二百箇所、一箇所二百人ト豫定シテ居リマスカラ、四万人程ノモノヲ只今實行中デゴザイマス、併シ全體ノ計畫ト致シマシテハ、勿論勞務動員計畫ニ即

著々進ンデ居リマス、併セテ又申上ゲマスガ、勿論是ハ工場労働者ノ極メテ過密状態ニアリマス所ダケニ目掛ケテ居リマスケレドモ、第二段ト致シマシテハ勿論鑛山ノ方面、又一般ノ其ノ他ノ小サイ住宅ト云フコトニ付テモドン／＼實行シテ行キタイと思ツテ居リマス

○塚本委員 此ノ第一期計畫ハ十四年、十五年、十六年ト三箇年計畫ニナツテ居リマス、此ノ三箇年ヲ通ジテノ物動計畫ト云フモノト限ミ合セテ見マス、是ハ極メテ言フニ足ラザル計畫ト云ハナケレバナラヌノデゴザイマス、是ハ物動計畫ニ對スル住宅計畫トシテハナツテ居ラナイノデアリマス、此ノ事情ハ多ク申上ゲスデモ十分御諒解ニナツテ居ララウガ、唯資材配給ノ關係デ斯ウ云フコトニ落著イテ居ルノダト思ヒマスケレドモ、是ハ何トカシテ今ノ内ニ大規模ニヤラレルヤウニシナケレバ、都市ニ於ケル住宅拂底カラ來ル所ノ健康ノ阻害

ガ、特ニ國民ノ健康問題ヲ取扱ツテ居ラレル厚生省トシテモ、十分ニ發言シテ貰ハナケレバナラヌト思ヒマスガ、都會ニ參リマシテモ商業地帯ニ於テハ空地ヲ設ケル割合ガ非常ニ多イ、所ガ工場地帯ニ建テル住宅ハ空地ハ少クテモ宜シイト云フヤウナ規定ヲシテ居ル、實ニ是ハ怪シカラヌコトデアツテ、寧ろ空氣ノ悪い工場地帯ニ於テコソ、其ノ住宅ノ空地ヲ多ク持タセルコトガ必要デアルニモ拘ラズ、是ハマルデ逆ニナツテ居ル、斯ウ云フコトモ厚生省カラヤカマシク言ツテ、改メサセナケレバナラヌ、ソレカラモウ一ツ厚生省ノ方デ、工場ヲ建設スル時ニ、併セテヤハリ一定數ノ寄宿舎ヲ建テルコトヲ條件ニスルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ所謂強制セラレレル寄宿舎等ノ寄宿舎ノ問題ニ付テモ、唯工場ノ一隅ニオ座ナリニ、申譯的ニ寄宿舎ヲ建テルト云フヤウナコトハ、儼ニ之ヲ避ケシメナケレバナラヌト思フ、出來得ルナラバ工場地帯カラ離レタ一定ノ住宅地帯ニ労働者住宅



居ル、併シソレハ結局ニ於テハ工場ノ作業能率ハ擧ラヌト思フノデアリマスケレドモ、足ノ踏入レ所モ無イヤウナ粗雑ナコトヲヤツテ居ル、工場ノ建築ニ付テモ大イニ改善スベキモノガアルト思フ、國民ノ體位向上、生産力増充、能率向上ノ上カラ言フテ、大イニ是ハ改善スベキ餘地ガアルト思フ、具體的ニドウ斯ウト云フコトハ言ヒマセスケレドモ、通風採光ノ問題ニ付テ考慮シ、或ハ工場ノ周圍ニ綠地帯ヲ設ケサセルコト、或ハ小サナ流レ川ヲ設ケサセルコト等々ニ依ツテ、工場ニ於ケル結構ヲ豫防スルト云フヤウナ方面ニ深イ注意ヲ拂ツテ貰ハナケレバナラス

商工省關係ノ分科會カラ早く來イト云フコトデアリマスカラ急ギマスガ、モウ一ツ厚生省デ考ヘテ貰ヒタイコトハ、戦時下デアリマスカラ斯ウ云フコトヲ言ツテモ始マラス話カモ知レマセヌケレドモ、農村カラ非常ニ澤山ナ青年工ガ都會ニヤツテ來ル、所ガ私共見テ居リマス、工場ニ入ツテカ

ト私ハ痛感シテ居ル一人デアリマス、今度厚生省ハ體力管理法案ヲ出サレレ、非常ニ結構デアリマスガ、十七、十八、十九ノ年ニ該當シテ居ル者ダケノ體力ヲ検査スルト云フコトデアル、是ハ私ハ小學校ニ入ルト同時ニアノ施設ヲヤツテ貰ヒタイト思フ、其ノ人ニ對スル健康診断、體格検査並ニ性能検査、或ハ嗜好ニ至ルマデ小學校ノ間カラ十分注意シテ、學校醫ニ命ジテ、學校ノ教師ト協力シテ、之ヲ一定ノ「カード」ニ記入セシメル、ソレハ一年々二年デナク、小學校全體ヲ通ジテ明ニナルヤウナ「カード」ヲ作ラセル、或ハ健康ニ應ジ、性能ニ應ジテ、保護者ト先生トノ間ニ十分協力シテ、此ノ子供ハ農村ニ置イテオカケレバナラス、此ノ子供ハ工場ニ出シテモ宜イ、此ノ子供ニハドウ云フ職業ヲ選ンデヤリナサイト云フコトヲ保護者ト十分相談シテ、サウシテ其ノ人生ニ誤ナキヨウニ、人物經濟ノ上カラ言ツテ適業ヲ與ヘテヤル、是ハ子供ニハ分ラヌコトデアリマスカラ、保護者並ニ教

リマス、一括シテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス  
○吉田國務大臣 今ノ最後ノ御話ノ體力管理ノ問題ハ、丁度御希望ニナリマシタヤウナ趣意ノ體力管理法案ガ出來テ居リマシテ、近ク御審議ヲ願フコトニナツテ居ルノデアリマス、差當リ左様ナ全體ノ青少年、幼年者ノ體力ヲ一時ニ管理スルト云フコトハ、經費ノ點、要員、總テ初メテヤルコトデアリマスカラ、御希望ニ副フヤウニ初メカラ乘出スコトガ出來マセヌ爲ニ、一番急グ部分ヲ豫算ニ盛ツテアルノデアリマス、趣意ハ丁度御話ニアリマスルヤウニ出來テ居ルノデアリマス、一番急グ方カラ著手シテヤルト云フ意味ヲ豫算ノ方ハ仰シヤルヤウナコトニナツテ居ルノニ過ギナイノデアリマスガ、是ハ御諒承願ヒタイト思ヒマス、其ノ他住宅問題、工場建築、色々御意見ヲ拜承シマシタ、何レモ實際ノ御體験ニ基イテノ御話デ、大體洵ニ有益ニ伺ヒマシタ、出來マス限り私共モ左様ナ方面ニ向ツテ進ミタイト思ヒマス、

タ三箇年ニ互ル計畫ヲ立テタノデアリマスガ、ソレヲ全部一概ニ實行ニ移ス譯ニ行キマセヌカラ、實行ニ移ス便宜上、第一期計畫ト致シマシテ、資材ノ點ニ於テモ、資金ノ點ニ於テモ、有ユル觀點カラ直チニ實行ノ出來得ルモノヲ實行計畫ノ一部トシテ先ツ著手シタト云フ點ヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス、又數バカリデナク、質ニ於キマシテモ、十分健康其ノ他ノ點モ考ヘ、又成ベク住宅ヲ貸スノデハナク、分譲致シマシテ、折角賃金ヲ得テ居ル方々ガ將來土地ノ所有者ニモナリ、又家屋ノ所有者ニモナツテ、本當ニ健康ニモ宜シ、精神的ニモ安住ノ所ヲ得ルト云フコトモ織込ミマシテ各方面カラ研究致シ計畫致シマシテ、唯其ノ實行上ニ於キマシテハ一部々々漸次實行ニ移サナケレバナラス實情デゴザイマス、是ハ御話ノヤウニ遺憾ナ點ガアリマスガ、成ベク此ノ計畫ヲ速ニ全部實行スルヤウニ努メタイト思ツテ居リマス、又住宅法規ノ點ニ付キマシテモ、御話ノヤウニ市街地建築

物法及ビ都市計畫法ニ於キマシテ、空地及ビ其ノ他ノ規定ガアリマスガ、併シ土地ノ構成上カラ見マシテ、住宅ノ觀點カラ、或ハ工場立地ノ問題、其ノ他都市計畫ノ實際ノ計畫及ビ地域其ノ他ノ割リ方、大キク言ヘバ國土計畫ト云フヤウナコトモ關聯致シマスカラ、サウ云フ方面トモ只今連絡ヲ執ツテ研究中デゴザイマス

○塚本委員 最後ニモウ一點ダケ御伺シ、サウシテ厚生大臣ノ一ツ御奮闘ヲ願ヒタイノデアリマスガ、問題ハ鑛山労働者ノ問題デアリマス、是ハ時間ガアリマセヌカラ詳細シクハ申上ゲマセヌ、唯今後政府ノ方デ石炭ノ増産計畫ト致シマシテ、一億一千万圓ノ獎勵金、補助金ヲ出サウト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、此ノ點ハ私ハ商工ノ分科會デ詳シク御尋シヨウト思ツテ居ルノデスガ、唯厚生大臣ニ御願シタイコトハ、一體商工省ガ考ヘテ居ルヤウナ、サウ云フ獎勵金、補助金ノ使ヒ方デ石炭ノ増産ガ豫定通り圖ラレルカドウカト云フコトニ

レルカモ知レナイ、是ハ極端ダト言ハレルカモ知レヌガ、ドウモサウ云フヤウニ吾々ニハ感ゼラレマス、徒ニ此ノ戦時下必要ナル一億一千万圓ト云フ大ナル金ヲ使ヒナガラ、ソレデ石炭増産ヲ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フコトデアレバ非常ニ警戒スベキデアリマス、私ハ此ノ獎勵金ガ是マデ一日ニ一應出スモノナラ其ノ上ニ一應幾ラ出シタナラ、其ノ増産ニ對シテ是レノノ獎勵金ヲヤルト云フヤウニシテ労働者ニ與ヘラレル獎勵金ナラ、石炭ノ増産ハ出來ルデセウガ、労働者ノ賃金ヲ「ストップ」シテ其ノ「ストップ」シタ上ニ於テ一應當リ五圓出スト云フヤウナ商工省ノ案デハ、斷ジテ石炭ノ増産ハ圖レナイ、是ハ私ハ確言スルコトガ出來ルト思フ、サウ云フ點ニ付テ、商工大臣ガ關係ノ一人トシテ、此ノ實ニ夥シイ所ノ巨額ノ金ヲ使ツテモ將來ノ見透シハ私共ノ觀點ニ立ツテ見マスルナラバ甚ダ悲觀スベキ事ニナルト思フノデアリマス、若シ厚生大臣ニ於テ其ノ點幾

勵金ヲ出セバ、結局ニ於テ專業主ノ懐ロヲ肥ヤスダケデハナイカ、サウ云フコトデ石炭ヤ「マッチ」ノ増産ガ出來ルカ、ソコニ政府ノ考ニハ大キナ距離ガアル、斯ウ云フ點ニ付テ厚生大臣ガソレデハ増産ガ出來ナイゾト云フコトヲ主張シナケレバ外ニ主張スル大臣ガナイト思フ、是ハ戦時下ノ日本ヲ背負ツテ立ツテ居ル所ノ關係ノ一人トシテ厚生大臣ノ責任ハ重大デアルト思フ、唯商工大臣ト選信大臣ヤ其ノ他ノ人ガ言フガ儘ニ所管違ヒデアルカラト云ツテ之ヲ漫然ト同意ヲ與ヘラレテハナラヌト思フ、アナタハ飽クマデモ増産計畫ノ上ニハ労働者ノ上ニ思ヒテ致サレテ、本當ニ其ノ金ガ無駄ニナラナイデ有效ニ増産ノ目的ガ達セラレルヤウニ其ノ金ヲ使フヤウナ方法デ行ハレナケレバナラス、勿論石炭ノ問題デモ私ハ唯労働者ダケノ問題デハナイト思フ、鑛山用ニ於ケル資材ノ配給ガ足りナイ、十四年度ノ實績カラ見テモ殆ド計畫ノ半バモ支給サレテ居ラナイ、サウ云フ所カラ來ル所ノ原

云フモノガ十分ニ出來テ居ナイカラデアル、誰ダツテ命ハ惜シイ、好ンデ危險地帯ニ入ル者ハナイ、坑内ノ設備ト云フモノガ段々不完全ニナツテ來テ、ソコニ危險ト云フモノガ増シテ來ル、デスカラ労働者ハ勢ヒ知ラズ識ラズノ間ニ入坑率ガ下ツテ來ルノデアリマス、殊ニ地下足袋ノ配給ガ足りナイ、其ノ他ノ労働用資材ガ足りナイ、ソレガ入坑率ヲ下ゲテ居ルノデアツテ、決シテ労働賃金ガ上ツタカラ、所得ガ多クナツタカラ遊情ニ流レテ入坑シナクナツタト云フノデハナイ、私ハ成田山ニ詣ル途中デアリマシタガ、或ル坑夫ニ其ノ話ヲシタ、今日專業主側ニ於テモ、政府ノ方ニ於テモサウ云フコトヲ言フ人々ガアルガ、君達ハドウカト云ツテ問ウタ所ガ、其ノ坑夫曰ク、トンデモナイコトデス、誰ダツテ働キタイ、働キタイケレドモ働クヤウナ設備ガ出來テ居ナイ、誰ガ好ンデアノ危險ナ所ニ入りマセウカ、結局其ノ日ノ食フ爲ニ入ルダケデアツテ、好ンデ入レルヤウナ設備ニナツテ居ラナイ、

云フモノガ十分ニ出來テ居ナイカラデアル、誰ダツテ命ハ惜シイ、好ンデ危險地帯ニ入ル者ハナイ、坑内ノ設備ト云フモノガ段々不完全ニナツテ來テ、ソコニ危險ト云フモノガ増シテ來ル、デスカラ労働者ハ勢ヒ知ラズ識ラズノ間ニ入坑率ガ下ツテ來ルノデアリマス、殊ニ地下足袋ノ配給ガ足りナイ、其ノ他ノ労働用資材ガ足りナイ、ソレガ入坑率ヲ下ゲテ居ルノデアツテ、決シテ労働賃金ガ上ツタカラ、所得ガ多クナツタカラ遊情ニ流レテ入坑シナクナツタト云フノデハナイ、私ハ成田山ニ詣ル途中デアリマシタガ、或ル坑夫ニ其ノ話ヲシタ、今日專業主側ニ於テモ、政府ノ方ニ於テモサウ云フコトヲ言フ人々ガアルガ、君達ハドウカト云ツテ問ウタ所ガ、其ノ坑夫曰ク、トンデモナイコトデス、誰ダツテ働キタイ、働キタイケレドモ働クヤウナ設備ガ出來テ居ナイ、誰ガ好ンデアノ危險ナ所ニ入りマセウカ、結局其ノ日ノ食フ爲ニ入ルダケデアツテ、好ンデ入レルヤウナ設備ニナツテ居ラナイ、



テ、サウシテ善慮セラレンコトヲ希望シタ  
イノデアリマス、此ノ點ニ付テ厚生大臣ノ  
所見ヲ承ツテ置キタイ  
○吉田國務大臣 色々御氣付ノ點ハ有難ク  
承リマシタ

○北委員 北野吉君

私ハ厚生省關係ノコトニ付テニ  
三御質問申上ゲタイノデアリマス、私ハ此  
ノ厚生省ノ成立ト云フコトニ付テハ、非常  
ナ期待ヲ持ツタ一人デアリマシテ、今日厚  
生省ノヤルコトニ付キマシテ、期待ノ一部  
ガ實現サレテ非常ニ喜ンデ居ル點モアリマ  
スガ、マダ物足ラナイ點モ大分アルノデア  
リマス、實現サレテ喜バシイト云フ方面ハ  
ドウ云フ方面カト云フト、現在ノ生活ノ缺  
陥ヲ填補スルト云フカ、或ハ社會生活ノ落  
伍者ヲ救済スルトカ云フ消極的方面ニ比較  
的效果ヲ擧ゲテ居ル、併シ民族ヲ強化スル、  
民族ヲ心身共ニ優秀ナラシメルト云フ積極  
的方面ニ付テハ、マダ私ハ疑問ヲ持ツテ居  
リ、物足ラナイ感ジヲ持ツ一人デアリマス、  
社會生活ノ缺陷ヲ充填スル、落伍者ヲ救済

シナケレバナラヌト思フノデス、是ハ他ノ  
行政部門ニ於テモ同ジコトデアルケレドモ、  
厚生省ニ於テハ殊ニ此ノ必要ガアラウト思  
フノデス、例ヘテ見レバ、今日ハ失業若ハ少  
イガ、元ハ理工科關係ノ者ハ羽ノ生エル如  
ク飛ンデ、文科法科關係ノ者ハ失業若ハ非常  
ニ多クツタ、サウ云フ時ニハ厚生省ノ立場カ  
ラ是ハ文部省ノ現在ノ教育ノ施設ガ惡イト  
言ツテ、文部省ニ向ツテ大ニ警告ヲ發スル、  
或ハ又戰爭ニ行ツタ壯丁ヲ調べテ見テ、日  
本ノ兵隊ハ皆強イガ、都會生活者ヨリモ、  
農村カラ出タ者ノ方ニヨリ強イ者ガ多イト  
云フコトニナレバ、若イ者ヲ大都會ヘ多ク  
集中スルト云フコトニ付テハ相當研究シ又  
成案ヲ得テ陸軍省ニ向ツテ警告ヲ發スル、  
私ハ斯ウ云フ民族強化ノ積極的ノ仕事ハ、  
厚生省ガ一番ヤリ得ル地位デアリ、其ノ意  
味ニ於テハ時局ノ推進力ガ軍部ヨリハ寧ロ  
厚生省ガ「イニシヤチ」ヲ握ルベキデハナカ  
ラウカト思フノデス、厚生省ノ關係者ガ此ノ  
點ニ大悟一番シタナラバ、私ハ日本ノ政治  
ヲ「リード」スルコトガ出來ルト思ツテ居リ

的匠久の方策ヲ承リタイ、之ヲ伺ハヌト、  
厚生省ニ期待スル所ガ餘リ多クツタケニ  
失望セザルヲ得ナイノデアリマス、殊ニ私  
ガ之ヲ承リタイノハ、戰爭ガ非常ニ長ク續  
キマスト、惡イ影響ガ非常ニ多イノデアリ  
マス、私ハ詳シイコトヲ此處デ引致シマ  
セスケレドモ、歐羅巴デモ三十年戰爭ノ濟  
ンダ後ガ一番心身共ニ墮落シ切ツタ時ダト  
云ハレテ居リマス、ソレカラ日本ヘモ曾テ  
來タ「バートランド・ラッセル」ノ書イタ  
書物ヲ見テモ、戰爭ガ短期デ濟ンデ目覺マ  
シイ勝利ヲ得タ時ニ、心身共ニ非常ニ好イ  
影響ガアルケレドモ、長期ニ戰爭ガ互ツタ  
時ニ、優良種ノ衰滅人心ノ廢頹ガ必ズ附隨  
ウテ來ル、此ノ前ノ歐洲大戰ノ經驗ニ徴シ  
テモ、英國デハ一番大切ナル青年層壯年層  
ヲ失ツタ、是ハ拭フベカラザル損害デア  
アルト、英國ノ軍略家ガ皆言ウテ居ルノデ  
アリマス、是ハ今度ノ事變ニ付テモ言ハレ  
ルコトデアリマシテ、戰地ヘ行ツテ君國ノ  
爲ニ命ヲ捧ゲル者ハ殘ツテ居ル者ヨモリ比  
較的優良分子デ、是ガ此ノ先マダ何年續ク

○吉田國務大臣 洵ニ御質問申上ゲタイト思ヒマス  
マ、今日ハ厚生行政ト申シマスカ、是マ  
デノ社會政策勞働政策ト云フヤウナ考ノ下  
ニ行ハレマシタコトハ、仰シヤル通りニ、  
社會ニ出テ參リマスル色々ナ病症、ソレニ  
發シマシタ居ツタト思フノデアリマス、其ノ  
注ガレテ居ツタト思フノデアリマス、其ノ  
段階ハ最早ソレデハ維持シ切レナクナツタ  
所ニ、現代ノ政治、産業經濟一切ノ動キガ  
轉換ヲシツツアルノダト思フノデアリマス、  
厚生省ノ受持ノ範圍ニ於キマシテハ、殊ニ  
サウ云フコトガ著シイト私ハ思フノデア  
リマス、例ヘバ勞働爭議ガ必然ニ起ルモノ  
ダト云フコトヲ覺悟シテ、ソレヲドウ調整

スルカト云フコトヲ考ヘルノガ勞働政策デ  
アルト云フヤウナ甘イ考ヘデハ濟マナイト  
思フ、保健衛生ニ付キマシテモ同様デアルト  
思ヒマス、併シ今マデノ立法、或ハ今ノ役  
所ノ機構ハ、マダサウ云フ時代ノ殘滓ヲ清  
算シ切ツテ居ルト申セナイト私ハ思フノデ  
アリマス、之ヲ一舉ニマルデ違ツタモノニ  
建直スト云フコトモ、是ハ言フベクシテ行  
ハレザルコトデアリマスノデ、實際ニ一番  
緊要ナル問題カラ致シマシテ本塞源ノ方  
ヲ立テルコトヲ逐次行ツテ參ルト云フコト  
ハ以外ニ轉換ノ仕方ハナイト思フノデアリ  
マス、左様ナ意味ニ於テ此ノ頃出マスル例  
ヘバ今度ノ議會デモ御協賛ヲ仰グ、先程モ  
塚本君カラ御質問ノアリマシタ國民體力ノ  
管理ト云フヤウナコトハ、積極的ニ青少年  
ノ健康ニ付キマシテ年々ノ検査ヲシ、ソ  
レヲ記載シ有益ヲ指導ヲシテ丈夫ナ人間ヲ  
拵ヘヨウト云フヤウナ觀點ニ立チマシタ、時  
代ノ傾向ヲ代表スル一ツノ立法デアラウカ

所、今年カラ豫算ニ現ハレテ研究シテ居リ  
マスル厚生科學研究所、サウ云フモノノ内  
容ヲ折角充實致シマシテ、正確ナ實地研究  
ノ基礎ニ立ツタ諸々ノ社會政策、勞働政策、  
人口政策ト云フヤウナモノヲ實行シテ參ル  
基ヲ築久ト云フコトモ大事ダト思ヒマス、基  
ガ築上ラナイト仕事ニ著手シナイト云フノデ  
ハ今日ノ急場ニ合ヒマセスカラ、腰溜ノ  
コトモシテ行クヤウニナリマス、腰溜ニ付キ  
マシテモ、今御指摘ノヤウナ見地ニ立ツテ有  
ユルモノヲ檢討シテ行キタイト思ヒマス、  
勞働政策ニ付キマシテモ、午前中ニモ御話  
ノ出テ居ツタヤウナ問題モヤハリ其ノ方向  
ノ是正ト云フコトヲ基礎ニシテアノヤウナ  
論議ガ行ハレナケレバ、間ニ合ハナイ時節  
ニナツテ居ルト思フノデゴザイマス、微力  
デゴザイマシテ左様ナ志ヲ實際ニ實現シ得  
ルト云フコトノ上ニ決シテ大キイコトハ申  
セナイノデアリマスルケレドモ、心持ハサ  
ウ云フ所ニ置イテ進ンデ參リタイト思フノ

文化ノ都會集中ノ弊ハ其ノ極ニ達シテ居  
ル、何トカハ今回轉策ヲ講ジナケレバナラ  
ヌト云フ至誠ヲ披瀝シテ呉レマシタケレド  
モ、今日ハモウ文部大臣デアリマセヌ、是  
ハ私ハ厚生大臣ノ立場デ考ヘレバ一番早ク  
片ガ付ク問題ダト思ヒマスカラ、更ニ申上  
ゲマス、吾々有志カラ近ク建議案デモ出サ  
ウカト云フ位ニ考ヘテ居リマス、御承知ノ  
如ク東京ヘノ人口集中ガ非常ニ甚シイノデ  
アリマスケレドモ、一部ノ人ハソレヲ喜ン  
デ、近ク日本ノ東京ハ千万人ノ人口ニナツ  
テ世界一ニナル、私ヲシテ言ハシメレバ、民  
族廢頹ノ方向ヲ視テ居ル傾向ガアルヤウデ  
ス、サウ云フ一面ガアルト云フコトヲ私ハ  
遺憾ニ思ツテ居ル、私ハドウシテ東京ニ斯  
ウ人間ガ餘計集マルカト云フコトニ付テ原  
因ヲ色々調ベテ見ルト、成程明治時代カラ  
ノ中央集權的政治ニ關係ハアルノデアリマ  
スガ、殊ニ目覺シイノハ學校ヲ餘計建テタ  
コトデアリマシテ、私ハ昨年文部省ニ統計

テ居ル、朝晩ノ電車ノ混ミ合ヒハドウデス、  
私ハ昨年歐米ヲ漫遊致シマシタガ、日本ノ  
東京位交通ノ雜踏シテ居ル所ハアリマセ  
ヌ、又衛生上ナツテ居ラス、厚生省ノ立場  
カラ見レバ一日モ默視シ得ナイ状態デア  
ル、是ハ東京ニ無用ニ學校ヲ濫設シテ田舎  
カラ學生ヲ集メテ學生ノ街ニ一面ナツテ居  
デアル、斯ウ云フ所デ如何ニ國體明微ヲ叫  
ンデモ、日本精神ヲ叫ンデモ駄目デス、全  
國ノアブレガ集ツテ——少シ語弊ガアリマ  
スガ、植民地ノヤウナ感ジガシテ居リマス、  
輩般ノ下ト口デハ申シマスガ、實ニ情ナイ  
話デス、兎ニ角交通地獄ニ現レテ居ル、又  
各地ノ經濟生活ニ非常ニ影響ヲ及ボス、田  
舎ニ居レバ三十五圓デ濟ムガ、東京ノ學校デ  
ハ七十圓モ掛カル、是ガ中農ヲ破壊シマス、又  
厚生省ニ直接關係シテ來ル、風紀カラ言ツテ  
モ惡イ、家庭カラ學校ニ通フ所ト、家庭ニ近  
イ郷里ノ人ノ澤山監視シテ居ル所ト、サウデナ  
イ所トハ非常ニ風紀ガ亂ル、又衛生ニモ非常



サウアリタイト思ヒマス、モウ一ツハ日本國民ノ規律ノ嚴守ガ足ラヌト思フノデス、是ハ國民教化ト云フ點カラ言フト、非常ニ考ヘナケレバナラス、一寸シク集會デモ時聞ヲ必ズ守ル、飲食デモ時間ノ制ヲヤル、吾々モ日本ニ歸ツテ來ルト、體ヲ壞シマス、向フニ居ルト餘リ體ヲ壞シマセヌガ、日本ニ來ルトハハリ、酒ヲ飲ンダリ、色々宴會ガ長クナツタリシテ時々體ヲ害シマス、是ハ人ヲ攻撃スルノデハナイ、吾々民族ノ現在ノ習慣ガ無規律不規則ナシ、此ノ點ハ厚生省カラモ、私ハ勞務者初メ總テノ者ニ餘程強制スルヤウニシテヤツテ戴キタイト思フ、吾々ノ友人デモ、今度ハ此ノ議會デ一時間出勤ヲ總テ早クセヨ、西洋ノ、デーライトセイビングノヤウナ主義デ行ツテ、官廳デモ學校デモ一時間早クシテ、夜ハ早ク歸レバ電氣ノ節約ニナリマスシ、戰時體制ニ效クノデアリマスカラ、是ハ一時的ノモノデアルガ、私ハ永久的ニ日本民族、日本人

ラ飲マナカツタノデスガ、是ハ厚生省カラ督勵シテ一ツヤラシテ戴キタイ、ドウモ今マデノ官吏ハ皆、研究シマス、御説御尤モデス、ト言ウテ、考ヘテ、研究シテ中々實行シテ呉レナイ、一言デ言ヘバ、所謂議シテ決セズ、決シテ行ハズト云フ言葉ニ當ルト思フ、所ガ是カラ非常時ニナリマスレバ、人間ノ偉イト云フコトハ宜イ考ヲ持ツテ居ルト云フコトダケデハナイノデ、ヤハリ實行力ガナクチヤナラスト思フ、吾々政治批評家ノ議會人トシテハ、政治ノ考ダケデ宜イカモ知レヌガ、政府ノ首腦部トシテハ實行シテ賈ハナケレバ私ハイカヌト思フ、如何ニ住宅難デアツテモ、青島眞ダケ見セテ賈ツテモ家ハ出來マセヌヤハリ立派ナ棟梁デ、人ヲ使ヒ金ヲ使ツテヤラナケレバ家ハ建タナイ、ドシノヤツテ戴キタイト思フ、此ノ三點ヲ思切ツテ實行シテ下サル御意思ガナイカ、即チ都會集中ノ打破、殊ニ文化機關ノ中央集中ノ打破、ソレカラ規律ノ履行、ソレカラ第三ニハ二十五歳以下ノ青年ニ酒

ウデス、魚ハ段々減ツテ居ル、一面又飼育料ガ高クナツテ、糠ト米ト殆ド同ジヤウナ状態ニナツテ、豚ヤ鶏ヲ殺シテ居ル、現ニ新潟縣ナドデハ鶏ナドハドンノ減ツテ、今年ノ暮頃ニナレバ殆ド鶏ヲ飼フ者ハナイト云フ状態デス、豚ノ子モ飼育料ガ高イカラ賈ヒ手ガナイ、新潟縣ニ行クト、女ノ子ト豚ノ子ハ賈ヒ手ガナイト云フ位デ、女ノ子ハドンノ餘ツテ嫁ニナルノモ困ル、ヤハリ豚ノ子モ賈ヒ手ガナイ、飼育料ガ高イ、此ノ調子デ行クト卵モナクナル、豚モ食ヘナクナル、ソコデ私ハ、突飛ノヤウダケレドモ先達テ犬猫撲殺論ヲ唱ヘタ、分ラヌ者ハ大分反對シテ來タ、日本ハ牛馬合セテ三百二十萬頭デス、犬猫ハソレヨリ餘計居ルト思フ、四五萬頭居ルト思フ、農林大臣ニ數ヲ聽イタケレドモ、農林大臣ハサウ云フ調査ハシテ居ラスト言フガ、是ハ食糧問題トシテ大問題デス、假ニ四百萬頭トシテモ、一日一合ツツ食ツテ百二十萬石ニナル、二合ツツ食ツタナラバ二百五十萬石ニナル、

殺シテ宜カラウト云フコトガ、今日其ノ頃ヲ回顧シタ書物ニハ書イテアリマス、初メカラ肉ヲ食ハナイ積リテ殺シタラ、食糧問題ハアレ位行詰ラナカツタラウト書イテアリマス、是ハ別ナ問題デスガ、此ノ頃日本ニ於テハ食物ハ減ツテ居リマス、榮養ハ悪クナツテ居リマス、豚モ雞モ減ツテ居リマス、犬ヤ猫モ殺サナケレバナリマセヌ、魚ノ分量ハ少クナツテ居ル、何故カト云フト、漁師モ油ガ足ラヌデ見タリ、又漁具ガ足ラヌデ見タリシテ、漁師ノ勞務者ノ數モ減ツテ來マス、漁師ト云フモノハ百姓ト違ツテ、外ノ人ガ手傳ヘナイ、百姓ノ場合ニハ亭主ガ引張ラレテ行ツテモ、妻君モ年寄モ子供モ援助スル、漁師ハソレガ出來マセヌ、殊ニ吾々ノヤウナ寒國ノ雪ノ降ルヤウナ所デハ女子子供ハ出來ナイ、隨テ榮養モ悪クナツテ來マス、榮養ガ悪クナルノニ、一面生活態度ハ今マデ通りヤツタナラバ、體位向上トカ民族強化ト云フコトハ夢物語ニナルト思ヒマス、現ニ獨逸デハ歐洲大戰

中ニハ骨無シガ石灰分ガ足ラヌ爲ニ大分出タ、戦後ニ私ハ獨逸ニ行ツテ二年七箇月バカリ居リマシテ、アノ滲漉タル榮養不良ノ様子ヲ見テ驚イタ、今カラ私ハ厚生省ノ立場カラ對策ヲ講ジナケレバナラスト思フ、ソコデ私ハ非常時ニ對スル心掛ハ内閣諸公カラ聽キタイト思ウテモ聽ケナカツタ、小善ト雖モ爲サザル勿レ、小惡ト雖モ爲ス勿レト云フコトガ「モットー」デナケレバナラス、少シデモ戰時體制ニ害ノ有ル事ナラヤツテハナラス、少シデモ善イ事ナラ直ダヤレ、具體的ニ、思立ツタガ吉日ダ、非常時ノ精神的ノ構ハ其ノ一ツデ宜イト思フノデアリマス、小善ト雖モ爲サザル勿レ、小惡ト雖モ爲ス勿レ、此ノ「モットー」デ行カナケレバナラスト私ハ考ヘル、食糧ガ段々ナクナルシ、民族ノ優良者ハドンノ「レマ」ス、ソレノ對策トシテハドウシテモ都會集中ヲ防ギ、規律生活ヲ送ラセ、少クモ青年ニ禁酒ヲサセル、是位ノコトハヤラナケレバナラスト思ヒマスガ、厚生大臣ノ御考ヲ承

ニモ承知致シテ居ルノデアリマス、今日此ノ戰爭遂行ト云フ重大時局ノ中ニ於キマシテ、例ヘバ産業ノ爲ニスル都市集中ト云フヤウナコトノ傾向ヲ食止メルト云フコトハ隨分難儀デハアルト思フノデアリマスガ、是モ併シ漫然トサウ云フノ食止メルト云フコトデナクシテ、産業ノ地方分散ト云フ方面ニ着眼ヲ致シマシテ、ソレノ工場立地ノ見地カラ致シマシテ、地方々々ニ産業ヲ分散スルト云フヤウナコトヲ計畫的ニ考ヘ、之ヲ實行スル時ニ、其ノ計畫ニ順應スルヤウニ致シマシタナラバ、都市集中ノ弊害ヲ防止シ得ルバカリデナク、ソレハ國防上ニモ非常ニ宜イ産業分布ノ状態ヲ期待シ得ルノデハナカラウカト考ヘテ居リマス、何分サウ云フ方面ニ付キマシテハ、厚生省ガ主管職デナイノデアリマスケレドモ、先刻カラノ段々ノ御訓誡ニ依リマシテ、自分ノ所管ニダケハレテ居ツテハ此ノ際ハ洵ニ相濟マヌコトト思ヒマスカラ、其ノ方面ニ出來ル限り盡力シタイト思フノデアリマ

非常ニ著シウゴサイマスルシ、非常ニ困ツタ現象ガ起ツテ居ルノデアリマス、出來ル限リ各方面ト接觸ヲ保チマシテ、此ノ弊害ヲ出來ルダケ小サイ限度デ止メルト云フヨリハ、寧ロ人口ノ地方分散ニ力ヲ致スヤウニ骨ヲ折ツテ見ルコトハ非常ニ大事ダト思ヒマス、ソレニ付キマシテ御例示ニナリマシタヤウニ、學校ノ中央偏在ト云フコトガ又大キナ原因ニナツテ居リマス、是等モ私共ノ所管デハアリマセヌガ、御趣意ハ洵ニ共鳴ヲ致シマスカラ、私共ノ所管接觸ヲ保チ得ル限リ、左様ナ方向ニ向ツテ骨ヲ折リタイト考ヘマス、ソレカラ規律ノ嚴守ヲスルコトニシナクテハイカヌト云フコトモ洵ニ御尤モナコトデアリマス、國民生活ノ上ニ規律嚴守ト云フコトモ、是亦厚生省ノ主管デモナイモノノヤウニ思フノデアリマスガ、ソレナラ何處ノ役所ノ主管カト云フト、日本ノ行政系統ノ中ニハソシナコトヲ主管スル役所ハナイノデアリマス、野放シナノデアリマス、甚シイ限度ニ至レバ警察

確立スルニ不十分デアラウト云フコトデ、政府部内ニ於キマシテモ、之ヲ如何ニシテ鞏固ナモノニ改組スルカト云フコトニ付テ、目下取急イデ研究中デアリマス、其ノ方面ニシツカリト力ヲ入レレバ、可ナリ實現ノ出來ルコトデアラウト思ツテ居ルノデアリマス、今日ノ精勵委員會、或ハ中央聯盟等デモ其ノ事ニ付キマシテ色色工夫シテ居ルノデアリマス、アレダケニ仕組デハ力強クソレヲ實行シテ行クノニ不十分ダト思フノデアリマス、是ハ是非其ノ方面ノ強化ヲヤツテ實現致シタイト考ヘルノデアリマス、又ソレニ關聯スル厚生省所管ノコトニ付キマシテハ、役所ト致シマシテモ十分ノ力ヲ注グ必要ガアルト考ヘマス、其ノ次ノ青年ノ禁酒令ヲ出シタラドウカ、御趣意洵ニ御尤モナノデアリマスガ、其ノ事モ精勵デ、ドウ云フ程度ノ禁酒、禁煙ト云フヤウナ、或ハ節酒、節煙ト云フヤウナコトガ適當デアラウカト云フコトハ隨分慎重ニ各方面ノ知識ヲ集メテ練ラレタノデ



ス、尙ホ歐羅巴大戰後ノ歐羅巴ノ、殊ニ獨逸等ノ國民地位ノ低下、榮養ノ不良ニナツタ事等モ顧ミルベキデハナイカト云フ御注意モ、洵ニ御尤モデアリマス、其ノ點デハ私ハ日本ハ獨逸ナシカニ比ベルト、例ヘバ此ノ頃漁獲物ノ漁獲高ガ色々ナ事情ノ爲ニ已ムラ得ズ減ツタト云フコトハ、洵ニ困ツタコトデアリマスケレドモ、魚デモ、或ハ野菜デモ、山菜類デモ、食物ノ「バラエチ」ノ非常ニ多イ國デアリマシテ、是亦榮養ノ見地カラ、食物研究カラ、合理的ニ研究シマシテ、ソレ等ノモノヲ適度ニ配分シテ食物ヲ國民生活上ニ確保スルト云フコトハ、日本ハ獨逸程ニハ困ラズニ、計畫サヘ宜シケレバ立派ニ實行出來ル問題ダラウト思ヒマス、日本ノヤウナ環境ノ國デ、骨無しノ子供ガドン／＼生レルト云フコトハ、ソレハ恐ラク指導ノ仕方ノ間違ツタ時ニ起ルコトデ、適當ナ對策ヲ以テスレバ、左様ナ意味カラノ榮養不良ト云フコトハ、可ナリ防ギ得ル譯デアリマスガ、此ノ邊ニモ考

責任ヲ通レ揚足ヲ取ラレナイ爲デアリマス、自分ノ身ニ振掛ツタ場合ニハ人間ハ何事デモ具體的ニヤリマス、例ヘバ自分ノ子供ガ病氣ニナツタ時ニハ直グニ醫者ヲ呼ンデ、激シイ場合ニハ「カンフル」注射デモ食鹽注射デモヤルト云フヤウニ具體的ニヤリマス、他人ノ場合ニハ折角養生セヨト云フヤウナ抽象的ナコトヲ言ヒマス、自分ノ場合ニハ借金取デモ何日幾日拂フカラ待ツテ呉レト云フヤウナコトデ總テ具體的ニヤリマス、官吏ガ答辯ヲ具體的ニ決マラナイ場合ニハ抽象的ニ言フノデハナイカ、何事モ抽象的ニ答ヘルト云フコトハ不誠意ダト思フ、本當ニ自分ノ身ニ振掛ツタコトダト思ハナイ立場カラ言ウコトダト思フ、其ノ點カラ考ヘマスト私ハ此ノ精神總動員モドウモ不誠意ナ所ト無能力ナ所ト二ツ混ツテ居ルヤウニ思フ、何事モ抽象的ニシカ吾々ニ響カス、本當ニモウ日本國民ノ生活ガ、自分ノ財產ガ潰レル位ニ、自分ノ家族ガ病氣ニナツタ位ニ眞剣ニ考ヘタナラバ、必ズ具體的

タガ吉日デ、今日考ヘテ善イト思フコトハ明日カラ行ハレルト云フヤウナ形ニシテ賈ヒタイ、ソレニハ文部省カラ厚生省へ移管ヲ主張スベキデハナイカト思フ、其ノ方ガ生活ニ關レテ居ル、文部省ト云フト何トナク世間デハ學校教育ヲ掌ル所、小學校カラ大學マデノ學校ヲ監督スル官廳ノ如キ印象ヲ與ヘル、ピント來ナイノデス、各地方廳ニ色々働キ掛ケテモ、内務省系統ナラ各地方廳ノ官吏ニピント響クノデスケレドモ、文部系統ノモノハピント來ナイ、ソコニ私ハオ上トオ上トノ間、或ハ官吏ト官吏トノ間デモピント來ナイモノガアルト思フ、況ヤ民間ニハ尙ホ働キ掛ケル力ガナイ、一般民衆ハ文部省トハ沒交渉ト考ヘテ居ル、文部省ト一番密接ナ關係ヲ持ツテ居ルモノハ小學校ノ生徒、中等學校ノ生徒デアリマス、大學ノ生徒ニナルト、大學ハ多少自治的性質ヲ持ツテ居リマスカラ少シ稀薄ニナリマス、況ヤ世間一般ノ學校ヲ卒業シテ世ノ中ニ出ルト、文部省ノ仕事ト云フト自分等ニ

ト私ハ思フ、精神ト云フト如何ニモ物質カラ離レ、生活カラ離レタヤウナ感ジガスル、寧ろ生活刷新運動ト云フ名前ヲ掲ゲタ方ガ宜イ、國民精神總動員中央聯盟ト云フト迎モ長クテ、前太政大臣攝政關白ト云フヤウナ感ジガスル、ノミナラズ斯ウ云フ長イ名前ヲ付ケテ居ルノハ餘リ成功シテ居ラヌ(笑聲)選舉肅正中央聯盟ナドモ然リデアリマス、又國際聯盟——一體聯盟ト云フ字ノ付イテ居ルモノハ大抵餘リ巧イコトヲシテ居ラス、是ハ名前ガ長過ぎル上ニ、聯盟ト云フ字ガ付イテ居ルカラ、二重ニ能率ヲ上ゲテ居ラス、ソコデ名前ヲ變ヘテ生活刷新運動或ハ戰時生活運動ト云フヤウナ名ニシテ、ピント來ルヤウニシタラドウカ、サウスレバ色々思付モ出テ來ルト思ヒマス、現ニ私モ思付イテ居ルコトガ二三アルノデス、議會デ先達言ハウトシタガ言ハレナカツタカラ此處デ申上ゲル、ソレハ「スフ」入ノ長イ着物ヲ着テ居リマスガ、アア云フモノハ廢メタラ宜カラウ、元來日本ハ働クノニ筒袖ヲ

著ク、此ノ間洋服ヲ改良シタ國民服ト云フモノヲ決メマシタガ、筒袖ニスレバ二丈八尺ガ二丈デ済ム、元來日本デハ神代ノ勾玉ヲ付ケテ居ル昔カラ短イ筒袖ヲ著テ居ツタ、元祿袖ハ短イ袖ト誤解サレテ居ルカモ知レナイガ、アレハ元祿時代ニハ派手ニナツテ少シ長クナツタ、併シ今日カラ見ルトソレデモ短イ、長袖者流ト云フテ公卿サンハ遊シデ居ツタノデ長イ袖ヲ著テ居ツタ、又江戸ノ遊ビ人ガ長イ袖ヲ著テ居ツタ、儀式ノ時ニハ袴ヲ著ケタガ、是ハ別デス、儀式ト云フモノハ元來生活改善トハ反對デ不便ナモノデス、是ハ日常生活トハ寧ろ正反對ノ立場ヲ取ツテ居ル、頭ヲ低ク下ゲテ御辭儀ヲスルノハ不便デアルケレドモ、儀式ノ時ニハ是ハヤラナケレバナラス、ケレドモ日常生活ハ成ベク輕便ナ方ガ宜イ、江戸ノ遊ビ人ハ長袖ヲ著テ居ツタガ、農村ノ者デモ或ハ商人デモ皆筒袖ヲ著テ居ツタ、私ノ父ハ靜岡デ神主ヲシテ居リマシタガ、ヤハリ筒袖ニ前垂ヲ掛ケテ居ツタ、所ガ東京デハ立シ

是ハ私ハ欲シケレバ欲シイト言ツタラ宜カラウト思フ、文部省カラ移管スベキモノダト思フ、私ハ何デモ厚生省ニ持ツテ來ヨウト云フノデハナイ、此ノ次ハ厚生省カラ外ノ省ヘヤルモノヲ一ツ考ヘテ居リマスガ(笑聲)此ノ點ヲ一ツ御考ヲ願ヒタイノデアリマス

○吉田國務大臣 サウ欲シイト思ツテ居ル譯デモナイノデアリマスガ、實ハ只今ノ國民精神總動員ノ運動ハ、主管ハ文部省ト云フ譯デハナイノデアリマシテ、内閣ノ主管デアリマス、サウシテ總動員ノ企畫ヲ決メマス總動員委員會ノ總裁ガ總理大臣デアリマシテ、其ノ下デ閣僚ノ一人ガ會長ニナル、ソレデ平沼内閣ノ閣僚ノ一人トシテ文部大臣ガ其ノ適任デアラウト云フコトデ、荒木サンガ會長ニナリマシテ、兩來引續イテ文部大臣ガ閣僚ノ一人トシテ會長ヲシテ居ラレルノデアリマス、アノ運動ハ何處ノ省ノ主管ト云フコトデナシニ、各省共々ニ主管省ノ積リテ協力シナケレバナラヌト云フ建前デ、内閣ノ主管ニナツテ居リマスガ、併

マネントトカ云フ世間ノ批判ニ上ツテ居ル問題ガ大キク取扱ハレテ居リマスカラ、其ノ外ノコトハ何モ考ヘテ居ナイカノ如キ印象ヲ與ヘテハ、是ハ甚ダ残念ダト思ヒマスガ、大體サウ云フコトダケヲ話題ニスル社會自身ニモサウ云フ缺陷ガアルノデハナイカト思ハレマス、唯筒袖ニスルトカ云フコトハナカツタノデアリマスガ、主トシテ作業服トシテ國民服ノ型ヲ決メタラ宜カラウ、ソレハツイ先達ツテ型ノ割合ニ優良ナノガ決マリマシテ、表彰モサレタノデアリマスガ、隨分此ノ重大ナ戰爭ヲシテ居ル最中ノ生活ト致シマシテハ、改メネバナラヌコトガ非常ニ澤山アルト思フノデアリマス、著流シテ戰ヲシテ居ル、サウ云フ傾向ニシカ見エナイコトデアツテハ洵ニ總動員ト云フ形デハナイヤウニ思ハレマスノデ、今回改組デモサレマシタナラバ、サウ云フ點ニ付キマシテモシツカリ緊張シタ戰時生活ノ確立トデモ申シヤセウカ、サウ云フコトヲ實現シ得ルヤウニナラナケレバナラナイト

希望デアリマスガ、ソレハ國立公園利用ノ問題デアリマス、ナショナル・パークト云フノハ亞米利加邊リデハ不思議ナ植物トカ動物ナドニ重キヲ置イテ居ルガ、日本ハドチラカト云フト景色ガ好イトカ、觀光客ノ多ク來サウナ所ヲ國立公園トシテ居リマスガ、サウ云フ性質ノ國立公園デアルカラニハ、觀光客ヲ誘致スル色々ナ設備ノ如キヲ、鐵道省ノ觀光局ノ方面ニ移管シタラドウカ、是ハ昨年私ハ實ハ鐵道省ノ分科會ヲ話ヲ致シマシテ、向フデモ考ヘテ置クト云フ話デアリマシタガ、是ハ厚生省ガ若シ外ニヤルベキ仕事ガアツタラ、此ノ國立公園ノ如キハ鐵道省ノ方ヘ廻シタラドウカト思フ、此ノコトハ私ハ別ニ鐵道省ニ頼マレタ譯デモ何デモアリマセヌカラ御諒承ヲ願ヒタイ、ドウモ是ハ厚生省デ少シ持テ餘ス代物チヤナイカト思ヒマス、簡單デ宜シウゴザイマスガ、御意見ヲ承リタイ

○吉田國務大臣 持テ餘シテ居リマスカドウデスカ、能ク承知致シマセヌガ、從前カ



云フコトハ、日本ノ持ツ風景ノ中ノ一番好  
イ部分ヲ破壊シテシマフ心配ガアルト思フ  
ノデアリマス、ト云ツテ又山田谷デアツ  
テ、誰モ近付ケナイヤウナコトデモ困ル  
デアリマスガ、ソコラニ非常ナ微妙ナ關係  
モアルト思フデアリマス、サウ云フコト  
ナラ、ソレハ文部省ノ所管チヤナイカト云  
フヤウナ論モ立ツカト思フデアリマスガ、  
今日ノ所、先ヅ昔カラ扱ツテ居ツテ、手慣  
レタ厚生省デ受持ツテ居ツテ差支ナイト私  
ハ思フデアリマス、併シ御説ノヤウナ點  
モ十分考ヘ合セマシテ、決シテソレニ固執  
スル譯デハナイデアリマスガ、自分ノ御  
預リシテ居ル間中ハ懸命ニ國立公園ノ眞價  
ヲ發揚スルヤウニ努メタイト思ヒマス

○北委員 是ハ高野局長サンノ御答辯ヲ御  
願シタイノデスガ、精神病ノコトデアリマ  
ス、御承知ノ如ク社會ガ複雑ニナリ、文化  
ガ進ミマスルト、結核病、花柳病、精神病  
ガ殖エルト言ハレテ居リマス、結核ノコト  
ニ付テハ厚生省ノ方デモ非常ニ御心配ニナ  
レハ忍ビナイ、時ニ治マル時ニハ普通ノヤ  
カ、精神病方面カラ犯罪ガ來ルコトガ非常  
ニ多イ、此ノコトニ付テ局長サンカラ一ツ  
御意見ヲ承リタイ

○高野政府委員 日本ニ於テ精神病患者ノ  
爲ノ施設ガ非常ニ不完全デアリマスコトハ、  
御指摘ニナリマシタ通りデアリマシテ、恐  
ラク望マシキ施設ノ十分ノ一ニモ現在足り  
ナイ状態デアリマス、精神病院法ト云フ法律  
ハゴザイマスケレドモ、法律ニ依リマシテ  
存スル所ノ施設ガ、色々都合上甚ダ不十  
分デゴザイマス、是ハ申上ケルマデモナク、  
其ノ方面ノ支出モ大イニ充實スル積リデア  
リマスガ、何分今マデハ是ハ當局ノ者、又  
地方ノ公共團體ノ方々モ此ノ疾病ニ對スル  
認識ト申シマスカ、此ノ施設ノ十分ニセネ  
バナラヌト云フコトノ氣持ガ疎カデアリ、  
國家ノ豫算モ今マデ甚ダ少カツタノデアリ  
マスガ、ケレドモ明年度カラハ少シデハアリ  
マスガ、此ノ精神病患者ノ施設ノ充實ヲ期シ  
マシテ、幾バクカノ豫算ヲ増シテ居ルヤウ  
ナ次第デアリマス、是カラ出來マス限り大

ラ慮待サレルト云フ事實デアリマス、即チ  
普通ノ患者トシテ行ツタ時ト、健康保險ノ  
保險證ヲ出シマシタ時トデハ、是ハ大臣モ  
能ク御承知デアリマセウガ、屢々差別待遇  
ヲサレルト云フ状態デアツタノデアリマス、  
隨テ此ノ點ニ付テノ關係ガ良クナラヌト云  
フト問題ニナラナイデアリマスガ、ソレ  
等ノ理由モアリマシテ、御承知ノ通り産業組  
合ノ病院ガ非常ニ出來タノデアリマス、其ノ中  
ニ於キマシテ特ニ最モ之ヲ原因トシテ出來マ  
シタノハ、秋田縣ノ能代ノ山本醫務組合病院ト  
云フモノガソレデアリマス、ソレハ  
御承知ノ通り彼處ニハ秋田木材ト云フ會社ガ  
アリマシテ、其ノ會社ノ労働者ガ健康保險ニ加  
入シテ居ルガ、醫者ニ掛ルト差別待遇ヲス  
ル、ソコデ健康保險ニ加入シテ居ル労働者  
ガ十圓宛ノ株ヲ持チ合ヒマシテ、自ラノ出  
資デ自分達ノ病院ヲ作ツテ、サウシテ、レン  
トゲン、ヤ、内科ヤ、外科、産科等ノ専門科  
ヲ置イタ所ガ、健康保險ノ醫者ノ權利ヲ剝  
奪シテシマツテ、自分デ労働者ガ病院ヲ作

ツタカラ、其ノ權利ヲ剝奪シタト云フヤウ  
ナ事例ガアルノデアリマス、或ハ又労働總  
同盟ニ於キマシテ、友愛病院ト云フ病院ヲ  
労働者ノ共済基金デ作ツタ、其ノ労働者ガ  
自分デ作ツタ病院ヲ、醫師會デハ御承知ノ  
通り健康保險ノ指定ヲシテ居ラナイ、醫師  
會ガ國民健康保險ノ時ニ團體契約ヲ主張致  
シマシタ根本ノ原因ハ、醫師選擇ノ自由ヲ  
與ヘナケレバナラヌト云フコトデアツタノ  
デアリマス、然ルニ此ノ労働者ノ健康保險  
ノ保險醫ノ指定ニ對シマシテハ、労働者ガ  
自ラ作ツタ病院等ニ對シテハ指定シナイノ  
デアリマス、或ハ又ヒドイノニナリマス  
産業組合ノ病院ニ動メテ居ツタト云フコト  
デ以テ、ソレガ開業シテモ認可ヲシナイ、  
八王子ノ多摩相互病院ト云フ産業組合ノ病  
院ガアリマスガ、其處ニ勤務致シマシタ醫  
者ガ、其ノ勤務ヲ解カレマシテ、自ラ開業  
致シマシテモ、前ニ其ノ病院ニ動メタカラ  
ト云フノデ、健康保險醫ノ指定シテ居ラナイ  
ノデアリマス、是ガ實ニ私ハ日本ノ保健

キマス、醫師會長モ、ソレハ其ノ通りダ  
カラヤリタイト云ツテ居リナガラ、實ハ一  
ツモ認可シテ來ナイノデアリマス、一ツモ  
ナイト云フト語弊ガアルガ、秋田縣ノ秋田  
木材ノアリマス能代町ニハ許可シナイ、森  
町村ト云フ所ニハ被保險者ガ一人シカ居  
ナイ、其ノ一人シカ居ナイ所ニハ許可シタケ  
レドモ、被保險者ガ千人モ二千人モ居ル所  
ニハ許可シナイ、瀬戸ノ町ニ産業組合病院  
ガ出來マシタ、瀬戸町ハ御承知ノ通り家内  
工業地デアアル、其處ノ瀬戸物ノ労働者ハ全  
部健康保險ノ被保險者デアツテ、病院モア  
ルノニ醫師會ガ邪魔シテ許可ヲ與ヘテ居ラ  
ナイト云フ状態デアリマス、私ハ斯ウ云フ  
點ニ付テ前ニ大臣トモ約東ヲ致シマシテ、  
而モ此ノ保險醫等ガ話ヲシテ、醫師會ノ會  
長モ其ノ通りニサセマスト云ツテ居ルニ拘  
ラズ、滿一年經ツテモサウ云フ不誠意ナ状  
態デ居ルト云フコトニ付キマシテハ、醫師  
會ヲ監督サレマス見地ニ於テモ、社會保健、  
労働者保健ノ缺陷ヲ除去スルト云フ見地ニ

ラレマス、今御話ニナリマシタヤウナ問題  
モ、何トカ適當ナ折合ノ途ガアリサウニ考  
ヘルノデアリマスガ、最近ソレ等ノ具體的  
ナ問題ニ付キマシテハ、私ハ實情ヲ審カニ  
致シマセヌカラ、只今役所トシテドウ云フ  
風ニ此ノ具體的ナ問題ヲ處置シテ居ルカト  
云フコトニ付キマシテハ、政府委員カラ御  
答ヲ申上ケルコトニ致シマス

○清水政府委員 私カラ簡單ニ實情ヲ申上  
ゲマスガ、先刻來三宅委員ノ御述ニナリマ  
シタヤウナコトハ、大體サウ云フコトモア  
ルノデアリマスガ、昨年カラ日本醫師會ト  
相談ヲ致シマシテ、産業組合病院ヲ保險醫  
ニ指定スルト云フコトニ付キマシテハ、一  
層拍車ヲ掛ケヨウト云フ話ガ纏リマシテ、  
ソレ以來地方ノ醫師會ヲ日本醫師會ガ督勵  
致シマシテ、段々指定ヲサセルヤウニ日本  
醫師會モ努力シテ居ル譯デアリマス、吾々  
トシマシテモ始終其ノ點ヲ念頭ニ入レテ居  
リマシテ、努力ヲ致シタノデアリマスガ、  
實情ヲ申上ケマス、何分ニモ此醫師會ト

出來ル限り速ニ全部ガ保險醫ニナルヤウニ  
シタイト思ツテ努力シテ居リマス、日本醫  
師會ノ幹部トシマシテモ、サウ云フ方向ニ  
進ムヤウニ申シテ居リマスカラ、漸次御希  
望ノヤウニナルコトト思ヒマスノデ、左様  
ニ御承承ヲ願ヒマス

○三宅委員 政府委員ノ御答辯ガアリマシ  
タノデ、是レ以上申上ケルコトハ甚ダ控ヘマ  
ス、唯前途ノ通ツタ處置ヲサセナイトイカ  
ヌト思ヒマス、其ノ他ニ色々問題ガアリマ  
スガ、此ノ點ニ付テハ大臣ハ能ク事情ヲ御  
承知デアリマセウカラ、御答辯ハ求メマセ  
ヌケレドモ、一ツ前途ノ曲ツタコトハ直シ  
テ戴キタイト思ヒマス、同時ニ産業組合病  
院ノ問題モサウデアリマス、例ヘバ鈴木梅  
四郎サンノヤツテ居ラレル實費診療所等ニ  
付テモ、健康保險ノ指定ヲシテ居リマセヌ、  
或ハ又大阪ニ社民病院及ビ大衆病院ト云フ  
モノガアリマス、東京ニハ芝園橋ニ御承知  
ノ通り總同盟ガ労働者ノ共済基金デ經營シ  
テ居ル相愛病院ト云フノガアリマス、是等



カト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、ソレハ一部負擔ノ問題デアリマス、是亦専門家デアリマスルカラ、大臣ハ能ク御承知デセウガ、勞働者ノ健康保險ニ付キマシテハ、病氣ヲ致シマシタ時ノ金ハ全額ヲ保險ノ方デ持ツテ呉レル、其ノ外休ンデ居ル間ハ給料ノ何割カラ呉レル、然ルニ國民健康保險ニ於キマシテハ、休ンデ居ル間給料ト云フモノハ勿論呉レナイ、呉レナイノミナラズ、醫者ニ掛リマシタ時ニ一部負擔ノ制度ガアルノデアリマス、一部負擔ノ制度ノ善シ惡シニ付テハ私共ハ議論ハ致シマセス、アツテ宜シイト思フノデアリマスガ、是ガ多クテハ何モナラナイ、平素病氣ヲシナイ時ニ金ヲ積ンデ置キマシテ、醫者ニ掛ツタ時ニ半分ハ其ノ時取ラレルト云フコトデハ何ニモナリマセヌノデ、一部負擔ニ付テハ、私ハ二割以上ハ取ラセナイト云フコトニシナケレバイカスト思フノデアリマス、指導方針トシテハ先ヅ其ノ邊ニ目安ヲ置イテ居ラレルンデヤナイカト思ヒマスガ、之ヲサセマスル爲

縣ノ保險組合程財政上困ルト云フ事情ニナリマスルノデ、現ニ京都府デアルトカ廣島縣ト云フヤウナ所ハ府縣補助ガアリマス、無イ方デハ新潟縣トカ、或ハ東北地方ノ縣ニ多イト云フヤウナコトニナツテ居リマスルノデ、此ノ點ハ一ツノ法律ヲ以テ地方ノ補助ニ付テモ規定セラレマシテ、其ノ村ニ傳染病ガナクナリ、ヒドイ病人ガナクナルト云フコトハ、村ノ經濟ニモ非常ニ宜イノデスカラ、同額ノ補助ヲ道府縣及ビ市町村ニモヤラセルト云フコトデ、財的基礎ヲ確立サレマスルト共ニ、一部ノ負擔ニ付テハ往診入院共ニ二割以上ハ一部負擔ヲ取ラナイト云フコトニシテ行カケレバナラヌ、ソコマデノ指導ヲサナラナイト拙インデヤナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、ト申シマスルノハ町村ガ單位デアリマスルカラ、保險問題ナドニ付テ餘リ知ラス者ガヤツテ居ツタリ色々致シマスノデ、相當秤イ所ニ手ガ届ク位ノ指導ガ出來マセヌト效果ヲ舉ゲナイト思フノデアリマシテ、此ノ點ニ付

方費負擔、或ハ患者ノ一部負擔等ノ問題ニ付キマシテハ、政府委員カラ考テ御答申上ゲルコトニ致シマス  
○清水政府委員 私カラ御答致シマスガ、一部負擔ノ問題ニ付キマシテハ、御話ノ如ク二割位ノ程度ヲ先ヅ原則トシタイト云フ方針デアリマシテ、是ハ御話ノ通りデアリマス、唯實際問題ト致シマス、地方ノ財力、負擔力等ノ關係カラ致シマシテ、必ズシモ二割程度ノ一部負擔デ、後ハ全部保險料デ取ルト云フ工合ニユカヌ場合モアリマスノデ、目下ノ所ト致シマシテハ組合普及ノ關係等モ考慮致シマシテ、出來ルダケニ割アタリノ所デ致シタイノデアリマスガ、或ル程度ノ例外モ已ムヲ得ヌ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ公共團體ノ補助ニ付キマシテハ、是モ御話ノヤウニ相當程度府縣或ハ町村ガ補助ヲ出シテ居ルモノガアリマシテ、是ハ寧ろ吾々ノ豫想以上ニアチラコチラデ補助ヲシテ居ルノデアリマスガ、唯其ノ補助ノ方法ガ、或所ハ府縣ガ出シ、

マシテ熱情ヲ地方ニ持タセル上ニ於テ、重大ノ關係ガアルト思ヒマスノデ、一ツ國庫ノ補助金ニ付テモ出來ルダケ御努力ヲ願ヒタイシ、公共團體ノ補助ニ付テモ、成タケ早イ機會ニ之ヲ最低幾ラマデハ補助シナケレバイカスト云フコトヲ法制化サレテ、財政的基礎ヲ固メラレルヤウ御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス  
次ニ厚生大臣ニ御伺致シタイコトハ、我國ノ厚生省ハ社會局カラ發達シタノデアリマス、是ハ露西亞革命其ノ他歐羅巴戰後ノ思想ノ非常ナ大キナ影響ヲ受ケマシテ、勞働部面ニ對スル關係カラ發達シテ參リマシタコトハ、沿革的ニ見テ其ノ通りダト思ヒマス、隨テ厚生省ト云フモノハ世間デハ都市省ダト思ツテ居ル、若クハ勞働者ノ省ト思ツテ居ルノデアリマス、初メテ國民健康保險ガ出來タリ色々致シマシテ、是ガ農村ニマデ觸手ヲ伸バシマシタコトハ、私ハ非常ニ良イコトト思ヒマス、併シ其ノ歴史沿革ガアルノデ、勞働對策ニ付テハ厚生省ハ

非常ニカラ入レテ居ラレルケレドモ、例ヘバ小作問題ニ付テノ關係トカ、或ハ農村ノ社會保險ニ付テノ關係トカ、或ハ住宅ニ關スル關係トカ、段々出來テハ參リマシタケレドモ、大分手遅レニナツテ居ルト思ヒマス、日本ニ於ケル厚生行政ノ見地ニ立ツテ、保險ノ點カラ云ツテモ、勞働ノ點カラ云ツテモ、住宅ノ點カラ云ツテモ、此ノ際農村ノ關係ニ厚生省ノ觸手ヲ大イニ伸バシテ行カナケレバイカスト思ヒマス、隨テ私ハ農村局ト申シマスガ、農村部ト申シマスガ、厚生省ノ中ニ農村關係ヲ專管スル部局ヲ作ルコトモ必要デハナイカ、本豫算ノ關係其ノ他ニ於テ今直チニソレガ出來ナイナラバ、委員會ノ形ニ於テモ、或ハドウ云フ形ニ於キマシテモ、私ハサウ云フコトデ以テ、都市偏重ト申シマスガ、沿革カラ來マスサウ云フ點ヲ拂拭致シマシテ、全面的ニ日本ノ厚生行政ニ對シテ把握ヲサレ、其ノ經綸ヲ振ハレルト云フ一ツノ機構的ノ改革ガ必要デハナイカト考ヘルノデアリマス、此ノ

上ニ、從來ノ經驗ニ徴シマシテ、更ニ發展性ヲ加ヘテ工夫シナケレバナラヌト云フ時機ニモ、ソロソロ立到ツテ居ルノデハナイカト、私ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、今後ハ之ヲ普及シテ行クト云フ方面ニ——勿論今マデハ間違ヒノナイヤウニト云フ考デ、非常ニ慎重ニ實行シテ來タノデアリマスガ、併セテ御希望等モ斟酌致シマシテ、此ノ制度ノ普及發達ニカラ注グヤウナ風ニ、是カラ工夫ヲシテ參リタイト思ツテ居リマス、御尋ノ趣意モサウ云フ所ニ存スルト思ヒマシテ、其ノ事ヲ申上ゲテ置キマス  
尙ホ厚生行政ガ農村ニ對シテ十分手ガ延ビテ居ラスデハナイカト云フ御氣付、是ハ洵ニ御尤モデアリマシテ、私自身サウ云フ心持ガシテナラナイノデアリマス、最近農村ニ關スル各種ノ施設、保健施設デアリマスルトカ、或ハ勞務動員ニ於ケル關係デアリマスルトカ、或ハ兒童保護等各種ノ施設デ農村ニ以前ヨリハ深ク關係ヲ持ツヤウニナツテ參リマシタケレドモ、ヤハリ所謂社會間

コトハ隨分殖エテ參ツテ居リマス、之ヲ取扱ヒマスルニ今ノ機構ノ儘デ宜シイカドウカ、能ク慎重ニ考ヘサシテ載キマシテ、若シ何等カ仕組ノ上ニ工夫ヲ加ヘル必要ガアリマスレバ、左様ナコトモ取計ヒタイト考ヘテ居リマス  
○三宅委員 農村關係ノ只今ノ御答辯ヲ承リマシテ、是非一ツサウシテ載キタイト思フノデアリマスガ、日本ニ於ケル社會政策ノ全面的普及ニ關シマシテ、私ハ農村關係ガケデナシニ、日本ニ發達シテ參リマシタ産業組合、商業組合、工業組合等ヲ厚生省ガ全面的ニ把握サレテ、指導サレル必要ガアルト思フノデアリマス、御承知ノ通り市街地信用組合ニ付キマシテハ、大藏省ガ農林省ト共管致シマシテ、之ヲ金融的見地ニ於テ指導シテ居ルノデアリマス、然ルニ醫療組合ガ農村ニ澤山出來ク、ソレカラ國民健康保險組合ノ代行組合ガ産業組合關係ニ於テ澤山出來ク、尙ホ御承知ノ通り都市ノ購買組合ト云フ名前デ來テ居リマスガ、外

トガ當然ダト思フノデアリマス、資金ヲドウ云フ風ニシテ出スカト云フヤウナコトノ組織ニ付テハ、産業組合ガ歴史的ニ發展シテ居リマスルカラシテ、農村ニ於テソレト別ナ共同組合ヲ作ラセル意義ハナイト思フノデアリマスガ、其ノ運営ニ付テ、社會政策ニ關スル部面、住宅ニ關スル部面、或ハ保健衛生ニ關スル部面、榮養ニ關スル部面、病院ニ關スル部面、斯ノ如キ部面ニ付テハ、私ハ厚生省ガ相當ナル御指導ヲサスルコトガ當然ダト思フノデアリマス、機構ノ上ニ於テモサウ云フ關係ノ機構ヲ確立サレルコトガ必要ダト思フノデアリマシテ、市街地信用組合ガ大藏省ト共管ニナリマシタヤウニ、私ハソレ等ノ部面ニ付テハ少クトモ醫療ニ關スル部面及ビ都市消費組合ニ關スル部面ニ於キマシテハ、場合ニ依ツタラ厚生省ガ御取リニナツテモ宜シイ、資金關係デアレヌトスルナラバ、共管關係ヲ樹立サレルコトガ必要デハナイカ、特ニ今後米ノ端境期等ニ向ヒマシテ、消費者ヲ組織シナケ



省所管カヲ、産業組合ノナル、農林省ノ言フハ、ドンナコトヲヤツタツテ農林省ノ言フ通りテ宜シト云フヤウニハ、私考ヘテ居ラスノデアリマシテ、ソレハ割合ニ考ヘ易イ問題デアリマスノデ、十分氣ヲ付ケルコトニ致シタイト思ヒマス、其ノ他ノ問題、例ヘバ最後ニ例トシテ御舉ゲニナリマシタ市街地ノ消費組合、是ガ戰時體制ヲ確保スル爲ノ重要ナル配給機構トシテ役立ツヤウニ確立サレネバナラス、其ノコトハ農林省ノ所管ト云フヨリハ、厚生省ノ所管ト云フヤウナ、恰度今日ノ時代ニ於キマシテ色々ナ組織ヲ轉換セネバナラスモノガ他ニモ澤山アルト思フデアリマスルガ、ソレ一部トシテノ問題ガ數々餘所ノ省ノ所管トノ間ニ、單ニ農林厚生省ノ間ガケナク色々アルト思ヒマス、商工行政ト厚生行政トノ限界ト云フコトモ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、或ハ限界ガアツテハナラナイ、限界ノナイノガ至當ダト云フ考ヘ方モアルカモ知レマセヌ、ソレ等ノコトニ付キマシ

質上、例ヘバ病院ノ認可等ニ付テハ衛生局ガ關與シテ居リマスガ、モウ少シ踏込シテ指導ヲ願フタ方宜イト思ヒマスノデ、一ツ問題トシテ御考慮ヲ願フツテ、適正ニ御解決ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ハ警察制度ニ關スル問題デアリマスガ、警察制度ニ關シマシテハ御承知ノ通り警察制度調査會ガ出來テ居リマシテ、此ノ警察制度ニ關スル限リハ、マダ總會ノ審議ハ經マセヌケレドモ、結論ヲ得テ居ルノデアリマス、私ハ此ノ議會ニ到頭御提出ニナラナイヤウニナツテ居リマスルコトヲ非常ニ残念ニ思フデアリマシテ、日本ノ警察制度ノ根幹ニ於テ改革ヲシナケレバ、最早國民ノ體力管理マデヤルト云フ今日ノ段階トシテハ、役ニ立タナイコトハ申スマデモナイコトデアリマス、現在警察制度調査會ガ決リマシタ案ガ理想案カト云ヘバ、是ハ現在ノ勢力關係其ノ他色々ナ關係ニ於キマシテ、極メテ微温的ナモノデアリマス、ケレドモ或ル程度ノモノト致シマシテモ、之ヲ強行サレマヌラバ、

リマシテ、其ノ後ハ一ツ後退サセナイヤウニ御配慮願ヒタイト思フデアリマス、時間ヲ一人デ取りマシテハ惡イデスカラ急ギマスガ、若シ今年ノ議會ニ御出シニナラヌトスルナラバ、一體醫者ノ配給ニ付テハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカ、御承知ノ通りニ他ノモノハ統制經濟デ以テ配置ヲシテ居ルノデアリマス、所ガ醫者ガケガ自由主義デ以テ強制ガアリマセヌカラ、農村ニハモウ醫者ハ居ラスヤウニナツタ、マダ町ニハ幾ラカ過剩ダト云フ部分ガアリマス、特ニ最近ニ於テハ藥材廻ツテ來ナイカラ、町デ開業シテ居ツテモ仕様がナイト云フ醫者モアル、此ノ醫者ノ配置ニ付テノ統制ニ付キマシテハ何等御考慮ニナツテ居ラナイ、是ハ私ハ地方トシテハ非常ニ困ツテ居ルト思フデアリマシテ、例ヘバ町村立ノ病院ナド、公立病院ナドガ、私共ガ保健問題ニ熱意ヲ持ツテ居ルカラト云ツテ、私共ノ所マデ頼ンデ來テ居ルト云フ状態ナンデス、是ハ單ニ醫者ヲ認可シタ許可シタト云フダ

アリマスガ、職權ヲ所屬カヤツテ居リマスルヤウニ轉換機關、其處ヘ町村デ醫者ガナカツタラ相談ニ行ケバ何トカ話ガ付ク、或ハ其ノ第二段トシテハ強制命令ヲ以テ出スト云フコトニシナケレバ進モ駄目ダト思フ、今度ノ醫師法ノ改正ガ出マヌレバ、赴任義務ト云フノガアリマスカラ、ソレデ出來ルノデアリマスガ、出來ナイトスレバ總動員法ノ發動ヲオヤリニナルナリ、何等カノ方法ニ依ツテ、兎モ角ソレダケハ配置ヲシテ置クト云フコトデナケレバ私ハイカスト思フデアリマス、何トカ足ラヌナラ足ラスデ——ソレハ今マデアリマス醫者ノ數ハ決ツテ居ルノデスカラ、ソレガ軍ノ必要デ以テ出テ居リマスレバ足ラヌヤウニナルコトハ當然デアリマス、足ラヌナラ足ラヌデ、其ノ不自由ヲ等シクスルト云フ見地ニ立ツテ、結局オ醫者サンノ適正ナル配置ニ付テノ何等カノ機關ヲ御作りヲ願ヒタイ、此ノ三ツノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 警察制度調査會ノ審議ノ

結果ヲドウスルカト云フ御尋デゴザイマスルガ、隨分調査會ニ於キマシテハ斯界ノ權威ガ久シキニ互ツテ熱心ニ檢討ヲ重ネラレマシテ、稍一ツノ成案ガ出來掛ツテ居リマス、日本ノ警察制度ハ從前ノ儘デアツテハナラナイト云フ點ニ於キマシテハ、恐ラク識者ハ悉ク其ノ考ヲ一ニスルモノト思フデアリマス、殊ニ斯様ナ時節ニ際會シテ参リマスルト、其ノ事ノ實現ガ一日モ速カデアルトコトヲ必要トスル譯デアリマス、審議ノ中ニ大變困難ナ問題ガアリマシタ爲ニ、マダ總會ノ決議マデ至ツテ居リマセヌ、私ハ假令本議會ニ開ニ合ヒマセズトモ、此ノ問題ヲ抛棄シヨウト云フト考ヘ全然持チマセヌ、何トカ適當ナル結論ヲ得マシテ、速ニ實行ノ緒ニ就クヤウニ致シタイトハ考ヘテ居リマス、事實今期議會ニ開ニ合フカト云フコトニナリマスルト、一寸至急ニ總會ヲ開イテ議メヨウト思ツテ採決ヲシマシタラヌマルカモ分リマセヌガ、是ノ執行ヲ確實ニスルト云フ意味カラハ、自分トシテハ一ツ責

テ居リマスル、其ノコトノ重壓ガ主トシテ地方農村ニ懸ツテ居ルト思フデアリマス、都會デモ困ツテ居ラストハ言ヘナイ實情デアリマス、此ノ乏シイ醫師ヲドウシテ按配好ク各地方ニ配分スルカト云フコトハ、ヤハリ是ハ國家ニ與ヘラレタル一ツノ大事ナ課題デアルト思フデアリマス、急ニ醫師ヲ殖サウト致シマシテモ、サウ急ニ殖エル譯ノモノデモナイ、ヤハリ御話ノヤウニソレノ配置ノ上ノ苦勞ヲシテ見ルト云フコトハ、至急ニ爲スベキ一ツノ方法ダト思フデアリマスガ、品物ヲ動かカスノト違ヒマシテ、生キタサウシテ立派ナオ醫者様ニ動イテ戴クノデアリマス、サウ簡單ニ右カラ左ニ置換ヘル譯ニモ參リマセヌケレドモ、サウ云フコトヲシテ又能率ガ舉ルトモ思ヘラナイデアリマス、ヤハリ行ツテ働イテ戴ク人ハ、假令政府カラ何等カ御示ノヤウナ機關カラ頼マレテ、其處ヘ配置セラレタノデアリマシテモ、心カラ其ノ村其ノ地方ノ人達ノ爲ニ働イテ上ゲルノダト云フ、積極的ナ何ト

旋ダケデナシニ、本當ニ足ラヌトナリマシタナラバ、何等カノ法的準備ヲサレマセヌト云フト、實際餘リ不合理ニナリマスルノデ、御考慮ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、最後ニ私ハ厚生省ガ今日位國策ノ上ニ重要ナ立場ヲ持タレタ時期ハナイト思フデアリマス、私ハ今日マデ英吉利ダトカ、佛蘭西其ノ他ノ國ニ於ケル所謂厚生行政若クハ社會保險ト云フヤウナモノハ、失業保險ガ却テ財政ノ重荷ニナツタトカ、色々ナコトヲ言ハレテ居ル、併シ獨逸ニ於キマシテハ御承知ノ通り社會保險ハ、「インフレ」防止ノ最モ大キナル槓桿デアツタノデアリマス、是ハ女人ニ説教ヲスルヤウデアリマスルガ、社會民主黨ノ時代ニハ一ツノ財政上ノ重壓デアツタガ、「ナチス」ニナツテカラ後ノ社會保險ハ、勞働手帳ヲヤツテ人爲的「インフレ」ヲヤル、其ノ人爲的「インフレ」ハ物ガ足ラナイカラ、「インフレ」トシテ流通シテハ困ルカラ、ソレヲ吸收スル、吸收スルノニ強制貯金ハ出來ナイカラ、其

役割ヲナスコトニモナリ、國民組織化ノ役割ヲモナスコトニナル、サウ云フ意味ニ於キマシテ、國民組織ノ實體的方面ト云フ見地カラ考ヘマシテモ、私ハ保險ト云フモノハ非常ニ重大ナ意義ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ機會ニ——實ハ少シ時期ガ遅レテ居ツテ今年邊リニ出テ居レバ宜カツタト思フノデス、其ノ道ノ練達ナ大臣ガ漸クナラレタバカリデアリマスルカラ、モウ二年バカリ前ニ大臣ニナラレテ居リマシタラ、今頃澤山出テ居タツノデハナイカト思ヒマスルガ、保險ニ付テハ全面的ナ擴充ヲヤツテ戴カケレバナラスト思フデアリマス、船員保險ガ通りマシタ、是ハ船員ノ疾病保險、養老保險デアリマスガ、ソレガ爲ニ船員ガ老後ガ心配ガナツタト云フノデ安定致シマシタ、是ハ報告ニ微シテ明白ナ所デアリマス、鑛山労働者ガ今非常ニ足ラナイト云フノデアリマスルガ、アレダケ落整ガアツタリ、ヨロケニナツタリ、ソレデアリマスカラ、老後ノ廢疾保險ガナケレバ、良イ仕事ガアレバ他處ニ逃ゲルノハ當



何保險カラ最初キリニナルカ、少クトモ  
來年マデニハ是レノモノハ案ヲ立テテ  
ヤリタイト云フ目途ガアレバ、ソレヲ御聽  
カセテ願ヒタイト考ヘルノデアリマス

○吉田國務大臣 先達來本會議ニ豫算總  
會ニ於キマシテモ其ノ御話ハ各方面カラ出  
マシテ、私共趣意ニ於キマシテハ、深ク御  
同感申上テ居ルノデアリマス、單ニ私ガ  
御同感申上テ居ルノミデナク、先達來議會開  
會以前ニ於ケル現内閣成立後ノ重要國策ニ  
關スル會議ニ於キマシテモ、是非其ノ問題  
ヲ一ツ考究シテ見ヨウデハナイカト云フ申  
合セガ成立致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、  
其ノ問題ヲ取扱ヒマス爲ニハ、今マデノ限ラレ  
テ、居リマス簡易保險デアルトカ、健康保險デ  
アルトカ云フモノト又違ヒマシテ、保險技術ノ  
上ニ於キマシテ可ナリ又違ツタ工夫ヲ加ヘネ  
バナラス點モアラウカト存ジマス、中々率ノ計  
算等モ困難デアラウト思ヒマスノデ、是亦  
御話ノヤウニ、ヤリ易イモノカラ先ニヤ  
ル、自ラ順序ガアルモノト思フノデアリマ

○平川主査 ソレデハ委員外ノ土屋清三郎  
君ノ質問ヲ許可致シマス

○土屋清三郎君 厚生省ガ生マレマシテカ  
ラ今度ノ大臣デ五代、ソレマデ大臣ハ遺憾  
ナガラ厚生行政ニ付テ理解ヲ持ツテ居ラレ  
ナイ方バカリデアリマス、ソレダケ外部ニ  
在ツテ厚生行政ヲ非常ニ重ク考ヘル者カラ  
見マスルト、非常ニ遺憾デアリマシタガ、  
恐ラク内部ニ於テモサウデアツタラウト思  
フ、幸ヒニシテ厚生行政ニ豐富ナ經驗ト十

○吉田國務大臣 搗粉ノ利害ト云フコトニ  
付キマシテノ技術的ナ説明ヲ私カラ申上ゲ  
ルト云フコトハ、恐ラク適當デナイデアラ  
ウト思フノデアリマス、此ノ問題ハ隨分古  
クカラ論ゼラレテ居リマスコトヲ私モ承知  
致シテ居リマスガ、ソレニ對シテ國民ノ榮  
養或ハ保健ノ問題ヲ御預リシテ居ル厚生省  
ト致シマシテハ、主トシテ榮養ノ見地カラノ  
觀點ガ多イト思ヒマス、又現在ニ於キマシ

○林政府委員 本問題ニ付キマシテハ、昨  
年ノ委員會ニ於キマシテ土屋サンノ御尋ニ  
對シ、御答ヲ申上テ居リマス通りノ理由  
デアリマスノデ、別ニ新シイ理由ガ今日ア  
ル譯デハアリマセヌ、昨年ノ議會ニ於テ  
當委員會デアツタト思ヒマスガ、相當ノ時  
間、詳シク申上テタ次第デアリマスカラ、  
左様御諒承ヲ願ヒマス

○土屋清三郎君 昨年アナタノ御答辯ガ理  
解出來ナイ爲ニ私ハ文書ヲ以テ御尋シタノ  
デス、搗粉ヲ禁止シヨウト云フ時ニ、衛生  
局カラ發表ニナツタモノノ及ビ文書ヲ以テ私  
ニ交付サレタモノハ、今此處ニ持合セテ居  
リマセヌガ、衛生上有害デアルト云フコトガ  
第一ノ理由デアリマシタ、然ラバ其ノ衛生

ノ經濟ノ上カラ云ツテモ、努力ノ經濟ノ上  
カラ云ツテモ、又消化榮養ノ上カラ云ツテ  
モ、非常ニ重要ナ働キヲ爲シテ居ツタモノ  
デアリマス、然ルニ厚生省ガ出來マシテカ  
ラ、一昨年カラデアリマシタカ、其ノ前デ  
アリマシタカ、盛ニ搗粉ノ害ヲ唱ヘテ、サ  
ウシテ地方廳ニ向ツテ頻リニ禁止ヲ勸メテ  
居ル、既ニ今日マデ地方令ヲ以テ禁止シテ  
居ルモノガ相當アルト思ヒマス、一體厚生  
省搗粉ヲ禁止サセルト云フ根本ハ何處  
カラ來タノデアリマスカ、之カラ一ツ御尋  
シマス

シマスガ、私ガ先ツ御尋シタイノハ、何ヲ  
根據ニシテ搗粉ヲ禁止ヲ地方ニ獎勵サレテ  
居ルノデアルカ、直接大臣カラ御答モドウ  
カト思ヒマスカラ、主管ノ政府委員ニ此ノ  
點ニ付テ先ツ御尋シテ、段々疑義ヲ質シ、  
最後ニ大臣ノ御答ヲ承リタイ

生上危害ガアリ、珪酸、アルミニウムガ衛  
生上危害ガアルト云フ立證ハ、澤山ノ人ガ  
研究シテ居リマスケレドモ、マダ一人ト雖  
モ之ヲ斷定シタ學者ハアリマセヌ、之ヲ公  
式ニ有害トシテ發表シテ禁止シタノハ厚生  
省ダケデアアル、元來搗粉ハ衛生上有害トコ  
ロカ寧ロ大イニ必要ナモノデアルト私ハ考  
ヘテ居ル、今日ハ七分搗粉ヲ獎勵サレテ白米  
ヲ禁止サレテ居リマスガ、搗粉ガ榮養上ニ  
持ツ働キハ、米ニ付テ消化ノ困難ナル外皮  
ヲ綺麗ニ機械的ニ剝イテ、サウシテ飯ニ炊  
イテ食ベテ本當ニ飯ノ味ヲ出サセル、是ガ  
搗粉ノ特色デアアル、是ハ米屋ガ一番能ク知  
ツテ居ルサウシテ米ノ本當ノ味ヲ出ス爲ニ  
飯ガ旨イ、飯ガ旨イカラ消化液ガ盛ニ出  
ル、ソレデアアルカラ腸ニ行ツテ完全ニ消  
化サレテ其ノ持ツ榮養分ガ完全ニ消化サ  
レテ其ノ持ツ榮養分ガ百パーセントノ近ク  
身體ニ吸收サレテソレガ榮養ニナルノデアリ  
マス、此ノ働キガアル爲ニ白米ガ喜バレテ  
居ル、ソレカラモウ一ツ經濟上ノ方カラ言

ルトドウシテモ分ラナイ、全然人間ノ病氣  
ノコトヲ知ラナイ獸醫ガ、人ノ盲腸炎ノ手  
術シタモノヲ貫ツテ來テ其ノ中ヲ検査シタ  
所ガ、珪酸、アルミニウムガアツタト云フ  
ノデアアル、併シソレガ搗粉カラ出タモノデ  
アルカドウカト云フコトハ少シモ立證ガナ  
イ、私ハ昨年ノ秋、私共民政黨ノ政務調査  
會ニ體力問題ニ付テ陸軍ノ醫務局ノ人ガ來  
テ説明ヲサレタ時ニ、私ハ陸軍ニ於テハ搗  
粉ガ衛生上害ガアルカナイカト云フコトニ  
付テ御調ニナツタコトガアルカト云フコト  
ヲ聽キマシタ所ガ、其ノ人ハ、多分ソレハ  
陸軍ノ獸醫ガ發表シタコトヲ御引用ニナル  
ノカモ知レマセヌガ、吾々ノ方デハ甚ダ以  
テ迷惑ヲシテ居ルノデアリマス、人間ノ病  
氣ノコトニ付テ全然分ラナイ者ガ、アア云  
フ發表ヲサレルト云フコトハ、陸軍醫務當  
局トシテハ洵ニ迷惑デアルト、斯ウ言フ答  
デアツタ、其ノ前昨年ノ決算委員會ニ於  
テ、是モ陸軍ノ醫務當局ノ人ト海軍ノ醫務  
當局ノ人ニ質シマシタガ、何レモ搗粉ガ衛

生上危害ガアリ、珪酸、アルミニウムガ衛  
生上危害ガアルト云フ立證ハ、澤山ノ人ガ  
研究シテ居リマスケレドモ、マダ一人ト雖  
モ之ヲ斷定シタ學者ハアリマセヌ、之ヲ公  
式ニ有害トシテ發表シテ禁止シタノハ厚生  
省ダケデアアル、元來搗粉ハ衛生上有害トコ  
ロカ寧ロ大イニ必要ナモノデアルト私ハ考  
ヘテ居ル、今日ハ七分搗粉ヲ獎勵サレテ白米  
ヲ禁止サレテ居リマスガ、搗粉ガ榮養上ニ  
持ツ働キハ、米ニ付テ消化ノ困難ナル外皮  
ヲ綺麗ニ機械的ニ剝イテ、サウシテ飯ニ炊  
イテ食ベテ本當ニ飯ノ味ヲ出サセル、是ガ  
搗粉ノ特色デアアル、是ハ米屋ガ一番能ク知  
ツテ居ルサウシテ米ノ本當ノ味ヲ出ス爲ニ  
飯ガ旨イ、飯ガ旨イカラ消化液ガ盛ニ出  
ル、ソレデアアルカラ腸ニ行ツテ完全ニ消  
化サレテ其ノ持ツ榮養分ガ完全ニ消化サ  
レテ其ノ持ツ榮養分ガ百パーセントノ近ク  
身體ニ吸收サレテソレガ榮養ニナルノデアリ  
マス、此ノ働キガアル爲ニ白米ガ喜バレテ  
居ル、ソレカラモウ一ツ經濟上ノ方カラ言

結果、是ハ何モ害ガアルモノデハナイト云  
フコトニナツテ、府令ヲ解カレタ、其ノ後  
明治二十五年、或ハ日清戰爭後若クハ明治四  
十四五年頃、今ノ厚生省ノ醫藥制度調査會  
ノ委員ニナツテ居リマス東京帝國大學名譽  
教授慶松藥學博士、此ノ人ガ當時内務省  
ノ衛生試驗所技師トシテ、此ノ搗粉ノ有害  
無害ニ付テ詳細ナル研究報告ヲセラレテ居  
ル、ソレニ依リマス、搗粉ハ米ヲ淘イデ  
洗ヘバ綺麗ニ落チテシマフ、其ノコトヲ非  
常ニ綿密ニ立證シテ居ル、其ノ一面前申シ  
タ今ノ厚生省東京衛生試驗所長ガ一昨年私  
ニ話シタコトデアリマスガ、搗粉ハ要スル  
ニ成分ハ珪酸、アルミニウムデアアル、別ニ  
害ノアルモノデモ何デモナイ、若シ是ガ害  
ガアルト云フナラバ、例ヘバ藥局方デ使ツ  
テ居ル白陶土、是ハ珪酸、アルミニウムニ  
水ガ加ツタモノデアアル、是ガ藥劑トシテ人  
間ニ飲マレテ居ルデハナイカ、ソレカラ今  
日新聞紙上ニ毎日廣告サレテ居ル、ノルモ

上有害デアルト云フ根據ハ何處ニアルカ、  
斯ウ御尋致シマシタ所ガ、ソレハ榮養研究  
所ノ研究報告ニ依ルト云フ、榮養研究所ノ  
研究報告ヲアナタカラ載イテ調べテ見マス  
ト、斯ウ云フコトガアル、鼠ニ搗粉——是  
ハ第一ガ房州搗粉、ソレヲ主トシテ使ツテ  
居ラレマスガ、モウ一ツハ廣島方面カラ出  
ル所ノ炭酸石灰モアリマスガ——、ソレニ  
依リマス、鼠ニ體重一疋ニ付キ一日三瓦  
ヅツ搗粉ヲ食餌ニ加ヘテ食ベサセタ、サウ  
シテ五箇月間之ヲ繼續シタ、其ノ結果三割  
七分五厘ノ鼠ガ胃袋ニ膀胱ガ出來タ、ソレ  
ダケナノデス、ソレカラ雜ノ方ハ毎日食ベ  
サセル餌ノ三分ノ一ニ相當スル搗粉ヲ、是  
モ五箇月間連續シテ食ハセタ、然ルニ同時  
ニ對照的ニ搗粉ヲ混ゼナイデ食ハセテ行ツ  
タモノト、此ノ搗粉ヲ混ゼテ食ハセテ行ツ  
タモノトノ間ニ差別ヲ認メルコトガ出來ナ  
カツタ、斯ウ云フノガ榮養研究所ノ報告デ  
アリマス、今此ノ榮養研究所ノ報告ヲ基礎  
ニシテ人間ニ當嵌メマスルト、鼠ノ體重一

ウカ、仰シヤル通り若干手遅レノヤウナ心  
持モ致シマスガ、出來ルダケ速ニ急務部分  
カラ實現ヲシテ参リタイト云フ熱意ヲ以テ  
調べテ居リマスコトダケヲ御答申上テ置  
キマス

○平川主査 一寸御諮リ致シマスガ、今通  
告ヲサレテ居ル委員ガ此處ニ來テ居ラレマ  
セヌカラ、土屋君ニ許可致シタイト思ヒマ  
スガ、時間ハ長ク掛リマスカ

○土屋清三郎君 ソンナニ長クハ掛リマセ  
ヌ

○平川主査 ソレデハ委員外ノ土屋清三郎  
君ノ質問ヲ許可致シマス

○土屋清三郎君 厚生省ガ生マレマシテカ  
ラ今度ノ大臣デ五代、ソレマデ大臣ハ遺憾  
ナガラ厚生行政ニ付テ理解ヲ持ツテ居ラレ  
ナイ方バカリデアリマス、ソレダケ外部ニ  
在ツテ厚生行政ヲ非常ニ重ク考ヘル者カラ  
見マスルト、非常ニ遺憾デアリマシタガ、  
恐ラク内部ニ於テモサウデアツタラウト思  
フ、幸ヒニシテ厚生行政ニ豐富ナ經驗ト十

○吉田國務大臣 搗粉ノ利害ト云フコトニ  
付キマシテノ技術的ナ説明ヲ私カラ申上ゲ  
ルト云フコトハ、恐ラク適當デナイデアラ  
ウト思フノデアリマス、此ノ問題ハ隨分古  
クカラ論ゼラレテ居リマスコトヲ私モ承知  
致シテ居リマスガ、ソレニ對シテ國民ノ榮  
養或ハ保健ノ問題ヲ御預リシテ居ル厚生省  
ト致シマシテハ、主トシテ榮養ノ見地カラノ  
觀點ガ多イト思ヒマス、又現在ニ於キマシ

○林政府委員 本問題ニ付キマシテハ、昨  
年ノ委員會ニ於キマシテ土屋サンノ御尋ニ  
對シ、御答ヲ申上テ居リマス通りノ理由  
デアリマスノデ、別ニ新シイ理由ガ今日ア  
ル譯デハアリマセヌ、昨年ノ議會ニ於テ  
當委員會デアツタト思ヒマスガ、相當ノ時  
間、詳シク申上テタ次第デアリマスカラ、  
左様御諒承ヲ願ヒマス

○土屋清三郎君 昨年アナタノ御答辯ガ理  
解出來ナイ爲ニ私ハ文書ヲ以テ御尋シタノ  
デス、搗粉ヲ禁止シヨウト云フ時ニ、衛生  
局カラ發表ニナツタモノノ及ビ文書ヲ以テ私  
ニ交付サレタモノハ、今此處ニ持合セテ居  
リマセヌガ、衛生上有害デアルト云フコトガ  
第一ノ理由デアリマシタ、然ラバ其ノ衛生

ノ經濟ノ上カラ云ツテモ、努力ノ經濟ノ上  
カラ云ツテモ、又消化榮養ノ上カラ云ツテ  
モ、非常ニ重要ナ働キヲ爲シテ居ツタモノ  
デアリマス、然ルニ厚生省ガ出來マシテカ  
ラ、一昨年カラデアリマシタカ、其ノ前デ  
アリマシタカ、盛ニ搗粉ノ害ヲ唱ヘテ、サ  
ウシテ地方廳ニ向ツテ頻リニ禁止ヲ勸メテ  
居ル、既ニ今日マデ地方令ヲ以テ禁止シテ  
居ルモノガ相當アルト思ヒマス、一體厚生  
省搗粉ヲ禁止サセルト云フ根本ハ何處  
カラ來タノデアリマスカ、之カラ一ツ御尋  
シマス

シマスガ、私ガ先ツ御尋シタイノハ、何ヲ  
根據ニシテ搗粉ヲ禁止ヲ地方ニ獎勵サレテ  
居ルノデアルカ、直接大臣カラ御答モドウ  
カト思ヒマスカラ、主管ノ政府委員ニ此ノ  
點ニ付テ先ツ御尋シテ、段々疑義ヲ質シ、  
最後ニ大臣ノ御答ヲ承リタイ

生上危害ガアリ、珪酸、アルミニウムガ衛  
生上危害ガアルト云フ立證ハ、澤山ノ人ガ  
研究シテ居リマスケレドモ、マダ一人ト雖  
モ之ヲ斷定シタ學者ハアリマセヌ、之ヲ公  
式ニ有害トシテ發表シテ禁止シタノハ厚生  
省ダケデアアル、元來搗粉ハ衛生上有害トコ  
ロカ寧ロ大イニ必要ナモノデアルト私ハ考  
ヘテ居ル、今日ハ七分搗粉ヲ獎勵サレテ白米  
ヲ禁止サレテ居リマスガ、搗粉ガ榮養上ニ  
持ツ働キハ、米ニ付テ消化ノ困難ナル外皮  
ヲ綺麗ニ機械的ニ剝イテ、サウシテ飯ニ炊  
イテ食ベテ本當ニ飯ノ味ヲ出サセル、是ガ  
搗粉ノ特色デアアル、是ハ米屋ガ一番能ク知  
ツテ居ルサウシテ米ノ本當ノ味ヲ出ス爲ニ  
飯ガ旨イ、飯ガ旨イカラ消化液ガ盛ニ出  
ル、ソレデアアルカラ腸ニ行ツテ完全ニ消  
化サレテ其ノ持ツ榮養分ガ完全ニ消化サ  
レテ其ノ持ツ榮養分ガ百パーセントノ近ク  
身體ニ吸收サレテソレガ榮養ニナルノデアリ  
マス、此ノ働キガアル爲ニ白米ガ喜バレテ  
居ル、ソレカラモウ一ツ經濟上ノ方カラ言

結果、是ハ何モ害ガアルモノデハナイト云  
フコトニナツテ、府令ヲ解カレタ、其ノ後  
明治二十五年、或ハ日清戰爭後若クハ明治四  
十四五年頃、今ノ厚生省ノ醫藥制度調査會  
ノ委員ニナツテ居リマス東京帝國大學名譽  
教授慶松藥學博士、此ノ人ガ當時内務省  
ノ衛生試驗所技師トシテ、此ノ搗粉ノ有害  
無害ニ付テ詳細ナル研究報告ヲセラレテ居  
ル、ソレニ依リマス、搗粉ハ米ヲ淘イデ  
洗ヘバ綺麗ニ落チテシマフ、其ノコトヲ非  
常ニ綿密ニ立證シテ居ル、其ノ一面前申シ  
タ今ノ厚生省東京衛生試驗所長ガ一昨年私  
ニ話シタコトデアリマスガ、搗粉ハ要スル  
ニ成分ハ珪酸、アルミニウムデアアル、別ニ  
害ノアルモノデモ何デモナイ、若シ是ガ害  
ガアルト云フナラバ、例ヘバ藥局方デ使ツ  
テ居ル白陶土、是ハ珪酸、アルミニウムニ  
水ガ加ツタモノデアアル、是ガ藥劑トシテ人  
間ニ飲マレテ居ルデハナイカ、ソレカラ今  
日新聞紙上ニ毎日廣告サレテ居ル、ノルモ

上有害デアルト云フ根據ハ何處ニアルカ、  
斯ウ御尋致シマシタ所ガ、ソレハ榮養研究  
所ノ研究報告ニ依ルト云フ、榮養研究所ノ  
研究報告ヲアナタカラ載イテ調べテ見マス  
ト、斯ウ云フコトガアル、鼠ニ搗粉——是  
ハ第一ガ房州搗粉、ソレヲ主トシテ使ツテ  
居ラレマスガ、モウ一ツハ廣島方面カラ出  
ル所ノ炭酸石灰モアリマスガ——、ソレニ  
依リマス、鼠ニ體重一疋ニ付キ一日三瓦  
ヅツ搗粉ヲ食餌ニ加ヘテ食ベサセタ、サウ  
シテ五箇月間之ヲ繼續シタ、其ノ結果三割  
七分五厘ノ鼠ガ胃袋ニ膀胱ガ出來タ、ソレ  
ダケナノデス、ソレカラ雜ノ方ハ毎日食ベ  
サセル餌ノ三分ノ一ニ相當スル搗粉ヲ、是  
モ五箇月間連續シテ食ハセタ、然ルニ同時  
ニ對照的ニ搗粉ヲ混ゼナイデ食ハセテ行ツ  
タモノト、此ノ搗粉ヲ混ゼテ食ハセテ行ツ  
タモノトノ間ニ差別ヲ認メルコトガ出來ナ  
カツタ、斯ウ云フノガ榮養研究所ノ報告デ  
アリマス、今此ノ榮養研究所ノ報告ヲ基礎  
ニシテ人間ニ當嵌メマスルト、鼠ノ體重一

ニシテ人間ニ當嵌メマスルト、鼠ノ體重一



ニ百ツテ厨米ヲ自分ノ家ノ食米ニシテ居ツ  
タ者ノ目カラ見マス、決シテハ輕キシ  
イ問題デアアリマセヌ、斯ウ云フコトヲ考  
ヘナイデ、衛生上害ガアルカナイカ、害ガ  
アルト云フ何等ノ立證ナク、二百年來全國  
ニ於テ使ツテ居ツテ、經濟上ニモ榮養上ニ  
モ害口必要ナル所ノ摺粉ヲ、錯覺ニ依ル判  
斷ヲ以テ全國的ニ禁止令ヲ出サレタト云フ  
コトハ、私ハ遺憾ナコトダト思フ、若シ私ノ  
今言ツタコトニ對シテ御異存ガアツタラ、  
オ前ノ言フ衛生上危害云々ノ問題ハ間違ッ  
テ居ル、吾々ノ方デハ是ダケノ試驗ヲシテ  
斯ウダト云フコトヲ此處デ御示ニナラレタ  
イ、サウデナケレバ厚生省ガ全國的ニアノ  
禁止ヲ號令サレタ根本ハ、私ハ全ク錯覺カ  
ラ出タト斷ゼザルヲ得ナイ、斯ウ云フ風ニ  
考ヘル、若シ御異存ガアリマシタラバ、  
ソレヲ承リタイ

○林政府委員 只今御尋ニナリ且ツ御述ニ  
ナリマシタコトハ、私ノ記憶スル限りニ於  
テハ昨年御答申シタコトデアリ、御尋ニナ

本問題ニ對シテ發表サレタリトシテ御引用  
ニナツタ文書ハ、全文ヲ御讀ミニナツテ載  
キマスレバ、其ノ趣旨モハツキ致スカト  
思フノデアリマセヌ、其ノ當時ノ發表ニモ  
アリマス通りニ、先程モ申サレマシタヤウ  
ニ、洗ヒマスレバ落チルデアラウト云フコ  
トデ、其ノモノノ毒物デアルカ否カト云フ  
コトニ付キマシテハ、別ニ何等言ツテ居ラ  
ナイノデアリマセヌ、隨テ私共カラ申シマシ  
テ、混砂致シマス其ノ砂ソレ自身ガ直チニ  
毒物デアルト云フコトハ申シテ居ラナイノ  
デアリマセヌ、問題ハ之ヲ擧取致シマシタ場  
合ニドウナルカト云フコトニ移ツテ行クモ  
ノダト考ヘテ居リマセヌ、更ニ榮養研究所ノ  
實驗ヲ御引用ニナリマシタケレドモ、アレ  
モ單位ガ御間違ヒデハナカツタカト思フノ  
デスガ、一「キロ」ニ對スル三瓦ト申サレマ  
シタコトハ〇・三瓦ノ誤リデアラウト思フ  
ノデアリマセヌ、何レニ致シマシテモ、其  
ノ榮養研究所ニ於ケル研究ノ結果ハ先程御  
引用ニナリマシタヤウナ結果ヲ示シテ居リ

ノ點ヲ以テ本問題ヲ御解釋ニナルコトニハ  
御無理ガアラウカト昨年モ申上ゲタノデア  
リマセヌ、唯茲ニ附加ヘテ、本問題ニ付テ  
先走リヲスルヤウデアリマセヌ、一言申上  
ゲテ置キタイコトハ、昨年既ニ大臣ヨリ御  
答ヲ願ヒマシタ通りニ、本問題ノ解決ニ當  
ツテ當業者諸君ノ營業ヲ毀損スルカト云フ  
問題ガ私共ノ一ツノ重要ナ問題デアル、隨  
テ此ノ轉業ノコトニ付テハ十分考ヘタイト  
云フコトガ大臣ヨリノ御答辯ニモアツタノ  
デアリマセヌ、ソレヨリ一年間、私共ハ  
主トシテ本問題ノ解決ノ爲ニ苦慮致シタノ  
デアリマセヌ、其ノ結果今日デハ特ニ房州砂  
系統ニ屬シマスモノニ付テハ、土木技術員  
全體ノ多クノ方々ノ會議ト、之ガ實驗トニ  
依リマシテ、此ノ少イ時代ニ「セメント」ニ三  
割程度マデ混ゼマスコトニ依ツテヨリ一層  
「コンクリート」ノ效用ヲ發揮シ得ルモノデ  
アルト云フコトノ結論ニ達シ、只今千葉縣  
ノ山々ヲ歩キマシテ、之ヲ如何ニスレバ工  
業化シ、適當ナルモノトシテ出シ得ルカノ研

イ、腹ノ中ニ入ツタチカカアルカナイカト  
云フコトハ分ラヌ、斯ウ言ハレタ、ソレカ  
ラ榮養研究所ノ動物試驗モ引用サレマシテ、  
私ニ向ツテ、私ガ一日最高量ヲ三瓦ト言ヒ  
マシタノハ、〇・〇三瓦ノ間違ヒデハナイカ  
斯ウ言ハレマシタガ、是ハアナタノ方ガ間  
違ヒデハアリマセヌカ、〇・〇三ト〇・三ト三  
瓦トノ三ツノ群ニ分ケテヤツテ居ルノデア  
リマセヌ、アナタハ一番少イ〇・〇三ダケヲ御  
考ニナツテ居ルカモ知レマセヌガ、〇・〇三  
ツツ毎日食ハセタノモアレバ、〇・三ツツ食  
ハセタノモアレバ、三瓦ツツ食ハセタノモ  
アル、共ニ五箇月間繼續シタノデアリマセヌ、  
サウシテ其ノ結論ノ中ニドウ言ツテ居ルカ  
ト云フト、分量ヲ少クヤツタ場合モ、多ク  
ヤツタ場合モ別ニ差別ガナイト言ツテ居ル、  
モウ一遍アナタハアノ研究報告ヲ繰返シテ  
ドウ御讀ミニナツテ下サイ、數字ハ三歲  
ノ兒童ト雖モ偽ルコトガ出來ナイ、數字ガ  
物ヲ言フノデアリマセヌカラ、斯ウ云フコト  
ハ須ク眼光紙背ニ徹スベシ、苟モ科學的ノ

報告ヲ讀ム場合ニハ、其ノ背後ニハツキリ  
眼光ガ徹ラナイトイケマセヌ、是ハアナタ  
ト私トノ争ダケデハナイ、争ノ出來ナイ  
點デアリマセヌカラ、モウ一遍アナタハ  
能ク御讀ミニナツテ載キタイ、或ハソレガ  
アナタノ錯覺ノ原因デアハナイカト私ハ思フ  
斯ウ云フ譯デ、直チニ答アリト云フ斷定ハ  
出來ナイケレドモ、處ガアルカラト云フノ  
ハ一體ドウ云フコトデアリマセヌ、罪ヲ犯  
シタ者デモ罪ノ疑ハシキ者ハ之ヲ罰セズ、  
摺粉ガ今日マデ二百年間日本ノ米ノ摺粉ニ  
用ヒラレテ、未ダ會テ一人ノ醫師モ摺粉ノ  
爲ニ起ツタ病氣ト云フモノヲ見タ者ハナ  
イ、サウシテ是ガ有ユル方面ニ於テ利用サ  
レテ居ル、摺粉ハ消化物デアハナイ、全クア  
レハ微細ナ、機械的ナ働キヲスルモノデア  
ツテ、機械的ニ米ノ周リヲ磨イテ行クモノ  
デアツテ害ハナイノデアリマセヌ、次ニ藥用  
ニスル場合ニハ云々ト云フコトヲアナタハ  
仰セラレマシタガ、左様ニ藥用ニ相當量用  
ヒラレテ居ルコトヲ御尋ニナリナガラ、

ヲ飲マセレバ下痢ガ直ル、ソレカラ人間ノ  
胃腸藥トシテ此ノ細カイ成分ノモノガ盛ニ  
毎日新聞ニ發表サレテ、大勢ノ人ニ飲マシ  
テ居ルデアリマセヌ、一體物ニ害ガア  
ルナイト云フコトハ、ソレハ色々ナ言ヒ方  
ガアル、例ヘバ砂糖ト云フモノハ無クテハ  
ナラス榮養品デアル、併シモ試驗動物ニ依  
レバ、砂糖デモ葡萄糖デモ三度々々食餌ト  
等分ニ半分ツツ、鼠ニ飲マセレバ、九日乃  
至三十五日デ皆死ンデシマフ、ソレ程此ノ  
試驗動物ノ鼠ト云フモノハ弱イノデア  
ルガ、其ノ弱イ鼠ガ、今私ガ擧ゲタ程ノ大量  
ヲ五箇月ノ長キニ互ツテ食ハセタニ拘ラズ  
僅カニ其ノ一部分ノモノノ胃袋ニ併抵ガ出  
來タケケアル、此ノ報告ヲ見テ、アナタ  
ハアノ當時ハ衛生上害ガアルト仰シヤツタ  
ガ、今日ハ流石ニ害アリト御斷定ハ出來ナ  
イ、唯處レガアルカラト云フ、ソレデハイケ  
マセヌ、摺粉ヲ今日マデ、親、祖父ノ代カ  
ラ營々トシテ採掘運搬シ、ソレニ依ツテ衣  
食ヲシテ居ツタ人達ハ、アノ當時アナタノ

然禁止シナサイ、害アリト云フ斷定ガ付カ  
ズ、處ガアルト云フヤウナ曖昧ナコトヲ以  
テ正當ナル業務ヲ禁止シテ、其ノ者及ビ其  
ノ背後ニアル所ノ者ノ生活ヲ脅カシテ居ル  
ト云フコトハ、政治家ノ斷シテ爲スベキ所  
デアリマセヌ、之ニ付テモ尙御異存ガ  
アレバ私ハ重ねテ質問ヲ致シマス  
尙ホ此ノ場合附加ヘテ申シテ置キマス  
ガ、摺粉禁止ノモウ一ツノ理由トシテ榮養  
上云々ト云フコトヲ仰セラレタ、ソレハア  
ナタカラ書イテ載イタノニアル、ソレハ何デ  
アルカト云フト「ビタミン」Bガ胚芽及ビ糠ニ  
附イテ居ル、ソレヲ摺イテナクシテシマフト  
「ビタミン」B缺乏症ヲ起スカラ、ソレデ摺粉  
ヲ使ハズニ、七分摺カ半摺ニシテ食ハセヨ  
ウト云フノデアル、新聞ハ殆ドサウ云フ宜  
傳ヲ今日マデ報道シテ居ル、併シ私ハコン  
ナ理窟ニ合ハヌコトハナイト思フ、「ビタミン」  
Bト云フモノハ米バカリカラ求メルモノ  
デハアリマセヌ、他ノ穀類ニモアル、野菜及  
ビ果物ニハ豊富ニアル、米バカリヲ榮養品

ル、其ノ「ビタミン」Bノ世界的發見者デ  
アル鈴木農學博士ハ其ノ著書ニ何ト書イテ  
居リマセヌ、米ヲ七分摺カ胚芽米ニシテ米ノ  
持ツテ居ル「ビタミン」Bヲ捕捉シヨウトス  
ルナラバ、少クトモ現在食ベテ居ル三倍以  
上ノ米ヲ摺ラナケレバナラナイト言ツテ居  
ルノデアハナイカ、ソレ故米バカリヲ脱ンデ  
居ナイデ、野菜其ノ他ヲ適當ニ食ハセヤウ  
ニスルコトガ脚氣ヲ豫防スル爲ニ必要デア  
ル、偏食ノ害ヲ防グ爲ニモ必要デアル、延  
イテ國民ノ健康ヲ良クスル爲ニ必要デア  
ル、私ハ實ハ林サンハ精神的、人格的ニ洵  
ニ尊敬スベキ人ダト思ツテ居ル、アナタガ  
衛生局長ニナツテカラ醫藥制度調査會ノ幹  
事長トシテ、私トハ主義ハ全然反對ノ立場  
ニアリマセヌ、全然醫藥ニ關係ノナ  
イ門外ノ人トシテ、立ツテ、衛生局長ノ任  
ニ就キサウシテ同ジ醫藥ニ經驗ノナイ關係  
ノナイ、知識ノナイ所ノ部下ノ人達ヲ指導  
シ協力シテ、鬼ニモ角ニモ一ツノ意見ヲ立  
テテ醫藥制度調査會ニ臨ンデ堂々ト論議サ



地ノ前カヲツクカモ分リマセカ、カレ  
等ノ實際ノ經驗ヲ聞キマシテ、ヤハリ是ハ搦  
粉ヲ使ハナイト云フ方向ニ向ツテ自分モ進  
ンデ行ツタ方宜シカラウト、斯様ナ判断  
ヲ致シテ、サウ云フ心境ニ今日ハ居ルノデ  
アリマス、併シ又重ネテ今年ノ委員會ニ於  
テ——ソレガ昨年ト御同様ノ議論デアツタ  
カドウカ、ソレハ私ハ存ジマセヌケレド  
モ、熱心ニ御陳述ニナリマシタ、此ノ事ハ  
能ク牢記致シテ置キマシテ、尙ホ自分ノ疑  
念ノ起リマスヤウナ場合ニハ十分ナ調ベヲ  
スル、一遍決メテ後ダカラト云ツテモウ調  
ベヲシナイト云フ譯デハナイ、何時デモ必  
要ナ調ベハスルト云フダケノ裕リヲ以テ、  
方針ハ先程申上ゲマシタヤウナ方針ヲ今日  
モ持ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置  
キマス

○土屋清三郎君 只今ノ大臣ノ御答辯ニ一  
應私モ申添ヘテ置キタイノデアリマスガ、  
サウスルトヤハリ搦粉ヲ禁止シテ行カウト  
云フ御方針ナノデアリマスガ、實ハ昨午地  
方針ハ先程申上ゲマシタヤウナ方針ヲ今日  
モ持ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置  
キマス

○平川主査 是ハ國民衛生上非常ニ重大ナ  
問題デアリマスカラ、政府委員ニ御尋シテ  
置キタイノデスガ、此ノ搦粉ハ衛生上害ノ  
アル虞ガアル、其ノ根據ハ榮養試驗所ノ報  
告ニ依ル、斯ウ云フ風ニ承ツテ置イテ宜シ  
イノデアリマスガ

○林政府委員 結構デゴザイマス  
○吉田國務大臣 私カラモ申上ゲテ置キタ  
イト思ヒマスガ、毒物デハナイケレドモ、  
衛生上害ヲ爲ス虞ガアルト云フ一點ガ私ノ  
今日決定シテ居リマスル理由ヲ申上ゲル點  
デアリマス、今一ツハ、米ノ表ニ付イテ居  
リマスル糠デアリマス、是ハ榮養上必要ナ  
成分デアル、搦粉ヲ洗ヒ落シテ能ク研イデ食  
ベルト云フコトハ、或ハオ米ガ味ガ良タナル  
カモ分リマセヌガ、ソレハ榮養上ニ於キマ  
シテハ損失デアル、搦粉ヲ使フノナラバ能  
ク研イデ食ベネバナラナイ、役所ト致シマ  
カ

○平川主査 私ガ初メ政府委員ニ聽キマシ  
タ點ハ、第一ノ點ノ害ノアル虞アルト云フ  
根據ハ榮養研究所ノ報告ニ依ルノカト云フ  
點デアリマス、先程サウ云フ風ニ私聞キマ  
シタカラ、其ノ點ヲ確メテ置キタイと思フ  
ノデス

○林政府委員 其ノ通りデアリマス  
○土屋清三郎君 モウ是デオ終ヒニシヨウ  
ト思ヒマシタガ、只今ノ大臣ノ御答辯ニ重  
大ナル展義ヲ生ジマシタカラ大臣ニ御尋致  
カ

ニ吸收サレテ百パーセントノ身體ノ中ニ榮  
養トシテ利用サレルノニ、其ノ二割ナリ三割  
ナリ、或ハ一割ノ場合モアリマセウガ、消化サレ  
ズシテ、胚芽ヤ糠ナドト一緒ニ外ニ出テシ  
マツテハ、是ハ非常ナ損失デアリマス、米  
ノ節約ト云フモノハ、人間ノ身體ノ中ニ入  
ラナイ以前ダケヲ考ヘテハイカス、身體ノ  
中ニ入ツテ百パーセントノ利用サレルカド  
ウカト云フコトガ、榮養經濟上ノ重大ナ問  
題デアリマシテ、同時ニ米ノ眞ノ節約デナ  
ケレバナラナイ、唯室内ノ試験、ビタミ  
ンヲ糠ガ持ツテ居ルト云フ學說ダケニ因  
ハレテ、長イ間、國民ノ常食デアツタモノヲ  
直ダ法令テ禁止スルト云フコトハイケマセ  
ヌ、其ノ爲ニドノ位病人ガ出來テ、其ノ病  
人ガ醫者ニドノ位金ヲ拂ツテ居ルカ知リマ  
セヌガ、少クトモ一部ノ虚弱者ノ榮養ヲ害  
シ、健康ヲ害シタト云フコトハ争ハレナ  
イ事實デアリマス、若シ其ノ資料ガ必要デ  
アルト云フナラ關係ノ醫者カラ集メレバ驚  
タ程ノ事例ガ出テ來ルデアリマセウ、

隨テアナタノ御意見カラ行ケバ、魚ヲ其ノ  
儘刺身ダケニスルコトヲ禁ジテ、頭デモ腸  
デモ食フヤウニシナケレバナラナイト云フ  
コトニナラナケレバ論理ガ一貫シナイ、食物  
ハ決シテ米バカリデハナイ、今日ノ日本國  
民ノ一番重大ナル榮養問題ハ米ノ食ヒ過キ  
ニアル、是モ先刻私ガ申シマシタ鈴木博士  
ガ其ノ著書ノ中ニ大キク書イテアル、何デ  
モ彼デモ米々ト云ツテ、米バカリニ偏ツテ、  
米バカリデ榮養ヲ攝ラウトスルカラ、甚ニ  
榮養ノ失調ヲ來シテ病氣ニナル、吉田大臣  
ハ非常ニ度量ノ大キイ方デアツテ、吾々如  
キ者ノ意見ト雖モ必ズ御參考ニサレル方  
ダト私ハ思ヒマスガ、面ヲ置シテ逆耳ノ  
忠言ヲ致シタ譯デアリマス、ドウカ是ハ官  
廳ノ面目ノ問題デヤナイ、國民ノ經濟、榮  
養ノ上ニ重大ナル關係ガアルノデアリマス  
カラ、其ノ意味ニ於キマシテ、土屋ノ言葉  
ガ多少荒カワツタカモ知レマセヌガ、ソコハ  
一ツ大雅量ヲ以テ呑容ニシテ、モウ一應此  
ノ問題ニ付テ御検討ヲ願ヒマス

増スコトガ絕對的ニ東亞新秩序建設ニ對應  
スベキ根本要件デアル、國防ノ根本ニ付テ  
モ、陸軍大臣ハ精神威力ト言フ、物質カト  
云フ點デハ我國ハ實際小サナ國デ、物資ハ  
不足シテ居ル、然ルニ日清、日露ノ戰爭ニ  
勝テ、或ハ今回ノヤウナ大キナ支那事變ガ  
起ツテモビタトモシナイ所以ハ、大和民族  
ト云フ偉イ精神威力ヲ持ツテ居ルカラニ外  
ナラス、ソコデ東亞新秩序ノ建設ニ當ツテ  
内地人口ノ増加ト云フコトガ絕對ニ要件デ  
アル、此ノ人口増加率ガ減リ居ルト云  
フヤウナコトガアツタトスレバ、是ハ洵ニ  
國家ヲ擧ゲテノ山々シキ問題デアルト言ハ  
ケレバナラヌノデアリマス、戰爭ノ直接關  
係ノ數字ヲ上ゲルコトハ出來マセヌガ、私  
ノ調べタ所ニ依リマス、是ハ我國ノ  
統計年鑑ニ依ツテ人口増加率ヲ拾ツテ見タ  
ノデアリマスガ、昭和三年カラ十二年ニ至  
ル數字ヲ拾ツテ見マスルト、人口ガ昭和三  
年ガ千人ニ付テ三四・三八人、約三十四人  
ノ増加ヲ示シテ居ル、ソレガズツト遞減シ

上ノ問題カラト云フナラバ、ドウカ七分搦  
ノ說ニバカリ固執シナイデ、物ハ兩端ヲ叩  
イテ初メテ其ノ真相ヲ知ルノデアリマスガ  
ラ、七分搦ヲ強シテ結果今日市中ニドウ  
云フ聲ガアルカト云フコトヲ御判断願ヒタ  
イ、私共ノ知ツテ居ル注意深イ小兒科ノ醫  
師、ソレカラ内科ノ胃腸關係ノ醫者ナドハ、  
實ニ白米禁止ト云フコトハ困ツタコトデア  
ル、其ノ爲ニ老人ガ下痢ヲ起シ、小兒ガ下  
痢ヲ起スコトガ多イ、ト言ツテ居ル、或人  
ハソレハ通ジガ非常ニ宜クナルノダト言  
フ、併シソレハ通ジガ宜クナルノデアリマス、  
消化シナイカラ下痢ヲスルノデアリマス、  
七分搦ニシマシテカラ子供ノ不消化病ガ非  
常ニ多クナリマシタ、其ノ大便ヲ見ルト、  
胚芽ヤ糠ガ消化シナイ儘ニ出テ居ル、ソレ  
デアリマスカラ、食ベタ米ガ全部ガ消化サ  
レナイデ、其ノ何割ト云フモノハ外ニ出テ  
シマフ、米ノ節約ノ爲及ビ榮養ノ爲ト云ツ  
テ七分搦ヲ御獎勵ニナルケレドモ、實際其  
ノ身體ノ中ニ入ツタモノガ白米ナラバ綺麗

ガ三十人ニ減ツタト致シマスレバ、ソレガ  
ズツト積クト致シマス、十年間ニ千人ニ  
對シテ四十人減ル、ソレガ一千万人ニ對シテ  
四万減ル、七千万人ニ對シテ二十八万人増  
加率ガ減ル、二十八万人ノ増加率ガ十年間  
ニ減ルト致シマス、假ニ數字ノ上カラ計  
算致シマス、二十八万人ガ四倍、四十年積  
キマスト百万人ノ増加率ハ御破算デ「ゼロ」  
ニナツテシマフ、斯ウ云フ重大ナル關係ヲ  
持ツテ來テ居ル、國家百年ノ大計其ノ未ダ  
發セザルニ憂ヘテ是ガ對策ヲ講ズルコトガ  
施政ノ要件デナケレバナラヌ、斯ウ云フ人口  
増加率ノ低減、是ハ私ガ統計年鑑カラ拾ツ  
テ來タ計算デアリマスガ、其ノ他色々事  
情ガアツテ人口増加率ガ減ツテ居ルト云フ  
コトハ、同僚ガ色々機會ニ發言サレテ居  
ルシ、天下周知ノ事實タラントシテ居ル、  
對策ハ別トシテ斯ウ云フ人口増加率ノ減ツ  
テ居ルト云フ事實ニ付テ厚生大臣ハドウ云  
フ風ニ御尋ニナツテ居リマスガ、承リタイ  
○吉田國務大臣 近年ニ至リマシテ日本ノ



云々... 低ト共ニ人口増加率ノ低下ヲ來ス原因ダト思フ、我國ガ人口増加政策ニ付テ深ク研究シナケレバナラヌト云フコトヲ今厚生大臣ハ仰セラレタガ、如何ナル政策ヲ現在持ツテ居ラレカ、又今後之ニ對シ根本的ニドウシヨウト云フ見込ヲ持ツテ行ク御考デアルカ承リタイガ、其ノ前ニ世界ノ人口政策ニ對スル大キナ事例トシテ昨年私ガ調べタ獨逸ノ人口政策ノコトヲ參考ニ申上ゲタイト思フ、獨逸ハ現在八千万ノ人口ガアル、ヒトラーガ政權ヲ取ルト同時ニ一番先キ著手シタノハ「ヒトラー」ハ流石ノ男ダト思フガ、人口問題ニ著眼シテ、千九百三十二年以來結婚貸付金制度ヲ設ケテ、一結婚ニ六百五十馬克ヲ貸付ケ之ヲ年賦償還サセル、一文モナクテモ結婚出來ルヤウニ獎勵シテ居ル、サウシテ千九百三十三年以來毎年約二十万件ニ達シ、從來平均五十万ノ結婚數デアツタモノガ、六十萬、七十萬ト増加シテ居ル、又一方ニハ獨身稅——是ハ結婚貸付金制度ノ

ハアリマスガ、一人ノ子供ニ對シテ月十馬克ヲ支給スル、千九百三十八年ニ於テハ二百五十萬人ノ兒童ガ、一箇月十馬克ツツノ子女補助金ノ恩惠ニ浴シテ居ル、借テ子女ハ育ツタガ、教育ヲ受ケサセナケレバナラヌ、教育ヲ受ケサセ金ガナイ者ニ對シテハ、是亦收入ニ依ツテ一定ノ制限ハアリマスガ、其ノ制限内ノ收入者ニシテ、四人以上子供ノアル者ニ對シテハ所謂教育補助金トシテ一年ニ百馬克ヲ與ヘテ居ル、此ノ教育ノ補助ヲ受ケル者ガ千九百三十五年一年ニ四百萬人ニ達シテ居ルノデアリマス

借テ斯ウ云フ風ニシテ結婚サセ、出來タ子供ヲ育テヤル、其ノ育ツテ來タ者ニ對シテハ教育マデモ授ケル機會ヲ與ヘル、至レリ盡セリノ制度ヲ完備シテ、サウシテ更ニ子供ガ出來テモ、住宅ガナイ、小サナ三疊ノ部屋ニ三人モ四人モ住ンデ居ルト云フコトデハ、折角子供ガ生レテモ子供ガ育タヌ、健康ニナラナイト云フノデ、住宅ヲ造

税ハ掛ラナイ、相續稅モ子供ガ多イト非常ナ扣除ヲ受ケル、稅制ノ上ニ斯ノ如キ制度ヲ設ケテ居ル、千九百三十二年頃ニ「ヒトラー」ガ此ノ政策ヲ執ツテ以來ト云フモノハ效果ハ著シイ、其ノ結果ハ結婚ヲ獎勵ガ之ヲ補助シテ育テヤル、サウシテ更ニソレニ教育ヲ施シ、住宅ノコトモ心配シテヤル、家族ノ生活ニ關シテハ稅制ノコトモ考ヘル、至レリ盡セリノ結果、結婚シテモ心配ガナイ、子供ガ生レテモ心配ガナイ、其ノ安心ノ結果千九百三十三年ニ始ツテ三十四年ニハ既ニ結婚ガ五十萬モ増加シテ居ルノデアリマスカラ、子供ノ生レタノガ一年ニ増加數實ニ二十一万三千名ト云フモノヲ増加シテ居ルノデアリマス、サウシテ其ノ結婚貸付金ヲ得タモノノ中カラ出來タ子供ガ實ニ十四萬三千人ニ達シテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀態デアリマシテ、人口増加率ハ僅カノ間ニ著シキモノガアルト思フノデア

テ行ク所ノ根本基調ノ問題デアリマスカラ、此ノ點ニ對スル確固タル御方針ヲ承リタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 人口増加率ノ減減ト云フコトハ差措ケナイ重要ナ問題デアルト云フコトハ只今申述べタ通りデアリマス、人口問題ノ研究所ハ今度出來タバカリデゴザイマス、從前カラアラリマシタモノハ人口問題ノ研究會ト申シマシタガ、私モソレニハ若干ノ關係ヲ致シテ居リマスガ、ソレ等ノ所デモ年來人口問題ニ付テノ研究ヲ進メテ參ツタノデアリマスガ、厚生省ト致シマシテノ研究機關トシテハ、只今ノ官ノ研究所並ニ其ノ外廓團體ノヤウナ研究會ト云フモノガ今日マダアリマス、是等ハ人口問題ノ文化ノ方面ト申シマスガ、政治的、經濟的ノ方面ト申シマスガ、サウ云フ方面カラノ調査研究立案ヲスルト云フコトノ爲ニ、全力ヲ擧ゲテ活躍スベキ使命ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、一方ニ厚生科學研究所、自然科學

的ナ基礎ニ立チマシテ人口問題ヲ科學的基礎ノ上ニ取扱フト云フ機關ガ、今年カラ又新シイ陣容ヲ以テ整備致シテ發足スル譯デアリマス、是等ノ研究機關ニ於キマシテ更ニ研究致シマスル結果ト致シマシテ、實際行政政治ノ上ニ今後有效ニ現レテ行クヤウニナラナケレバ、何シニモナラナイト思ヒマス、唯研究ノ爲ニ研究スルト云フコトデハ國家ノ施設トシテノ意義ヲ爲サナイ、其ノ事ノ爲ニハ出產ヲ回避スルト云フヤウナ傾向ガ文化ノ進ムニ連レマシテ段々激シクナリマス、是モ人口増加率デアリマセヌデ、出產率ノ減減ノ傾向、或ハ大都市ニ於テ殊ニ此ノ傾向ノ著シイコト等統計ノ結果カラ見マシテ非常ニ憂慮セラレルヤウナ現象ガ現レテ居リマス、一體人口ノ増加率ノ減減致シマスコトハ、直接ノ經濟上ノ原因、結婚難、或ハ生活難ト云フコトガ直接ニ其ノ原因ヲ成スコトモ無論アルデアリマセウケレドモ、サウ云フコトニ怯エテト申シマスカ、或ハ子供ヲ育テ苦勞ヲ避ケルト申シ

モ取ツテ以テ我國ノ參考ニシ得ルモノガアラウト思ヒマス、是ハ私見ヲ申上ゲルヤウデ其ダ恐縮デアリマスガ、人間ガ結婚ヲシテ子女ヲ産ミ、ソレヲ育テルト云フコトハ、天地ノ公道、人倫ノ常道デアリマシテ、補助金ヲ貰ツタカラ結婚スルトカ、費用ヲ貰ツタカラ子供ヲ育テルト云フコトニナツテハオ終ヒダト思ヒマス、唯サウ云フ事ノ價値ヲ全部否定スルノデアリマセヌケレドモ、サウ云フ事ニバカリ頼ツテ居ツテモ駄目ダラウト思フノデアリマス、現ニ「ヒトラー」政權ニ於キマシテハ其ノ點ニ付テ相當效果ヲ擧ゲテ居リマスルガ、ソレハ唯金ヲ出シテ居ツタト云フコトデハナイト思フノデアリマシテ、「ナチ」ノ政策ハ人心ノ指導ト云フ事ニ非常ナ力ヲ注イデ居リマス、日本ノ社會、日本ノ國柄ト致シマシテハ、「ナチ」以上ニ其ノ點ニ力ヲ注ガナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、唯唯物的政策ダケテ效果ヲ達シヨウトハ思ヒマセヌガ、ソレ等ノ中ニハ多分ニ參考ニスベキモノガ

デマダ不十分ナ所ニ大イニ力ヲ入レ、或ハマダヤツテ居ラナカッタ仕事デ、田村君ノ御心配ニナリマスヤウナ、日本ノ人口ノ數ノ保持ト云フヨリハ、向上ニ資スルヤウナ政策デ工夫シナケレバナラヌモノガ多クアルト思ヒマス、是ハ其ノ事ニ著手シナイ前ニ私ガ理想ダケヲ述ベテモ、此ノ委員會ニ於ケル研究ト致シマシテハ甚ダ相濟マナイコトダト思ヒマスカラ、餘リ色々ナ政策ヲ申上ゲルコトハ控ヘマスガ、心持ハ左様ナ所ニ置イテ、此ノ問題ノ解決ニ骨折ツテ見タイト考ヘマス

○田村委員 今ノ厚生大臣ノ人口問題ニ對スル御意見ニハ私ハ深ク敬意ヲ表シタイ、併シ此ノ内閣ハ何時シテカ分ラナイ、折角人口問題體位向上問題等ニ付テ確信ヲ持タレ、政策ノ方向ヲ持タレテ居ル現在ノ厚生大臣モ、何時シテカ分ラナイト云フコトヲ考ヘテ戴カナケレバナラヌ、日本ノ施設ハ大體手緩イコトガ多イ、調査研究ニ名ヲ藉ツテ、チツトモ實效ヲ擧ゲナイ、今結婚シテ

一二件簡單ナコトヲ承リタイ、簡易保險問題ノコトヲ承ツテ置キタイ、簡易保險制度ハ此ノ頃非常ニ發達シテ來テ居リマス、近頃ハ最高額七百圓マデ上ゲテ來テ居ル、私ハ保險制度ニ付キマシテハ根本的ニ斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ル、保險ハ現在マデノ發達過程ニ於テハ民營企業デ宜カッタ、併シナガラ是ハ國民生活ニ重大ナル關係ヲ持ツテ居ツテ、而モ大多數ノ國民ガ關係シテ居ルモノデアルカラ、相當ナ公共性ト公益性ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フコトカラ申シマシテ、現在ニ於テハ最早ハ保險ハ國營ニスベキ點ニ到達シテ居ルノデアリカト思フノデアリマス、昨年モ私ハ議會ニ於テ此ノ主張ヲ爲シタ一人デアリマスガ、ソレハ現在マデニ保險ガ發達シテ來タニ付テハ、所謂民營企業ノ功績ハ認メナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレガ及ボシタ所ノ財界ヘノ效果、是ハ認メナケレバナラヌ、併シソレダカラト云ツテ、其ノ結論トシテ何時マデモ民營デ宜イト云フコトハ申上ゲラレナイ、私ハ國營ヲ辯護スニ奉ジテ居リマス



詐欺ト云フノ金ハ取ラレテシマツテ牢獄ニ繋ガレト云フ、是ハ現在ノ保險制度ノ一片鱗デアリマスガ、サウ云フ弊害ガ民心ニ與ヘル影響ハ實ニ大ナルモノガアルト申サナケレバナラス、サウ云フ點カラ私ハ現在ノ民營保險ヲ國營ニスベシト言フト、民營保險會社ノ主張スル所ハ、イヤ保險國營ヲヤルト、保險料金ガ高クナル、民營ニシテ置ケバ保險料ガ安イ、保險料ノ安イ方ガ得ダト言フ、追究シテ見ルト此ノ一點ナノデス、所ガ現在何万圓ノ保險金ヲ掛ケル者ハ別デスガ、千圓、二千圓、三千圓位ノ保險金ヲ掛ケル者ニ取ツテハ、保險掛金ノ高イ安イハ問題デハナイ、掛ケタ保險ガ間違ハナイト云フコトト、ソレカラ掛ケタ保險金ガ心配ナシニ取レルト云フコトガ大事ダ、百中ノ九十八ハ保險料ノ高イ安イト云フヨリモ、保險制度ニ對スル安心ト、保險支拂金ニ對スル信頼、是ガ重點ニナツテ來テ居ルト思フ、此處ニ私共ガ保險國營制度ヲ主張スル根本ガアルノデアリマス、民營保險ハ唯保險料ガ安イト

出來ス、ソコデ問題ハ漸次國營制度ニ近付クヤウニ簡易保險制度ヲ直シテ行ク、私ノ調ベタ所ニ依ルト、民營保險ノ中ニ於テハ二千圓以下ノ保險ガ大體九〇%ニ近イ、所ガ一方簡易保險ニ於テ五百圓ヲ七百圓ニ上ゲタラ、簡易保險ニ入ツテ來ル者ガ非常ニ増加シテ居ル、是ハ私ガ先程申上ゲタヤウニ保險制度ニ對スル安心、民營保險ニ入ツテ居ルト、何時保險詐欺ニ掛ルカ分ラナイ、ウツカリ判ヲ捺シテ罪ニナルカ分ラナイ、斯ウ云フヤウナコトカラ簡易保險ニ加入スル譯デス、ソコデ之ヲ百尺竿頭ニ一步ヲ進メテ、七百圓ニシテ效果ヲ擧ゲ得ラレルナラバ、最近簡易保險加入者ノ激増振リハ非常ナモノデ、民營保險ガ勸誘員ヲ派遣シテヤツテモ、是ハ逆モ比較ニナラナイ、私ノ調ベタ經驗カラ申シマシテ、民營保險ノ契約ノ増加率ト簡易保險ノ増加率ハ雲泥ノ差ガアル、ソレ程簡易保險ノ方ハ増加シテ居ル、七百圓ニ引上ゲタコトハ保險國營ニ對スル一步ノ前進デス、引上ゲテ效果ガナカッタナラバ考ヘナケレバナラスガ、非常ナ

出來レバ左様ニ致シタイト考ヘテ居リマス、其ノ點ニ付キマシテハ、後程又政府委員カラ御説明申上ゲルコトガアルドラウト思ヒマスガ、生命保險ヲ國營ニスル前提トシテ、其ノコトヲ實行シタラバドウカト云フコトニ付キマシテハ、私今日マダ結論ヲ得テ居リマセス  
(主査退席、石坂主査代理著席)  
實ハ民間ノ生命保險、傷害保險ノ監督ト云フヤウナコトハ、厚生省官制ガ決リマスル時ニ、厚生省ノ主管カラ外サレテ居リマシテ、生命保險事業ハ商工省ノ主管ニナツテ居リマス、併シ保險ト云フコト全體ヲ通覽シテ、保險行政、殊ニ社會生活ニ最モ深い關係ノアリマスル生命保險ト云フモノニ付キマシテハ、厚生省ハ假ニ主管官廳デアリマセスデモ、常ニ其ノ問題ヲ忘レテハナラヌト云フコトハ十分辨ヘテ居リマス、保險ノ公益性ト云フコトニ鑑ミマシテ、將來日本ノ保險ヲドウ云フヤウニ正シク育テ行ツタラ宜シイカト云フコトニ付キマシテハ、自分一己ト致シマシテ色々考ヘテ居ル所モ

的願調ニ行キヤシナイカト云フ御心持モ分ルノデアリマスガ、其ノ二ツトモ今日ニ於テハヤツタラ宜イトモ惡イトモ何トモ言ヘス、田村君ノ御考ニナル立法ノ趣意ト申シマスルカ、サウ云フコトニ對シテノ可否ヲ申上ゲル程ニハマダ職務ノ上カラ吉田ノ考ヲ繼メテ居ラナイノデアリマス、十分ニ研究スル値打ノアル問題ダトハ考ヘテ居リマスルガ、結論ハマダ申上ゲル譯ニ參リマセス  
○田村委員 ドウモ何等カノ考ヲ持ツテ居ルヤウダケレドモ、厚生大臣ガカラ言ヘナイト云フヤウナ風ニ承リマスガ、御遠慮ナサルニハ及バナイト思フ、思フ存分其ノ方針ハ國務大臣トシテ述ベテ載キタイト思フノデアリマス、更ニ最後ニ一ツ承リタイノハ、是ハ厚生省トハ一寸所管ガ違フカモ知レマセスガ、相關聯シテ居ルト思ヒマスノデ、若シ厚生大臣デイケナケレバ、國務大臣トシテ此ノ際御答辯ヲ願ヒタイト思フ、ソレハ震災保險ニ關スル點デアリマス、是ハヤハリ國民ノ生活ニ深い關係ヲ持ツテ居リ

マス、現在ノ商工省ノ保險局ニ於テ、此ノ問題ハ研究シテ居ル管デアアル、私モ全國多數ノ人々カラ震災保險制度ト云フモノヲ新設シタラドウカト云フ諸願ガ數年前來議會ニ參リマシテカ、私ガ其ノ紹介ヲシテ政府ニ申達シテ居ルノデアリマスルガ、其ノ紹介ヲシテ居ル中ニ、自分モ震災保險制度ヲ一ツ拵ヘナケレバナラス、併シナガラ是ハ採算ノ上カラハ震災保險制度ト云フモノハ考ヘラレナイ、ソコデドウシテモ之ヲヤルニハ國營ニ依ツテヤル以外ニナイト思フ、私ハ徳川時代以來ノ震災ノ數、之ニ基ク統計、サウ云フモノヲ調ベテ居リマシテ、大體ノ目安ハ付クノデアリマス、數字ヲ詳々ト申上ゲルコトハ一切省キマスガ、小サナ保險金ヲ與ヘ、其ノ最高ヲ一千圓若クハ二千圓位ニスル、サウシテオ互ニ相互扶助ノ見地ニ立ツテ僅ノ保險料ヲ支拂フコトニ依ツテ、家ガ倒レタ、家産ヲ失ツタト云フ場合

テ私ノ質問ヲ終リタイト思フノデアリマス  
○吉田國務大臣 震災保險ト云フコトノ内容ニ付キマシテ詳シク伺ヒマスル時間ガ今日ハナイノデアリマスルガ、大體私ノ想像スル所ヲ以テ見マシテモ、有益ナ御著眼デアルヤウニ考ヘマス、恐ラク關係ノ役所ニ於キマシテモ、サウ云フ問題ヲ、御提唱等ニ依ルノデアリマセウガ、相當ノ研究ヲ致シテ居ルノデハナイカト思ヒマス、一ツノ有益ナ御示唆トシテ承ツテ置キマス、又他日ノ機會ニデモ内容等ニ互リマシテ御話ヲ伺ヘレバ仕合セト思ヒマス  
○石坂主査 本日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時開會致シマス、午後五時五十分散會

ハ、現在ノ制度デハ震災約款ガアツテ救ハレナイカラ、サウ云フ所ニコソ國家ガ手ヲ伸ベテ之ヲ救済シテヤル制度ヲ設ケナケレバナラスト思フノデアリマス、一千圓

全ク不可抗力ニ依ツテ路頭ニ迷フ場合



算シテ見ますト、四百五十万石ノ養分分失ハ  
レトシマシテ、今日ノ時價ニ換算シテ一  
億七千二百萬圓ニナリマス、二百四十萬圓  
ノ民間ノ養分ヲ保護スル爲ニ、今日食糧政  
策ガ日本ノ一番ノ問題トナツテ居リマス時  
ニ、其ノ價值ガ一億七千萬圓モ流シテシ  
マフト云フコトヲ、目前ニ見テ居ルト云  
フコトハ、是ハ國策ノ上カラ見マシテモ、  
其ダ當テ得ナイモノト存ジマス、一切ヲ統  
制シテ行キマスル今日ニ於キマシテハ、  
有ニル點ニ於テ摩摺ヲ避ケテ單ニ保守退嬰  
ノ政策ヲ以テ行クト云フ如キ左様ナコトヲ  
許サズ時ニ相成ツテ居リマス、又モウ一ツ  
昨年モ私中上ダテノデアリマスガ、本年ノ  
米穀事情ト云フモノハ、昨年以上ニ益々憂  
慮スベキ状態デゴザイマス、農林大臣ハ食  
糧主管大臣トシマシテ、外國ニ對スル「ゼス  
チニア」、蔣政権ニ對スル「ゼスチニア」ト  
云フ上カラ、樂觀ヲ唱ヘテ居リマスガ、  
モウ農民自體、又社會各方面ニ於テ、本年  
ノ米穀事情ハ昨年以上ナリト憂慮シ、又之  
ニ備ヘナケレバナラヌトシテ居リマス、其  
ノ際ニ混砂精白禁止ヲ即時斷行スルコト云  
フコトニナリマス、今日ノ七分搗ニ致シマ  
シテモ内外地ヲ通ジテ約一千万石食用可能  
ノ糧ヲ獲得出來マス、戰時體制ニナリマス  
ト、家畜ノ飼料ト人間ノ食ベル物トニ付テ、  
人間ト家畜トガ爭奪戰ヲ始メルコトニナリ  
マスガ、左様ナ場合ニ相成ツタ時ニ、今日  
飼料トシテ居リマス所ノ一千万石ノ糧ガ、  
直チニ國民ノ戰時食糧ト轉化スルコトガ出  
來ルノデアリマス、斯ウ云フ急ニ備ヘル爲  
ニモ、之ヲドウシテモ斷行致シマシテ、此  
ノ際ト外ノ難數ト混ゼテ「パン」ヲ拵ヘ、戰  
時食糧ヲ拵ヘテ、急ニ備アリト云フコトヲ

對外的ニ示ス必要ガアルト私ハ存ジマス、  
彼此レ此ノ點ニ思ヒ合セマシテ、是非一ツ  
此ノ際、一日モ早く、只今承リマシタ大臣ノ  
御決意ヲ、早メテ戴キタウゴザイマス、是  
ハ希望ヲ申上ダテ置キマス  
次ニ御同致シタイノハ、今日賃金停止令  
ヲ見マシタ時ニ當リマシテ、米價ガ二回引  
上リ見テ居リマス、賃金停止令ト前後シテ、  
或ハ一回ノ五圓ノ方デアリマシタカ、時期  
ハ失念致シマシタガ、賃金停止令ノ時ニ、  
少クとも五圓値上ニナツタ、是ハ戰時體制  
ヲ完全ニ遂行スルコト云フ上カラ、又低物價  
政策ヲ以テ物價對策ノ基本ト致シマス建  
前カラ、甚ダ以テ寒心ニ堪ヘナイ次第ト  
存ジマス、丁度我國ノ一戸當ノ人口ト云フ  
モノハ、大體五人半カラ六人ノ間ニナル、  
農家ハ五人半デアリマスガ、一般大衆ハソ  
レヨリ少シ多イヤウデアリマス、假ニ之ヲ  
五人半ト致シマシテ、一年一人ガ一石一斗  
何ガシラ食ベルコトニ相成ツテ居リマスカ  
ラ、一家デ以テ年六石食ベルコトニ相成リ  
マス、之ヲ月別ニ致シマス、一箇月ニ五  
斗ヲ食ベル、サウシマス、今日ノ白米ハ  
公定價格四十七圓五十錢デアリマス、月々  
是ガ二十三圓七十五錢ニナツテ居ル、月々  
ノ家計費ニ見マス、五十圓ノ家計ニ於キマ  
シテハ此ノ米ダケガ四七圓ニ相成ツテ居ル、  
七十圓ノ家計ニ於テハ三三圓ニナツテ居  
ル、八十圓ノ家計ニ於テハ二九圓ニナツテ  
居ル、是ハ米ノ價值ト云フモノガ、是等ノ  
階級ノ家計費ニ如何ニ重大ニ占メテ居ルカ  
云フコトヲ證據立テテ居リマス、之ニ對  
シテ政府ハ家族手当二圓ト云フモノヲ出シ  
テ、救済セラルルヤウデゴザイマス、洵ニ  
結構ナコトデゴザイマスガ、モウ少シ突キ

進シテ根本對策ガアルヤウニ思ヒマス、是  
ハ所管達デゴザイマス、此處申上  
ゲルノハ當テ得ナイカモ存ジマセマスガ、是  
ハ農林大臣ニモ是カラ大イニ御意見ヲ聽イ  
テ、決意ヲ固メテ戴キタイと思フデアリ  
マス、今日玄米ト白米トノ價值キト云フモ  
ノハ、四圓五十錢ニ相成ツテ居リマス、玄  
米ノ公定價格ガ四十三圓、白米ガ四十七圓  
五十錢、四圓五十錢ノ差デアリマス、所  
ガ農家自體ガ消費スル米ヲ三千万石ト見テ  
消費ガ大體八千万石トシテ殘餘ハ五千万石  
トナリマス、此ノ五千万石ヲ四圓五十錢ニ  
掛合セマス、二億二千五百萬圓ニ相成リ  
マス、此ノ二億二千五百萬圓ト云フ金ガ、今  
日全國ノ米屋サンノ收入ト相成ツテ居ルノ  
デアリマスガ、此ノ米屋サンノ方モ、然ラ  
バ生活ハソレレデ樂カト云フト、樂デハゴザ  
イマセマス、産組ハ進出シテ參リマス、東京、  
大阪ノ米屋ハサウモデアリマセマスガ、地方  
ニ於キマスル米穀商ハ、日々衰運ノ一途ヲ  
辿ツテ居ルノミデゴザイマシテ、彼等モ言  
ウテ居リマス、私共ノ前途ハ十年經ツタラ  
ドウナルカ分リマセマス、是ハ大キナ一ツノ  
社會問題デアリ何トカ解決セネバナリマセ  
マス、而シテ他面ニ於テ二千万圓ト云フ金  
ノ問題ト相成ツテ來マス、此ノ際米穀專賣  
ヲ斷行致シマス、今日六百五十萬石ヲ政  
府ガ買付ケテ、六大都市ニ配給ヲ致シテ居  
リマスガ、買付費用ハ一文モ掛ツテ居リマ  
セマス、是ハ二千万石買ハウガ、三千万石買  
ハウガ、一文モ掛リマセマス、集荷ニ於キマ  
シテハ零デアリマシテ、配給手段トシテ二  
億二千五百萬圓ト云フ金ガデアリマス、此  
ノ國策ヲ斷行スル時ニナリマス、賃金停  
止令ニ對スル所ノ立派ナル社會政策ガ出來

ルノデアリマス、假ニ一千万石ノ米ヲ、賃  
金停止令ニ依ツテ困ツテ居ル方面ニ振向ケ  
ルトシテ、之ヲ五圓安クスルト致シマシテ  
モ、五千万圓デゴザイマス、マダ一億七千  
五百万圓殘ツテ居リマス、斯様ナ數字ヲ示  
シテ居ルノデアリマス、ドウカ一ツ厚  
生大臣ニ於キマシテモ、所管達ヒデハアル  
カモ知レマセマスガ、米穀政策ヲ單ニ農林省  
ノ所管ニノミ御任セニナラズシテ、斯様ナ  
方面カラ考究セラレマシテ、一ツ此ノ點ニ  
贊成ヲシテ戴キタイ、今直チニ贊成デア  
ルト御言明ハ出來ナイノデゴザイマセウガ、  
私共トシテハ贊成ノ意向ニ御傾キニナルコ  
トヲ熱願スルノデアリマス、此ノ點ニ關ス  
ル御意見ヲ承リタイ  
○吉田國務大臣 米ノ專賣制度ヲ實施スル  
カドウカト云フコトハ、私カラ申上ゲルマ  
デモナク、年來ノ問題デゴザイマス、其ノ  
事ノ考究ハ斯様ナ戰時體制ニ於キマシテ、  
殊ニ其ノ問題ノ研究ヲシ、適當ナ解決ヲ見  
出ス日ガ以前ヨリハ差迫ツテ居ルカト思フ  
デアリマス、固ヨリ厚生省ト致シマシテ  
米穀政策ニ付キマシテハ、所管ガ異ツテ居  
ル次第デアリマス、從前ノ米穀政策ノ  
決定ノ経緯ニ見マシテモ、又今日ノ現狀カラ  
考ヘマシテモ、米穀政策ハ國民生活ノ見地カ  
ラ、或ハ社會政策ノ見地カラ、勞働對策ノ見  
地カラモ檢討セラレテ決定セラレルベキモノ  
デアルト考ヘルノデアリマス、農林省ニ於キ  
マシテモ從前其ノ事ヲ認メナイノデハナイ  
ノデアリマシテ、委員會ノ構成等ニ於キマ  
シテモ、其ノ事ニ一應ノ注意ガ拂ハレテ居  
ルヤウナ次第デアリマス、米穀政策  
ノ決定ト云フ事ハ、農林省ノミニ於テナサ  
ルベキモノトハ私共考ヘテ居リマセマス、國

民生活方面カラ、又厚生省所管ノ保健衛生  
ノ上カラモ、或ハ社會政策ノ上カラモ、消  
費ヲ代表スルコト云フ方面カラ考ヘマシテモ、  
十分ノ關心ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、  
此ノ米穀ノ問題ト云フノハ我國ニ取リマシ  
テモ一番基礎ノ大事ナ問題デアリマス、カ  
ラ、專賣制度ニ贊成スルシナイト云フコト  
ニ付キマシテハ、今日意見ヲ申上ゲラレ  
マデノ段階ニ達シテ居リマセマスガ、御趣旨  
ハ能ク分ルと思ヒマス  
○吉田委員 只今大臣ノ御答辯ヲ承リマシ  
テ洵ニ意ヲ強ウスルモノガデアリマス、此ノ  
上トモ米專賣ニ關シマシテハ、一ツ十分ノ  
御研究ヲ願フテ、正ニ是デナケレバ、ナラ  
スト大臣ガナラレヤウニナルコトガ、國  
家ノ爲ノ幸福デアリ、國民ノ爲ノ幸福デア  
リマスカラ、此ノ點ヲ是非御願致シマス、  
私ノ質問ハ之ヲ以テ打切りマシテ、一番終  
ニ時間ガ餘リマシタラ又少シ質問サセテ戴  
キタイと思ヒマス  
○平川委員 宜シウゴザイマス——次ハ塚  
本重藏君  
○塚本委員 少シバカリ此ノ機會ニ厚生大  
臣ニ御尋シタイノデスガ、其ノ前ニ一ツ御  
伺シテ置キタイコトハ、本日午前九時ノ開  
議ニ於テ家族手当ヲ最後ニ決定スベク開  
議ニ付議セラレト云フコトガ新聞ニ傳ヘ  
ラレテ居ツタノデアリマスガ、閣議決定ヲ  
見タノデアリマセウカ、見タノデアリマセウ  
内容ハ如何ニ決定セラレタノデアリマセウ  
カ、簡單ニ御述ヲ願ヒマス  
○吉田國務大臣 御尋ノ點ハ本日閣議決定  
ヲ見マシテ、直チニ各方面ニ於キマシテ施  
行ノ手續ヲ執ルコトニ致シマシタ、内容ニ  
付キマシテハ、私共ノ期待スル程ノ實質ヲ

十分備ヘルト云フコトニ參リマセスコトヲ  
甚ダ残念ニ考ヘルノデアリマスガ、是ハ總カ  
豫算總會ノ席上ニ於テ申上ダテ置イタカ  
ト思フデアリマスガ、何分生活ノ方面ノ  
考慮カラ出テ居ル事デアリマスケレドモ、手  
當ヲ支拂フ方ノ側ノ事ヲ考ヘマシテ、可  
リ各方面ニ及ブコトデアリマス、官廳、  
公共團體等ノ下級給料生活者ノ問題モ併セ  
テ考ヘネバナリマセマス、又一方資金問題ノ  
根本トドウ決メタルコト云フコトニ付テ基  
礎ノ問題ガマダ決ツテ居ラヌト云フ關係  
モアリマス、極メテ一時的ノ已ムラ  
得ザル措置トシテ行ハレタモノデアリマス  
ルカラ、程度ニ於キマシテハ餘リ十分ニ國  
民ノ生活ヲ緩和スルコト云フ效用ヲ、是デ大  
丈夫ト云フコトマデ上ダテ得ナイコトヲ甚  
ダ残念ニ思フテ居ルノデアリマスガ、月收入  
大體勞務者ニ付テ言ヒマセマス、月收入  
七十圓未滿ノ、十四歳以下ノ扶養家族ヲ抱  
ヘテ居リマス人々ニ對シマシテ、其ノ工場  
ナラ工場ノ全體ノ員數ニ對シテ、一人當リ  
二圓ニ當ル家族手当ト云フモノヲ支給シテ  
モ宜イ、ソレヲ賃金臨時措置令、今ノ「スト  
ッ」令ノ例外トシテサウ云フコトヲ認メ  
ヨウ、之ヲヤル場合ハ地方長官ノ許可ニ依  
ツテヤリ得ルコト云フコトヲ、各地方長官ニ  
通達致スコトニナツテ居リマス、又勞務者  
以外只今申シマセウナ公共團體、國等ノ  
職員備人ト云フモノニ付キマシテモ、只今  
申シマシタヤウノ標準ニ準ジテ、出來得ル  
限り生活不安ノ緩和ニ資スルヤウニト云フ  
コトデ、是ハ各縣々々デ其ノ向キ——ニ通  
達致スコトニナツテ居リマス、尙ホ詳細シ  
コトハ政府委員カラ申上ダテモ宜シウゴザ  
イマス、大體ノ骨組ハ左様ナコトデアリマ

○塚本委員 豫算總會デモ此ノ點ニ關シ  
テ私ノ所見ヲ申上ダテ、厚生大臣ノ御考慮  
ヲ御願シテ置イタノデアリマスガ、其ノ點  
ニ付テハ何等私共ノ主張ガ容レラレテ居  
ナイ、甚ダ残念ニ考ヘルノデアリマス、更  
ニ遺憾ナコトハ、此ノ前ノ厚生省ノ私案ト  
致シマシテハ、六十歳以上ノ老人ヲモ含メ  
ルヤウナ腹案ニナツテ居ツタと思フノデア  
リマスガ、今ノ御答辯ニ依リマシテモ、又新  
聞ニ散見スル所ニ依リマシテモ、老人ノ事ガ  
取除カレテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ點如  
何デアリマス、又モウ一ツハ支給ニ付キ  
マシテノ所要ノ經費ハ、是ハ新規ノ豫算ニ  
計上シナイデ、人員費、又ハ内務省土木局ノ  
如キ現業員ノ給與ヲ事業費トシテ計上シテ  
アル官衙ハ、其ノ事業費中ヨリ適當ニ捻出  
按配セヨト云フコトニナツテ居リマスガ、  
其ノ結果トシテハ家族手当ヲ出シタ爲ニ或  
ハ一般ノ賞與デアルトカ、手當アルト云  
フモノガ削減セラレテ、結局全體ヲ通ジテ一  
箇年ノ收入ト云フモノノ上ニハ何等ノ増額  
ニナラナイト云フ結果ニナリハシナイカ、ソ  
レカラ又一方ニハ之ニ該當シテ居ナイ人達  
ガ當然支給セラルベキ手當デアルトカ、賞  
與デアルト云フモノガ削減セラレテ、之ニ  
該當スル家族ヲ持ツテ居ル者ノ方ニ流用セ  
ラレト云フ結果ニナリハシナイカト云フ  
コトヲ考ヘルノデアリマスガ、其ノ點如何  
デアリマス

タ、第一決マリヤウガ運カワツタト云フコト  
モ洵ニ申譯ナイと思フノデアリマスガ、當  
初ハ老人ト云フコトニナラズ、多分扶養家  
族ヲ持ツテ居ルコト云フコトデアツタカト思  
フデアリマス、ソレガ十四歳未滿ノ扶養  
家族ト云フコトニ限ラレヤウニナリマシ  
タコトハ、ソレガ範圍ガ限定サレタ譯デ  
アリマス、ソレ等ノ育子盛リ——乳幼児ヲ  
モ含ミマシタ家族ノ扶養ト云フコトハ、殊ニ  
戰時下ニ於テ最モ大切ナコトデアラウト云  
フ點デ、ソコニ力點ヲ注イダノデアリマス、  
年寄ヲ省イタト云フコトハ年寄ヲ粗末ニシ  
テ宜イト云フコトデアナイノデアリマシテ、  
出來レバ老幼ヲ間ハズ扶養家族ガ多ケレバ  
多イ程生活ハ困難ヲスルノデアリマス、カ  
ラ、ソレハ入レタカツタノデアリマス、何  
分ニモ第二點トシテ御指摘ニナリマシタ  
ウニ、既定豫算ノ範圍内ニ差當リ至急ニ賄  
イタイト云フ實情モアリマスガ爲ニ、斯  
様ニ程度ニ付テハ制限ト云フモノガキツク  
ナツテ居リマス、コトハ甚ダ残念ナノデア  
リマスガ、併シ第二點デ御尋ニナリマシタ  
ヤウニ、此ノ家族手当ヲ支給スルガ爲ニ年  
末賞與ガ減ルトカ給與ガ減ルトカ云フコト  
ノナイヤウニト云フ趣意ハ極メテ明瞭ナノ  
デアリマス、今マデノ給與ニ加ヘテ是ダケ  
ノ金額ヲ増ス、斯ウ云フ趣意ナンデアリマ  
ス、色々各省ト致シマシテハ、ヤリ繰リノ  
難カシイコトモアルヤウデアリマスガ、閣  
議ノ席上ニ於キマシテハ各大臣トモ何トカ  
ヤリ繰ツテ是ダケノコトハ切メテシタイト  
云フ熱意ハ皆サン悉ク示シテ下サレテ居  
タノデアリマス、金額ノコトモ是デハ少シ  
少イデアナイカト云フコトヲ仰シヤツタ向  
キモアルノデアリマスケレドモ、直チニ今

第一類第六號 豫算委員第五分科會議錄 第一回 昭和十五年二月十六日

十分備ヘルト云フコトニ參リマセスコトヲ  
甚ダ残念ニ考ヘルノデアリマスガ、是ハ總カ  
豫算總會ノ席上ニ於テ申上ダテ置イタカ  
ト思フデアリマスガ、何分生活ノ方面ノ  
考慮カラ出テ居ル事デアリマスケレドモ、手  
當ヲ支拂フ方ノ側ノ事ヲ考ヘマシテ、可  
リ各方面ニ及ブコトデアリマス、官廳、  
公共團體等ノ下級給料生活者ノ問題モ併セ  
テ考ヘネバナリマセマス、又一方資金問題ノ  
根本トドウ決メタルコト云フコトニ付テ基  
礎ノ問題ガマダ決ツテ居ラヌト云フ關係  
モアリマス、極メテ一時的ノ已ムラ  
得ザル措置トシテ行ハレタモノデアリマス  
ルカラ、程度ニ於キマシテハ餘リ十分ニ國  
民ノ生活ヲ緩和スルコト云フ效用ヲ、是デ大  
丈夫ト云フコトマデ上ダテ得ナイコトヲ甚  
ダ残念ニ思フテ居ルノデアリマスガ、月收入  
大體勞務者ニ付テ言ヒマセマス、月收入  
七十圓未滿ノ、十四歳以下ノ扶養家族ヲ抱  
ヘテ居リマス人々ニ對シマシテ、其ノ工場  
ナラ工場ノ全體ノ員數ニ對シテ、一人當リ  
二圓ニ當ル家族手当ト云フモノヲ支給シテ  
モ宜イ、ソレヲ賃金臨時措置令、今ノ「スト  
ッ」令ノ例外トシテサウ云フコトヲ認メ  
ヨウ、之ヲヤル場合ハ地方長官ノ許可ニ依  
ツテヤリ得ルコト云フコトヲ、各地方長官ニ  
通達致スコトニナツテ居リマス、又勞務者  
以外只今申シマセウナ公共團體、國等ノ  
職員備人ト云フモノニ付キマシテモ、只今  
申シマシタヤウノ標準ニ準ジテ、出來得ル  
限り生活不安ノ緩和ニ資スルヤウニト云フ  
コトデ、是ハ各縣々々デ其ノ向キ——ニ通  
達致スコトニナツテ居リマス、尙ホ詳細シ  
コトハ政府委員カラ申上ダテモ宜シウゴザ  
イマス、大體ノ骨組ハ左様ナコトデアリマ

○吉田國務大臣 此ノ案ヲ決定ヲ見マスル  
マデニハ各省關係ノ人々ノ間ニ、隨分私共  
カラ考ヘマス、長イ間ニ互リマシテ、非常  
ニ細密ノ打合せガ遂ゲラレタノデアリマス、  
今日漸ク閣議決定ヲ見ル運ビニナリマシ

今日漸ク閣議決定ヲ見ル運ビニナリマシ



實行シヨウトシマス、此ノ程度ヲ參リ  
 マスルヨリ外扱ヒヤウガナイノデ斯様ナ  
 コトニナツテ居リマス、其ノ點苦心ノ  
 存スル所ハ御諒察ヲ願ヒタイト思フノデア  
 リマス、資金ノコトニ付キマシテハ本會議  
 ナリ或ハ豫算總會ナリ段々御話ガ出テ居  
 リマス、只今初給貸金デケテ現制  
 シテ居リマス、資金政策方面カラモ、  
 亦先刻來吉植君カラ御話ノアリマシタヤウ  
 ナ生計費其ノモノヲ成タケ下サセテ、生活  
 ヲ確保スルト云フ方面カラモ、隨分此ノ際  
 ニ於キマシテハ色々施設ヲ致シマシテ  
 國民生活ノ安定確保ト云フコトニ全力ヲ注  
 ガネバナリマセヌノデ、停止令ニ對スル一  
 ツノ至急已ムヲ得ザル措置一ツトシテ  
 慎行ヲ今同ノ家族手當ハ持ツテ居ルノダト  
 云フ點ヲ御諒解下サイマシテ、外ノ大切ナ  
 國民生活確保ノ方面ニ於キマシテモ、十分  
 努力ヲサシテ戴クツ云フ積リデアリマス  
 コトヲ御諒解願ヒタイト存ジマス

○塚本委員 此ノ家族手當ヲ支給スルト云  
 フコトノ爲ニ其ノ他ノ給與ガ減ルト云フコ  
 トニハ、斷ジテナラヌト云フ言明ヲ得マシテ  
 安心シタノデアリマスガ、豫算總會デモ申  
 シマシタヤウニモウツノ之ニ依ツテ生ズ  
 ル點ハドウ云フ風ニ解決シタラ宜イデセウ  
 カ、即チ私ガ豫算總會デ申シマシタヤウニ  
 七十圓未滿ト云フコトニスル、七十一圓取  
 ツテ居ル者ハ四人五人ノ子供ヲ持ツテ居ツテ  
 家業手當ガ實ハナイ、七十圓未滿ノ者ハ五  
 人子供ヲ持ツテ居レバ十圓實ヘル、ソコニ非  
 常ナ不均衡ガ生ズルト思フノデアリマスガ、ソ  
 レハドウ云フ風ニ按排セラレレバデアリマス  
 ○吉田國務大臣 七十圓未滿ト限リマシタ  
 ニ付キマシテハ左様ナ點モアル譯デアリマ

スルガ、ソレ等ノ點ニ關スル極メテ詳細ナ  
 法律ノ條文ノ立案ヲスルト云フコトモ今  
 同ノ取極メ、只今申上ゲマスルヤウナ趣  
 旨ニ鑑ミマシテ如何デアラウカト云フノデ  
 スウ云フ簡單ナ取極メニナツテ居ルノデア  
 リマス、此ノ取極メ自體ニ依ラズシテ、ソ  
 レ等ノ御話ノ不均衡ナ點ハ他ノ可能ナ方法  
 ニ依ツテソレノ事業々々デ工夫スルコ  
 トニ期待致シタイト考ヘテ居リマス

○塚本委員 ソコニ餘裕ガ殘サレテ居ルト  
 云フコトヲ稍、安心スル次第デアリマス、尙  
 ホ家族手當ノコトニ付テ色々申上ゲタイノ  
 デアリマスガ、此ノ程度ニ止メマシテ、  
 唯一ツ御伺シテ置キタイノハ、例ハ大阪  
 市電デハ十一月、十二月、本年ノ一月既ニ百  
 五十圓以下ノ者ニ對シテ相當額ノ最高二十  
 圓未滿ノ子女手當ト云フ名目デ以テ家族手  
 當ヲ出シテ居リマス、是ハ厚生省デハ一時  
 中止ヲ命ゼラレタヤウデアリマスガ、大阪  
 市其ノ他東京市デモ之ニ倣ハウトシテ居ル  
 ヤウデアリマスガ、是ハ許可ニナル方針デ  
 アリマス

○吉田國務大臣 一ツノ公共團體或ハ  
 工場等ニ關スル問題ニ付キマシテ、是ハド  
 ウカ、是ハドウカト云フコトニ付キマシテ  
 ハ、只今御答ヲ申上ゲルノモ如何デアラウ  
 カト思ヒマス、請リ其ノ點ハ「スト」ヲ令  
 出ル前ニ決ツテ居リマシタ給與規則ナラ  
 バ此ノ標準ヨリズツト上デアツテモ宜シ  
 イノデアリマス、ソレ「スト」令ニ掛ツ  
 テ居リマス分ハ今度ノ取極メニ依リマシテ、  
 其ノ制限ガ取極メノ限度ニ於キマシテ制限  
 ヲ緩和スルコトヲ地方長官ニ於テ認メヨウ  
 トスルノデ、運用ノ上ニ於キマシテハ出來  
 トスル限リ實情ニ即應スルヤウニシヨウト云フ

コトヲ御答申上ゲル以外、何處ノハドウダ  
 ト云フコトニ付キマシテハ一寸此ノ際申上  
 ゲマスダケノ用意ガナイ次第デアリマス  
 ○塚本委員 之ニモ尙ホ餘裕ガ殘サレテ居  
 ルヤウデアリマスガ、是非一ツはハ既ニ十  
 一月、十二月、一月ト實施シテ來タコトデ  
 アリマシテ、是マデ既ニ收入ノ一部ニナツ  
 テ居ルノデアリマス、ソレガ突如減ラサレ  
 ル、或ハ貫ヘナクナルト云フコトデハ労働  
 者モ職員モ非常ニ大キナ打撃ヲ受ケマスガ  
 ラ、既ニ實行シテ來タコトデカハ是ハ繼續  
 サレルヤウニ御取計ヲ願ヒタイト思ヒマス

次ニ電力ノ節電ニ依リマス休業手當ノ問  
 題デアリマスガ、私共厚生省ニ御願致シマ  
 シテ、厚生省カラモソレノ指令ヲ出シテ  
 戴イタノデアリマスガ、唯遺憾ノコトガ一  
 ツアリマス、私共議會ニ臨ムニ方リマシテ  
 大阪ノ多クノ労働者ニ會ヒマシテ、一體前  
 達ハ議會ニ行ツタラ何ヲ先ツ言ツテ貰ヒタ  
 イカト云フ質問ヲ發シタ所ガ、即座ニソレハ  
 今ノ休業ニ依ル所ノ手當ノ問題ダト云フ  
 コトヲ異口同音ニ言フノデアリマス、ソレ  
 ハ私共ハ能ク事情ヲ知ツテ居リマスガ、厚  
 生省ノ方デハ六割以上ノ手當ヲ支給スルヤ  
 ウニト云フコトヲ指令セラレタ、所ガ今日  
 關東デハドウカ知リマセヌガ、關西ニ於テ  
 行ハレテ居ル所ノ六割支給ト云フモノハ、  
 實收ノ六割デナクシテ名目賃銀ノ六割デ  
 アリマス、是ガ非常ニ労働者ニ打撃ヲ與ヘ  
 テ居ルノデアリマス、而モ大阪デハ御承知  
 ノ通り二日働イテ一日休ム、即チ三日ニ一  
 日ヅツ休マサレタ、事變中ノコトデモアルカ  
 ラ、一週間ニ一日休ムト云フ程度ナラバ自分  
 等モ我慢シナケレバナラヌダラウト云フコ  
 トハ覺悟シテ居ツタノデアリマス、所ガ三

ナノデアリマス、又餘裕ノアル所デハ六割  
 デナクシテ 是モ御承知カト思ヒマスガ、  
 全額ノ休業手當ヲ支給シテ居ル向キモアル  
 ヤウナ次第デアリマス、ドウモ餘裕ノアル  
 所トナイ所ノ間ニ均衡ヲ保チ難イト云フコ  
 トハ今日ノ現狀ニ於キマシテハ或ル程度已  
 ムヲ得ナイヤウナ實情デアルト思ヒマス、  
 私共ノ六割ト云ヒマシタ意味ハ、實收賃銀、  
 極々形式ニ申シマスレバ、健康保險ノ標  
 準賃銀ト云フヤウナモノニ該當スルヤウナ  
 意味デ申シテアルノデアリマスケレドモ、  
 事ノ本質ガソレヲ強固スルト云フ建前ニ立  
 ツテ居リマセヌノデ、ソレハ實收賃銀ニ依  
 ル六割デナクテハナラヌ、名目賃銀ノ六割  
 デハ違フノダト云フ指令ヲ出スコトモ其ノ  
 實益ガドウアラウカト實ハ考ヘルノデアリ  
 マス、洵ニ御指摘ノ點ハ御尤モト思フノデ  
 アリマスケレドモ、アノ取極メノ本質ニ鑑  
 ミマシテ、出來ルダケ一ツ拂ツテ貰ヒタイ  
 ト云フコトシカ言ヘナイ場合デアルト云フ  
 コトヲ御諒解願ヒタイノデアリマス

○塚本委員 今ノ御答辯ハ能ク分ルノデス、  
 所ガ私ノ申上ゲテ居ルノハ、一月ノ十九日  
 ノヲ開イテ、此處デ大體方針ヲ申合セテ居  
 ルノデス、是ハ今申サレマスヤウナ支給シ  
 難キヤウナ状態ニアル所ナラバソレ無  
 結構デアリマス、労働者亦何ヲカ要求セン  
 ヤデアリマス、ケレドモ軍需産業、股販産  
 業方面ノ大工場ニ於テモ此ノ申合セニ依ツ  
 テ名目賃銀ノ六割シカ出シテ居ラナイト云  
 フ所ニ私ハ不都合ガアルト思フノデス、勿  
 論中小ノ工業家ニ於キマシテハ、此ノ手當ガ  
 出シ難ネル所ガアルコトハ十分認メマス、  
 サウ云フ所デハ労働者ガ是非出シテ呉レト

言ウテ居ルノデアリマセヌ、サウ云フ所  
 デハ労働者ハ黙ツテ我慢シテ居リマス、  
 併シ是ハ序デアリマスカラ厚相モ一ツ頭ニ入  
 レテ置イテ戴キタイト思フノデスガ、實ハ此  
 ノ事カラ大阪ニ於キマス所ノ中小ノ工業ト  
 云フモノハ非常ニ大キナ打撃ヲ受ケテ居ル、  
 御承知ノヤウニ我國ノ輸出産業ノ七割ヲ占  
 メテ居ル所ノ中小工業ノ上ニ及ボシタ打撃  
 ト云フモノハ非常ニ大キナ打撃ヲ受ケテ居  
 ル事ノ爲ニ恐ラク中小ノ工業ノ大部分ノモノ  
 ガ破産倒壊スルノデハナカラウカト思フ、  
 今言フ手當ノ問題ニ致シマシテモ、サウ云  
 フ所デハ手當ガ出セナイ、労働者モ亦ソレガ  
 要求出來ナイ、事業主ノ懐カ分ツテ居ルカ  
 ラサウ云フ所デハ要求スル譯ニ行カナイノデ  
 アリマス、涙ヲ吞デ我慢シテ居ル、併シ  
 労働者ハヤハリ食ハナケレバナラヌノデア  
 リマスカラ、食ヲダケノモノハ何處カ得  
 ナケレバナラヌ、ソレデ其處デ働イテ居ル  
 労働者ハ職ヲ求メテ他ニ轉ジテ行ク、併シ  
 中小商工業者ハ自分ノ所ニ留メテ置キタイ  
 優秀ナ職工デアツテモ節電ニ依ツテ手當ガ  
 出セナイ、ソレヲ我慢シテ何處マデモ留ツ  
 テ居ツテ呉レト云フコトハ言ヘナイ、仕方  
 ガナイカラ何處ヘデモ行ツテ呉レト云フコ  
 トニナツテ労働者ノ非常ニ移動ガ始ツテ居  
 ル、ソレデ其ノ次ニ電氣ガ送ラレテ來テモ  
 其ノ時ニハ優秀ナ労働者ハ居ラナイト云フ  
 所カラ、經營不能ニ陥ルト云フヤウナ所ガ  
 相當ニアル、是ハ深刻ナ問題デアリマス、  
 私ハ何モ出セナイモノヲ出セト云フテ居ル  
 ノデハナイ、出シ得ル能力ノアル者ガ出サ  
 ズニ居ルト云フ所ニ不都合ガアル、故ニ厚  
 生省ガ目ヲ注ガレマシテ、之ヲ是非共改善  
 スルヤウニナサラナケレバナラヌ、今ノ中

小商工業ノ問題ハ商工省所管デアリマスガ、  
 同時ニ厚相ニ於カレマシテモ十分此ノ點ヲ  
 御記憶ニナリマシテ、中小工業ノ破産ヲ  
 食止メルヤウニ御盡力ヲアランコトヲ希望致  
 シマス、斯ウ云フ問題ニ對シテハ労働者ニ  
 對シテ手當ヲ與ヘルバカリデハナシニ、ソ  
 レ等ノ業者ニ對シテモ此ノ難局ヲ忍ンデ行  
 クダケノ手當ヲシテヤラナケレバナラヌ、事  
 業主ガ出サナケレバ政府ノ方カラモ補助  
 金ヲ出シテヤラナケレバナラヌ、石炭ガ足  
 ラヌト云ヘバ適當五圓ノ補助金ヲ出シテ居  
 リマス、實際労働者ニ手當ヲ出スコト云フバ  
 カリデハナシニ、業者ニモ補助金ヲ出シテ  
 破産ヲ救ツテ行タト云フコトニ政府ガ目ヲ  
 注イデ戴キタイト思フ、政府ハ移動制限ト  
 云フヤウナコトヲ労働者ノ移動ヲ防止シテ  
 居リマスカレドモ、食ヘルヤウニシテヤラ  
 ナイデ労働者ガドウシテツツシテ居ラレ  
 マスカ、ソコデ政府ノ人ニ分ラヌ、是ハ細  
 カイ問題ノヤウデアリマスカレドモ、實ハ  
 産業界ノ一番大キナ原動力ヲ爲シテ居ルノ  
 デデアリマス、是ハ一ツ十分ニ深甚ノ考慮ヲ  
 希望致シマス、ソレカラ今ノ手當ノ問題ニ  
 付キマシテモ十分實情ヲ御調査ニナツテ、  
 サウ云フ出シ得ル能力ノアル者ガ出サナイ  
 デ居ルコトハ宜クナイコトデアリマスカラ、  
 其ノ點ハモウ一ツ十分ニ御調査ニナルヤウ  
 ニ希望致シマス

ソレカラ雇入制限ニ付テハ、事業主ガ不  
 當ニ労働者ヲ壓迫スルコトハ、嚴重ニ取締  
 ルト云フ御答辯ヲ豫算總會デ得タノデアリ  
 マス、是ハモウ少シ詳細申上ゲルノ宜イ  
 ノデアリマスガ、詳細ハ地申上ゲラレ  
 マセヌカラ一ノ例ヲ申上ゲテ置キタイ、  
 移動防止令ガ實施セラレマシタ當時ハ毎日



デアリマス、併シ此ノ職工ハ何モ好シデ他ノ工場ニ轉職シヨウトシタノデハナイ、...

云フ労働者ガ非常ニ多イ、是ハ國家的ノ人オトシテハ甚ダ國家的ニ見テ救カハシイコトデアリマス、...

者ガ無爲ニ、無駄ニ不經濟ニ遊ンデ居ルト云フコトハ甚ダ國家的ニ見テ救カハシイコトデアリマス、...

兎角ノ批判ノアリマスルコトヲ耳ニ致シテ居リマス、ソレハ甚ダ遺憾ナコトニ思フノデアリマス、...

ガ國民ニ協力ヲ求メルト云フ場合ニ於キマシテモ、此ノ機關ヲ通シテ國策ヲ遂行スル...

經驗ヲ活カシテ、一ツ善處セラレル必要ガアルノデハナカラウカト思フ、第一私共ハ...

ルコトヲ知ラナイ者ガ半數以上デアアル、サウシテ半數以上ノ者ハソレヲ使フコトヲ知...

トガ出来ナイ立場ニ置カレテ居ルノデアリマスカラ、言ヒタイコトガ十分ニ言ヘナイ、...



ウデアリマスカラ、況ヤ労働者側ノ委員ガ言ヒタイコトガ言ヘナイガ當然ナル、言ヒタイコトハ言ヘ、言ウテモ後ニ何等ノ悪影響ヲ及ボサナイト云フコトノ身分ヲ保障シテヤルト云フコトガ必要デアラウト思フ、ソレカラモウ一ツハ委員ヲ拵ヘテ居ツテモ其ノ委員ガ相談スルコトヲ許サナイ産業報國會ガ多ク、工場ノ中ニ幾人カノ委員ヲ拵ヘテ居ル、其ノ委員等ガ台合スルコトヲ妨害スル産業報國會ガ多ク、ソレデテ労働者ノ意思ト云フモノガ統一出来ルデテ労働者ノ意見シカ出来ナイノデアリマ

デヤナカラウカ、其ノ上ニ府縣ノ聯合會ヲ持ツ、更ニモウ一ツハ國ニモ中央機關ヲ持タナケレバナラス、所ガ府縣ノ聯合會マデハ形ダケハ出来テ居ルケレドモ、中央ニ何モ其ノ組織ガナイデセウ、産業報國會ト云フモノガアリマス、其ノ産業報國會ト云フモノハ府縣ト府縣トノ間ノ繋ガリガ何モアリハシナイ、全然アリハシナイ、サウ云フコトデハ労働者ノ國民組織ト云フコトハ全然不可能デアル、是ハ三宅君ガ来タナラバ農村ニ於ケル農業報國會ト云フコトヲ話ガアラウト思フガ、恐ラク同様デヤナイカト思フ、此ノ産業報國會ヲ折角立派ナモノニ作リ上ゲテ、其ノ精神ヲ大ニ發揚シテ行カ

整備シテ參ツテ居ルノデアリマスケレドモ、其ノ實質内容ナリ、産業報國會運動ハ如何ニシテ其ノ理想ヲ職場々々ニ實現スベキカ、ソレハ大キク全國的ニドウ連絡セラルベキカト云フヤウナ問題ハ、マダ十分ナ解決ヲ得テ居ルト云フコトハ最後ニ御言私認メマス、中央機關ノコトモ最後ニ御言及ニナリマシタガ、既ニ半バ以上ノ府縣ニ於キマシテ、府縣ノ聯合組織ト云フモノノ出来テ參リツツアル今日ノ現狀ニ鑑ミマシテモ亦産業報國會運動ノ全體ノ國家的ナ姿勢ヲ整ヘル上ニ於キマシテモ、中央機關ノコトモ是非餘リ遲レナイヤウニ之ヲ具體化セ

ガ中々確立シナイト云フコトノ一ツノ大キナ原因ニナツテ居ルト思ヒマス、此ノコトガ成就シマスレバ洵ニソレハ尊イ有難イコトニナルノダト思ヒマスルダケニ、其ノコトノ上ニ於テ十分ニ參ラスト云フコトハ計畫或ハ運営ニ携ル者ノ洵ニ重大ナ責任デアルト考ヘマス、慎重ニ且ツ成ベク急進ニ其ノ問題ヲ解決シタイト云フ覺悟ヲ以テ苦心致シテ居リマスルコトヲ申上ゲテ置キマス

反映スルヤウニ組織シテ行カナケレバナラス、中央ノ方ニモ出来ル限リ早イ時ニサウ云フ組織ヲ持タナケレバナラスト云フコトヲ今御述ニナリマシタガ、之ニ付テモ同様ナコトガ言ヘルト思フ、ヤハリ労働者側ノ意見ト云フモノガ、ソコニモ反映スルダケノ組織ヲ持ツテ来ナケレバイカスト思フノデアリマス、是ハ府縣ノ組織ニ當リマシテモ、今後ノ中央ノ組織ニ當リマシテモ、十分ニ一ツ御配慮ガ願ヒタイ、此ノ産業報國會ノ法制化ノ問題ニ付テハ、吉田厚生大臣ハ其ノ就任ノ當初ニ當リマシテ意見ヲ發表セラレテ居リマス、洵ニ私ハ同感ニ思フ、今日ノ儘ニ於テ之ヲ法制化シテ見タ

ル心配カラ致シマス存ジマス、公ノ選舉ヲ採ツテ各職場々々ニ投票ト云フコトデモシテ、役員ガ出ルヤウナコトニナリマス、又其ノ方面ノ弊害ト云フコトモ憂慮セラレル事態ニナリハシナイカト思ヒマスガ、本當ニ勞資共々ニ國家産業ノ爲ニ御奉公スルノダト云フ心持ガ決ツテ居レバ、選舉ト云フコトハナク、何カ外ニスツキリシタ形デ立派ニ勞資協調ノ實ガ擧ゲラレルノデアリナイカト考ヘマス、ソレ等ノコトモ内容改善ノ點ニ於テ重大ナ問題ノ一ツデアルト思ツテ色々苦慮シテ居ルコトヲ申上ゲテ置キマス、大體法制化ト云フコトニ付キマシテハ、別ニ私發表シタ譯デハゴザイマセヌガ、法制化ニ依ツテ産業報國會ノコトヲ規定スレバ、ソレデモノガ出来上ルヤウニハ考ヘナイト云フ意味ニ於テ私話シタコトハゴザイマス、是ハ法律規則デ出来ルコトデハナイノデアリマシテ、本當ノ國民ノ心持ガソコニ實際ニ現レ、行ハレテ行クト云フコトデナケレバ、法制ダケハドウニモナラヌト云フ意味ナノデアリマス、隨テ斯ウ云フ内容ノモノデ、是ガ本物ダト云フ確信ノ付キマシタ際ニハ法制ガナイヨリハアル方ガ便利ト云フ位ノ心持デアリマスノデ、今日法制ノ方カラ先キニ用意スルコト云フコトデハナク、實際ノ方ニ専ラ力ヲ注ギマシテ、併セテ法制化ノコトモ其ノ實情ニ應ジテ考ヘテ參リタイ、左様ナ心持デ居リマス

働者ニ人宜シキヲ得ナケレバナラス、人ト人トノ問題デアル、私ハ其ノ點デモ労働者ノ知識ヲ啓蒙シテ之ヲ指導シテ行クト云フ責任ヲ痛感シテ居ルモノデアリマス、何ト云フコトハ十分ニ諒解シテ居リマス、ソコデ労働者側ニ於テモ、此ノ點ニ付テノ教育ヲ進メテ行カナケレバナラスガ、事業主側ニ對シテモ産業報國會運動ヲ完全ナモノニシ、立派ナモノニ育テテ行ク爲ニ特ニ教育ヲシナケレバイカスト思フ、是マデノ事業主ノ物考ヘ方觀方デハ、如何ニ立派ナコトヲ考ヘテ居ツテモ成功スベキモノデハナイト思フ、私ハ此ノ點ニ付テ此ノ機會ヲ通ジテ事業主側ニ言ヒタイコト、又厚生省カラ努力シテ實ヒタレバ、出来タ當初ニ於テハ、其ノ機關ヲ通ジテ色々ナ問題ガ錯雜シテ現レテ来ル傾向ヲ持ツト云フコトハ當然デアラウト思フガ、ソレニ事業主側ガヘコラレテハイケナイ、斯様ナモノヲ拵ヘテ色々問題ヲ労働者側ガ出シテ来ル、是デハ困ツタコトト云フヤウナ感じヲ多クノ事業主ガ持ツデアラウ、是ガ産業報國會ノ巧ク行カナイ一ツノ原因デアラウ、併シ是ハ一時ノ現象デアルト思フ、吾々ノ過去三十年ノ社會運動ヲ通ジテモサウデアリマス、或ル一ツノ職場ニ労働組合ヲ作ル、サウシテソレガ組織セラレルト、最初ノ一年ナリ二年ノ間ニハ、何カ事ヲ起サウ起サウトスル傾向ガアルコトハ當然デアリマス、サウシテ労働組合ノ幹部ハソレヲヤツチヤイカスノト云フツツ、一年ナリ二年ノ間ハ非常ニ苦心ラシテ、其處ノ労働者ノ教育ニ當ルノデアル、デアリマスカラ是マデ言ヒタイコトヲ言ハズニジツト抑ヘテ来

タ所ヘ、何かサウ云フ組織ガ出来マスト、其ノ組織ヲ通ジテ自分ノ日頃持ツテ居ル氣持ヲ現ハシタイ、言ヒタイコトヲ言ヒタイト云フコトニナツテ来ルノハ當然デアル、ソコデ是マデ懸積シタ所ノ色々ノ問題ガ一時ニ持上ツテ来ル、ソレニ事業主ガ怯エルノデアル、ケレドモ是ハ決シテ怯エテ居ルハナラヌト思フ、一應労働者ニ言ヒタイコトヲ言ハセテ、ソノ中デ聽クベキモノハ聽イテヤルヤウニスレバ、ズツト落著イテ来ルノデアリマス、其ノ我慢ガ必要ダ、私ハ或所デ労働組合ノ組織シタ時、ソコノ事業主ガ巧ク行クカト云フコトヲ言ハレタノデ、最初ハ巧クハ行カヌカモ知レマセヌ、ケレドモ長イ目ヲ以テ二年我慢シテ呉レ、サウスレバ勞資一體トナツテ巧ク行クヤウニシテ見セル、二年ノ間我慢シテ呉レト話シタコトガアルガ、ソレデス、産業報國會ハ必ズ色々ナ問題ガ起ツテ来ルノハ當然デアル、是マデ言ヒタイコトヲ言ハズニ居ツタカラ、言ヒタイコトヲ一應言ハシテ、聽ケルモノハ聽ク、採ルベキモノハ採ル、無理ナモノハ斯ウ云フ事情ダカラ無理ダ、暫ク待テナラテテト云フ諒解ヲ與ヘテ、一時サウ云フコトヲ言ツテシマヘバソコニ大體落著イテ来テ、ソレカラ本當ノ仕事ガヤツテ行ケル、事業主ガソレニ怯エテハナラヌ、怯エサシテハナラヌノデアリマス、ソコハ一ツ厚生省ノ方デ巧ク事業主ヲ教育シテ行ク必要ガアル、是ハ非常ニ大事ナコトデス、サウ云フヤウニ努メテヤツテ實ヒタイ、是マデノ厚生省ノ産業報國會組織ニ付テハ、現ニ角産業報國會一本ニシヨウト云フ、ソコデ既存ノ労働組合ニ非常ニ強壓ヲ加ヘテ来タ、非常ニ壓迫ヲ加ヘタ、是ハ實ニ怪シカラヌコト



デアリマス、勿論斯ウ申シマストハ、厚生  
内務兩次官ノ通牒ニ於テ、十三年八月ニ  
次官通牒ト云フモノヲ發セラレタ、之ニ依  
ルト事業上ニ於ケル既存ノ労働團體若クハ  
機關ニシテ本團體ヲ設置シタルコトヲ  
アル場合ハ別ニ本團體ヲ設置シタルコトヲ  
アラザルコト、本團體ヲ設置シタルコトヲ  
理由トシテ、労働組合ノ解散ヲ強ヒルガ如  
キ事ニ出ルコトハ之ヲ避ケシメルコト、斯  
ウ云フ次官通牒ヲ發セラレテ居ル、是ハ吾  
吾カラ見ルト其ノ消極的デアリマシテ、サ  
ウ云フモノハ別ニ解散ヲ強要シテハイカス、  
其處デハ産業報國會ト云フモノヲ組織シナク  
テモ宜イノダト云フヤウナ、非常ニ消極的ナ  
一ツノ通牒デアラガ、私共ノ考カラ行クト事  
ロサウ云フ團體ガアリマス所デハ、之ヲ産業  
報國會ニ正式ニ變ヘ、寧ろ産業報國會ヲ作  
ルノニ労働組合ノ力ト協力スルコト云フ立  
場ヲ厚生省ガ執ラナケレバナラス、所  
ガ是マデノ厚生省ノヤツテ來タ所ヲ見  
ルト、労働組合ハ悉ク之ヲ解散セシメ  
テ、サウシテ産業報國會一本ニシヨウ、  
勿論私ガ斯ウ正而カラ申シマス、サウ云  
フ方針デハナカク答辯セラレレノデア  
ラウガ、實際ニ於テ厚生省ハヤラナイカ知  
ラスガ、其ノ意圖ヲ受ケテ地方ニ於ケル警  
察官ガドウ云フ態度ヲ執ツテ居ルカ、近ク  
ハオ藤元ニ於ケル警視廳ガドウ云フ態度ヲ  
執ツタカ、東交組合ニ對シテ執ツテ態度ノ  
如キハ、厚生省ハ明ニ知ツテ居ラレル所デ  
アル、各地到ル處労働組合ノアル所悉クト  
言ウテ差支ナイ程ニ、到ル處ノ警察官ハ勞  
働組合ノ幹部ヲ呼出シテ、サウシテ解散ヲ  
強要シテ居ル事例ハ非常ニ多イ、或ハ又勞  
働者ト事業主トノ間ニ罷シキ團體協約ト云

フ所マデ發展シテ居ル場合ニ於テ、其ノ盟  
シイ團體協約權ノ破壞ヲ工場主ニ迫ツテ居  
ル所モアル、産業報國會以上ニ立派ナ成果  
ヲ上ゲテ居ル其ノ團體協約、サウシテ労働  
者ト事業主トガ渾然一體トナツテ産業報國  
ニ邁進シツアル其ノ立派ナ組織、團體協  
約權スラモ破壞スルヤウニ事業主ニ強要ナ  
サツテ居ルコトモアリマス、斯様ニ致シマ  
シテ厚生省デハ兎ニ角労働組合ヲ潰シテ、  
全國學ガテ産業報國會一ツニシヨウトシテ  
居ル、サウナレバ結構デアリマスケレドモ、  
サウハ中々ナラス、而モ産業報國會ガ目指  
シテ居ルヤウナ最終ノ目的、最後ノ成果、  
サウ云フモノハ一體何處ニアル、恐ラタ今  
日労働組合ガヤツテ居ルモノデアリマセウ、  
今日ノ労働組合コソ本當ニ愛國ノ精神ニ燃  
エ、博愛ノ精神ニ燃エテ協力シテ時局  
下産業報國會ニ邁進シヨウト云フ決意ニ燃エ  
テ、有ユル困苦缺乏ニ堪ヘ、有ユル非難ト  
中傷ノ間ニ立ツテ、尙且ツ敢然自己ノ所信  
ニ邁進シテ居ルノデアル、一部ノ人ニハ隨  
分非難モアル、ケレドモ吾々ガヤツテ居ル  
コトガ是ガ本當ニ愛國運動デアルト云フ考  
ニ燃エテヤツテ居ルコトヲ厚生省ノ内部ノ  
多クノ人達ノ間ニハマダ誤解シ曲解サレテ居  
ル者ガ相當アリマセウ、吉田厚生大臣ハ御理  
解ヲ持ツテ居ラレル一人デハナイカト思ヒ  
マスガ、此ノ點ニ付テハ厚生大臣ハドウ  
云フ風ニ御考ニナルカ、今日既存ノ労働組  
合ハ殆ド潰レテシマツタ、残ツテ居ル代表  
的ナモノヲ云ハバ總同盟デアリマスガ、總  
同盟ガ此ノ事變前既ニ早カラ産業協約ト  
云フ大旗ヲ掲ゲテ運動ヲ進メテ來タ、是ハ  
相當古イ歴史ヲ持ツテ居ル、事業主ト労働  
者ハ對立スベキモノデハナイ、産業協力、

労働協力シテ我國産業ノ繁榮ニ邁進シナケ  
レバナラス、此ノ精神ニ燃エテ運動ヲ續ケ  
テ來タノデアル、殊ニ今度ノ事變ガ起リマ  
シテカラハ、所謂事變下ノ三大運動ト致シ  
マシテ、人々ハ労働組合ノ使命ハ何か、ソ  
レハ争議デアルト云ツタ、サウデアアルカモ  
知レナイ、労働組合ノ任務ハ争議デアリ、  
労働者教育デアリ、サウシテ技術ノ向上ヲ  
磨クデアリ、斯ウ云フ三大目標ヲ持ツテ居ル  
ガ、其ノ中ノ一ツデアアル争議ヲ絶滅シヨウ  
ト云フ宣言ヲ爲シテ居ル、事變下ニ於テハ  
少クトモ總同盟ニ參加シテ居ル者ハ争議ヲ  
ヤツテハイカス、斯ウ云フ争議絶滅ノ宣言  
ヲシテ居ル、是ハ世間デ隨分労働組合ニ對  
シテ好意ヲ持ツテ居ル者ハ、何ト云フヘコ  
タレタ宣言デアアルカト云フカモ知レナイ、  
多クノ労働者ハソレハ労働組合ノ任務デハ  
ナイイデナイカト云フカモ知レナイガ、此  
ノ時局柄労働組合ガ争議ヲアルコトハ僞ト  
シテ慎シマナケレバナラスト云フコトハ僞ト  
シテ慎シマナケレバナラスト云フコトハ僞ト  
此ノ團體ハ所謂愛國貯金運動ト云フモノヲ  
起シタリ、銃後委員會ト云フモノヲ組織シ  
テ銃後ノ任務ニ邁進シヨウトシテ居ル、  
斯ウ云フ事變下ノ三大運動ト云フモノヲ逸早  
ク始めテ、今日マデ續ケテ來テ居ル、又産  
業報國會ノ組織ニ付テモ、其ノ精神ニ賛意  
ヲ表シ、其ノ組織ノ達成ニ協力シテ居ルニ  
モ拘ラズ、依然トシテ厚生省ノ意思ニ反シ  
テ居ルカモ知レナイガ、兎ニ角各地ニ於テ  
警察ノ力ヲ通シテ労働組合ニ對スル所ノ所  
謂解散ヲ強要シ、或ハ團體協約權ノ破壞ヲ  
強要シテ居ル、是ハ實ニ慎シマナケレバ  
ラスコトデアルト思フ、而シテ今後ニ於テ  
厚生省ハ此ノ問題ニ付テド云フ風ニヤツ

テ行カレルカ、私ハ産業報國會結構デア  
ルト思フ、ケレドモソレガ爲ニ労働組合運動  
ヲ排斥スベキモノデハナイ、是ハ自ら二本  
建テ行クベキモノデアアル、寧ろ労働組合ノ  
協力ヲ得テコソ、初メテ産業報國會運動ト  
云フモノガ巧クヤツテ行ケルト思フノデア  
リマスガ、大臣ノ御所見ヲ承リタイノデア  
リマス  
○吉田國務大臣 洵ニ大切ナル産業報國會  
ノ今後ノ使命ニ關スル問題ノ一ツヲ御指摘  
ニナツタコトト思フノデアリマスガ、其ノ  
問題ガケニ付キマシテモ短時間ノ質疑應答  
デハ十分ニ塚本君ト私ノ考ヲ言ヒ盡スコト  
ガ難シイト思フ位、是ハ難儀ナ問題ダト思  
フノデアリマス、労働組合員モ亦 陛下ノ  
赤子デアリマス、立派ナ日本國民デアリ、  
産業ノ戦士デアリマス、今日ニ於テハ恐ラ  
クドノ労働組合ニ於テモ其ノ組合員タル者  
ハ階級闘争ノ立場ニ立脚シテ労働者ノ爲ノ  
利益ヲ圖ヒ種ラウト云フ考、而シテサウ云  
フ指導精神ヲ持ツテ居ラウトハ思ヒマセ  
ス、又宣言綱領等ヲ見マシテモ、前トハ非  
常ニ異ツテ來テ居ルノデアリマスガ、隨テ  
労働組合タルモノガ惡イト云フコトハソ  
レハ言ヒ過ギデアラウト思フノデアリマス  
ケレドモ、ヤハリ従前ノ組織沿革、或ハ其  
ノ組合ノ構成員ト云フヤウナ者ノ中ニハ、  
十分ニ産業報國會精神ニ徹底シテ居ルカドウ  
カ、疑ナキヲ得ナイヤウナ分子ノアルコト  
モ、是ハ忘レテハナラスト私ハ思フノデア  
リマス、詰リ其ノ人ノ本心ニ於キマシテハ  
忠良ナ日本國民ナノデアリマスケレドモ、  
今マデノ仕來リヲマダ清算シ切レテ居ラヌ  
ト云フ點ガ大分殘ツテ居ルト云フコトモ、  
是ハ強イテ眼ヲ蔽ウテハナラナイコトダト

私ハ考ヘルノデアリマス、隨テ産業報國會ノ  
達成ノ爲ニ、一ツノ労働組合ト云フモノヲ  
活用スルニ限ル、ソコマデ私ハ申シ切レ  
マセガ、サレバト云ツテ労働組合ハ絕對  
ニ之ヲ排斥スル、彈壓スルコトモ、ソレモ  
間違ヒダト思フノデアリマス、要スルニ實  
際ノ働キガ良イカ悪イカト云フコトニアル  
ト私ハ考ヘルノデアリマス、實際ノ働キガ  
立派ニ行ツテ居ルカ、行ツテ居ラヌカト云  
フ問題ヲ考ヘマスルト、ソレハ今マデ言ハ  
レテ居ツタヤウナ労働組合ト云フヤウナ任  
組、今マデノヤウナ働キデ宜シイノカドウ  
カト云フ問題モ、同時ニヤハリ取扱ハネバ  
ナラナイ段階ニ、必ズ將來ニハ進んで來ル  
ト思ヒマス、將來デハナシニ、現ニ其ノ問  
題ヲ考ヘナケレバナラナイ、隨テ例ハバ只  
今例ニ舉ゲマシタヤウニ、總同盟ナラ總同  
盟ノ申ニ於テ、サウ云フ點ニ付テ意見ヲ異  
ニスル人々ガ自然ニ出テ來ルノデアリマ  
ス、是ハ此ノ時代ニ於テ日本ニ與ヘラレタ  
ル大キナ問題ヲ解決スル爲ニ甲ノ考ヘ方、  
乙ノ考ヘ方、或ハ漸進的ノ考ヘ方、急進的  
ノ考ヘ方、色々出テ參ツテ居ル其ノ一ツノ  
現レデアルト思フノデアリマス、單ニ労働  
組合ノミデナクシテ、各種ノ産業團體、勞  
資一體ノ實ヲ舉ゲマスニハ、労働組合ガ  
ノコトヲ解決シテモ駄目デアアル、各種ノ産  
業團體、日本ノ産業機構、サウ云フ問題モ  
産業報國會精神ヲ具現スルト云フコトノ上  
ニ、結局考ヘラレナケレバナラスコトダト  
思フノデアリマス、一舉ニソレ等ノ問題ヲ  
皆産業報國會精神ノ爲ニ解決出來ルト思ツテ  
居リマセウ、物ハ自ら順序ガアルノデアリ  
マス、併シ結局ハソレマデ行カナケレバ、日  
本ノ産業體制、戰時體制ハ甚チ切ツタトハ

言ヒ得ナイト思フノデアリマス、左様ナ心  
持デ私ハ産業報國會運動ト、労働組合トノ關  
係ヲ、其ノ一部分トシテ考ヘタイト思ツテ  
居ルノデアリマス、私ノ考ニ對シテ或ハ御  
満足デナイカトモ考ヘマスガ、左様ニ考ヘ  
テ居リマス、デアリマスカラ、労働組合ガ  
カラト云フテ遠慮スルト云フコトハ、致シ  
テナラナイト思フノデアリマス、ト同時ニ  
労働組合ガカラ何デモ彼デモ排斥スルコト  
モ私等ハ大キナ問題ダト思フノデアリマス、  
要スルニ産業報國會精神ニ適ツタ立派ナ働キ  
ガ出來ルト云フコトガ大切ダト思ヒマス、  
現ニ私ノ承知シテ居ル實例デハ、工場ニ於  
ケル團體ニモ産業報國會運動トビツタリ合ツ  
テ、見事ナ成果ヲ收メテ居ル所モアルノデ  
アリマス、團體協約ガカチ宜イト云フ意味  
デナイ、其ノ團體協約ノ效果ガ良イカラサ  
ウ云フコトモ出來ルノデアリマス、一律ニ  
體ニ考ヘズニ、本質ヲ見テ向フベキ所ニ進  
メテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居ル諒デア  
リマス  
○藤原政府委員 只今ノ大臣ノ御答ニ附加  
ヘマシテ、私カラモ一言御答致シテ置キタ  
イト思ヒマス、塚本君ナカラ産業報國會運動  
ニ關聯シマシテ、労働組合ニ對スル對策  
ヲ如何ニ考ヘルカト云フ御話デアリマシタ  
ノデ、之ニ付キマシテハ大臣カラ只今御答  
ノアリマシタ通りデアリマスガ、労働組  
合ハ御話ニモテアリマシタヤウニ、近  
時組合トシテ圖策ニ大イニ協力スル  
ト云フ建前ヲ以テ、色々時局下ニ於テ御  
活動ニナツテ居ル事柄モ随分アルノデアリ  
マス、組合運動ト致シマシテモ、今日ハ其  
ノ活動ノ内容ガ過去ノ時代ヨリ餘程變ツテ  
參ツテ居ルト云フコトハ、吾々モ能ク承知

シテ居ルノデアリマス、併シナガラ此ノ産  
業報國會運動ト云フモノト、労働組合ト云フ  
モノノ二ツノ關係ニ付テ考ヘマスル時ニ  
ハ、是ハ能ク靜ニ其ノ觀念及ビ組織ト云フ  
ヤウナ點ニ付テ考慮ヲシナケレバナラスト  
思フノデアリマス、産業報國會運動ナルモノ  
ハ、先刻來御話ノアリマシタ通り、塚本君  
ハ此ノ趣旨ヲ非常ニ能ク御了解下サツテ御  
盡力ヲ盡イテ居ルコトヲ私ハ承知致シテ居  
ルノデアリマス、即チ事業場、工場ニ於テ  
資本家ト云ハズ、労働者ト云ハズ、所謂勞  
資一體ト云フコトニナツテ、事業場一家ト  
シテ、ソレヲ通ジテ國家ニ御奉公スル、  
斯ウ云フ建前ノモノデアリマスガ、之ニ反  
シマシテ、労働組合ト云フモノハ、是ハ生  
立チノ趣旨カラ致シマシテ、組合ノ成立ノ  
趣旨ハ何ト云ツテモ労働者相互ガ横斷ノ組  
織ヲ以テ、サウシテ自主的ニ資本家ニ對立  
シテ、労働者相互ノ生活ノ維持向上ヲ圖ル  
爲ノ活動ヲスル爲ニ、生レテ參ツテ來テ居  
ルノデアリマシテ、隨ヒマシテ其ノ組織モ  
労働者諸君ノミヲ以テ組織サレテ居ルモノ  
デアリマス、而シテ此ノ産業報國會ト労働  
組合ト云フモノハ、其ノ觀念及ビ組織ニ於  
キマシテ、ドウシテモ是ハ相容レナイモノ  
デアルト云フコトハ、是ハ歴然タルモノデ  
アルト云フノデアリマス、ソレナラバ其ノ  
容レナイモノニ對シテ政府トシテハ之ヲ直  
チニ解消ヲサセル、解散ヲ命ズルト云フヤ  
ウナコトヲヤル點ニ付キマシテハ、政府ハ  
左様ニハ考ヘテ居ナイノデアリマス、ソレ  
ハ何故カト申シマス、今日戰時下ニ於テ  
申スマデモナク舉國一體、國民ハ舉ツテ此  
ノ聖戰目的ニ邁進ナケレバナラナイ重大時  
局下デアリマスカラ、此ノ際ニ於キマシテ

ハ、徒ニ摩擦ヲ多クシテ、サウシテ國內ノ  
戰時體制ニ緩ミヲ生ズルガ如キコトガアツ  
テハナラヌト云フコトヲ痛感スルノデアリ  
マス、隨ヒマシテ其ノ方法ト致シマシテハ、  
今後ニ處スル途ヲ致シマシテ産業報國會運  
動ヲ如實ニ普及徹底致シマシテ、サウシテ  
此ノ精神ノ徹底ヲスルコトニ依ツテ、自然  
ニ労働組合ト云フヤウナ運動ガ、即チ自主  
的ニ労働者諸君ガ資本家ニ對立シテ、其ノ  
生活ノ維持向上ヲ圖ラナケレバナラスト云  
フヤウナ必要性ガ自然ニ解消シテ行クヤウ  
ニ、指導シテ行キタイト考ヘテ居ルノデア  
リマス  
○平川主査 塚本君十二時半ダカラ午後二  
時マセウカ  
○塚本委員 宜シウゴザイマス  
○平川主査 ソレデハ午後一時半マデ休憩  
致シマス  
午後零時三十分休憩  
午後一時三十分開議  
○塚本委員 午前中ノ御答辯ニ依リマシテ、  
當局ノ意圖セラレテ居ル所ヲ大體明ニ了解  
スルコトガ出來タノデアリマス、最近此ノ  
事變下ニモ拘ラズ、労働争議ノ數ガ段々殖  
エテ參リマスコトハ、政府カラ提出セラレ  
マシタ參考資料ニ依ツテモ極メテ明瞭デア  
リマス、昭和十三年ニハ千五百件デアツタ  
争議件數ガ、昭和十四年ノ一月マデノ統計  
ニ於テ、既ニ十三年ヲ遙ニ突破シマシテ千  
九十六件トナツテ居リマス、之ニ昭和十四年  
ノ二月、三月ノ件數ヲ加ヘレバ更ニ相當大  
キナ件數ニナルト思ヒマス、斯ウ云フ労働



争議ノ發生ガ非常ニ多クナツテ來タト云フコトハ、勞働者ノ間ニ於テ時局ノ認識スルコトノ缺ケテ居ルコトニ起因スルノデハナカラウカト云フヤウナ觀察モ下サレルノデハナイカト思フ、一部ニハサウ云フ觀察ヲスルガアルカモ知レナイノデアリマス、併シ勞働階級ノ多クハヤハリ此ノ時局ヲ皆私ハ認識シテ居ルト確信シテ居リマス、デスカラ出來ルダケ忍ブベキ所ハ飽タマデモ忍ビ、サウシテ産業協力ニ邁進シテ行カナケレバナラス、斯ウ云フ心持ハ殆ド總テノ者ガ相當深ク持ツテ居ルノデアリマス、ソレニモ拘ラズ争議ノ件數ガ段々殖エテ來ルノハ、今日ノ争議ト云フモノハソレ自體ハソレコソ本當ニ已ムニ已マレナイ所ノ争議デアル、事變前ノヤウニ何デモ被テ自分ノ要求ヲ貫カウト云フヤウナ、サウ云フ輕薄ナ考カラ起ツテ居ルノデハナイト云フコトハ、十分ニ御察察給ハツテ居ルト思フデアリマスガ、此ノ時局ヲ認識シ、サウシテ時局ニ協力シテ行カウトシテ居リナガラモ、尙且ツ已ムニ止マレズシテ起シマスル争議ノ數ガ殖エテ行タト云フコト、甚ニ深ク私共ハ思ヒテ致サナケレバナラス、殊ニ政府ト致シマシテモ、深甚ノ注意ヲ拂フテ、此ノ争議ノ殖エテ來タル原因ガ那邊ニアルカ、又争議ノ最少化ヲ圖ル爲ニハドウ云フ政策ヲ執ラナケレバナラスカト云フコトヲ深ク御考ニナラナケレバナラヌト思フ、又考ヘテ居ラレルトコト思フデアリマス、今日此ノ争議ノ件數ノ増加シツツマシカ、サウシテ之ニ對スル所ノ對策トシテ何ヲ御考ニナツテ居ラレマセウカ、御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 御指摘ニナリマスモ通り、近來争議ガ稍々増加スル傾向ニアリマスコトハ洵ニ憂慮ニ堪ヘナイ現象ト思フテ居ル次第デアリマス、ソレニハ色々原因ガアルデアラウト思ヒマスガ、或ハ時局ノ影響ニ依リマシテ産業界ニ勞務ノ移動ガ劇シクナツタト云フヤウナ事柄、若干工場ノ何ト申シマスカ、締リガ弛シテ來タヤウナコトモ中ニハアリハシナイカ、サウ云フコトモ考ヘナケレバナラス、或ハ事業主側ノ無理解カラ起ツテ居ル場合モアリマセウ、勞務者ノ方ニモ絕對對立ガナイトハ必ズシモ考ヘラレナイト私ハ思フデアリマスガ、ソレガ誰ノ責任ダト云フコトハ別ニ、主トシテ此ノ頃ノ争議發生原因ヲ見テ居リマス、争議目標ト申シマスカ、サウ云フモノヲ私ハ極ク概觀シテ居ルノデアリマスガ、尙ホ實際的ニ深く掘下ゲテ研究シテ見タイト思フテ居リマス、今マデ感じテ居リマス所デハ、ヤハリ生活ガ苦シクナツタ、ソレヲ何トカシテ貫ヒタイ、ソレガ賃金ノ要求ニ現ハレ、外ノ勞働條件ニ現ハレ、或ハ解雇ノ手當ト云フヤウナコトニモ現ハレル、結局食ベニタイト云フコトノ爲ニ起ルモノガ先ヅ一番多イノデハナイカ、其ノ外ノ原因ノモノモ段々アルヤウデアリマスガ、ソレハ是ハ原因療法ニ依リマシテ争議ノ根絶ヲ圖ルト云フコトニ向ツテ進ンデ行キタイト思フデアリマス、丁度御話ノアリマシクヤウニ今日ノ時局ノ上デ産業人ノ心得ベキコトト云フヤウナコトニ付テハ誰モソレヲ知ラナイト云フ人ハ殆ドナイト思フデアリマス、知ツテ尙且ツサウ云フコトニナルト云フコトニ付キマシテハ、一ツハ環境ガ争議ヲ孕ムヤウナ環境ニナツテ居ルト云フコト

モアリマセウシ、又時局ヲ認識シテ居ルト言ヒマシテモ、ソレハ唯知的ダケデ認識シテ居ツテ、本當ノ肚カラ體得シテ居ルト言ヒマスガ、其ノ人ノ行動ニシカニ現ハレル程度マデノ深い悟リト言ヒマスガ、サウ云フモノニナツテ居ラヌト云フコトモヤハリアルノデハナイカ、サウ云フコトノ爲ニハ、午前ニ御話ガアリマシクヤウニ産業報國運動等ノ本當ノ徹底ヲ圖ルト云フコトガ必要デアルト同時ニ、眞面目ニ働ク人ガドウニカスウニカ食ベラレルト云フダケニ戰時國民生活ト云フモノノ確立ヲ圖ツテ參ラナケレバナリマセウ、今ノ多クノ争議原因——生活費ノ問題ナリ、或ハ賃銀ノ問題ナリ、勞働條件ノ問題ナリ、サウ云フモノガヤハリ戰時ニ相應シヤウニ安定確立セラレルトコトガ肝腎ダラウト思フデアリマス、併シ實際ニ其ノコトヲ實現致シマスルコトハ、口デ申上ゲル程容易クナイノデアリマス、非常ナ困難ヲ伴フコトニハ違ヒナイノデアリマスケレドモ、銘々萬全ヲ望ムンデ、相手方ノスルコトニ不平ヲ持ツヤウナコトデハ何時マデ經ツテモ満足ナル境地ニ達シ得ナイノデアリマスカ、不満足ナガラサウ云フ方面ニ向ツテ出來ル限リ努力スル、厚生省トシテハ自分ノ所ノ所管ノ範圍ダケデナシニ、サウ云フ觀點カラ餘所ノ役所ノ範圍マデモ自分ノ所ノ立場カラ見テモ改善施設ヲ望ムナケレバナラスコトハ遠慮ナシニ望ンデ行カウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

ナ努力ヲ拂ツテ戴キタイコトヲ希望シテ置キマス、此ノ争議ノ發生ニ付テ、私共ノ考ヘテ居リマスコトハ、例ノ先程問題ニ出シテ置キマシテ産業報國會ノ組織セラレテ居リマス所ニ争議ノ件數ガ多ク發生シテ居テ、勞働組合ノ組織セラレテ居リマス所ニハ所謂争議絶滅ノ宣言ノ趣旨ニ則リマシテ、争議ト云フモノガ起ラナイ、此ノ傾向ハ當局ニ於テ御認めニナツテ居リマセウカ如何デセウカ

○吉田國務大臣 ソレハ只今初メテ承ルコトデアリマス、サウ云フコトガアルカモ知レマセウケレドモ、カルガ故ニ勞働組合ト云フモノハ争議ノ發生防止ニハ非常ニ役立つノダト云フ意味ニソレヲ解シマスルノハ、少シマダ判断ガ早過ぎハシナイカト思ヒマス、サウ云フ事實ニナツテ居リマスカドウカ……只今初メテ承ルコトデアリマス

○塚本委員 是ハ具サニ争議ノ内容並ニ其ノ發生シテ居ル所ノ事情等ヲ十分ニ御調ニナレバ極メテ明瞭ニナル事實デアアルノデアリマス、斯様ニ致シマシテ、兎ニ角勞働組合ト云フモノガ時局ニ協力シ、非常ナ努力ヲ拂ツテ居ル結果ガ此ノ上ニモ現レテ居ルト私共ハ自負致シテ居ルノデアリマス、借テモウ一週問題ヲ後ニ返シマスガ、併シモウ議論ノ餘地ハアリマセウ、大體當局ノ言ハレル所ハ能ク拜承致シマシタ、唯併シ遺憾ニ考ヘマスコトハ、勞働局長ガ後ニ言葉ヲ附加ヘラレマシタ所ニ於テ明瞭デアアルガ如ク、結局ニ於テ言葉ハ色々ニ旨ク説明セラレマシタケレドモ、要スルニ未ダ尙ホ其ノ觀念ト致シマシテ、勞働組合ノ自然ノ解消ト云フコトヲ望ムンデ居ラレラユウデアリマス、若シ是ガ言ハレル如ク、勞働組合ノ發

展ナル自然解消デアリマスナラバ、私共モ勿論異議ノナイ所デアツテ、大イニ贊同シ之ニ共鳴スル所以デアリマス、併シ勞働組合ノ發展ナル自然ノ解消ニアラズシテ、産業報國會ヲ組織スルガ爲ニ未ダ海ノモノトモ山ノモノトモ分ラナイ、而モ今日マデノ經驗ヲ以テスレバ、甚ダ芳シカラザル狀況ニアル時ニ於テ、其ノ産業報國會ヲ作ルガ爲ニ此ノ勞働組合ニ對シテ解散ヲ強要スル、或ハ團體協約權ノ破壞ヲ強要スルガ如キ行爲ハ、斷ジテ慎シマナケレバナラス、御言葉ニアリマシクヤウニ、勞働組合ガ自然ノ發展シ解消スルガ爲ニハ、今日ノ産業報國會ト云フモノガ、勞働組合ガナケレバモ宜イ事態ニマデ是ガ發展シテ來ナケレバナラス、サウスルト自然ニ致シテ勞働組合ハ解消スルノデアアル、私ハ又其ノ機ノ早カラシコトヲ望ムンデ居ルノデアリマス、吾々ハ決シテサウ云フ自然ノ發展解消ヲ飽マデモ抗爭シテ居ルノデアアリマセウ、其ノコトハ能ク誤解ノナイヤウニシテ戴キタイ、本當ニ今申サレマスヤウナモノニナルコトヲ、勞働組合ノ自身モ最終ノ目的トシテ來テ居ルノデアリマス、唯問題ハ其處ヘ行クマデニハ現存ノ勞働組合或ハ勞働組合ノ幹部、少クトモ二十年ナリ三十年ナリ、勞働者ノ指導ノ立場ヲ取ツテ來テ居リマス者一ツノ手段方法デハナカラウカ、ソレヲ故意ニ斥ケテ、之ヲ排除シテ進ンデ行カウトスル所ニ、當局ノ勞働者政策トシテノ過チガアルノデハナイカト私ハ申上ゲテ居ルノデアリマス

ス、尙ホ牢固トシテサウ云フ意見ヲ持ツテ居ル方ガ厚生省ノ一部ニアルダラウト思フ、或ハ其ノ點ニ付テ是デハイカスト云フコトヲ私カニ認識シ始メタ者モアルデアラウ、併シナガラサウダト云フマダ斷言シ切レナイ所ノ人達モアルデアラウケレドモ、是ハ過去ニ於ケル經過ニ鑑ミテ大イニ反省セテ相携ヘテ、即チ皇國ノ精神ニ基テ所ノ産業報國運動ニ邁進シテ行キタイト考ヘマス、重ネテ吾々ト意見ノ一致スル答辨ヲ承ルコトガ出來ルナラバ、非常ニ仕合せトスル者デアリマス

○藤原政府委員 勞働組合ニ對シマス關係ノコトニ付キマシテ先刻私ヨリ大臣ノ御答ニ附加ヘテ申上ゲタノデアリマシテ、組合ニ對スル考ヘ方ト致シマシテハ、吾々ハ先刻御答シマシタト同ジ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、唯併シナガラ塚本サシノ言ハレマスヤウニ、此ノ組合ノ今日アリマス事實ト云フモノハ現在マデ存在シテ來テ居ルモノデアリマスカ、其ノ組合ノ從來爲サレマシタ運動、サウシテソレニ對シテ今マデ實際問題トシテ活動サレタ事實等ハ現存シテ居ルノデアリマス、併シ今日ノ戰時下ノ體制ト致シマシテハ、此ノ組合ノ觀念ニ依ツテ自主的ニ勞働者諸君ノ生活ノ維持向上ヲ圖ツテ行クト云フ立テ方ハ、今日トシテハ適切クナイト云フコトヲ考ヘテ居リマスカ、連ニ成ベク早ク塚本サシノ言ハレルヤウニ産業報國運動ヲ徹底致シマシテ、サウシテ組合ノ必要性ノ解消スルコトニ向ツテ努力ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○塚本委員 ソコニ非常ニ大キナ觀點ノ相違ガアルノデアリマス、今日ノ勞働組合ガ

立ツテ居リマスルモノガ自主的ノモノデアラカラ、其ノ過去ノ發展シテ來タ所ノ歴史ニ鑑ミテ、現状ニ於テハ戰時體制ヲ強化スル爲ニ、産業報國會一本ニシテ行カナケレバナラスト云フ觀念ガ尙ホ強イヤウデアリマスガ、私カ此處デ御説教スルマデモナレタカ、勞働組合ト云フモノガ如何ニシテ生レテ來タカ、何方ニ生レテ來タカト云フコトハ、是ハ十分御承知ノコトデアリマス、勞働組合ノ發展ハ資本主義ノ發展ト共ニ成長シテ來マシタ、資本主義ノ形體ガ變レバ又勞働組合ノ形體ガ變ルノデアリマス、今日ノ資本主義ノ形體ガ變ルマデナケレバ勞働組合ノ形體ハ斷ジテ變リマセウ、隨ヒマシテ此ノ戰時下ニ於キマスル資本主義ノ形體ガ稍々修正ヲ加ヘラレテ來タ、而モ統制經濟ニ現實ツテ來タ、ソコニ勞働組合ノ方向ト云フモノノ漸次變ツテ來テ居リマス、ヤハリ其ノ線ニ沿ウテ國家ニ御奉公申上ゲテ協力シヨウト云フ風ニ變ツテ來テ居ル、勞働組合ハ何時デモ資本主義ノ發展ニ對應シテ發展シテ來タモノデアアル、資本主義ノ形體ガ變ツテ來タモノデアアル、當然勞働組合ト云フモノハ變ツテ參リマス、産業報國運動ト云フケレドモ、結局産業報國運動ノ目指シテ居ルヤウニ今日ノ資本主義下ニ於ケル産業形體ト云フモノハ變ツテ參リマス、本當ニ心ノ底カラ、又實體ノ上ニ於テ勞資一體トナツテ勞資共ニシテ、或ハ其ノ時ニハ勞資ト云フ言葉ガ解消シテ來テ居ルカモ知レナイ、ソコマデ發展シテ來テ、一體トナツテ産業ニ邁進スルヤウナ時代ニナリマスナラバ、當然勞働組合ト云フモノ

ハ解消スルモノデアリマス、解消シナタテモ自然的ニ其ノ任務ヲ變更スベキモノデアリ、セラルベキモノデアアル、而モ其ノコトヲ確立スルコトノ爲ニ理想ヲ追フニ急ニシテ、サウシテ今日ノ勞働組合ガ自主的ノ團體デアラカラト云フヤウナコトデ以テ、未ダ産業報國會ト云フモノガ本當ニ其ノ成果ヲ上ゲザルニ、ソレヲ追フニ急ニシテ勞働組合ヲ排除ナララウトスル其ノ精神ト云フモノハ、是ハ反省セラルベキモノダト私ハ考ヘル、産業報國ノ實ヲ上ゲル爲ニヤハリ勞働組合ガ協力シテ居ル、勞働組合ハ自主的ダト云ツテ居リマスケレドモ、今日ノ勞働組合ハ眞ニ申シマシタ通り、既ニ事變前カラ、疾ウノ昔カラ勞資一體トナツテノ産業報國運動ト云フモノヲヤツテ來テ居リマス、勞働組合ヲ作ルケレドモ、飽クマデモ自分達ノ立場ヲ維持シ、飽クマデモ自分達ノ立場ダケヲ擁護シテ居ル團體デハナイ、説明ノ言葉ガ足ラナクツタカモ知レナイガ、飽クマデモ愛國ノ立場、國家ノ觀點ニ立ツテ、サウシテ資本主義ノ弊害ヲ除去シ、仍チ以テ國家ノ産業ノ興隆ヲ期シヨウト云フノガ勞働組合ノ目的デアアル、唯自己ノ利益ダケヲ擁護シヨウトスルヤウナ、サウ云フ偏狹ナ組合デハ決シテナイ、ソレハ少クトモ今日アル所ノ勞働組合ノ認識ガ足ラザル所カラ來テ居ルト思フ、勞働組合ト云フモノハ各國ノ例ハ兎モ角ト致シマシテ、殊ニ日本ノ歴史ト云フモノハ、非常ニ愛國的ナ立場ヲ執ツテ居ル、世間ニハ色々モノモ隨分アツタ、併シサウ云フモノハ容レラレスシテ遂ニ各、解消シ去ツテ居ルノデアアル、實ニ日本人ハ有ニル思想ヲ採入レテ、之ヲ日本化スルコトニ異常ナル力ヲ持ツテ



居ル國民デアル、而シテ今日殘ツテ居ル勞働組合ト云フモノハ、所謂整理ラレタ日本化セラレタ更生組合ガ殘ツテ居ルノデア...

得デナクテ一舉三得ニナルカモ分ラナイノデアリマス、勿論斯ウ云フコトヲヤルニ付テハ...

マス、又簡易保險ノ機能ヲ發揮スル上カラ申シマシテモ...

ニ處置ヲ要スルヤウナ場合ニ限リ應急ノ處置ヲ致シテ居ル程度デアリマス、併シ現在ノ狀況カラ申シマス...

日ノ住宅拂底ニハ殆ド皆困窮致シテ居ルノデアリマス、農村カラ労働者ガ澤山來マ...

ニハ、例ヘバ朝鮮ナラ朝鮮カラ何人來テ貰フト云フコトヲ決メテ居リマシテモ...

著々進シテ居リマス、併セテ又申上ゲマスガ、勿論ハ工場労働者ノ極メテ過密状態...

ガ、特ニ國民ノ健康問題ヲ取扱ツテ居ラレル厚生省トシテモ、十分ニ發言シテ貰ハナ...



限ニサウ云フモノヲ建アルト云フコトデナシニ、斯ウ云フモノハ出來ルダケ工場地帯カラ離レテ適當ナ健康地帯ヲ選シサウ云フ住宅ヲ造ルヨウニト云フコトヲ勸奨シテ賞ヒタイノデアリマス、ソレカラ又、是ハ厚生省ノ所管カドカ知リマセヌガ、ヤハリ健康問題ニ關聯シテ、一體今日ノ日本ノ工場ノ建築状態ハドウデアルカ、極メテ不衛生的ナモノデアラツテ、殆ド言語道斷ト云フモ宜イ位デア

ラ二月、三月、半年經ツ間ニ段々林檎色ノ類ガ著メテ來ル、見テ居ル間ニ其ノ人間ハ變ツタ人間ニナツテ行ク、其ノ甚シキモノハ、見テ居ルマスト、ソレガ一年足ラズ、想像シテ居リマスト、ソレガ一年足ラズ、或ハ一二年ノ中ニ結核デ死ンデ行ク者イ者ガ非常ニ多イノデアリマス、是ハ又都會ニ於テ私共ト一緒ニ働イテ居ル間ニ登レル者モアリマスケレドモ、病氣ヲシテモウ働ケ

員ガ協力シテ萬全ノ策ヲ執ルベキデハナイカ、現下必要ニ迫ラレテ居ル所ノ十七歳、十八歳、十九歳ノ青年ノ體力ヲ管理シテ、此ノ長期戦ニ備ヘテ行クコトハ勿論必要デアリマスケレドモ、更ニ一歩進メテ其處マデ來ナケレバ本當ノモノデアラト思フ、其處マデ其ノ歩ヲ進メテ行クテ賞ヒタイト思フ、私ハ工場ノ中ニ居ツテサウ云フ状態ヲ絶エズ見テ憂ヘテ居ル者デアリマス、其事ノ爲ニ登レテ行ク者ノ數ハ非常ニ多イデセウ、是ハ統計ノ上ニ現ハレテ來ナイダラウト思フノデアリマス、此處マデ一ツ注意ヲ拂ハレテヤツテ賞ヒタイト考ヘルノデアリマス、一括シテ御答辯願ヒタイト思ヒマス

何分戦時下ノコトデアリマシテ、思フニ任セスコトモ多イノデアリマスガ、其ノ中ニ於キマシテ出來ル限リ左様ニ致シマシテ、日本ノ産業ノ能率ヲ増進シ、国力ヲ健全ニ培ツテ行クコトニ努メタイト思フテ居リマス

○探本委員 最後ニモウ一點ダケ御伺シ、サウシテ厚生大臣ノ一ツ御齋園ヲ願ヒタイノデアリマスガ、問題ハ鑛山労働者ノ問題デアリマス、是ハ時間ガアリマセヌカラ詳シクハ申上ゲマセヌ、唯今後政府ノ方デ石炭ノ増産計畫ト致シマシテ、一億一千万圓ノ獎勵金、補助金ヲ出サウト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、此ノ點ハ私ハ商工ノ分科會デ詳シク御尋シヨウト思フテ居ルノデスガ、唯厚生大臣ニ御願シタイコト云フ獎勵金、補助金ノ使ヒ方デ石炭ノ増産ガ豫定通り圖ラレカドウカト云フコトニ付テハ、私ハ甚ダ悲觀的ナ觀察ヲスル者デアリマス、マダ具體的ノ内容ニ付テ聞イテ

レルカモ知レナイ、是ハ極端ダト云ハレレカモ知レヌガ、ドウモサウ云フヤウニ吾々ニハ感ゼラレマス、徒ニ此ノ戦時下必要ナル一億一千万圓ト云フ巨額大ナル金ヲ使ヒテガ、ソレデ石炭増産ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フコトデアレバ非常ニ警戒スベキデアリマス、私ハ此ノ獎勵金ガ是マデ一日ニ一億出スモノナラ其ノ上ニ一億幾ラ出シタナラ、其ノ増産ニ對シテ是レノ獎勵金ヲヤルト云フヤウニシテ労働者ニ與ヘラレル獎勵金ナラ、石炭ノ増産ハ出來ル

勵金ヲ出セバ、結局ニ於テ事業主ノ懐ロヲ肥ヤスダケデハナイカ、サウ云フコトデ石炭ヤ「マツチ」ノ増産ガ出來ルカ、ソコニ政府ノ考ニハ大キナ距離ガアル、斯ウ云フ點ニ付テ厚生大臣ガソレデハ増産ガ出來ナイゾト云フコトヲ主張シナケレバ外ニ主張スル大臣ガナイト思フ、是ハ戦時下ノ日本ヲ背負ツテ立ツテ居ル所ノ關係ノ一人トシテ厚生大臣ノ責任ハ重大デアルト思フ、唯商工大臣ヲ選信大臣ヤ其ノ人ガ言フガ儘ニ所管達ヒデアルカラト云ツテ之ヲ漫然ト同意ヲ與ヘラレテハナラヌト思フ、アナタハ飽タマデモ増産計畫ノ上ニハ労働者ノ上ニ思ヒヲ致サレテ、本當ニ其ノ金ガ無駄ニナラナイデ有效ニ増産ノ目的ガ達セラレヤウニ其ノ金ヲ使フヤウナ方法ヲ行ハレナケレバナラス、勿論石炭ノ問題デモ私ハ唯労働者ガケノ問題デハナイト思フ、鑛山用ニ於ケル資材ノ配給ガ足りナイ、十四年度ノ実績カラ見テモ殆ド計畫ノ半バモ支給サレテ居ラナイ、サウ云フ所カラ來ル所ノ原因デ石炭ト云フモノガ豫定通り出テ來ナイ結果ニナツテ居ルト思フ、貴族院ノ何トカ

云フモノガ十分ニ出來テ居ナイカラデアル、誰ダツテ命ハ惜シイ、好ンデ危險地帯ニ入ル者ハナイ、坑内ノ設備ト云フモノガ段々不完全ニナツテ來テ、ソコニ危險ト云フモノガ増シテ來ル、デスカラ労働者ハ勢ヒ知ラズ職ヲズノ間ニ入坑率ガ下ツテ來ルノデアリマス、殊ニ地下足袋ノ配給ガ足りナイ、其ノ他ノ労働用資材ガ足りナイ、ソレガ入坑率ヲ下ゲテ居ルノデアツテ、決シテ労働賃金ガ上ツタカラ、所得ガ多クナツタカラ遊惰ニ流レテ入坑シナクナツタト云フノデア、或ル坑夫ニ其ノ話ヲシテ、今日事業主側ニ於テモ、政府ノ方ニ於テモサウ云フコトヲ言フ人々ガアルガ、君達ハドウカト云フツテ問ウ所ガ、其ノ坑夫曰ク、トシデモナイコトデス、誰ダツテ働キタイ、働キタイケレドモ働クヤウナ設備ガ出來テ居ナイ、誰ガ好ンデアノ危險ナ所ニ入りマセウカ、結局其ノ日ノ食フ爲ニ入ルダケデアツテ、好ンデ入レルヤウナ設備ニナツテ居ラナイ、私ガ成田山ニ詣ルノモ其ノ爲デアル、安全ヲ祈願スル爲デアル、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ツタ、漁業者ガ船ニ乗ツテ、板子一枚下ハ地獄ノ底ト云フテ居ルト同ジヤウニ、朝入坑スレバ晩ニハ安全ニ自分ノ家庭ニ歸レルカ歸レナイカ分ラナイト云フ不安ナ状態ニ於テ働イテ居ルノデアリマス、ソコデ坑内設備ガ段々惡クナツテ來レバ勢ヒ入坑率ガ下ツテ來ルコトハ當然デアリマス、生活費ガ有り餘ツテ其ノ結果ガ入坑率ガ低下シタノダト云フヤウナ見解ハ「トシデモナイ資本家の考ヘ方デアル、或ハ業議院ノ豫算總會ニ於テ労働者ガ非常ニ歡樂ニ耽ツテ居ルカ云ツタ者ガアルガ、ソレハ工場地

物法及ビ都市計畫法ニ於キマシテ、空地及ビ其ノ他ノ規定ガアリマスガ、併シ土地ノ構成上カラ見マシテ、住宅ノ觀點カラ、或ハ工場立地ノ問題、其ノ他都市計畫ノ實際ノ計畫及ビ地域其ノ他ノ別リ方、大キク言ヘバ國土計畫ト云フヤウナコトモ關聯致シマスカラ、サウ云フ方面トモ只今連絡ヲ執ツテ研究中デゴザイマス

カモ知レナイ、是ハ極端ダト云ハレレカモ知レヌガ、ドウモサウ云フヤウニ吾々ニハ感ゼラレマス、徒ニ此ノ戦時下必要ナル一億一千万圓ト云フ巨額大ナル金ヲ使ヒテガ、ソレデ石炭増産ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フコトデアレバ非常ニ警戒スベキデアリマス、私ハ此ノ獎勵金ガ是マデ一日ニ一億出スモノナラ其ノ上ニ一億幾ラ出シタナラ、其ノ増産ニ對シテ是レノ獎勵金ヲヤルト云フヤウニシテ労働者ニ與ヘラレル獎勵金ナラ、石炭ノ増産ハ出來ル

勵金ヲ出セバ、結局ニ於テ事業主ノ懐ロヲ肥ヤスダケデハナイカ、サウ云フコトデ石炭ヤ「マツチ」ノ増産ガ出來ルカ、ソコニ政府ノ考ニハ大キナ距離ガアル、斯ウ云フ點ニ付テ厚生大臣ガソレデハ増産ガ出來ナイゾト云フコトヲ主張シナケレバ外ニ主張スル大臣ガナイト思フ、是ハ戦時下ノ日本ヲ背負ツテ立ツテ居ル所ノ關係ノ一人トシテ厚生大臣ノ責任ハ重大デアルト思フ、唯商工大臣ヲ選信大臣ヤ其ノ人ガ言フガ儘ニ所管達ヒデアルカラト云ツテ之ヲ漫然ト同意ヲ與ヘラレテハナラヌト思フ、アナタハ飽タマデモ増産計畫ノ上ニハ労働者ノ上ニ思ヒヲ致サレテ、本當ニ其ノ金ガ無駄ニナラナイデ有效ニ増産ノ目的ガ達セラレヤウニ其ノ金ヲ使フヤウナ方法ヲ行ハレナケレバナラス、勿論石炭ノ問題デモ私ハ唯労働者ガケノ問題デハナイト思フ、鑛山用ニ於ケル資材ノ配給ガ足りナイ、十四年度ノ実績カラ見テモ殆ド計畫ノ半バモ支給サレテ居ラナイ、サウ云フ所カラ來ル所ノ原因デ石炭ト云フモノガ豫定通り出テ來ナイ結果ニナツテ居ルト思フ、貴族院ノ何トカ

云フモノガ十分ニ出來テ居ナイカラデアル、誰ダツテ命ハ惜シイ、好ンデ危險地帯ニ入ル者ハナイ、坑内ノ設備ト云フモノガ段々不完全ニナツテ來テ、ソコニ危險ト云フモノガ増シテ來ル、デスカラ労働者ハ勢ヒ知ラズ職ヲズノ間ニ入坑率ガ下ツテ來ルノデアリマス、殊ニ地下足袋ノ配給ガ足りナイ、其ノ他ノ労働用資材ガ足りナイ、ソレガ入坑率ヲ下ゲテ居ルノデアツテ、決シテ労働賃金ガ上ツタカラ、所得ガ多クナツタカラ遊惰ニ流レテ入坑シナクナツタト云フノデア、或ル坑夫ニ其ノ話ヲシテ、今日事業主側ニ於テモ、政府ノ方ニ於テモサウ云フコトヲ言フ人々ガアルガ、君達ハドウカト云フツテ問ウ所ガ、其ノ坑夫曰ク、トシデモナイコトデス、誰ダツテ働キタイ、働キタイケレドモ働クヤウナ設備ガ出來テ居ナイ、誰ガ好ンデアノ危險ナ所ニ入りマセウカ、結局其ノ日ノ食フ爲ニ入ルダケデアツテ、好ンデ入レルヤウナ設備ニナツテ居ラナイ、私ガ成田山ニ詣ルノモ其ノ爲デアル、安全ヲ祈願スル爲デアル、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ツタ、漁業者ガ船ニ乗ツテ、板子一枚下ハ地獄ノ底ト云フテ居ルト同ジヤウニ、朝入坑スレバ晩ニハ安全ニ自分ノ家庭ニ歸レルカ歸レナイカ分ラナイト云フ不安ナ状態ニ於テ働イテ居ルノデアリマス、ソコデ坑内設備ガ段々惡クナツテ來レバ勢ヒ入坑率ガ下ツテ來ルコトハ當然デアリマス、生活費ガ有り餘ツテ其ノ結果ガ入坑率ガ低下シタノダト云フヤウナ見解ハ「トシデモナイ資本家の考ヘ方デアル、或ハ業議院ノ豫算總會ニ於テ労働者ガ非常ニ歡樂ニ耽ツテ居ルカ云ツタ者ガアルガ、ソレハ工場地



帯ニ入ツテ夜、カフエー」ノ一ツ位ヲ見テ來タ人ノ言デアル、其ノ人ガ本當ニ坑内ニ入ツテ見タノデヤナカラウト私ハ思フ、石炭ノ増産ハ結局ニ於テサウ云フ資材ヲ十分ニ配給スルコト、労働者用ノ作業器材ト云フモノヲ十分配給スルコト、其ノ上増産スル爲ニ増産獎勵金ヲ出スナラ、労働者ニ是マデヨリ以上多ク出セバソレニ對スル所ノ獎勵金ヲ出ス、斯ウ云フ建前デナケレバ石炭ノ増産ハ決シテ圖ラレナイ、マツチ」ノ増産モ得ラレナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ開議ノ中ニ於キマシテモ、此ノコトヲ強ク厚生大臣カラ主張シテ貰ツテ、サウシテ善處セラレンコトヲ希望シタインデアリマス、此ノ點ニ付テ厚生大臣ノ所見ヲ承ツテ置キタイ

○吉田國務大臣 色々御氣付ノ點ハ有難ク承リマシタ

○平川主査 北吟吉君

○北委員 私人厚生省關係ノコトニ付テ三御質問申上ゲタイノデアリマス、私ハ此ノ厚生省ノ成立ト云フコトニ付テハ、非常ナ期待ヲ持ツタ一人デアリマシテ、今日厚生省ノナルコトニ付キマシテ、期待ノ一部ガ實現サレテ非常ニ喜ンデ居ル點モアリマスガ、マダ物足ラナイ點モ大分アルノデアリマス、實現サレテ喜バシイト云フ方面ハドウ云フ方面カト云フト、現在ノ生活ノ缺陷ヲ填補スルト云フカ、或ハ社會生活ノ落伍者ヲ救済スルトカ云フ消極的方面ニ比較的效果ヲ擧ゲテ居ル、併シ民族ヲ強化スル、民族ヲ心身共ニ優秀ナラシメルト云フ積極的方面ニ付テハ、マダ私ハ疑問ヲ持ツテ居リ、物足ラナイ感ヲ持ツ一人デアリマス、社會生活ノ缺陷ヲ充填スル、落伍者ヲ救済

スルト云フコトハ、是ハ應急處置トシテヤラナケレバナラヌ、殊ニ戰時ニ於テハ斯ウ云フ仕事ハ非常ニ殖ニテ居ル、厚生省トシテ應接ニ追アラザル多忙ヲ仕事デアラウト御同情ハ申上ゲマス、是ダケデハ丁度病人ニ熱ガ出ルカラ、鼻ノ中ニ綿ヲ詰込ム、痙攣ヲスルカララ布團ヲ被セテ押付ケルコト云ダゲデナカラウト思フ、病氣ノ微候カラ更ニ進ンデ病氣ノ原因ヲ突止メテ、根本カラ病氣ヲ治ス、將來又一層壯健ニシテヤルト云フコトニハ、唯病氣ノ微候ヲ満足スル譯ニ行カヌ、微候ヲ手掛リトシテ、病源ヲ探究シナケレバナラヌト思フノデス、是ハ他ノ行政部門ニ於テモ同ジコトデアルケレドモ、厚生省ニ於テハ殊ニ此ノ必要ガアラウト思フノデス、例ヘテ見レバ、今日ハ失業率ハ少イガ、元ハ理工科關係ノ者ハ羽ノ生エル如ク飛ンデ、文科法科關係ノ者ハ羽ノ生エルニ多クツタ、サウ云フ時ニハ厚生省ノ立場カラ是ハ文部省ニ現在ノ教育ノ施設ガ惡イト云ツテ、文部省ニ向ツテ大ニ警告ヲ發スル、或ハ又戰爭ニ行ツタ壯丁ヲ調ベテ見テ、日本ノ兵隊ハ皆強イガ、都會生活者ヨリモ、農村カラ出タ者ノ方ニヨリ強イ者ガ多イト云フコトニナレバ、若イ者ヲ大都會ヘ多ク集中スルト云フコトニ付テハ相當研究シ又成案ヲ得テ陸軍省ニ向ツテ警告ヲ發スル、私ハ斯ウ云フ民族強化ノ積極的ノ仕事ハ、厚生省ガ一番キリ得ル地位デアリ、其ノ意味ニ於テハ時局ノ推進力ガ軍部ヨリハ寧ロ厚生省ガ「イニシヤチ」ヲ握ルベキデ、ナカラウトカト思フノデス、厚生省ノ關係者ガ此ノ點ニ大悟一番シタナラバ、私ハ日本ノ政治ヲ「リード」スルコトガ出來ルト思フテ居リ

マシ、今マデノヤウチ専門達ヒノ方々ガ厚生大臣ニナラレテハ、私ハ大聲叱呼シテモドウトモ反響ガアリマセケレドモ、幸ヒ吉田厚生大臣ハ此ノ方ノ育チデ、適材適所ト一言ニ評シテ宜カラウト思フノデス、私ハ期待スル所ガ多イカラ、其ノ器ニアラズシテ其ノ位ニ就ク者ハ今日ノ低物價政策ニ反シテ居ルノデアリマス、吉田大臣ノ如キハ適正價格ヲ十分ニ備ヘタ者ト思フ(笑聲)

其ノ見地カラ私ハ大ニ驚キタイノデアリマスガ、色々ノ消極的ノ應急的ノ厚生政策ト云フコトニ付テハ御尋致シマセマスガ、民族強化ト云フ大眼目カラ、厚生省ノ積極的具體的恒久的の方策ヲ承リタイ、之ヲ伺ハヌト、厚生省ニ期待スル所ガ餘リ多クツタゲネ失望セザルヲ得ナイノデアリマス、殊ニ私ガ之ヲ承リタイノハ、戰爭ガ非常ニ長ク續キマス、私ハ詳細シコトヲ此處デ引用致シマセケレドモ、歐羅巴デモ三十年戰爭ノ済シダ後ガ一番心身共ニ墮落シ切ツタ時ダト云ハレテ居リマス、ソレカラ日本ヘモ會テ來タ「パートランド・ラッセル」ノ書イタ書物ヲ見テモ、戰爭ガ短期テ済ン目覺マシイ勝利ヲ得タ時ニ、心身共ニ非常ニ好イ影響ガアルケレドモ、長期ニ戰爭ガ互ツタ時ニ、優良種ノ衰滅人心ノ廢頹ガ必ズ附隨ウテ來ル、此ノ前ノ歐洲大戰ノ經驗ニ徴シテモ、英國デハ一番大切ナル青年層壯年層ヲ失ツタ、是ハ試フベカラザル損害デアリト、英國ノ軍略家ガ皆言ウテ居ルノデアリマス、是ハ今度ノ事變ニ付テモ言ハレルコトデアリマシテ、戦地ヘ行ツテ君國ノ爲ニ命ヲ捧ゲル者ハ殘ツテ居ル者ヨリモ比較的優良分子デ、是ガ此ノ先マダ何年續ク

カ分リマセス、サウ云フ弊害ガマザント現ハレテ來ルト私ハ思ヒマス、所謂優良種ノ減少ト云フ現象ガアル、精神的ノ方面デモ亦非常ニ其ノ缺陷ガ現ハレマシテ、英國ノ歐洲大戰中ノ經驗ニ照シテモ、小學校ノ教師ハ大抵女ノ手ニ移ツテシマツテ素質ガ非常ニ落チタ、今日デモ軍需産業ハ非常ニ盛デ小學校ノ教師ニナル希望者モ質方惡クナドント、現在居ル立派ナル小學校ノ教師モ外ヘ一方體方惡クナル、又一方教育ノヤリ方モ内容實質共ニ惡クナツタ、ソコデ單ニ教員ガ足ラヌカラ募集スルコトカ、體方惡イカラ醫藥ヲ盛ニ造ルトカ云フダケデハ、是ハ厚生省ノ臨時措置、應急措置ダケニ終ツテシマフノデアリマス、民族ヲ強化スル積極的恒久的の方策ヲ思ヒ付ガアルナラバ御示ガ願ヒタイ、又其ノ對策ヲ御示ニナツタ上ニ、現在ヤツテ居ル色々ナ日本政府ノヤリ方ニ付テ、ソレヲ調和セス所ガアリマスナラバ、私ハ次ニ又御質問申上ゲタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 洵ニ御卓見デアルト承リマス、今日ハ厚生行政ト申シマスカ、是マデノ社會政策労働政策ト云フヤウナ考ノ下ニ行ハレマシタコトハ、仰シヤル通りニ、社會ニ出テ參リマスル色々ナ病症、ソレニ發シマシタ缺陷ヲ補正スルコトニ多ク力ガ注ガレテ居ツタト思フノデアリマス、其ノ段階ハ最早ソレデハ維持シ切レナツタツ所ニ、現代ノ政治、産業經濟一切ノ動キガ轉換ヲシツツアルノダト思フノデアリマス、厚生省ノ受持ノ範圍ニ於キマシテハ、殊ニサウ云フコトガ著シイト私ハ思フノデアリマス、例ヘバ労働等諸ガ必然ニ起ルモノダト云フコトヲ覺悟シテ、ソレヲドウ調整

スルコト云フコトヲ考ヘルノガ労働政策デアルト云フヤウナ甘イ考ヘデハ濟マナイト思フ、保健衛生ニ付キマシテモ同様デアルト思ヒマス、併シ今マデノ立法、或ハ今ノ役所ノ機構ハ、マダサウ云フ時代ノ殘滓ヲ清算シ切ツテ居ルト申セナイト私ハ思フノデアリマス、之ヲ一舉ニマルデ違ツタモノニ建直スト云フコトモ、是ハ言フベクシテ行ハレザルコトデアリマスノデ、實際ニ一番緊要ナル問題カラ致シマシテ本塞源ノ方ヲ立テルコトヲ逐次行ツテ參ルト云フコトハ以外ニ轉換ノ仕方ハナイト思フノデアリマス、左様ナ意味ニ於テ此ノ頃出マスル例ヘバ今度ノ議會デモ御協賛ヲ仰グ、先程モ塚本君カラ御質問ノアリマシタ國民體力ノ管理ト云フヤウナコトハ、積極的ニ青少年ノ健康ニ付キマシテ年々ノ検査ヲシ、ソレヲ記憶シ有益ヲ指導シテ丈夫ナ人間ヲ拵ヘヨウト云フヤウナ觀點ニ立チマシタ、時代ノ傾向ヲ代表スル一ツノ立法デアラウカト思フノデアリマス、是モ運用シテ初メカラ萬全ノ效果ヲ上ゲヨウト云フ風ニ私共ハ自惚レテ居リマセケレドモ、左様ナ見地ニ立チマシテ、禍ヲ未然ニ防グト云フヨリ、モウ少シ進ンデ國力ヲ強化シ、民力ヲ強化シテ行クト云フヤウナ方向ニ進ミタイト思フノデアリマス、ソレニハヤハリ例示セラレマシタヤウナ外國ノ事例等モ無論參考ニセネバナラヌノデアリマスガ、今マデノ日本ノサウ云フ方面ノ行政ニ於テハ、比較的ノガ等閑ニセラレテ居ツテ、大體皆腰溜デ物ヲ考ヘテ居ツタノガ随分多イノデヤナイカ、サウ云フコトヲ防ギマス爲ニハ、例ヘバ最近厚生省ニ出來マシタ人口問題研究

所、今年カラ豫算ニ現ハレテ研究シテ居リマスル厚生科學研究所、サウ云フモノノ内容ヲ折角充實致シマシテ、正確ナ實地研究ノ基礎ニ立ツタ諸君ノ社會政策、労働政策、人口政策ト云フヤウナモノヲ實行シテ參ル基ヲ築久ト云フコトモ大事ダト思ヒマス、基ガ築ラナイト仕事ニ著手シナイト云フノデハ今日ノ急場ニ合ヒマセケレバ、腰溜ノコトモシテ行クヤウニナリマス、腰溜ニ付キマシテモ、今御指摘ノヤウナ見地ニ立ツテ有ユルモノヲ檢討シテ行キタイト思ヒマス、労働政策ニ付キマシテモ、午前中ニモ御話ノ出テ居ツタヤウナ問題モヤハリ其ノ方向ノ是正ト云フコトヲ基礎ニシテアノヤウナ論議ガ行ハレナケレバ、固ニ合ハナイ時節ニナツテ居ルト思フノデゴザイマス、微力デゴザイマシテ左様ナ志ヲ實際ニ實現シ得ルト云フコトノ上ニ決シテ大キイコトハ申セナイノデアリマス、心持ハサウ云フ所ニ置イテ進ンデ參リタイト思フノデアリマス

○北委員 私人民族強化ト云フコトニ付テ自分ノ少シバカリノ考ヲ述ベマシテ、厚生大臣ノ御感想ヲ承リタイト思ヒマス、ヤハリ民族ノ強化ト云フコトハ各方面カラヤラガ都會ニ集中スル弊害ヲ防グト云フコトデナクチヤナラヌト思フ、其ノ點ニ付テ少シ私ハ申上ゲタイト思ヒマス、是ハ私ハ二十年モ前カラ實ハ文章ニ演説ニ述ベテ參リマシタ、此ノ議會デモ四回續ケテ豫算委員會デ述ベテ居リマス、歴代ノ文部大臣ハ非常ニ贊成ヲシテ呉レマシタガ、マダドウモ實行力ガナイヤウデ、研究シマスト云フコトデ済ンデ居リマスガ、昨年荒木文部大臣ハ

文化ノ都會集中ノ弊ハ其ノ極ニ達シテ居ル、何トカ是ハ回轉策ヲ講ジナケレバナラヌト云フ至誠ヲ披瀝シテ呉レマシタケレドモ、今日ハモウ文部大臣デアリマセマス、是ハ私ハ厚生大臣ノ立場デ考ヘレバ一番早ク片ガ付ク問題ダト思ヒマス、更ニ申上ゲマス、吾々有志カラ近く建議案デモ出サウカト云フ位ニ考ヘテ居リマス、御承知ノ如ク東京ヘノ人口集中ガ非常ニ甚シイノデアリマス、一部ノ人ハソレヲ喜ンデ、近ク日本ノ東京ハ千万人ノ人口ニナツテ世界ニ一ナル、私ヲシテ言ハシメレバ、民族廢絶ノ方向ヲ視察スル傾向ガアルヤウデス、サウ云フ一面ガアルト云フコトヲ私ハ遺憾ニ思ツテ居ル、私ハドウシテ東京ニ斯ウ人間ガ餘計集マルカト云フコトニ付テ原因ヲ色々調ベテ見ルト、成程明治時代カラ中央集權的政治ニ關係ハアルノデアリマスガ、殊ニ目覺シイノハ學校ヲ餘計建テタコトデアリマシテ、私ハ昨年文部省ニ統計ヲ求メマシタラバ、專門學校、高等學校、大學程度ノモノハ官私合セテ百三アル、七百方東京府ノ人口ト大積リニ見テ七万人ニ一ツノ割合ノ學校ニナツテ居ル、サウシテ學生ノ數ガ十四万人アル、東京府在籍ノ者ガ四万人デ、他府縣カラ來テ居ル者ガ十万人デス、斯ウ云フ驚クベキ數字ヲ得タ、是ハ歐羅巴、亞米利加ニモナイ現象デアリマス、ソコデ此ノコトハ色々弊害ヲ生ズル、先ツ東京ノ交通地獄ト云フ現象ニ現レ



來陸軍ノ學校ハ皆田舎ノ持ツテ行キタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルサウデアリマス、私ニモ明言致シマシタ、厚生省ハ建設の意義或ハ恒久的の意義ヲ、民族強化ト云フ立場カラ、此ノ勢ヲ促進シテ戴キタイ、文化ノ中央集中ヲ打破スル一吾々ノ所屬スル民政

ノ生活ニ於テ規律ヲモット引締メル、是ガヤハリ健康第一義ヲハナイカト思フノデス、第三ニハ、是ハハツキリト御答ヲ聽キタイノデスガ、戰時中ハ少クモ青年禁酒法位ハ厚生省カラ要求シテ戴キタイ、酒方足ラヌデ水マデ入レテ飲ムト云フ際ニ、二十五歳以下ノ青年ガ酒ヲ飲ム必要ハアリマセヌ、私

ヲ飲マセナイ、學生ナドガ飲ンデ歩イテ居ツタラ直グニ引ツ張ツテシマフ、其處マデ一ツ斷行シテ戴キタイ、今酒ガ澤山餘ル時ナラバサウ云フ窮屈ナコトハ言ハナイケレドモ、酒ガ足ラヌデ酒ニ水マデ入レテ

殘飯ヲ食フカラ宜シイト私ノ所ヘ投書ヲ寄越シテ者ガアル、新聞ニモサウ書イテアハル、殘飯ハ豚ガ糞ヘルノデス、殘飯ヲ人間ガ食ヘト言フノデアリ、豚糞ヲ飼料ニセヨト言フノデアリ、亞米利加邊リハ皆豚ハ食物ノ殘飯ヲ食フテ居ル、是ガ二百万石モ違ツタラ大變ナモノデス、今金デ買フト

中ニハ骨無シガ石灰分ガ足ラヌ爲ニ大分出タ、戰後ニ私ハ獨逸ニ行ツテ二年七箇月バカリ居リマシテ、アノ滲滲タル榮養不良ノ様子ヲ見テ驚イタ、今カラ私ハ厚生省ノ立場カラ對策ヲ講ジナケレバナラヌト思フ、ソコデ私ハ非常時ニ對スル心掛ハ内閣諸公カラ聽キタイと思フモ、聽ケナカッタ、小善ト雖モ爲サザル勿レ、小惡ト雖モ爲ス勿レト云フコトガ「モット」レナケレバナラ

ニモ承知致シテ居ルノデアリマス、今日此ノ戰爭遂行ト云フ重大時局ノ中ニ於キマシテ、例ヘバ産業ノ爲ニスル都市集中ト云フヤウナコトノ傾向ヲ食止メルト云フコトハ隨分難儀デアアルト思フノデアリマスガ、是モ併シ漫然トサウ云フノ食止メルト云フコト

非常ニ著シクゴザイマスルシ、非常ニ困ツタ現象ガ起ツテ居ルノデアリマス、出來ル限リ各方面ト接觸ヲ保チマシテ、此ノ弊害ヲ出來ルダケ小サイ限度デ止メルト云フヨリハ、寧ろ人口ノ地方分散ニ力ヲ致シヤウ

確立スルニ十分デアラウト云フコトデ、政府部内ニ於キマシテモ、之ヲ如何ニシテ鞏固ナモノニ改組スルカト云フコトニ付テ、目下取急イデ研究中デアリマス、其ノ方面ニシツカリト力ヲ入レバ、可ナリ實現ノ出來ルコトデアラウト思フ

○吉田國務大臣 人口ノ都市集中ノ弊害ト

云フコトニ付キマシテハ御同感デアリマス、殊ニ今度ノ事變以降東京、大阪、名古屋ノ如キ大都市ノ人口集中ノ傾向ハ一層激成サレテ居ルヤウニ考ヘラレマス、種々ノ害惡ガソコニ孕マレテ居ルト云フヨリハ、寧ろ露呈シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、是

トニ付キマシテハ、一ツ「可ナリノ塵埃」アルコトデアリマシテ、此ノ前、私社會局ニ在官致シテ居リマシタ際、其ノ當時ハ失業問題ノ非常ニヤカマシイ時代デアリマシ

ガ、其處デ國民生活ヲ規律シテ行クダケノ活力ノアル働キヲスルト云フ仕組ニハナツテ居ラナイノデアリマス、此ノ事ニ付キマシテハ、國民精神總動員ガ恐ラクサウ云フコトヲ預カルベキ使命ヲ持ツテ居ルノダト

今日ノ儘ノ態勢デハ、日本ノ戰時體制ヲ確立スルニ十分デアラウト云フコトデ、政府部内ニ於キマシテモ、之ヲ如何ニシテ鞏固ナモノニ改組スルカト云フコトニ付テ、目下取急イデ研究中デアリマス、其ノ方面ニシツカリト力ヲ入レバ、可ナリ實現ノ出來ルコトデアラウト思フ



ハ容易イガ節酒ハ難カシト云フコトモアルノデアリマシテ、實ハ今度米ノ消費ヲ節約スル意味デ、米ヲ酒ニ費ス分量ト云フモノヲ半分ニシヨウト云フコトヲ國策トシテ決定ニナツテ居ルノデアリマシガ、アレガ其ノ後實行セラレマシテハ、或ハ農漁山村方面、産業方面等デハ大分困ツテ現象モ起ルノデアリナカト云フヤウナコトヲ言フ人サヘアルヤウナ譯デアリマシテハ、御趣旨ハ結構デアリマシガ、ヤハリ規律ヲ保ツト云フコトヲ主眼ニシテ、酒ヲ活用スルヤウナ意味デ用ヒルヤウナ風ニ氣ヲ付ケルノガ宜クハアルマイカト私ハ思フノデアリマシ、尙ホ歐羅巴大戰後ノ歐羅巴ノ、殊ニ獨逸等ノ國民地位ノ低下、榮養ノ不良ニナツタ事等モ顧ミルベキデハナイカト云フ御注意モ、洵ニ御尤モデアリマシ、其ノ點デハ私ハ日本ハ獨逸ナシカニ比レト、例ヘバ此ノ頃漁獲物ノ漁獲高ガ色々事情ノ爲ニ已ムヲ得ズ減ツタト云フコトハ、洵ニ困ツタコトデアリマシケレドモ、魚デモ、或ハ野菜デモ、山菜類デモ、食物ノ「バラエチ」ノ非常ニ多イ國デアリマシテ、是亦榮養ノ見地カラ、食物研究カラ、合理的ニ研究シマシテ、ソレ等ノモノヲ適度ニ配分シタ食物ヲ國民生活ノ上ニ確保スルト云フコトハ、日本ハ獨逸程ニハ困ラズニ、計畫サヘ宜シケレバ立派ニ實行出來ル問題ダラウト思ヒマス、日本ノヤウナ環境ノ國デ、昔無シノ子供ガドン／＼生レルト云フコトハ、ソレハ恐ラク指導ノ仕方ノ間違ツタ時ニ起ルコトデ、適當ナ対策ヲ以テスレバ、左様ナ意味カラノ榮養不良ト云フコトハ、可ナリ防ギ得ル譯デアリマシガ、此ノ邊ニモ考

ヲ慮ラナイヤウニシテ、是ハ主トシテ私共ノ方デ骨ヲ折ル中心ニナルコトガ適當デアアルマイカト思ヒマスカラ、厚生科學研究所ト協力致シマシテ、其ノ方面ニハ十分骨ヲ折ツテ見タイト思ヒマス

○北委員 只今ノ御答ハ大體ノ心構ヘトシテハ洵ニ共鳴セザラ得ナイノデアリマスドウカ之ヲ具體化シ、事實化スルヤウニ御願致シテ置キマス、私ハ要スルニ政治家ノ誠意ノアルカナイカハ物ヲ具體化スルカセスカニアルト思フノデス、抽象的ナコトヲ言ウテ胡麻化スト云フノハ、是ハ不誠意ノ證據デ、例ヘテ見レバ、議會ノ答辯デモ大臣ガ餘リ抽象的ナコトヲ言ウテ居ルノハ責任ヲ通レ揚テ取ラレナイ爲デアリマス、自分ノ身ニ振掛ツタ場合ニハ人間ハ何事デモ具體的ニヤリマス、例ヘバ自分ノ子供ガ病氣ニナツタ時ニハ直グニ醫者ヲ呼ンデ、激シイ場合ニハ「カシフル」注射デモ食鹽注射デモヤルト云フヤウニ具體的ニヤリマス、他人ノ場合ニハ折角養生セヨト云フヤウナ抽象的ナコトヲ言ヒマス、自分ノ場合ニハ借金取デモ何日幾日拂フカラ待ツテ呉レト云フヤウナコトデ總テ具體的ニヤリマス、官吏ガ答辯ヲ具體的ニ決マラナイ場合ニハ抽象的ニ言フノデアリナイカ、何事モ抽象的ニ答ヘルト云フコトハ不誠意ダト思フ、本當ニ自分ノ身ニ振掛ツタコトダト思ハナイ立場カラ言ウコトダト思フ、其ノ點カラ考ヘマスト私ハ此ノ精神總動員モドウモ不誠意ナ所ト無能力ナ所ト二ツ混ツテ居ルヤウニ思フ、何事モ抽象的ニシカ吾々ニ響カス、本當ニモウ日本國民ノ生活ガ、自分ノ財産ガ潰レル位ニ、自分ノ家族ガ病氣ニナツタ位ニ眞劍ニ考ヘタナラバ、必ズ具體的

ノ方策ハ立ツト思フ、所ガ國體明確ノ話ヤ、非常時局ノ話ヲヤリマスケレドモ、ドウシテモピント來ナイ、現ニ私共地方ヘ行ツテ教育界ノ青年團ノ演説ヲ頼マレルケレドモ、相當御禮ヲ貰ツテ演説ヲヤリマシテモ五百人十千人集ツテ來ル、國民精神總動員ハ金ヲ取ラナイデヤツテモ集マラナイ、ドチラガ貢獻シテ居ルカト云フト、少タトモ或ル限度ニ於テハ私ノ方ガ餘計貢獻シテ居ルト思フ、ソコデ今ノ文部省ガ主トナツテヤツテ居ル國民精神總動員ハピント來ナイ、具體的デナイ、マルデ「エーテル」世界ノ話ノヤウナコトバカリデ、譯ガ分ラナイ、寧ろ生活刷新運動トカ、モウ思ヒ立ツタガ吉日デ、今日考ヘテ善イト思フコトハ明日カラ行ハレルト云フヤウナ形ニシテ實ヒタイ、ソレニハ文部省カラ厚生省ヘ移管ヲ主張スベキデハナイカト思フ、其ノ方ガ生活ニ關レテ居ル、文部省ト云フト何トナク世間デハ學校教育ヲ掌ル所、小學校カラ大學マデノ學校ヲ監督スル官廳ノ如キ印象ヲ與ヘル、ピント來ナイノデス、各地方廳ニ色々働キ掛ケテモ、内務省系統ナラ各地方廳ノ官吏ニピント響クノデスケレドモ、文部系統ノモノハピント來ナイ、ソコニ私ハオトオト上トノ間、或ハ官吏ト官吏トノ間デモピント來ナイモノガアルト思フ、況ヤ民間ニハ尙ホ働キ掛ケル力ガナイ、一般民衆ハ文部省トハ接交涉ト考ヘテ居ル、文部省トハ一番密接ナ關係ヲ持つテ居ルモノハ小學校ノ生徒、中等學校ノ生徒デアリマス、大學ノ生徒ニナルト、大學ハ多少自治的性質ヲ持つテ居リマスカラ少シ稀薄ニナリマス、況ヤ世間一般ノ學校ヲ卒業シテ世ノ中ニ出ルト、文部省ノ仕事ト云フト自分等ニ

著ク、此ノ間洋服ヲ改良シタ國民服ト云フモノヲ決メマシタガ、筒袖ニスレバ二丈八尺ガ二丈デ済ム、元來日本デハ神代ノ勾玉ヲ付ケテ居ル昔カラ短イ筒袖ヲ著テ居ツタ、元祿袖ハ短イ袖ト誤解サレテ居ルカモ知レナイガ、アレハ元祿時代ニハ派手ニナツテ少シ長クナツタ、併シ今日カラ見ルトソレデモ短イ、長袖著流ト云フテ公卿サンハ遊ンデ居ツタノデ長イ袖ヲ著テ居ツタ、又江戸ノ遊ビ人ガ長イ袖ヲ著テ居ツタ、儀式ノ時ニハ袴ヲ著ケタガ、是ハ別デス、儀式ト云フモノハ元來生活改善トハ反對デ不便ナモノデス、是ハ日常生活トハ事ロ正反對ノ立場ヲ取ツテ居ル、頭ヲ低ク下ゲテ御辭儀ヲスルノハ不便デアルケレドモ、儀式ノ時ニハ是ハヤラナケレバナラス、ケレドモ日常生活ハ成ベク輕便ナ方ガ宜イ、江戸ノ遊ビ人ハ長袖ヲ著テ居ツタガ、農村ノ者デモ或ハ商人デモ皆筒袖ヲ著テ居ツタ、私ノ父ハ辭岡ノ神主ヲシテ居リマシタガ、ヤハリ筒袖ニ前垂ヲ掛ケテ居ツタ、所ガ東京デハ立ン坊デモ失業者デモ長袖ヲシテ居ル、是ハ私ハ身分不相應ダト思フノデス、ソレデ此ノ筒袖ヲ勵行シタラドウカ、サウスレバ「ス」ヲ三割入レルヤウナ馬鹿ナコトヲシナクテモ二丈八尺ガ二丈デ済ム、是ハ七分搦テ食フヨリモ樂デス、却テ便利ガ宜シイ、二丈デ出來マス、斯ウ云フヤウナコトハ直グ考ヘナケレバナラスケレドモ、國民精神總動員中中央聯盟ト云フ長イ名前ノ團體ガヤツテ居ルト考ヘナイ、私ハ是ハドウシテモ厚生大臣アタリガ、生活刷新運動、戰時生活運動ト云フ形ニシテ、サウシテ時局ニ必要ナル生活、故ニ今マデノ生活ノ惡イ習慣ヲ打破スル一鳥二石ノ運動トシテヤツテ貰ヒタイ、

是ハ私ハ欲シケレバ欲シイト言ツタラ宜カラウト思フ、文部省カラ移管スベキモノダト思フ、私ハ何デモ厚生省ニ持つテ來ヨウト云フノデアリナイ、此ノ次ハ厚生省カラ外ノ省ヘヤルモノヲ一ツ考ヘテ居リマスガ(笑) 此ノ點ヲ一ツ御考ヲ願ヒタイノデアリマス

○吉田國務大臣 サウ欲シイト思フテ居ル譯デモナイノデアリマスガ、實ハ只今ノ國民精神總動員ノ運動ハ、主管ハ文部省ト云フ譯デアリナイノデアリマシテ、内閣ノ主管デアリマス、サウシテ總動員ノ企畫ヲ決メマス總動員委員會ノ總裁ガ總理大臣デアリマシテ、其ノ下デ閣僚ノ一人ガ會長ニナル、ソレデ平沼内閣ノ閣僚ノ一人トシテ文部大臣ガ其ノ適任デアラウト云フコトデ、荒木サウナガ會長ニナリマシテ、爾來引續イテ文部大臣ガ閣僚ノ一人トシテ會長ヲシテ居ラレルトデアリマス、アノ運動ハ何處ノ省ノ主管ト云フコトデナシニ、各省共々ニ主管省ノ積リテ協力シナケレバナラスト云フ建前デ、内閣ノ主管ニナツテ居リマスガ、併シ文部省ガ主管デアルカノ如キ印象ヲ與ヘテ居レバコソ、只今ノ如キ御質問ガ出タコトト思フノデアリマス、ソレ等ノ點モ今度アレヲ強化スル上ニ於キマシテハ、十分ニ參考ニシナケレバナラス所ト思フノデアリマス、ヤハリ中樞ノ内閣ニ置カレルト云フコトハ必要デアラウト思ヒマス、厚生省ニ於キマシテハ厚生省ノ受持トシテ十分此ノ運動ニ協力スルト云フ建前ハ執ラネバナラマイト考ヘテ居リマス、生活刷新、戰時生活ノ確立ト云フコトハ國民精神總動員ノ企畫ト致シマシテモ重要ナル一項目トシテ探上ゲラレテ、其ノ具體方策モ略シテ居ルノデアリマスガ、其ノ中デザン切頭トカ、

マセント」トカ云フ世間ノ批判ニ上ツテ居ル問題ガ大キク取扱ハレテ居リマスカラ、其ノ外ノコトハ何モ考ヘテ居ナイカノ如キ印象ヲ與ヘテハ、是ハ甚ダ殘念ダト思ヒマスガ、大體サウ云フコトダケヲ話題ニスルイカト思ハレマス、唯筒袖ニスルトカ云フコトハナカツタノデアリマスガ、主トシテ作業服トシテ國民服ノ型ヲ決メタラ宜カラウ、ソレハツイ先達ツテ型ノ割合ニ優良ナガ決マリマシテ、表彰モサレタノデアリマスガ、隨分此ノ重大ナ戰爭ヲシテ居ル最中ノ生活ト致シマシテハ、改メネバナラスコトガ非常ニ澤山アルト思フノデアリマス、著流シテ戰時シテ居ル、サウ云フ傾向ニシカ見エナイコトデアアツテハ洵ニ總動員ト云フ形デハナイヤウニ思ハレマスノデ、今回改組デモサレマシタナラバ、サウ云フ點ニ付キマシテモソツカリ緊張シテ戰時生活ノ確立トデモ申シマセウカ、サウ云フコトヲ實現シ得ルヤウニナラナケレバナラナイト思ツテ居リマス、是非サウナリ得マスルヤウニ私共及バズナガラ微力ヲ致シタイト存ジマス

○北委員 今厚生省ニ持つテ來テ貰ヒタイト云フ希望ヲ爲スノハ、要スルニ精神運動ト云フ抽象的ナ空漠ナ印象ヲ與ヘテ居ルノ具體的運動ニシテ貰ヒタイ、今日考ヘテ善イト思フタラ明日行フヤウナ運動ニシテ貰ヒタイト云フ意味デ申上ゲタノデアリマシテ、ドウカ其ノ心構ヘテ厚生省ヘ來ル中心ニナル積リデ一ツ御考ヲ願ヒタイ

次ニハ厚生省ノ今現ニ取扱ツテ居ルコトデ、他ノ省ニ持つテ行ツテ貰ヒタイト云フ



本ノ國立公園ト云フモノハ、外國ノナショナルパークト云フモノト比ベルト、今御指摘ナリマシタヤウナ色々ナ違ヒモアルノデアリマスケレドモ、日本のナショナル公園トシテハ、國土ノ特質ハ同時ニ日本精神ノ特質デアルト思ヒマス、サウ云フモノヲ保存シテ發揚スルト云フコトカラ考ヘマス、日本ノ景色ガ代表スルモノハ日本ノ精神デアリ、日本ノ民族性デアリ、日本ノ持ツ國土ノ力デアルト思フ、左様ナ觀點ニ餘程重キカケレバナルマイト思フデアリマス、無暗ニ國立公園ノ中ニ道路ヲ縱横ニ引張ツテ見たり、近代交通施設ヲドンドンヤツテ、御客様本位ニナルト云フコトハ、日本ノ持ツ風景ノ中ノ一番好イ部分ヲ破壊シテシマフ又深山幽谷デアツノデアリマス、ト云ツテ又深山幽谷デアツテ、誰モ近付ケナイヤウナコトデモ困ルデアリマスガ、ソコラニ非常ナ微妙ナ關係モアルト思フデアリマス、サウ云フコトナラ、ソレハ文部省ノ所管チヤナイカト云フヤウナ論モ立ツカト思フデアリマスガ、今日ノ所、先ヅ昔カラ扱ツテ居ツテ、手慣レタ厚生省デ受持ツテ居ツテ差支ナイト私ハ思フデアリマス、併シ御設クヤウナ點モ十分考ヘセマシテ、決シテソレニ固執スル譯デハナイデアリマスガ、自分ノ御預リシテ居ル中ハ懸命ニ國立公園ノ眞價ヲ發揚スルヤウニ努メタイト思ヒマス

○北委員 是ハ高野局長サンノ御答辯ヲ御願シタイノデスガ、精神病ノコトデアリマス、御承知ノ如ク社會ガ複雑ナリ、文化ガ進ミマスルト、結核病、花柳病、精神病ガ殖エルト言ハレテ居リマス、結核ノコトニ付テハ厚生省ノ方デモ非常ニ御心配ニナラセテ居ルガ、其ノ成績ハマダ十分トハ思ヒマセス、又花柳病ノコトニ付テモ、昨年法案ガ出マシテ、私モ委員トナツテ、色々局長サンノ御意見モ承ツタデアリマス、所ガ精神病ノコトニ付テハ日本デハ其ノ取扱ガ非常ニマダ粗雑ダト思ツテ居ルノデアリマス、先達チ私ハ新潟縣ニ行キマシテ、醫科大學ノ精神病ノ先生ノ方ニ色々話ヲ聴イタノデアリマスガ、其ノ話ニ依リマスレバ、現在デハ日本デ先ヅ五百人ニ一人精神病患者ガ居ルト言ツテモ宜シイ、新潟縣ノ人口二百萬トシテ四千ト見テ宜シイ、所ガ新潟縣デドレ位ノ收容力ガアルカト云フト、先ヅ二百名、其ノ收容力ト云フハ實費ヲ出ス收容力ヲシノデス、半分實費——ト云フノハオカシイカモ知レマセスガ、半分縣廳デ補助シテ半分自分等ガ持つ、六十圓掛ルトスレバ患者ノ方デ三十圓、縣廳ノ方デ三十圓ヲ拂フコトニナル、所ガ私ハドウモ自分ノ郷里ニ精神病患者ガ澤山アルノデ、氣ノ毒デアルカラ入レテヤリタイト思ツテ交渉シテ見マスルト、チツボケナ家デアツテモ、家ガアルケデモ其ノ恩典ニ與カレナイ、御承知ノ如ク田舎家ヲ持つテ居ラナケレバ食ウテ行ケナイ、家ガアレバ最小限度ノ生活ハ三四十圓デ食ウテ行ケル、所ガ家ガアル爲ニ三十圓バカリ出サナケレバナラヌト云フト、家族ノ全生活費ヲ其ノ方ニ投ジナケレバナラス、隨ツテ自然自分ノ家ニ置タノデス、所ガソレガ爲ニ家ヲ壊カウテシテ見たり、親ニ腕力ヲ出シテイデメ付ケテ見たり、又物ヲ振ツテ見たりスル危險ナ者ガ中ニ澤山居ル、ソレナラ手足ヲ縛リ付ケテ置ケバ宜カラウト云ウテモ、親子ノ情ニ於テ中々ソレハ忍ビナイ、時ニ治マル時ニハ普通ノヤ

ウナ顔ヲシテ居ルカラ、自然ニ寛大ヲ取扱フスル、ソレガ又發作的ニ起キテ時々大事件ヲ起スコトガアル、田舎邊リデハヨク放火事件殺人事件ト云フノハ大抵精神病ニ關係ナル、精神病ノ傾向ヲ持つテ居ル人ノ起シタ事件デアリマス、ソレハ國家的ニ考ヘテモ非常ナ大キナ損失ニナルノデアリマス、成程精神病ノ先生ニ聽タト、五百人ニ一人デアルト云フ、新潟縣ニ於テハ二百萬人ニ四千ノ割合ニ、二百人シカ收容力ガナイト云フ情ケナイコトデアツテハ、私ハ文明國トシテハ恥ダト思フ、ソコデ厚生省トシテハモウ一步踏出シテ、結核病ヤ花柳病ニ對スルト同ジ位ノ關心ヲ持タレテハドウカ、精神病方面カラ犯罪ガ來ルコトガ非常ニ多イ、此ノコトニ付テ局長サンカラ一ツ御意見ヲ承リタイ

○高野政府委員 日本ニ於テ精神病患者ノ爲ノ施設ガ非常ニ不完全デアリマスコトハ、御指摘ニナリマシタ通りデアリマシテ、恐ラク望マシキ施設ノ十分ノ一ニモ現在足リナイ状態デアリマス、精神病院法ト云フ法律ハゴザイマスケレドモ、法律ニ依リマシテ存スル所ノ施設ガ、色々都合上甚ダ不十分デゴザイマス、是ハ申上ケルマデモナク、其ノ方面ノ支出モ大イニ充實スル積リデアリマスガ、何分今マデハハ高野局長ノ者、又地方ノ公共團體ノ方々モ此ノ疾病ニ對スル認識ト申シマスコトノ氣持ガ疎カデアリ、バナラスト云フコトノ氣持ガ疎カデアリ、國家ノ豫算モ今マデ甚ダ少カッタデアリマス、ケレドモ明年度カラハ少シデハアリアマスガ、此ノ精神病患者ノ施設ノ充實ヲ期シマシテ、幾バカノ豫算ヲ増シテ居ルヤウナ次第デアリマス、是カラ出來マス限リ大イニ努メテ行ク積リデアリマス

○平川委員 三宅正一君

○三宅委員 私人トシテ社會保險、特ニ醫療ニ關スル保險ノ問題ニ付テ御同致シタイト思ヒマス

第一ハ労働者ノ健康保險ニ關スル問題デアリマス、労働者ノ健康保險ハ我國ニ於ケル社會保險ノ中最モ長イ歴史ヲ持つタ大キナ保險デアリマシテ、色々コトヲ言フ者モアリマスガ、其ノ功績ト云フモノハ實ニ顯著ナルモノガアツタト思フデアリマス、其ノ中ニ於キマシテ労働者側ノ最モ大キナ不満ハ何處ニアツタト申シマス、單價ガ安イト云フヤウナ事情モアリマシテ、醫者カラ虐待サレルト云フ事實デアリマス、即チ普通ノ患者トシテ行ツタ時ト、健康保險ノ保險證ヲ出シマシタ時トハ、是ハ大臣モ能ク御承知デアリマセウカ、屬差別待遇ヲサレルト云フ状態デアツタノデアリマス、隨テ此ノ點ニ付テノ關係ガ良クナラヌト云フト問題ニナラナイデアリマスガ、ソレ等ノ理由モアリマシテ、御承知ノ通り産業組合ノ病院ガ非常ニ出來タノデアリマス、其ノ中ニ於キマシテ最モ之ヲ原因トシテ出來マシタノハ、秋田縣ノ能代ノ山本醫院組合病院ト云フモノガソレデアラト云フデアリマス、ソレハ御承知ノ通り彼處ニハ秋田木村ト云フ會社ガアリマシテ、其ノ會社ノ労働者ガ健康保險ニ加入シテ居ルガ、醫者ニ掛ルト差別待遇ヲスル、ソコデ健康保險ニ加入シテ居ル労働者ガ十圓宛ノ株ヲ持チ合ヒマシテ、自ラノ出資デ自分達ノ病院ヲ作ツテ、サウシテ、レントゲン、内科、外科、産科等ノ専門科トケンヤ、内科、外科、産科等ノ専門科ヲ置イタ所ガ、健康保險ノ醫者ノ權利ヲ剝奪シテシマツテ、自分デ労働者ガ病院ヲ作

ツタカラ、其ノ權利ヲ剝奪シタト云フヤウナ事例ガアルノデアリマス、或ハ又労働者同盟ニ於キマシテ、友愛病院ト云フ病院ヲ労働者ノ共済基金デ作ツタ、其ノ労働者ガ自分デ作ツタ病院ヲ、醫師會デハ御承知ノ通り健康保險ノ指定ヲシテ居ラナイ、醫師會ガ國民健康保險ノ時ニ團體契約ヲ主張致シマシタ根本ノ原因ハ、醫師選擇ノ自由ヲ與ヘナケレバナラヌト云フコトデアツタノデアリマス、然ルニ此ノ労働者ノ健康保險ノ保險醫ノ指定ニ對シマシテハ、労働者ガ自ラ作ツタ病院等ニ對シテハ指定シナイノデアリマス、或ハ又ヒドイニナリマスト云フデアリマス、或ハ又ヒドイニナリマスト云フデアリマス、ソレガ開業シテモ認可ヲシナイ、八王子ノ多摩相互病院ト云フ産業組合ノ病院ガアリマスガ、其處ニ勤務致シマシタ醫者ガ、其ノ勤務ヲ解カレマシテ、自ラ開業致シマシテモ、前ニ其ノ病院ニ勤務タカラト云フノデ、健康保險醫ノ指定シテ居ラナイノデアリマス、是ガ實ニ私ハ日本ノ保健衛生ヲ阻碍シテ居ル大キナ原因デアルト思フ、是ハ日本ノ醫師會ノサウ云フ態度ニアルト考ヘテ居リマスガ、サウ云フコトハ今日ハ別問題ト致シマスケレドモ、甚ダ不都合ナコトデアルト考ヘマシテ、廣會議ニ於テモ之ヲ問題ニシタノデアリマス、此ノ點ニ付テ昨年厚生大臣及ビ保險局長官、保險院ノ局長、保險院ノ長官其ノ他ノ方々ト話ヲ致シマシテ、ソレハ如何ニモ理窟ガ通ラヌチヤナイカ、醫師ノ選擇ノ自由ヲ與ヘルコトハ當然ノコトデアルカラ、ソレハ一ツ被保險者ガ一人デモアル病院ハ全部ノヲ認メルコトニ、醫師會ニサセヨウト云フコトノ御話ガアリマシタ、所ガ其ノ後話ヲ聞

キマス、醫師會長モ、ソレハ其ノ通りダカラヤリタイト言ツテ居リナガラ、實ハ一ツモ認可シテ來ナイノデアリマス、一ツモナイト云フト語弊ガアルガ、秋田縣ノ秋田木村ノアリマス能代町ニハ許可シナイ、森町村ト云フ所ニハ被保險者ガ一人シカ居ラナイ、其ノ一人シカ居ナイ所ニハ許可シタケレドモ、被保險者ガ千人モ二千モ居ル所ニハ許可シナイ、瀬戸ノ町ニ産業組合病院ガ出來マシタ、瀬戸ノ町ハ御承知ノ通り家内工業地デアル、其處ノ瀬戸物ノ労働者ハ全部健康保險ノ被保險者デアツテ、病院モナルノニ醫師會ガ邪魔シテ許可ヲ與ヘテ居ラナイト云フ状態デアリマス、私ハ斯ウ云フ點ニ付テ前ニ大臣トモ約束ヲ致シマシテ、而モ此ノ保險醫等ガ話ヲシテ、醫師會ノ會長モ其ノ通りニサセマスト云ツテ居ルニ拘ラズ、滿一年總ツテモサウ云フ不誠意ナ状態デ居ルト云フコトニ付キマシテハ、醫師會ヲ監督サレマス見地ニ於テモ、社會保健労働者保護ノ缺陷ヲ除去スルト云フ見地ニ於テモ、適切ナル處置ヲ至急御執リニナラナケレバイカヌト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テノ御意見ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 健康保險ト醫師會ノコトニ付キマシテハ、年來色々問題モアツタコトデアリマシテ、今御例示ニナリマシタヤウナコトハ、以前ニモ聞キ及ンダコトガアルヤウニ思フデアリマス、健康保險制度ノ適正ナル運用ノ爲ニモ、醫師會ト協カト云フモノハ、益々立派ニ行ハレルヤウニナラナクテハハナラナイト思ヒマス、幸ヒ醫師會ニ於キマシテモ、此ノ頃ハ私共拜見シテ居リマスガ、從前ヨリハ陰謀協力的ニナツテ居ルノデアアルマイカト云フヤウニ察セ

ラレマス、今御話ニナリマシタヤウナ問題モ、何トカ適當ナ折角ヲ途ガアリサウニ考ヘルノデアリマスガ、最近ソレ等ノ具體的ナ問題ニ付キマシテハ、私ハ實情ヲ察カニ致シマセスカラ、只今後所トシテドウ云フ云フコトニ付キマシテハ、政府委員カラ御答ヲ申上ケルコトニ致シマス

○清水政府委員 私カラ簡單ニ實情ヲ申上ゲマスガ、先刻來三宅委員ノ御述ニナリマシタヤウナコトハ、大體サウ云フコトモアルノデアリマスガ、昨年から日本醫師會ト相談ヲ致シマシテ、産業組合病院ヲ保險醫ニ指定スルト云フコトニ付キマシテハ、一層拍車ヲ掛ケヨウト云フ話ガ纏リマシテ、ソレ以來地方ノ醫師會ヲサセルヤウニ日本醫師會モ努力シテ居ル譯デアリマス、吾々トシマシテモ始終其ノ點ヲ念頭ニ入レテ居リマシテ、努力ヲ致シタノデアリマスガ、實情ヲ申上ゲマス、何分モ此醫師會ト産業組合病院トノ間ニハ、從來カラ相當ノ齟齬ガアリマシタ爲ニ、中々地方ニ於キマシテモ簡單ニ事ガ運バヌ部分ガアリマシタガ、ソレデモ大分努力ヲ致シマシタ結果、昨年指定ニナリマシタ病院ノ數ガ十七デアリマシテ、最近指定ニナル豫定ニナツテ居リマスノガ一ツ、舊來カラアラリマシタモノヲ加ヘマシテ現在二十七指定ニナツテ居リマス、其ノ他再調中ノモノガ三十九アリマシテ、合計五十六組合ガ今アル譯デアリマス、此ノヤウナ數字デアリマスガ、吾々トシマシテ是ガ宜イコトヲ譯デアリマセヌノデ、勿論先刻三宅委員カラ御話ガアリマシタ通りニ努力シテ居ルノデアリマシテ、

出來ル限リ速ニ全部ガ保險醫ニナルヤウニシタイト思ツテ努力シテ居リマス、日本醫師會ノ幹部トシマシテモ、サウ云フ方向ニ進ムヤウニ申シテ居リマスカラ、漸次御希望ノヤウニナルコトト思ヒマスノデ、左様ニ御承承ヲ願ヒマス

○三宅委員 政府委員ノ御答辯ガアリマシタノデ、是レ以上申上ケルコトハ差控ヘマス、唯前途ノ通ツタ處置ヲサセナイトイカスト思ヒマス、其ノ他色々問題ガアリマスガ、此ノ點ニ付テハ大臣ハ能ク事情ヲ御承知デアリマセウカラ、御答辯ハ求メマセスケレドモ、一ツ前途ノ曲ツタコトハ直シテ戴キタイト思ヒマス、同時ニ産業組合病院ノ問題モサウデアリマス、例ヘバ鈴木梅四郎サンノヤツテ居ラレル實費診療所等ニ付テモ、健康保險ノ指定ヲシテ居リマセス、或ハ又大阪ニ社民病院及ビ大塚病院ト云フモノガアリマス、東京ニハ芝園橋ニ御承知ノ通り總同盟ガ労働者ノ共済基金デ經營シテ居ル相愛病院ト云フノガアリマス、是等ハ皆労働者ガ金ヲ出シテ、労働者ガ掛カル病院デアリマシテ、其ノ設備モ立派ナモノデアリマシテ、被保險者バカリデヤツテ居リマス、斯ウ云フモノニ付キマシテモ醫師選擇ノ自由ノ見地カラ申シマシテ、政治的ナ力ガナイト云フコトデアリマシテ、不法ニ迫害ヲ受ケテ健康保險ノ治療モ出來ナイ、労働者ガ自分デ作ツタ病院ニ掛カル時ニモ、金ヲ出サナケレバナラヌト云フヤウナ馬鹿ナコトハナイヤウニ一ツヤツテ戴キタイ、此ノ點ニ付テハ方針トシテノ御言明ヲ、大臣カラ得テ置キタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 實情ニ付キマシテ私能ク知ツテ居ルダラウト云フ御話デアリマスガ、



最近ノ實情ハドウナツテ居リマスカ能ク取  
調ベマシテ、不都合ノナイヤウニ致シタイ  
ト思ヒマス

○三宅委員 其ノ次ニ國民健康保險ノ問題  
ニ付テ御伺フシタイト思ヒマス、第一ハ國  
民健康保險ガ非常ニ普及ヲ見ツツアリマス  
コトハ、私共非常ニ國家ノ爲ニ喜ンデ居ル  
ノデアリマス、此ノ國民健康保險ハ出來マ  
シテカラマダ日方短イノデ、其ノ實績ニ付  
テマダ斷定ヲ與ヘル所マデ行キマセスガ、  
併シ保健上好イ成績ヲ擧ゲテ居ルコトハ、  
デアリマスルカラ、大臣ハ能ク御承知デセ  
ウガ、勞働者ノ健康保險ニ付キマシテハ、  
病氣ヲ致シマシタ時ノ金ハ全額ヲ保險ノ方  
デ持ツテ呉レル、其ノ外休ンデ居ル間ハ給  
料ノ何割カラ呉レル、然ルニ國民健康保險  
ニ於キマシテハ、休ンデ居ル間給料ト云フ  
モノハ勿論呉レナイ、呉レナイノミナラ  
ズ、醫者ニ掛リマシタ時ニ一部負擔ノ制度  
ガアルノデアリマス、一部負擔ノ制度ノ善  
シ惡シニ付テハ私共ハ議論ハ致シマセス、  
アツテ宜シト思フノデアリマスガ、是ガ多ク  
テハ何モナラナイ、平素病氣ヲシナイ時ニ金  
ヲ積ンデ置キマシテ、醫者ニ掛ツタ時ニ半  
分ハ其ノ時取ラレルト云フコトデハ何モナ  
リマセスノデ、一部負擔ニ付テハ、私ハ二割  
以上ハ取ラセナイト云フコトニシナケレバ  
イカスト思フノデアリマス、指導方針トシテ  
ハ先ヅ其ノ邊ニ目安ヲ置イテ居ラレルンデ  
ヤナイイカト思ヒマスガ、之ヲサセマスル爲

ニハ結局ハヤハリ保險金ノ補助ノ關係ガ重  
大ナ問題ニナツテ來ルト思フノデアリマス、  
現在ハ出來マシテカラ今度ノ豫算デ以テ四  
年目デスガ、一圓ニ致シマシテ、ソレカラ  
八十五錢ニナリマシタガ、是非一ツ國  
庫ノ補助トシテハ一圓出スヤウニナツテ行  
カナケレバナラヌト思ヒマスガ、ソレト共  
ニ私ハ法制ヲ以テ府縣及ビ市町村ニ於キマ  
シテハ、國民健康保險組合ノアル所ハ、先  
ヅ同額ノ補助ヲ府縣及ビ市町村デモヤルト  
云フ法ノ規定ヲ加ヘラレル必要ガアルト思  
フノデアリマス、ソレハ進ンダ縣ニ於キマ  
シテハ、地方補助ヲヤツテ居リマス、然ル  
ニ遅レタ縣程地方補助ヲヤラナイ、遅レタ  
縣ノ保險組合程財政上困ルト云フ事情ニナ  
リマスルノデ、現ニ京都府アルトカ廣島縣  
ト云フヤウナ所ハ府縣補助ガアリマス、無  
イ方デハ新潟縣トカ、或ハ東北地方ノ縣ニ  
多イト云フヤウナコトニナツテ居リマスル  
ノデ、此ノ點ハ一ツノ法律ヲ以テ地方ノ補  
助ニ付テモ規定セラレマシテ、其ノ村ニ  
傳染病ガナクナリ、ヒドイ病人ガナクナル  
ト云フコトハ、村ノ經濟ニモ非常ニ宜イノ  
デスカラ、同額ノ補助ヲ道府縣及ビ市町村  
ニモヤラセルト云フコトデ、財の基礎ヲ確  
立セラレマスルト共ニ、一部ノ負擔ニ付テハ  
往診入院共ニ二割以上ハ一部負擔ヲ取ラナ  
イト云フコトニシテ行カナケレバナラヌ、  
ノコマデノ指導ヲサナラナイト抽インデヤ  
ナイイカト私ハ考ヘルノデアリマス、ト申シ  
マスルノハ町村ガ單位デアリマスルカラ、  
保險問題ナドニ付テ餘リ知ラス者ガヤツテ  
居ツタリ色ヲ致シマスルノデ、相當擇イ所ニ  
手ガ届ク位ノ指導ガ出來マセスト效果ヲ擧  
ゲナイト思フノデアリマシテ、此ノ點ニ付

テノ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス  
○吉田國務大臣 國民健康保險ハ施設ガ新  
シイ割合ニハ、仰セノ如ク可ナリ緊要ナ發  
展ヲ致シテ居ルヤウデゴザイマシテ、是ハ  
洵ニ御同慶ニ堪ヘナイコトデゴザイマス、  
政府ノ負擔ノコトニ付キマシテハ、差當リ  
ノ所一圓ト云フモノヲ確保シタノデアリマ  
スガ、先キコトハ又是ハ大藏省トノ折衝  
ヲ要スルト云フヨリ、寧ろ斷ラレタヤウナ  
形ニナツテ居ルノデアリマス、私共實際ニ  
於キマシテハ少クモ一圓位ハ引續キ確保シ  
タイト云フ心持ヲ持ツテ居リマスガ、厚生  
省ノ考ヘル通りニモ行キマセスガ、精々其  
ノ點ハ努力スル積リデゴザイマス、尙ホ地  
方費負擔、或ハ患者ノ一部負擔等ノ問題ニ  
付キマシテハ、政府委員カラ考テ御答申上  
ゲルコトニ致シマス

或所ハ町村ガ出スト云フヤウナ鹽梅ニ一定  
ヲ致シテ居リマセス、隨テ兩方ノ補助ヲ出  
シテ居ル所アル譯デアリマスガ、大體是  
モ現在ノ地方ノ實情ニ應ジマシタ程度ノ補  
助ヲ考ヘテ居リマシテ、今直ク是レ以上ノ  
コトヲ要求スルノハ、多少地方トシテモ無  
クハナイイカトモ考ヘラレマスノデ、現在  
ノ所ハサウ云フ補助ハ結構トハ思ツテ居リ  
マスルガ、マダ之ヲ法律デ強制スルト云フ  
所ノ程度マデニハ達シテ居ラヌト考ヘテ居  
リマス

○清水政府委員 私カラ御答致シマスガ、  
一部負擔ノ問題ニ付キマシテハ、御話ノ如  
ク二割位ノ程度ヲ先ヅ原則トシタイト云フ  
方針デアリマシテ、是ハ御話ノ通りデアリ  
マス、唯實際問題ト致シマス、地方ノ財  
力、負擔力等ノ關係カラ致シマシテ、必ズ  
シモ二割程度ノ一部負擔デ、後ハ全部保險  
料ヲ取ルト云フ工合ニユカス場合モアリマ  
スノデ、目下ノ所ト致シマシテハ組合普及  
ノ關係等モ考慮致シマシテ、出來ルダケニ  
割アタリノ所ト致シタイノデアリマスガ、  
或ル程度ノ例外モ已ムラ得ヌ、斯様ニ考ヘ  
テ居リマス、ソレカラ公共團體ノ補助ニ付  
キマシテハ、是モ御話ノヤウニ相當程度府  
縣或ハ町村ガ補助ヲ出シテ居ルモノガアリ  
マシテ、是ハ寧ろ吾々ノ豫想以上ニアチラ  
コチラデ補助ヲシテ居ルノデアリマスガ、  
唯其ノ補助ノ方法ガ、或所ハ府縣ガ出シ、

○三宅委員 國民健康保險ノ普及ノ問題ニ  
付キマシテハ、一部負擔ノ問題、ソレカラ  
療養給付期間ノ問題等ガ、將來長キニ互リ  
マシテ熱情ヲ地方ニ持ツセル上ニ於テ、重  
大ノ關係ガアルト思ヒマスノデ、一ツ國庫  
ノ補助金ニ付テモ出來ルダケ御努力ヲ願ヒ  
タイシ、公共團體ノ補助ニ付テモ、成タケ  
早イ機會ニ之ヲ最低限ラマデハ補助シナケ  
レバイカスト云フコトヲ法制化サレテ、財  
政の基礎ヲ固メラレルヤウ御配慮ヲ願ヒタ  
イト思ヒマス

次ニ厚生大臣ニ御伺致シタイコトハ、我  
國ノ厚生省ハ社會局カラ發達シタノデアリ  
マス、是ハ露西亞革命其ノ他歐羅巴戰後ノ  
思想ノ非常ニ大キナ影響ヲ受ケマシテ、勞  
働部ニ對スル關係カラ發達シテ參リマシ  
タコトハ、沿革的ニ見テ其ノ通りダト思ヒ  
マス、隨テ厚生省ト云フモノハ世間トハ都  
市省ダト思ツテ居ル、若クハ勞働者ノ省ト  
思ツテ居ルノデアリマス、初メテ國民健康  
保險ガ出來タリ色ヲ致シマシテ、是ガ農村  
ニマデ觸手ヲ伸バシマシタコトハ、私ハ非  
常ニ良イコトト思ヒマス、併シ其ノ歴史沿  
革ガアルノデ、勞働對策ニ付テハ厚生省ハ

トガ當然ダト思フノデアリマス、資金ヲドウ  
云フ風ニシテ出スカト云フヤウナコトノ組  
織ニ付テハ、産業組合ガ歴史的ニ發展シテ  
居リマスルカラシテ、農村ニ於テソレト別  
ナ共同組合ヲ作ラセル意義ハナイト思フノ  
デアリマスガ、其ノ運営ニ付テ、社會政  
策ニ關スル部面、住宅ニ關スル部面、或ハ  
保健衛生ニ關スル部面、榮養ニ關スル部面、  
病院ニ關スル部面、斯ノ如キ部面ニ付テハ、  
私ハ厚生省ガ相當ナル御指導ヲナサルコトガ  
當然ダト思フノデアリマス、機構ノ上ニ於  
テモサウ云フ關係ノ機構ヲ確立サレルコト  
ガ必要ダト思フノデアリマシテ、市街地信  
用組合ガ大藏省トノ共管ニナリマシタヤウ  
ニ、私ハソレ等ノ部面ニ付テハ少クとも醫  
療ニ關スル部面及ビ都市消費組合ニ關スル  
部面ニ於キマシテハ、場合ニ依ツタラ厚生  
省ガ御取リニナツテモ宜シイ、資金關係デ  
取レストスルナラバ、共管關係ヲ樹立サレ  
ルコトガ必要デハナイイカ、特ニ今後米ノ端  
境期等ニ向ヒマシテ、消費者ヲ組織シナケ  
レバナラナイ、不特定ナ消費者ニ不特定ナ  
商人ガ加ツテ居ツテモ仕方ナイカラ、出來  
ルナラバ商人マデモ其ノ組織ニ入レタ配給  
ニ付テノ組織化ヲナラナケレバナラヌト云  
フ段階ニ於テ、都市ニ於ケル消費組合ノ任  
務ト云フモノハ實ニ重イノデアリマス、是  
ハ農林省の見解ニ於テ指導スルノデアリ  
カ、厚生省の見解ニ於テ指導スルコトハ  
當然ノ御話デアリマスノデ、是等ノ問題ニ  
付テノ機構上ノ共管關係及ビ組織上ノ共管  
關係、連絡關係等ヲ、此ノ際私ハ其ノ道ノ  
練達者デアリマスル大臣ノ御居デノ機會  
ニ、是等ノ問題ノ御解決ヲ願フテ置キマス  
ルコトガ、全面的ナ厚生行政ノ發展ノ上ニ

非常ニ力ヲ入レテ居ラレルケレドモ、例ヘ  
バ小作問題ニ付テノ關係トカ、或ハ農村ノ  
社會保險ニ付テノ關係トカ、或ハ住宅ニ關  
スル關係トカ、段々出來テハ參リマシタケ  
レドモ、大分手遅レニナツテ居ルト思ヒマ  
ス、日本ニ於ケル厚生行政ノ見地ニ立ツテ、  
保險ノ點カラ云ツテモ、勞働ノ點カラ云ツ  
テモ、住宅ノ點カラ云ツテモ、此ノ際農村  
關係ニ厚生省ノ觸手ヲ大イニ伸バシテ行カ  
ナケレバイカスト思ヒマス、隨テ私ハ農村  
局ト申シマスガ、農林省ト申シマスガ、厚  
生省ノ中ニ農村關係ヲ專管スル部局ヲ作ル  
コトモ必要デハナイイカ、本豫算ノ關係其ノ  
他ニ於テ今直チニソレガ出來ナイナラバ、  
委員會ノ形ニ於テモ、或ハドウ云フ形ニ於  
キマシテモ、私ハサウ云フコトデ以テ、都  
市偏重ト申シマスガ、沿革カラ來マスサ  
ウ云フ點ヲ拂拭致シマシテ、全面的ニ日本  
ノ厚生行政ニ對シテ把握ヲサレ、其ノ經驗  
ヲ振ハレルト云フ一ツノ機構ノ改革ガ必  
要デハナイイカト考ヘルノデアリマス、此ノ  
點ニ付テノ大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒ  
マス

上ニ、從來ノ經驗ニ徴シマシテ、更ニ發展  
性ヲ加ヘテ工夫シナケレバナラヌト云フ時  
機ニモ、ソロ／＼立到ツテ居ルノデアリマ  
シカト、私ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、今後ハ  
之ヲ普及シテ行クト云フ方面ニ一勿論今  
マデハ間違ヒナイヤウニト云フ考デ、非  
常ニ慎重ニ實行シテ來タノデアリマスガ、  
併セテ御希望等モ斟酌致シマシテ、此ノ制  
度ノ普及及發達ニ力ヲ注グヤウナ風ニ、是カ  
ラ工夫ヲシテ參リタイト思ツテ居リマス、  
御尋ノ趣意モサウ云フ所ニ存スルト思ヒマ  
シテ、其ノ事ヲ申上ゲテ置キマス

コトハ隨分瘼ニテ參ツテ居リマス、之ヲ取  
扱ヒマスルニ今ノ機構ノ儘デ宜シイカドウ  
カ、能ク慎重ニ考ヘサシテ載キマシテ、若  
シ何等カ仕組ノ上ニ工夫ヲ加ヘル必要ガア  
リマスレバ、左様ナコトモ取計ヒタイト考  
ヘテ居リマス

○三宅委員 農村關係ノ只今ノ御答辯ヲ承  
リマシテ、是非一ツサウシテ載キタイト思  
フノデアリマスガ、日本ニ於ケル社會政策  
ノ全面的普及ニ關シマシテ、私ハ農村關係  
ガケケナシニ、日本ニ發達シテ參リマシタ  
産業組合、商業組合、工業組合等ヲ厚生省  
ガ全面的ニ把握サレテ、指導サレル必要ガ  
アルト思フノデアリマス、御承知ノ通り市  
街地信用組合ニ付キマシテハ、大藏省ガ農  
林省トノ共管致シマシテ、之ヲ金融の見地ニ  
於テ指導シテ居ルノデアリマス、然ルニ醫  
療組合ガ農村ニ澤山出來タ、ソレカラ國民  
健康保險組合ノ代行組合ガ産業組合關係ニ  
於テ澤山出來タ、尙ホ御承知ノ通り都市ノ  
購買組合ト云フ名前デ來テ居リマスガ、外  
國ニ於ケル消費組合ガ都會ニ於キマシテ産  
業組合トシテ普及シテ居ルノデアリマス、  
或ハ住宅組合ガ同潤會デヤツテ居ラレマス  
外ニ、産業組合自體トシテ住宅組合ヲヤツ  
テ居ルモノガアルコトハ御承知ノ通りデア  
リマス、或ハ市街地ニ於ケル質庫信用組  
合、所謂公益質屋ノ仕事ヲ共同組合ニ依ツ  
テヤツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマ  
ス、榮養食ノ配給ヲヤハリ共同組合デ相互  
組織デヤツテ居ルコトハ御承知ノ通りデア  
リマス、是等ノ仕事ト云フモノハ農林省ガ  
監督スベキ性質ノモノデアリナイノデアリマ  
シテ、其ノ方針ヲ指導監督ト云フモノハ、  
其ノ部面ニ付テハ厚生省ガオヤリニナルコ

○吉田國務大臣 今ノ御尋ノ外ニ國民健康  
保險ノコトニ付キマシテ若干考テ申上テ、  
其ノ次ニ只今ノ御尋ニ對シテ御答ヲ申上テ  
マス、國民健康保險ハ御承知ノ通りニ發達  
ノ沿革ハマダ極メテ淺イノデアリマス、何  
分是ハ初メテヤリマスル、申サバ一種ノ獨  
創的ノ試デアリマシタ爲ニ、非常ニ用心深  
ク「スタート」シタ譯デアリマス、隨テ之ヲ  
全國ニ及ボスト云フ建前カラ考ヘマスルト、  
又今日ハソレヲ及ボシ得ル確信ヲ持ツテ居  
ルノデアリマスガ、廣ク及ボスト云フ建前  
カラ考ヘマスルト、今マデノヤウナヤリ方ノ

ニ御尤モデアリマシテ、私自身サウ云フ心持  
ガシテナラナイノデアリマス、最近農村ニ  
關スル各種ノ施設、保健施設デアリマスル  
トカ、或ハ勞務員ニ於ケル關係デアリマ  
スルトカ、或ハ児童保護等各種ノ施設デ農  
村ニ以前ヨリハ深ク關係ヲ持ツヤウニナツ  
テ參リマシタケレドモ、ヤハリ所謂社會問  
題、勞働問題ト云フヤウナ立場ニ於キマシ  
テ、厚生省ガ年來貢獻シテ參リマシタヤウ  
ナ意味合ニ於キマシテハ、マダ農村トノ關  
係ガ薄イヤウニ思ヒマス、農村ハ三宅君ハ  
能ク御承知ノ通りニ、日本ノ國力ノ最モ尊  
イ源泉デアルト思フノデアリマシテ、此ノ  
源泉ヲ見事ニ培フコトハ日本全體ノ爲ニ非  
常ニ必要ナコトデアリ、其ノ爲ニハ農村厚  
生行政ト云フモノニモツト／＼力ヲ入レナ  
ケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、今  
年ノ豫算ニ何モ現ハレテ居リマセヌコトハ、  
組織ノ上デ已ムラ得ナイノデアリマスガ、  
仕事ノ上ニ於キマシテハ豫算ヲ御覽ニナ  
リマスルト分リマス通りニ、農村ニ關聯ノ

トガ當然ダト思フノデアリマス、資金ヲドウ  
云フ風ニシテ出スカト云フヤウナコトノ組  
織ニ付テハ、産業組合ガ歴史的ニ發展シテ  
居リマスルカラシテ、農村ニ於テソレト別  
ナ共同組合ヲ作ラセル意義ハナイト思フノ  
デアリマスガ、其ノ運営ニ付テ、社會政  
策ニ關スル部面、住宅ニ關スル部面、或ハ  
保健衛生ニ關スル部面、榮養ニ關スル部面、  
病院ニ關スル部面、斯ノ如キ部面ニ付テハ、  
私ハ厚生省ガ相當ナル御指導ヲナサルコトガ  
當然ダト思フノデアリマス、機構ノ上ニ於  
テモサウ云フ關係ノ機構ヲ確立サレルコト  
ガ必要ダト思フノデアリマシテ、市街地信  
用組合ガ大藏省トノ共管ニナリマシタヤウ  
ニ、私ハソレ等ノ部面ニ付テハ少クとも醫  
療ニ關スル部面及ビ都市消費組合ニ關スル  
部面ニ於キマシテハ、場合ニ依ツタラ厚生  
省ガ御取リニナツテモ宜シイ、資金關係デ  
取レストスルナラバ、共管關係ヲ樹立サレ  
ルコトガ必要デハナイイカ、特ニ今後米ノ端  
境期等ニ向ヒマシテ、消費者ヲ組織シナケ  
レバナラナイ、不特定ナ消費者ニ不特定ナ  
商人ガ加ツテ居ツテモ仕方ナイカラ、出來  
ルナラバ商人マデモ其ノ組織ニ入レタ配給  
ニ付テノ組織化ヲナラナケレバナラヌト云  
フ段階ニ於テ、都市ニ於ケル消費組合ノ任  
務ト云フモノハ實ニ重イノデアリマス、是  
ハ農林省の見解ニ於テ指導スルノデアリ  
カ、厚生省の見解ニ於テ指導スルコトハ  
當然ノ御話デアリマスノデ、是等ノ問題ニ  
付テノ機構上ノ共管關係及ビ組織上ノ共管  
關係、連絡關係等ヲ、此ノ際私ハ其ノ道ノ  
練達者デアリマスル大臣ノ御居デノ機會  
ニ、是等ノ問題ノ御解決ヲ願フテ置キマス  
ルコトガ、全面的ナ厚生行政ノ發展ノ上ニ

トガ當然ダト思フノデアリマス、資金ヲドウ  
云フ風ニシテ出スカト云フヤウナコトノ組  
織ニ付テハ、産業組合ガ歴史的ニ發展シテ  
居リマスルカラシテ、農村ニ於テソレト別  
ナ共同組合ヲ作ラセル意義ハナイト思フノ  
デアリマスガ、其ノ運営ニ付テ、社會政  
策ニ關スル部面、住宅ニ關スル部面、或ハ  
保健衛生ニ關スル部面、榮養ニ關スル部面、  
病院ニ關スル部面、斯ノ如キ部面ニ付テハ、  
私ハ厚生省ガ相當ナル御指導ヲナサルコトガ  
當然ダト思フノデアリマス、機構ノ上ニ於  
テモサウ云フ關係ノ機構ヲ確立サレルコト  
ガ必要ダト思フノデアリマシテ、市街地信  
用組合ガ大藏省トノ共管ニナリマシタヤウ  
ニ、私ハソレ等ノ部面ニ付テハ少クとも醫  
療ニ關スル部面及ビ都市消費組合ニ關スル  
部面ニ於キマシテハ、場合ニ依ツタラ厚生  
省ガ御取リニナツテモ宜シイ、資金關係デ  
取レストスルナラバ、共管關係ヲ樹立サレ  
ルコトガ必要デハナイイカ、特ニ今後米ノ端  
境期等ニ向ヒマシテ、消費者ヲ組織シナケ  
レバナラナイ、不特定ナ消費者ニ不特定ナ  
商人ガ加ツテ居ツテモ仕方ナイカラ、出來  
ルナラバ商人マデモ其ノ組織ニ入レタ配給  
ニ付テノ組織化ヲナラナケレバナラヌト云  
フ段階ニ於テ、都市ニ於ケル消費組合ノ任  
務ト云フモノハ實ニ重イノデアリマス、是  
ハ農林省の見解ニ於テ指導スルノデアリ  
カ、厚生省の見解ニ於テ指導スルコトハ  
當然ノ御話デアリマスノデ、是等ノ問題ニ  
付テノ機構上ノ共管關係及ビ組織上ノ共管  
關係、連絡關係等ヲ、此ノ際私ハ其ノ道ノ  
練達者デアリマスル大臣ノ御居デノ機會  
ニ、是等ノ問題ノ御解決ヲ願フテ置キマス  
ルコトガ、全面的ナ厚生行政ノ發展ノ上ニ



必要だと考へマシガ、如何デゴザイマセウ  
○吉田國務大臣 産業組合ノ行ヒマスル醫  
療或ハ其ノ他ノ明瞭ナル厚生行政ノ範圍ニ  
屬スル事業ニ關シマシテハ、今日ト雖モ御  
設ノ通り其ノ部分ノ指導、或ハ監督ハ厚生  
省ノ所管デアリト思フデアリマス、組合  
自體ハ團體ト致シマシテハ、農林省ノ所管  
デアリマセウケレドモ、ソレガ醫療行為ヲ  
スル場合ニ、其ノ醫療行為ヲ開達ヒノナイヤ  
ウニスルコトニ付キマシテハ、厚生省ガ所  
管デアルト申シテ何等差支ヘナイト思ヒマ  
スルガ、事實其ノ通り行ツテ居ラスト云フ  
場合ガアルコトヲ御指摘ニナツタ意味ダト  
思ヒマス、是ハ能ク氣ヲ付ケマシテ、農林  
省所管ダカラ、産業組合ノナル醫療行為  
ハ、ドンナコトヲヤツツテ農林省ノ言フ  
通りデ宜シト云フヤウニハ、私考ヘテ居  
ラスノデアリマシテ、ソレハ割合ニ考ヘ易  
イ問題デアリマスノデ、十分氣ヲ付ケルコ  
トニ致シタイト思ヒマス、其ノ他ノ問題、  
例ヘバ最後ニ例トシテ御舉ゲニナリマシタ  
市街地ノ消費組合、是ガ戰時體制ヲ確保ス  
ル爲メ重要ナル配給機構トシテ設立ツヤ  
ウニ確立サレバナラス、其ノコトハ農林  
省ノ所管ト云フヨリハ、厚生省ノ所管ダト  
云フヤウナ、恰度今日ノ時代ニ於キマシテ  
色々ナ組織ヲ轉換セバナラスモノガ他ニ  
モ澤山アルト思フデアリマスルガ、ソレ  
ノ一部トシテノ問題ガ數々餘所ノ省ノ所管  
トノ間ニ、單ニ農林厚生省ノ間ダケデナク  
色々アルト思ヒマス、商工行政ト厚生行政ト  
ノ境界ト云フコトモ考ヘナケレバナラスト  
思ヒマス、或ハ境界ガアツテハナラナイ、  
境界ノナイノガ至當ダト云フ考ヘ方モアル  
カモ知レマセヌ、ソレ等ノコトニ付キマシ

テハ洵ニ是ハ大キナ國民組織ノ問題ノ重要  
ナル一部分ヲ成シテ居ルト思ヒマスルノ  
デ、輕々ニハ扱ヒマセヌガ、ドウシテモサ  
ウ云フ問題ニ付キマシテ考慮ヲ續ラレ、取  
扱ハレナケレバナラス時節ニ適リ合セテ來  
テ居ルト思ヒマス、能ク研究ヲ致シマシテ  
工夫ニ遺餘ノナイヤウニ致シタイト思ヒマ  
ス  
○三宅委員 押問答ヲ致シマセヌガ、機構  
上ニモ共管關係ヲ樹立サレルコトガ必要デ  
アリマシテ、消費組合ノ關係、ソレカラ醫  
療組合ノ關係ニ付テハ、前々内閣ノ時ニ兩  
省ノ大臣ノ間デハ話方難リマシテ、政變ノ  
爲ニ其ノ儘ニナツテ居ルデアリマス、實  
質上、例ヘバ病院ノ認可等ニ付テハ衛生局  
ガ關與シテ居リマスガ、モウ少シ踏込ダ  
指導ヲ願フタガ宜イト思ヒマスノデ、一  
ツ問題トシテ御考慮ヲ願フテ、適正ニ御解  
決ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ハ醫療制度ニ  
關スル問題デアリマスガ、醫療制度ニ關シ  
マシテハ御承知ノ通り醫療制度調査會ガ出  
來テ居リマシテ、此ノ醫療制度ニ關スル限  
リハ、マダ總會ノ審議ハ經マセヌケレドモ、  
結論ヲ得テ居ルデアリマス、私ハ此ノ議  
會ニ到頭御提出ニナラナイヤウニナツテ居  
リマスルコトヲ非常ニ残念ニ思フデアリ  
マシテ、日本ノ醫療制度ノ根幹ニ於テ改革  
ヲシナケレバ、最早國民ノ體力管理マデヤ  
ルト云フ今日ノ段階トシテハ、役ニ立タナ  
イコトハ申サマデモナイコトデアリマス、  
現在醫療制度調査會決リマシタ案ガ理想  
案カト云ヘバ、是ハ現在ノ勢力關係其ノ他  
色々ナ關係ニ於キマシテ、極メテ微温的ナ  
モノデアリマス、ケレドモ或ル程度ノモノ  
ト致シマシテモ、之ヲ強行サレマシラバ、

○吉田國務大臣 醫藥制度調査會ノ審議ノ

結果ヲドウスルカト云フ御尋デゴザイマス  
ルガ、隨分調査會ニ於キマシテハ斯界ノ權  
威ガ久シキニ互ツテ熱心ニ檢討ヲ重ネラレ  
マシテ、稍一ツノ成案ガ出來掛ツテ居リマ  
ス、日本ノ醫藥制度ハ從前ノ儘デアツテハ  
ナラナイト云フ點ニ於キマシテハ、恐ラク  
識者ハ悉ク其ノ考ヲ一ニスルモノト思フ  
デアリマス、殊ニ斯様ナ時節ニ際シテ參  
リマスルト、其ノ事ノ實現ガ一日モ速カデ  
アルコトヲ必要トスル譯デアリマス、審議  
ノ中ニ大變困難ナ問題ガアリマシタ爲ニ、  
マダ總會ノ決議マデ至ツテ居リマセヌ、私  
ハ假令本議會ニ間ニ合ヒマセヌトモ、此ノ  
問題ヲ拋棄シヨウト云フト考ヘ全然持チマセ  
ヌ、何トカ適當ナル結論ヲ得マシテ、速ニ實  
行ノ緒ニ就クヤウニ致シタイトハ考ヘテ居  
リマス、事實今期議會ニ間ニ合フカト云フ  
コトニナリマスルト、一寸至急ニ總會ヲ開  
イテ議メヨウト思フ採決ヲシマシタラ  
マルカモ分リマセヌガ、是ノ執行ヲ確實ニ  
スルト云フ意味カラハ、自分トシテハ一ツ責  
任者トシテ十分考ヲ以ツテ、シツカリシ  
タ肚ヲ拵ヘテ實行ニ著手シナケレバナルマ  
イト思ヒマス、先ヅ今期ノ會期中ニハ一寸  
間ニ合ヒ兼ネル、斯ウ思ツテ居ルデアリ  
マス、率直ニ其ノ事ヲ申上テ置キマス、  
併シ決シテ問題ヲ捨テシマフト云フ心持  
ハ毛頭ナイデアリマス、何トカ成ベク速  
ニ適當ナ我國ノ醫藥制度ノ改正ヲ是非實行  
シナケレバナルマイト云フ熱意ニ於キマシ  
テハ、少シモ讓ラナイ積リデ居リマス、左  
様ニ御承知置キテ願ヒマス  
醫師ノ配置ノコトニ付キマシテハ洵ニ御  
話ノ通デアリマシテ、此ノ事變ニナリマシ  
テ全體ノ二見レバ醫師ガ非常ニ不足ヲ致シ

テ居リマスル、其ノコトノ重壓ガ主トシテ地  
方農村ニ懸ツテ居ルト思フデアリマス、都  
會デモ困ツテ居ラストハ言ヘナイ實情デア  
リマス、此ノ乏シイ醫師ヲドウシテ按配好  
ク各地方ニ配分スルカト云フコトハ、ヤハ  
リ是ハ國家ニ與ヘラレタル一ツノ大事ナ課  
題デアルト思フデアリマス、急ニ醫師ヲ殖  
サウト致シマシテモ、サウ急ニ殖セル譯ノ  
モノデモナイ、ヤハリ御話ノヤウニソレノ  
配置ノ上ノ苦勞ヲシテ見ルト云フコトハ、  
至急ニ爲スベキ一ツノ方法ダト思フデア  
リマスガ、品物ヲ動かカスノト違ヒマシテ、  
生キタサウシテ立派ナ才醫者様ニ動イテ戴  
クノデアリマス、サウ簡單ニ右カラ左ニ置  
換ヘル譯ニモ參リマセヌケレドモ、サウ云  
フコトヲシテ又能ク擧ルトモ思ハレナイ  
デアリマス、ヤハリ行ツテ働イテ戴ク人ハ、  
假令政府カラ何等カ御示ノヤウナ機關カラ  
頼マレテ、其處ニ配置セラレタノデアリマ  
シテモ、心カラ其ノ地方ノ人達ノ爲  
ニ働イテ上ゲルノダト云フ、積極的ナ何ト  
言ヒマスカ、奉仕ノ心持ト言ヒマスカ、サ  
ウ云フモノニ缺ケタノデハ醫療目的ノ十分  
ニ達セラレナイト思ヒマス、ソコハ中々難  
カシイ兼合ヒダト思ヒマスガ、大事ナコト  
デアリマスカラ能ク關係ノ向キトモ協議ヲ  
遂ゲマシテ、何等カノ施設ヲ致シテ、有益  
デアルト云フコトデアラナラバ、速ニサウ  
云フ運ビニ致シテ見タイト思フデアリマス  
○三宅委員 モウ一點ダケデゴザイマス、  
是非一ツオ醫者サンノ配置ニ付キマシテハ、  
現ニ町ナドデ止メタイト思フテ居ルヤウナ  
人モアリマスシ、強行ヲ致シマセヌデモ、  
幹線ノ範圍ニ於テモ私ハ相當ニ效果ガ舉ル  
ノデヤナイカト思フデアリマス、尙ホ幹

役割ヲナスコトニモナリ、國民組織化ノ役  
割ヲモナスコトニナル、サウ云フ意味ニ於  
キマシテ、國民組織ノ實體的方面ト云フ見  
地カラ考ヘマシテモ、私ハ保險ト云フモノ  
ハ非常ニ重大ナ意義ヲ持ツテ居ルデアリ  
マス、隨テ此ノ機會ニ——實ハ少シ時期ガ  
遅レテ居ツテ今年邊リニ出テ居レバ宜カッ  
タト思フノデス、其ノ道ノ練達ナ大臣ガ漸  
クナラレタバカリデアリマスルカラ、モウ  
二年バカリ前ニ大臣ニナラレテ居リマシタ  
ラ、今頃澤山出テ居タツノデハナイカト思  
ヒマスルガ、保險ニ付テハ全面的ナ擴充ヲ  
ヤツテ戴カケレバナラスト思フデアリ  
マス、船員保險ガ通りマシタ、是ハ船員ノ  
疾病保險、養老保險デアリマスガ、ソレガ  
爲ニ船員ガ老後ガ心配ガナクナツタト云フ  
ノデ安定致シマシタ、是ハ報告ニ徴シテ明  
白ナ所デアリマス、鑛山労働者ガ今非常ニ  
足ラナイト云フデアリマスルガ、アレダケ  
落盤ガアツタリ、ヨロケニナツタリスルノ  
デアリマスカラ、老後ノ廢疾保險ガナケレ  
バ、良イ仕事ガアレバ他處ニ逃ゲルノハ當  
然デアリマス土庫ノヤウナ仕事ヲサシテ居  
ルノデアリマスカラ、五六十ニナレバヨロ  
ヨロニナツテ役ニ立タナクナル、船員ハ特  
殊ノ仕事ダカラ養老保險ヲヤルコトガ必要  
デアルト同ジヤウニ、少クトモ鑛山ノ工夫  
ニ付テ、鑛山労働者バ早ク年ヲ取ツテ腰モ  
曲ルシ、ヨロケニモナルノデスカラ、老後  
ニ心配ガナイヤウニ精々考ヘテヤルコトガ  
必要ダト思フデアリマス、特ニ役人ニ付  
テハ恩給ト云フモノガ附イテ居リマスガ、  
今日ノヤウナ總動員體制デ、自分ノヤリタ  
イ仕事ヤルヲデナシニ、國ガ仕事ニ付テ  
マデ統制ヲ加ヘテヤラセルト云フコトニナ



リマシレバ、全國民ニ對シテ一ツノ恩給ト申シマスカ、養老年金ノ制度等ガ必要ニナルノデアリマシテ、此ノ次ニハ一ツ大イニヤツテ實ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、或ハ順序モアリマセウガ、軍需工業者ノ「インフレ」防止ト、サウシテ激シイ勞働時間カラ米老後ノ安定ノ爲メ養老年金、養老保險、嶺山労働者ノ養老保險等ニ依ツテ、老後ヲ安定サセル途ガ何ヨリ必要ダト思フノデアリマシテ、保險政策ニ付テハ全般的ノ體系ヲ此ノ際一ツ立テテ、ヤリ宜イモノカラ著々實行シテ戴キタイト希望スル者デアリマス、就イテハソレ等ニ付テハ御腹案ガアルカナイカ、ヤルトスレバ、何保險カラ最初オヤリニナルカ、少クトモ來年マデニハ是レノモノハ案ヲ立テテヤリタイト云フ目途ガアレバ、ソレヲ御聽カセテ願ヒタイト考ヘルノデアリマス

○吉田國務大臣 先達來本會議立ニ豫算總會ニ於キマシテモ其ノ御話ハ各方面カラ出マシテ、私共趣意ニ於キマシテハ、深く御同感申上ゲテ居ルノデアリマス、單ニ私ガ御同感申上ゲルノミデナク、先達來議會開會以前ニ於ケル現内閣成立後ノ重要國策ニ關スル會議ニ於キマシテモ、是非其ノ問題ヲ一ツ考究シテ見ヨウデハナイカト云フ申合セガ成立致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、其ノ問題ヲ取扱ヒマス爲メハ、今マデノ限ラレテ、居リマス簡易保險デアルトカ、健康保險デアルトカ云フモノト又違ヒマシテ、保險技術ノ上ニ於キマシテ可ナリ又違ツテ工夫ヲ加ヘネバナラス點モアラウカト存ジマス、中々率ノ計算等モ困難デアラウト思ヒマスノデ、是亦御話ノヤウニ、ヤリ易イモノカラ先ニヤリ、自ラ順序ガアルモノト思フノデアリマス

○平川主査 一寸御話ヲ致シマスガ、今通告ヲサレテ居ル委員ガ此處ニ來テ居ラレマセウカラ、土屋君ニ許可致シタイト思ヒマセウガ、時間ハ長ク掛リマスカ

○土屋清三郎君 ソンナニ長クハ掛リマセウガ、

○平川主査 ソレデハ委員外ノ土屋清三郎君ノ質問ヲ許可致シマス

○土屋清三郎君 厚生省ガ生レマシテカラ今度ノ大臣デ五代、ソレマデ大臣ハ遺憾ナガラ厚生行政ニ付テ理解ヲ持ツテ居ラレナイ方バカリデアリマス、ソレダケ外部ニ在ツテ厚生行政ヲ非常ニ重ク考ヘル者カラ見マスルト、非常ニ遺憾デアリマシタガ、恐ラク内部ニ於テモサウデアツタラウト思フ、幸ヒニシテ厚生行政ニ豐富ナ經驗ト十分理解ヲ持ツテ居ラレル吉田サンガ新大臣トシテ臨マレタト云フコトハ、洵ニ國家ノ爲ニ喜ブベキコトト存ジマス、實ハ委員外デアリマスガ質問ヲ求メルヤウナコトハ差控ヘテ居ラタリマシマスガ、承リマスト今日午前中ニ吉植委員カラ搦粉ノ問題ニ付テ發言ガアリ、大臣カラ御答辯ガアツタサウデアリマス、此ノ問題ハ非常ニ長イ間議會ニ現ハレタ問題デアリマシテ、私ハ昨年文書ヲ以テ質問ヲ致シ置キマシタガ、遂ニ其ノ答辯ナクシテ終リマシタ關係カト思フノデアリマス、先御答辯シタイトハ、搦粉ハ非常ニ長イ間日本ニ於テ使ハレ、米ノ經濟ノ上カラ云ツテモ、勞力ノ經濟ノ上カラ云ツテモ、又消化營養ノ上カラ云ツテモ、非常ニ重要ナルキヲ爲シテ居ツタモノデアリマス、然ルニ厚生省ガ出來マシテカラ、一昨年カラデアリマシタカ、其ノ前デアリマシタカ、盛ニ搦粉ノ害ヲ唱ヘテ、サウシテ地方廳ニ向ツテ頻リニ禁止ヲ勸メテ居ル、既ニ今日マデ地方令ヲ以テ禁止シテ居ルモノガ相當アルト思ヒマス、一體厚生省搦粉ヲ禁止サセルト云フ根本ハ何處カラ來タノデアリマスカ、之カラ一ツ御尋シマス

○吉田國務大臣 搦粉ノ利害ト云フコトニ付キマシテノ技術的ナ説明ヲ私カラ申上ゲルト云フコトハ、恐ラク適當デナイデアラウト思フノデアリマス、此ノ問題ハ隨分古クカラ論ゼラレテ居リマスコトヲ私モ承知致シテ居リマスガ、ソレニ對シテ國民ノ榮養或ハ保健ノ問題ヲ御預リシテ居ル厚生省ト致シマシテ、主トシテ榮養ノ見地カラノ觀點ガ多イト思ヒマス、又現在ニ於キマシテハ、節米運動ト關聯シテ起リマシタ最近ノ白米廢止問題トモ關聯ヲ持ツニ至ツテ居ルノデアリマス、ソレ等カラ出タ結論ニ依リマシテ、搦粉ヲ使ハズシテ搦粉スルト云フコトノ方ガ使フ方ヨリハ宜シイ、裏カラ申シマス、搦粉ヲ使フト云フコトハ有害ナリト云フ研究ノ結果ニ基キマシテ、今日マデノ方針ヲ執ツテ居ルコトト思フノデアリマス、私ガ斯界ノ先輩デアリマスル土屋君ノ技術ノ上デ問答スルカハナイノデアリマス、今日マデノ役所ノ研究ノ結果ニ基キマシテ、左様ナ方針ヲ私モ繼承スル者デアルト云フコトヲ申上ゲテ御答ト致シマス

○土屋清三郎君 將來ノ方針ハ後カラ御尋シマスガ、私ガ先ツ御尋シタイトハ、何ヲ根據ニシテ搦粉ヲ禁止シテ地方ニ獎勵サレテ居ルノデアルカ、直接大臣カラ御答モドウカト思ヒマスカ、主管ノ政府委員ニ此ノ點ニ付テ先ツ御尋シタイト、段々疑義ヲ質シ、最後ニ大臣ノ御答ヲ承リタイト

○林政府委員 本問題ニ付キマシテハ、昨年ノ委員會ニ於キマシテ土屋君ノ御尋ニ對シ、御答ヲ申上ゲテ居リマス通りノ理由デアリマスノデ、別ニ新シイ理由ガ今日アル譯デハアリマセウ、昨年ノ議會ニ於テ一當委員會デアツタト思ヒマスガ、相當ノ時間、詳シク申上ゲタ次第デアリマスカ、左様御尋承テ願ヒマス

○土屋清三郎君 昨年アナタノ御答辯ガ理解出來ナイ爲メ私ハ文書ヲ以テ御尋シタノデス、搦粉ヲ禁止シヨウト云フ時ニ、衛生局カラ發表シタモノノ及ビ文書ヲ以テ私ニ交付サレタモノハ、今此處ニ持合セテ居リマセウガ、衛生上有害デアルト云フコトガ第一ノ理由デアリマシタ、然ラバ其ノ衛生

上有害デアルト云フ根據ハ何處ニアルカ、斯ウ御尋致シマシタ所ガ、ソレハ榮養研究所ノ研究報告ニ依ルト云フ、榮養研究所ノ研究報告ヲアナタカラ讀イテ調ベテ見マス、斯ウ云フコトガアル、鼠ニ搦粉——是ハ第一ガ州搦粉、ソレヲ主トシテ使ツテ居ラレマスガ、モウ一ツハ廣島方面カラ出ル所ノ炭酸石灰モアリマスガ、ソレニ依リマス、鼠ニ搦粉一疋ニ付キ一日三瓦ツツ搦粉ヲ食餌ニ加ヘテ食ベサセテ、サウシテ五箇月間之ヲ繼續シタ、其ノ結果三割七分五厘ノ鼠ガ胃袋ニ搦粉ガ出來タ、ソレダケナノデス、ソレカラ難ノ方ハ毎日食ベサセル餌ノ三分ノ一ニ相當スル搦粉ヲ、是モ五箇月間連續シテ食ハセタ、然ルニ同時ニ對照的ニ搦粉ヲ混ゼナイ食ハセテ行ツタモノト、此ノ搦粉ヲ混ゼナイ食ハセテ行ツタモノトノ間ニ差別ヲ認メルコトガ出來タカツタ、斯ウ云フガ榮養研究所ノ報告デアリマス、今此ノ榮養研究所ノ報告ヲ基礎ニシテ人間ニ當嵌メマスルト、鼠ノ體重一疋ニ付テ五箇月間三瓦ツツ食ハセテ居リマスカラ、假ニ五十疋ノ體重ノ人間ト致シマスト、毎日百五十瓦ツツ搦粉ヲ五箇月ノ長キニ互ツテ食ハセタ、所ガ其ノ中ノ三割七分五厘ノ胃袋ニ搦粉ガ出來タト云フダケノコトデアリマス、難ノ方ニシマス、人間ガ毎日食ベル食糧ノ三分ノ一ツツ搦粉ヲ五箇月ニ互ツテ食ハセタケレドモ、何モ害ガナカツタ、斯ウ云フ結論ニナルノデアリマス、即チ衛生上カラ言ツテ害ガアルト云フ立證ハドウシテモ出來ナクナツテ來ル、今一ツハアナタハ陸軍醫學校ノ某ト云フ醫學大佐ガ新聞ニ發表シタモノヲ御引用ニナツテ居ル、併シ私共醫者ノ方カラ見

ルトドウシテモ分ラナイ、全然人間ノ病氣ノコトヲ知ラナイ獸醫ガ、人ノ直腸炎ノ手術シタモノヲ貫ツテ來テ其ノ申ラ検査シタ所ガ、硫酸「アルミニウム」ガアツタト云フノデアル、併シソレガ搦粉カラ出タモノデアラカドウト云フコトハ少シモ立證ガナイ、私ハ昨年ノ秋、私共民政黨ノ政務調査會ニ體力問題ニ付テ陸軍ノ醫務局ノ人ガ來テ説明ヲサレタ時ニ、私ハ陸軍ニ於テハ搦粉ガ衛生上害ガアルカナイカト云フコトヲ御尋シタ所ガ、其ノ人ハ、多分ソレハヲ聽キマシタ所ガ、其ノ人ハ、多分ソレハ陸軍ノ獸醫ガ發表シタコトヲ御引用ニナルノカモ知レマセウガ、吾々ノ方デハ甚ダ以テ迷惑ヲシテ居ルノデアリマス、人間ノ病氣ノコトニ付テ全然分ラナイ者ガ、アア云フ發表ヲサレルト云フコトハ、陸軍醫務局トシテハ洵ニ迷惑デアルト、斯ウ言フ答デアツタ、其ノ前昨年ノ決算委員會ニ於テ、是モ陸軍ノ醫務當局ノ人ト海軍ノ醫務當局ノ人ニ質シマシタガ、何レモ搦粉ガ衛生上有害デアルト云フヤウナコトハ、吾々トシテハ決シテ言ツテ居リマセウ、斯ウ云フ話デアリマス、サウスルトアナタノ方デハ之ヲ衛生上有害デアルト御認識ニナツテ搦粉ヲ禁止ヲ獎勵サレタ根據ハ、全く無クナツテシマツテ居ル、ソレカラ一昨年ノ十一月厚生省ノ衛生試驗所長ノ御話——私ハ當時ノ問答モ之ヲ筆記シ今尙ホ持ツテ居リマスガ、衛生試驗所長ハドウ言ツテ居ルカト云フト是ハ衛生局長御存ジデアリマシタガ、搦粉ヲ有害ト認メテ禁止サレタノハ、今度ノ厚生省ガ始メテデアリマセウ、明治三十四年ノ頃ニ東京府ニ於テ、搦粉ハ有害デアルト云フコトヲ府達ヲ以テ禁止サレ

タ、所ガ衛生學者ガ非常ニ綿密ニ研究シタ結果、是ハ何モ害ガアルモノデハナイト云フコトニナツテ、府令ヲ解カレタ、其ノ後明治二十五年、或ハ日清戰爭後若クハ明治四十四五年頃、今ノ厚生省ノ醫務制度調査會ノ委員ニナツテ居リマス東京帝國大學名譽教授廣松藥學博士、此ノ人ガ當時内務省ノ衛生試驗所技師トシテ、此ノ搦粉ノ有害無害ニ付テ詳細ナル研究報告ヲセラレテ居ル、ソレニ依リマス、搦粉ハ米ヲ淘イデ洗ヘバ綺麗ニ落チテシマフ、其ノコトヲ非常に綿密ニ立證シテ居ル、其ノ一面前申シタ今ノ厚生省東京衛生試驗所長ガ一昨年私ニ話シタコトデアリマスガ、搦粉ハ要スルニ成分ハ硫酸「アルミニウム」デアル、別ニ害ガアルモノデモ何デモナイ、若シ是ガ害ガアルト云フナラバ、例ヘバ藥局方使ツテ居ル白陶土、是ハ硫酸「アルミニウム」ニ水ガ加ツタモノデアル、是ガ醫藥トシテ人間ニ飲マレテ居ルデハナイカ、ソレカラ今日新聞紙ニ毎日廣告サレテ居ル「ノルモン」(アドソルビン)、是等ハ皆醫藥トシテ廣告ヲサレ、可ナリ多數之ヲ飲ンデ居ル、ソレガヤハリ硫酸「アルミニウム」デアル、サウ云フモノヲ藥トシテ平生人ガ飲ンデ居ルノデアリマスカ、陸軍ノ獸醫ガ腸ノ中ノモノヲ調べタ所ガ、硫酸「アルミニウム」ガアツタトシテ少シモ不思議ハナイノハ、人間ノ藥ニドウ云フモノガ用ヒラレテ居ルト云フコトモ、全然知ラナイ獸醫ノ誤用ト判断デアツテ、厚生省ガサウ云フモノヲ引用シテ何デモ彼デモ搦粉ヲ有害ニシテ、之ヲ禁止シヨウト云フ考ヲ持タレタコトハ、私ハ非常ニ錯覺デアツタト思フ、搦粉ガ衛

生上危害ガアリ、硫酸「アルミニウム」ガ衛生上危害ガアルト云フ立證ハ、澤山ノ人ガ研究シテ居リマスケレドモ、マダ一人ト雖モ之ヲ斷定シタ學者ハアリマセウ、之ヲ公式ニ有害トシテ發表シテ禁止シタノハ厚生省ダケデアル、元來搦粉ハ衛生上有害トコロカ寧ロ大イニ必要ナモノデアルト私ハ考ヘテ居ル、今日ハ七分搦粉ヲ獎勵サレテ白米ヲ禁止サレテ居リマスガ、搦粉ガ榮養上ニ持ツ働キハ、米ニ付テ消化ノ困難ナル外皮ヲ綺麗ニ機械的ニ剝イテ、サウシテ飯ニ炊イテ食ベテ本當ニ飯ノ味ヲ出サセル、是ガ搦粉ノ特色デアル、是ハ米屋ガ一番能ク知ツテ居ルサウシテ米ノ本當ノ味ヲ出ス爲メニ飯ガ旨イ、飯ガ旨イカラ消化液ガ盛ニ出ル、ソレデアラカラ腸ニ行ツテ完全ニ消化サレテ其ノ持ツ榮養分ガ百パーセントノ近クレテ其ノ持ツ榮養分ガ百パーセントノ近ク身體ニ吸收サレテソレガ榮養ニナルノデアリマス、此ノ働キガアル爲メ白米ガ喜バレテ居ル、ソレカラモウ一ツ經濟上ノ方カラ言ツテ見マス、今日動力及ビ勞力ガ非常ニ不足シテ居ル場合ニ、ナゼ白米業者ガ搦粉ヲ使ハナケレバナラナイカト云ヘバ、搦粉ヲ使ハバ唯ダ精米機械ヲ以テ米ト米トヲ無理ニ直接ニ摩擦サセルノト違ヒマシテ、アノ細カイ搦粉ガ米ノ表面ニ附イテソレニ依ツテ間接ニ緩キカニ摩擦ヲシテ機械ト共ニ働ク爲メ早ク且ツ綺麗ニ米ヲ搦ケル、ソレデアリマスカ、動力ノ量ガ搦粉ヲ使ツタ場合ハ使ハナイ場合ノ半分デ済ム、隨テ精米スル時間モ半分デ済ム、人間モ半分デ済ム、二日掛ルモノガ搦粉ヲ使ヘバ一日出來ル、即チ動力ノ料金ノ上カラ云ツテモ、時間ノ經濟ノ上カラ云ツテモ、人ノ經濟ノ



上カラ云ツテモ、換粉ヲ使フト使ハナイト  
デハ半分モ違フ、殊ニ農村ニ於テハ農家ハ  
検査ヲ受ケテ合格シタ米ダケ賣リ、不合格  
ノ所請層ハ自分ノ食料ニ供スル、所  
ガ此ノ層ハ非常ニ脆イモノデアリマスカ  
ラ、其ノ儘白デ換粉キマスト碎ケテシマ  
ツテ食用ニナラナイ、所ガ換粉ヲ使ハソ  
レガ大部分利用サレテ自分ノ食米ニナル、  
從ツテ換粉ヲ無理ニ禁止スレバ、農家ハ厨  
米ヲ利用シテ自分ノ食糧ニ載セルコトガ出  
來ナクナリ結局餓ノ餌ニスルヨリ仕方ガナ  
イコトニナル、是ハ京都デオ育チニナツテ  
米ノ成ル木ヲ御承知ノ衛生局長ニハオ分  
リニナラナイカモ知レマセスガ、私共農家  
ニ百ツテ厨米ヲ自分ノ食米ニシテ居ツ  
タ者ノ目カラ見マス、決シテハ輕キシ  
イ問題デアリマセス、斯ウ云フコトヲ考  
ヘナイデ、衛生上害ガアルカナイカ、害ガ  
アルト云フ何等ノ立證ナク、二百年來全國  
ニ於テ使ツテ居ツテ、經濟上ニモ榮養上ニ  
モ害口必要ナル所ノ換粉ヲ、錯覺ニ依ル判  
斷ヲ以テ全國的ニ禁止令ヲ出サレタコト云  
フコトハ、私ハ遺憾ナコトダと思フ、若シ私  
今言ツタコトニ對シテ御異存ガアツタラ、  
オ前ノ言フ衛生上危害云々ノ問題ハ間違  
テ居ル、若キ方デハ是ダケノ試驗ヲシテ  
斯ウダト云フコトヲ此處デ御示ニナラレ  
イ、サウデナケレバ厚生省ガ全國的ニア  
禁止ヲ號令サレタ根本ハ、私ハ全ク錯覺カ  
ラ出タト斷ゼザルヲ得ナイ、斯ウ云フ風ニ  
考ヘル、若シ御異存ガアリマシタラバ、  
ソレヲ承リタイ

○林政府委員 只今御尋ニナリ且ツ御述ニ  
ナリマシタコトハ、私ノ記憶スル限りニ於  
テハ昨年御答申シタコトデアリ、御尋ニナ  
ラレマシタコトト同一ノコトト考ヘテ居リ  
マス……  
○平川主査 政府委員ニ一寸御注意シマス、  
昨年御答ニナリマシテモ、此ノ委員會ニ於  
テ特ニ質問セラレタコトニ付テハ御答願ヒ  
タイト思ヒマス、昨年ノ御答ヲ採用セラレ  
テハ一寸困リマス  
○林政府委員 ソレデハ大變長クナルカモ  
知レマセスケレドモ、御許ヲ願ヒマス、昨  
年土屋サンカラ御尋ガアリマシテ、私カラ  
相當ノ時間本問題ニ付テ御答ヲ申上ゲマシ  
タ通り、只今又御引用ニナリマシタコトニ  
付テモ、先づ第一ニ會テ衛生試驗所ガ此ノ  
問題ニ對シテ發表サレタリトシテ御引用  
本問題ニ對シテ發表サレタリトシテ御引用  
ニナツタ文書ハ、全文ヲ御讀ミニナツテ載  
キマスレバ、其ノ趣旨モハツキリ致スカト  
思フノデアリマスガ、其ノ當時ノ發表ニモ  
アリマス通り、先程申サレマシタヤウ  
ニ、洗ヒマスレバ落ちルデアラウト云フコ  
トデ、其ノモノノ毒物デアるか否カト云フ  
コトニ付キマシテハ、別ニ何等言ツテ居  
ナイノデアリマス、隨テ私共カラ申シマシ  
テ、混砂致シマス其ノ砂ソレ自身ガ直チニ  
毒物デアルト云フコトハ申シテ居ラナイノ  
デアリマス、問題ハ之ヲ採取致シマシタ場  
合ニドウナルカト云フコトニ移ツテ行クモ  
ノダト考ヘテ居リマス、更ニ榮養研究所ノ  
實驗ヲ御引用ニナリマシタケレドモ、アレ  
モ單位ガ御間違ヒデハナカウツカト思フ  
デスガ、一「キロ」ニ對スル三「瓦」ト申サレ  
シタコトハ〇・三「瓦」誤リデアラウト思  
フノデアリマスガ、何レニ致シマシテモ、其  
ノ榮養研究所ニ於ケル研究ノ結果ハ先程御  
引用ニナリマシタヤウナ結果ヲ示シテ居

マス、ソレデ、吾々ノ方デハ直チニ害アリ  
ト斷定ヲ下スコトヲ避ケタノデアリマシ  
テ、害ヲ爲スノ虞ガアルカラ、此ノ際之ヲ  
禁止シヨウ、斯ウ云フ方針ヲ採ツタノデア  
リマス、ソレカラ藥用ニ使ハレマスト云フ  
ノ故ヲ以テ直チニ常用ニスル場合ノコトノ  
御引用ニ付キマシテモ、昨年申シマシタ通  
リ、醫師ノ判定ニ依ツテ醫藥的ニ之ヲ用  
ヒルコトヲ必要トスル場合ニ、所謂藥用ト  
シテ用ヒラレテ居ルガ故ニ、ソレガ一般  
支障ガナシト云フコトニハナラナイデアツテ、  
醫師ノ用ヒラレマセス藥用ノ中ニハ吾々ガ毒物ト  
シテ示スモノヲモヤハリ藥用トシテ醫師ノ方  
ノ御引用ヲ願ツテ居ル譯デアリマスカラ、其  
ノ點ヲ以テ本問題ヲ御解釋ニナルコトニハ  
御無理ガアラウカト昨年申上ゲタノデア  
リマス、唯茲ニ附加ヘテ、本問題ニ付テ  
先走リマスルヤウデアリマスガ、一言申上  
ゲテ置キタイコトハ、昨年既ニ大臣ヨリ御  
答ヲ願ヒマシタ通り、本問題ノ解決ニ當  
ツテ當業者諸君ノ營業ヲ毀損スルカト云フ  
問題ガ私共ノ一ツノ重要ナ問題デアル、隨  
テ此ノ轉業ノコトニ付テハ十分考ヘタイト  
云フコトガ大臣ヨリ御答辯ニモアツタノ  
デアリマスガ、ソレヨリ一年間、私共ハ  
主トシテ本問題ノ解決ノ爲ニ苦慮致シタ  
デアリマス、其ノ結果今日デハ特ニ房州砂  
系統ニ屬シマスモノニ付テハ、土木技術員  
全體ノ多クノ方々ノ會議ト、之ガ實驗トニ  
依リマシテ、此ノ少イ時代ニ「セメント」ニ三  
割程度マデ混ゼマスコトニ依ツテヨリ一層  
「コンクリート」ノ效用ヲ發揮シ得ルモノデ  
アルト云フコトノ結論ニ達シ、只今千葉縣  
ノ山々ヲ歩キマシテ、之ヲ如何ニスレバ工  
業化シ、適當ナルモノトシテ出シ得ルカノ研

究ヲシツツ、業者諸君ニ目下工業組合ノ結  
成ヲ促シツツアルノデアリマス、然ルニ「セ  
メント」ガ今日ノヤウナ狀態デアリマス爲ニ、  
既ニ大量ノ注文ヲ私共ノ手ヲ通シテ申込  
ンテ來テ居リマス、此ノ問題カラ參リマス  
ト、千葉縣産ノ房州砂ノ量ノ如キハ實ハ一  
モ爲スニ足ラナイ位ノ量デアリマスノデ、  
其ダ先走リヤウデアリマスガ、其ノ點ニ對  
スル行政上ノ留意ヲ十分致シテ、目下當業  
者諸君トノ間ニ本問題ヲ進メツツアル點ヲ  
此ノ際附加ヘテ置キタイト思ヒマス  
○土屋清三郎君 只今衛生局長カラ東京衛  
生試驗所ノ、即チ厚生省ノ衛生試驗所ノ最  
近ノ試驗ヲ引用サレテ、ソレデ毒物デア  
ナイ、腹ノ中ニ入ツタラ害ガアルカナイカト  
云フコトハ分ラヌ、斯ウ言ハレタ、ソレカ  
ラ榮養研究所ノ動物試驗ヲ引用サレマシ  
テ、私ニ向ツテ、私ガ一日最高量ヲ三「瓦」ト  
マシタノハ、〇・三「瓦」ノ間違ヒデハナイカ  
新ウ言ハレマシタガ、是ハアナタノ方ガ間  
違ヒデアリマセスガ、〇・三「瓦」ト三  
瓦トノ三ツノ群ニ分ケテヤツテ居ルノデア  
リマス、アナタハ一番少イ〇・三「瓦」ヲ御  
考ニナツテ居ルカモ知レマセスガ、〇・三  
ツツ毎日食ハセタノモアレバ、〇・三ツツ食  
ハセタノモアレバ、三「瓦」ツツ食ハセタノモ  
アル、共ニ五箇月間繼續シタノデアリマス、  
サウシテ其ノ結論ノ中ニドウ言ツテ居ルカ  
ト云フト、分量ヲ少クヤツタ場合モ、多  
ヤツタ場合モ別ニ差別ガナイト言ツテ居ル、  
モウ一遍アナタハ、研究報告ヲ繰返シテ  
ドウソ御讀ミニナツテ下サイ、數字ハ三歳  
ノ兒童ト雖モ偽ルコトガ出來ナイ、數字ガ  
物ヲ言フノデアリマスカラ、斯ウ云フコト  
ハ須ク眼光紙背ニ徹スベシ、苟モ科學的ノ

報告ヲ讀ム場合ニハ、其ノ背後ニハツキリ  
眼光ガ徹ラナイトイケマセス、是ハアナタ  
ト私トノ争ダケデハナイ、争ノ出來ナイ  
點デアリマスカラ、モウ一遍アナタハ  
能ク御讀ミニナツテ戴キタイ、或ハソレガ  
アナタノ錯覺ノ原因デアナイカト私ハ思  
フ云フ譯デ、直チニ害アリト云フ斷定ハ  
出來ナイケレドモ、虞ガアルカラト云フ  
ハ一體ドウ云フコトデアリマスガ、罪ヲ犯  
シタ者デモ罪ノ疑ハシキ者ハ之ヲ罰セズ、  
換粉ガ今日マデ二百年間日本ノ米ノ換粉ニ  
用ヒラレテ、未ダ曾テ一人ノ醫師モ換粉ノ  
爲ニ起ツタ病氣ト云フモノヲ見タ者ハナ  
イ、サウシテ是ガ有ユル方面ニ於テ利用サ  
レテ居ル、換粉ハ消化物デアナイ、全クア  
レハ微細ナ、機械的ナ側キヲスルモノデア  
ツテ、機械的ニ米ノ周リヲ磨イテ行クモノ  
デアツテ害ハナイノデアリマス、次ニ藥用  
ニスル場合ニハ云々ト云フコトヲアナタハ  
仰セラレマシタガ、左様ニ藥用ニ相當量用  
ヒラレテ居ルコトヲ御認メニナリナガラ、  
米ヲ換粉ニ換粉ヲ使ツテ、サウシテ之ヲ研  
イデ洗ツテ、ドレダケ米粒ニ洗粉ガ付イ  
テ居ルトアナタハ御考ニナリマスガ、既ニ衛  
生試驗所ノ報告ニ依ツテモ、洗ヘバ落チテ  
シマフ、假ニ付イテ居ツタ所デ害ガナイ、  
實ハ私ハ今日アナタト斯ウ云フ質問應答ヲ  
スルナラバ、換粉ヲ自分デ持ツテ來テ、此  
處デアナタノ前デ飲ンデ見セタイ、私ハ相  
當ノ間、分量ハ僅カヅツデアハハマサガ飲  
ンデ見タ、何モ害ガナイ、ノミナラズ換粉ノ  
産地デアル房州ニ於テ此ノ換粉ヲ取扱ツテ居  
ル人達ハ、換粉ガ手ニ眞白ニ付イタ儘餅菓  
子デモ諸デモ換粉ヲ毎日オ茶菓子ノ時ニ食  
ベテ居ル、豚ナド下痢ヲシタ場合ニ、換粉

ヲ飲マセレバ下痢ガ直ル、ソレカラ人間ノ  
胃腸藥トシテ此ノ細カイ成分ノモノガ盛ニ  
毎日新聞ニ發表サレテ、大勢ノ人ニ飲マシ  
テ居ルデアリマセスガ、一體物ニ害ガア  
ルナイト云フコトハ、ソレハ色々ナ言ヒ方  
ガアル、例ヘバ砂糖ト云フモノハ無クテハ  
ナラヌ榮養品デアル、併シテモ試驗動物ニ依  
レバ、砂糖デモ前掲糖デモ三度々々食餌ト  
等分ニ半分ツツ、鼠ニ飲マセレバ、九日乃  
至三十五日デ皆死シマフ、ソレ程此ノ  
試驗動物ノ鼠ト云フモノハ弱イノデア  
リ、其ノ弱イ鼠ガ、今私ガ擧ゲタ程ノ大量  
ヲ五箇月ノ長キニ互ツテ食ハセタニ拘ラズ  
僅カニ其ノ一部分ノモノヲ胃袋ニ貯貯ガ出  
來タダケデアル、此ノ報告ヲ見テ、アナタ  
ハ「今日ハ衛生上害ガアルト仰シヤツタ  
ガ、今日ハ流石ニ害アリト御斷定ハ出來ナ  
イ、唯處レガアルカラト云フ、ソレデハイケ  
マセス、換粉ヲ今日マデ、親、祖父ノ代カ  
ラ營々トシテ採掘運搬シ、ソレニ依ツテ衣  
食ヲシテ居ツタ人達ハ、アノ當時アナタノ  
前ニ行ツテドウ言ハレタノデアリマスガ、  
アナタハオ正月ニ心好ク湘南デ湯ニ御浸リ  
ニナツテ、病氣デアツタ私ニ御見舞ヲ戴キ  
マシタガ、併シテアノ當時ノ換粉關係者ノ心  
持ト云フモノハ私ハ今考ヘルダニ實ニソツ  
トスル、只今アナタハ其ノ換粉ノ利用ハ房  
州ノ方デ「セメント」ニ利用セラレルヤウニ  
ナツタ、自分ノ方ノ手ヲ通シテ云々ト仰  
セラレマシタガ、房州ニ行ツテ御覽ナサイ、  
彼等換粉關係者ノ氣持ヲ酌ンデ御覽ナサ  
イ、彼等ノ間カラ戰慄ニ立ツテ居ル所ノ兵  
士ガ新聞デアレテ見テコトヲ「寄越シタ手  
紙」ヲアナタハ御覽ニナツタカ、確ニ國民衛  
生ニ害ガアルト云フナラバ、法律ヲ以テ斷

然禁止シナサイ、害アリト云フ斷定ガ付カ  
ズ、虞ガアルト云フヤウナ曖昧ナコトヲ以  
テ正當ナル業務ヲ禁止シテ、其ノ者及ビ其  
ノ背後ニアル所ノ者ノ生活ヲ脅カシテ居ル  
ト云フコトハ、政治家ノ斷定ニ爲スベキ所  
デアリマセス、之ニ付テモ尚御異存ガ  
アレバ私ハ重ねテ質問ヲ致シマス  
向ホ此ノ場合附加ヘテ申シテ置キマス  
ガ、換粉禁止ノモウ一ツノ理由トシテ榮養  
上云々ト云フコトヲ仰セラレタ、ソレハア  
ナタカラ書イテ戴イタノニアル、ソレハ何  
アルカト云フ「ビタミン」ガ胚芽及ビ糠ニ  
付イテ居ル、ソレヲ換イテナクシテシマフ  
「ビタミン」ニ缺乏症ヲ起スカラ、ソレデ換粉  
ヲ使ハズニ、七分換粉半換粉ニシテ食ハセ  
ウト云フノデアル、新聞ハ殆ドサウ云フ宣  
傳ヲ今日マデ報道シテ居ル、併シ私ハコン  
ナ理屈ニ合ハスコトハナイト思フ、「ビタミ  
ン」ト云フモノハ米バカリカラ求メルモノ  
デハアリマセス、他ノ穀類ニモ「野菜及  
ビ果物」ハ豊富ニアル、米バカリヲ榮養品  
ト考ヘ、米バカリカラ「ビタミン」ヲ攝ラウ  
ルスノハ大キナ間違ヒデアリマス、私ハ之  
付テハ別ニ食政確立ノ爲ニ改メテ質問スル積  
リデアリマスガ、今申シタ通り米バカリガ榮  
養品デアナイ、五穀ノ中デモ黍、蕎麥、殊  
ニ稗ノ如キハ遙ニ米ヨリモ榮養價ガ高イ  
ソレ等ノ五穀ヲソレレ「皆攝ツテ今日マデ  
ノ日本國民ノ榮養ハ來タ、五穀ノ野菜果物ト  
云フモノハ不可分ノモノデアル、「ビタミン」  
世界的ノ發見者デアル「アレハ英吉利デ  
後デ發見シタノデアツテ、本當ノ世界ノ發見  
者ハ我國ニ於ケル農學博士鈴木太郎氏デア  
ル蛋白質學ノ泰斗デアツテ、アノ人ニ研究發  
見ト云フモノハ非常ニ尊重スベキモノデア

ル、其ノ「ビタミン」Bノ世界的發見者デ  
アル鈴木農學博士ハ其ノ著書ニ何ト書イテ  
居リマスガ、米ヲ七分換粉胚芽米ニシテ米ノ  
持ツテ居ル「ビタミン」Bヲ捕捉シヨウト  
ルナラバ、少クトモ現在食ベテ居ル三倍以  
上ノ米ヲ攝ラナケレバナイト云フ譯デ居  
ルノデアリカ、ソレ故米バカリヲ脱ンデ  
居ナイデ、野菜其ノ他ヲ適當ニ食ハサウ  
ニスルコトガ脚氣ヲ豫防スル爲ニ必要デア  
ル、偏食ノ害ヲ防グ爲ニモ必要デアル、延  
イテ國民ノ健康ヲ良クスル爲ニ必要デア  
ル、私ハ實ハ林サンハ精神的、人格的ニ洵  
ニ尊敬スベキ人ダト思ツテ居ル、アナタガ  
衛生局長ニナツテカラ醫藥制度調査會ノ幹  
事長トシテ、私トハ主義ハ全然反對ノ立場  
ニアリマスケレドモ、全然醫藥ニ關係ノナ  
イ門外ノ人トシテ、立ツテ、衛生局長ノ任  
ニ就キサウシテ同ジ醫藥ニ經驗ノナイ關係  
ノナイ、知識ノナイ所ノ部下ノ人達ヲ指導  
シ協力シテ、兎ニモ角ニモ一ツノ意見ヲ立  
テテ醫藥制度調査會ニ臨ンデ堂々ト論議サ  
レル御熱心ト態度ニ對シテハ、非常ニ敬意  
ヲ表スル、此ノ意味ニ於テアナタノ官界生  
活ニ於ケル前途ハ、必ズ大ニ榮エラレルダ  
ラウト云フコトヲ考ヘテ居リマス(笑聲)  
シイ哉獨リ此ノ粉換問題ニ至ツテハアナタ  
ニハ全ク考慮ノ一失デアル、吉田厚生大臣  
ハ一方ニ於テハ協同會ノ事務理事ヲサレテ、  
庶民階級ノ生活、保健衛生ニ付テハ普通ノ  
御座ナリノ大臣デアリ、今度アナタガ厚  
生大臣ニナツテ來タト云フコトニ付テハ、  
萬人皆其ノ人ヲ得タリト考ヘテ居ル、ソレ  
デアリマスカラ、アナタハ先程アノ結論的  
ニ答辯サレル前ニ、今一應此ノ事ニ付テ十分  
御検討下サルコトガ、私ハ眞ノ厚生大臣ノ



態度ハナイカト斯様ニ考ヘルノデアリマス、是ハ私ノ愚見デアリマスガ尙ホ土屋ノ言フコト誤レリ、サウ云フコトハナイト云フ御考アレバ、林衛生局長ヨリ更ニ御意見ヲ拜聴致シタイノデアリマス

○吉田國務大臣 私が或ハ結論ヲ申上ゲタコトガ早過ギカト思フノデアリマスガ、實ハ土屋サシカラ直接ニハ承リマセスガ土屋サシノ御所論ト云フモノモ傳承致シテ承知シテ居リマス、本來此ノ問題ニ付テハ自分モ若干ノ考ヲ持ツテ居リマスガ、是ハ吉田ノ私見デアリマスカラ、之ヲ自分ガ公人トシテモノヲ處断スル時ニハ、ソレダケニ依ツテハナラヌ話デアリマス、昨年來私ハ其ノ前カラダツタカモ分リマセスガ、ソレ等ノ實際ノ経緯ヲ聞キマシテ、ヤハリ是ハ搦粉ヲ使ハナイト云フ方向ニ向ツテ自分モ進んで行ツタ方宜シカラウト、斯様ナ判断ヲ致シテ、サウ云フ心境ニ今日ハ居ルノデアリマス、併シ又重ネテ今年ノ委員會ニ於テ——ソレガ昨年ト御同様ノ議論デアツタカドウカ、ソレハ私ハ存ジマセヌケレドモ、熱心ニ御陳述ニナリマシタ、此ノ事ハ能ク牢記致シテ置キマシテ、尙ホ自分ノ疑念ノ起リマスヤウナ場合ニハ十分ナ調ベヲスル、一遍決メテ後ダカラト云ツテモウ調ベヲシナイト云フ譯デアリナイ、何時デモ必要ナ調ベハスルト云フダケノ裕リヲ以テ、方針ハ先程申上ゲマシタヤウナ方針ヲ今日モ持ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置キマス

方ニ參リマシテ、色々衛生課長ヤ何カニ會ヒマシタ、サウスルト實ニ困ツテ居ル、ドウモ搦粉ヲ禁止シテシマヘト云フヤウナコトヲ言ツテ來ラレルガ、自分等ノ方ハ之ヲ断行スルダケノ勇氣ガナイ、併シ官任ヘテ居ル以上、中央ノ方針、中央ノ命令トアレバドウモ仕様ガナイト言ツテ潔シテ居タ、近ク此ノ議會ガ終レバ地方官會議ガ開カレテ、警察部長會議モ開カレル、衛生課長會議モ開カレルデセウガ、ヤハリ之ヲヤツテ行クト云フ御方針ヲ執ツテ居デニナルト云フコトデアリマス、私ハ此ノ會議ヲ通ジテ何トカ此ノ點ヲハツキリシテ置カナケレバナラヌト考ヘマセカ、ドウシテモ之ヲヤツテ行ク云フ御方針デアレバ、モツト具體的ニ私ノ方カラ實證ヲ舉ゲテ意見ヲ聞ハシタイ

○平川至查 是ハ國民衛生上非常ニ重大ナ問題デアリマスカラ、政府委員ニ御尋シテ置キタイノデスガ、此ノ搦粉ハ衛生上害ノアル虞ガアル、其ノ根據ハ榮養試驗所ノ報告ニ依ル、斯ウ云フ風ニ承ツテ置イテ宜シイノデアリマスガ

シマス、第一ノ害ガアルト云フコトハ衛生試驗所ノ報告ニ依ルト云フコトデアアルガ、此ノ衛生試驗所ノ報告ヲ次會マデニ御提出ヲ願ヒタイ、ソレカラ第二ニ、成ベク洗ハズニ食ヒタイト云フ御答辯デゴザイマスガ日本人ガ白人ニ比シテ非常ニ良イ所ハ清潔ヲ尊ブコトデス、米ヲ洗ハズニ食フト云フコトハ是ハ無精者ノ考ヘルコトデス、吾々ハ毎朝飯ヲ炊イテ之ヲ神棚及ビ佛壇ニ上ゲテ祖先ニ敬意ヲ表スル、ソレヲヤハリ綺麗ニ研イデ洗ツタ米ヲ神棚ニ供ヘルノガ宜イノデアツテ、ソレヲ洗ハズニ食ルト云フ考ハ、是ハドウ云フモノデアルカ其ノ根本ガ第三ノ白米禁止七分搦粉ニ關聯シテ榮養上ノ問題カラト云フナラバ、ドウカ七分搦粉ノ說ニベカリ固執シナイデ、物ハ兩端ヲ叩イテ初メテ其ノ真相ヲ知ルノデアリマスガ云フ聲ガアルカト云フコトヲ御判断願ヒタイ、私共ノ知ツテ居ル注意深イ小兒科ノ醫師、ソレカラ内科ノ胃腸關係ノ醫者ナドハ、實ニ白米禁止ト云フコトハ困ツタコトデアアル、其ノ爲ニ老人ガ下痢ヲ起シ、小兒ガ下痢ヲ起スコトガ多イ、ト言ツテ居ル、或人ハソレハ通ジガ非常ニ宜クナルノダト云フ、併シソレハ通ジガ宜クナルノデアリマス、消化シナイカラ下痢ヲスルノデアリマス、七分搦粉ニシマシテカラ子供ノ不消化病ガ非常ニ多クナリマシタ、其ノ大便ヲ見ルト、胚芽ヤ糖ガ消化シナイ儘ニ出テ居ル、ソレデアリマスカラ、食ベタ米ガ全部ガ消化サレナイデ、其ノ何割ト云フモノハ外ニ出テシマフ、米ノ節約ノ爲及ビ榮養ノ爲ト云ツテ七分搦粉御獎勵ニナルケレドモ、實際其ノ身體ノ中ニ入ツタモノガ白米ナラバ綺麗

○土屋清三郎君 只今ノ大臣ノ御答辯ニ一應私モ申添ヘテ置キタイノデアリマスガ、サウスルトヤハリ搦粉ヲ禁止シテ行カウト云フ御方針ナノデアリマスガ、實ハ昨午地

ニ吸收サレテ百パーセントノ身體ノ中ニ榮養トシテ利用サレル、其ノ二割ナリ三割ナリ、或ハ一割ノ場合モアリマセウガ、消化サレズシテ、胚芽ヤ糠ナドト一緒ニ外ニ出テシマツテハ、是ハ非常ナ損失デアリマス、米ノ節約ト云フモノハ、人間ノ身體ノ中ニ入ラナイ以前ダケヲ考ヘテハイカス、身體ノ中ニ入ツテ百パーセントノ利用サレルカドウカト云フコトガ、榮養經濟上ノ重大ナ問題デアリマシテ、同時ニ米ノ眞ノ節約デナケレバナラナイ、唯室内ノ試験、「ピタミ」ヲ糠ガ持ツテ居ルト云フ學說ダケニ因ハレテ、長イ間、國民ノ常食デアツタモノヲ直ダ法令ヲ禁止スルト云フコトハイカセヌ、其ノ爲ニドノ位病人ガ出來テ、其ノ病人ガ醫者ニドノ位金ヲ拂ツテ居ルカ知リマセヌガ、少クとも一部ノ虛弱者ノ榮養ヲ害シ、健康ヲ害シタト云フコトハ争ハレナイ事實デアリマス、若シ其ノ資料ガ必要デアルト云フナラ關係ノ醫者カラ集メレバ驚ク程ノ事例ガ出テ來ルデアリマセウ、米バカリガ榮養品デアナイ、麥モ粟モ又稗ヤ蕎麥ナドハ米ヨリモモツト榮養ガ高イノデアリマス、食政ヲ考ヘル者ハ、米バカリニ因ハレナイデ、總テ人間ノ食シ得ルモノノ全體ヲ配シテ、綜合的食政ヲ考ヘナケレバ間違ヒダト思フ、米ダケヲ七分搦粉ニシテ洗ハズニ食フ、他ノモノハドウシテ居リマスガ、若シ今厚生大臣ノ言フ通り、糠ニハ榮養成分ガアルカラ之ヲ捨テルノハ惜シイト云フナラバ、然ラバ魚ハ一體ドウスルノデアルカ、刺身ニシテ骨ヲ捨テテ居ルデハナイカ、アノ骨ニハ大事ナ榮養成分ガアル、アノ腹ノ臟物ハ大事ナ榮養成分ヲ包含シテ居ル、アノ頭ノ腦ノ中ニハ燐其ノ他ノ貴重成分ガアル、

隨テアナタノ御意見カラ行ケバ、魚ヲ其ノ儘割身ダケニスルコトヲ禁ジテ、頭デモ腸デモ食フヤウニシナケレバナラナイト云フコトニナラナケレバ論議ガ一貫シナイ、食物ハ決シテ米バカリデハナイ、今日ノ日本國民ノ一番重大ナル榮養問題ハ米ノ食ヒ過ギニアル、是モ先刻私ガ申シマシタ鈴木博士ガ其ノ著書ノ中ニ大キク書イテアル、何デモ彼デモ米々ト云ツテ、米バカリニ偏ツテ、米バカリデ榮養ヲ攝ラウトスルカラ、茲ニ榮養ノ失調ヲ來シテ病氣ニナル、吉田大臣ハ非常ニ度量ノ大キイ方デアツテ、吾々如キ者ノ意見ト雖モ必ズ御參考ニサレル方ダト私ハ思ヒマスカラ、而シテ逆耳ノ忠言ヲ致シテ譯デアリマス、ドウカ是ハ官廳ノ面目ノ問題デヤナイ、國民ノ經濟、榮養ノ上ニ重大ナル關係ガアルノデアリマスカラ、其ノ意味ニ於キマシテ、土屋ノ言葉ガ多少荒ウツタカ知レマセスガ、ソコハ一ツ大難量ヲ以テ呑ムニシテ、モウ一應此ノ問題ニ付テ御検討ヲ願ヒマス

○田村委員 一厚生大臣ニ伺ヒタイノデアリマスガ、其ノ一ツハ我國ノ人口問題デアリマス、我國ノ人口ガ最近増加率ガ低下シテ居ルト云フコトハ既ニ周知ノ事實デアリマシテ、而モ非常ニ由々シキ問題デアリマスカ、人口ノ大事ナコトハ私ガ申上ゲルマデモナイ、私ノ考ハ日本ガ益々今後大キクナツテ行ツテ、東亞新秩序ノ主體トカ、サウシテ國防ノ充實或ハ生産ノ擴充、或ハ滿洲ニ對スル移民、支那トノ經濟提携、是等ノ總テノ基礎ハドウシテモ人ニ依タナケレバナラヌ、内地人口現在七千万人デアリマスガ、私ハ七千万ノ人口ヲ少クとも一億人以上ニ

増スコトガ絕對的ニ東亞新秩序建設ニ對應スベキ根本要件デアアル、國防ノ根本ニ付テモ、陸軍大臣ハ精神體力ト云フ、物質力ト云フ點デハ我國ハ實際小サナ國デ、物資ハ不足シテ居ル、然レニ日清、日露ノ戰爭ニ勝テ、或ハ今回ノヤウナ大キナ支那事變ガ起ツテモビクトモシナイ所以ハ、大和民族ト云フ偉イ精神體力ヲ持ツテ居ルカラニ外ナラス、ソコデ東亞新秩序ノ建設ニ當ツテ内地人口ノ増加ト云フコトガ絕對ニ要件デアアル、此ノ人口増加率ガ減リ居ルト云フヤウナコトガアツタトスレバ、是ハ洵ニ國家ヲ擧ゲテノ由々シキ問題デアルト云ハケレバナラスノデアリマス、戰爭ノ直接關係ノ數字ヲ上ゲルコトハ出來マセスガ、私ノ調べタ所ニ依リマス、是ハ我國ノ統計年鑑ニ依ツテ人口増加率ヲ拾ツテ見タノデアリマスガ、昭和三年カラ十二年ニ至ル數字ヲ拾ツテ見マスト、人口ガ昭和三年ガ千人ニ付テ三四・三八人、約三十四人ノ増加ヲ示シテ居ル、ソレガズツト選減シテ來マシテ三十四、三十三、三十二トナリ、ズツト二十九マデ下ツタコトガアリマス、ソレガ十二年ニハ三十三マツテ居リマス、所ガ一方衛生設備ガ向上シテ來テ居リマシテ、死亡率ノ低下ガ一方ニアリマスカラ、絕對數トシテハ日本ノ人口増加率ハ百万内外ト云フモノハ維持シテ居リマス、併シ死亡率ノ低下ヨリモ——勿論是モ非常ニ大事ナコトデ、體位ノ問題デアリ衛生ノ問題デアリマスカラ、成ベク長生シテ働カセルト云フコトガ大事デアリマスガ、ソレヨリモ殖エテ來ナケレバ長生シテも役ニ立タヌ、ソコデ殖エル方ガ一番根本的ノ問題デアルト思フ、假ニ千人ニ對シテ三十四人増加シテ居ツタモノ

ガ三十人ニ減ツタト致シマスレバ、ソレガズツト續クト致シマス、十年間ニ千人ニ對シテ四十人減ル、ソレガ一千万人ニ對シテ四万減ル、七千万人ニ對シテ二十八万人増加率ガ減ル、二十八万人ノ増加率ガ十年間ニ減ルト致シマス、假ニ數字ノ上カラ計算致シマス、二十八万人ガ四倍、四十年續キマスト百万人ノ増加率ハ御破算デ「ゼロ」ニナツテシマフ、斯ウ云フ重大ナル關係ヲ持ツテ來テ居ル、國家百年ノ大計其ノ未ダ發セザルニ憂ヘテ是ガ對策ヲ講スルコトガ施政ノ要件デナケレバナラス、斯ウ云フ人口増加率ノ低減、是ハ私ガ統計年鑑カラ拾ツテ來タ計算デアリマスガ、其ノ他色々事情ガアツテ人口増加率ガ減ツテ居ルト云フコトハ、同僚方色々ノ機會ニ發言サレテ居ルシ、天下周知ノ事實タラントシテ居ル、對策ハ別トシテ斯ウ云フ人口増加率ノ減ツテ居ルト云フ事實ニ付テ厚生大臣ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスガ、承リタイ

○吉田國務大臣 近年ニ至リマシテ日本ノ人口ノ自然増加率ト申シマスガ、ソレガ極メテ緩慢ニデアリマスガ、ズツト低下スル傾向ヲ辿ツテ參ツテ居リマス、此ノ事變ニナリマシテ更ニ一層低下シテ居ルコトハ憶シテ居リマスガ、是ハ事變ニ依リマス一時の現象デアリマスカラ別問題デアリマスガ、只今田村君ノ御話ニナリマセウニ、ソレ以前既ニ逐年人口ノ自然増加ノ數字ガ段々率ニ於テ低下シツ、アルト云フ現象ヲ呈シテ居ルヤウニ思ヒマス、是ハ洵ニ國家トシテ憂慮ニ堪ヘヌ現象デアリマス、其ノ問題ヲ眞面目ニ検討シ、有ル方策ヲ講ジテ日本ノ國民ノ素質ノ向上ト同時ニ數ノ増



加ノ低下ヲ來スヤウナコトノナイヤウニ工  
夫セネバナラヌト考ヘテ居リマス

○田村委員 昨年デアリマシタカ、厚生省  
ノ中ニ人口問題研究所ヲ設ケラレ、暹羅キ  
ナガラモ人口問題ヲ是カラヤラウト云フコ  
トノ現レトハ私共ノ非常ニ愉快トスル所  
デアリマス、近來ノ傾向ハ人口ガ都市ニ集  
中シテ來ル、都會ニ集中スル人口ハ、吾  
吾ハ田舎ノ百姓ノ小恃トシテ育ツテ居リ、  
外ニハ無限ノ天地アリ、内ニ歸ツテ芋ヲ食  
ツテ居ツテモ、好イ空氣ニ育テラレテ健康  
ニ育ツガ、都會ニ育ツ者ハ如何ニ榮養ヲ良  
クシテモ空氣ガ惡イ、而モ住ム建物ハ小サ  
イ、ソコヘ多クノ人間ガ住ツテ居ル、斯ウ  
云フ點カラ云ツテ都市ニ住ムコトハ、體位  
低下ト共ニ人口増加率ノ低下ヲ來ス原因ダ  
ト思フ、我國ガ人口増加政策ニ付テ深ク研  
究シナケレバナラヌト云フコトヲ今厚生大  
臣ハ仰セラレタガ、如何ナル政策ヲ現在持ツ  
テ居ラレカ、又今後之ニ對シ根本的ニド  
ウシヨウト云フ見込ヲ持ツテ行ク御考デアリカ  
承リタイガ、其ノ前ニ世界ノ人口政策ニ對  
スル大キナ事例トシテ昨午私ガ調ベタ獨逸ノ  
人口政策ノコトヲ參考ニ申上ゲタイト思フ、獨  
逸ハ現在八千万ノ人口ガアル、ヒトラーガ政  
權ヲ取ルト同時ニ一番先キニ著手シタノハ  
「ヒトラー」ハ流石ノ男ダト思フガ、人口問  
題ニ著眼シテ、千九百三十二年以來結婚賃  
付金制度ヲ設ケテ、一結婚ニ六百五十馬克  
ヲ貸付ケ之ヲ年賦償還セセル、一文モノナ  
クテモ結婚出來ルヤウニ獎勵シテ居ル、サウ  
シテ千九百三十三年以來毎年約二十万件ニ  
達シ、從來平均五十万ノ結婚數デアツタモ  
ノガ、六十萬、七十萬ト増加シテ居ル、又  
一方ニハ獨身稅——是ハ結婚賃付金制度ノ

財源ノ意味モアルシ、結婚獎勵ヲ爲ス意味  
モアルガ、獨身稅ヲ課シテ、昨年ノ議會デ  
私ハ之ヲ問題ニシタノデスガ、我國デハ獨  
身稅ハ家族制度ニ適セヌト云フコトヲドナ  
タカ大臣ガ言ツテ居レマシタガ、是ハ別  
トシテ、鬼ノ角獨身稅ハ一方財源ニモナリ、  
結婚獎勵ニモナル、斯ウ云フ意味カラ兩々  
相俟ツテ結婚數ガ平均五十万デアツタモ  
ノガ、六十萬トナリ、七十萬トナツテ、貸付  
金制度ノ恩惠ヲ受ケテ、一年ニ三十万件モ  
結婚數ガ増加スル、其ノ次ニハ結婚シテ子  
供ガ出來ル、其ノ子供ヲ放ツテ置イタノデ  
ハ役ニ立タス、ソコデ子供補助金制度ト云  
フモノヲ設ケテ、一定收入以下ノ者デ子供  
ノ三人以上アル者ニ對シテハ、收入ノ制限  
ハアリマスガ、一人ノ子供ニ對シテ月十馬  
克ヲ支給スル、千九百三十八年ニ於テハ二  
百五十万人ノ兒童ガ、一箇月十馬克ツツノ  
子女補助金ノ恩惠ニ浴シテ居ル、借テ子女  
ハ育ツタガ、教育ヲ受ケサセナケレバナラ  
ス、教育ヲ受ケサセ金ガナイ者ニ對シテハ、  
是亦收入ニ依ツテ一定ノ制限ハアリマスガ、  
其ノ制限内ノ收入者ニシテ、四人以上子供  
ノアル者ニ對シテハ所謂教育補助金トシテ  
二年ニ二百馬克ヲ與ヘテ居ル、此ノ教育ノ補  
助ヲ受ケル者ガ千九百三十五年一年ニ四百  
万人ニ達シテ居ルノデアリマス

借テ斯ウ云フ風ニシテ結婚セセ、出來タ  
子供ヲ育テテヤル、其ノ育ツテ來タ者ニ對  
シテハ教育マデモ授ケル機會ヲ與ヘル、至  
レリ盡セリノ制度ヲ完備シテ、サウシテ更  
ニ子供ガ出來テモ、住宅ガナイ、小サナ三  
疊ノ部屋ニ三人モ四人モ住ンデ居ルト云フ  
コトデハ、折角子供ガ生レテモ子供ガ育タ  
ス、健康ニナラナイト云フノデ、住宅ヲ造

ツテヤラナケレバイカヌト云フコトカラ、  
小住宅ノ建築補助制度ト云フモノヲ拵ヘテ、  
子供ノ數ガ殖エルニ從ツテ補助金ヲ與ヘテ  
居ル、斯ウ云フ制度ヲヤツテ居ル

更ニ稅制ノ上ニ深キ考慮ヲ拂ヒマシメ、是  
ハ私ハ頻りに此ノ問題ヲ議會外ニ於テモ、大  
藏省ノ役人ノ友人ナドヲ通ジテ大藏省ニ主  
張シテ居ツタノデスガ、今回ノ稅制改革ノ上  
ニ多少之ヲ加味シタト云フコトヲ承ツテ居  
ルノデアリマスガ、獨逸ハ稅制ノ上ニ人口  
問題ヲ非常ニ盛ツテ居ル、サウシテ所得稅  
相續稅、斯ウ云フモノニ對シテハ家族ノ數  
ト給料ノ如何ニ依ツテ非常ニ控除額ヲ與ヘ  
テ居ルノデアリマス、子供ガ八人位ニナリ  
マスト月二千馬克位取ツテ居ル者デモ所得  
稅ハ掛ラナイ、相續稅モ子供ガ多イト非常  
ニ控除額ヲ受ケル、稅制ノ上ニ斯ノ如キ制度  
ヲ設ケテ居ル、千九百三十二年頃ニヒ  
トラーガ此ノ政策ヲ執ツテ以來ト云フモ  
ノハ效果ハ著シイ、其ノ結果ハ結婚ヲ獎勵  
スル、結婚ニ依ツテ生レタ所ノ子供ハ國家  
ガ之ヲ補助シテ育テヤル、サウシテ更ニ  
ソレニ教育ヲ施シ、住宅ノコトモ心配シテ  
ヤル、家族ノ生活ニ關シテハ稅制ノコトモ  
考ヘル、至レリ盡セリノ結果、結婚シテモ  
心配ガナイ、子供ガ生レテモ心配ガナイ、其  
ノ安心ノ結果千九百三十三年ニ始ツテ三  
十四年ニハ既ニ結婚ガ五十萬モ増加シテ居  
ルノデアリマスカラ、子供ノ生レタノガ一  
年ニ増加數實ニ二十一萬三千名ト云フモノ  
ノ増加シテ居ルノデアリマス、サウシテ其  
ノ結婚賃付金ヲ得タモノノ中カラ出來タ子  
供ガ實ニ四萬三千人ニ達シテ居ル、斯ウ  
云フヤウナ狀態デアリマシテ、人口増加率ハ  
僅カノ間ニ著シキモノガアルト思フノデア

リマス、偶願ミマスニ、我國ハ今厚生大臣  
モ御認メニナツタヤウニ、又統計年鑑ニモ現  
ハレテ居リマスガ、日本ノ人口ノ増加率ハ選  
減シツアル、此ノ選減ヲ放ツテ置イテハ由  
由シキ問題デアル、僅カノ金ノコトヲ豫算ノ  
分捕リナドラスル場合デハナイ、眞ニ人口政策  
ガ此ノ内閣ニアルトスレバ、厚生大臣ハ一大勇  
猛心ヲ發揮シテ、百尺竿頭——百尺進シテ  
居ナイガ、大イニカヲ注イデ國家百年ノ大計  
ノ根本基調ヲ確立シナケレバナラヌト思フ  
ノデアリマスガ、昨年一寸人口問題研究所  
ナント云フモノガ出來掛ケタヤウデアリマ  
スガ、果シテドノ程度ノ施設ヲ現在持ツテ  
居ルカ、爲サントスル確信ヲ持ツテ居ル  
カ、是ハ事務的ノ問題デハナイ、國家ヲ建  
テ行ク所ノ根本基調ノ問題デアリマスガ  
、此ノ點ニ對スル確固タル御方針ヲ承リ  
タイト思ヒマス

○吉田國務大臣 人口増加率ノ選減ト云フ  
コトハ差掛ケナイ重要問題デアルト云フ  
コトハ只今申述ベタ通りデアリマス、人口  
問題ノ研究所ハ今度出來タバカリデゴザイ  
マス、從前カラアリマシタモノハ人口問題  
ノ研究會ト申シマシタガ、私モソレニハ若干  
ノ關係ヲ致シテ居リマスガ、ソレ等ノ所デ  
モ年來人口問題ニ付テノ研究ヲ進メテ參ツ  
タノデアリマスガ、厚生省ト致シマシテ  
研究機關トシテハ、只今ノ官ノ研究所並  
其ノ外團體ノヤウナ研究會ト云フモノガ  
今日マダアリマス、是等ハ人口問題ノ文化  
的方面ト申シマスガ、政治的、經濟的方面  
ト申シマスガ、サウ云フ方面カラノ調査研  
究立案ヲスルト云フコトヲ爲シ、全力ヲ舉  
ゲテ活躍スベキ使命ヲ持ツテ居ルノデゴザ  
イマス、一方ニ厚生科學研究所、自然科學

的ナ基礎ニ立チマシテ人口問題ヲ科學的基  
礎ノ上ニ取扱フコトヲ機關ガ、今年カラ又  
新シイ陣容ヲ以テ整備致シテ發足スル譯デ  
アリマス、是等ノ研究機關ニ於キマシテ更  
ニ研究致シマスル結果ト致シマシテ、實際  
行政政治ノ上ニ今後有效ニ現レテ行クヤウ  
ニナラナケレバ、何シニモナラナイト思ヒ  
マス、唯研究ノ爲ニ研究スルト云フコトデ  
ハ國家ノ施設トシテノ意義ヲ爲サナイ、其  
ノ事ノ爲ニハ出產ヲ回避スルト云フヤウナ  
傾向ガ文化ノ進ムニ連レマシテ段々激シク  
ナリマス、是モ人口増加率デアリマセヌデ、  
出產率ノ選減ノ傾向、或ハ大都市ニ於テ殊  
ニ此ノ傾向ノ著シイコト等統計ノ結果カラ  
見マシテ非常ニ憂慮セラレルヤウナ現象ガ  
現レテ居リマス、一體人口ノ増加率ノ選減  
致シマスコトハ、直接ノ經濟上ノ原因、結婚  
難、或ハ生活難ト云フコトガ直接ニ其ノ原  
因ヲ成スコトモ無論アルデアリマセウケ  
レドモ、サウ云フコトニ怯エテト申シマス  
カ、或ハ子供ヲ育テテ苦勞ヲ避ケルト申シ  
マスガ、サウ云フ自儘ナ安逸ニ就キタイト  
云フ心持カラ、文化ノ進ムニ連レテ出產率  
ガ減ツテ來ル、人口増加率ガ減ツテ來ルト  
云フ傾向ニナルコトハ、我國ノ例バカリデ  
ハアリマセズ、餘所ノ例カラ見マシテモ、  
多分ニサウ云フコトガ原因シテ居ルヤウニ  
思ヒマス、第一ニハサウ云フ心持ト云フモ  
ノハ今後與亞ノ大使命ヲ背負ツテ居ル日本  
ニハ禁物ト思フノデアリマシテ、何ト申  
シマスカ、國民心理ノ正シイ指導ト云フ事  
ガ根本義デアツテ、大切デアラウト思ヒマ  
ス、又左様ナ心持ヲ促進致シマス爲ニ、只  
今獨逸ノ「ナチ」ノ施シテ居リマス色々ノ事  
例ヲ御引用ニナリマシタガ、ソレ等ノ中ニ

モ取ツテ以テ我國ノ參考ニシ得ルモノガア  
ラウト思ヒマス、是ハ私見ヲ申上ゲルヤウ  
デ甚ダ恐縮デアリマスガ、人間ガ結婚ヲシ  
テ子女ヲ産ム、ソレヲ育テルト云フコトハ、  
天地ノ公道、人倫ノ常道デアリマシテ、補  
助金ヲ貰ツタカラ結婚スルトカ、費用ヲ貰  
ツタカラ子供ヲ育テルト云フコトニナツテ  
ハオ終ヒダト思ヒマス、唯サウ云フ事ノ價  
値ヲ全部否定スルノデアリマセヌケレド  
モ、サウ云フ事ニバカリ頼ツテ居ツテモ駄  
目ダラウト思フノデアリマス、現ニ「ヒト  
ラー」政權ニ於キマシテハ其ノ點ニ付テ相  
當效果ヲ舉ゲテ居リマスガ、ソレハ唯金  
ヲ出シテ居ツタト云フコトデハナイト思フ  
ノデアリマシテ、「ナチ」ノ政策ハ人心ノ指  
導ト云フ事ニ非常ナ力ヲ注イデ居リマス、  
日本ノ社會、日本ノ國柄ト致シマシテハ、  
「ナチ」以上ニ其ノ點ニ力ヲ注ガナケレバ  
ラヌト思フノデアリマスガ、唯唯物的政策  
ダケデ效果ヲ達シヨウトハ思ヒマセヌガ、  
ソレ等ノ中ニハ多分ニ參考ニスベキモノガ  
アルダラウト思ヒマスノデ、サウ云フ方法  
ニ依リマシテ精々立派ナ丈夫ナ子供ヲ澤山  
産ンデ貰ヒ、産ンダ子供ヲ今マデノヤウニ  
乳幼児ノ死亡率ノ非常ニ高イヤウナコトデ  
ハ洵ニ相濟マナイ、子供ヲ立派ニ育テ貰  
フ、左様ナ目標ノ下ニ施設スベキコトハマ  
ダ非常ニ澤山殘サレテ居ルト思フノデアリマ  
ス、今年ノ議會デ御協賛ヲ願フ國民體力ノ  
管理トカ、或ハ衛生問題デアルトカ、サウ  
云フコトモ我國ト致シマシテハ未ダ試ミナ  
カツタ新シイ方向ニ向ツテノ一ツノ大キナ  
仕事デアリ、人口問題ノ見地カラモ意味ノ  
アル仕事デアリマスガ、ソレノミニ止ラズ  
シテ、只今マデ厚生省ノヤツテ居ツタ仕事

デマダ十分ナ所ニ大イニ力ヲ入レ、或ハ  
マダヤツテ居ラナカツタ仕事デ、田村君  
ノ御心配ニナリマスヤウナ、日本ノ人口ノ  
數ノ保持ト云フヨリハ、向上ニ資スルヤウ  
ナ政策デ工夫シナケレバナラヌモノガ多ク  
アルト思ヒマス、是ハ其ノ事ニ著手シナイ  
ニ於ケル理想ヲ述ベテモ、此ノ委員會  
イコトダト思ヒマスカラ、餘リ色々ナ政策  
ヲ申上ゲルコトハ控ヘマスガ、心持ハ左様  
ナ所ニ置イテ、此ノ問題ノ解決ニ骨折ツテ  
見タイト考ヘマス

○田村委員 今ノ厚生大臣ノ人口問題ニ對  
スル御意見ニハ私ハ深く敬意ヲ表シタイ、  
併シ此ノ内閣ハ何時迄カ分ラナイ、折角  
人口問題體位向上問題等ニ付テ確信ヲ持  
テ、政策ノ方向ヲ持テ居ル現在ノ厚生大  
臣モ、何時迄カ分ラナイト云フコトヲ考  
ヘテ戴カナケレバナラヌ、日本ノ施設ハ大  
體手續イコトガ多イ、調査研究ニ名ヲ藉ツ  
テ、チツトモ實效ヲ舉ゲナイ、今結婚シテ  
子供ヲ拵ヘル、ソレハ天地ノ公道デアリ人  
倫ノ根本デアルト云フ御説ハ御尤デス、併  
シナガラ天地ノ公道デアリ人倫ノ根本デア  
ルカラ、國民ニ積極的ナ精神ノ涵養ヲヤル  
ト云フコトト共ニ、ヤハリ經濟施設ニ俟タ  
ナケレバイカヌ、物心兩面相俟ツテ施設宜  
シキヲ得テコソ、初メテ政治ノ效果ハ舉ゲ得  
ルト思フノデアリマスカラ、折角今斯ウ云  
フ問題ニ對シテ徹底シテ御考ヲ持ツテ居ラ  
レル厚生大臣ハ、直チニ今日カラ——今日  
ガ日ガ暮レバ明日カラ、此ノ問題ノ實際  
ノ效果ヲ舉ゲルヤウニ著手セラレントラ  
切望致シテ置キマス

此ノ人口問題ハソレデ終リマシテ、アト

一二件簡單ナコトヲ承リタイ、簡易保險問  
題ノコトヲ承ツテ置キタイ、簡易保險制度  
ハ此ノ頃非常ニ發達シテ來テ居リマス、近  
頃ハ最高額七百圓マデ上ゲテ來テ居ル、私  
ハ保險制度ニ付キマシテハ根本的ニ斯ウ云  
フ考ヲ持ツテ居ル、保險ハ現在マデノ發達  
過程ニ於テハ民營企業ヲ宜カツタ、併シナガ  
ラ是ハ國民生活ニ重大ナル關係ヲ持ツテ居  
ツテ、而モ大多數ノ國民ガ關係シテ居ルモ  
ノデアリカラ、相當ナ公共性ト公益性ヲ持  
ツテ居ル、斯ウ云フコトカラ申シマシテ、  
現在ニ於テハ最早ハ保險ハ國營ニスベキ點  
ニ到達シテ居ルノデアリカト思フノデア  
リマス、昨年モ私ハ議會ニ於テ此ノ主張ヲ  
爲シタ一人デアリマスガ、ソレハ現在マデ  
ニ保險ガ發達シテ來タニ付テハ、所謂民營  
企業ノ功績ハ認メナケレバナラヌト思フノ  
デアリマス、ソレガ及ボシタ所ノ財界ヘン  
ダカラト云ツテ、其ノ結論トシテ何時マデ  
モ民營宜イト云フコトハ申上ゲラレナ  
イ、私ハ偶々職ヲ辯護士ニ奉ジテ居リマス  
ガ、保險詐欺ノ問題ヲ取扱フコトガア  
ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲルトカシイガ、  
私ノ選舉區ニ於テ私ハ大キナ保險詐欺事件  
ヲ引受ケタコトガアル、何百人ト云フ者ガ  
獄ニ繋ガレタ、私ハ頼マレテト云フヨリ  
モ、私ハ直接關係ノ地域ノ事デゴザイマス  
カラ、私ハ率先シテ辯護ノ任ニ當ツタノデ  
アリマス、サウシテ其ノ事案ノ内容ヲ調ベ  
タ時ニ到達シタコトハ、實ニ民營企業ノ營利  
觀念カラ生ズル無窮ノ民營企業ト云フ制度  
ノコトデス、保險勧誘員ガ先ヅ判ヲ捺シタ  
サイ、判ヲ捺シテ置キサハソレバ私ガ書イテ  
上ゲル「斯ウ言ツテ書イタコトガ、或ハ病氣



ノコトヲ噓フ言ツタカ云フコトデ、死シテ見ルト保險金ハ與レナクテ、其ノ契約ヲシテ者ハ保險詐欺ト云フテ牢獄ニ繋ガレ、而モ保險料金ヲ支拂フテ居ツタモノマデ取上テテシマツテ、會社ノミハ恬シテ恥ジナイ、サウシテ無事ノ良民ハ保險詐欺ト云フテ牢獄ニ繋ガレ、斯ウ云フ者ガ全國ニ何万アルカ分ラナイ、自分ガ知ラナイ内ニ詐欺ト云フテ牢獄ニ繋ガレ、是ハ泣イテモ泣キ切レナイ、私ガ此ノ保險詐欺事件ノ被害ニ會ツタ時ニモ、實ニ残念ダト云フテワイワイ泣キ出ス、自分ニ其ノ心ナクシテ掛金ヲ拂ツテ、其ノ保險金ヲ取ツテ見ルト、保險詐欺ト云フノデ金ハ取ラレテシマツテ牢獄ニ繋ガレト云フ、是ハ現在ノ保險制度ノ一片鱗デアリマスガ、サウ云フ弊害ガ民心ニ與ヘル影響ハ實ニ大ナルモノガアルト申サナケレバナラス、サウ云フ點カラ私ハ現在ノ民營保險ヲ國營ニスベシト云フ、民營保險會社ノ主張スル所ハ、イヤ保險會社ヲヤルト、保險料金ガ高クナル、民營ニシテ置ケバ保險料ガ安イ、保險料ノ安イ方ガ得ト云フ、追究シテ見ルト此ノ一點ノデス、所ガ現在何万圓ノ保險金ヲ掛ケル者ハ別デスガ、千圓、二千圓、三千圓位ノ保險金ヲ掛ケル者ニ取ツテハ、保險料金ノ高イ安イハ問題デハナク、掛ケテ保險料金ガ心配ナシニ取レト云フコトガ大事ダ、百中ノ九十八ハ保險料ノ高イ安イト云フヨリモ、保險制度ニ對スル安心ト、保險支拂金ニ對スル信頼、是ガ重點ニナツテ來テ居ルト思フ、此處ニ私共ガ保險國營制度ヲ主張スル根本ガアルノデアリマス、民營保險ハ唯保險料ガ安イト

云フ以外ニ、國營保險ニ反對スル理論ヲ一ツモ持タナイ、今マデ保險ヲ發達セシメテ來タ民營保險ノ功績ハドウスルカト云フ人モアルガ、ソレハ別問題デス、功績ニ報イルニハ功績ニ報イルベキ途ガアル、保險制度運營ノ上ニ高度ノ發達ヲシテ來タ時代ニ於テ、現在ノ保險制度ハ非常ニ缺陷ヲ持ツテ居ル、併シ今日直チニ保險會社ヲ買收シテ國營ニスルコトハ無理ダ、私ノ調べタ所ニ依ルト、保險會社ノ持ツテ居ル資産ハ現在四十億圓位アル、之ヲ色々評價シテ見ルト五六十億圓位出テ來ルカモ知レナイ、ソレヲ直チニ公債ヲ發行シテ國營ニ移スコトハ出來ヌ、ソコデ問題ハ漸次國營制度ニ近付タヤウニ簡易保險制度ヲ直シテ行ク、私ノ調べタ所ニ依ルト、民營保險ノ中ニ於テハ二千圓以下ノ保險ガ大體九〇%ニ近イ、所ガ一方簡易保險ニ於テ五百圓ヲ七百圓ニ上ゲタラ、簡易保險ニ入ツテ來ル者ガ非常ニ増加シテ居ル、是ハ私ガ先程申上ゲタヤウニ保險制度ニ對スル安心、民營保險ニ入ツテ居ルト、何時保險詐欺ニ掛ルカ分ラナイ、ウツカリ判ヲ捺シテ罪ニナルカ分ラナイ、斯ウ云フヤウナコトカラ簡易保險ニ加入スル譯デス、ソコデ之ヲ百尺竿頭ニ一步ヲ進メテ、七百圓ニシテ效果ヲ擧ゲ得テ居ルナラバ、最近簡易保險加入者ノ激増振リハ非常ナモノデ、民營保險ガ勸誘員ヲ派遣シテヤツテモ、是ハ速モ比較ニナラナイ、私ノ調べタ所ニ依ルト、民營保險ノ契約ノ增加率ト簡易保險ノ增加率ハ雲泥ノ差ガアル、ソレ程簡易保險ノ方ハ増加シテ居ル、七百圓ニ引上ゲタコトハ保險國營ニ對スル一步ノ前進デス、引上ゲテ效果ガナカッタナラバ考ヘナケレバナラスガ、非常ニ

效果ヲ擧ゲテ居ルトスレバ、私ノ議論ハ實際ニ於テ茲ニ裏書キサレ、此ノ點カラ七百圓ヲ更ニ千圓ニ上ゲテ行ク、サウシテ漸進的ニ保險國營ノ實體ニ引直シテ行ク、斯ウ云フコトガ民營保險ヲ國營保險ニ直シテ行ク最モ適當ナル方法デハナイカト私ハ考ヘルノデアリマスガ、厚生大臣ハ簡易保險ヲ千圓ニ引上ゲル御考ガアルカドウカ、又私ノ考ヘ方ニ對スル御所見ヲ承ハルコトガ出來レバ幸デアリマス。

○吉田國務大臣 大體ニ於キマシテ只今ノ簡易保險ノ金額ノ制限ヲ今少シク緩和シテラドウカト云フ點ニ付キマシテハ、私共モ出來レバ左様ニ致シタイト考ヘテ居リマス、其ノ點ニ付キマシテハ、後程又政府委員カラモ御說明申上ゲルコトガアルダラウト思ヒマスガ、生命保險ヲ國營ニスル前提トシテ、其ノコトヲ實行シタラバドウカト云フテ居リマセ。

○田村委員 ドウモ何等カノ考ヲ持ツテ居ルヤウダケレドモ、厚生大臣ガカラ言ヘナイト云フヤウナ風ニ承リマスガ、御慮ナサルニハ及バナイト思フ、思フ存分其ノ方針ハ國務大臣トシテ述べテ戴キタイト思フノデアリマス、更ニ最後ニ一ツ承リタイノハ、是ハ厚生省トハ一寸所管ガ違フカモ知レマセヌガ、相關聯シテ居ルと思ヒマスノデ、若シ厚生大臣デイクナケレバ、國務大臣トシテ此ノ際御答辯ヲ願ヒタイト思フ、ソレハ震災保險ニ關スル點デアリマス、是ハナハリ國民ノ生活ニ深イ關係ヲ持ツテ居リ

マス、現在ノ商工省ノ保險局ニ於テ、此ノ問題ハ研究シテ居ル管デアル、私モ全國多數ノ人々カラ震災保險制度ト云フモノヲ新設シタラドウカト云フ請願ガ數年前來議會ニ參リマシテカ、私ガ其ノ紹介ヲシテ政府ニ申達シテ居ルノデアリマスガ、其ノ紹介ヲ拵ヘナケレバナラス、併シナガラ是ハ採算ノ上カラハ震災保險制度ト云フモノハ考ヘラレナイ、ソコデドウシテモ之ヲヤルニハ國營ニ依ツテヤル以外ニナイト思フ、私ハ徳川時代以來ノ震災ノ數、之ニ基ク統計、サウ云フモノヲ調べテ居リマシテ、大體ノ目安ハ付クノデアリマス、數字ヲ詳々ト申上ゲルコトハ一切省キマスガ、小サナ保險金ヲ與ヘ、其ノ最高ヲ一千圓若クハ二千圓位ニスル、サウシテオ五ニ相互扶助ノ見地ニ立ツテ僅ノ保險料ヲ支拂フコトニ依ツテ、家ガ倒レタ、家産ヲ失ツタト云フ場合ハ、現在ノ制度デハ震災約款ガアツテ救ハレナイカラ、サウ云フ所ニコソ國家ガ手ヲ伸ベテ之ヲ救済シテヤル制度ヲ設ケナケレバナラスト思フノデアリマスガ、一千圓カ二千圓程度ノ保險金ガアレバ、潰レタ家ヲ「バラック」建ニスルコトハ出來ル、此ノ程度ハ國家ガ努メナケレバナラス、日本ハアツチコツチニ小サイ地震ガ起ル、此ノ不可抗力ノ地震ニヤラレテ路頭ニ迷フ、之ヲ放ツタラカシテ置クノハ忍ビナイト思フ、ソコデ震災ヲ目標トスル最小限度ノ國營保險ト云フモノヲヤツタラドウカト云フコトヲ主張シテ居ル私ハ一人デアリマス、サウ云フ必要ガアルト思ヒマスガ、此ノ點ニ對スル考ガアレバ厚生大臣カラ承ツテ、之ヲ以

テ私ノ質問ヲ終リタイト思フノデアリマス。○吉田國務大臣 震災保險ト云フコトノ内容ニ付キマシテ詳シク伺ヒマスル時間ガ今日ハナイノデアリマスルガ、大體私ノ想像スル所ヲ以テ見マシテモ、有益ナ御著眼デアルヤウニ考ヘマス、恐ラク關係ノ役所ニ於キマシテモ、サウ云フ問題ヲ、御提唱等ニ依ルノデアリマセウガ、相當ノ研究ヲ致シテ居ルノデハナイカト思ヒマス、一ツノ有益ナ御示唆トシテ承ツテ置キマス、又他日ノ機會ニデモ内容等ニ互リマシテ御話ヲ伺ヘレバ仕合セト思ヒマス。

○石坂至奎 本日はニテ散會致シマス、明日ハ午前十時開會致シマス、午後五時五十分散會。

ゴザイマスガ、責任ノアル立場トシテノ自分ノ考ト云フモノヲ今日申上ゲル時期ニハマダ到達シテ居リマセヌ、田村君ノ仰セラレルヤウニ、保險國營ト云フコトヲ將來ノ理想トスルコト云フコトニ假ニナツタト致シマシテ、ソレニ到達スル過程トシテ、簡易保險ノ金額ノ範圍ヲ段々ニ上ゲテ行ク、サウ云フヤウナ方アルノガ宜シイカドウカ、隨分疑問ノアル所ダト思フノデアリマス、保險ヲ國營ニスルナケレバナラスト云ハレル動機モ、ソレニ移リ代ルニ付テ簡易保險ノ金額制限ヲ段々上ゲテ行ツタラ、比較的順調ニ行キヤシナイカト云フ御心持モ分ルノデアリマスガ、其ノ二ツトモ今日ニ於テハヤウツラ宜イトモ惡イトモ何トモ言ヘヌ、田村君ノ御考ニナル立法ノ趣意ト申シマスルカ、サウ云フコトニ對シテノ可否ヲ申上ゲル程ニハマダ職務ノ上カラ吉田ノ考ヲ聽メテ居ラナイノデアリマス、十分ニ研究スル値打ノアル問題ダト考ヘテ居リマスルガ、結論ハマダ申上ゲル譯ニ參リマ